

環境庁委託

第3回自然環境保全基礎調査

自然景観資源調査報告書

(全 国 版)

1989

国際航業株式会社

はじめに

自然景観資源調査は、わが国の自然景観の現況（「何が」、「どこに」、「どのような状況で」存在しているか。）を全国的視野で把握するため、視対象である自然景観の基盤（骨格）をなす地形、地質及び自然景観として認識できる自然現象に着目して、それらの位置及び特性等を調査したものである。同種の調査としては民間団体が観光資源のみを取り上げたものが存在するものの、火山群や、山脈・山地などの大地形から岩脈や湧泉群などの極微地形に至るまでの自然環境資源を統一的な視点でとりあげた調査は、わが国でもはじめての試みである。昭和61年度に九州地区7県を対象に調査が開始され、昭和62年度は残りの都道府県について実施された。しかし、はじめての調査ということもあって、各都道府県の調査結果は資源のとらえ方や、その地理的範囲などに不整合がみられるため、できるだけ都道府県の調査結果を尊重しながら、最小限の補正を行う必要性が生じたのも事実である。

本調査ではこのような不整合が生じている記述内容等に最小限の補正を施して、自然景観資源調査結果のデータ化を行うとともに、その集計・解析を行って、わが国の自然景観資源の分布状況やその特性ならびに保護の現状等について、これらの全体を概観し、いくつかの分析を試みたものである。

調査を進めるにあたっては、吉川虎雄東京農業大学教授を委員長とする「自然景観資源分科会」に諮り、ご指導を賜った。ここに、ご指導をいただいた委員長ならびに委員各位にお礼申し上げます。

平成元年

国際航業株式会社

作業担当者名簿

| | |
|----------|------|
| 国際航業株式会社 | 三宅修平 |
| ” | 赤沢義次 |
| ” | 国領和夫 |
| ” | 塚本 哲 |
| ” | 荒川 仁 |
| ” | 畠山主税 |
| ” | 大木良久 |
| ” | 向山 栄 |
| ” | 藤原幹之 |
| ” | 鳥田英司 |

目次

はじめに

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 調査結果の概要 | 1 |
| I 自然景観資源調査 | 4 |
| 1. 調査の目的 | 4 |
| 2. 概要 | 4 |
| II 自然景観資源情報処理業務 | 7 |
| 1. 業務の目的 | 7 |
| 2. 概要 | 7 |
| 3. 調査票の点検及びデータ化 | 10 |
| III 情報処理結果と考察 | 14 |
| 1. 資源数とその分布状況 | 14 |
| 2. 資源別の規模・特性 | 23 |
| 3. 資源の眺望性 | 47 |
| 4. 資源の利用現況 | 54 |
| 5. 資源の保護の現況 | 60 |
| IV 総括 | 71 |
| 参考文献 | 73 |
| 付図及び付表 | |
| 自然景観資源分布図の説明表、及び資源分布図 | 74 |
| 地方別集計図 | 154 |
| 都道府県別自然景観資源数 | 202 |
| 資料 | |
| 1. 第3回自然環境保全基礎調査検討会及び分科会 | 206 |
| 2. 第3回自然環境保全基礎調査要綱 自然景観資源調査 | 207 |

調査結果の概要

1. 調査の目的

自然景観資源調査はわが国の自然景観の現況（「何が」、「どこに」、「どのような状態で」存在しているか。）を全国的視野で把握するため、視対象である自然景観の基盤（骨格）をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象に着目して、それらの位置及び特性等を調査したものである。

2. 調査方法

自然景観資源調査は昭和61年、62年度に環境庁が都道府県に委託して実施したもので、環境庁の定める調査要綱に準拠して資料調査、現地調査等を行ったものである。

3. 全国集計

自然景観資源情報処理業務は、各都道府県の「自然景観資源調査報告書」と自然景観資源図帳に記載されたデータについて、都道府県境部分の整合をはかるなど、全国集計を行うにあたっての最小限の修正を加えたのち、基礎的な集計を行い、わが国の自然景観資源の分布を把握しようとしたものである。

本作業では、全国及びブロック別の資源数の集計のほか、資源の特性や、眺望性、利用・保護の現状についての集計を行い、資源の実態の把握に努めた。

4. 全国集計結果の概要

(1) 資源数とその分布状況

- この調査で抽出したわが国の自然景観資源数は15,468資源である。最も多いのは滝（2,488カ所）であり、次いで火山（1,158カ所）、峡谷・溪谷（996カ所）、非火山性孤峯（993カ所）、湖沼（872カ所）、海食崖（734カ所）、砂浜・礫浜（632カ所）の順で、これら7資源で全体のほぼ半数の50.9%を占めている。

- 資源の分布状況は日本アルプスを抱える中部地方が全体の22.9%、次いで東北地方の21.4%、九州地方14.2%、関東地方10.5%の順である。
- 資源の類型別の分布状況は火山景観、山地景観とも中部地方に最も多く、石灰岩地形は中国地方に多く分布している。一方、水景の方は河川景観が中部地方、湖沼景観は東北地方に多く、海岸景観は九州地方が豊富である。

(2) 資源の眺望性

- 資源のみられ方は近景から望む資源が43.7%と最も多く、次いで中景の34.0%、遠景22.4%である。
- 資源ごとの見られ方は大地形である火山群、火山や山脈・山地・高地などは遠景と中景が大半を占めており、極微地形に属する滝、溶岩トンネル・風穴、構造土、鍾乳洞、天然橋・岩門・石門等は近景が代表的な見られ方である。
- 資源を眺める視点の種類は、不特定の地点からの資源が全体の32.4%、歩道からのものが26.0%である。

(3) 資源の利用状況

- 利用者の特定できる資源は全体の13.3%であり、これらの年間利用者は1～5万人の範囲の資源が最も多い。
- 自然景観資源と地域の係わりについては、「生活レベルでの利用」が全体の40.1%、「地域のシンボル」的な資源が37.1%であり、残りの22.8%が「学習の場」としての利用である。
- 利用形態では「レクリエーション利用」が37.3%、「一般観光」が34.5%、「自然学習・自然探勝」が28.1%である。

(4) 資源の保護の現状

- 国立公園等なんらかの保護制度下にある資源は約半数（57.8%）であり、国立公園内には全体の23.2%、国定公園内には14.6%が分布している。
- 種類別にみると、保護制度下でない（不明を含む）資源数が保護下にある資源数を上回っているものは、非火山性孤峯、鍾乳洞、河成段丘などである。
- 総資源数のうち36.8%は、当該資源に対する格段のインパクトは存在しない。しかし、全体の2/3近くはなんらかの開発行為あるいは当該開発行為の二次的影響を受けている。インパクトの種類として最も多いものは、人の立入（15.8%）で、次いで農林業開発（10.0%）、観光開発（9.5%）の順である。

Ⅰ 自然景観資源調査

1. 調査の目的

自然景観は、「地形、地質、植生及び野生動物といった環境要素が総合され、人間の目に映ずるもの」と定義されているように、自然環境保全上重要な要素である。

自然景観資源調査は、わが国の自然景観資源の現況（「何が」、「どこに」、「どのような状態」で存在しているか。）を全国的視野で把握するため、視対象である自然景観の基盤（骨格）をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象に着目してそれらの位置及び特性等を調査したものであり、今回の第3回自然環境保全基礎調査から新たに開始された調査である。

2. 概要

「自然景観資源調査」は、昭和61年度（九州地区7県）、62年度（九州地区を除く40都道府県）に、環境庁が各都道府県に委託して実施したもので、各都道府県の全域を対象として、環境庁が定める「第3回自然環境保全基礎調査要綱 自然景観資源調査」に準拠して行われた。

「自然景観資源調査」の対象とする自然景観資源は、表1-1「調査対象自然景観資源一覧表」に示すもののうち、各資源の「調査対象範囲及び特性記述の方法」（資料2…巻末）の調査対象範囲に該当するものについて選定している。

なお、これらの調査対象の選定にあたっては次の観点を基本として行っている。

- | | |
|---|---|
| ア | 視対象である自然景観の基盤をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象であること。 |
| イ | 通常、人間が視覚的に自然景観として認識できるスケールであること。 |
| ウ | 視覚に訴える特徴的なものであること。 |
| エ | 人工的に造成されたものではないこと。 |
| オ | 季節的な自然現象ではないこと。 |

調査は各種自然景観資源の状況を明らかにするため、文献調査、ヒアリング調査並びに図上計測を主体とし、必要に応じて現地調査を行ったものである。

調査の内容は次のとおりである。

| 調査内容 | |
|------|---------------|
| ア | 位置（関係市町村、標高） |
| イ | 特性（分類、規模、地質等） |
| ウ | 眺望性 |
| エ | 利用の現状 |
| オ | 保護の現状 |

以上の調査結果は都道府県単位で、「自然景観資源調査報告書」及び「自然景観資源図帳」にまとめられている。

表 1 - 1 調査対象自然景観資源一覧表

| 類 型 | | 自 然 景 観 資 源 名 | | | | |
|-----------|-------------------|---------------|--------------------------------|--|--|--|
| | | 大 地 形 | 中 地 形 | 小 地 形 | 微 地 形 | 極 微 地 形 |
| 陸 | A1 火山景観 | 01 火山群 | 02 火山山 03 火山性高原 | 04 火口・カルデラ 05 カルデラ壁 06 流れ山群 | 07 特徴的な稜線 | 08 溶岩トンネル・風穴 09 溶岩流末端崖 10 地獄・泥火山 11 噴 気 孔 泉 12 噴 気 孔 泉 13 間 歇 泉 14 構 造 土 |
| | | 15 高山・亜高山域 | | 16 万年雪 | | |
| | A2 山地(非火山性)景観 | 01 山脈・山地・高地 | 02 丘 陵 03 非火山性高原 04 大断層産 | 05 非火山性孤峰 06 U字谷(氷食谷) 07 カ ー ル 08 非対称山稜 | 09 特徴的な稜線 10 モ レ ー ン 11 二重山稜 (線状凹地) 12 断崖・岩壁 | 13 岩塊斜面・岩海 14 構 造 土 15 岩 峰 ・ 岩 柱 16 崖 17 天然橋・岩門・石門 |
| | | 18 高山・亜高山域 | | 19 万年雪 | | |
| | A3 石灰岩景観 | | 01 カルスト地形 | 02 ポ リ エ | 03 カッレンフェルト ・ドリネ群 | 04 鍾 乳 洞 |
| A4 特殊地学景観 | | | | | 01 節 理 脈 02 岩 | |
| A5 そ の 他 | 01 上記以外の際立った地形 | | | | | |
| | 00 顕著な自然現象を記録する地形 | | | | | |

| 類 型 | | 自 然 景 観 資 源 名 | | | | |
|----------|-------------------|---------------|---|---|---|--|
| | | 大 地 形 | 中 地 形 | 小 地 形 | 微 地 形 | 極 微 地 形 |
| 水 | B1 河川景観 | | 01 峡谷・溪谷 02 河成段丘 03 自由蛇行河川 04 穿人蛇行河川 | | 05 断崖・岩壁 06 湖 | 07 岩峰・岩柱 08 洞 窟 09 風 穴 群 10 滝 11 天然橋・岩門・石門 |
| | | B2 湖沼景観 | | | 01 湖 沼 02 湿 原 | |
| | B3 海岸景観 | | | 01 溺 れ 谷 02 海成段丘 (サンゴ礁段丘) 03 断層海岸 04 火山海岸 05 多 島 海 | 06 隆起サンゴ礁 07 砂浜・漂浜 08 砂 嘴 09 砂 州 10 陸 け い 砂 州 11 砂 丘 | 12 海 食 崖 13 波 食 台 14 岩 礁 |
| | | 19 潮流・渦流 | | | | |
| | B4 特殊地学景観 | | | | | 01 節 理 脈 02 岩 泉 03 湧 泉 群 |
| B5 そ の 他 | 01 上記以外の際立った地形 | | | | | |
| | 00 顕著な自然現象を記録する地形 | | | | | |

Ⅱ 自然景観資源情報処理業務

1. 業務の目的

本業務は、第3回自然環境保全基礎調査の一環として、環境庁の定めた調査要綱にもとづいて昭和61年、62年にわたって各都道府県が実施した自然景観資源調査結果のデータ化を図るとともに、集計・解析を行い、わが国の自然景観資源の特性やその分布状況ならびに保護の現状等の実態を全国的視野で把握することを目的として実施したものである。

2. 概要

2-1 情報の処理手順

自然景観資源調査票の処理手順は以下のとおりである。

- (1) 各都道府県の図帳及び報告書の記載状況を確認・補完し、同一資源の都府県境部分の接合についての整合をとるなど全国集計を行うにあたっての最小限の修正を施す。
- (2) コード化が可能な項目（資源類型、資源名、地図名等）については、調査票にコード値を記入し、データ入力を行う。
- (3) データに修正を加えたのち、全国集計やブロック別集計ならびに全国の景観資源分布図を作成してわが国の自然景観資源の実態を把握する。

以上の処理手順は図2-1に示すとおりである。

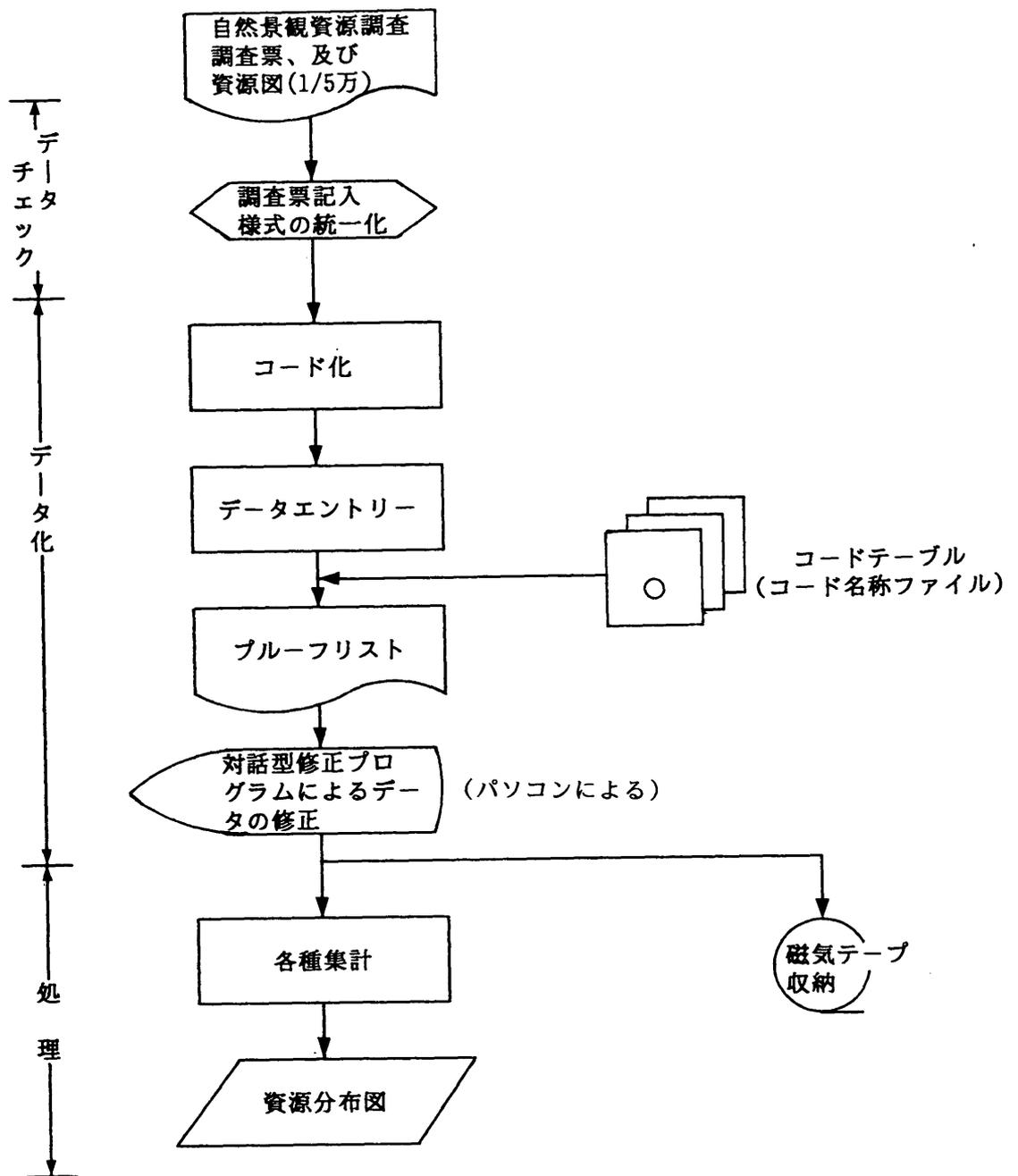


図 2 - 1 情報の処理手順

2-2 集計・解析項目

各都道府県の自然景観資源調査データに基づいて、以下に示す集計・解析を実施し、わが国の資源の現状把握を行った。

(1) 資源別の特性集計

特性記述項目のうち、比較的その資源の規模や現状を表していると思われるものについて、全国及びブロック別の集計を行うとともに資源別に規模などのランク区分を行なう。

(2) 眺望性に係る集計

見られ方、視点種類別のそれぞれについて、全国及びブロック別の集計を行う。

(3) 利用の現状に係る集計

利用者数、利用形態のそれぞれについて、全国及びブロック別の集計を行う。

(4) 保護の現状に係る集計

① 自然景観資源の保護状況の集計

② 自然景観資源に対するインパクトの集計

(5) 自然公園内の自然景観資源分布状況の集計

以上の集計を行うとともに、各資源の分布状況をみるために分布図の作成を行った。なお、地方別集計では全国を8つの地方に分けているが、各地方の都道府県との対応は以下のとおりである。

| 地方 | 都 道 府 県 |
|-----|-------------------------------------|
| 北海道 | 北海道 |
| 東北 | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 |
| 関東 | 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 |
| 中部 | 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県 |
| 近畿 | 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 |
| 中国 | 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 |
| 四国 | 徳島県、香川県、愛媛県、高知県 |
| 九州 | 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 |

3. 調査票の点検及びデータ化

3-1 調査票記入様式の統一化

1) 各都道府県の図帳及び報告書の記載状況

各都道府県の図帳及び報告書の記載状況は以下の通りである。

- (1) 火山群票、山脈・山地・丘陵票は比較的良好に書かれているが、一般票の特性では、深さなどの未記入が多い。
- (2) 火山群、山脈・山地・丘陵、火山、非火山性孤峰等ではくくり方に県等による違いがあり、接合がとれない場合の方が多い。
- (3) 県等による抽出レベルの違いがあり、県境などで切れてしまう。
- (4) 記入上の間違い、例えば火山群票の峰のメッシュの複数記入などが見られる。
- (5) その他、メッシュ読み取り、面積等の読み取りの単純ミスがある。

2) チェック作業の経過

調査票の修正は以下の基準で行った。

- (1) 県による抽出レベルの違いについて、県境の接合でチェックし、基本方針として、抽出していない県の方へ追加記入することにした。
- (2) 県境をまたがるものについては、接合後、1つのものとして扱った方がよい長径、短径等は両県共通として記入した。
- (3) 火山群票で記入されている峰は一般票の火山でも網羅するものとし、ない場合は書き起こした。
- (4) 火山群票には火山群域のメッシュ記入欄がないので、新たに書き起こした。この場合、県境にまたがるものは該当する県分のメッシュのみ記録した。
- (5) 火山群や山脈・山地・丘陵で県により取り方の異なるものは妥当と思われる方を採用し、他方をひき直した。なお、火山群の場合は、地質調査所発行の地質編集図「日本の火山」(1968)に基づいて採用し、全国的な統一を図った。

以上の基準に従って、調査票の修正を行ったが、点検・修正作業の具体的手順は表2-1に示すとおりである。

表 2-1 作業手順

(「自然景観資源調査要綱」を参照)

| | | 調 査 票 | 図 帳 |
|-------------|-------------|---|--|
| 前 作 業 | | ①表(1)と表(2)のつきあわせで数量チェック ②表(2)と調査票のつきあわせで抜けのチェック ③標準地名集の図からチェックし、なければ追加 ⑤隣接府県と接合するものは ○○県A○-○○-○○○と接合と欄外に朱書 ⑥追加の場合は調査票を新設 番号は最後のものにつづける | ③追加のときは図上にプロット ④調査県内を接合し、必要なら修正 ⑤隣接府県との接合を修正 ⑥隣接府県との接合により追加 |
| | 本 作 業 | 調査票の順に進める ①番号チェック (2) ②地形図番等チェック (6) ③所在市町村名チェック (7) ④標高チェックと追加 (9) ⑤メッシュコード票を作成 (10) ⑥特性のチェック (11のア、イ) ⑦ " (11のウ、カ) ⑧調査票の追加 ⑨特性のチェック (11のキ、ク、ケ) | ①同左 (図上で) ② " ③ " ④ " ⑥ " ⑦ " ⑧さらに峰の追加すべきものを図上で捨う(11のカ) ⑨同左 (図上で) |
| 業 一 般 | 山 地 群 | 火山群と同様 | 火山群と同様 |
| | 一 般 | (2)~(11)のチェック・修正・追加 火山群と同様 | |

3-2 データ化

1) データファイル構造の設計の基本的考え方

自然景観資源調査票は記述式の項目とコード化が可能な項目が混在しておりデータ構造は単純ではない。記述部分に景観資源にとって有用な情報が含まれており、これをデータ化する必要があると考えられるため、以下に示すような方針でファイルの構造設計を行った。

- (1) コード化が可能な項目（類型、資源名、地図名、所在市町村名、特性分類）については、別途コードテーブルを作成、属性ファイルにはコード値のみ格納する。
- (2) 属性ファイルは所在メッシュコードなどの複数データが存在するので可変長とする。
- (3) 漢字データ部でコード化が困難な項目（資源の名称、保護制度の種類・名称など）は漢字入力を行う。
- (4) 数値化が困難な項目（特性などの特記事項、顕著な自然現象を記録する地形、補足事項）及び集計の対象としない項目（調査者氏名、調査者所属）のデータ化は行わない。

2) データファイルの構成

データは調査票の資源属性を表す景観資源属性ファイルとコード値の内容を示すコードテーブルの2種類のファイルから構成した。このようにすることによって、検索、ソート等のデータ処理を容易に行うことが可能になる。

図2-2にデータファイル構成を示す。

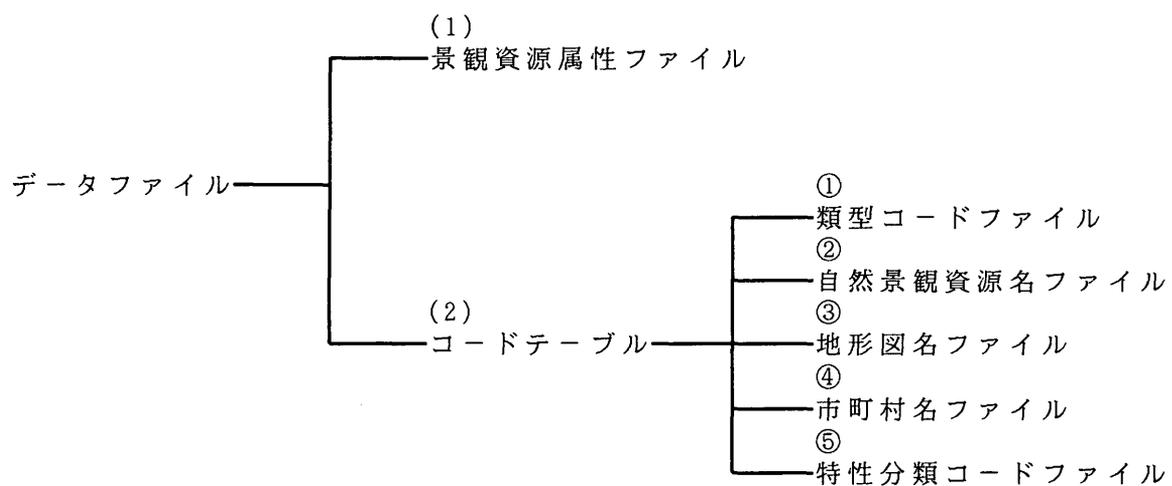


図2-2 データファイル構成

Ⅲ 情報処理結果と考察

1. 資源数とその分布状況

今回の調査で抽出された、わが国の自然景観資源数は15,468カ所である。

これらの資源の分布状況は、日本アルプス及びフォッサマグナを抱える中部地方が全体の22.9%、次いで東北地方の21.4%、九州地方の14.2%、関東地方の10.5%の順である。

なお、この種の調査はわが国でも初めての試みであることから、調査結果には地域による不統一等の課題も残されており（Ⅳ 総括 を参照）、以下は今回得られたデータのみによる記述であることをお断りしておく。

1-1 自然景観資源の類型別分布

自然景観資源の類型別分布状況、資源数を図3-1、表3-1にそれぞれ示した。

類型別の資源数をみると、火山景観は東北・中部地方に多いが、近畿地方では極めて乏しく、四国地方では全く見られない。山地景観では山岳地を抱える中部地方が圧倒的に多くなっている。石灰岩景観は秋吉台の鍾乳洞に代表されるように中国地方に集中しており、節理や岩脈などの特殊地学景観を示す資源は中部地方に多く分布している。ただし、他地方でも未発見のものが多いと思われる。河川景観は山地景観と同様に中部地方がもっとも多く、次いで東北、近畿、九州の各地方の順である。また、湖沼景観は東北地方が多く、北海道、中部地方がこれに続く。海岸景観は海岸線延長が長い九州地方（沖縄県含む）が最も資源が豊富である。地方別の類型分布比率を全国総計と比較してみると、北海道は火山景観が多く、河川景観が少ない。東北地方では、山地景観、湖沼景観がやや多い。また、関東地方は北海道と同様に火山景観が多くなっている。中部地方は山地・火山景観が多く、海岸景観がやや少ない。近畿・四国地方は、火山景観が乏しい（四国地方の場合は無い）ために、近畿地方では河川景観、四国地方では海岸景観の比率がかなり高くなっている。また、中国地方は特徴的に石灰岩景観が多くなっている。九州地方の場合、海岸景観が多く、山地景観が乏しい傾向がある。

1-2 自然景観資源の項目別分布

自然景観資源の項目別の分布比率、資源数を図3-2、表3-2にそれぞれ示した。

資源数として最も多いのは滝（2,488カ所）、火山（1,158カ所）、峡谷・溪谷（996カ所）、非火山性孤峰（993カ所）、湖沼（872カ所）、海食崖（734カ所）、砂浜・磯浜（632カ所）であり、これら7資源で全体のほぼ半数の50.9%を占めている。逆に希少な資源としては間欠泉（6カ所）、海岸甌穴群（8カ所）等があげられる。

資源数の多い上述の7資源について地方別の分布比率をみると、滝は中部（23.9%）、東北（20.7%）の各地方の比率が高く、近畿地方（16.6%）がこれに続いている。火山の地方別分布比率は東北（21.4%）、関東（20.6%）、中部（19.6%）、九州（18.6%）の順であるが、あまり差はない。峡谷・溪谷は中部地方の比率が高く（25.6%）、東北地方（18.1%）、近畿地方（14.3%）の順となる。非火山性孤峰は数的には峡谷・溪谷とほぼ同じであるが、東北（22.9%）、近畿（19.9%）、中部（15.5%）の各地方の順に抽出されている。湖沼は東北地方（29.4%）、北海道（26.4%）の比率が高く、中部地方（18.2%）が続くが、その他の地方の比率はかなり低い。海食崖は九州地方（18.9%）、東北地方（18.0%）、北海道（16.6%）、四国地方（15.3%）の順であるが、あまり差はない。砂浜・磯浜は圧倒的に九州地方の比率が高い（約30%）。

項目毎の地方別分布比率からみて、比率的偏在するものには、火山景観ではカルデラ壁（東北・九州）、特徴的稜線（中部・北海道）、溶岩トンネル・風穴（中部）、地獄・泥火山（北海道・九州）、噴泉（中部・北海道）、構造土（東北）、万年雪（東北）があげられる。また、山地景観では、U字谷（東北）、カール（中部・北海道）、非対称山稜（東北・中部）、特徴的稜線、モレーン、二重山稜（いずれも中部）、構造土（中部）、崖錐（中部）、万年雪（中部）などがある。石灰岩景観はいずれも中国地方が卓越している。

一方、水景の河川景観についてみると、北海道、関東地方、四国地方がほとんどの項目で少なく、比較的特徴的なのは瀨（近畿地方）、岩峰・岩柱（九州地方）、天然橋・岩門・石門（中国地方）等である。また海岸景観では全体的に九州地

方に多く占めるケースが目につき、特に、隆起珊瑚礁、火山海岸、砂嘴は全国の半分以上を占めている。

なお、以上の分布が偏在する資源のうちには、他の地方ブロックでの未発見・未抽出により偏っているケースも考えられる。各資源項目毎の全国分布は付図及び付表の項で説明表とともに資源分布図として図示されている。

1-3 自然景観資源の分布の特性

図3-3に自然景観資源の二次メッシュ単位での種類（項目）の重なり具合を示した。これは、自然景観資源の多様性の分布を表わすものである。

これによると、6種類以上の資源が揃っているメッシュが比較的集中しているのは、南アルプス、北アルプス、上信越高原など中部地方に多くみられ、これら以外では、日光、吾妻、磐梯朝日、蔵王、十和田湖、八幡平、大雪山、知床など、北日本が優勢である。西日本の方では、熊野灘、九重山、耶馬溪、阿蘇、霧島にややまとまってみられる程度である。これらのほとんどは、国立公園、国定公園に含まれているものが多い。

3～5種の資源が重なるメッシュも中部山岳地帯でもっともまとまっている。

なお、資源の存在しないメッシュについてみると、名寄・上川盆地や宇都宮周辺など平坦地と対応している。

次に、高度（最高標高）別の資源数を表3-2に示したが、最も資源数の多いのが標高1,000m～2,000mであり、次いで500m～1,000m、200m～500mの順となっている。これらを合わせた標高200m～2,000mの資源数は8,977ヵ所であり、全体の約68%となっている。

この高度別資源分布は景観資源類型により異なった特色を示し、火山景観・山地景観は1,000m～2,000mを中心とした高標高部が多く、石灰岩景観は200m～500m付近が多くなっている。カール・モレーンなどの氷河地形は1,000m～3,000mに集中し、3,000m以上には分布せず、これらの地形が形成されやすい環境条件が反映されている。一方、水景をみると河川景観では200m～500m前後の標高で多くなる傾向があり、湖沼景観は50m未満と500m～2,000mに分散している。さらに海岸景観は50m未満に集中している。

自然景観資源数

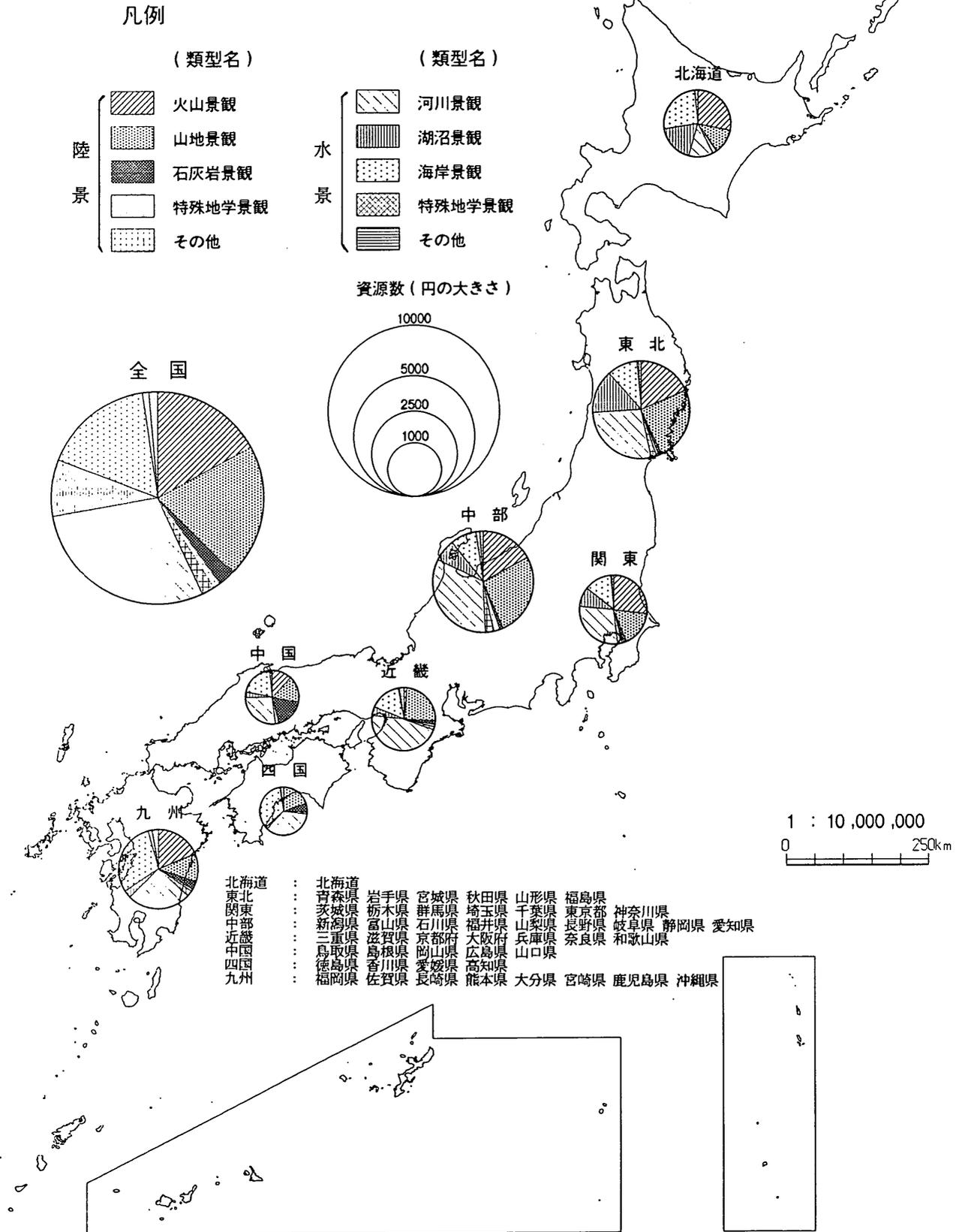


図 3-1 自然景観資源の類型別分布状況

表 3 - 1 自然景観の類型別資源数

| 類 型 | | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 合計 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|
| 陸 景 | 火山景観 | 434 | 608 | 437 | 601 | 22 | 123 | - | 414 | 2639 |
| | 山地景観 | 185 | 813 | 276 | 938 | 342 | 165 | 159 | 251 | 3129 |
| | 石灰岩 | 8 | 34 | 23 | 38 | 29 | 180 | 49 | 69 | 430 |
| | 特殊景観 | 23 | 24 | 11 | 70 | 15 | 3 | - | 22 | 168 |
| | その他 | 8 | 61 | 37 | 95 | 22 | 21 | 11 | 47 | 302 |
| 水 景 | 河川景観 | 183 | 913 | 460 | 1163 | 653 | 276 | 286 | 571 | 4505 |
| | 湖沼景観 | 283 | 470 | 148 | 256 | 63 | 35 | 9 | 71 | 1335 |
| | 海岸景観 | 398 | 337 | 209 | 293 | 225 | 207 | 276 | 657 | 2602 |
| | 特殊景観 | 25 | 19 | 8 | 44 | 6 | 12 | 6 | 34 | 154 |
| | その他 | 1 | 29 | 17 | 41 | 35 | 5 | 17 | 59 | 204 |
| 合 計 | | 1548 | 3308 | 1626 | 3539 | 1412 | 1027 | 813 | 2195 | 15468 |

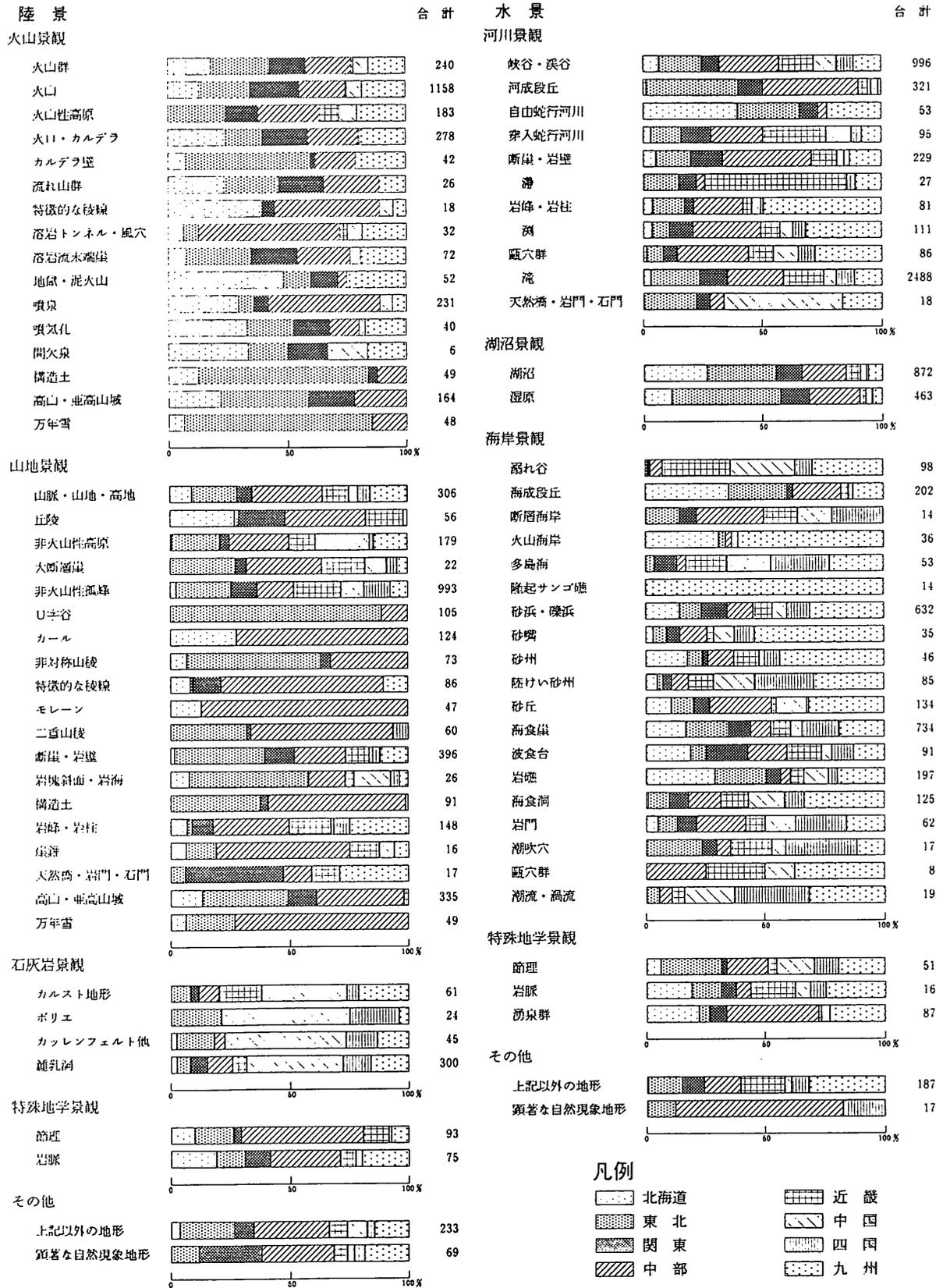


図 3-2 自然景観資源の項目別分布比率

表 3 - 2 自然景観の項目別資源数

| 類型 | 自然景観資源名 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 合計 | | |
|----------|-----------|--------|----------|------|------|------|------|-----|------|-------|-----|-----|
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 43 | 59 | 37 | 46 | 2 | 15 | - | 38 | 240 | |
| | 火山性高原 | 151 | 248 | 239 | 227 | 5 | 73 | - | 215 | 1158 | | |
| | 火山性カルデラ | - | 43 | 26 | 48 | 14 | 14 | - | - | 38 | 183 | |
| | カルデラ壁 | 66 | 44 | 53 | 59 | - | 1 | - | - | 55 | 278 | |
| | カルデラ群 | 3 | 22 | 1 | 7 | - | - | - | - | 9 | 42 | |
| | 流れ山群 | 6 | 6 | 5 | 6 | - | - | - | - | 3 | 26 | |
| | 特徴的な稜線 | 7 | - | 1 | 8 | - | - | - | - | 1 | 18 | |
| | 溶岩トンネル・風穴 | 2 | 2 | - | 19 | 1 | 2 | - | - | 6 | 32 | |
| | 溶岩流・崖 | 5 | 20 | 14 | 16 | - | - | 3 | - | 14 | 72 | |
| | 噴泉・泥火山 | 25 | 6 | 6 | 2 | - | - | - | - | 13 | 52 | |
| | 噴泉 | 67 | 15 | 14 | 109 | - | - | 12 | - | 14 | 231 | |
| | 噴気孔 | 13 | 8 | 6 | 5 | - | - | 1 | - | 7 | 40 | |
| | 噴気 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | - | 1 | 6 | |
| | 構造土 | 6 | 35 | 2 | 6 | - | - | - | - | - | 49 | |
| | 高山・亜高山域 | 35 | 61 | 32 | 36 | - | - | - | - | - | 164 | |
| | 万年雪 | 3 | 38 | - | 7 | - | - | - | - | - | 48 | |
| | 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 28 | 57 | 20 | 91 | 34 | 12 | 16 | 48 | 306 |
| | | 丘陵 | 15 | 1 | 11 | 19 | 9 | - | - | 1 | - | 56 |
| | | 非火山性高原 | 1 | 36 | 7 | 45 | 20 | 41 | 3 | 26 | 179 | |
| | | 非火山性断崖 | 6 | 6 | 1 | 7 | 4 | 2 | 1 | 1 | 22 | |
| 非火山性孤峰 | | 23 | 227 | 109 | 154 | 198 | 97 | 109 | 76 | 993 | | |
| U字谷 | | - | 93 | - | 12 | - | - | - | - | - | 105 | |
| カーン | | 34 | - | - | 90 | - | - | - | - | - | 124 | |
| 非対称山稜 | | 5 | 41 | 3 | 24 | - | - | - | - | - | 73 | |
| 特徴的な稜線 | | 7 | 1 | 10 | 59 | - | - | - | - | 9 | 86 | |
| モレーン | | 6 | - | - | 41 | - | - | - | - | - | 47 | |
| 二重山稜 | | - | 19 | 1 | 36 | - | - | - | 4 | - | 60 | |
| 断崖・岩壁 | | 6 | 149 | 50 | 85 | 40 | 6 | 13 | 47 | 396 | | |
| 岩塊谷・岩海 | | 2 | 13 | - | 4 | 1 | 4 | 1 | 1 | 26 | | |
| 構造土 | | - | 34 | 3 | 53 | - | - | 1 | - | 91 | | |
| 岩柱 | | 10 | 3 | 13 | 47 | 26 | 2 | 10 | 37 | 148 | | |
| 岩柱 | | 1 | 2 | - | 9 | 2 | 1 | - | 1 | 16 | | |
| 崖・岩門・石門 | | 1 | 1 | 7 | 2 | 2 | - | - | 5 | 17 | | |
| 高山・亜高山域 | | 44 | 120 | 41 | 124 | 6 | - | - | - | 335 | | |
| 万年雪 | | 3 | 10 | - | 36 | - | - | - | - | 49 | | |
| 石灰岩景観 | | カルスト地形 | - | 5 | 2 | 5 | 11 | 22 | 3 | 13 | 61 | |
| | ポリエンフェルト他 | - | 5 | - | - | - | 13 | 5 | 1 | 24 | | |
| | 鍾乳洞 | 1 | 7 | - | 2 | - | 23 | 6 | 6 | 45 | | |
| 特殊地学景観 | 鍾乳洞 | 7 | 17 | 21 | 31 | 18 | 122 | 35 | 49 | 300 | | |
| | 節理 | 9 | 15 | 3 | 48 | 10 | 1 | - | 7 | 93 | | |
| その他 | 節理 | 14 | 9 | 8 | 22 | 5 | 2 | - | 15 | 75 | | |
| | 上記以外の地形 | 8 | 53 | 19 | 74 | 18 | 19 | 8 | 34 | 233 | | |
| 河川景観 | 顕著な自然現象地形 | - | 8 | 18 | 21 | 4 | 2 | 3 | 13 | 69 | | |
| | 峡谷・溪谷 | 64 | 180 | 73 | 255 | 142 | 96 | 69 | 117 | 996 | | |
| 水 | 河成段丘 | 4 | 125 | 33 | 128 | 13 | 4 | 10 | 4 | 321 | | |
| | 自中蛇行河川 | 21 | 14 | 4 | 2 | - | - | - | 12 | 53 | | |
| | 侵入蛇行河川 | 3 | 12 | 12 | 21 | 25 | 10 | 4 | 8 | 95 | | |
| | 断崖・岩壁 | 12 | 34 | 30 | 86 | 24 | 7 | 5 | 31 | 229 | | |
| | 断崖 | - | 4 | 2 | 1 | 16 | - | 1 | 3 | 27 | | |
| | 岩峰・岩柱 | 3 | 11 | 3 | 17 | 3 | 3 | 1 | 40 | 81 | | |
| | 岩峰 | 4 | 8 | 11 | 32 | 9 | 6 | 6 | 35 | 111 | | |
| | 湖六群 | 1 | 6 | 5 | 26 | 9 | 9 | 6 | 24 | 86 | | |
| | 湖 | 71 | 515 | 286 | 594 | 412 | 132 | 184 | 294 | 2488 | | |
| | 天然橋・岩門・石門 | - | 4 | 1 | 1 | - | 9 | - | 3 | 18 | | |
| | 湖沼景観 | 湖沼 | 230 | 256 | 93 | 159 | 52 | 23 | 7 | 52 | 872 | |
| | | 湿原 | 53 | 214 | 55 | 97 | 11 | 12 | 2 | 19 | 463 | |
| | 海岸景観 | 海岸景観 | 溺れ谷 | - | 1 | 1 | 5 | 28 | 27 | 7 | 29 | 98 |
| | | 海成段丘 | 71 | 50 | 5 | 40 | 6 | - | 4 | 26 | 202 | |
| | | 断崖 | - | 2 | 1 | 4 | 2 | 2 | 3 | - | 14 | |
| | | 多島海岸 | 11 | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 22 | 36 | |
| | | 高砂 | - | 2 | 5 | 2 | 9 | 10 | 13 | 12 | 53 | |
| | | 隆起サンゴ礁 | - | - | - | - | - | - | - | 14 | 14 | |
| | | 砂浜・磯浜 | 89 | 59 | 67 | 72 | 51 | 39 | 60 | 195 | 632 | |
| | | 砂嘴 | 1 | 2 | 2 | 4 | 1 | 3 | 3 | 19 | 35 | |
| 砂州 | | 8 | 3 | 1 | 5 | 5 | 1 | 3 | 20 | 46 | | |
| 砂州 | | 4 | 2 | 3 | 6 | 9 | 15 | 21 | 25 | 85 | | |
| 砂州 | | 14 | 13 | 9 | 35 | 3 | 17 | 1 | 42 | 134 | | |
| 砂州 | | 17 | 6 | 16 | 15 | 13 | 4 | 8 | 12 | 91 | | |
| 海岸食崖 | | 122 | 132 | 71 | 62 | 61 | 35 | 112 | 139 | 734 | | |
| 海岸食崖 | | 17 | 6 | 16 | 15 | 13 | 4 | 8 | 12 | 91 | | |
| 海岸食崖 | | 57 | 43 | 12 | 8 | 11 | 20 | 7 | 39 | 197 | | |
| 海岸食崖 | | 1 | 11 | 10 | 17 | 15 | 19 | 10 | 42 | 125 | | |
| 海岸食崖 | | 3 | 5 | 5 | 13 | 5 | 8 | 13 | 10 | 62 | | |
| 海岸食崖 | | - | 4 | 1 | 2 | 3 | 1 | 5 | 2 | 17 | | |
| 海岸食崖 | | - | - | - | 1 | 2 | 1 | - | 3 | 8 | | |
| 海岸食崖 | | - | 1 | - | 1 | 1 | 4 | 6 | 6 | 19 | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 3 | 13 | 1 | 9 | 2 | 8 | 5 | 10 | 51 | | |
| | 岩脈 | 3 | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 4 | 16 | | |
| その他 | 岩脈群 | 19 | 4 | 6 | 34 | 1 | 3 | - | 20 | 87 | | |
| | 上記以外の地形 | 1 | 27 | 17 | 29 | 35 | 5 | 14 | 59 | 187 | | |
| 自然景観資源合計 | 顕著な自然現象地形 | - | 2 | - | 12 | - | - | 3 | - | 17 | | |
| | 自然景観資源合計 | 1548 | 3308 | 1626 | 3539 | 1412 | 1027 | 813 | 2195 | 15468 | | |

注) 複数地域にまたがる資源はそれぞれの地域でカウントしている。

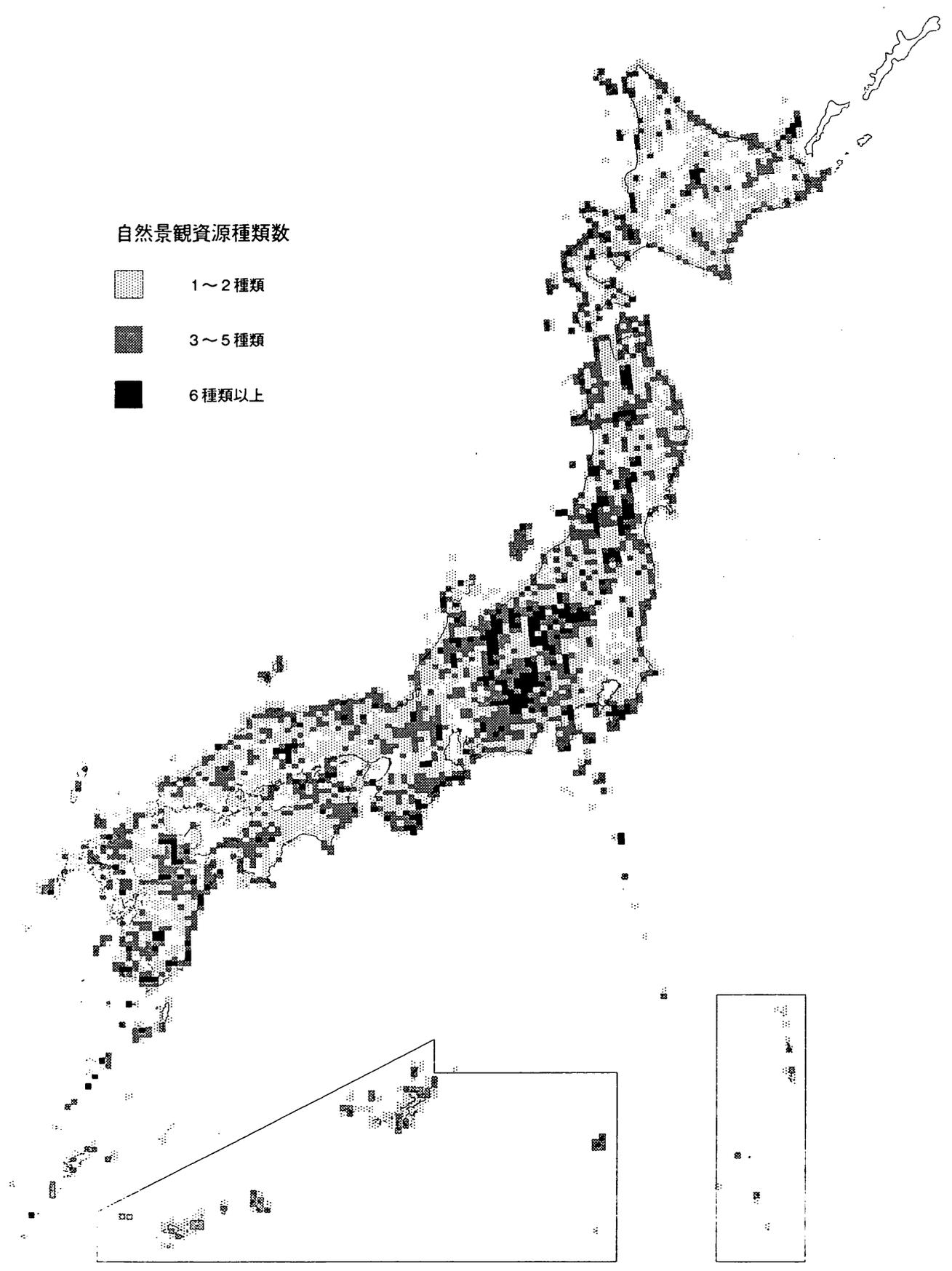


図 3 - 3 自然景観資源の重複度分布

表 3-3 高度（最高標高）別の自然景観資源数

| 類型 | 自然景観資源名 | 50m 未満 | 50～ 100 | 100～ 200 | 200～ 500 | 500～ 1000 | 1000～ 2000 | 2000～ 3000 | 3000～ 以上 | 不明 | 合計 | | | | | | | | | | |
|----------|---------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|---------------|-------------|------|------|------|-----|------|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | - | 1 | 5 | 19 | 45 | 116 | 36 | 6 | 12 | 240 | | | | | | | | | |
| | | 火山 | 6 | 10 | 33 | 107 | 236 | 557 | 193 | 10 | 6 | 1158 | | | | | | | | | |
| | | 火山性高原 | 1 | 2 | 5 | 27 | 49 | 77 | 16 | - | 6 | 183 | | | | | | | | | |
| | | 火山口・カルデラ | 3 | 2 | 10 | 29 | 50 | 87 | 59 | 5 | 33 | 278 | | | | | | | | | |
| | | カルデラ壁 | - | - | 2 | 5 | 12 | 14 | 8 | - | - | 1 | 42 | | | | | | | | |
| | | 流れ山群 | - | - | 4 | 11 | 7 | 3 | - | - | - | 1 | 26 | | | | | | | | |
| | | 特徴的な稜線 | - | - | - | - | 2 | 8 | 8 | - | - | - | 18 | | | | | | | | |
| | | 溶岩トラスル・風穴 | 4 | - | - | 3 | 8 | 12 | - | - | - | 5 | 32 | | | | | | | | |
| | | 溶岩末端崖 | - | - | 4 | 7 | 14 | 41 | 2 | - | - | 4 | 72 | | | | | | | | |
| | | 地獄・泥火山 | 1 | - | 3 | 6 | 14 | 21 | 1 | - | - | 6 | 52 | | | | | | | | |
| | | 噴泉 | 28 | 8 | 19 | 49 | 56 | 47 | 5 | - | 19 | 231 | | | | | | | | | |
| | | 噴気孔 | 1 | - | 2 | 2 | 10 | 15 | 4 | - | - | 6 | 40 | | | | | | | | |
| | | 間欠泉 | 2 | - | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - | 1 | 6 | | | | | | | | |
| | | 構造土 | - | - | - | - | - | 38 | 8 | - | - | 3 | 49 | | | | | | | | |
| | | 高山・亜高山域 | - | - | - | - | - | 9 | 96 | 50 | 3 | 6 | 164 | | | | | | | | |
| | | 万年雪 | - | - | - | - | - | - | 41 | 6 | - | 1 | 48 | | | | | | | | |
| | | 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | - | - | - | 30 | 93 | 130 | 28 | 8 | 17 | 306 | | | | | | | |
| | | | | 丘陵 | - | 1 | 11 | 32 | 8 | 1 | 1 | - | 2 | 56 | | | | | | | |
| | | | | 非火山性高原 | - | 1 | 5 | 24 | 77 | 63 | 7 | - | 2 | 179 | | | | | | | |
| | | | | 大断層崖 | - | - | 1 | 2 | 8 | 8 | - | - | - | 3 | 22 | | | | | | |
| 非火山性孤峰 | 2 | | | 8 | 75 | 354 | 349 | 176 | 21 | 1 | 7 | 993 | | | | | | | | | |
| U字谷 | - | | | - | - | - | 1 | 88 | 15 | - | - | 1 | 105 | | | | | | | | |
| カール | - | | | - | - | - | - | 34 | 80 | 10 | - | 124 | | | | | | | | | |
| 非対称山稜 | - | | | - | - | - | 1 | 51 | 20 | - | 1 | 73 | | | | | | | | | |
| 特徴的な稜線 | 1 | | | - | 2 | 3 | 4 | 24 | 35 | 14 | 3 | 86 | | | | | | | | | |
| モレ山稜 | - | | | - | - | - | - | 8 | 39 | - | - | 47 | | | | | | | | | |
| 二重崖 | - | | | - | - | - | 2 | 24 | 30 | 3 | 1 | 60 | | | | | | | | | |
| 断崖・岩壁 | - | | | 5 | 7 | 89 | 142 | 107 | 33 | 4 | 9 | 396 | | | | | | | | | |
| 断崖・斜面・岩海 | - | | | - | - | 3 | 3 | 17 | 2 | - | - | 1 | 26 | | | | | | | | |
| 断崖・岩柱 | - | | | - | - | 2 | 7 | 51 | 29 | - | - | 2 | 91 | | | | | | | | |
| 断崖・岩柱 | - | | | 2 | 9 | 21 | 42 | 39 | 28 | 3 | 4 | 148 | | | | | | | | | |
| 断崖・岩柱 | - | | | - | 1 | 3 | 6 | 3 | 2 | - | - | 1 | 16 | | | | | | | | |
| 断崖・岩柱 | - | | | - | 3 | 2 | 6 | 3 | 2 | - | - | 1 | 17 | | | | | | | | |
| 断崖・岩柱 | - | | | - | - | 1 | 47 | 213 | 66 | 4 | 4 | 335 | | | | | | | | | |
| 断崖・岩柱 | - | | | - | - | 1 | 1 | 27 | 18 | - | - | 2 | 49 | | | | | | | | |
| 水 | 石灰岩景観 | | | カルスト地形 | 2 | 5 | - | 23 | 17 | 11 | - | - | 3 | 61 | | | | | | | |
| | | ポリエレンフェルト他 | - | - | 10 | 5 | 4 | 5 | - | - | - | 24 | | | | | | | | | |
| | | 鍾乳洞 | 2 | 3 | 4 | 18 | 12 | 8 | - | - | - | 1 | 45 | | | | | | | | |
| | | 鍾乳洞 | 6 | 3 | 45 | 140 | 42 | 5 | - | - | - | 59 | 300 | | | | | | | | |
| | | 水 | 特殊地学景観 | 節理 | 5 | 6 | 10 | 30 | 21 | 12 | 1 | - | 8 | 93 | | | | | | | |
| | | | | 岩脈 | 11 | 2 | 5 | 14 | 27 | 9 | 1 | - | - | 6 | 75 | | | | | | |
| | | | | 水 | その他 | 上記以外の地形 | 15 | 29 | 14 | 33 | 46 | 59 | 10 | - | 27 | 233 | | | | | |
| | | | | | | 顕著な自然現象地形 | 4 | 3 | 7 | 16 | 17 | 8 | 2 | - | - | 12 | 69 | | | | |
| | | | | | | 水 | 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 5 | 20 | 107 | 280 | 303 | 131 | 8 | - | 142 | 996 | | | |
| | | | | | | | | 河成段丘 | 1 | 22 | 94 | 122 | 58 | 10 | - | - | - | 14 | 321 | | |
| | | | | | | | | 河成段丘 | 14 | 12 | 14 | 6 | - | - | - | - | - | 7 | 53 | | |
| | | | | | | | | 河成段丘 | 4 | 11 | 27 | 37 | 8 | 1 | - | - | - | 7 | 95 | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩壁 | 1 | 3 | 20 | 72 | 52 | 50 | 17 | 2 | 12 | 229 | | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩柱 | 4 | 10 | 5 | 2 | 2 | - | - | - | - | 4 | 27 | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩柱 | 1 | 1 | 6 | 32 | 26 | 9 | - | - | - | 6 | 81 | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩柱 | 17 | 14 | 22 | 37 | 13 | 1 | - | - | - | 7 | 111 | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩柱 | 6 | 14 | 19 | 25 | 7 | 1 | - | - | - | 14 | 86 | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩柱 | 34 | 76 | 211 | 812 | 802 | 338 | 6 | - | 209 | 2488 | | | |
| | | | | | | | | 断崖・岩柱 | - | - | 2 | 10 | 5 | - | - | - | - | 1 | 18 | | |
| | | | | | | | | 水 | 湖沼景観 | 湖沼 | 202 | 16 | 11 | 74 | 123 | 110 | 28 | - | 308 | 872 | |
| 湿原 | 30 | | | | | | | | | 5 | 6 | 27 | 74 | 193 | 22 | - | 106 | 463 | | | |
| 水 | 海岸景観 | | | | | | | | | 溺れ谷 | 14 | 5 | 7 | 4 | - | - | - | - | 68 | 98 | |
| | | | | | | | | | | 海成段丘 | 7 | 44 | 51 | 23 | - | - | - | - | - | 77 | 202 |
| | | | | | | | | | | 海成段丘 | - | 2 | 4 | 6 | - | - | - | - | - | 2 | 14 |
| | | 断崖・海岸 | 5 | | | | | | | 10 | 7 | 1 | - | - | - | - | - | 13 | 36 | | |
| | | 断崖・海岸 | 5 | | | | | | | 4 | 12 | 14 | - | - | - | - | - | 18 | 53 | | |
| | | 断崖・海岸 | 11 | 1 | - | | | | | - | - | - | - | - | - | 2 | 14 | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 349 | 8 | 1 | | | | | 1 | - | - | - | - | - | 273 | 632 | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 21 | 1 | - | - | - | | | - | - | - | - | 13 | 35 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 20 | - | - | - | - | | | - | - | - | - | 26 | 46 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 46 | - | 4 | - | - | | | - | - | - | - | 35 | 85 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 82 | 13 | 2 | - | - | | | - | - | - | - | 37 | 134 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 197 | 151 | 109 | 21 | 1 | | | - | - | - | - | 255 | 734 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 39 | - | - | - | - | | | - | - | - | - | 52 | 91 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 71 | 10 | 1 | - | - | | | - | - | - | - | 115 | 197 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 50 | 2 | 1 | - | - | | | - | - | - | - | 72 | 125 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 40 | 1 | 1 | - | - | | | - | - | - | - | 20 | 62 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 5 | - | - | - | - | | | - | - | - | - | 12 | 17 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 4 | 1 | - | - | - | | | - | - | - | - | 3 | 8 | | | | | | |
| | | 断崖・海岸 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | 17 | 19 | | | | | | | | |
| | | 水 | 特殊地学景観 | 節理 | 17 | 5 | 5 | 1 | 3 | 1 | - | - | 19 | 51 | | | | | | | |
| 岩脈 | 10 | | | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 4 | 16 | | | | | | | | |
| 湧泉群 | 18 | | | 8 | 8 | 19 | 12 | 7 | - | - | - | 15 | 87 | | | | | | | | |
| 水 | その他 | | | 上記以外の地形 | 75 | 17 | 9 | 18 | 12 | 4 | - | - | 52 | 187 | | | | | | | |
| | | | | 顕著な自然現象地形 | 1 | - | 2 | 4 | 2 | 3 | 1 | 1 | 3 | 17 | | | | | | | |
| | | | | 自然景観資源合計 | | 1502 | 575 | 1065 | 2760 | 3000 | 3217 | 948 | 74 | 2327 | 15468 | | | | | | |

2. 資源別の規模・特性

資源の規模や特性は、それぞれの資源名によって、調査項目や測定単位、分類等も当然異なっている。各資源ごとの調査項目と調査内容は「調査対象範囲及び特性記述の方法」（資料2…巻末）に記されている。

資源の規模や特性については、各資源ごとに集計を行なってみた。ただし、資源の数や記載状況にかなりバラツキがあり、極端に数の少ない資源や、記載状況の悪い項目については集計から除外した。

以下は資源ごとの規模・特性の集計結果である。

A 1-0 2. 火山

火山は地形・構造・噴火の様式がおのおの異なり、多種多様の型を成すが、火山型を表3-4のように分類した場合、成層火山が34.7%と最も多く、次に溶岩円頂丘(粘性の高い溶岩)の29.2%と、この両火山型で約64%を占めており、安山岩質の火山が卓越する島弧の火山の特徴を示している。盾状火山や溶岩台地は5.4%、2.6%と合計しても8%である。

火砕流台地は、面積的には広く分布するが、件数としては少数にとどまった。

標高別頻度では、1,000m~2,000mが48.1%と最も多く、日本の火山の約半分がこの標高に分布し、標高500m以上の火山が85%を占めている。

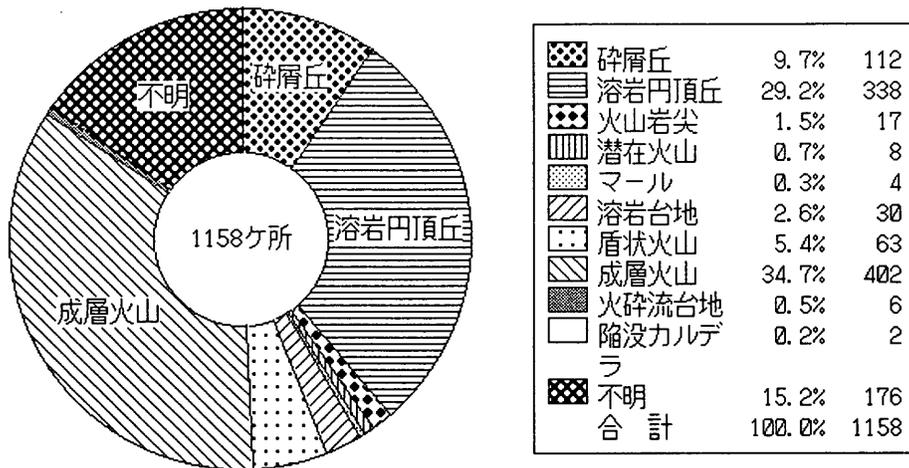


図 3-4 火山の火山型分類別資源比率

表 3-4 火山型分類別の資源数

| 特性 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 碎屑丘 | 6 | 32 | 38 | 6 | 3 | 3 | - | 24 | 112 |
| 溶岩円頂丘 | 30 | 59 | 58 | 56 | - | 34 | - | 101 | 338 |
| 火山岩尖 | - | 10 | 2 | 3 | - | 1 | - | 1 | 17 |
| 潜在火山 | 6 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | 8 |
| マール | - | - | 2 | - | - | - | - | 2 | 4 |
| 溶岩台地 | 1 | 2 | 3 | 4 | - | 8 | - | 12 | 30 |
| 楕状火山 | 18 | 24 | 12 | 4 | 1 | 2 | - | 2 | 63 |
| 成層火山 | 49 | 62 | 104 | 112 | 1 | 11 | - | 63 | 402 |
| 火砕流台地 | - | 2 | 2 | 2 | - | - | - | - | 6 |
| 陥没カルデラ | - | 2 | - | - | - | - | - | - | 2 |
| 不明 | 41 | 54 | 18 | 39 | - | 14 | - | 10 | 176 |
| 合計 | 151 | 248 | 239 | 227 | 5 | 73 | - | 215 | 1158 |

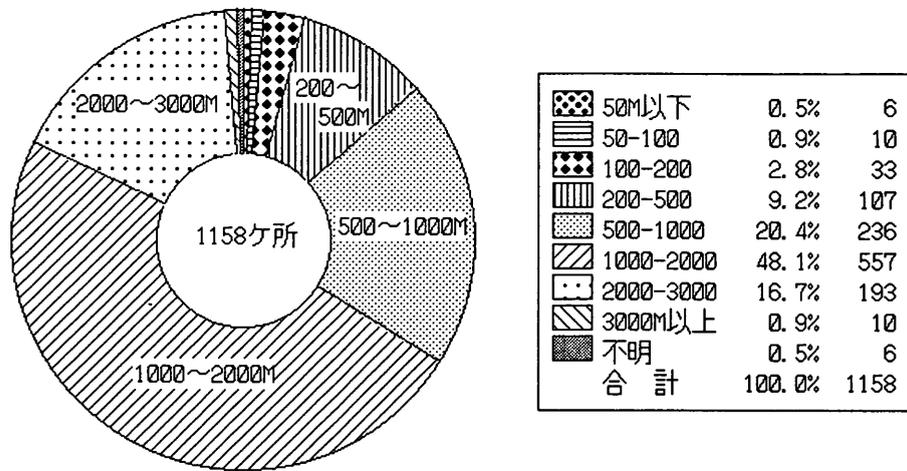


図 3 - 5 火山の標高別資源比率

表 3 - 5 火山の位置分類別の資源数

| 特 性 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 外輪山 | 12 | 23 | 29 | 29 | - | - | - | 8 | 101 |
| 中央火口丘 | 9 | 42 | 25 | 27 | 2 | - | - | 72 | 177 |
| 側火山 | 24 | 23 | 44 | 18 | - | - | - | 23 | 132 |
| 不 明 | 106 | 160 | 141 | 153 | 3 | 73 | - | 112 | 748 |
| 合 計 | 151 | 248 | 239 | 227 | 5 | 73 | - | 215 | 1158 |

A 1-0 3. 火山性高原

火山性高原としては、面積1km²以上のものが183ヶ所分布する。面積から観ると表3-6のように5km²未満のものが最も多く、約半分の56.8%を占め、最も広い50km²以上のものが1.6%(3ヶ所)で面積が大きくなるに従ってヶ所数が減る傾向にある。

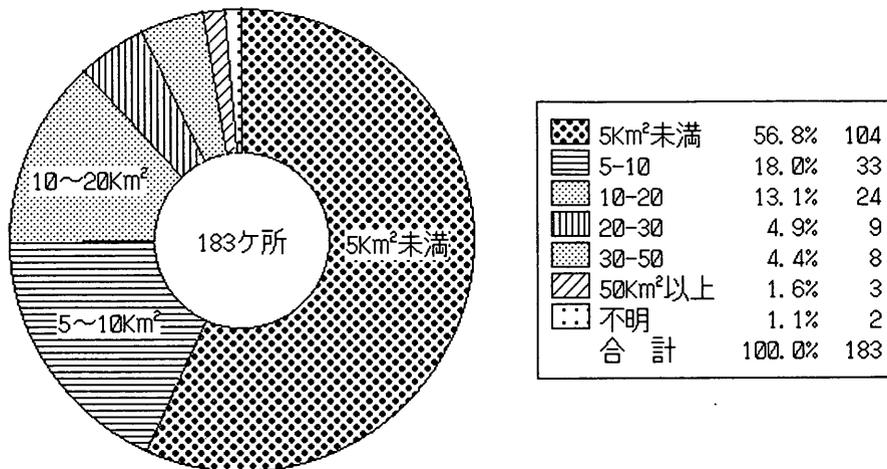


図3-6 火山性高原の面積別資源比率

表3-6 火山性高原の面積別資源数

| 面積 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 5km ² 未満 | - | 25 | 16 | 23 | 6 | 11 | - | 23 | 104 |
| 5~10km ² | - | 6 | 6 | 7 | 8 | 1 | - | 5 | 33 |
| 10~20km ² | - | 5 | 3 | 10 | - | 1 | - | 5 | 24 |
| 20~30km ² | - | 1 | - | 5 | - | 1 | - | 2 | 9 |
| 30~50km ² | - | 4 | - | 2 | - | - | - | 2 | 8 |
| 50km ² 以上 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 1 | 3 |
| 不明 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | 2 |
| 合計 | - | 43 | 26 | 48 | 14 | 14 | - | 38 | 183 |

A 1-0 4. 火口・カルデラ

本分類では、直径1 km未満の噴火口を火口とし、1 km以上のものをカルデラとした。その結果、火口・カルデラと分類されたものが278ヶ所あり、その内火口が181ヶ所であった。

長径・短径でみると火口が多いこともあり、2 km未満のものが長径で75.9%、短径で78.1%と全体の約3/4を占め、長径20 km以上のものが、2.9%（8つのカルデラ）である。次に、火口・カルデラの深さの観点から観ると、100m未満のものが8.1%と最も多く、最も深い800m以上のものが1.4%(4ヶ所)で、深くなるに従って箇数が減る傾向にある。

径20 km以上のカルデラは、北海道、東北（北部）、九州にのみ分布しており、巨大カルデラの日本列島における分布特性が改めて明らかになった。

火口・カルデラの長径・短径の度数分布を示したものが、図3-8、3-10である。これによると、短径1.0~1.1 kmに不連続があるように見える。一方、長径では、目立った不連続が見られない。このことから、守屋(1983)が指摘したように、噴火により直接形成される火口の直径の上限が1 km程度で、その大きさを反映しているのは短径であろう。

尚、短径1.1 kmを越えるもの及び長径は度数のバラツキが大きく、噴火の他に陥没・崩落などの影響が加わっていることが考えられる。

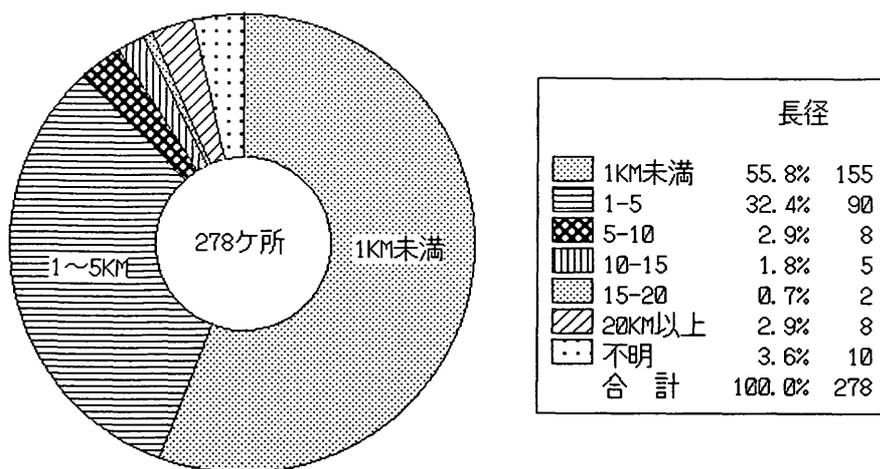


図3-7 火口・カルデラの長径別資源比率

表 3 - 7 火口・カルデラの長径別資源数

| 長 径 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 1Km未満 | 31 | 20 | 32 | 38 | - | 1 | - | 33 | 155 |
| 1～ 5km | 27 | 19 | 12 | 19 | - | - | - | 13 | 90 |
| 5～10km | 4 | 1 | 2 | - | - | - | - | 1 | 8 |
| 10～15km | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | 1 | 5 |
| 15～20km | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 2 |
| 20Km以上 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | 4 | 8 |
| 不 明 | - | 1 | 6 | 2 | - | - | - | 1 | 10 |
| 合 計 | 66 | 44 | 53 | 59 | - | 1 | - | 55 | 278 |

(注) 直径 1 K m 未満の噴火口を火口とし、 1 K m 以上をカルデラとした。

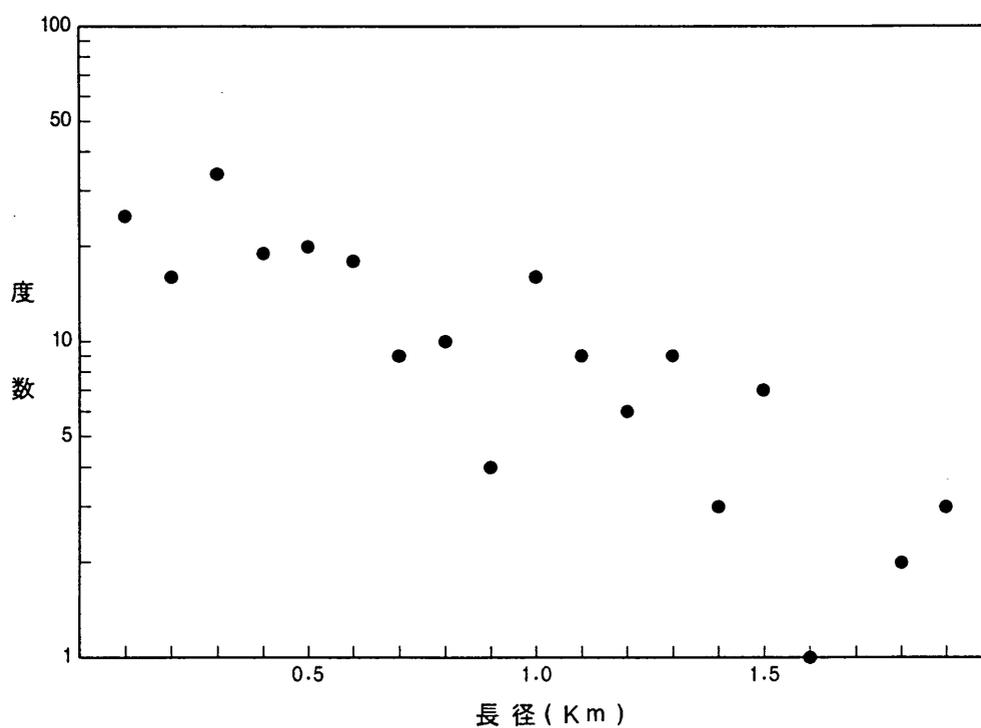


図 3 - 8 火口・カルデラの長径の度数分布

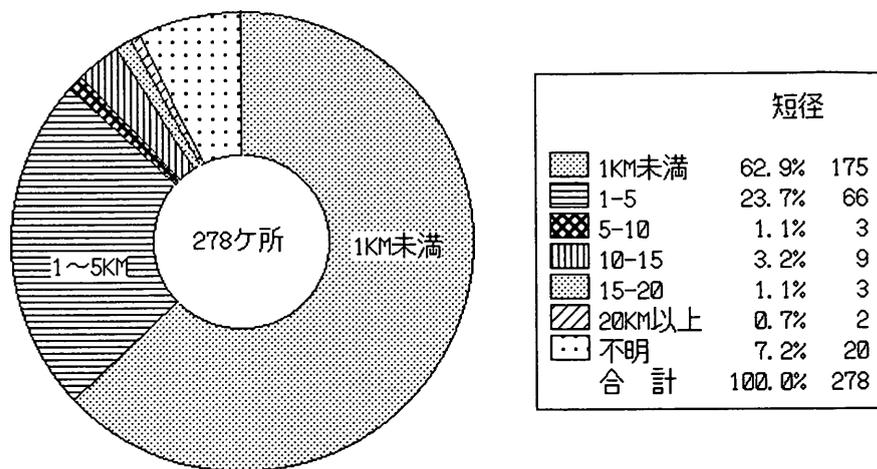


図 3-9 火山・カルデラの短径別資源比率

表 3-8 火山・カルデラの短径別資源数

| 短径 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 1Km未満 | 42 | 18 | 35 | 41 | - | 1 | - | 38 | 175 |
| 1~5km | 18 | 16 | 9 | 14 | - | - | - | 9 | 66 |
| 5~10km | 2 | - | 1 | - | - | - | - | - | 3 |
| 10~15km | 2 | 2 | 1 | - | - | - | - | 4 | 9 |
| 15~20km | 1 | - | - | - | - | - | - | 2 | 3 |
| 20Km以上 | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | 2 |
| 不明 | - | 8 | 7 | 4 | - | - | - | 1 | 20 |
| 合計 | 66 | 44 | 53 | 59 | - | 1 | - | 55 | 278 |

(注) 直径 1 Km 未満の噴火口を火山とし、1 Km 以上をカルデラとした。

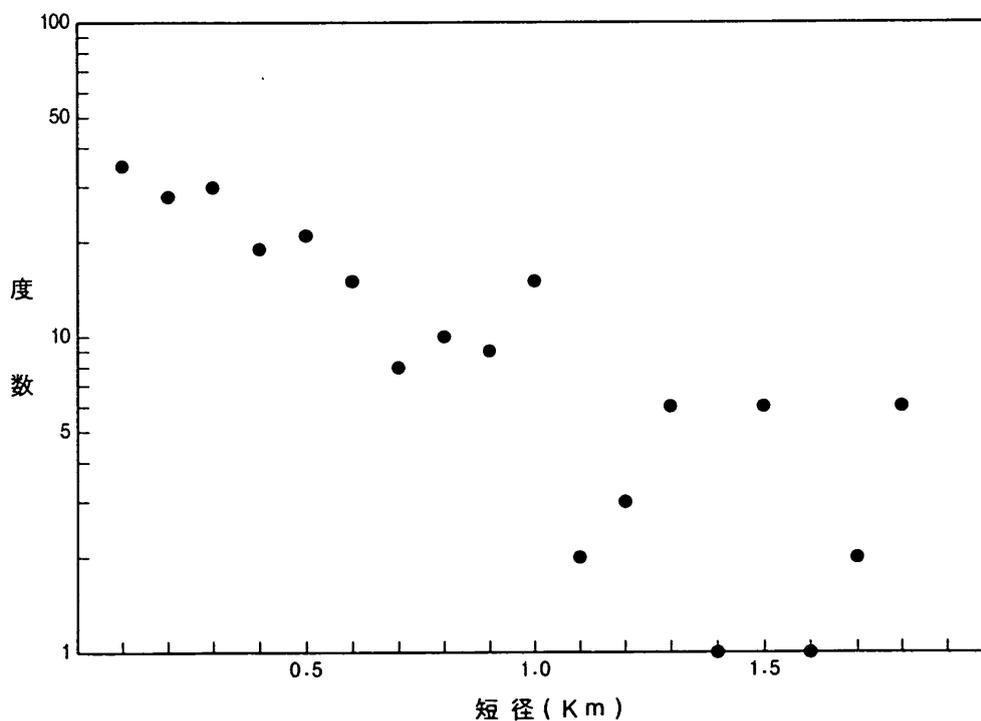


図 3-10 火山・カルデラの短径の度数分布

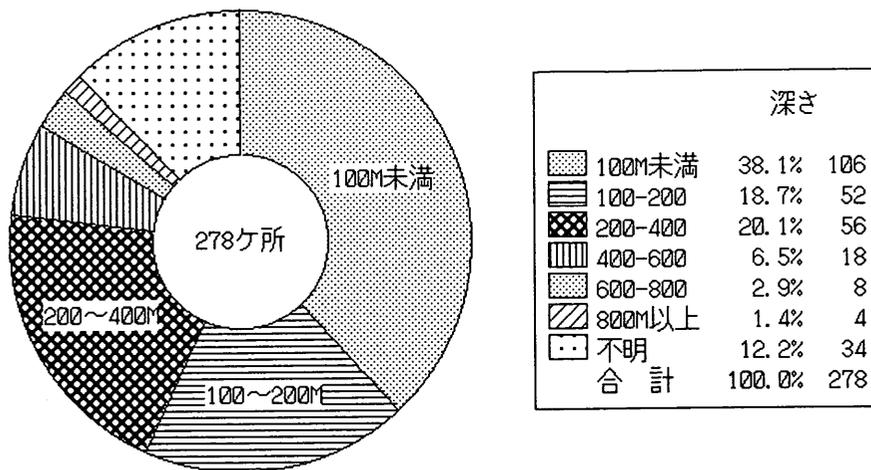


図 3-11 火口・カルデラの深さ別資源比率

表 3-9 火口・カルデラの深さ別資源数

| 深 さ | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 100m未満 | 24 | 9 | 21 | 30 | - | - | - | 22 | 106 |
| 100~200m | 14 | 3 | 11 | 8 | - | 1 | - | 15 | 52 |
| 200~400m | 19 | 15 | 7 | 9 | - | - | - | 6 | 56 |
| 400~600m | 6 | 4 | 3 | 3 | - | - | - | 2 | 18 |
| 600~800m | 1 | 1 | - | 4 | - | - | - | 2 | 8 |
| 800m以上 | - | 1 | 1 | 2 | - | - | - | - | 4 |
| 不 明 | 2 | 11 | 10 | 3 | - | - | - | 8 | 34 |
| 合 計 | 66 | 44 | 53 | 59 | - | 1 | - | 55 | 278 |

A 2-05. 非火山性孤峰

非火山性孤峰は全国で993カ所分布し、東北地方(227カ所)に最も多く、近畿地方(198カ所)中部地方(154カ所)に比較的多く分布する。比高の観点から観ると、比高100m～400mのものが71.5%(710カ所)と全体の約3/4を占めており、比高900m以上のものが0.9%(9カ所)分布し、そのうちの16カ所が中部地方に分布する。

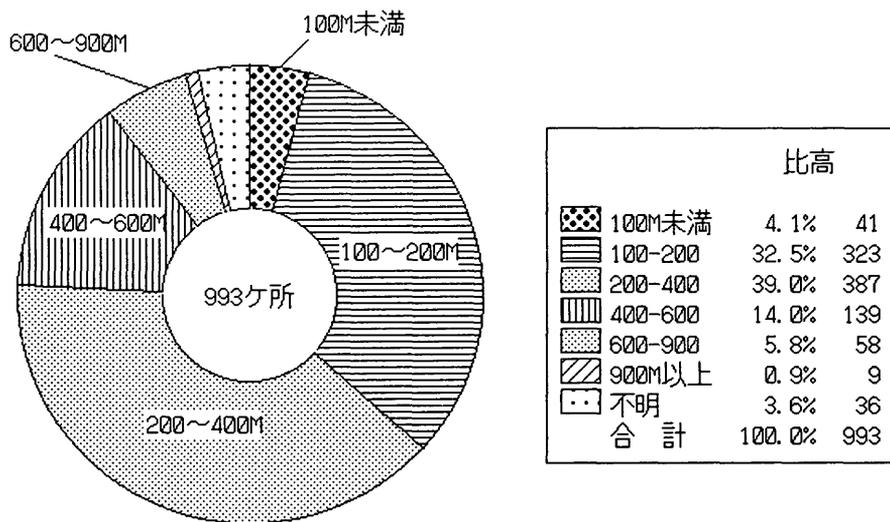


図 3-12 非火山性孤峰の比高別資源比率

表 3-10 非火山性孤峰の比高別資源数

| 比高 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|
| 100m未満 | 1 | 4 | 4 | 10 | 10 | 9 | - | 3 | 41 |
| 100～200m | 3 | 89 | 42 | 62 | 56 | 18 | 41 | 12 | 323 |
| 200～400m | 10 | 102 | 50 | 32 | 75 | 25 | 49 | 44 | 387 |
| 400～600m | 6 | 19 | 9 | 17 | 39 | 27 | 13 | 9 | 139 |
| 600～900m | 3 | 6 | 4 | 16 | 16 | 5 | 4 | 4 | 58 |
| 900m以上 | - | 1 | - | 6 | 1 | - | 1 | - | 9 |
| 不明 | - | 6 | - | 11 | 1 | 13 | 1 | 4 | 36 |
| 合計 | 23 | 227 | 109 | 154 | 198 | 97 | 109 | 76 | 993 |

A 2-07. カール

カールは中部地方と北海道に124ヵ所分布し、比高から観ると、100m～400mが73.4%(91ヵ所)と全体の3/4を占めている。最も比高のある900m以上のものが中部地方に2ヵ所分布する。

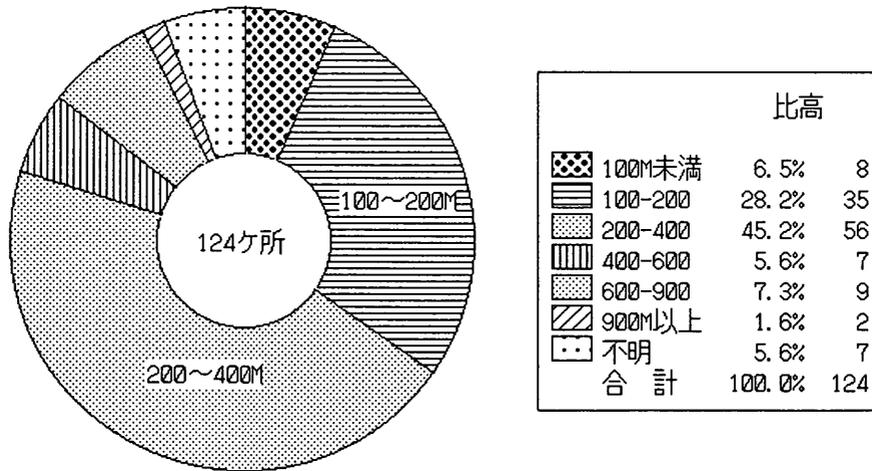


図 3-13 カールの比高別資源比率

表 3-11 カールの比高別資源数

| 比高 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 100m未満 | 4 | - | - | 4 | - | - | - | - | 8 |
| 100～200m | 19 | - | - | 16 | - | - | - | - | 35 |
| 200～400m | 11 | - | - | 45 | - | - | - | - | 56 |
| 400～600m | - | - | - | 7 | - | - | - | - | 7 |
| 600～900m | - | - | - | 9 | - | - | - | - | 9 |
| 900m以上 | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 2 |
| 不明 | - | - | - | 7 | - | - | - | - | 7 |
| 合計 | 34 | - | - | 90 | - | - | - | - | 124 |

A 2-10. モレーン

モレーンは中部地方41カ所、北海道6カ所の合計47カ所に分布し、北海道のものは比高5m未満のものであるが、中部地方のものは比高50～150mの所に22カ所分布し、最も比高のある300m以上のものが2カ所分布する。

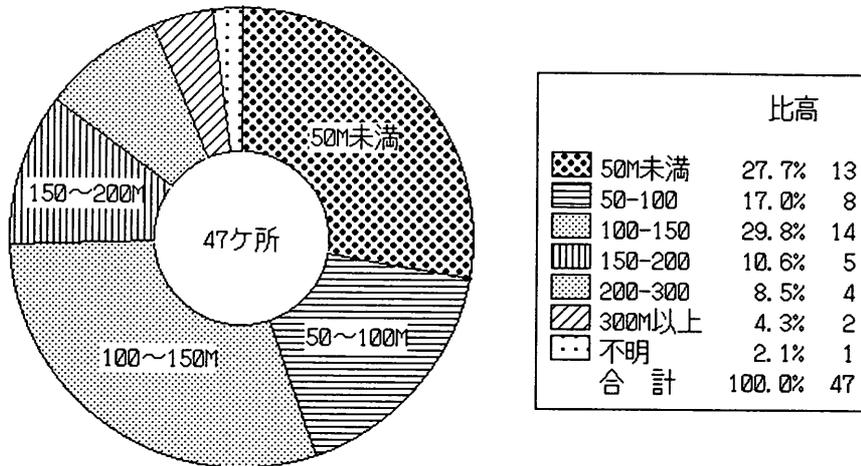


図 3-14 モレーンの比高別資源比率

表 3-12 モレーンの比高別資源数

| 比高 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 50m未満 | 6 | - | - | 7 | - | - | - | - | 13 |
| 50～100m | - | - | - | 8 | - | - | - | - | 8 |
| 100～150m | - | - | - | 14 | - | - | - | - | 14 |
| 150～200m | - | - | - | 5 | - | - | - | - | 5 |
| 200～300m | - | - | - | 4 | - | - | - | - | 4 |
| 300m以上 | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 2 |
| 不明 | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 |
| 合計 | 6 | - | - | 41 | - | - | - | - | 47 |

A 1-16. 万年雪（火山景観）

火山地域における万年雪は東北地方(38カ所)、中部地方(7カ所)、北海道(3カ所)の3地方に48カ所分布する。面積としては0.5ha未満のものが最も多く66.7%(32カ所)であり、最も大きな面積のものとしては10ha以上のもので全体の4.2%(2カ所)分布する。

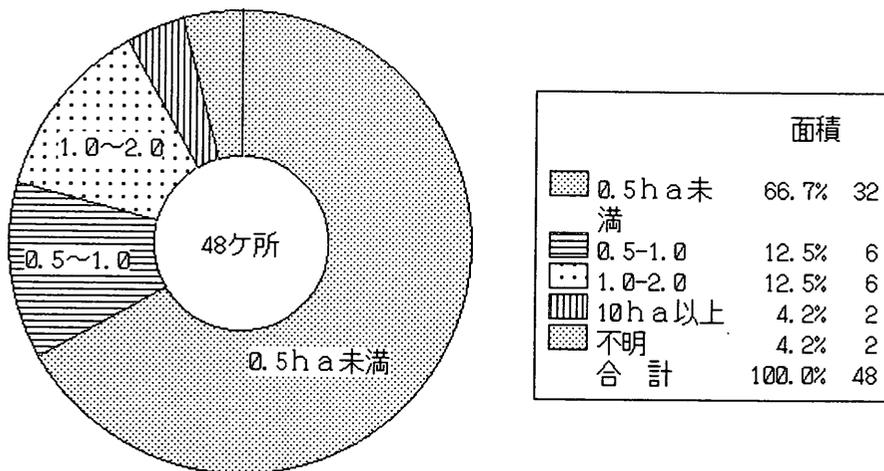


図 3-15 万年雪（火山景観）の面積別資源比率

表 3-13 万年雪（火山景観）の面積別資源数

| 面積 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 0.5ha未満 | - | 30 | - | 2 | - | - | - | - | 32 |
| 0.5~1.0ha | - | 5 | - | 1 | - | - | - | - | 6 |
| 1.0~2.0ha | 1 | 1 | - | 4 | - | - | - | - | 6 |
| 2.0~5.0ha | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5.0~10ha | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 10ha以上 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | 2 |
| 不明 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | 2 |
| 合計 | 3 | 38 | - | 7 | - | - | - | - | 48 |

A 2-19. 万年雪（山地景観）

非火山性山地の万年雪は火山地域と同様、中部地方に36ヵ所と最も多く分布し、東北地方10ヵ所、北海道3ヵ所の合計49ヵ所である。面積の観点から観た場合、2.0以上5.0未満のものが28.6%（14ヵ所）と最も多く、大きな面積を有する10ha以上のものは10.2%（5ヵ所）分布する。

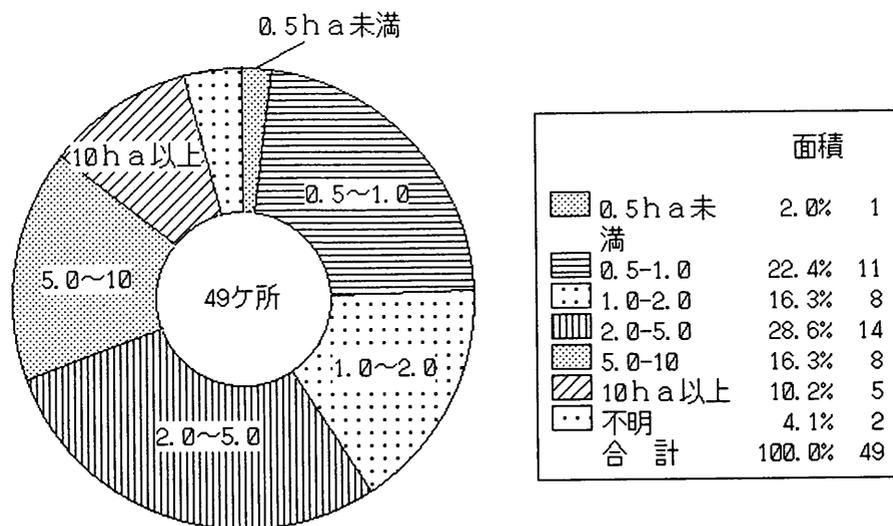


図 3-16 万年雪（山地景観）の面積別資源比率

表 3-14 万年雪（山地景観）の面積別資源数

| 面積 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 0.5ha未満 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 |
| 0.5~1.0ha | - | 6 | - | 5 | - | - | - | - | 11 |
| 1.0~2.0ha | - | 1 | - | 7 | - | - | - | - | 8 |
| 2.0~5.0ha | 2 | 2 | - | 10 | - | - | - | - | 14 |
| 5.0~10ha | 1 | - | - | 7 | - | - | - | - | 8 |
| 10ha以上 | - | - | - | 5 | - | - | - | - | 5 |
| 不明 | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 2 |
| 合計 | 3 | 10 | - | 36 | - | - | - | - | 49 |

A 3-01. カルスト地形

カルスト地形として抽出されたものは61ヵ所あり、面積的には100ha未満のものが全体の42.6%と約半数を占め、800ha以上の規模の大きなものが18.0%(11ヵ所)もある。地域性では中国地方(22ヵ所)に最も多く、次に九州、近畿の順である。

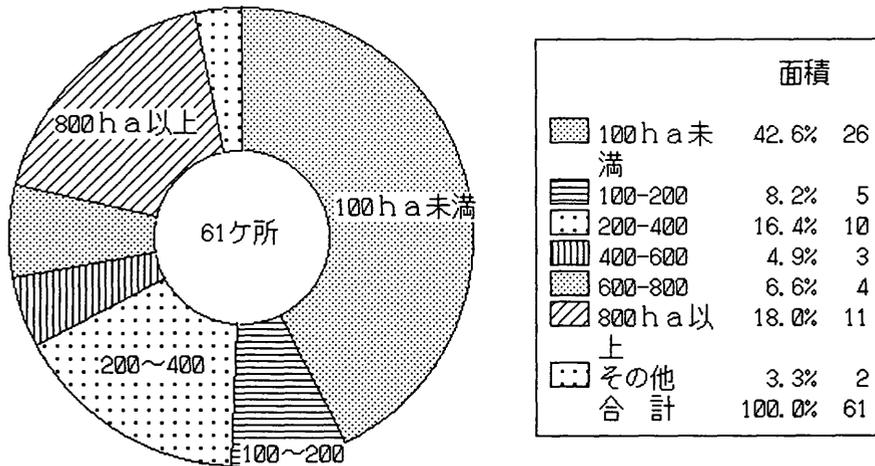


図 3-17 カルスト地形の面積別資源比率

表 3-15 カルスト地形の面積別資源数

| 面積 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 100ha未満 | - | 3 | 2 | 1 | 4 | 13 | - | 3 | 26 |
| 100~200ha | - | - | - | - | 2 | 1 | - | 2 | 5 |
| 200~400ha | - | 1 | - | - | 2 | 3 | 1 | 3 | 10 |
| 400~600ha | - | - | - | - | 1 | - | - | 2 | 3 |
| 600~800ha | - | - | - | - | 1 | 3 | - | - | 4 |
| 800ha以上 | - | 1 | - | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 11 |
| 不明 | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 2 |
| 合計 | - | 5 | 2 | 5 | 11 | 22 | 3 | 13 | 61 |

A 3-04. 鍾乳洞

抽出された鍾乳洞は300カ所で、分布から観ると、中国地方(122カ所)が最も多く集中し、九州地方(49カ所)、中国地方(35カ所)の順である。奥行延長の観点から観ると200m未満のものが全体の55%(165カ所)を占め、最も延長の長い2,000m以上の鍾乳洞が3.0%(9カ所)ある。

なお、鍾乳洞の地方別分布で中国・九州・四国地方で多くなっているのは、主に奥行きが浅い洞の数の差によるもので、奥行きが深いものについては、他地方との差は小さい。特に東北地方では全数の割に深い洞が多く、未発見の小さな洞が多数あるのではないかとと思われる。

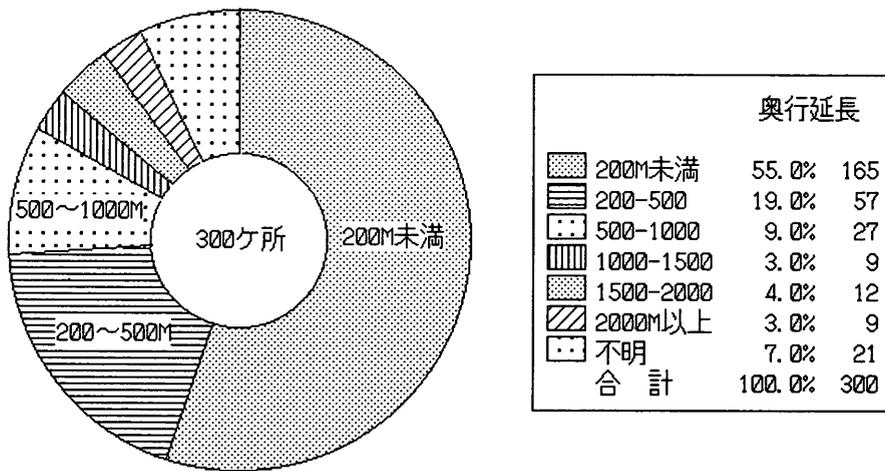


図 3-18 鍾乳洞の奥行延長別資源比率

表 3-16 鍾乳洞の奥行延長別資源数

| 奥行延長 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|------------|-----|----|----|----|----|-----|----|----|-----|
| 200m未満 | 6 | 3 | 16 | 9 | 13 | 85 | 23 | 10 | 165 |
| 200~500m | - | 3 | 3 | 6 | 3 | 18 | 5 | 19 | 57 |
| 500~1000m | - | 3 | 1 | 5 | - | 7 | 3 | 8 | 27 |
| 1000~1500m | - | 1 | - | 3 | - | 3 | 1 | 1 | 9 |
| 1500~2000m | - | 1 | - | 3 | - | 4 | - | 4 | 12 |
| 2000m以上 | - | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 9 |
| 不明 | 1 | 4 | - | 4 | 1 | 4 | 2 | 5 | 21 |
| 合計 | 7 | 17 | 21 | 31 | 18 | 122 | 35 | 49 | 300 |

B 1 - 1 0 . 滝

滝は2,488カ所抽出され、中部地方(594カ所)、東北地方(515カ所)、近畿地方(412カ所)に多く分布する。滝の落差の観点から観ると、20～50mの落差の滝が30.3%(755カ所)と最も多く、10～20m(22.7%),10m未満(16.5%)の順で、200m以上の滝が0.7%(18カ所)あり関東地方に集中している。

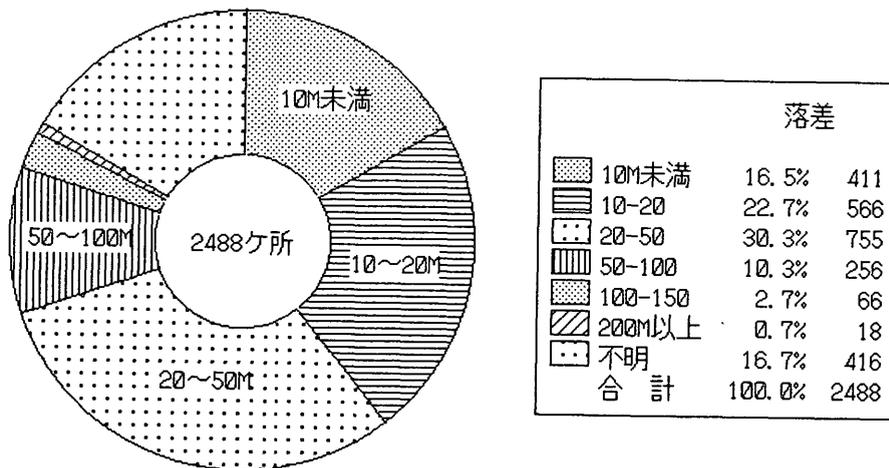


図 3 - 19 滝の落差別資源比率

表 3 - 17 滝の落差別資源数

| 落 差 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 10m未満 | 13 | 131 | 46 | 55 | 89 | 12 | 9 | 56 | 411 |
| 10～20m | 14 | 95 | 73 | 103 | 126 | 37 | 52 | 66 | 566 |
| 20～50m | 22 | 143 | 113 | 128 | 122 | 51 | 74 | 102 | 755 |
| 50～100m | 15 | 42 | 23 | 47 | 46 | 14 | 27 | 42 | 256 |
| 100～200m | 6 | 15 | 12 | 11 | 12 | 3 | 5 | 2 | 66 |
| 200m以上 | 1 | 2 | 7 | 3 | 3 | - | 1 | 1 | 18 |
| 不 明 | - | 87 | 12 | 247 | 14 | 15 | 16 | 25 | 416 |
| 合 計 | 71 | 515 | 286 | 594 | 412 | 132 | 184 | 294 | 2488 |

B 2 - 0 1 . 湖沼

短径50m以上の湖沼が全国から872カ所抽出され、分布は東北地方の(256カ所)、北海道(230カ所)、中部地方(159カ所)と、この三地方に集中して分布する。成因から観ると、堰止湖(火山、地震)が全体の20.6%(180カ所)と最も多く、その他19.5%(170カ所)、海跡湖17.2%(150カ所)の順である。

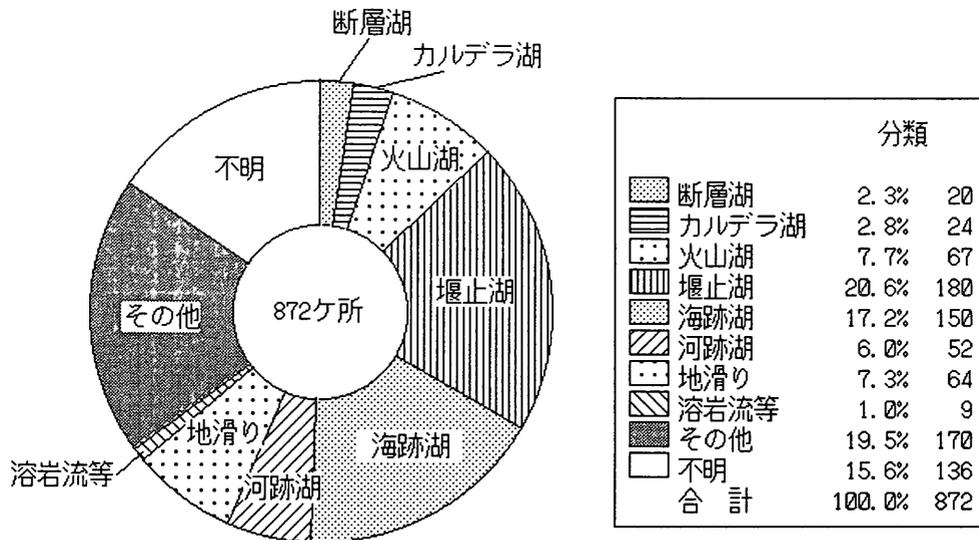


図 3 - 20 湖沼の成因別資源比率

表 3 - 18 湖沼の成因別資源数

| 特 性 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|------------|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|-----|
| 断層湖 | 3 | 5 | - | 11 | 1 | - | - | - | 20 |
| カルデラ湖 | 10 | 4 | 4 | 3 | - | - | - | 3 | 24 |
| 火山湖 | 7 | 21 | 5 | 19 | - | 1 | - | 14 | 67 |
| 堰止湖(火山・地震) | 21 | 96 | 20 | 21 | - | 9 | - | 13 | 180 |
| 海跡湖 | 64 | 14 | 8 | 8 | 30 | 8 | 4 | 14 | 150 |
| 河跡湖 | 33 | 4 | 6 | 6 | 3 | - | - | - | 52 |
| 地滑りによるもの | 9 | 42 | - | 10 | 1 | - | 1 | 1 | 64 |
| 溶岩流・泥流 | - | 3 | - | 6 | - | - | - | - | 9 |
| その他 | 38 | 32 | 49 | 24 | 15 | 3 | 2 | 7 | 170 |
| 不明 | 45 | 35 | 1 | 51 | 2 | 2 | - | - | 136 |
| 合 計 | 230 | 256 | 93 | 159 | 52 | 23 | 7 | 52 | 872 |

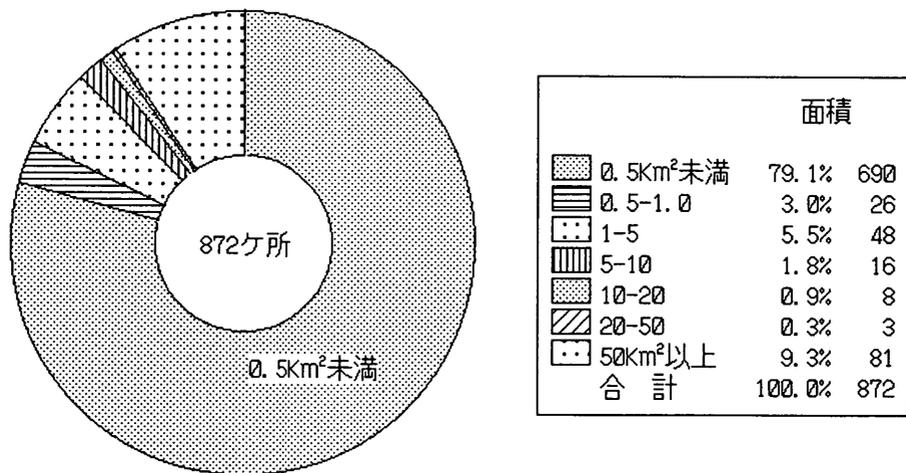


図 3-21 湖沼の面積別資源比率

表 3-19 湖沼の面積別資源数

| 面積 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|----------|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|-----|
| 0.5km²未満 | 189 | 218 | 73 | 96 | 45 | 17 | 7 | 45 | 690 |
| 0.5～1km² | 5 | 5 | 6 | 4 | 2 | 1 | - | 3 | 26 |
| 1～5km² | 16 | 16 | 5 | 8 | 2 | - | - | 1 | 48 |
| 5～10km² | 5 | 2 | 4 | 3 | - | 2 | - | - | 16 |
| 10～20km² | 3 | 2 | 2 | 1 | - | - | - | - | 8 |
| 20～50km² | 2 | - | 1 | - | - | - | - | - | 3 |
| 50km²以上 | 10 | 13 | 2 | 47 | 3 | 3 | - | 3 | 81 |
| 不明 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 230 | 256 | 93 | 159 | 52 | 23 | 7 | 52 | 872 |

B 2 - 0 2 . 湿原

短径50m以上の湿原が全国から463ヵ所抽出され、分布は東北地方に214ヵ所と最も多く集中分布し、そのうち113ヵ所が高層湿原である。面積の観点から観ると、10ha未満のものが51.6%(239ヵ所)と約半数を占め、10～50haのものが26.6%(123ヵ所)で、最も広い面積の1,000ha以上のものが6.7%(8ヵ所)ある。

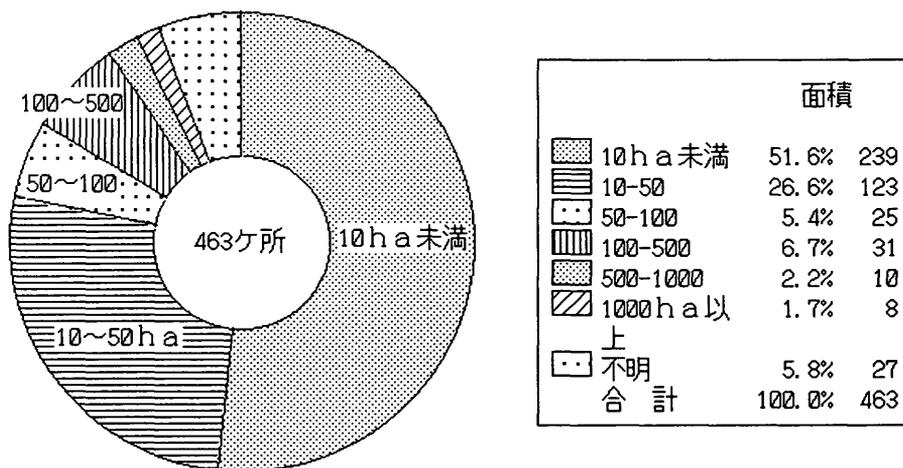


図 3 - 22 湿原の面積別資源比率

表 3 - 20 湿原の面積別資源数

| 面積 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|------------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 10ha未満 | 6 | 133 | 26 | 45 | 6 | 11 | 1 | 11 | 239 |
| 10～50ha | 4 | 62 | 22 | 22 | 4 | 1 | 1 | 7 | 123 |
| 50～100ha | 7 | 7 | 5 | 4 | 1 | - | - | 1 | 25 |
| 100～500ha | 19 | 8 | 1 | 3 | - | - | - | - | 31 |
| 500～1000ha | 8 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 10 |
| 1000ha以上 | 8 | - | - | - | - | - | - | - | 8 |
| 不明 | 1 | 3 | - | 23 | - | - | - | - | 27 |
| 合計 | 53 | 214 | 55 | 97 | 11 | 12 | 2 | 19 | 463 |

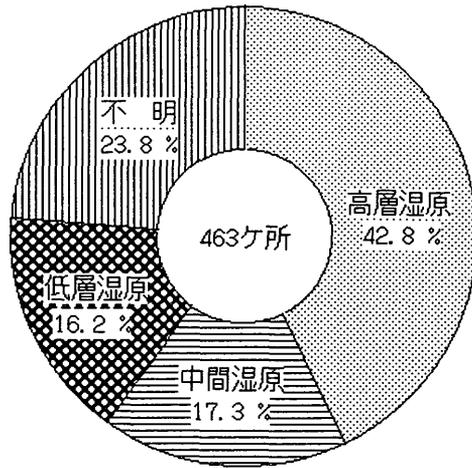


図 3-23 湿原の分類別資源比率

表 3-21 湿原の分類別資源数

| 特性 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 高層湿原 | 18 | 113 | 18 | 42 | 2 | 3 | - | 2 | 198 |
| 中間湿原 | - | 27 | 15 | 15 | 6 | 6 | 2 | 9 | 80 |
| 低層湿原 | 6 | 30 | 20 | 10 | 3 | 1 | - | 5 | 75 |
| 不明 | 29 | 44 | 2 | 30 | - | 2 | - | 3 | 110 |
| 合計 | 53 | 214 | 55 | 97 | 11 | 12 | 2 | 19 | 463 |

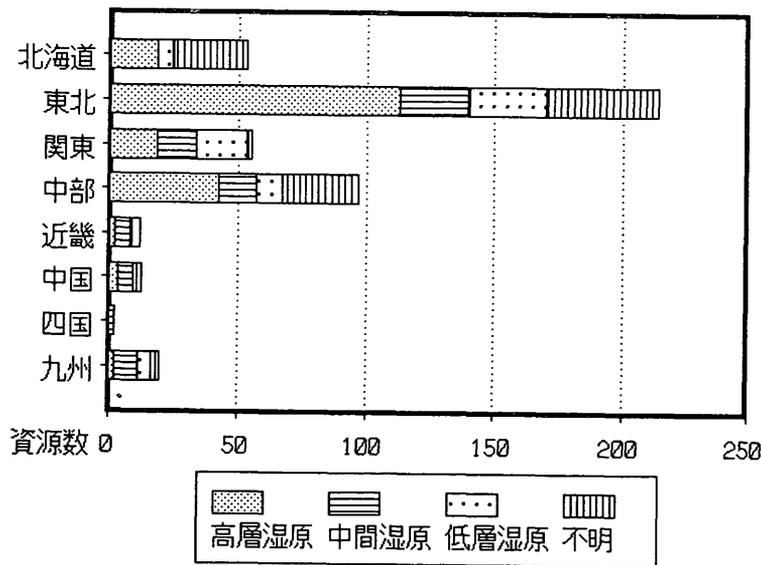


図 3-24 湿原分類別の地方別分布

B 3 - 0 7 . 砂浜・礫浜

砂浜・礫浜は632カ所分布し、九州地方に最も多く195カ所し、他の地方には平均50～60カ所分布する。延長としては、1～5kmのものが70.4%(445カ所)と大多数を占め、20km以上のものが3.8%(24カ所)である。

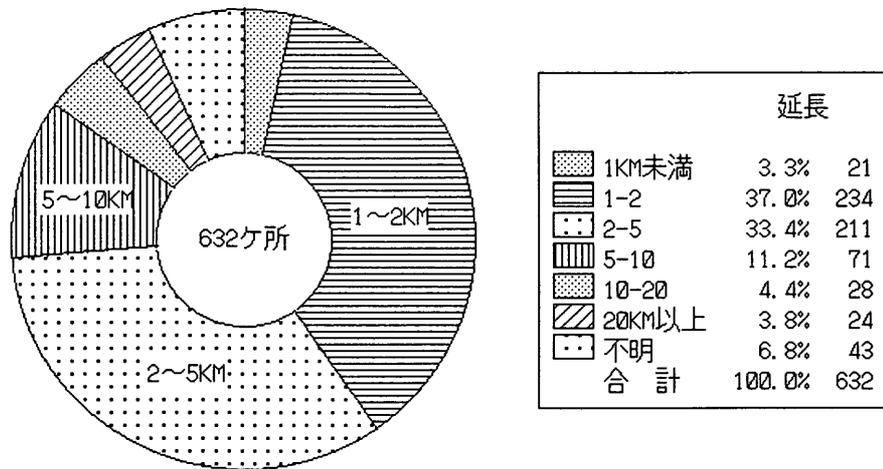


図 3 - 18 砂浜・礫浜の延長別資源比率

表 3 - 22 砂浜・礫浜の延長別資源数

| 延長 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 1km未満 | 1 | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 | 4 | 7 | 21 |
| 1～2km | 10 | 16 | 25 | 14 | 21 | 20 | 43 | 85 | 234 |
| 2～5km | 30 | 16 | 30 | 19 | 24 | 10 | 12 | 70 | 211 |
| 5～10km | 23 | 13 | 8 | 4 | 1 | 4 | 1 | 17 | 71 |
| 10～20km | 13 | 5 | 2 | - | 1 | 1 | - | 6 | 28 |
| 20km以上 | 12 | 6 | 1 | 1 | - | 2 | - | 2 | 24 |
| 不明 | - | - | - | 33 | 1 | 1 | - | 8 | 43 |
| 合計 | 89 | 59 | 67 | 72 | 51 | 39 | 60 | 195 | 632 |

表 3 - 23 砂浜・礫浜の分類別資源数

| 特性 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|-------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 砂浜 | 79 | 44 | 67 | 36 | 37 | 35 | 40 | 108 | 446 |
| 礫浜 | 6 | 7 | - | 3 | 14 | - | 20 | 65 | 115 |
| サンゴ砂浜 | - | - | - | - | - | - | - | 14 | 14 |
| 不明 | 4 | 8 | - | 33 | - | 4 | - | 8 | 57 |
| 合計 | 89 | 59 | 67 | 72 | 51 | 39 | 60 | 195 | 632 |

B 3 - 1 0 . 陸 け い 砂 州

陸けい砂州は全国に85カ所分布し、最も多く分布するのが九州地方(25カ所)で、四国地方(21カ所)、中国地方(15カ所)の順である。延長では200m未満が最も多く全体の30.6%(26カ所)で、最も長い5,000m以上が3.5%(「海の中道」など3カ所)であり、長くなるに従って資源数が減る傾向にある。

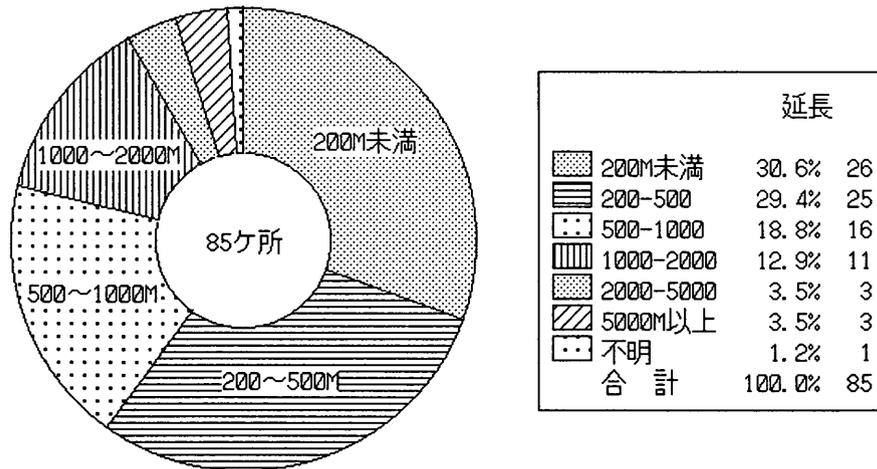


図 3 - 26 陸 け い 砂 州 の 延 長 別 資 源 比 率

表 3 - 24 陸 け い 砂 州 の 延 長 別 資 源 数

| 延 長 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 200m未満 | - | - | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 6 | 26 |
| 200~500m | 1 | - | - | 1 | 4 | 3 | 10 | 6 | 25 |
| 500~1000m | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 5 | 16 |
| 1000~2000m | 2 | - | - | 1 | 2 | 2 | - | 4 | 11 |
| 2000~5000m | - | 1 | - | - | - | 1 | - | 1 | 3 |
| 5000m以上 | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 3 |
| 不 明 | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 |
| 合 計 | 4 | 2 | 3 | 6 | 9 | 15 | 21 | 25 | 85 |

B 3 - 1 7 . 潮吹穴

潮吹穴は全国に17ヶ所分布し、吹上高の最も高い30m以上の分類に該当するものが2ヶ所あるが、最も多く分布するのは10～20mのもので全体の41.2% (7ヶ所)である。

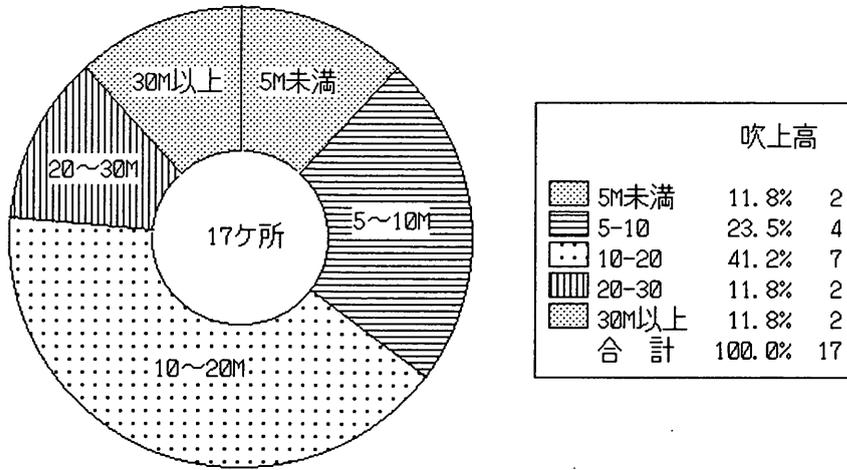


図 3 - 27 潮吹穴の吹上高別資源比率

表 3 - 25 潮吹穴の吹上高別資源数

| 吹上高 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|--------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 2m未満 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 2～5m | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 2 |
| 5～10m | - | 2 | - | - | 1 | - | 1 | - | 4 |
| 10～20m | - | - | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 20～30m | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 2 |
| 30m以上 | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 2 |
| 不明 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | - | 4 | 1 | 1 | 3 | 1 | 5 | 2 | 17 |

B 3 - 1 9 . 潮流・渦流

潮流は、流れが景観として認識されるものとし、渦流は、すべてを対象とした。全国で19カ所が抽出された。流速から観ると、最も速いのが九州八代海南端「黒ノ瀬戸」で12ノット、次いで「鳴門海峡」の11ノットである。10ノット以上が4カ所、5～10ノットが7カ所、5ノット未満が6カ所であった。尚、10ノット以上の資源は九州・四国地方に集中分布している。

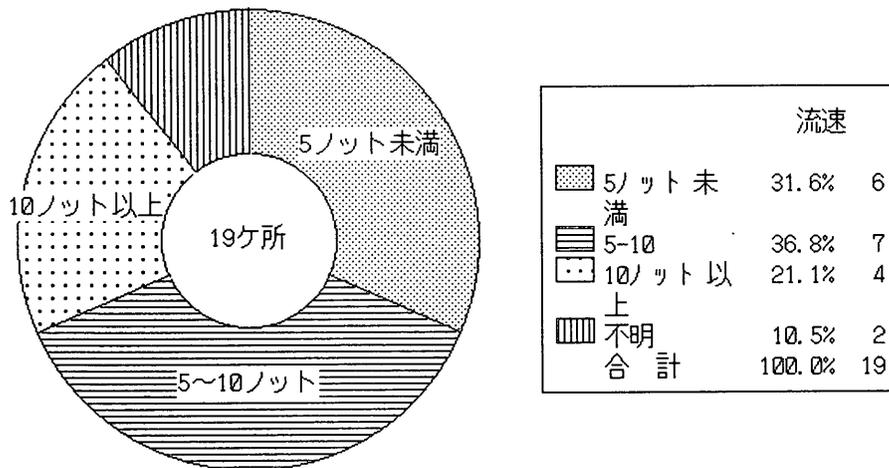


図 3 - 28 潮流・渦流の流速別資源比率

表 3 - 26 潮流・渦流の流速別資源数

| 流 速 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 全国計 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 5ノット未満 | - | 1 | - | - | - | 2 | - | 3 | 6 |
| 5～10ノット | - | - | - | - | 1 | 2 | 4 | - | 7 |
| 10ノット以上 | - | - | - | - | - | - | 1 | 3 | 4 |
| 不 明 | - | - | - | 1 | - | - | 1 | - | 2 |
| 合 計 | - | 1 | - | 1 | 1 | 4 | 6 | 6 | 19 |

3. 資源の眺望性

1) 資源の見られ方

自然景観資源の見られ方は、樹木を標準対象として、距離による見え方の違いによって分類し、以下のように区分している。

1. 近景……一本一本の樹木の葉、幹、あるいは枝ぶり等の特徴が視覚的に意味をもつ領域。距離にして約300m以内で見られる。
2. 中景……一本一本の樹木の樹冠を見分けることができるが、枝ぶり等は、もはやとらえることのできない領域。距離にして約300m～約4kmで見られる。
3. 遠景……一本一本の樹木の樹冠は、もはや見分けることができなく、大きな植生分布の変化や沢や谷が目につき、稜線など地形のアウトラインが視覚対象になる領域。距離にして約4km以上で見られる。

自然景観資源の見られ方の区分ごとの集計結果を図3-28、表3-26に示す。

資源の見られ方は資源全体で、近景が43.7%と最も多く、次いで中景の34.0%、遠景22.4%となっている。

今回の集計で対象とした景観資源は長径が10km以上の山地から数mの極微地形のものまで規模は様々で、それぞれの資源にはその規模に応じて最適の見られ方が存在しているものと考えられる。規模が大きい大地形の山脈・山地・高地、火山群と、中地形のうち多島海、非対称山稜等は遠くから眺望する資源として、遠景が半分以上を占めている。一方、極微地形に属するもののうち溶岩トンネル・風穴、間欠泉、構造土、鍾乳洞、天然橋・岩門・石門、甌穴群等は近づいて眺める資源であり、圧倒的に近景が多くなっている。その他の、極微地形である滝、淵、海食洞、噴気孔や節理等の特殊地学景観も近景が多くを占める。なお、火口・カルデラ、流れ山群、断崖・岩壁、火山海岸、砂州、海食崖、は中・小・微地形に含まれるが、これらは近・中・遠景がほぼ拮抗している。中～微地形資源の場合、視点の種類やアプローチ等の周辺条件にもかなり影響をうけているものと考えられる。

2) 視点の種類

自然景観資源が眺望される主な視点は、以下のように区分されている。

1. 広域・不特定……………広い範囲から見られ、特に視点の場は特定できない。
2. 広域・著名展望地……………広い範囲から見られるもので、かつ視点として評価の定着した展望地がある。
3. 限定・車道……………歩道・展望地から見られることもあるが、主として車道沿線から連続的な視点を得られる。
4. 限定・歩道……………歩道（登山道など）沿線から連続的な視点を得られる。
5. 限定・展望地……………視点は特定の展望地又は歩道で現地に入る場合に限られる。
6. 限定・船……………船による以外、視点は無い。
7. なし……………閉鎖的空間に存在したり、到達性が悪く、見られていない。

視点の種類ごとの集計結果は図3-29、表3-27に示すとおりである。資源全体についてみると視点の種類は、広域・不特定の地点からのものが全体の32.4%、歩道からのものが26.0%と多くなっており、限定・車道と限定・展望地がそれぞれ10%を超え、そのほかは少ない。

資源の見られ方と同様に、それぞれの資源の規模及び普遍性・希少性に応じた最適な視点に特定される傾向がうかがえる。

一般に規模が大きな資源は遠景で、視点はより不特定となり、小さいほど近景で視点が特定化される。また、希少性の高い資源も視点は特定化される傾向にある。

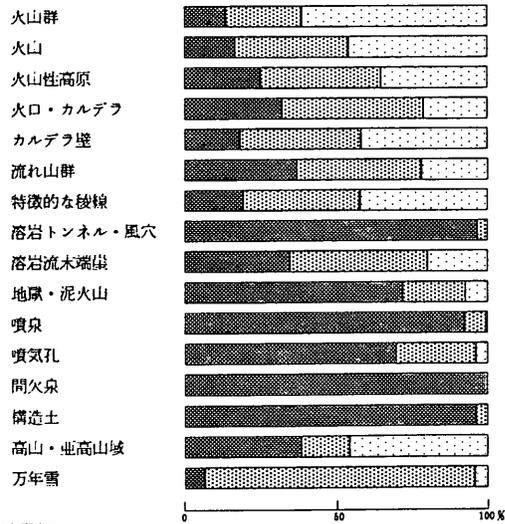
集計結果にあらわれているように、たとえば山脈・山地・高地、河成段丘、大断層崖、非火山性孤峰、火山群のように大地形単位か、中地形等であっても切り立つか突出、もしくは見降ろすなど比較的眺望のききやすいものについては、広域不特定の視点多くを占めている。一方、溶岩トンネル・風穴、地獄・泥火山、噴泉、カール、モレーン、構造土、鍾乳洞、滝、天然橋・岩門・石門、岩脈等の

極微地形ないし希少性の高いもの（学術的に貴重なもの等）は限定・歩道と限定・展望地の比率が高くなっている。

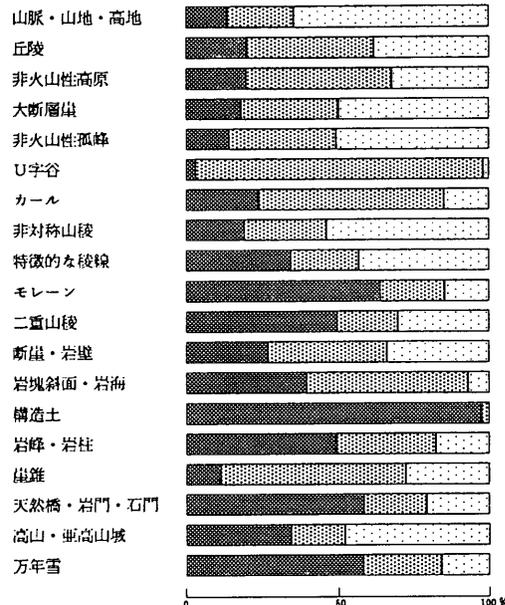
このほか河川景観では限定・車道（河川沿いの道路等）、海岸景観で限定・船がおおくなる。

陸景

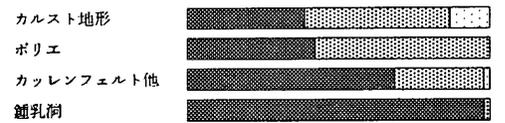
火山景観



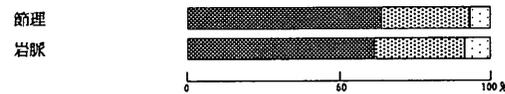
山地景観



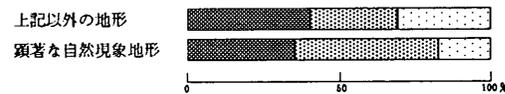
石灰岩景観



特殊地学景観

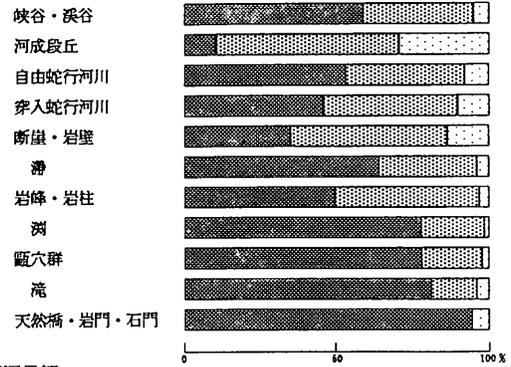


その他

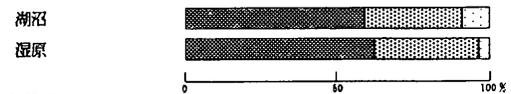


水景

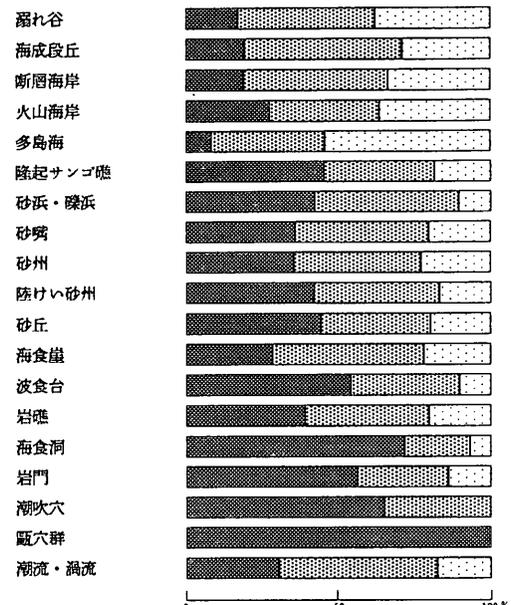
河川景観



湖沼景観



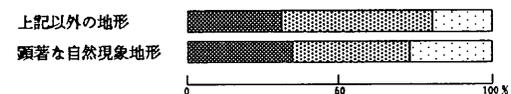
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

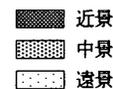


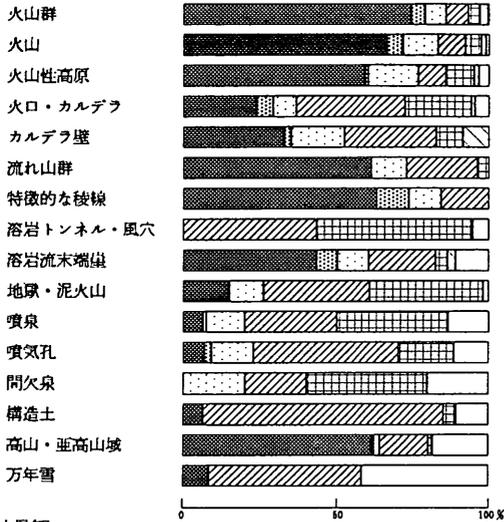
図 3-28 眺望性に係わる集計 (見られ方別) 全 国

表 3 -26 眺望性に係わる集計（見られ方別）

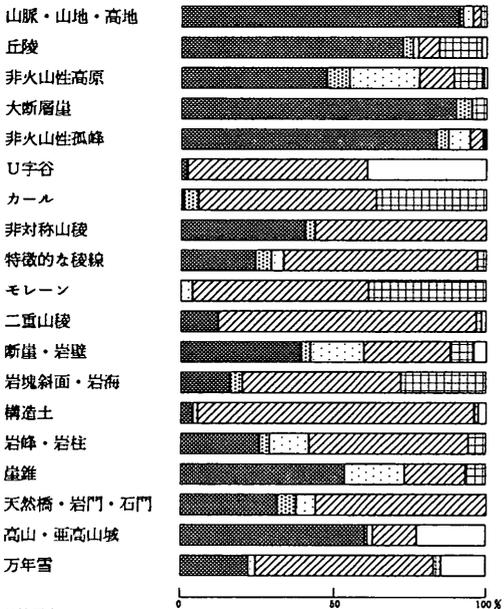
| 全 国 | | 単位：% | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|-------|-------|-------|-------|
| 類 型 | 自然景観資源名 | 近景 | 中景 | 遠景 | 合計 | | |
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 13.2 | 25.2 | 61.5 | 100.0 | |
| | | 火山 | 16.3 | 37.4 | 46.2 | 100.0 | |
| | | 火山性高原 | 24.7 | 39.9 | 35.4 | 100.0 | |
| | | 火口・カルデラ | 31.8 | 46.8 | 21.4 | 100.0 | |
| | | カルデラ壁 | 18.0 | 40.0 | 42.0 | 100.0 | |
| | | 流れ山群 | 36.6 | 41.5 | 22.0 | 100.0 | |
| | | 特徴的な稜線 | 19.2 | 38.5 | 42.3 | 100.0 | |
| | | 溶岩トンネル・風穴 | 96.6 | 3.4 | | 100.0 | |
| | | 溶岩流末端崖 | 34.3 | 45.7 | 20.0 | 100.0 | |
| | | 地獄・泥火山 | 71.6 | 20.9 | 7.5 | 100.0 | |
| | | 噴泉 | 92.2 | 7.3 | 0.5 | 100.0 | |
| | | 噴気孔 | 69.4 | 26.5 | 4.1 | 100.0 | |
| | | 間欠泉 | 100.0 | | | 100.0 | |
| | | 構造土 | 95.9 | 4.1 | | 100.0 | |
| | 高山・亜高山域 | 38.0 | 16.0 | 46.0 | 100.0 | | |
| | 万年雪 | 6.5 | 89.1 | 4.3 | 100.0 | | |
| | 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 13.3 | 21.9 | 64.8 | 100.0 |
| | | | 丘陵 | 19.8 | 42.0 | 38.3 | 100.0 |
| | | | 非火山性高原 | 19.4 | 48.3 | 32.2 | 100.0 |
| | | | 大断層崖 | 17.9 | 32.1 | 50.0 | 100.0 |
| 非火山性孤峰 | | | 13.8 | 35.3 | 50.9 | 100.0 | |
| U字谷 | | | 2.9 | 95.2 | 1.9 | 100.0 | |
| カーン | | | 23.6 | 61.4 | 15.0 | 100.0 | |
| 非対称山稜 | | | 18.8 | 27.1 | 54.1 | 100.0 | |
| 特徴的な稜線 | | | 34.0 | 22.7 | 43.3 | 100.0 | |
| モレーン | | | 63.8 | 21.3 | 14.9 | 100.0 | |
| 二重山稜 | | | 49.3 | 20.3 | 30.4 | 100.0 | |
| 断崖・岩壁 | | | 26.6 | 39.3 | 34.1 | 100.0 | |
| 岩塊斜面・岩海 | | | 39.3 | 53.6 | 7.1 | 100.0 | |
| 構造土 | | | 97.2 | 2.8 | | 100.0 | |
| 岩峰・岩柱 | | 49.2 | 33.0 | 17.8 | 100.0 | | |
| 崖壁 | | 11.1 | 61.1 | 27.8 | 100.0 | | |
| 天然橋・岩門・石門 | | 58.3 | 20.8 | 20.8 | 100.0 | | |
| 高山・亜高山域 | | 34.0 | 17.8 | 48.3 | 100.0 | | |
| 万年雪 | | 58.0 | 26.0 | 16.0 | 100.0 | | |
| 石灰岩景観 | | カルスト地形 | 38.3 | 48.3 | 13.3 | 100.0 | |
| | ポリエ | 41.7 | 58.3 | | 100.0 | | |
| | カッレンフェルト他 | 68.2 | 29.5 | 2.3 | 100.0 | | |
| | 鍾乳洞 | 97.9 | 2.1 | | 100.0 | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 63.7 | 29.4 | 6.9 | 100.0 | | |
| | 岩脈 | 61.4 | 30.0 | 8.6 | 100.0 | | |
| その他 | 上記以外の地形 | 39.9 | 29.3 | 30.8 | 100.0 | | |
| | 顕著な自然現象地形 | 34.9 | 47.7 | 17.4 | 100.0 | | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 58.8 | 36.2 | 5.1 | 100.0 | |
| | | 河成段丘 | 10.4 | 60.3 | 29.4 | 100.0 | |
| | | 自由蛇行河川 | 53.1 | 39.1 | 7.8 | 100.0 | |
| | | 穿入蛇行河川 | 45.8 | 44.1 | 10.2 | 100.0 | |
| | | 断崖・岩壁 | 35.0 | 51.5 | 13.5 | 100.0 | |
| | | 灘 | 64.0 | 32.0 | 4.0 | 100.0 | |
| | | 岩峰・岩柱 | 49.6 | 47.2 | 3.2 | 100.0 | |
| | | 淵 | 77.8 | 20.5 | 1.7 | 100.0 | |
| | | 藍穴群 | 78.0 | 19.8 | 2.2 | 100.0 | |
| | | 滝 | 81.1 | 14.9 | 4.0 | 100.0 | |
| | | 天然橋・岩門・石門 | 94.4 | | 5.6 | 100.0 | |
| | | 湖沼景観 | 湖沼 | 59.1 | 31.8 | 9.0 | 100.0 |
| | | | 湿原 | 62.2 | 34.2 | 3.6 | 100.0 |
| | | 海岸景観 | 溺れ谷 | 17.2 | 45.2 | 37.6 | 100.0 |
| | 海成段丘 | | 19.3 | 51.9 | 28.8 | 100.0 | |
| | 断層海岸 | | 19.0 | 47.6 | 33.3 | 100.0 | |
| | 火山海岸 | | 27.6 | 36.2 | 36.2 | 100.0 | |
| | 多島海 | | 8.3 | 37.5 | 54.2 | 100.0 | |
| | 隆起サンゴ礁 | | 45.5 | 36.4 | 18.2 | 100.0 | |
| | 砂浜・礫浜 | | 42.5 | 47.3 | 10.3 | 100.0 | |
| 砂嘴 | 36.0 | | 44.0 | 20.0 | 100.0 | | |
| 砂州 | 35.5 | | 41.9 | 22.6 | 100.0 | | |
| 陸けい砂州 | 42.2 | | 41.2 | 16.7 | 100.0 | | |
| 砂丘 | 44.4 | | 36.1 | 19.4 | 100.0 | | |
| 海食崖 | 28.5 | | 49.7 | 21.8 | 100.0 | | |
| 波食台 | 54.2 | | 35.8 | 10.0 | 100.0 | | |
| 岩礁 | 39.2 | | 40.7 | 20.1 | 100.0 | | |
| 海食洞 | 71.9 | 21.2 | 6.8 | 100.0 | | | |
| 岩門 | 56.3 | 29.9 | 13.8 | 100.0 | | | |
| 潮次穴 | 65.0 | 35.0 | | 100.0 | | | |
| 藍穴群 | 100.0 | | | 100.0 | | | |
| 潮流・渦流 | 30.4 | 52.2 | 17.4 | 100.0 | | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 63.3 | 30.0 | 6.7 | 100.0 | | |
| | 岩脈 | 55.0 | 35.0 | 10.0 | 100.0 | | |
| | 湧泉群 | 86.8 | 12.1 | 1.1 | 100.0 | | |
| その他 | 上記以外の地形 | 31.1 | 49.5 | 19.4 | 100.0 | | |
| | 顕著な自然現象地形 | 34.6 | 38.5 | 26.9 | 100.0 | | |
| 自然景観資源合計 | | 43.7 | 34.0 | 22.4 | 100.0 | | |

陸景

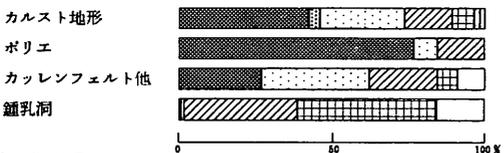
火山景觀



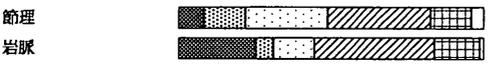
山地景觀



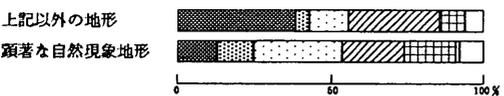
石灰岩景觀



特殊地学景觀

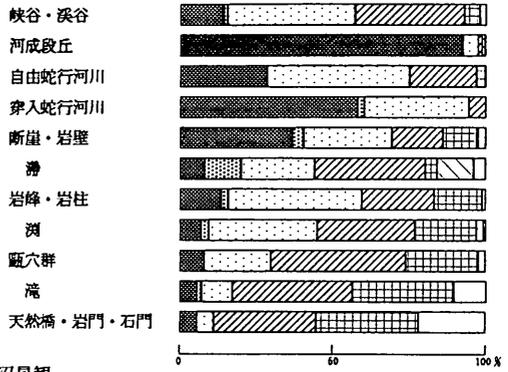


その他

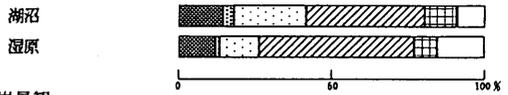


水景

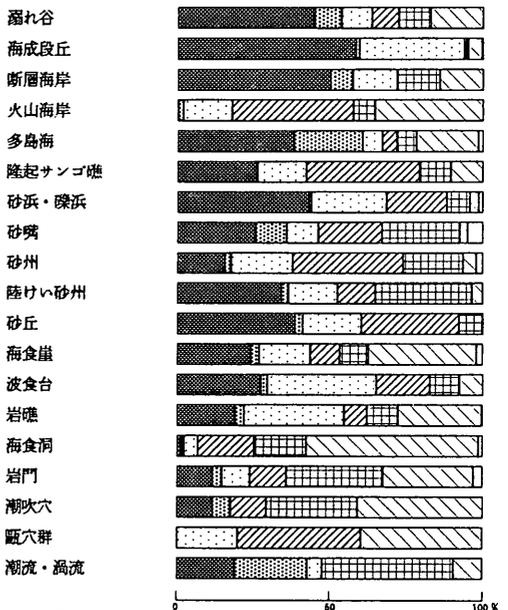
河川景觀



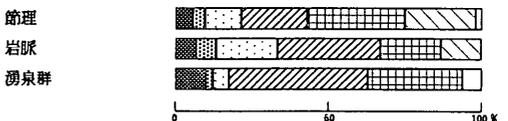
湖沼景觀



海岸景觀



特殊地学景觀



その他



凡例

- 広域・不特定
- ▨ 広域・著名展望地
- ▩ 限定・車道
- ▧ 限定・歩道
- ▦ 限定・展望地
- ▧ 限定・船
- なし

図 3-29 眺望性に係わる集計 (視点の種類別) 全国

表3-27 眺望性に係わる集計（視点の種類別）

| 全 国 | | 単位：％ | | | | | | | 合計 | | |
|-----------|-----------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------|------------|----------------|-------|
| 類 型 | 自然景観資源名 | 広 域 不特定 | 展 望 地 | 車 道 | 限 定 歩 道 | 展 望 地 | 船 | なし | | | |
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 74.3 | 4.7 | 6.8 | 7.3 | 3.7 | 2.6 | 0.5 | 100.0 | |
| | | 火山 | 66.5 | 5.1 | 11.5 | 9.0 | 5.2 | 1.5 | 1.1 | 100.0 | |
| | | 火山性高原 | 59.3 | 1.1 | 16.4 | 9.0 | 9.0 | 1.7 | 3.4 | 100.0 | |
| | | 火口・カルデラ | 23.5 | 5.5 | 7.5 | 35.8 | 21.8 | 1.0 | 4.8 | 100.0 | |
| | | カルデラ壁 | 32.6 | 2.2 | 17.4 | 30.4 | 8.7 | 8.7 | | 100.0 | |
| | | 流れ山群 | 61.5 | | 11.5 | 23.1 | 3.8 | | | 100.0 | |
| | | 特徴的な稜線 | 63.2 | 10.5 | 10.5 | 15.8 | | | | 100.0 | |
| | | 溶岩トンネル・風穴 | | | | 43.2 | 51.4 | | 5.4 | 100.0 | |
| | | 溶岩流末端崖 | 43.2 | 6.8 | 10.8 | 21.6 | 4.1 | 2.7 | 10.8 | 100.0 | |
| | | 地獄・泥火山 | 14.8 | | 11.1 | 35.2 | 37.0 | | 1.9 | 100.0 | |
| | | 噴泉 | 6.5 | 0.9 | 12.4 | 30.0 | 36.9 | | 13.4 | 100.0 | |
| | | 噴気孔 | 6.8 | 2.3 | 13.6 | 47.7 | 18.2 | | 11.4 | 100.0 | |
| | | 間欠泉 | | | | 20.0 | 40.0 | | 20.0 | 100.0 | |
| | | 構造土 | 6.4 | | | 78.7 | 4.3 | | 10.6 | 100.0 | |
| | | 高山・亜高山域 | 61.9 | 0.7 | 2.0 | 15.6 | 1.4 | | 18.4 | 100.0 | |
| | | 万年雪 | 8.3 | | | 50.0 | | | 41.7 | 100.0 | |
| | | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 91.1 | 1.1 | 3.2 | 2.5 | 2.1 | | | 100.0 |
| | 丘陵 | | 72.4 | 3.4 | 1.7 | 6.9 | 13.8 | | 1.7 | 100.0 | |
| | 非火山性高原 | | 47.2 | 7.4 | 23.3 | 11.4 | 9.1 | 0.6 | 1.1 | 100.0 | |
| | 大断層崖 | | 90.0 | 5.0 | | | 5.0 | | | 100.0 | |
| | 非火山性孤峰 | | 83.5 | 4.1 | 6.9 | 4.2 | 0.8 | 0.6 | | 100.0 | |
| | U字谷 | | 2.1 | | | 58.9 | | | 38.9 | 100.0 | |
| | カーネル | | 0.9 | 4.7 | | 58.5 | 35.8 | | | 100.0 | |
| | 非対称山稜 | | 40.3 | 3.2 | | 56.5 | 3.0 | | | 100.0 | |
| | 特徴的な稜線 | | 24.2 | 5.1 | 4.0 | 63.6 | 3.0 | | | 100.0 | |
| | モレーン | | | | 3.8 | 57.7 | 38.5 | | | 100.0 | |
| | 二重山稜 | | 12.1 | | | 84.5 | 1.7 | | 1.7 | 100.0 | |
| 断崖・岩壁 | 39.0 | | 3.1 | 17.9 | 28.3 | 7.3 | 0.3 | 4.2 | 100.0 | | |
| 岩塊斜面・岩海 | 16.0 | | 4.0 | | 52.0 | 28.0 | | | 100.0 | | |
| 構造土 | 4.1 | | | 1.4 | 90.5 | 1.4 | | 2.7 | 100.0 | | |
| 岩峰・岩柱 | 25.6 | | 3.2 | 12.8 | 52.6 | 5.8 | | | 100.0 | | |
| 崖壁 | 53.3 | | | 20.0 | 20.0 | 6.7 | | | 100.0 | | |
| 天然橋・岩門・石門 | 31.3 | | 6.3 | 6.3 | 56.3 | | | | 100.0 | | |
| 高山・亜高山域 | 60.4 | | 1.0 | 1.7 | 14.3 | | | 22.5 | 100.0 | | |
| 万年雪 | 22.0 | | 2.4 | 58.5 | 2.4 | | 14.6 | 100.0 | | | |
| 石灰岩景観 | カルスト地形 | 42.1 | 3.5 | 28.1 | 15.8 | 7.0 | 1.8 | 1.8 | 100.0 | | |
| | ポリエ | 76.9 | | 7.7 | 15.4 | | | | 100.0 | | |
| | カッレンフェルト他 | 26.7 | | 35.6 | 22.2 | 6.7 | | 8.9 | 100.0 | | |
| | 鍾乳洞 | 0.7 | | 1.0 | 36.7 | 45.8 | | 15.7 | 100.0 | | |
| | 特殊地学景観 | 節理 岩脈 | 8.2 25.0 | 13.4 5.9 | 26.8 13.2 | 34.0 39.7 | 13.4 14.7 | | 4.1 1.5 | 100.0 100.0 | |
| その他 | 上記以外の地形 | 38.2 | 4.4 | 12.7 | 30.3 | 8.3 | | 6.1 | 100.0 | | |
| | 顕著な自然現象地形 | 13.0 | 11.7 | 28.6 | 20.8 | 16.9 | 1.3 | 7.8 | 100.0 | | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 14.3 | 1.2 | 41.4 | 36.0 | 5.0 | 0.2 | 2.0 | 100.0 | |
| | | 河成段丘 | 91.9 | 0.6 | 4.9 | 1.3 | 1.0 | | 0.3 | 100.0 | |
| | | 自由蛇行河川 | 28.6 | | 46.0 | 22.2 | 3.2 | | | 100.0 | |
| | | 穿入蛇行河川 | 57.8 | 2.2 | 34.4 | 5.6 | | | | 100.0 | |
| | | 断崖・岩壁 | 36.6 | 3.8 | 28.5 | 17.0 | 11.1 | 0.4 | 2.6 | 100.0 | |
| | | 岩峰・岩柱 | 8.0 | 12.0 | 24.0 | 36.0 | 4.0 | 12.0 | 4.0 | 100.0 | |
| | | 滝 | 13.6 | 2.3 | 43.2 | 23.9 | 15.9 | | 1.1 | 100.0 | |
| | | 滝 | 7.1 | 2.4 | 35.4 | 31.5 | 20.5 | 2.4 | 0.8 | 100.0 | |
| | | 滝穴群 | 8.0 | | 21.8 | 43.7 | 24.1 | | 2.3 | 100.0 | |
| | | 滝 | 5.7 | 1.5 | 10.0 | 39.1 | 33.0 | 0.4 | 10.5 | 100.0 | |
| | | 天然橋・岩門・石門 | 5.6 | | 5.6 | 33.3 | 33.3 | | 22.2 | 100.0 | |
| | 湖沼景観 | 湖沼 | 14.6 | 3.6 | 23.5 | 38.3 | 10.7 | 0.3 | 9.0 | 100.0 | |
| | | 湿原 | 12.1 | 1.4 | 12.8 | 50.1 | 7.8 | 0.2 | 15.6 | 100.0 | |
| | | 海岸景観 | 溺れ谷 | 44.7 | 8.7 | 9.7 | 8.7 | 10.7 | 17.5 | | 100.0 |
| | | | 海成段丘 | 58.1 | 1.0 | 34.5 | 0.5 | 1.0 | 4.4 | 0.5 | 100.0 |
| | 断層海岸 | | 50.0 | 7.1 | 14.3 | | 14.3 | 14.3 | | 100.0 | |
| | 火山海岸 | | | 1.8 | 16.1 | 39.3 | 7.1 | 35.7 | | 100.0 | |
| | 多島海 | | 38.1 | 22.2 | 6.3 | 4.8 | 6.3 | 20.6 | 1.6 | 100.0 | |
| | 隆起サンゴ礁 | | 26.3 | | 15.8 | 36.8 | 10.5 | 10.5 | | 100.0 | |
| 砂浜・礫浜 | 43.1 | | 0.9 | 24.0 | 20.0 | 7.6 | 3.0 | 1.4 | 100.0 | | |
| 砂嘴 | 25.6 | | 10.3 | 10.3 | 20.5 | 25.6 | 2.6 | 5.1 | 100.0 | | |
| 砂州 | 15.6 | 2.2 | 20.0 | 35.6 | 20.0 | 4.4 | 2.2 | 100.0 | | | |
| 陸けい砂州 | 34.1 | 2.4 | 15.9 | 12.2 | 31.7 | 3.7 | | 100.0 | | | |
| 砂丘 | 38.6 | 2.4 | 18.9 | 32.3 | 7.9 | | | 100.0 | | | |
| 海食崖 | 24.0 | 3.0 | 16.6 | 9.6 | 8.9 | 35.8 | 2.1 | 100.0 | | | |
| 波食台 | 27.5 | 2.2 | 35.2 | 17.6 | 9.9 | 7.7 | | 100.0 | | | |
| 岩礁 | 19.0 | 3.0 | 32.5 | 7.4 | 10.0 | 27.7 | 0.4 | 100.0 | | | |
| 海食洞 | 1.5 | 0.8 | 4.6 | 18.5 | 16.9 | 56.2 | 1.5 | 100.0 | | | |
| 岩門 | 11.9 | 3.0 | 9.0 | 11.9 | 31.3 | 29.9 | 3.0 | 100.0 | | | |
| 潮穴 | 11.8 | 5.9 | | 11.8 | 29.4 | 41.2 | | 100.0 | | | |
| 潮穴群 | | | 20.0 | 40.0 | | 40.0 | | 100.0 | | | |
| 潮流・渦流 | 19.0 | 23.8 | 4.8 | | 42.9 | 9.5 | | 100.0 | | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 5.9 | 3.9 | 11.8 | 21.6 | 31.4 | 23.5 | 2.0 | 100.0 | | |
| | 岩脈 | 6.7 | 6.7 | 20.0 | 33.3 | 20.0 | 13.3 | | 100.0 | | |
| | 湧泉群 | 10.0 | 2.5 | 5.0 | 45.0 | 31.3 | | 6.3 | 100.0 | | |
| その他 | 上記以外の地形 | 52.7 | 2.7 | 12.4 | 15.6 | 7.5 | 2.7 | 6.5 | 100.0 | | |
| | 顕著な自然現象地形 | 53.3 | | 20.0 | | 13.3 | 6.7 | 6.7 | 100.0 | | |
| 自然景観資源合計 | | 32.4 | 2.8 | 15.8 | 26.0 | 13.2 | 4.4 | 5.4 | 100.0 | | |

4. 資源の利用状況

1) 利用者数

利用者数の集計結果は表3-28のとおりである。利用者数の回答があったのは資源総数15,468カ所のうち13.3%であり、比較的回答率の高かった資源項目は岩門、波食台、非火山性高原、火山性高原、溺れ谷、峡谷・溪谷、噴泉などで、いわゆる観光地内に存するもの、あるいは観光資源そのものとなっているものと考えられる。回答総数2,053カ所の内訳をみると年間の利用者が1～5万人の資源が43.8%を占め、次いで10～15万人が25.4%である。回答数が少ないため、資源項目別の傾向をみるのは困難であるが、利用者規模ランクが1～5万人から100万人以上まで多岐にわたるものとして、火山群、火山、火山性高原、火口・カルデラ、山脈・山地・高地、湖沼、溺れ谷等があり、50万人以下に偏るものとして、噴泉、非火山性孤峰、断崖・岸壁（山地・河川とも）、峡谷・溪谷、滝、海食崖、海食洞等があげられる。

これらの利用者数は、対象資源の規模や集合性、季節選択性などによって異なってくるものと考えられる。

2) 利用形態

(1) 地域との係わり

利用形態の地域との係わりは以下の区分を行っている。

1. 地域のシンボル………当該自然景観資源を校歌に歌うなど、地域のランドマークとして、また祭祀の場、信仰の対象としている。
2. 生活レベルの利用………当該自然景観を地域の人々が、憩いや遊びの場としている。
3. 学習の場…………当該自然景観資源を、地域の学校が校外学習、遠足の場としている。

集計結果は表3-29、図3-30に示した。資源全体でみると、当該景観資源を地域の人々が憩いや遊びの場としている「生活レベルでの利用」が全体の40.5%、「地域のシンボル」的な資源が34.5%であり、残りの22.8%が「学習の場」とし

での利用である。

個別の資源についてみると、「生活レベルの利用」が多いものは、万年雪、自由蛇行河川、河成段丘、海成段丘、噴泉等であり、「地域のシンボル」となっているものは、特徴的な稜線、天然橋・岩門・石門、高山・亜高山域、間欠泉、非対称山陵、岩峰・岩柱、潮流・渦流等ランドマークや祭祀の対象となる特徴的なものがあげられている。さらに「学習の場」としては、モレーン、隆起サンゴ礁、火山海岸、U字谷等が多くなる傾向にある。

(2) 広域的な利用

広域的な利用は以下のように区分されている。

1. 一般観光………当該自然景観資源を単に眺望する利用が主体である。
2. レクリエーション利用………当該自然景観資源を、登山・ハイキング・ピクニック等レクリエーション活動の一貫として当該自然景観資源を眺望する利用がなされている。
3. 自然学習・自然探勝………当該自然景観を観察対象とする利用がなされている。

広域的利用の集計結果を表3-29、図3-31に示す。全体の集計では、「レクリエーション利用」が37.3%、「一般観光」が34.5%、「自然学習・自然探勝」が28.1%であり、隆起珊瑚礁やポリエのように「自然学習・自然探勝」に特定化している資源もあるが、総じて資源がもつ複数の利用機能がバランスよく活用されているようである。

ただし、カールや構造土などのわが国では珍しい氷河・周氷河地形、あるいは、段丘などの日常的な景観は、レクリエーションや一般観光に供される場合、その資源が有する地形学的な意義はあまり意識されずに利用されている可能性がある。

これは、5-2) 資源に対するインパクトとの関係から考慮すべきことで、一般的に意識されることの少ない景観資源の価値についての啓蒙等が必要である。

表 3-28 利用の現状に係わる集計（利用者別）

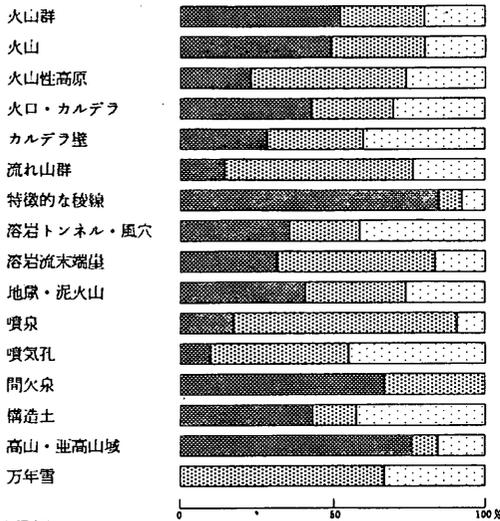
| 全 国 | | 単位：資源数 | | | | | | 合計 | | |
|-----------|---------|-----------|---------|----------|-----------|------------|-------------|------|----|-----|
| 類 型 | 自然景観資源名 | 1万人 未満 | 1～ 5 | 5～ 10 | 10～ 50 | 50～ 100 | 100万人 以上 | | | |
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 4 | 2 | 10 | 5 | 16 | 37 | | |
| | | 火山 | 22 | 14 | 18 | 15 | 8 | 77 | | |
| | | 火山性高原 | 10 | 5 | 13 | 10 | 7 | 45 | | |
| | | 火口・カルデラ | 6 | 2 | 4 | 1 | 8 | 21 | | |
| | | カルデラ壁 | | | | | 4 | 4 | | |
| | | 流れ山群 | 1 | | | | | 1 | | |
| | | 特徴的な稜線 | 2 | 1 | | | | 3 | | |
| | | 溶岩トンネル・風穴 | 7 | | 4 | 1 | 3 | 15 | | |
| | | 溶岩流末端崖 | 2 | 1 | | | 2 | 5 | | |
| | | 地獄・泥火山 | | | | 2 | 4 | 8 | | |
| | | 噴泉 | 21 | 9 | 18 | 3 | 4 | 55 | | |
| | | 噴気孔 | 1 | | | 1 | | 2 | | |
| | | 間欠泉 | | | | 1 | | 1 | | |
| | | 構造土 | | | | | | | | |
| | | 高山・亜高山域 | 1 | 2 | | | | 3 | | |
| 万年雪 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 22 | 12 | 14 | 6 | 16 | 70 | | |
| | | 丘陵 | 5 | | 4 | 7 | 2 | 18 | | |
| | | 非火山性高原 | 23 | 8 | 8 | 3 | 3 | 45 | | |
| | | 大断層崖 | 4 | | | | | 4 | | |
| | | 非火山性孤峰 | 1 | 95 | 21 | 44 | 8 | 185 | | |
| | | U字谷 | | | | | 1 | 1 | | |
| | | カーン | | | 1 | 1 | | 2 | | |
| | | 非対称山稜 | 1 | | | | | 1 | | |
| | | 特徴的な稜線 | 3 | 2 | 4 | | | 9 | | |
| | | モレーン | | | | | | | | |
| | | 二重山稜 | | 1 | | | 1 | 2 | | |
| | | 断崖・岩壁 | 27 | 7 | 7 | 1 | | 42 | | |
| | | 岩塊斜面・岩海 | 2 | | | | | 2 | | |
| | | 構造土 | 6 | | | | | 6 | | |
| | | 岩峰・岩柱 | 10 | 3 | 4 | | | 17 | | |
| 崖壁 | | 1 | | | | 1 | | | | |
| 天然橋・岩門・石門 | 2 | 3 | | | | 5 | | | | |
| 高山・亜高山域 | 1 | | | 1 | | 2 | | | | |
| 万年雪 | | | | | | | | | | |
| 景 | 石灰岩景観 | カルスト地形 | | 5 | 2 | 4 | 1 | 12 | | |
| | | ポリエ | | | | | | | | |
| | | カッレンフェルト他 | 3 | | | 1 | 1 | 6 | | |
| 景 | 特殊地学景観 | 鍾乳洞 | 18 | 5 | 7 | 2 | 1 | 33 | | |
| | | 節理 | 4 | 3 | 4 | 2 | 3 | 16 | | |
| | | 岩脈 | 11 | | 3 | | | 14 | | |
| 景 | その他 | 上記以外の地形 | 14 | 2 | 1 | 1 | 2 | 20 | | |
| | | 顕著な自然現象地形 | 1 | 1 | | | 1 | 3 | | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 131 | 31 | 59 | 13 | 4 | 238 | | |
| | | 河成段丘 | 3 | 1 | 5 | 1 | 3 | 13 | | |
| | | 自由蛇行河川 | 2 | | 1 | | | 3 | | |
| | | 穿入蛇行河川 | 7 | 3 | 1 | 1 | | 12 | | |
| | | 断崖・岩壁 | 9 | 2 | 9 | | 6 | 26 | | |
| | | 滝 | 2 | 1 | 3 | | 1 | 7 | | |
| | | 岩峰・岩柱 | | 2 | 2 | | | 4 | | |
| | | 淵 | 13 | | 3 | | | 16 | | |
| | | 懸穴群 | 10 | 2 | 2 | 2 | | 16 | | |
| | | 滝 | 191 | 28 | 57 | 12 | 12 | 300 | | |
| | | 天然橋・岩門・石門 | 1 | 4 | 1 | | | 6 | | |
| | | 水 | 湖沼景観 | 湖沼 | 29 | 8 | 26 | 22 | 22 | 107 |
| | | | | 湿原 | 24 | 3 | 8 | 7 | 5 | 47 |
| | | 景 | 海岸景観 | 溺れ谷 | 4 | 8 | 5 | 5 | 2 | 24 |
| | | | | 海成段丘 | 3 | | 5 | 4 | | 12 |
| 断層海岸 | | | | | 1 | 1 | | 2 | | |
| 火山海岸 | | | | 1 | | 1 | | 2 | | |
| 多島海 | 2 | | | 2 | 6 | 2 | 2 | 14 | | |
| 隆起サンゴ礁 | | | | | | | | | | |
| 砂浜・礫浜 | 44 | | | 28 | 38 | 9 | 13 | 132 | | |
| 砂嘴 | 3 | | | | 1 | | | 4 | | |
| 砂州 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 | | |
| 陸けい砂州 | 4 | | | | 8 | | | 12 | | |
| 砂丘 | 4 | | | | 5 | 2 | 2 | 13 | | |
| 海食崖 | 27 | | | 12 | 33 | 11 | 4 | 87 | | |
| 波食台 | 7 | | | 4 | 13 | 2 | 1 | 27 | | |
| 岩礁 | 5 | | | 4 | 7 | 3 | 4 | 23 | | |
| 海食洞 | 17 | | | 6 | 13 | 1 | | 37 | | |
| 岩門 | 3 | 5 | 13 | 2 | 1 | 24 | | | | |
| 潮吹穴 | | | 1 | | | 1 | | | | |
| 懸穴群 | | 1 | 1 | 1 | | 3 | | | | |
| 潮流・渦流 | | | 1 | | 1 | 2 | | | | |
| 景 | 特殊地学景観 | 節理 | | | 1 | | | 1 | | |
| | | 岩脈 | 2 | | | | 1 | 3 | | |
| | | 湧泉群 | 2 | | 3 | 1 | | 6 | | |
| 景 | その他 | 上記以外の地形 | 12 | 2 | 10 | | 2 | 26 | | |
| | | 顕著な自然現象地形 | 2 | 1 | 1 | | | 4 | | |
| 自然景観資源合計 | | 1 | 899 | 268 | 521 | 173 | 191 | 2053 | | |

表 3 - 29 利用の現状に係わる集計（利用形態別）

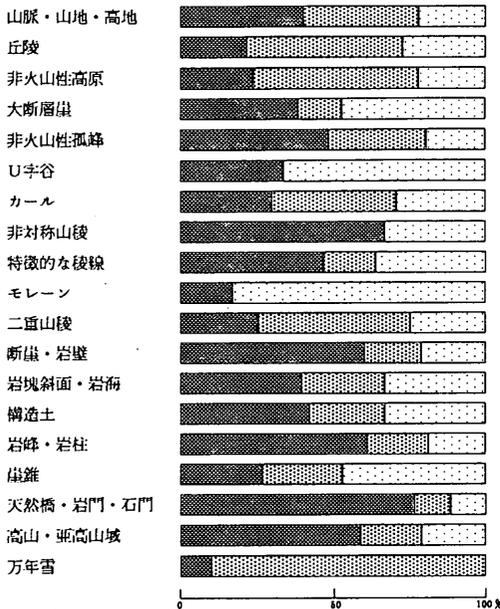
| 全 国 | 類 型 | 自然景観資源名 | 地域の シンボル | 生活 レベル | 学習 の場 | 計 | 単位：％ | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|-----------|----------|-------|----------|--------------|-----------|-------|
| | | | | | | | 一般 観光 | レクリエ ーション | 自然 学習等 | 計 |
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 52.0 | 27.9 | 20.1 | 100.0 | 32.6 | 41.2 | 26.2 | 100.0 |
| | | 火山 | 49.0 | 31.1 | 20.0 | 100.0 | 38.3 | 39.3 | 22.4 | 100.0 |
| | | 火山性高原 | 22.9 | 51.0 | 26.2 | 100.0 | 28.8 | 44.6 | 26.5 | 100.0 |
| | | 火口・カルデラ | 42.7 | 26.9 | 30.3 | 100.0 | 35.4 | 34.9 | 29.6 | 100.0 |
| | | カルデラ壁 | 28.1 | 31.3 | 40.6 | 100.0 | 42.9 | 28.6 | 28.6 | 100.0 |
| | | 流れ山群 | 14.3 | 61.9 | 23.8 | 100.0 | 15.4 | 26.9 | 57.7 | 100.0 |
| | | 特徴的な稜線 | 84.6 | 7.7 | 7.7 | 100.0 | 29.2 | 58.3 | 12.5 | 100.0 |
| | | 溶岩トンネル・風穴 | 35.4 | 22.9 | 41.7 | 100.0 | 28.8 | 34.6 | 36.5 | 100.0 |
| | | 溶岩流末端崖 | 31.3 | 52.1 | 16.7 | 100.0 | 53.2 | 34.2 | 12.7 | 100.0 |
| | | 地獄・泥火山 | 40.5 | 33.3 | 26.2 | 100.0 | 32.1 | 29.8 | 38.1 | 100.0 |
| | | 噴泉 | 17.2 | 73.5 | 9.3 | 100.0 | 35.6 | 48.9 | 15.5 | 100.0 |
| | | 噴気孔 | 9.7 | 45.2 | 45.2 | 100.0 | 24.6 | 33.3 | 42.1 | 100.0 |
| | | 間欠泉 | 66.7 | 33.3 | 100.0 | 100.0 | 66.7 | | 33.3 | 100.0 |
| | | 構造土 | 42.9 | 14.3 | 42.9 | 100.0 | 25.0 | 18.8 | 56.3 | 100.0 |
| | | 高山・亜高山域 | 75.7 | 8.6 | 15.7 | 100.0 | 30.8 | 43.6 | 25.6 | 100.0 |
| | | 万年雪 | | | 66.7 | 33.3 | 100.0 | 11.5 | 73.1 | 15.4 |
| | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 39.7 | 38.4 | 22.0 | 100.0 | 36.8 | 37.8 | 25.4 | 100.0 |
| | | 丘陵 | 21.3 | 51.3 | 27.5 | 100.0 | 27.5 | 41.3 | 31.3 | 100.0 |
| | | 非火山性高原 | 23.4 | 54.5 | 22.0 | 100.0 | 22.1 | 48.4 | 29.5 | 100.0 |
| | | 大断層崖 | 38.1 | 14.3 | 47.6 | 100.0 | 24.0 | 20.0 | 56.0 | 100.0 |
| | | 非火山性孤峰 | 48.1 | 32.3 | 19.6 | 100.0 | 26.7 | 47.3 | 25.9 | 100.0 |
| | | U字谷 | 33.3 | | 66.7 | 100.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 100.0 |
| | | カール | 29.4 | 41.2 | 29.4 | 100.0 | 16.4 | 29.1 | 54.5 | 100.0 |
| | | 非対称山稜 | 66.7 | | 33.3 | 100.0 | 18.4 | 44.7 | 36.8 | 100.0 |
| | | 特徴的な稜線 | 46.5 | 17.2 | 36.4 | 100.0 | 27.5 | 41.9 | 30.5 | 100.0 |
| | | モレーン | 16.7 | | 83.3 | 100.0 | 45.9 | 16.2 | 37.8 | 100.0 |
| | | 二重山稜 | 25.0 | 50.0 | 25.0 | 100.0 | 14.3 | 57.1 | 28.6 | 100.0 |
| | | 断崖・岩壁 | 59.8 | 18.9 | 21.3 | 100.0 | 36.3 | 36.5 | 27.2 | 100.0 |
| | | 岩塊斜面・岩海 | 38.9 | 27.8 | 33.3 | 100.0 | 24.1 | 37.9 | 37.9 | 100.0 |
| | | 構造土 | 41.7 | 25.0 | 33.3 | 100.0 | 3.8 | 57.7 | 38.5 | 100.0 |
| | | 岩峰・岩柱 | 60.6 | 20.4 | 19.0 | 100.0 | 34.7 | 38.0 | 27.2 | 100.0 |
| | | 崖壁 | 26.3 | 26.3 | 47.4 | 100.0 | 34.6 | 42.3 | 23.1 | 100.0 |
| | | 天然橋・岩門・石門 | 76.5 | 11.8 | 11.8 | 100.0 | 47.6 | 33.3 | 19.0 | 100.0 |
| | | 高山・亜高山域 | 58.5 | 20.3 | 21.1 | 100.0 | 19.1 | 55.3 | 25.5 | 100.0 |
| | 万年雪 | 10.0 | 90.0 | | 100.0 | 4.5 | 68.2 | 27.3 | 100.0 | |
| | 石灰岩景観 | カルスト地形 | 19.6 | 58.9 | 21.4 | 100.0 | 33.8 | 26.2 | 40.0 | 100.0 |
| | | ポリエ | | 72.7 | 27.3 | 100.0 | 27.3 | | 72.7 | 100.0 |
| | | カレンフェルト他 | 12.2 | 56.1 | 31.7 | 100.0 | 25.5 | 25.5 | 48.9 | 100.0 |
| 鍾乳洞 | 36.8 | 10.4 | 52.8 | 100.0 | 31.8 | 12.0 | 56.2 | 100.0 | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 40.0 | 8.8 | 51.3 | 100.0 | 34.3 | 18.5 | 47.2 | 100.0 | |
| | 岩脈 | 24.6 | 14.5 | 60.9 | 100.0 | 19.2 | 21.2 | 59.6 | 100.0 | |
| その他 | 上記以外の地形 | 24.3 | 30.8 | 45.0 | 100.0 | 23.5 | 27.6 | 48.8 | 100.0 | |
| | 顕著な自然現象地形 | 27.8 | 22.2 | 50.0 | 100.0 | 28.0 | 17.3 | 54.7 | 100.0 | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 29.3 | 46.7 | 23.9 | 100.0 | 36.2 | 38.9 | 24.9 | 100.0 |
| | | 河成段丘 | 10.4 | 74.3 | 15.3 | 100.0 | 25.0 | 33.3 | 41.7 | 100.0 |
| | | 自由蛇行河川 | 14.3 | 76.2 | 9.5 | 100.0 | 28.6 | 40.5 | 31.0 | 100.0 |
| | | 穿入蛇行河川 | 16.0 | 64.2 | 19.8 | 100.0 | 31.1 | 34.0 | 35.0 | 100.0 |
| | | 断崖・岩壁 | 39.1 | 39.1 | 21.8 | 100.0 | 42.3 | 35.1 | 22.6 | 100.0 |
| | | 滝 | 48.1 | 29.6 | 22.2 | 100.0 | 27.3 | 30.3 | 42.4 | 100.0 |
| | | 岩峰・岩柱 | 61.8 | 27.6 | 10.5 | 100.0 | 52.7 | 32.7 | 14.5 | 100.0 |
| | | 湖 | 26.2 | 50.8 | 23.0 | 100.0 | 33.6 | 42.1 | 24.3 | 100.0 |
| | | 罅穴群 | 30.4 | 24.5 | 45.1 | 100.0 | 34.4 | 19.5 | 46.1 | 100.0 |
| | | 滝 | 47.7 | 32.5 | 19.8 | 100.0 | 40.1 | 31.8 | 28.0 | 100.0 |
| | 天然橋・岩門・石門 | 44.4 | 11.1 | 44.4 | 100.0 | 47.8 | 13.0 | 39.1 | 100.0 | |
| | 湖沼景観 | 湖沼 | 30.9 | 49.7 | 19.3 | 100.0 | 31.9 | 40.5 | 27.6 | 100.0 |
| | | 湿原 | 22.6 | 34.1 | 43.3 | 100.0 | 24.1 | 31.4 | 44.4 | 100.0 |
| | 海岸景観 | 溺れ谷 | 41.7 | 44.9 | 13.4 | 100.0 | 40.3 | 40.3 | 19.5 | 100.0 |
| | | 海成段丘 | 15.2 | 73.8 | 11.0 | 100.0 | 56.7 | 30.4 | 12.9 | 100.0 |
| | | 断層海岸 | 38.9 | 27.8 | 33.3 | 100.0 | 36.8 | 42.1 | 21.1 | 100.0 |
| | | 火山海岸 | 9.4 | 21.9 | 68.8 | 100.0 | 10.3 | 20.5 | 69.2 | 100.0 |
| | | 多島海 | 32.4 | 47.3 | 20.3 | 100.0 | 42.5 | 36.8 | 20.7 | 100.0 |
| | | 隆起サンゴ礁 | | 25.0 | 75.0 | 100.0 | | | 100.0 | 100.0 |
| | | 砂浜・礫浜 | 21.6 | 57.5 | 20.9 | 100.0 | 26.6 | 54.2 | 19.2 | 100.0 |
| 砂嘴 | | 32.5 | 42.5 | 25.0 | 100.0 | 34.9 | 39.5 | 25.6 | 100.0 | |
| 砂州 | | 27.0 | 48.6 | 24.3 | 100.0 | 45.7 | 37.0 | 17.4 | 100.0 | |
| 陸けい砂州 | | 20.5 | 64.1 | 15.4 | 100.0 | 41.6 | 37.1 | 21.3 | 100.0 | |
| 砂丘 | | 20.3 | 62.6 | 17.1 | 100.0 | 33.1 | 45.9 | 21.1 | 100.0 | |
| 海食崖 | | 37.2 | 48.3 | 14.5 | 100.0 | 42.7 | 35.2 | 22.2 | 100.0 | |
| 波食台 | | 29.9 | 45.8 | 24.3 | 100.0 | 35.5 | 37.9 | 26.6 | 100.0 | |
| 岩礁 | | 48.4 | 41.9 | 9.7 | 100.0 | 48.4 | 36.6 | 15.0 | 100.0 | |
| 海食洞 | | 60.8 | 15.5 | 23.7 | 100.0 | 56.0 | 15.5 | 28.6 | 100.0 | |
| 岩門 | | 54.4 | 23.5 | 22.1 | 100.0 | 50.0 | 20.7 | 29.3 | 100.0 | |
| 潮吹穴 | | 50.0 | 22.2 | 27.8 | 100.0 | 43.5 | 30.4 | 26.1 | 100.0 | |
| 罅穴群 | | 60.0 | | 40.0 | 100.0 | 33.3 | 11.1 | 55.6 | 100.0 | |
| 潮流・渦流 | 60.9 | 26.1 | 13.0 | 100.0 | 60.0 | 24.0 | 16.0 | 100.0 | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 41.9 | 18.6 | 39.5 | 100.0 | 32.8 | 15.6 | 51.6 | 100.0 | |
| | 岩脈 | 42.9 | 28.6 | 28.6 | 100.0 | 34.6 | 30.8 | 34.6 | 100.0 | |
| 湧泉群 | 19.0 | 59.0 | 21.9 | 100.0 | 22.1 | 37.9 | 40.0 | 100.0 | | |
| その他 | 上記以外の地形 | 19.0 | 47.0 | 33.9 | 100.0 | 26.8 | 24.2 | 49.0 | 100.0 | |
| | 顕著な自然現象地形 | 18.8 | 43.8 | 37.5 | 100.0 | 26.3 | 26.3 | 47.4 | 100.0 | |
| 自然景観資源合計 | | | 37.1 | 40.1 | 22.8 | 100.0 | 34.5 | 37.3 | 28.2 | 100.0 |

陸景

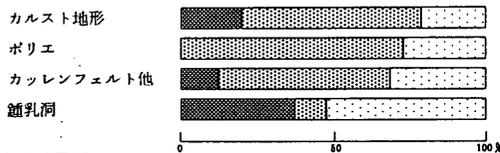
火山景観



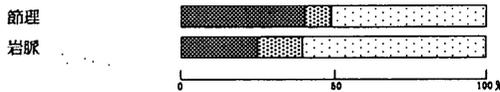
山地景観



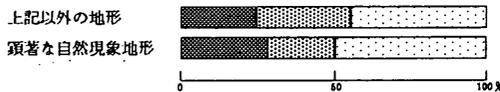
石灰岩景観



特殊地学景観

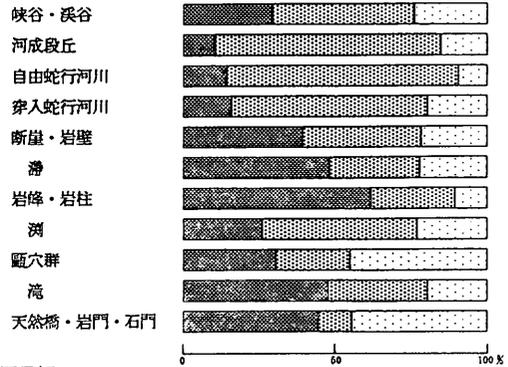


その他

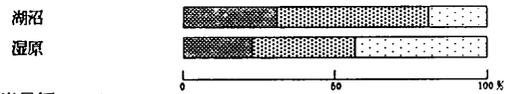


水景

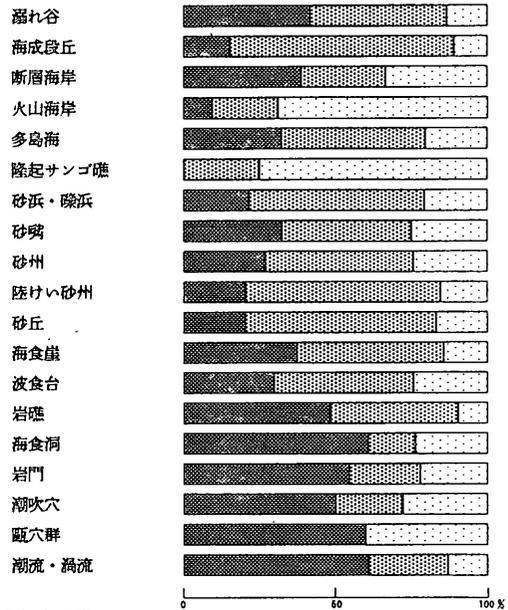
河川景観



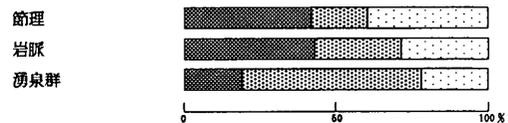
湖沼景観



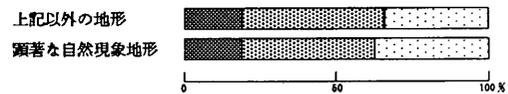
海岸景観



特殊地学景観



その他



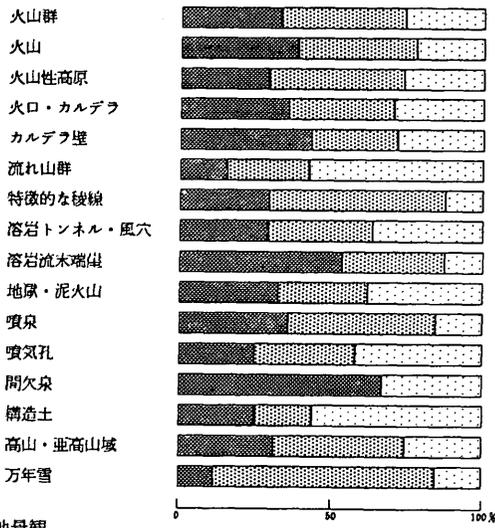
凡例

- 地域のシンボル
- ▨ 生活レベルの利用
- 学習の場

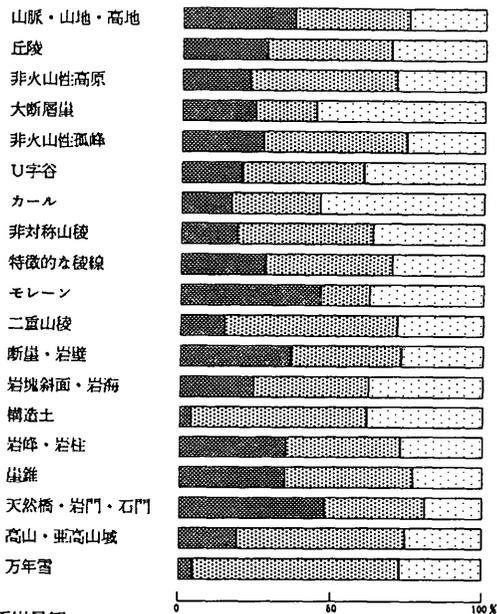
図 3-30 利用の現状に係わる集計 (利用形態別…地域との係わり) 全国

陸景

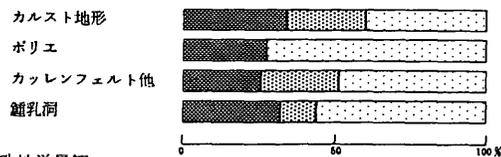
火山景観



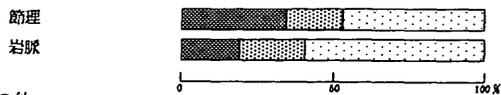
山地景観



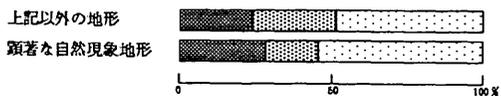
石灰岩景観



特殊地学景観

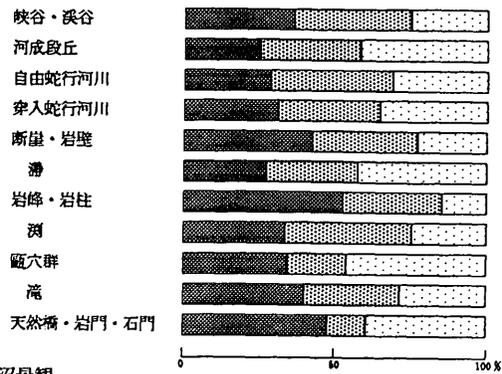


その他

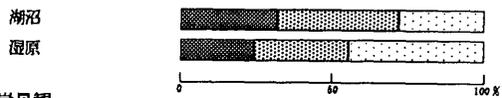


水景

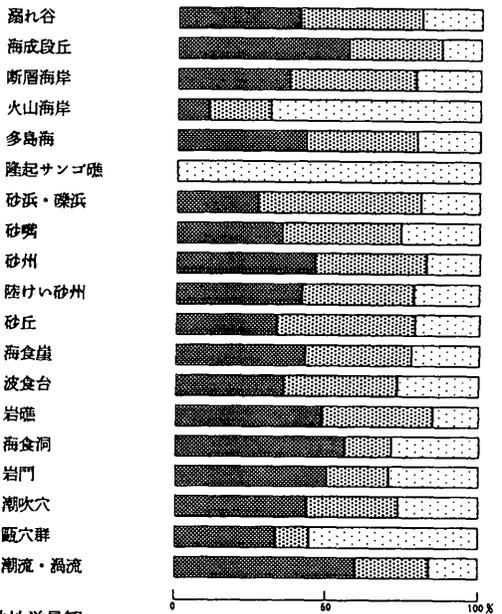
河川景観



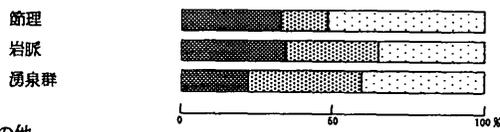
湖沼景観



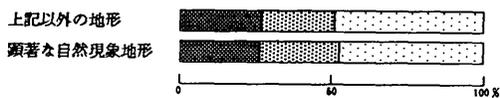
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

- 一般観光
- ▨ レクリエーション利用
- ▤ 自然学習、自然探勝

図 3-31 利用の現状に係わる集計（利用形態別…広域的な利用） 全 国

5. 資源の保護の現状

1) 保護制度の種類

自然景観資源に関する保護制度の有無と種類について集計結果を図3-32、33、表3-31に示した。景観資源全体についてみると、国立・国定公園、都道府県立自然公園、自然環境保全地域、天然記念物等のなんらかの保護制度下にある資源は半数を超える（57.7%）。

保護制度のうちで多いものは国立公園内23.2%、国定公園内14.6%、都道府県立自然公園内11.1%であり、保護制度のあるもの全体の約85%を占めている。

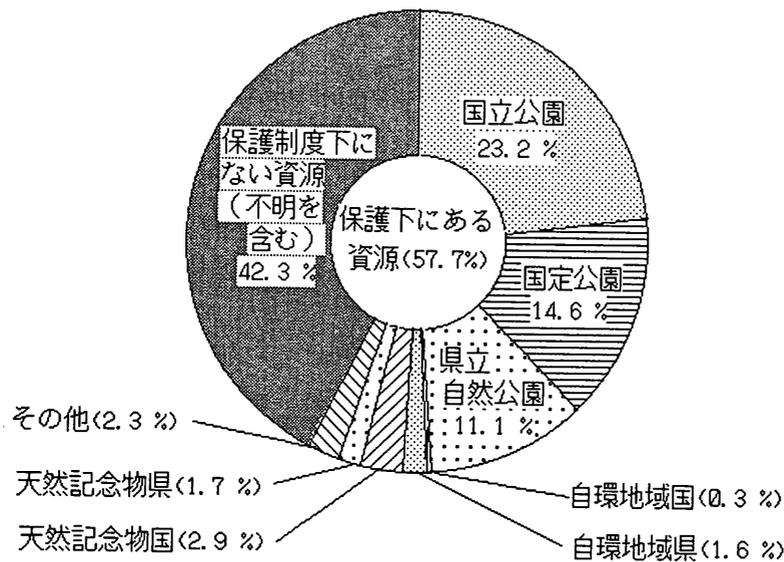


図3-32 自然景観資源の保護の現状（資源全体）

資源別の保護制度との係わりをみると、なんらかの保護制度の適用により、ほとんどすべてが保護されている資源として、構造土、万年雪（火山景観）、U字谷、カール、モレーンがあげられるが、これらはより大規模な資源の保護区域に含まれているとみるのが妥当と考えられる。また逆に、保護制度がほとんど加わっていない（不明を含む）比率の高い資源には、河成段丘、自由蛇行河川、穿入蛇行河川、隆起珊瑚礁、があげられる。なお、資源数が100を超える資源について、保護制度下でない（不明を含む）資源数が保護制度下にあるものを上回っている資源としては、非火山性高原、非火山性孤峯、鍾乳洞、河成段丘、断崖・岩壁（河川景観）、海成段丘、砂丘などがあげられる。

次に、資源別の保護制度の種類との係わりをみると、国立公園に係る比率の高

い資源には、U字谷、構造土（火山景観）、地獄・泥火山、二重山稜、噴気孔、火口・カルデラ等があげられ、いずれも約2/3以上は国立公園内に存在する。また、国定公園に係る比率が高いものには、天然橋・岩門・石門、岩塊斜面・岩海、岩礁、海食洞、潮吹き穴などがあげられ、これらはいずれも約1/3以上の資源が国定公園内に存在する。さらに、都道府県立自然公園内に比較的多く含まれる資源としては、山脈・山地・高地、丘陵、大断層崖、石灰岩景観全般、峡谷・溪谷等があげられる。以上の3種の保護制度以外で、やや特徴的にみられるのは国指定天然記念物で、この指定を比較的よく受けている資源としては、溶岩トンネル・風穴、天然橋・岩門・石門、岩峰・岩柱（河川景観）、岩脈（陸景）等である。

以上、保護制度の種類と自然景観資源との係わりについてみてきたが、図3-34, 35, 36に個別の国立公園、国定公園内の自然景観資源数（円内の数値）と資源類型比率を整理した。

国立公園についてみると、資源数の多いものは、磐梯朝日、中部山岳、上信越高原、日光、瀬戸内海で、これらは200を超えている。また、景観資源類型の分布比率から各国立公園を表3-30のように分類することもできよう。

表3-30 自然景観資源の分布比率からみた国立公園の分類（案）

| 景観型公園分類 | 該 当 す る 国 立 公 園 |
|---------|---|
| 火山景観型公園 | 阿寒、支笏洞爺、富士箱根伊豆、阿蘇くじゅう、霧島屋久 |
| 山地景観型公園 | 中部山岳、南アルプス |
| 河川景観型公園 | 秩父多摩 |
| 湖沼景観型公園 | 釧路湿原、 |
| 海岸景観型公園 | 陸中海岸、小笠原、伊勢志摩、山陰海岸、瀬戸内海、足摺宇和海、 |
| 複合景観型公園 | 利尻礼文サロベツ、知床、大雪、十和田八幡平、磐梯朝日、日光、上信越高原、上越高原、白山、吉野熊野、大山壺岐、雲仙天草 西海 |

（注） 西表国立公園については景観資源が抽出されたなかったので、この表には含めなかった。

国立公園で比較的多くの景観資源を含むのは、蔵王、栗駒、玄界、鈴鹿などであり、これらは100を超えている。国立公園と同様に資源類型により分類することが可能であるが、国立公園との違いは火山景観型が八ヶ岳中信高原、大沼など極くわずかであり、海岸景観型、河川景観型の多いのが特徴といえる。

ただし、この調査では、孤峰を除く非火山性の山地景観の抽出率が低く、実際にはスケールの大きな山稜が卓越し、かつ特殊景観が少ない秩父・多摩あるいは丹沢等では、山地景観の抽出数が少なくなる傾向があるため、表3-30は今後の調査の進展により分類が変更される可能性がある。

2) インパクトの種類

インパクトの種類は、以下の区分を行っている。

1. 人の立入………(例)踏圧、キャンプ地化、観光のための刈払い、子供の遊び場等
2. 農林業開発………伐採・植林、水田・畑地化、放牧、草地造成等
3. 道路開発………道路建設、駐車場、排ガス
4. 観光開発………観光地化、スキーコース、ロープウェー、釣場
5. 水辺の開発………港湾・漁港整備、護岸工事、河川改修、堰堤築造、排水工事等
6. その他の開発………土地造成、団地造成、パラボラアンテナその他工作物の設置等
7. 周辺の開発………上記3～6の開発が群落の周辺で行われているもの
8. 汚染物質の侵入……排水、糞尿、廃油、化学肥料等
9. ゴミの投棄………プラスチック容器、塵埃、生ゴミ等

資源に対するインパクトの種類を集計結果を図3-37、表3-32に示した。資源全体でみた場合、資源総数のうち36.8%については資源に対して格段に影響をおよぼすインパクトは存在しない。しかし、全体の約2/3近くはなんらかの開発行為あるいは当該開発行為の二次的影響を受けている。インパクトの種類として最も多いものは、人の立入(15.8%)で、次いで伐採・植林や草地造成などの農林業開発(10.0%)、観光開発(9.5%)の順である。

資源別でみた場合、インパクトの種類との間にやや特徴的な関係がみられる。例えば、人の立入が多くみられるものでは構造土、農林業開発では流れ山、ポリエ、河成段丘、海成段丘、観光開発では噴泉、間欠泉などである。ただ、4-2)で言及したように、一般の利用者にその価値が十分に認識されていると思われな景観資源は、多様なインパクトを受け、あるいは今後受けていく可能性があり、啓蒙等の何らかの処置が必要である。

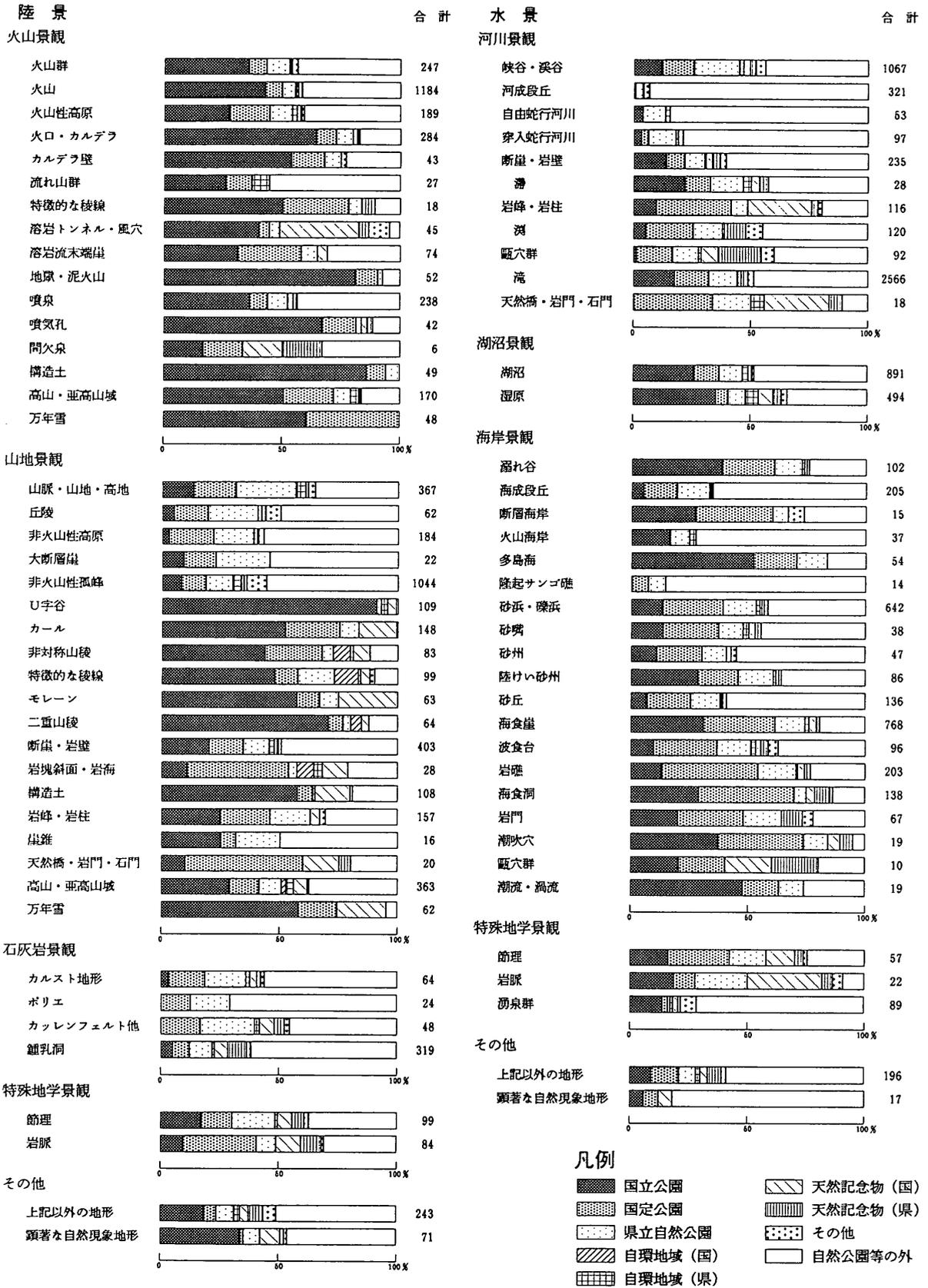


図 3-33 自然景観資源の保護の現状 全国

表 3-31 自然景観資源の保護の現状

全 国

| 類 型 | 自然景観資源名 | 保護制度下にある資源数 | | | | | | | 小 計 | 保護なし(不明を含む) | 合 計 | |
|-----------|-----------|-------------|------|--------|--------|--------|----------|----------|-----|-------------|------|-------|
| | | 国立公園 | 国定公園 | 県立自然公園 | 自環地(国) | 自環地(県) | 天然記念物(国) | 天然記念物(県) | | | | その他 |
| 火山景観 | 火山群 | 88 | 18 | 24 | 1 | - | 1 | 1 | 6 | 139 | 108 | 247 |
| | 火山 | 501 | 86 | 66 | 1 | 14 | 18 | - | 4 | 690 | 494 | 1184 |
| | 火山性高原 | 52 | 32 | 18 | - | 4 | 3 | 1 | 2 | 112 | 77 | 189 |
| | 火山・カルデラ | 182 | 24 | 20 | - | - | 5 | 1 | 2 | 234 | 50 | 284 |
| | カルデラ壁 | 23 | 6 | 3 | - | - | - | - | 1 | 33 | 10 | 43 |
| | 流れ山群 | 7 | 3 | - | - | 2 | - | - | - | 12 | 15 | 27 |
| | 特徴的な稜線 | 9 | 5 | 1 | - | - | - | 1 | - | 16 | 2 | 18 |
| | 溶岩トンネル・風穴 | 18 | 2 | 2 | - | - | 15 | 2 | 4 | 43 | 2 | 45 |
| | 溶岩流末端崖 | 23 | 20 | 5 | - | - | 3 | - | - | 51 | 23 | 74 |
| | 地獄・泥火山 | 42 | 5 | 1 | - | - | - | - | - | 48 | 4 | 52 |
| | 噴泉 | 86 | 18 | 20 | - | - | 6 | 4 | - | 134 | 104 | 238 |
| | 噴気孔 | 28 | 6 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | 37 | 5 | 42 |
| | 間欠泉 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | - | 4 | 2 | 6 |
| | 標造土 | 42 | 4 | 3 | - | - | - | - | - | 49 | - | 49 |
| | 高山・亜高山域 | 86 | 36 | 12 | - | - | 6 | 1 | - | 142 | 28 | 170 |
| | 万年雪 | 29 | 19 | - | - | - | - | - | - | 48 | - | 48 |
| | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 48 | 66 | 93 | 1 | 14 | 4 | - | 11 | 237 | 130 |
| 丘陵 | | 3 | 9 | 13 | - | - | 1 | 1 | 4 | 31 | 31 | 62 |
| 非火山性高原 | | 5 | 35 | 31 | - | 3 | 1 | - | 4 | 79 | 105 | 184 |
| 大断層崖 | | 2 | 3 | 5 | - | - | - | - | - | 10 | 12 | 22 |
| 非火山性孤峰 | | 84 | 110 | 118 | 2 | 35 | 13 | 11 | 88 | 461 | 583 | 1044 |
| U字谷 | | 99 | - | 2 | - | 3 | 4 | - | - | 108 | 1 | 109 |
| カール | | 77 | 34 | 12 | - | - | 24 | - | - | 147 | 1 | 148 |
| 非対称山稜 | | 36 | 20 | 4 | 6 | 1 | 6 | - | - | 73 | 10 | 83 |
| 特徴的な稜線 | | 47 | 10 | 15 | 10 | 1 | 4 | - | 2 | 89 | 10 | 99 |
| モレーン | | 36 | 6 | 5 | - | - | 16 | - | - | 63 | - | 63 |
| 二重山稜 | | 45 | 4 | 2 | 3 | - | 2 | - | - | 56 | 8 | 64 |
| 断崖・岩壁 | | 81 | 58 | 44 | - | 9 | 5 | 2 | 5 | 204 | 199 | 403 |
| 岩塊斜面・岩海 | | 3 | 12 | 1 | 2 | 1 | 3 | - | - | 22 | 6 | 28 |
| 構造土 | | 62 | 7 | - | - | 1 | 16 | - | 1 | 87 | 21 | 108 |
| 岩峰・岩柱 | | 39 | 33 | 27 | - | - | 6 | - | 4 | 109 | 48 | 157 |
| 崖壁 | | 4 | 1 | 3 | - | - | - | - | - | 8 | 8 | 16 |
| 天然橋・岩門・石門 | | 2 | 10 | - | - | - | 3 | 1 | - | 16 | 4 | 20 |
| 高山・亜高山域 | 104 | 46 | 34 | 7 | 12 | 21 | - | 2 | 226 | 137 | 363 | |
| 万年雪 | 36 | 10 | - | - | - | 13 | - | - | 59 | 3 | 62 | |
| 石灰岩景観 | カルスト地形 | 2 | 10 | 11 | - | 1 | 2 | 1 | 1 | 28 | 36 | 64 |
| | ポリエ | - | 3 | 4 | - | - | - | - | - | 7 | 17 | 24 |
| | カッレンフェルト他 | - | 8 | 11 | - | 1 | 3 | 2 | 1 | 26 | 22 | 48 |
| | 鍾乳洞 | 16 | 23 | 31 | - | 3 | 18 | 25 | 6 | 122 | 197 | 319 |
| 特殊地学景観 | 節理 | 17 | 13 | 18 | - | 1 | 6 | 5 | 2 | 62 | 37 | 99 |
| | 岩脈 | 8 | 26 | 7 | - | - | 9 | 7 | 1 | 58 | 26 | 84 |
| その他 | 上記以外の地形 | 45 | 13 | 18 | - | 6 | 9 | 15 | 13 | 119 | 124 | 243 |
| | 顕著な自然現象地形 | 24 | 1 | 5 | - | - | 6 | 1 | 1 | 38 | 33 | 71 |
| 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 125 | 144 | 206 | 2 | 19 | 30 | 28 | 44 | 598 | 469 | 1067 |
| | 河成段丘 | 2 | - | 10 | - | 1 | - | - | 8 | 21 | 300 | 321 |
| | 自由蛇行河川 | 2 | - | 5 | - | 1 | - | - | - | 8 | 45 | 53 |
| | 穿入蛇行河川 | 3 | 3 | 11 | - | - | 1 | - | 2 | 20 | 77 | 97 |
| | 断崖・岩壁 | 32 | 18 | 20 | - | 1 | 7 | 8 | 6 | 92 | 143 | 235 |
| | 瀑 | 6 | 3 | 4 | - | 1 | 1 | 1 | - | 16 | 12 | 28 |
| | 岩峰・岩柱 | 11 | 37 | 8 | - | - | 32 | 3 | 2 | 93 | 23 | 116 |
| | 淵 | 6 | 24 | 15 | - | 1 | 2 | 9 | 9 | 66 | 54 | 120 |
| | 滝 | 1 | 14 | 10 | - | 1 | 7 | 17 | 5 | 55 | 37 | 92 |
| | 滝 | 439 | 375 | 312 | 9 | 35 | 25 | 46 | 69 | 1310 | 1256 | 2566 |
| | 天然橋・岩門・石門 | - | 6 | 3 | - | 1 | 5 | 1 | - | 16 | 2 | 18 |
| 湖沼景観 | 湖沼 | 227 | 98 | 89 | - | 21 | 14 | 4 | 6 | 459 | 432 | 891 |
| | 湿原 | 172 | 28 | 36 | 1 | 27 | 30 | 18 | 12 | 324 | 170 | 494 |
| 海岸景観 | 溺れ谷 | 39 | 23 | 12 | - | 1 | 1 | - | 1 | 77 | 25 | 102 |
| | 海成段丘 | 10 | 29 | 28 | - | 1 | - | 1 | 1 | 70 | 135 | 205 |
| | 断層海岸 | 4 | 5 | 1 | - | - | - | - | 1 | 11 | 4 | 15 |
| | 火山海岸 | 6 | - | 3 | - | 1 | - | - | - | 10 | 27 | 37 |
| | 多島海 | 28 | 10 | 7 | - | - | - | - | - | 45 | 9 | 54 |
| | 隆起サンゴ礁 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 2 | 12 | 14 |
| | 砂浜・礫浜 | 83 | 166 | 92 | - | 10 | 5 | 6 | 11 | 373 | 269 | 642 |
| | 砂嘴 | 5 | 9 | 4 | - | 1 | 1 | 1 | - | 21 | 17 | 38 |
| | 砂州 | 5 | 9 | 5 | - | - | 1 | - | 1 | 21 | 26 | 47 |
| | 陸けい砂州 | 24 | 15 | 13 | - | 1 | 1 | - | 1 | 55 | 31 | 86 |
| | 砂丘 | 9 | 25 | 17 | - | 1 | 1 | - | 2 | 55 | 81 | 136 |
| | 海食崖 | 232 | 238 | 99 | - | 14 | 24 | 9 | 2 | 618 | 150 | 768 |
| | 波食台 | 9 | 26 | 14 | - | 2 | 2 | 3 | 4 | 60 | 36 | 96 |
| | 岩礁 | 26 | 84 | 33 | - | 1 | 6 | 2 | 3 | 155 | 48 | 203 |
| | 海食洞 | 39 | 57 | 7 | - | - | 5 | 9 | 2 | 119 | 19 | 138 |
| | 岩門 | 13 | 19 | 11 | - | - | - | 6 | 3 | 52 | 15 | 67 |
| | 潮吹穴 | 7 | 7 | 2 | - | - | 1 | 1 | - | 18 | 1 | 19 |
| 滝 | 2 | 2 | - | - | - | 2 | 2 | - | 8 | 2 | 10 | |
| 潮流・渦流 | 9 | 3 | 2 | - | - | - | - | - | 14 | 5 | 19 | |
| 特殊地学景観 | 節理 | 9 | 15 | 9 | - | - | 7 | 2 | 1 | 43 | 14 | 57 |
| | 岩脈 | 4 | 2 | 5 | - | - | 7 | 1 | 1 | 20 | 2 | 22 |
| | 湧泉群 | 12 | 2 | 1 | - | 1 | 2 | 1 | 6 | 25 | 64 | 89 |
| その他 | 上記以外の地形 | 17 | 23 | 14 | - | 4 | 6 | 12 | 4 | 80 | 116 | 196 |
| | 顕著な自然現象地形 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | - | - | 3 | 14 | 17 |
| 自然景観資源合計 | | 3761 | 2377 | 1799 | 45 | 265 | 476 | 274 | 373 | 9370 | 6875 | 16245 |

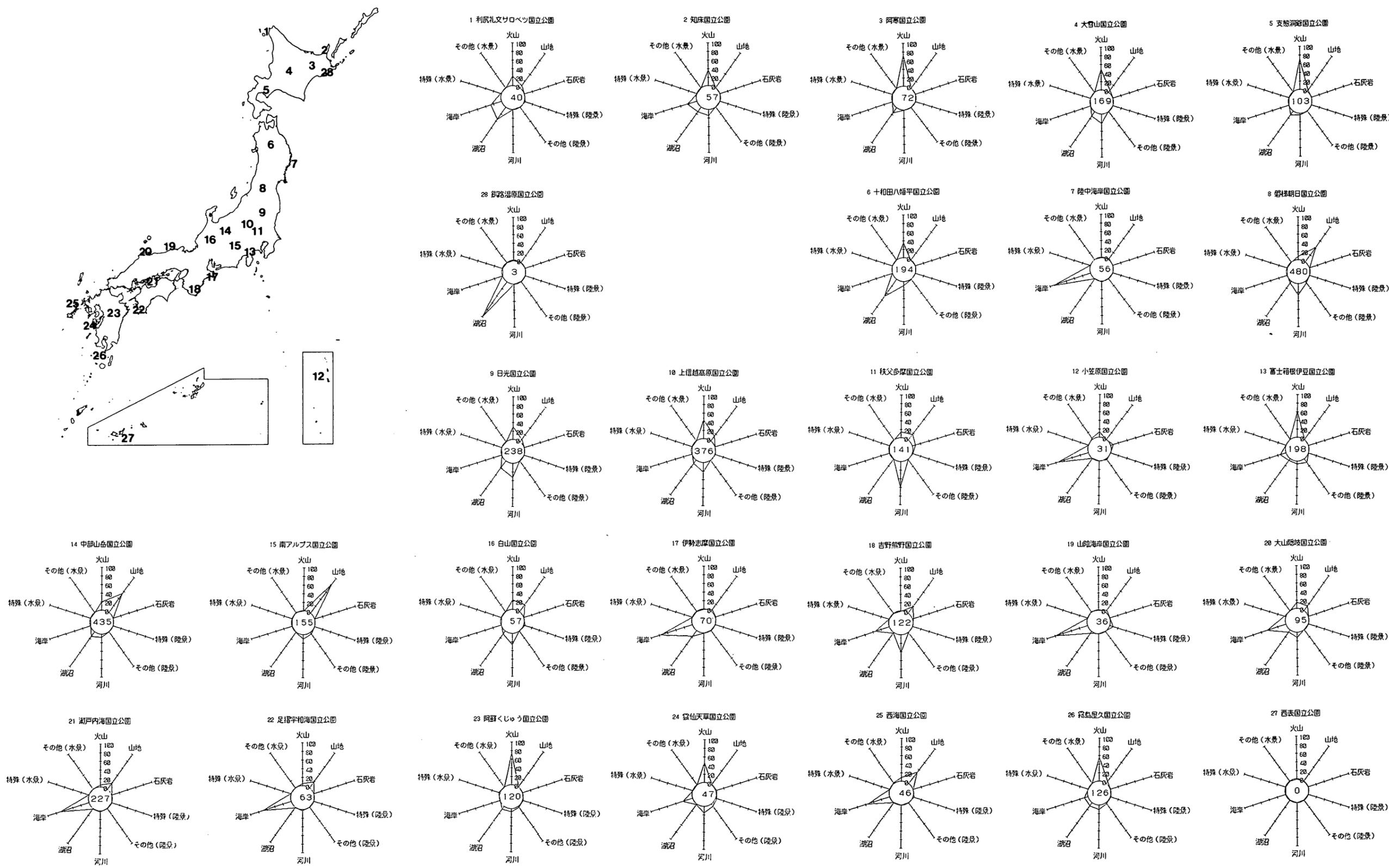


図 3-34 国立公園内の自然景観資源分布状況

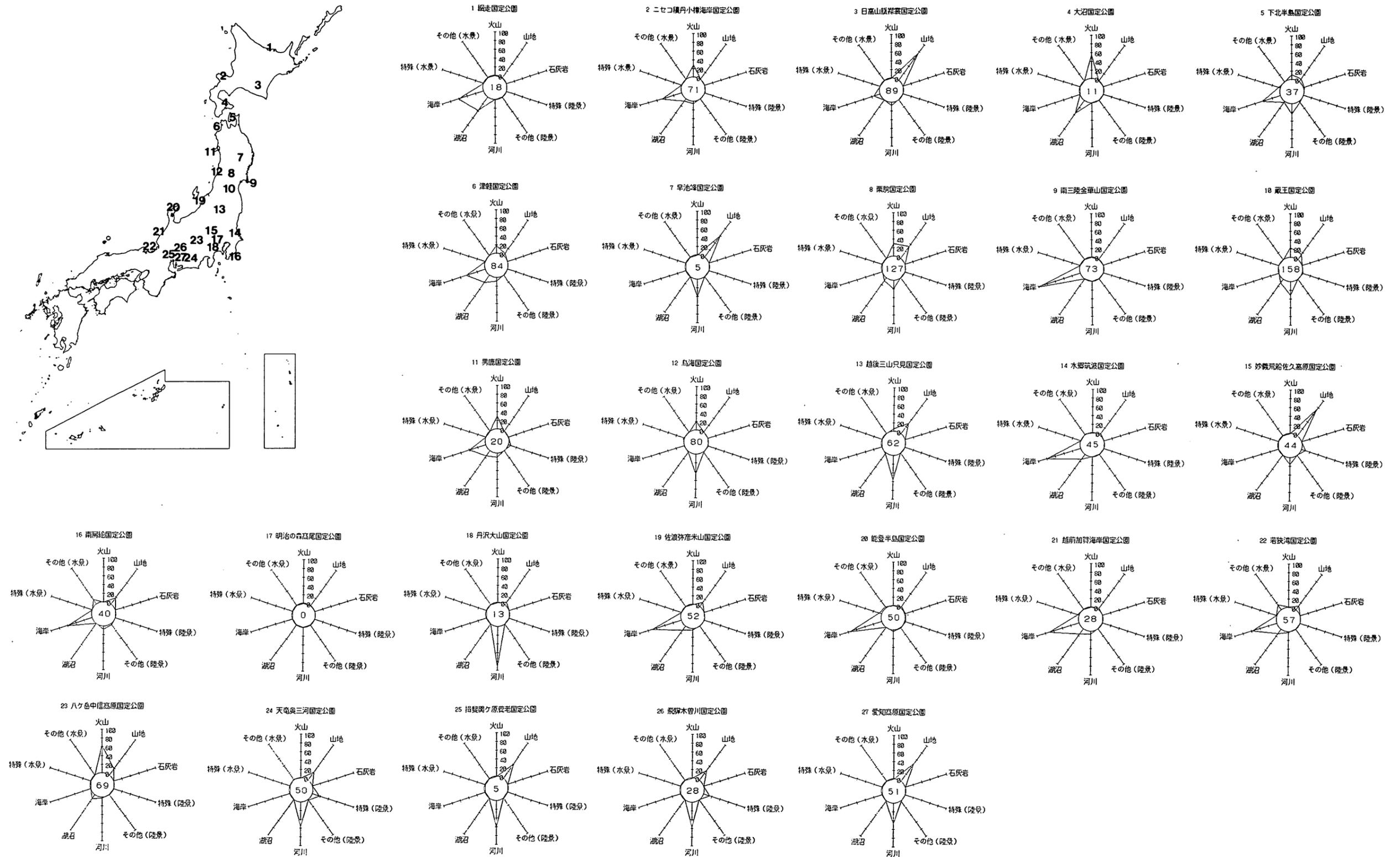


図 3-35 国定公園内の自然景観資源分布状況(その1)

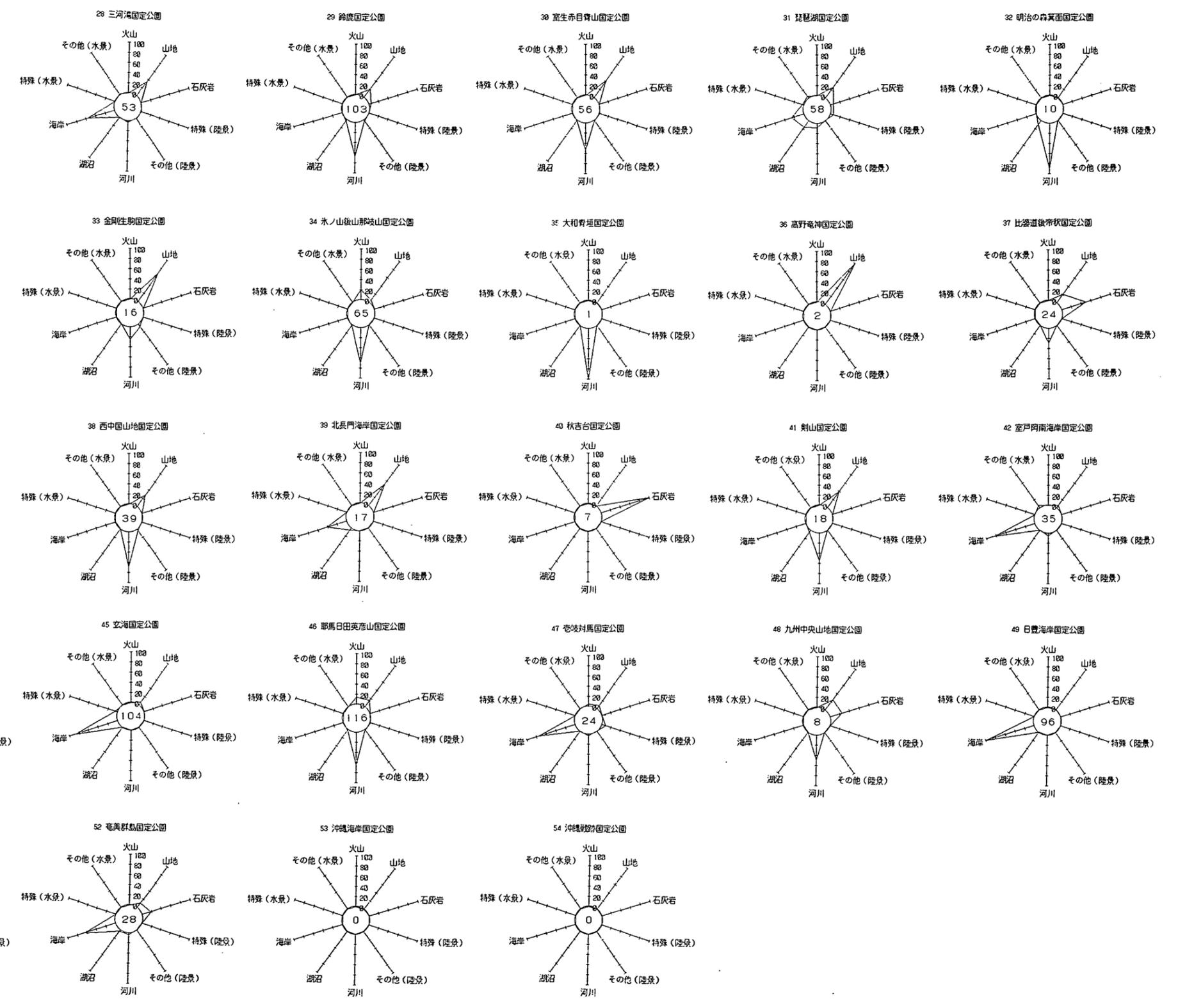
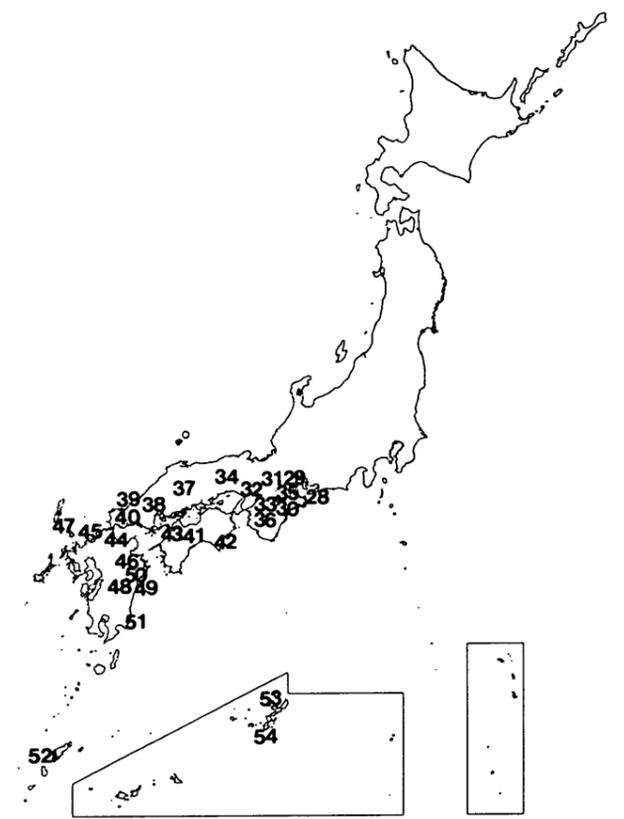
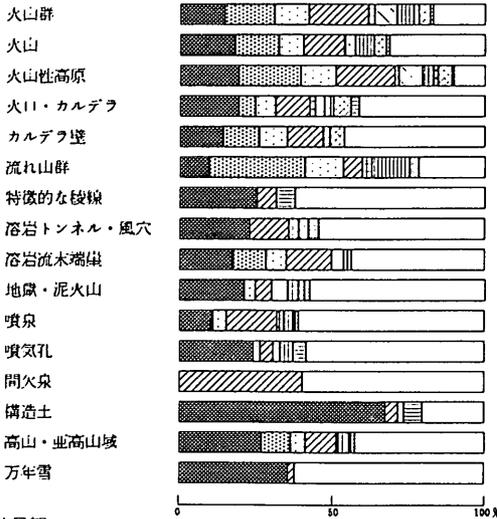


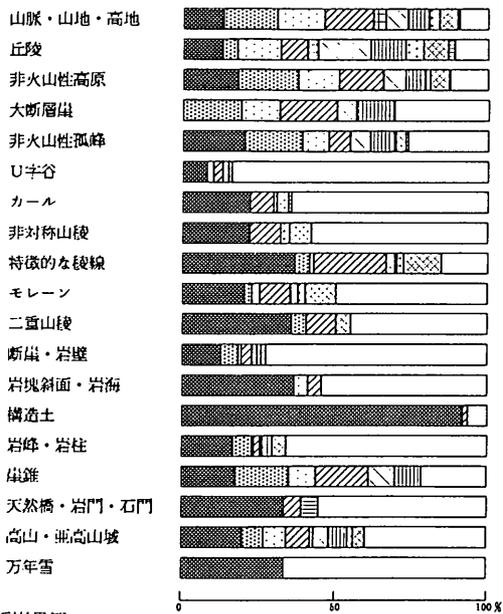
図 3-36 国定公園内の自然景観資源分布状況 (その 2)

陸景

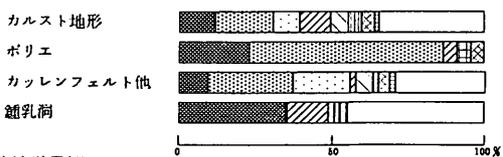
火山景観



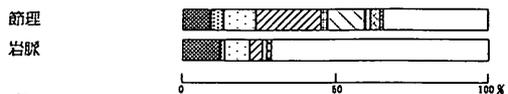
山地景観



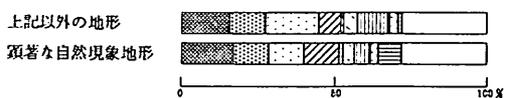
石灰岩景観



特殊地学景観

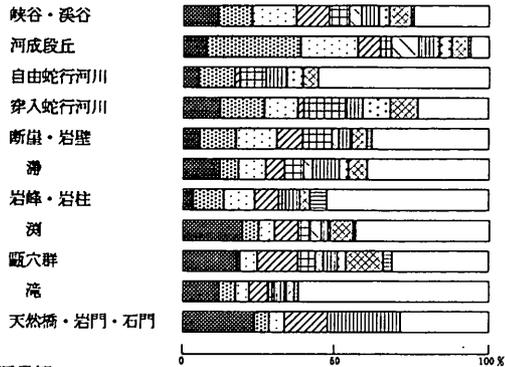


その他

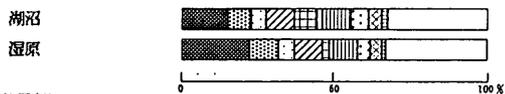


水景

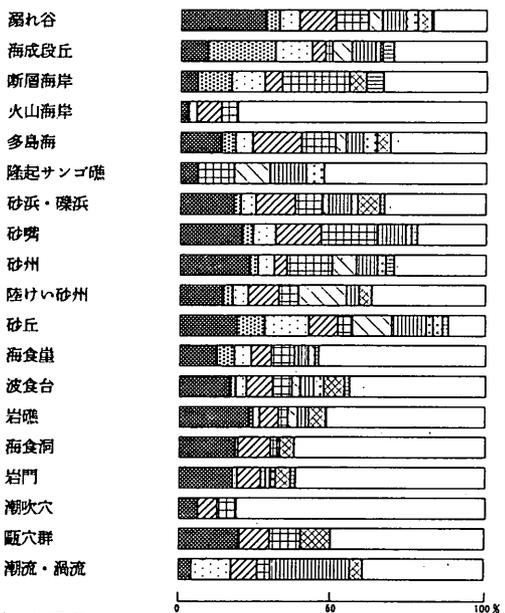
河川景観



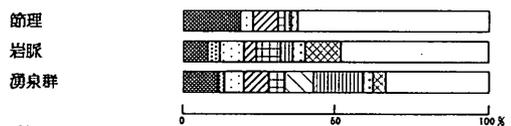
湖沼景観



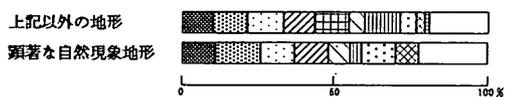
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

- | | |
|--------|---------|
| 人の立ち入り | その他の開発 |
| 農林業開発 | 周辺の開発 |
| 道路開発 | 汚染物質の侵入 |
| 観光開発 | ゴミの投棄 |
| 水辺の開発 | その他 |
| | 特になし |

図 3-37 自然景観資源に対するインパクト 全 国

表3-32 自然景観資源に対するインパクト 全 国

| 類 型 | 自然景観資源名 | 特になし | 人の 立入り | 農林業 開発 | 道路 開発 | 観光 開発 | 水辺の 開発 | その他 の開発 | 周辺の 開発 | 汚染質 の侵入 | ゴミの 投棄 | その他 | 単位：% | | |
|-----------|---------|-----------|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|-----------|------------|-----------|-------|-------|----------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | | 計 | | |
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 17.1 | 14.3 | 16.4 | 11.1 | 19.5 | 2.1 | 7.3 | 5.6 | 1.7 | 3.8 | 1.0 | 100.0 | |
| | | 火山 | 31.6 | 17.9 | 14.3 | 7.9 | 13.3 | 0.4 | 3.3 | 6.0 | 0.1 | 4.1 | 1.0 | 100.0 | |
| | | 火山性高原 | 10.5 | 19.0 | 20.1 | 11.6 | 19.4 | 1.4 | 7.8 | 3.7 | 1.4 | 4.4 | 0.7 | 100.0 | |
| | | 火口・カルデラ | 41.5 | 18.9 | 5.5 | 6.7 | 11.0 | 1.8 | 3.0 | 2.1 | 0.9 | 5.8 | 2.7 | 100.0 | |
| | | カルデラ壁 | 46.5 | 14.0 | 11.6 | 9.3 | 11.6 | | | | 2.3 | | 4.7 | 100.0 | |
| | | 流れ山群 | 21.9 | 9.4 | 31.3 | 12.5 | 6.3 | 3.1 | | | 12.5 | | 3.1 | 100.0 | |
| | | 特徴的な稜線 | 62.5 | 25.0 | | | 6.3 | | | | | | | 6.3 | 100.0 |
| | | 溶岩トンネル・風穴 | 54.8 | 22.6 | | | 12.9 | | | 3.2 | | | 3.2 | 3.2 | 100.0 |
| | | 溶岩流末端崖 | 44.0 | 17.3 | 10.7 | 6.7 | 14.7 | | 4.0 | 1.3 | | | 1.3 | 1.3 | 100.0 |
| | | 地獄・泥火山 | 57.9 | 21.1 | | 3.5 | 5.3 | | 5.3 | 3.5 | | | 1.8 | 1.8 | 100.0 |
| | | 噴泉 | 61.3 | 10.4 | 0.5 | 4.2 | 16.5 | 0.9 | 1.4 | 2.8 | 0.5 | 0.5 | 0.9 | 0.9 | 100.0 |
| | | 噴気孔 | 58.7 | 23.9 | | 2.2 | 4.3 | | 2.2 | 4.3 | | | 4.3 | 4.3 | 100.0 |
| | | 間欠泉 | 60.0 | | | | 40.0 | | | | | | | | 100.0 |
| | | 構造土 | 20.4 | 67.3 | | | 4.1 | | | | | | 2.0 | 6.1 | 100.0 |
| | 高山・亜高山域 | 42.9 | 26.8 | 9.5 | 4.8 | 10.1 | | 0.6 | 3.6 | | | 0.6 | 1.2 | 100.0 | |
| | 万年雪 | 62.5 | 35.4 | | | 2.1 | | | | | | | | 100.0 | |
| | 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 9.8 | 12.9 | 17.7 | 15.2 | 16.1 | 4.1 | 7.3 | 7.1 | 3.3 | 5.9 | 0.6 | 100.0 |
| | | | 丘陵 | 11.4 | 12.8 | 4.7 | 14.1 | 8.7 | 3.4 | 17.4 | 11.4 | 6.0 | 8.1 | 2.0 | 100.0 |
| | | | 非火山性高原 | 12.8 | 17.8 | 19.6 | 13.4 | 14.3 | 0.3 | 7.2 | 6.5 | 1.6 | 6.2 | 0.3 | 100.0 |
| | | | 大断層崖 | 31.3 | | 18.8 | 12.5 | 18.8 | | 6.3 | 12.5 | | | | |
| 非火山性孤峰 | | | 26.5 | 20.0 | 18.8 | 8.6 | 7.0 | 0.1 | 6.5 | 8.0 | 0.4 | 3.4 | 0.8 | 100.0 | |
| U字谷 | | | 84.2 | 7.9 | | 2.0 | 3.0 | 2.0 | | | | | 1.0 | 100.0 | |
| カール | | | 64.8 | 21.9 | | | 7.6 | | | | | 1.0 | 3.8 | 1.0 | 100.0 |
| 非対称山稜 | | | 58.0 | 21.7 | | | 10.1 | | | | | 2.9 | 7.2 | | 100.0 |
| 特徴的な稜線 | | | 15.4 | 36.4 | 4.9 | 1.4 | 23.8 | | 2.8 | 0.7 | | 2.1 | 12.6 | | 100.0 |
| モレーン | | | 50.0 | 20.0 | 2.5 | 2.5 | 10.0 | | | 2.5 | 2.5 | 10.0 | | | 100.0 |
| 二重山稜 | | | 45.2 | 35.5 | 4.8 | | 9.7 | | | | | | 4.8 | | 100.0 |
| 断崖・岩壁 | | | 73.0 | 12.5 | 5.6 | 1.0 | 3.3 | 0.3 | 1.5 | 1.3 | | | 1.5 | | 100.0 |
| 岩塊斜面・岩海 | | | 54.5 | 36.4 | | 4.5 | 4.5 | | | | | | | | 100.0 |
| 構造土 | | | 6.7 | 91.7 | | | 1.7 | | | | | | | | 100.0 |
| 岩峰・岩柱 | | | 66.2 | 16.6 | 6.0 | 0.7 | 2.0 | | 0.7 | 3.3 | | | 4.6 | | 100.0 |
| 崖壁 | | | 21.7 | 17.4 | 17.4 | 8.7 | 17.4 | | 8.7 | 8.7 | | | | | 100.0 |
| 天然橋・岩門・石門 | 55.6 | 33.3 | | | 5.6 | | | | | | | 5.6 | 100.0 | | |
| 高山・亜高山域 | 40.3 | 19.6 | 7.0 | 7.5 | 7.8 | 1.1 | 4.8 | 6.2 | 1.9 | 3.8 | | | 100.0 | | |
| 万年雪 | 66.7 | 33.3 | | | | | | | | | | | 100.0 | | |
| 景 | 石灰岩景観 | カルスト地形 | 34.8 | 11.6 | 18.8 | 8.7 | 10.1 | | 5.8 | 4.3 | | 4.3 | 1.4 | 100.0 | |
| | | ポリエ | 22.7 | 22.7 | 63.6 | | 4.5 | 4.5 | | | | 4.5 | | 100.0 | |
| | | カッレンフェルト他 | 29.6 | 9.3 | 27.8 | 18.5 | 1.9 | | 5.6 | 1.9 | | 3.7 | 1.9 | 100.0 | |
| 景 | 特殊地学景観 | 鍾乳洞 | 45.2 | 34.6 | 0.3 | 0.3 | 13.3 | | 2.0 | 1.7 | 0.3 | 2.0 | 0.3 | 100.0 | |
| | | 節理 岩脈 | 34.7 71.6 | 9.2 12.2 | 4.1 1.4 | 10.2 8.1 | 21.4 4.1 | 2.0 | 12.2 | 2.0 | 1.4 | 3.1 | 1.0 | 100.0 100.0 | |
| 景 | その他 | 上記以外の地形 | 28.1 | 15.4 | 11.6 | 17.5 | 7.4 | 0.7 | 4.6 | 9.8 | 0.7 | 2.8 | 1.4 | 100.0 | |
| | | 顕著な自然現象地形 | 28.2 | 16.7 | 11.5 | 11.5 | 11.5 | 1.3 | 3.8 | 5.1 | | 2.6 | 7.7 | 100.0 | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・溪谷 | 24.3 | 11.3 | 11.5 | 14.3 | 10.9 | 6.7 | 4.2 | 5.5 | 3.4 | 7.1 | 0.7 | 100.0 | |
| | | 河成段丘 | 6.0 | 7.6 | 30.8 | 19.1 | 7.3 | 3.5 | 8.9 | 6.6 | 3.9 | 5.5 | 0.7 | 100.0 | |
| | | 自由蛇行河川 | 55.9 | 5.1 | 11.9 | | 1.7 | 8.5 | | 6.8 | 5.1 | 5.1 | | 100.0 | |
| | | 穿入蛇行河川 | 22.9 | 12.1 | 14.6 | 10.8 | 1.9 | 14.0 | 0.6 | 5.1 | 8.9 | 8.9 | | 100.0 | |
| | | 断崖・岩壁 | 37.9 | 5.5 | 11.9 | 13.5 | 8.3 | 9.8 | 2.4 | 3.7 | 0.6 | 4.9 | 1.5 | 100.0 | |
| | | 滝 | 39.4 | 12.1 | 6.1 | 9.1 | 6.1 | 6.1 | 3.0 | 9.1 | 3.0 | 6.1 | | 100.0 | |
| | | 岩峰・岩柱 | 52.8 | 3.4 | 10.1 | 10.1 | 7.9 | 1.1 | 1.1 | 4.5 | | 3.4 | 5.6 | 100.0 | |
| | | 滝 | 43.2 | 19.7 | 5.3 | 5.3 | 7.6 | 3.8 | 3.8 | 2.3 | 0.8 | 7.6 | 0.8 | 100.0 | |
| | | 滝穴群 | 31.1 | 17.9 | 0.9 | 5.7 | 13.2 | 5.7 | 2.8 | 4.7 | 2.8 | 12.3 | 2.8 | 100.0 | |
| | | 滝 | 62.2 | 11.9 | 5.5 | 4.4 | 6.3 | 1.3 | 0.9 | 3.2 | 0.6 | 2.5 | 1.3 | 100.0 | |
| | | 天然橋・岩門・石門 | 28.6 | 23.8 | 4.8 | 4.8 | 14.3 | | | 23.8 | | | | | 100.0 |
| | 水 | 湖沼景観 | 湖沼 | 32.0 | 15.0 | 7.8 | 4.9 | 9.2 | 7.4 | 1.8 | 9.6 | 6.0 | 4.5 | 1.8 | 100.0 |
| | | | 湿原 | 32.7 | 22.3 | 9.6 | 5.0 | 9.2 | 2.4 | 1.4 | 8.0 | 4.2 | 3.8 | 1.2 | 100.0 |
| | 景 | 海岸景観 | 溺れ谷 | 17.2 | 28.0 | 4.5 | 6.4 | 12.1 | 10.8 | 4.5 | 7.6 | 3.8 | 4.5 | 0.6 | 100.0 |
| | | | 海成段丘 | 29.9 | 8.8 | 22.4 | 11.8 | 4.5 | 2.4 | 6.6 | 7.6 | 1.5 | 0.9 | 3.6 | 100.0 |
| | | | 断層海岸 | 33.3 | 5.6 | 11.1 | 11.1 | 5.6 | 22.2 | | | | 5.6 | 5.6 | 100.0 |
| | | | 火山海岸 | 81.1 | 2.7 | | 2.7 | 8.1 | 5.4 | | | | | | 100.0 |
| 多島海 | | | 30.7 | 13.6 | 4.5 | 5.7 | 15.9 | 11.4 | 3.4 | 5.7 | 4.5 | 4.5 | | 100.0 | |
| 隆起サンゴ礁 | | | 52.9 | 5.9 | | | | 11.8 | 11.8 | 5.9 | | | | 100.0 | |
| 砂浜・礫浜 | | | 32.7 | 17.5 | 2.4 | 4.9 | 13.0 | 9.0 | 2.1 | 7.4 | 2.2 | 7.4 | 1.3 | 100.0 | |
| 砂嘴 | | | 22.2 | 20.4 | 3.7 | 7.4 | 14.8 | 18.5 | | 9.3 | | 1.9 | 1.9 | 100.0 | |
| 砂州 | | | 29.7 | 23.0 | 2.7 | 5.4 | 4.1 | 14.9 | 8.1 | 6.8 | 2.7 | | 2.7 | 100.0 | |
| 陸けい砂州 | | | 36.7 | 14.3 | 3.1 | 5.1 | 10.2 | 6.1 | 16.3 | 4.1 | | 4.1 | | 100.0 | |
| 砂丘 | | | 12.1 | 18.9 | 9.1 | 14.3 | 9.8 | 4.9 | 12.8 | 10.9 | 2.3 | 3.0 | 1.9 | 100.0 | |
| 海食崖 | | | 54.4 | 12.4 | 5.6 | 5.6 | 6.7 | 7.4 | 1.3 | 3.0 | 0.1 | 2.3 | 1.3 | 100.0 | |
| 波食台 | | | 43.9 | 16.7 | 1.8 | 3.5 | 8.8 | 6.1 | 2.6 | 4.4 | 3.5 | 7.0 | 1.8 | 100.0 | |
| 岩礁 | | | 51.5 | 22.9 | 1.3 | 2.2 | 6.2 | 3.1 | 3.1 | 2.6 | 0.9 | 5.7 | 0.4 | 100.0 | |
| 海食洞 | | | 62.3 | 18.5 | | 0.8 | 10.8 | 2.3 | | 2.6 | 0.8 | 4.6 | | 100.0 | |
| 岩門 | 61.9 | 17.5 | | 1.6 | 7.9 | 1.6 | | 1.6 | 1.6 | 4.8 | 1.6 | 100.0 | | | |
| 潮穴 | 81.3 | 6.3 | | | 6.3 | 6.3 | | | | | | 100.0 | | | |
| 滝穴群 | 50.0 | 20.0 | | | 10.0 | 10.0 | | | | | | 100.0 | | | |
| 潮流・渦流 | 39.1 | 4.3 | | 13.0 | 8.7 | 4.3 | | 26.1 | | 10.0 | 4.3 | 100.0 | | | |
| 水 | 特殊地学景観 | 節理 | 62.5 | 18.8 | | 4.2 | 8.3 | 2.1 | | 2.1 | | 2.1 | | 100.0 | |
| | | 岩脈 | 48.0 | 8.0 | 4.0 | 8.0 | 4.0 | 8.0 | | 4.0 | 4.0 | 12.0 | | 100.0 | |
| | | 湧泉群 | 33.3 | 11.5 | 2.1 | 6.3 | 8.3 | 5.2 | 9.4 | 16.7 | 3.1 | 4.2 | | 100.0 | |
| 水 | その他 | 上記以外の地形 | 19.1 | 10.1 | 11.5 | 11.8 | 10.1 | 11.5 | 5.2 | 11.5 | 5.2 | 2.8 | 1.4 | 100.0 | |
| | | 顕著な自然現象地形 | 22.2 | 11.1 | 14.8 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | 7.4 | 3.7 | 11.1 | 7.4 | | 100.0 | |
| 自然景観資源合計 | | | 36.8 | 15.8 | 10.0 | 7.9 | 9.5 | 3.6 | 3.7 | 5.5 | 1.9 | 4.2 | 1.1 | 100.0 | |

IV 総括

「自然景観資源調査」は第3回自然環境保全基礎調査の一環として新たに開始された調査である。わが国の自然景観の現況を全国的視野で把握するため、視対象である自然景観の基盤（骨格）をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象に着目して、それらの位置及び特性等が調査された。

自然景観として抽出された資源数は全国で15,468カ所であり、陸景6,668カ所、水景8,800カ所となっている。

この種の全国調査は、わが国でも初の試みであることから、以下にあげるような課題が得られた。

1. 火山群票、山地・山脈・丘陵票は比較的よく書かれているが、一般票の特性では、深さなどの未記入（または不明）が多く、調査票の工夫が必要である。
2. 火山群、山地・山脈・丘陵、火山、非火山性孤峯等ではくくり方に県等による違いがあり、接合がとれない場合の方が多い。
3. 県等による抽出レベルの違いがあり、県境等で切れてしまうことが多く、火山群、山地・山脈・丘陵等の大地形は、全国統一レベルで選定基準を設定する方がよいと考えられる。
4. 記入上の勘違い、たとえば火山群票の峯のメッシュの複数記入などが見られる。その他、メッシュ読み取り、面積等の読み取りの単純ミスがある。メッシュ地形図の仕様の改善を要する。
5. 高山域、亜高山域等、植生との関連の深いものについても、全国統一レベルで選定する方が望ましい。
6. 原図上で特に資源が集中する地域は、特に煩雑となるので資源類型毎の色分け等の表示法の改善が望まれる。
7. カルデラ壁等全国レベルでの統一化が困難なものがある。他の資源名の1特性として扱う等の工夫が必要である。
8. 同一種の地形ながら、存在位置によって資源名が分かれているものがあり、採用にあたっての混乱が一部にみられる。類型区分の改善が必要である。

- 9 資源名の設定意図と実際に抽出された資源の性質とで不一致がみられる。各資源の定義・適用を明確にする必要がある。
- 10 景観調査としてわかりやすくするため、対象資源の現地写真等を添付するなど、今後の調査で視覚的手段を盛り込んでいくことが望まれる。

参 考 文 献

- | | | |
|--------------------|---------|------------------------------------|
| 環 境 庁 | 1987 | 第3回自然環境保全基礎調査要綱， 自然景観資源調査 |
| 一色 直記ほか | 1968 | 日本の火山，200万分の1地質編集図 No.11， 地質調査所 |
| 経 済 企 画 庁 国 土 庁 | (1954～) | 土地分類図（地形分類図，表層地質図，土壤図等） |
| 日本第四紀学会 | 1987 | 日本第四紀地図，東京大学出版会 |
| 気 象 庁 | 1974 | 日本活火山総覧 |
| 国 土 地 理 院 | 1981 | 標準地名集（自然地名） |
| 守屋 以智雄 | 1983 | 日本の火山地形，東京大学出版会 |

付 図 及 び 付 表

**自然景観資源分布図の説明表、
及び資源分布図**

自然景観資源分布図の説明表

(1 / 5)

| 自然景観資源名 | 資源の分布等に関する説明 |
|-------------------|--|
| A1-01 火山群 | (省略) |
| A1-02 火山 | 火山フロントが明確に捉えられる。日本列島・日本海溝のような島弧-海溝系では島弧の海溝側に火山分布線(火山フロント)ができ、その内側(海溝と反対側)より火山が密集する。 |
| A1-03 火山性高原 | 非火山山地の上に噴出した火山に多いが、県等により採用が不統一である。固有名の「……高原」の扱いが課題である。1/20万印刷図では「台地状」と「非台地状」を区別した。 |
| A1-04 火口・カルデラ | 阿蘇など大型カルデラの形が現われている。県等によって採用の不統一があり、調査が進むとさらに増えると考えられる。 |
| A1-05 カルデラ壁 | カルデラの大きさより、地形的な明瞭さが現われた。採用基準が難しく、全国統一データにはややなじみにくいかもしれない。 |
| A1-06 流れ山群 | 磐梯火山の大崩壊(1888)によって生じたものがある。現在、新しい知見に基づく見直しが進んでおり、近い将来に全国的な分布状況が明らかにされるであろう。 |
| A1-07 特徴的な稜線 | 主にナイフリッジが想定されたが、北海道、長野県などで抽出されている。成因は多様と思われる。 |
| A1-08 溶岩トンネル・風穴 | 富士火山に多く発見されており、分布図でも表われている。既往調査が全国レベルで不均一であり、調査の拡大とともに増加すると思われる。 |
| A1-09 溶岩流末端崖 | 地形的に明瞭な溶岩流で最も目につく地形であるが、採用基準がやや不統一である。溶岩流の区分と対応した抽出が必要と思われる。 |
| A1-10 地獄、泥火山 | 火山の噴気地帯を中心に抽出され、九州、北海道に多くみられる。 |
| A1-11 噴泉 | 自然状態で噴出または湧出している温泉を指すが、抽出レベルは県等により不均一であり、中部地方および北海道でよく抽出されている。 |
| A1-12 噴気孔 | 地獄現象を伴わない単独の噴気孔のことであり、東北、北海道である程度抽出されているが、全国的に抽出もれが多いと思われる。 |
| A1-13 間歇泉 | 抽出されたのは全国で6ヵ所と極めて少ないが、未発見のもの等がまだあると思われる。 |
| A1-14 構造土 | 周水河地形の一種であり、中部山岳から東北、北海道大雪山などが抽出されているが、 未調査地域が多いと思われ、抽出数は少ない。 |
| A1-15 高山域 亜高山域 | 分布図では東~北日本にのみ分布するが、西南日本にも小規模なものがあると思われる。 |
| A1-16 万年雪 | 万年雪の存否は水雪の涵養と融解とのバランスで決まるため、気候条件のほかに地形条件も加わる。谷底、火口等に多い。小規模なものも加えるともっと増えると思われる。 |

自然景観資源分布図の説明表

(2 / 5)

| 自然景観資源名 | 資源の分布等に関する説明 |
|----------------------|---|
| A2-01 山脈、山地、 高地 | (省略) |
| A2-02 丘陵 | (省略) |
| A2-03 非火山性高原 | 木曾山脈周辺や中国、東北地方に多いが、固有名としての「……高原」の扱いが課題であり、実態としては高原でありながら、固有名がないために抽出されていないものもあると思われる。 |
| A2-04 大断層崖 | 適用基準を比高で規定したため、著名なもので抽出されていないものがある。地形的な明瞭さも加味すべきであろう。 |
| A2-05 非火山性弧峰 | 山陰～西九州の日本海沿いに集中分布するものは第三紀火山岩の、香川県に集中するのは瀬戸内火山岩類のピユートなどである。また、四国～紀伊半島の中央構造線に沿ってケルンバット(?)が多数分布する。抽出は県により不統一がみられる。 |
| A2-06 U字谷 (氷食谷) | 研究者によって氷食地形としてのU字谷と認定するか否か意見が分かれる。東北、北海道でもっと増えると思われる。 |
| A2-07 カール | 日高、日本アルプスなど代表的な高山に分布する。抽出レベルに違いがあり、東北日本でもっと増えるものと思われる。 |
| A2-08 非対称山稜 | 飛騨山脈、日高山脈など中部から東北日本の山地にみられる。調査が進むともっと増えると考えられる。 |
| A2-09 特徴的な稜線 | 氷河性のもとの、他の侵食作用によるものがある。日本アルプス等、比較的恒って分布がみられるが、抽出基準の不統一も考えられる。 |
| A2-10 モレーン | 本来は、カールとはほぼ一致した分布になるはずであるが、認定に当たっては、研究者の意見が分かれるところである。 |
| A2-11 二重山稜 (線状凹地) | 山稜において、二つの稜線がほぼ並行に並ぶ地形であり、日本アルプス等に分布しているが、北日本で未確認のものがあると思われる。 |
| A2-12 断崖・岩壁 | 峡谷、渓谷とは離れた、山腹等にあるものを対象としているが、急峻な山地の分布にはほぼ対応している。 |
| A2-13 岩塊斜面、 岩海 | 本州を中心に散在しているが、中部山岳や北日本でさらに増えると思われる。 |
| A2-14 構造土 | 中部から東北の山地に分布している。未調査地も多く、北海道などでさらに増えるものと思われる。 |
| A2-15 岩峰・岩柱 | 南アルプスをはじめとして、中部～西日本に優勢に分布する。山地の侵食が進み直立した硬岩が露出しているものが典型である。 |
| A2-16 崖錐 | 扇水河地形の一環として設定したが、採用基準が難しかったかもしれない。全国均一の既往調査がない。 |

自然景観資源分布図の説明表

(3 / 5)

| 自然景観資源名 | 資源の分布等に関する説明 |
|--------------------------|---|
| A2-17 天然橋・岩門 ・石門 | 全国に17と数は少なく、また、人が到達しやすいところで発見されており、山奥に未発見のものがあられる。 |
| A2-18 高山域、 亜高山域 | 日本アルプス、日高山脈が代表的なものといえよう。 |
| A2-19 万年雪 | 白馬岳、谷川岳、飯豊山地等の日本海に面した高山地域の分布が目立つ。成立の条件はA1-16に記したのと同様であり、小規模なものも加えるともっと増えると思われる。 |
| A3-01 カルスト地形 | 石灰岩の大規模な分布地をあらわすが、全部ではない。鍾乳洞だけで、「カルスト地形」として認知されていないところが多い。 |
| A3-02 ポリエ | カルスト地域内の規模の比較的大きい凹地形を指す。秋吉台など極く一部があげられたが、他に未認定のものも多いはずである。 |
| A3-03 カッレンフェルト ・ドリーネ群 | 石灰岩柱およびドリーネの集合する区域を指す。中国地方に多いが、他にも未認定のものが多いはずである。 |
| A3-04 鍾乳洞 | 著名なカルスト地形の他に石灰岩の多い中生層(秩父帯)の分布域が現われている。 |
| A4-01 節理 | 景観として未認定のものが多いと思われる。 |
| A4-02 岩脈 | 景観として未認定のものが多いと思われる。 |
| A5-01 上記以外の 際立った地形 | (省略) |
| A5-00 顕著な自然現象 を記録する地形 | 過去の顕著な自然災害の「記念碑」というべきものである。 |
| B1-01 峡谷・溪谷 | 平野部で大きく抜けるところはあるが、全国的にみられ、山地の分布にほぼ一致している。 |
| B1-02 河成段丘 | 東~北日本に多い傾向がみられる。広大なものは景観として認知され難いので、もっと増えてよいと思われる。 |
| B1-03 自由蛇行河川 | 捷水路の開削により、本川では直線化された例が多い。このような河川で旧河道を抽出したものもあるが、全国的統一はとれていない。下刻により、河道が固定し、穿入蛇行に近いものもある。 |
| B1-04 穿入蛇行河川 | 最近地質時代(第四紀後半)における著しい隆起域に多い。抽出レベルは統一されていない。 |
| B1-05 断崖・岩壁 | 中部、東北地方に多く分布するが、抽出レベルは統一ではなく、「崖」と認定される傾斜や表面形状などについての共通認識が必要と思われる。 |

自然景観資源分布図の説明表

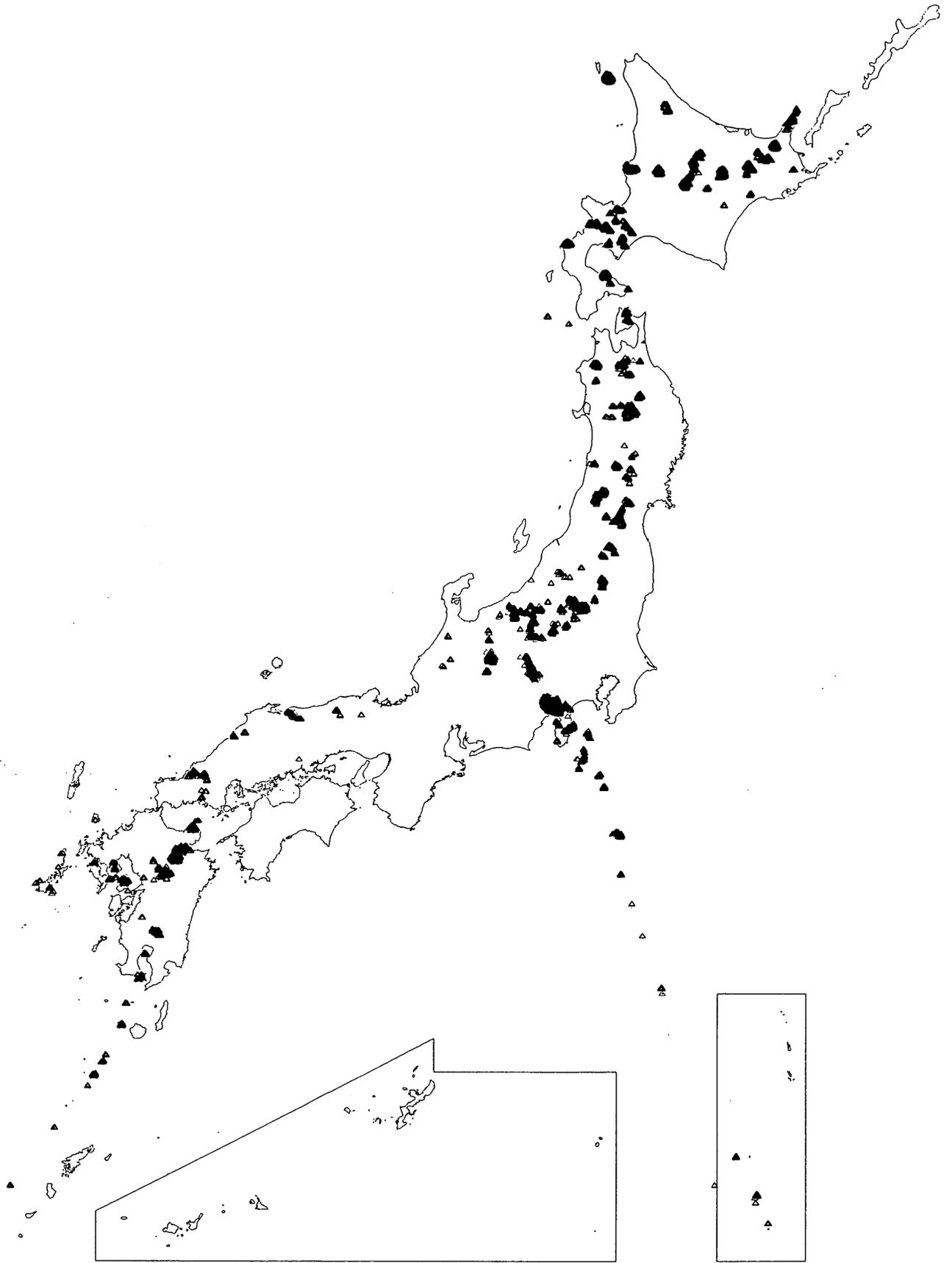
(4 / 5)

| 自然景観資源名 | 資源の分布等に関する説明 |
|---------------------|--|
| B1-06 瀧 | 長瀬や瀧八丁など、地名としての「瀧」が中心となっている。 |
| B1-07 岩峰・岩柱 | 渓谷・峽谷等に付随してみられるものであり、耶馬溪や天竜川沿岸などに集中している。 |
| B1-08 淵 | B1-06 瀧との区別が難しいが、固有名の違いで区分されている。 |
| B1-09 甌穴群 | 東海、中国山地、南九州など西日本を主体として分布している。未発見のものも多いと思われる。 |
| B1-10 滝 | 最も数の多い資源であり、平野地を除いた全国のほとんどの地域で見られる。北海道、北上山地などでは未調査地も多く、今後さらに増加するものと思われる。 |
| B1-11 天然橋・岩門 ・石門 | 全国的に数が少なく、かつ偏って分布している。未発見のものも多いと思われる。 |
| B2-01 湖沼 | 東～北日本に多く、火山地帯、利根川や石狩川などの大河川沿い、地塊運動の激しいところなどに分布する。 |
| B2-02 湿原 | B2-01 湖沼と同様に東～北日本の火山地帯などに多い。また、利根川などの大河川沿いの旧河道や沼沢地に分布する。 |
| B3-01 溺れ谷 | 土砂を供給する大流域の河川がないところに多い。陸中海岸南部、若狭湾東部、紀伊半島西部などで抽出されてもよいと思われる。 |
| B3-02 海成段丘 | 東～北日本、西～南日本の太平洋側、琉球諸島に多い傾向にある。厳密に採ればさらに増えるはずである。 |
| B3-03 断層海岸 | 敦賀湾東岸などはあげられているが、抽出基準を具体的にすればさらに増えると思われる。 |
| B3-04 火山海岸 | 吐鳴瀬列島、道南噴火湾沿いなどが抽出されているが、抽出基準を具体的にすればさらに増えることと思われる。 |
| B3-05 多島海 | 瀬戸内海が典型的であり、もっと増えるものと思われる。 |
| B3-06 隆起サンゴ礁 | 温暖な沿岸域で地殻変動が激しいところをあらわすものであり、もっと多いものと考えられる。 |
| B3-07 砂浜、礫浜 | 件数は九州地方に多いが、東日本に延長の長いものが多い。 |
| B3-08 砂嘴 | 沿岸流、海底地形、土砂供給量などのバランスで形成される。野付半島、三保ノ松原など砂浜、礫浜の端部に多い。 |

自然景観資源分布図の説明表

(5 / 5)

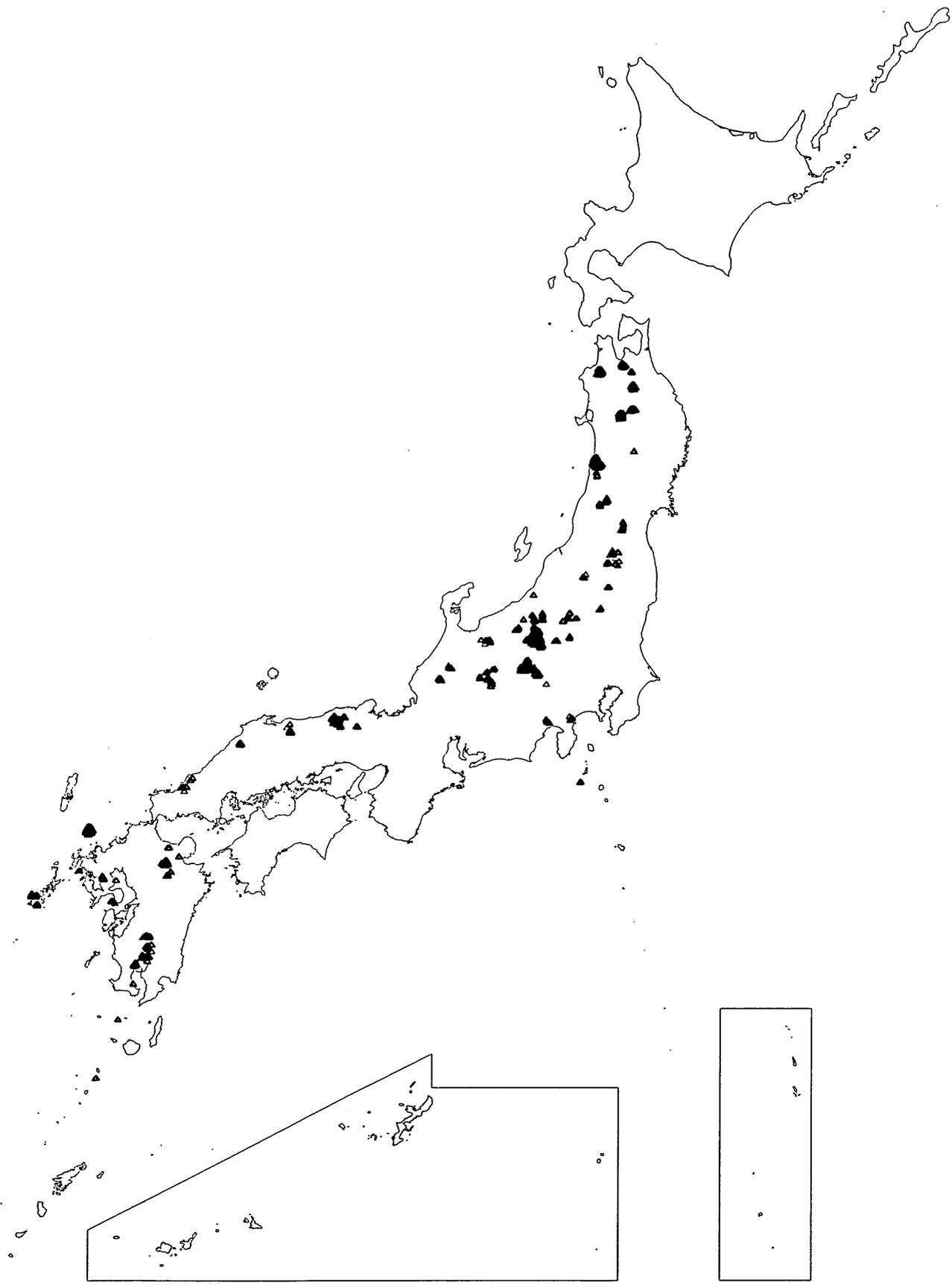
| 自然景観資源名 | 資源の分布等に関する説明 |
|--------------------------|--|
| B3-09 砂州 | 砂嘴がさらに伸びて対岸とほとんど結びつくようになったもの。サロマ湖や天橋立など著名なものがある。 |
| B3-10 陸けい砂州 | 陸れ島を本土につないだ州のことである。海ノ中道(福岡県)など著名なものもある。 |
| B3-11 砂丘 | 付近に大河川の氾濫する、風の強い海岸にできやすい。比高の低いところでは、砂州と区別しがたいことがある。 |
| B3-12 海食崖 | 三陸沿岸、豊後水道沿岸をはじめとして広範囲の沿岸で見られるが、調査が進めばさらに増えるものと思われる。 |
| B3-13 波食台 (ベンチ) | 南紀や日南海岸など著名な所はほぼ抽出されている。現地確認が難しいところもあるが、今後さらに増えるものと思われる。 |
| B3-14 岩礁 | 著名な所は抽出されているが、今後の調査で増える可能性がある。 |
| B3-15 海食洞 | 名称の付されているものを対象として抽出されたが、現地確認の難しいところもあり、今後増えていくものと思われる。 |
| B3-16 岩門 | 著名なものは抽出されているが、海食洞と同様に今後増えていくものと思われる。 |
| B3-17 潮吹穴 | 太平洋岸に多い傾向にある。海食洞から発達した珍しい自然現象であり、新たに発見される可能性もある。 |
| B3-18 甌穴群 | 西日本を中心として、極くわずかにみられる。未発見のものが多いと思われる。 |
| B3-19 潮流、渦流 | 海峽・瀬戸にみられ、瀬戸内海や九州を中心に分布している。 |
| B4-01 節理 | 視覚的に印象の強いものが選ばれている。未発見のものも多いかもしれない。 |
| B4-02 岩脈 | 水面上に突出または露出した岩脈のことで、未発見のものも多いかもしれない。 |
| B4-03 湧泉群 | 県等により抽出基準は不統一であるが、小規模でも著名なものはひろいだされている。 |
| B5-01 上記以外の 際立った地形 | (省略) |
| B5-00 顕著な自然現象 を記録する地形 | 過去の顕著な自然災害の「記念碑」というべきものである。 |



A102

火山景觀

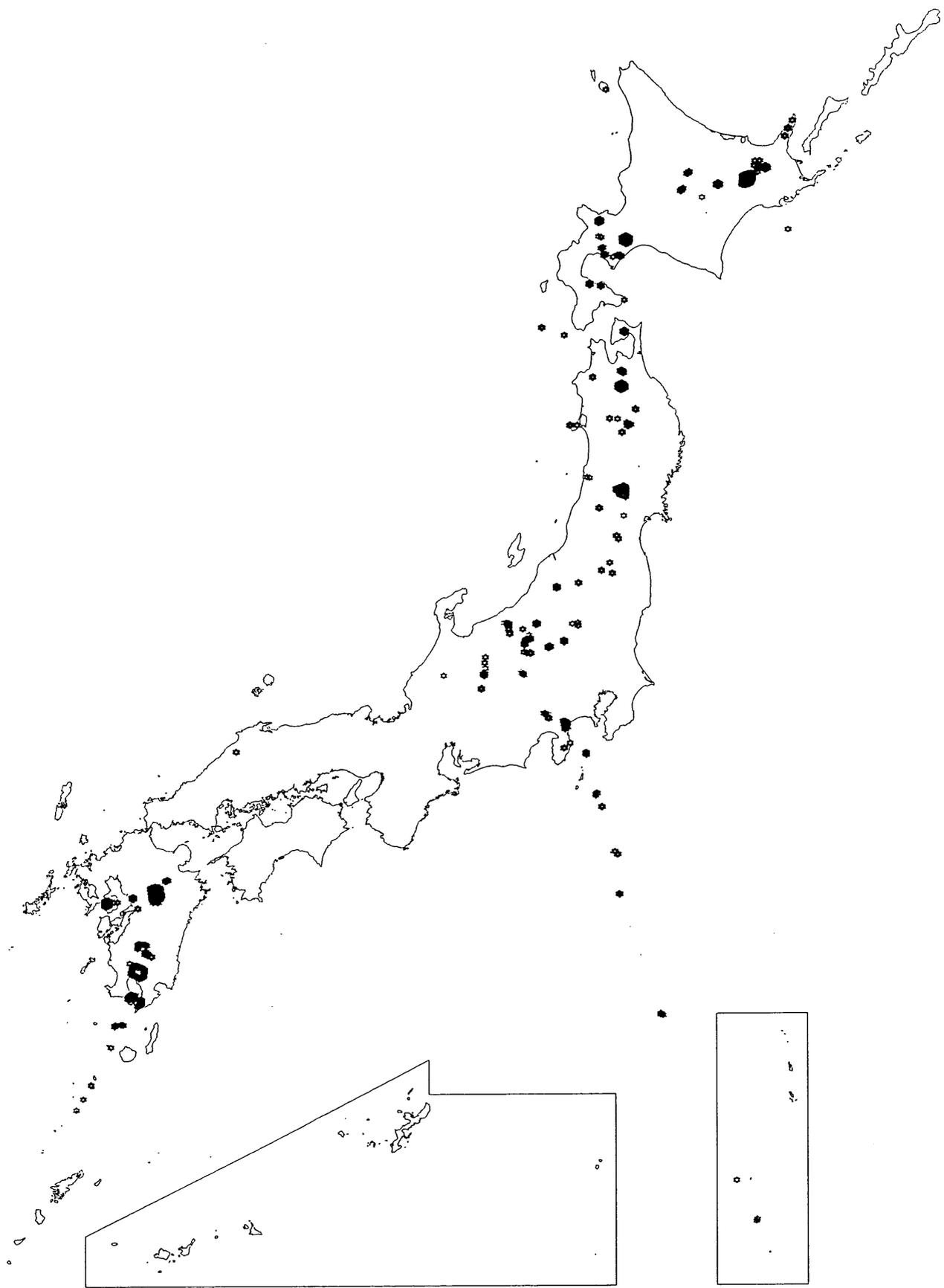
火山



A103

火山景觀

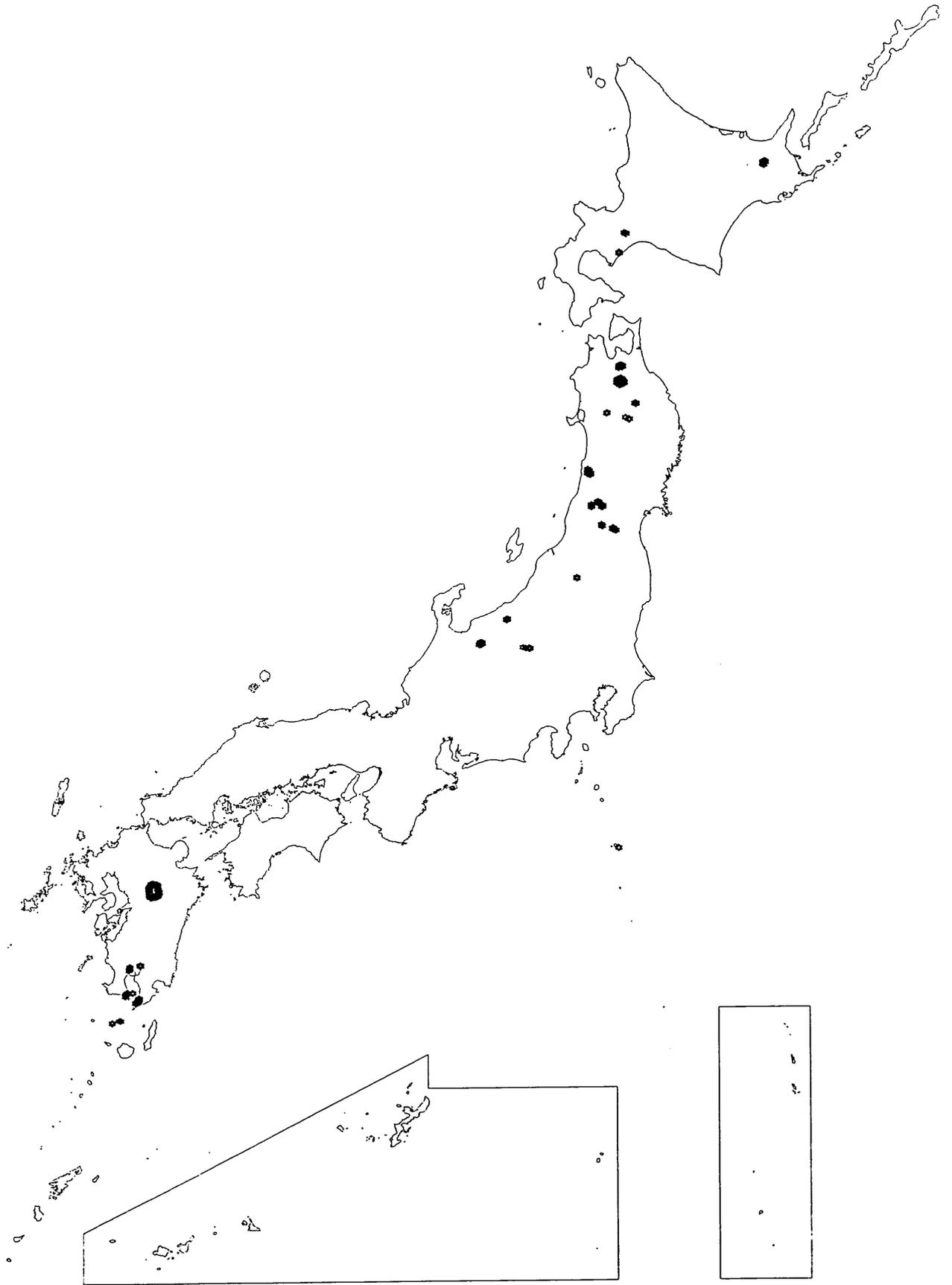
火山性高原



A104

火山景観

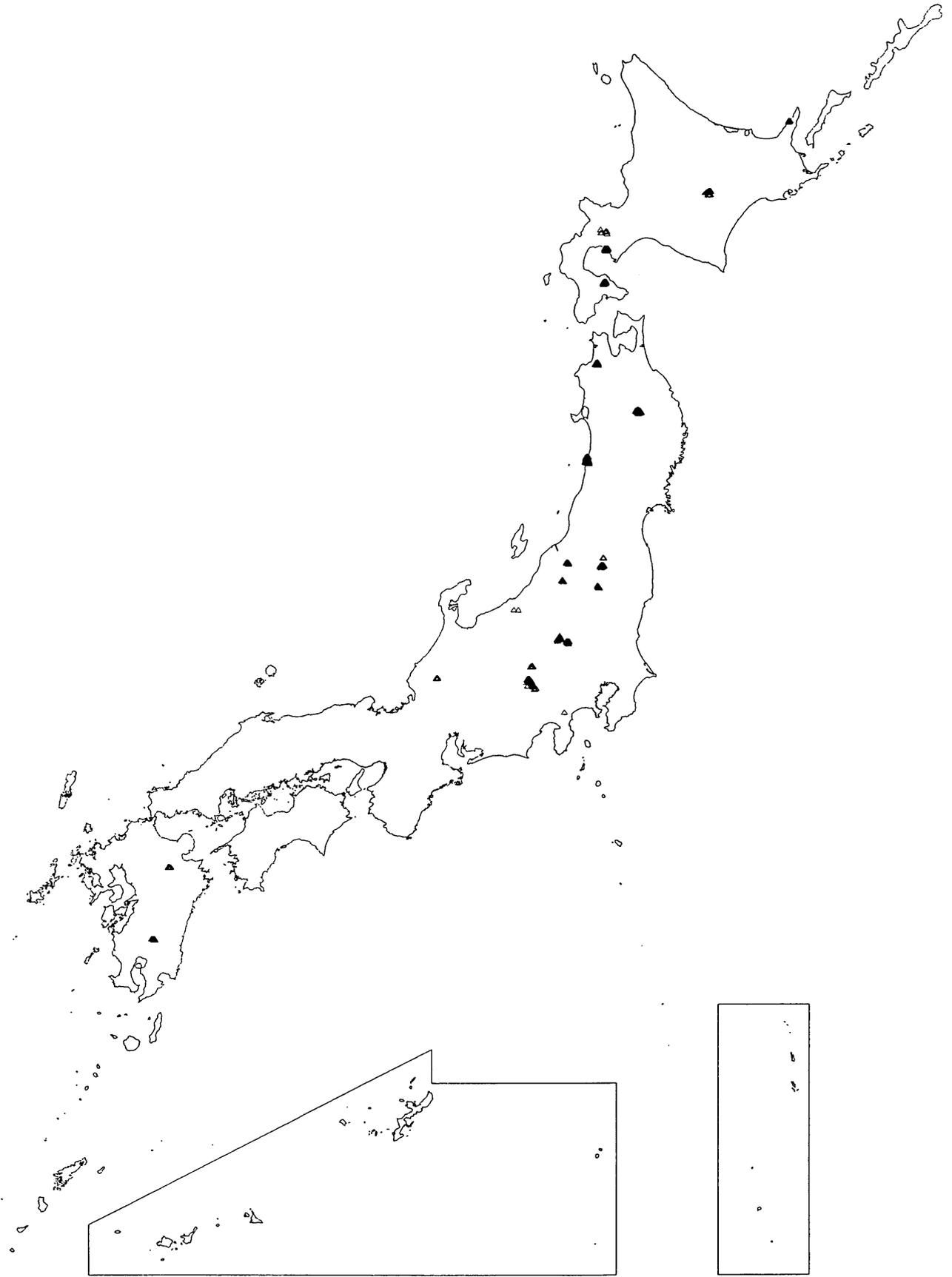
火口・カルデラ



A105

火山景観

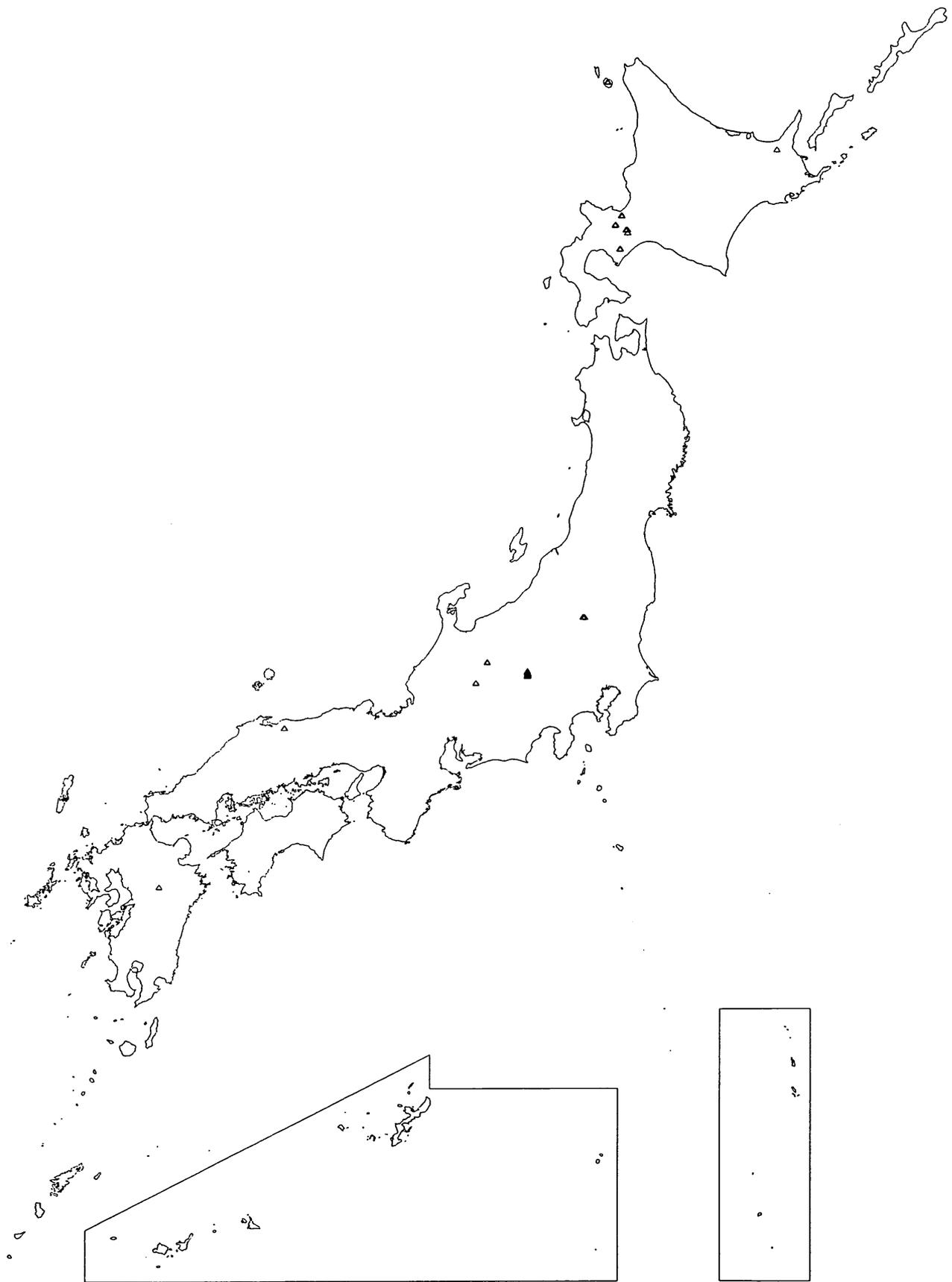
カルデラ壁



A106

火山景観

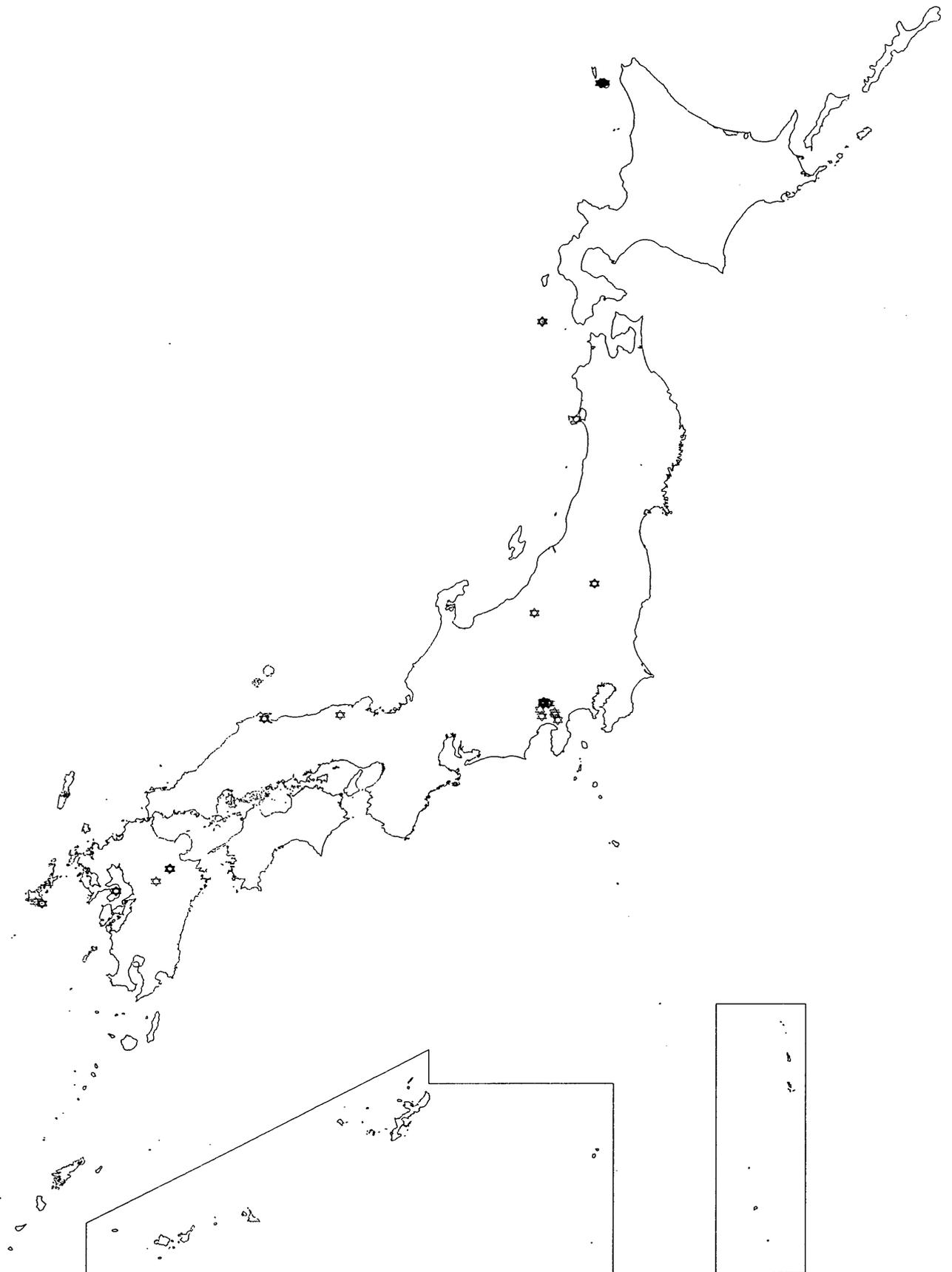
流れ山群



A107

火山景観

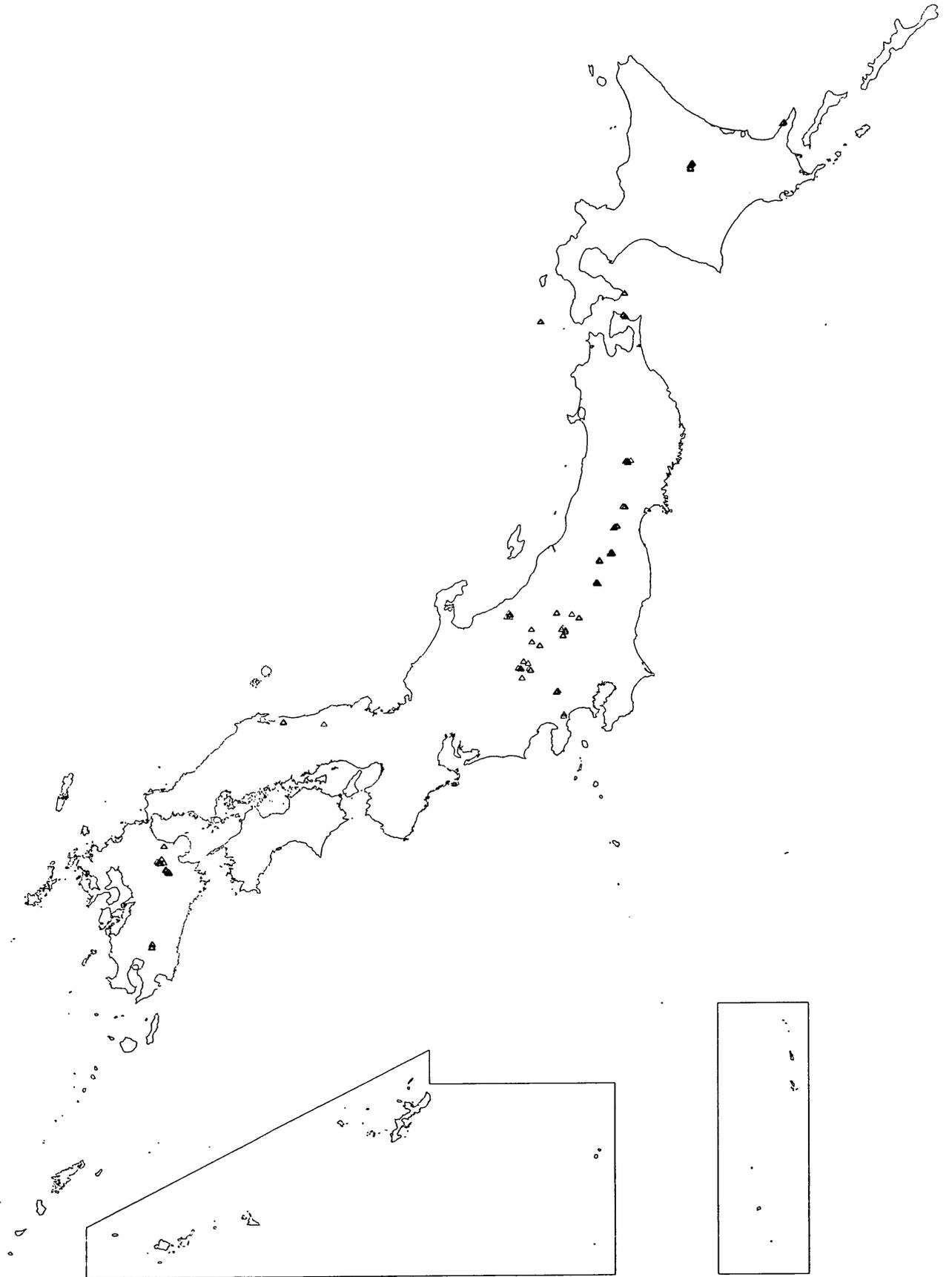
特徴的な稜線



A108

火山景観

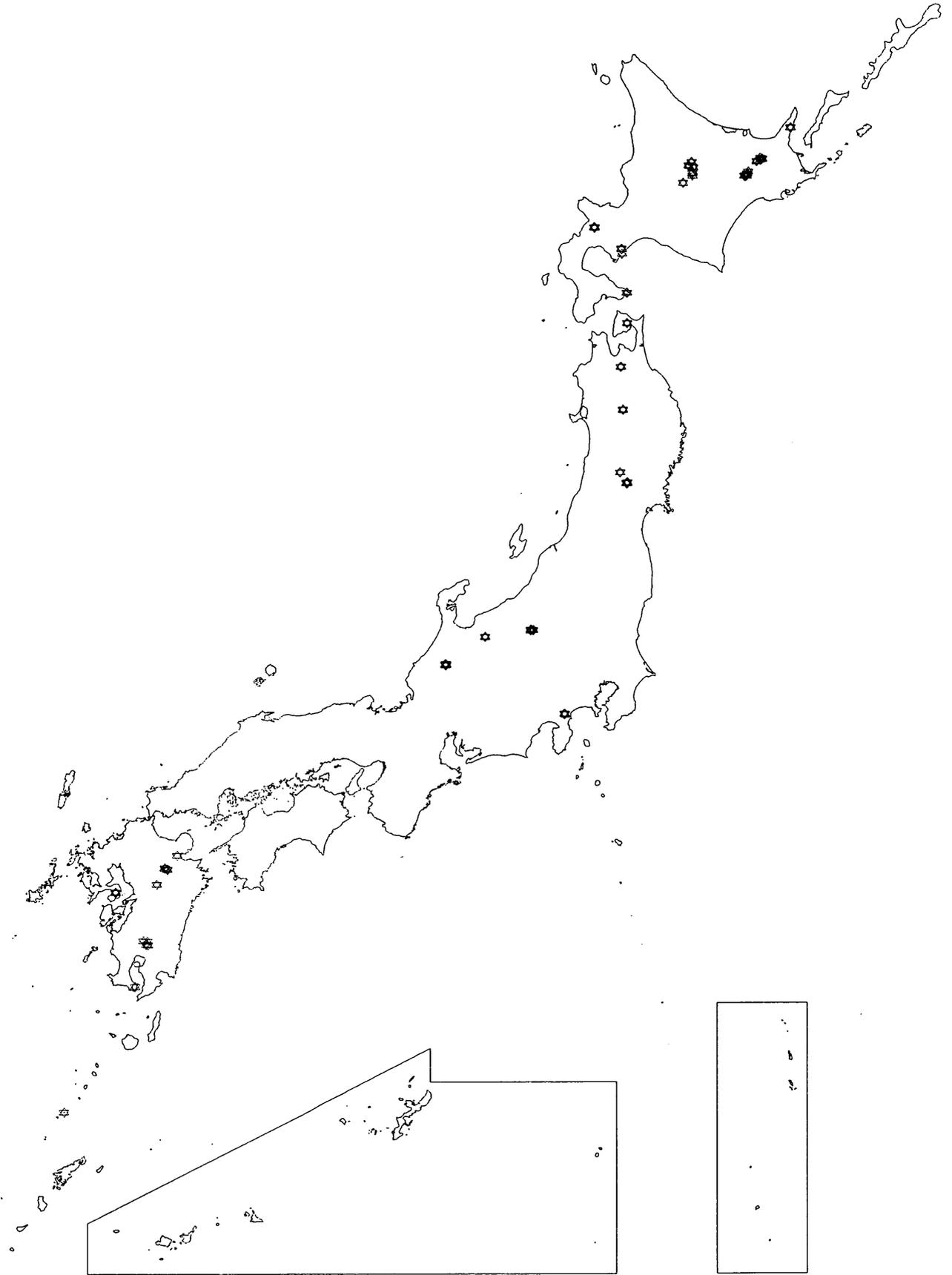
溶岩トンネル・風穴



A109

火山景観

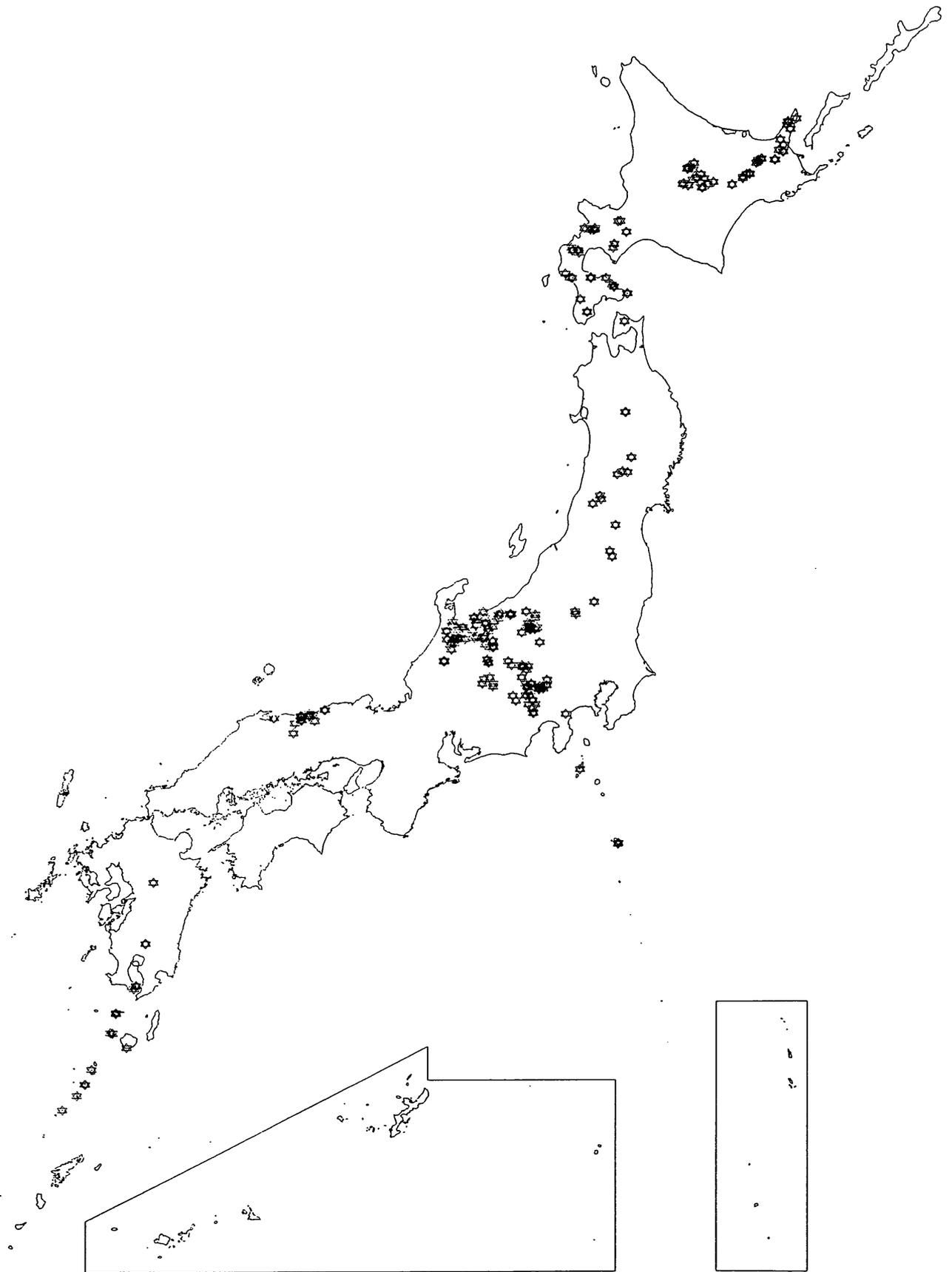
溶岩流末端崖



A110

火山景観

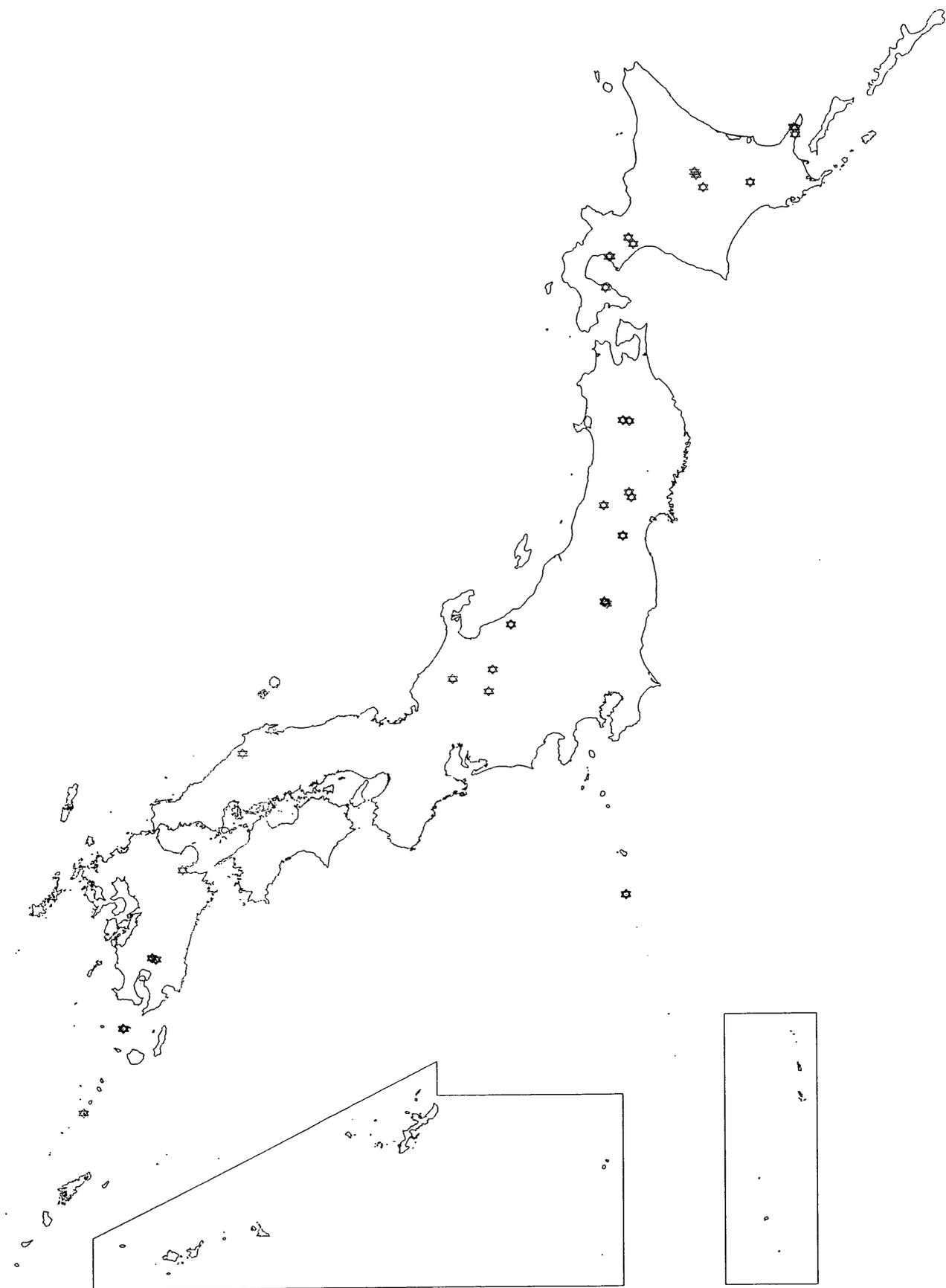
地獄・泥火山



A111

火山景観

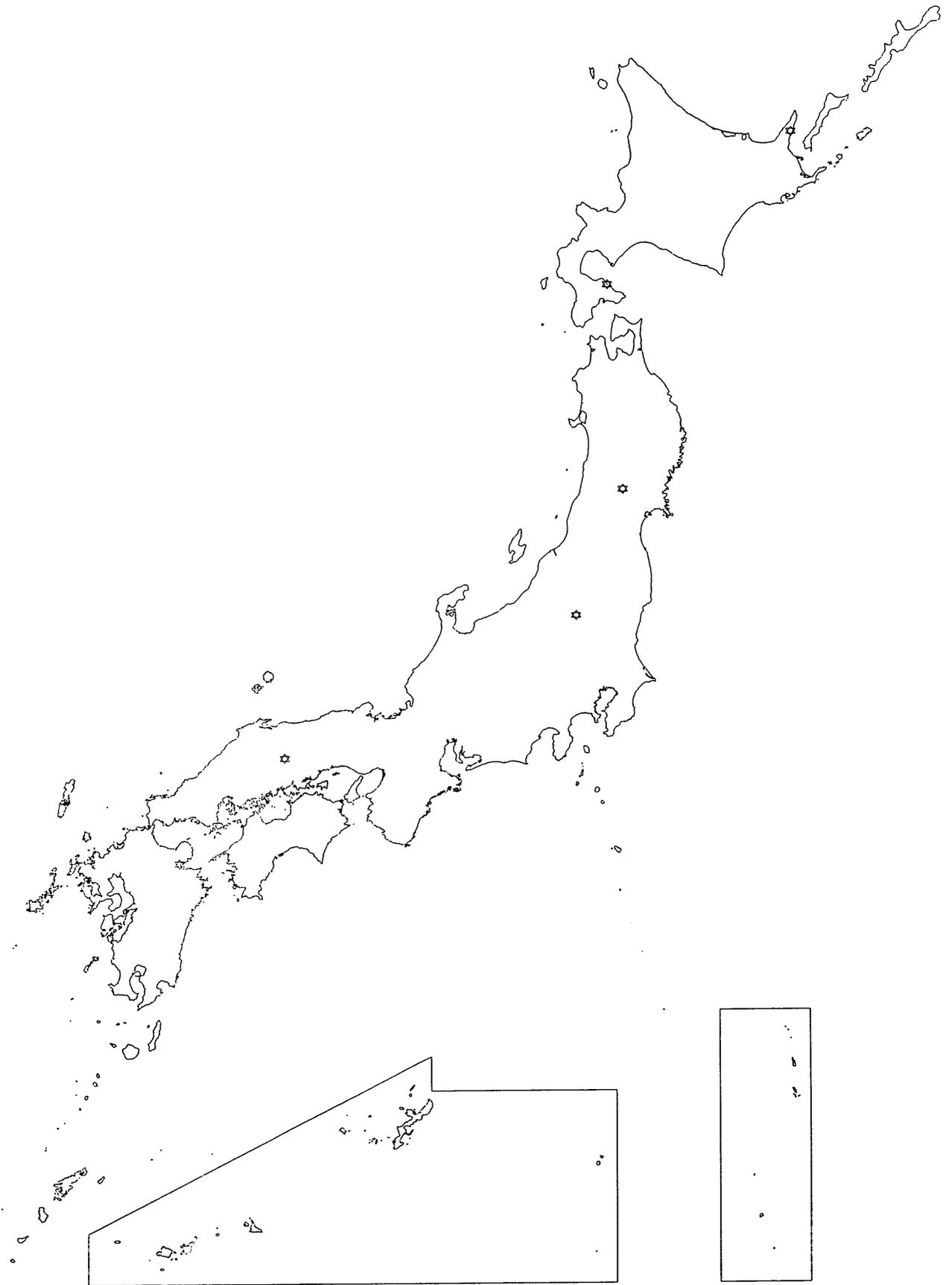
噴泉



A112

火山景觀

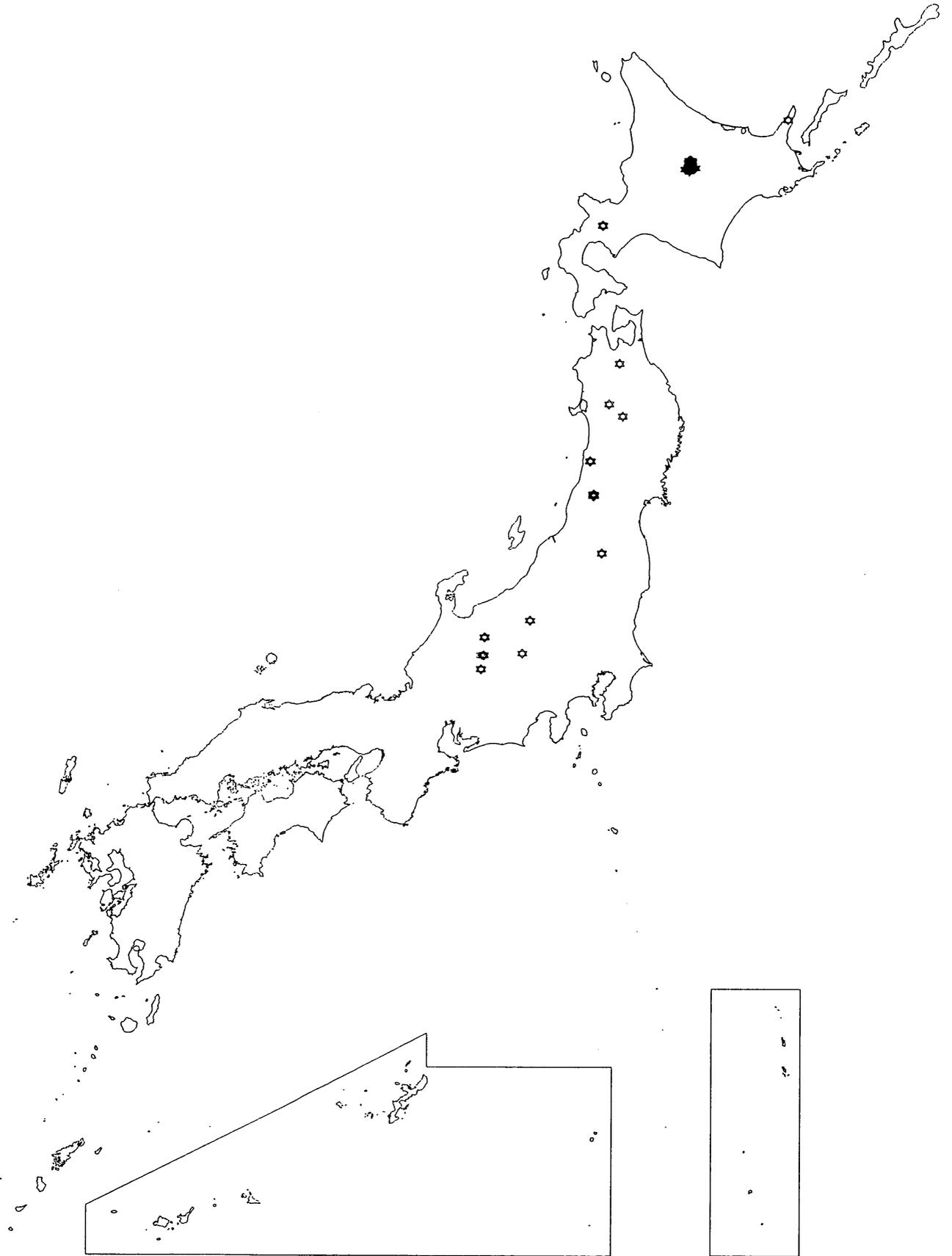
噴氣孔



A113

火山景観

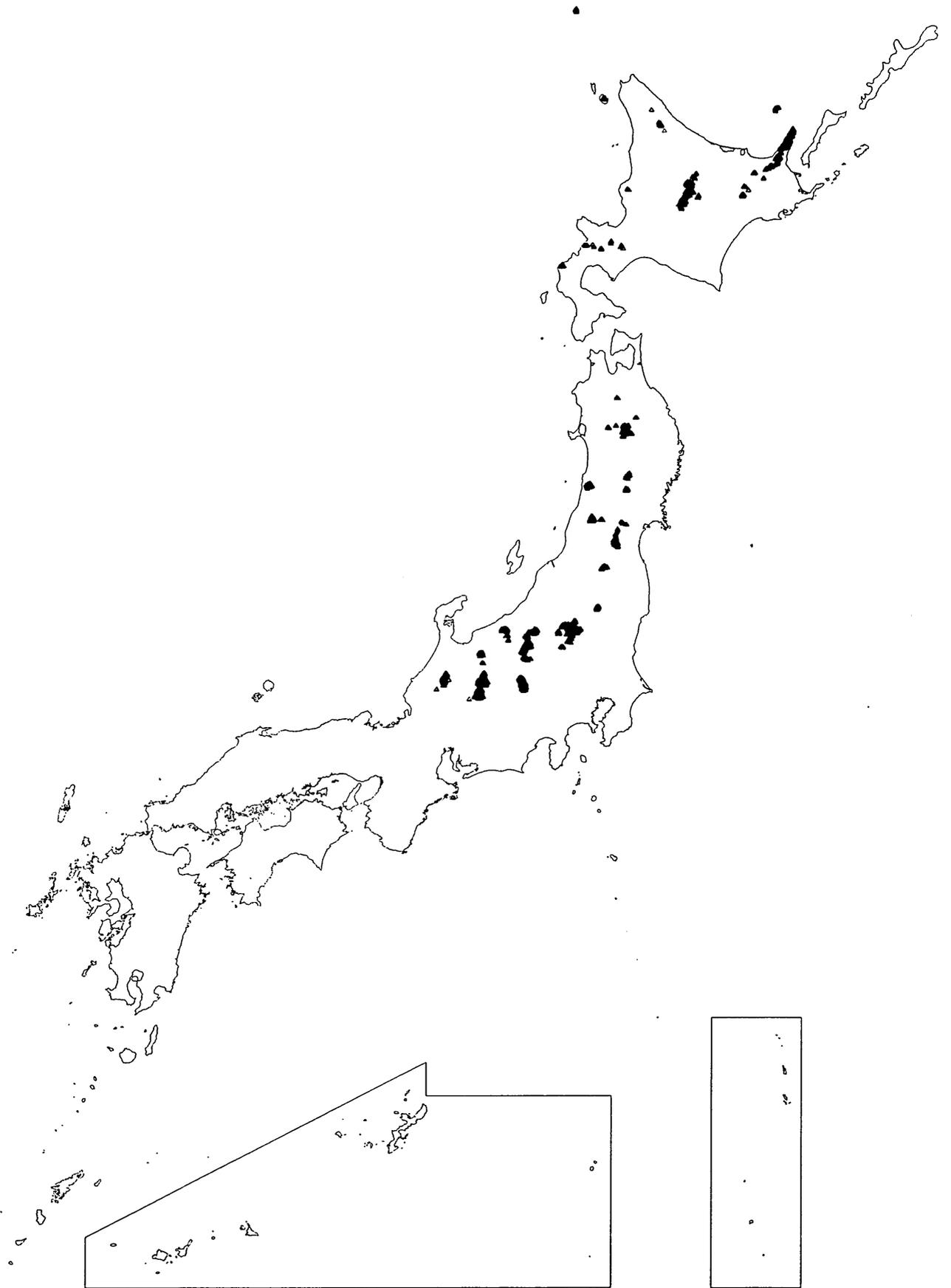
間欠泉



A114

火山景観

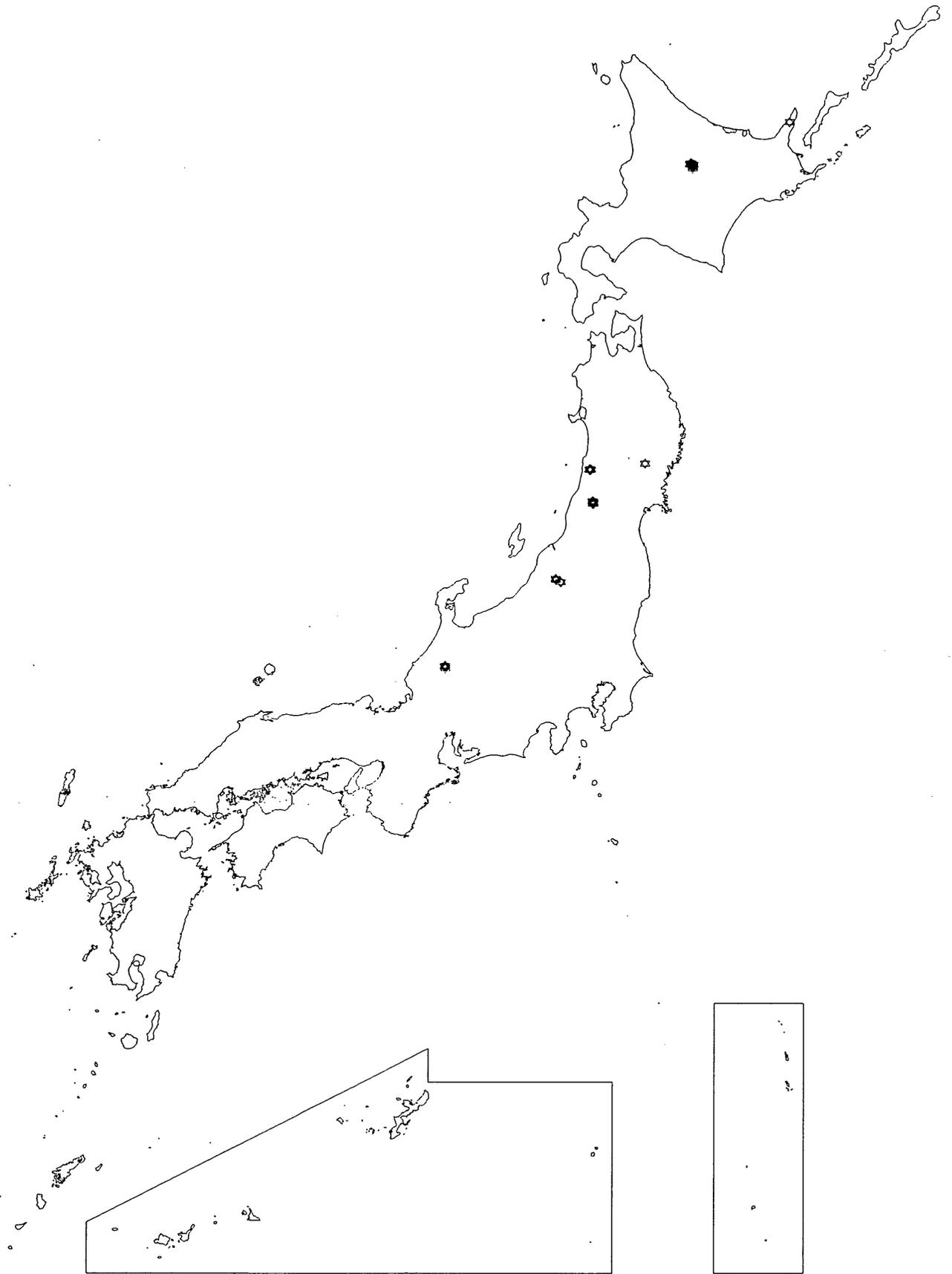
構造土



A115

山地景観

高山・亜高山域



A116

山地景観

万年雪

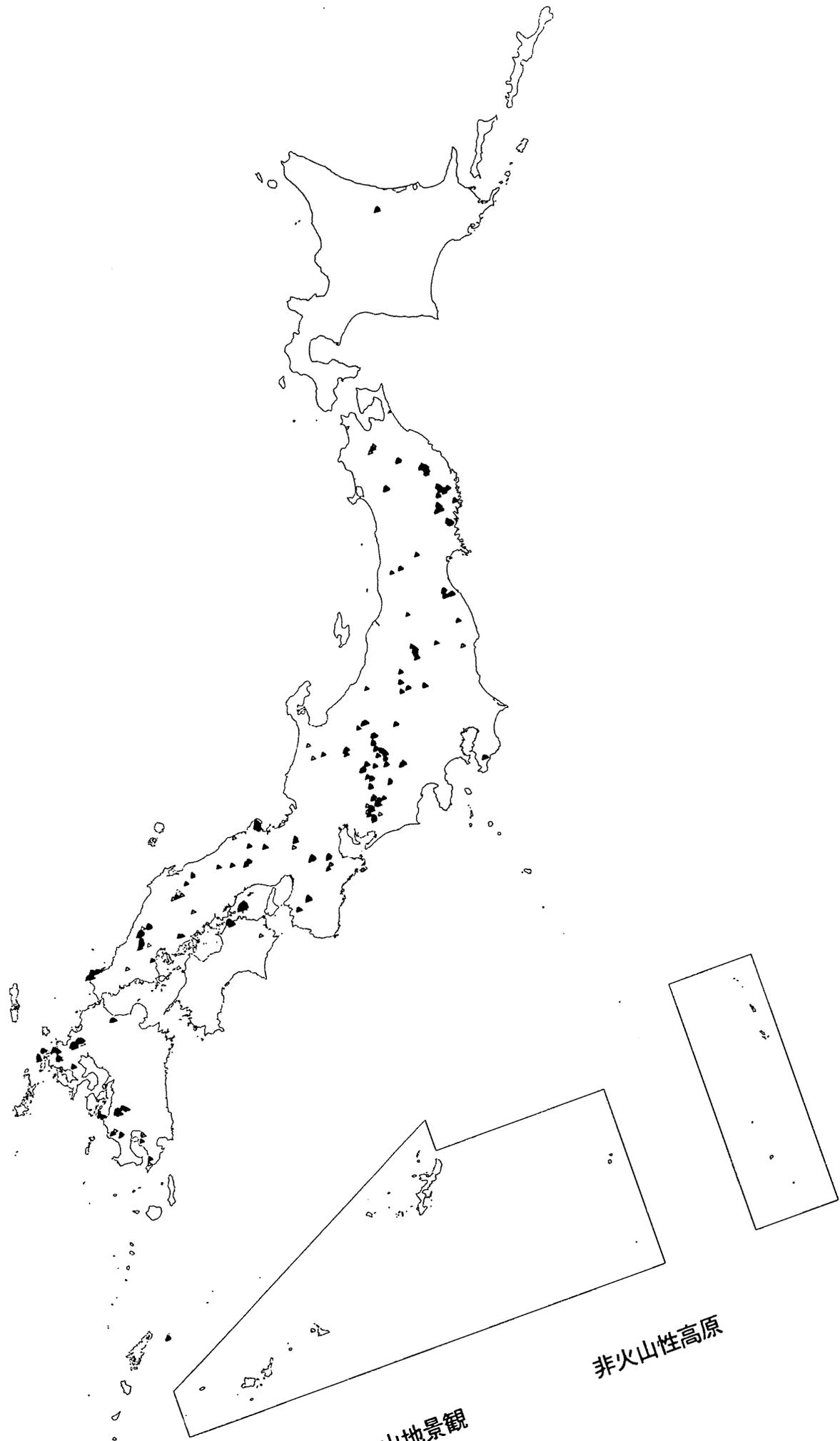
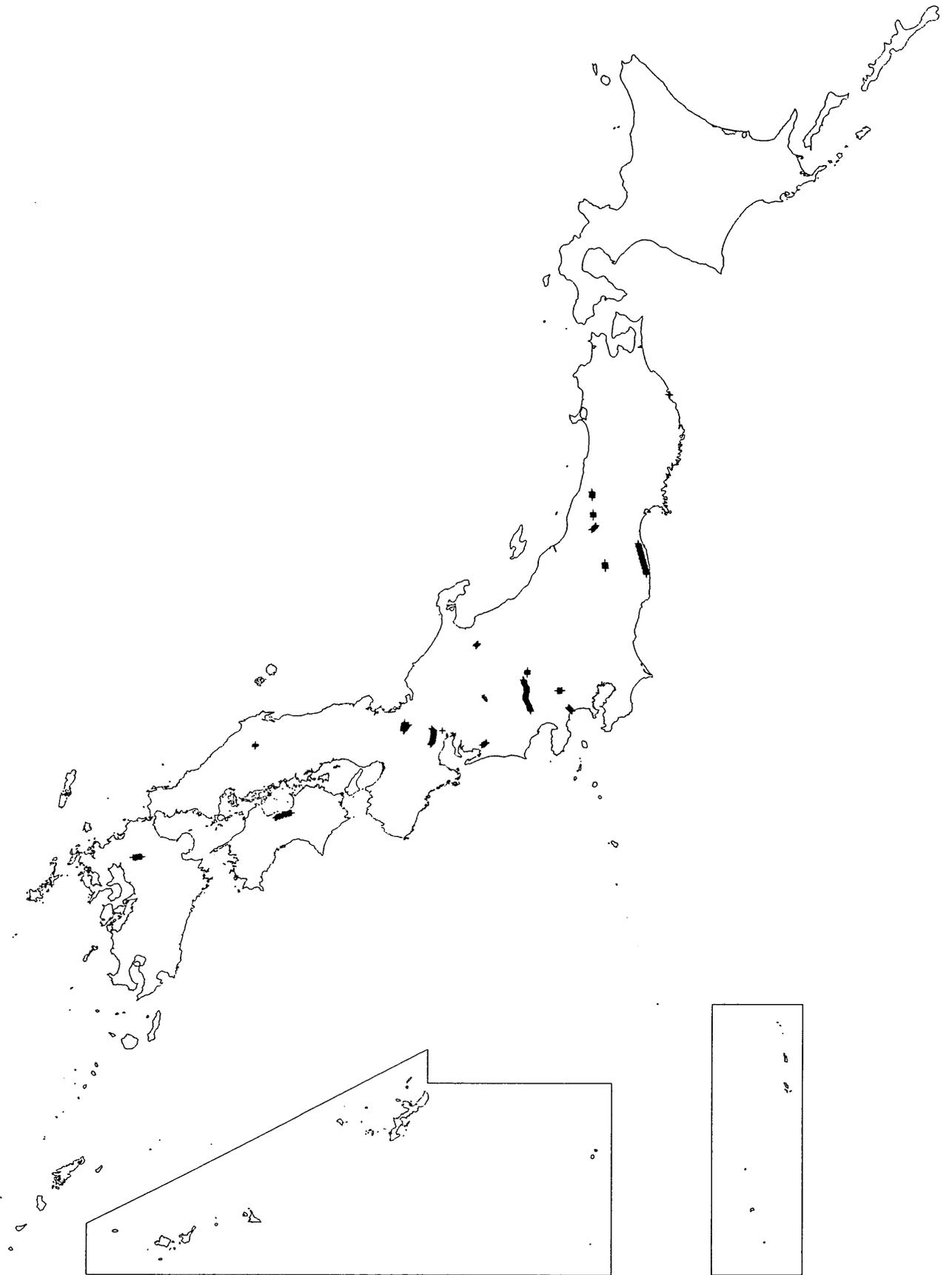


図203

山地景觀

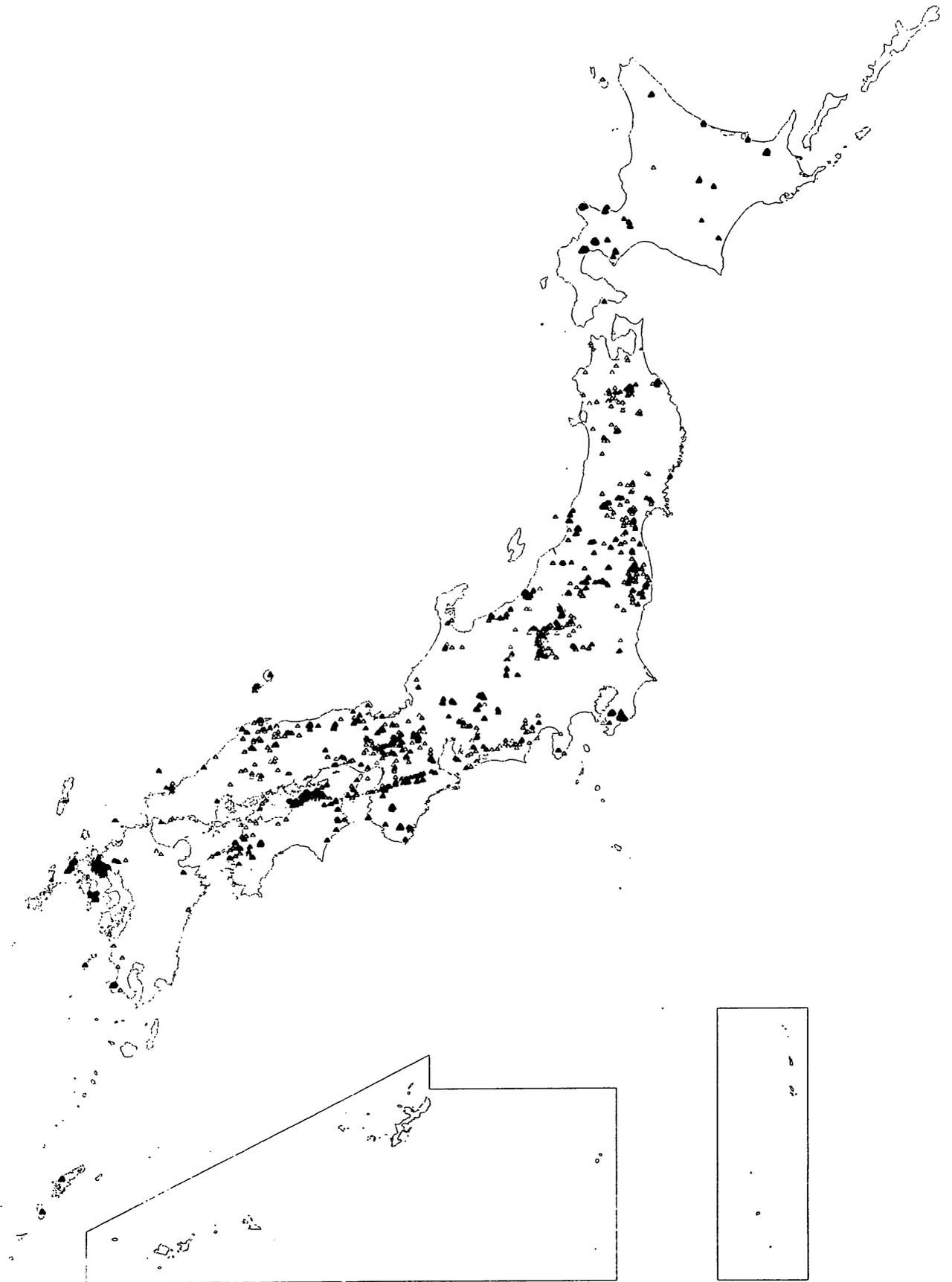
非火山性高原



A204

山地景觀

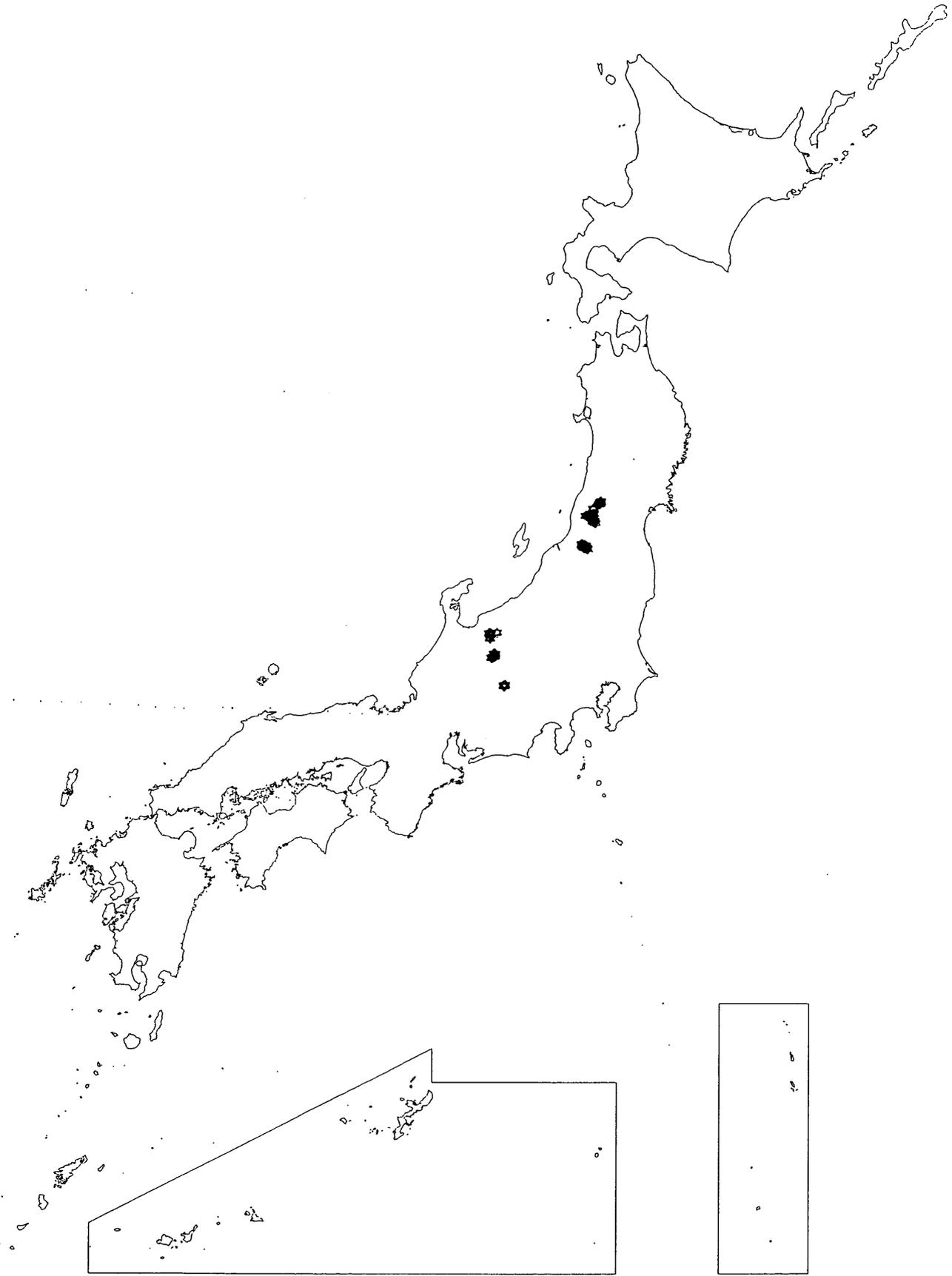
大断層崖



A205

山地景觀

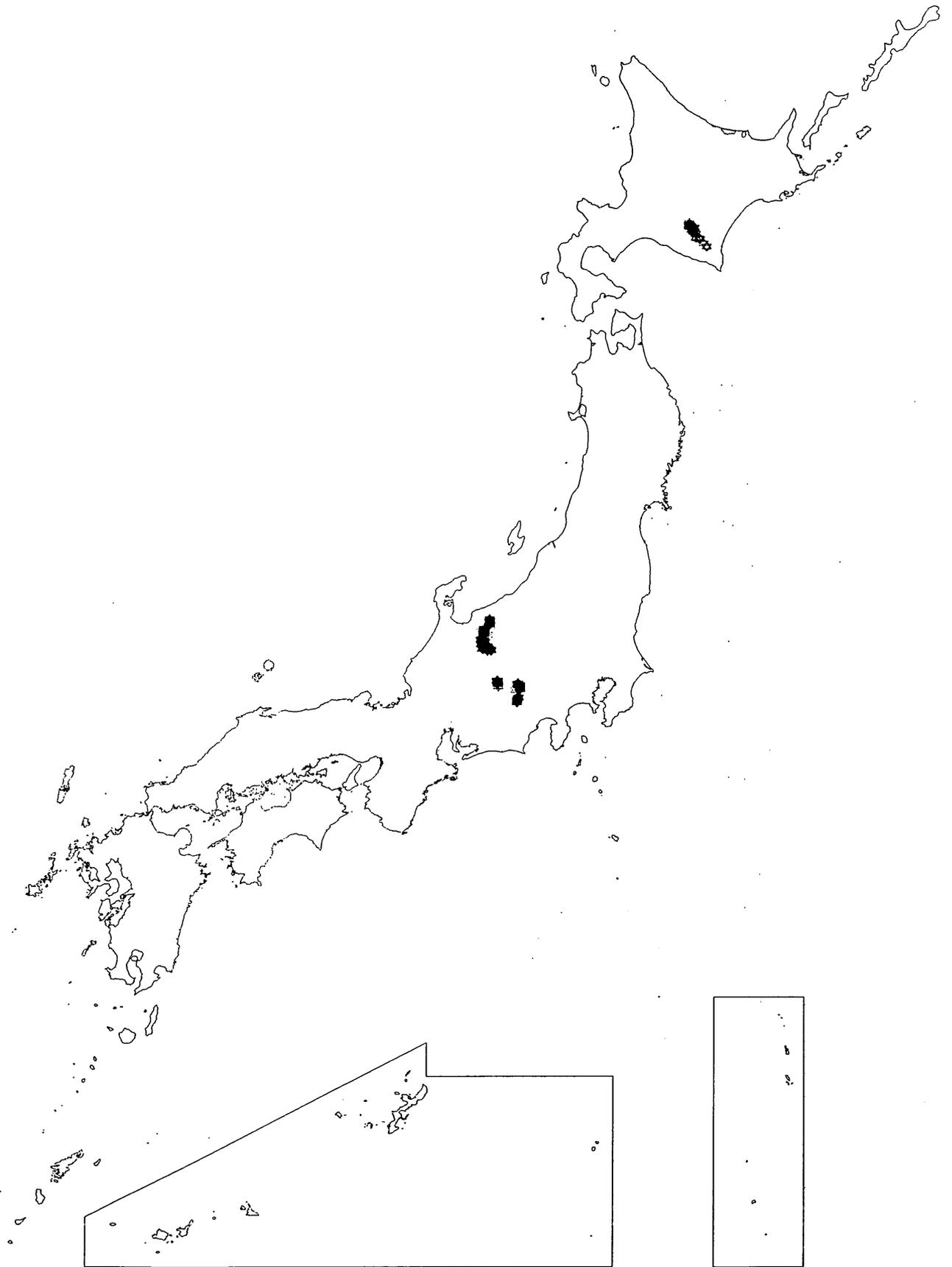
非火山性孤峰



A206

山地景觀

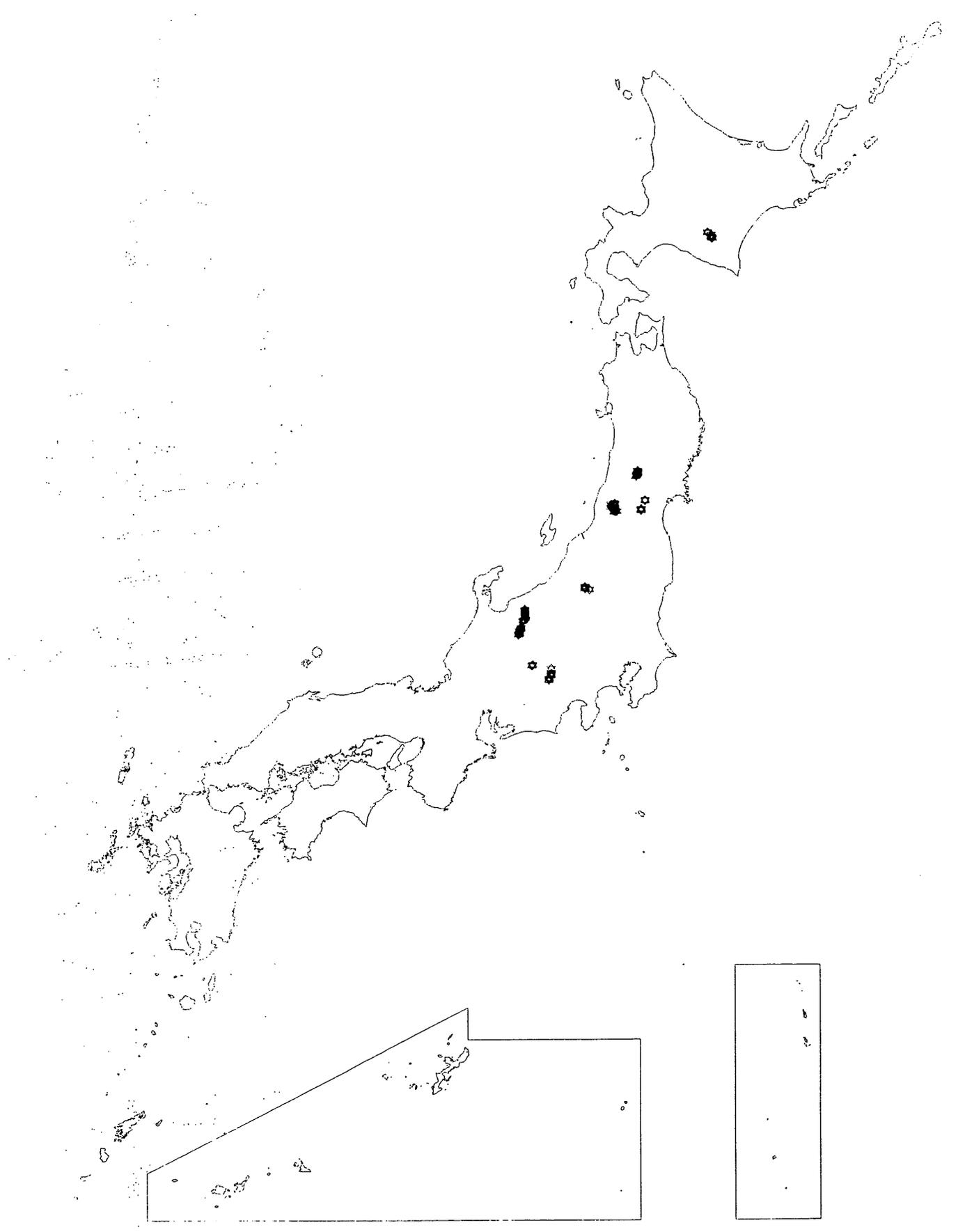
U字谷



A207

山地景観

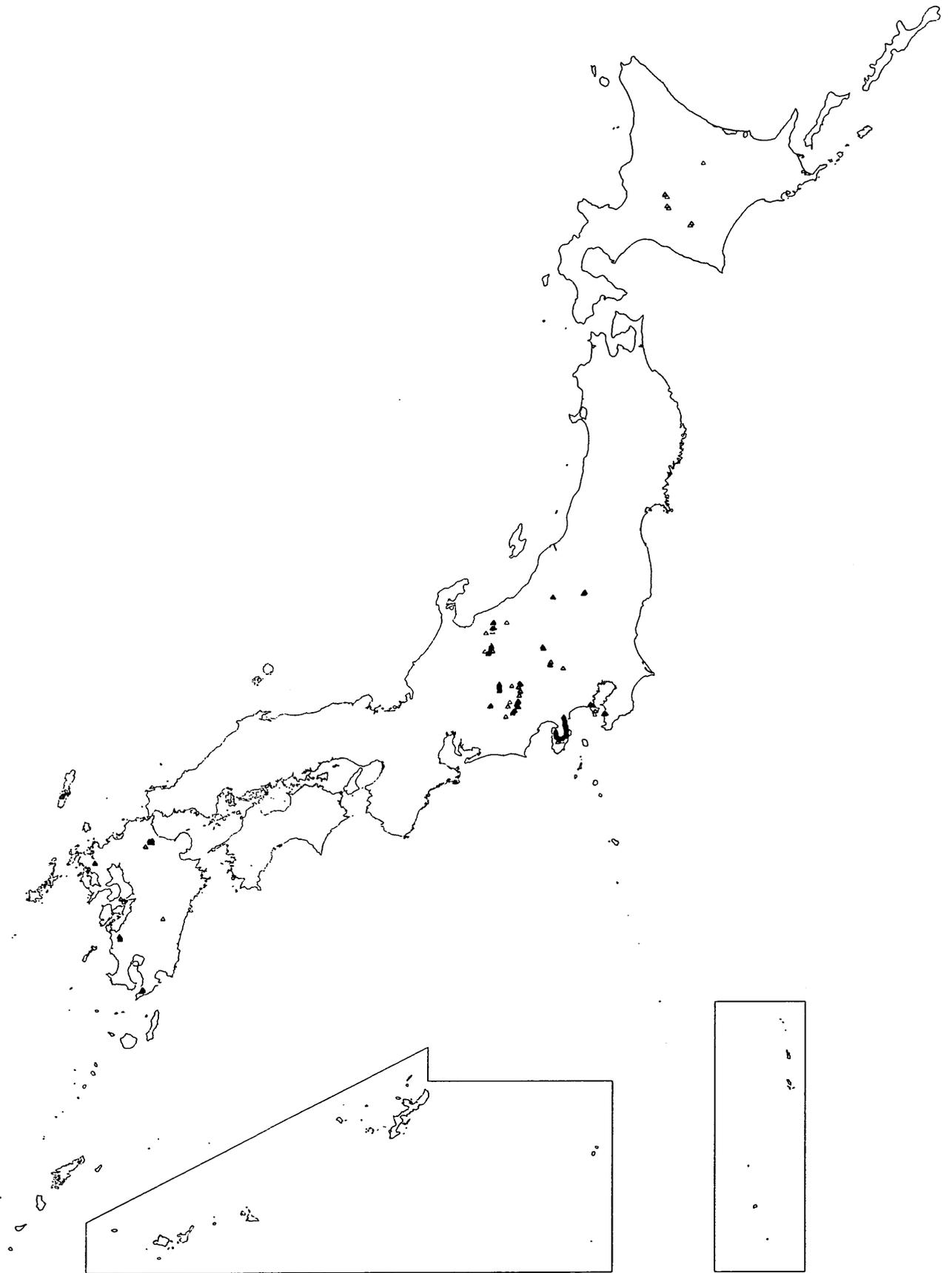
カール



A208

山地景観

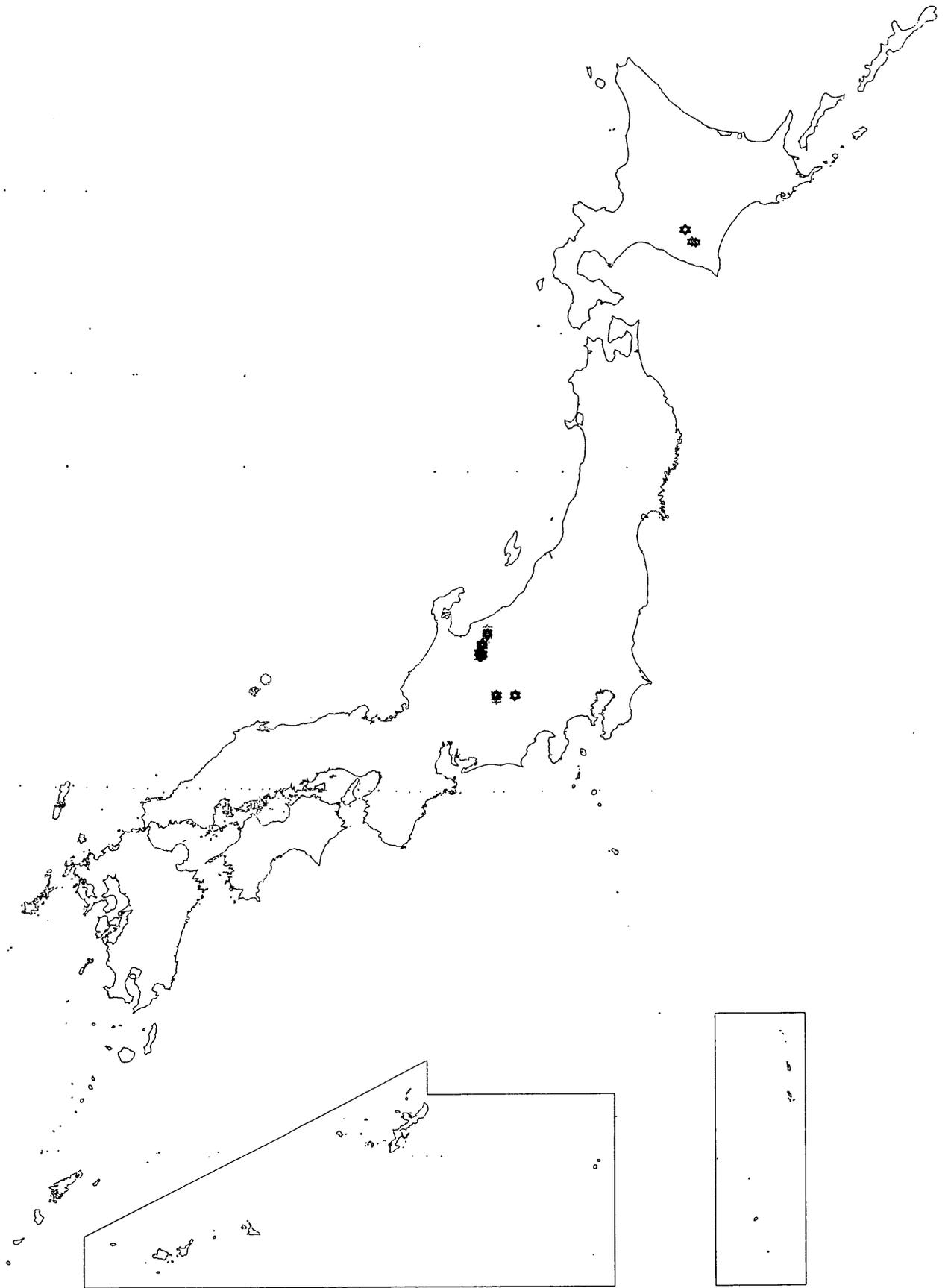
非対称山稜



A209

山地景観

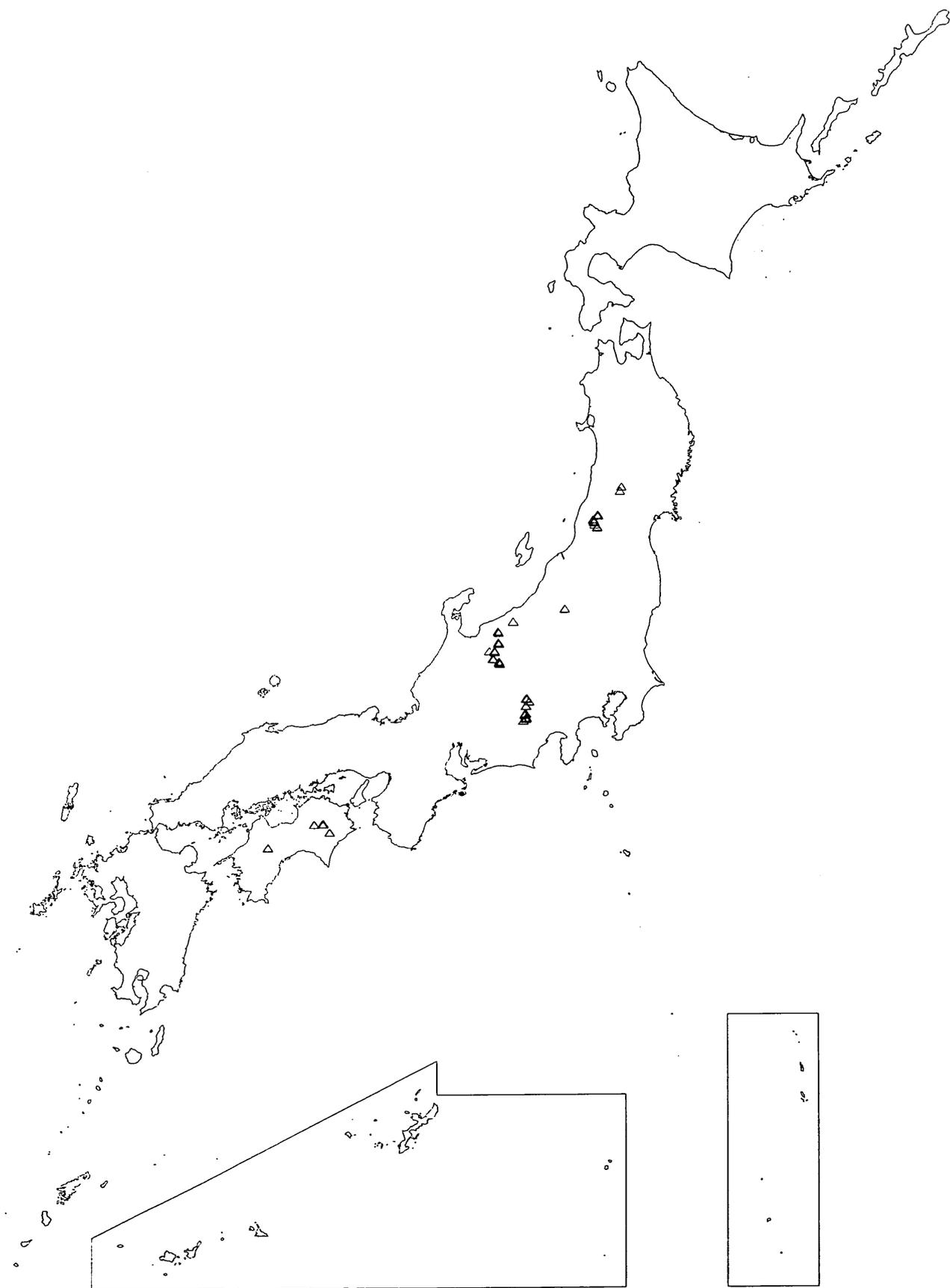
特徴的な稜線



A210

山地景観

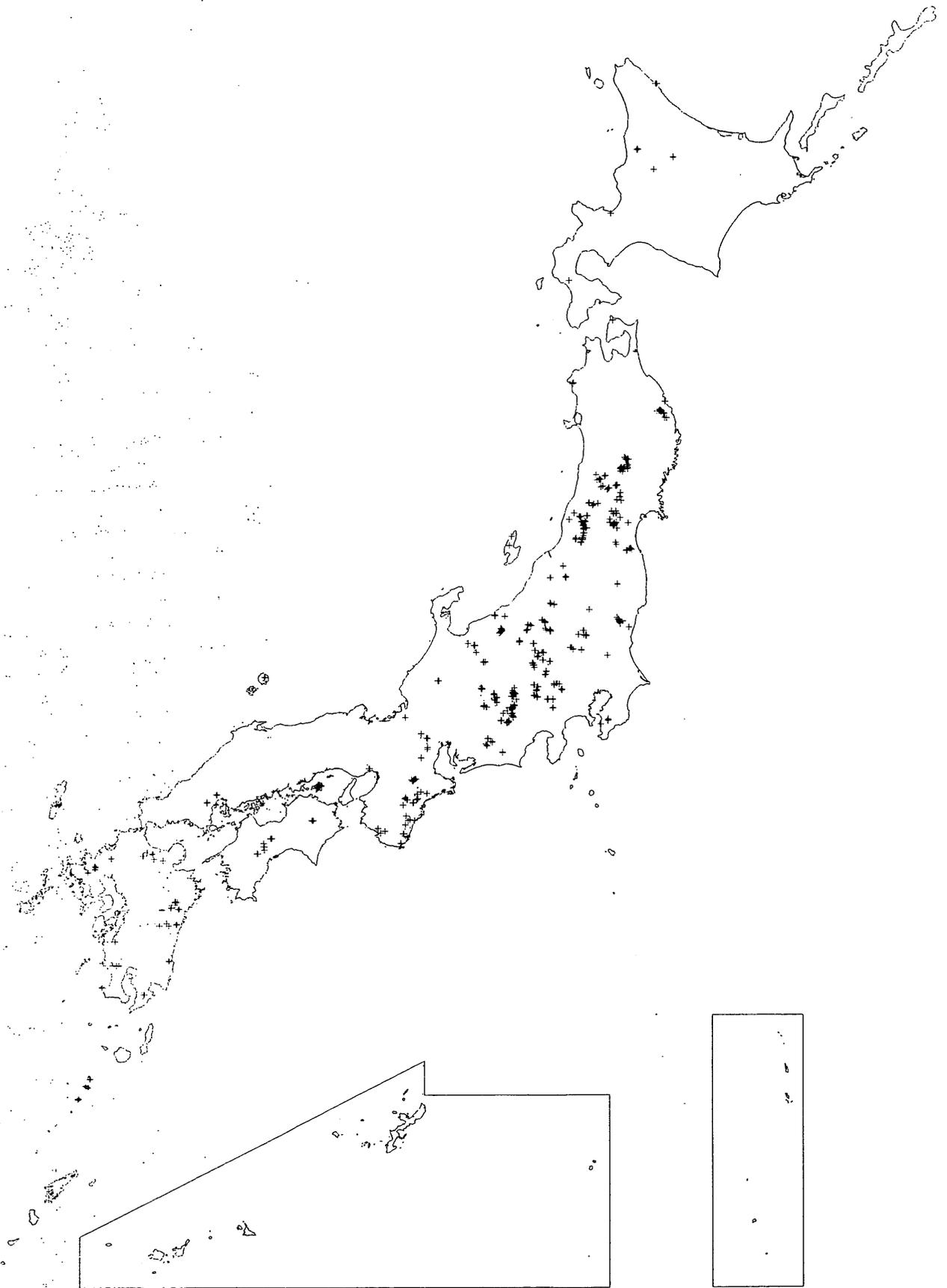
モレーン



A211

山地景観

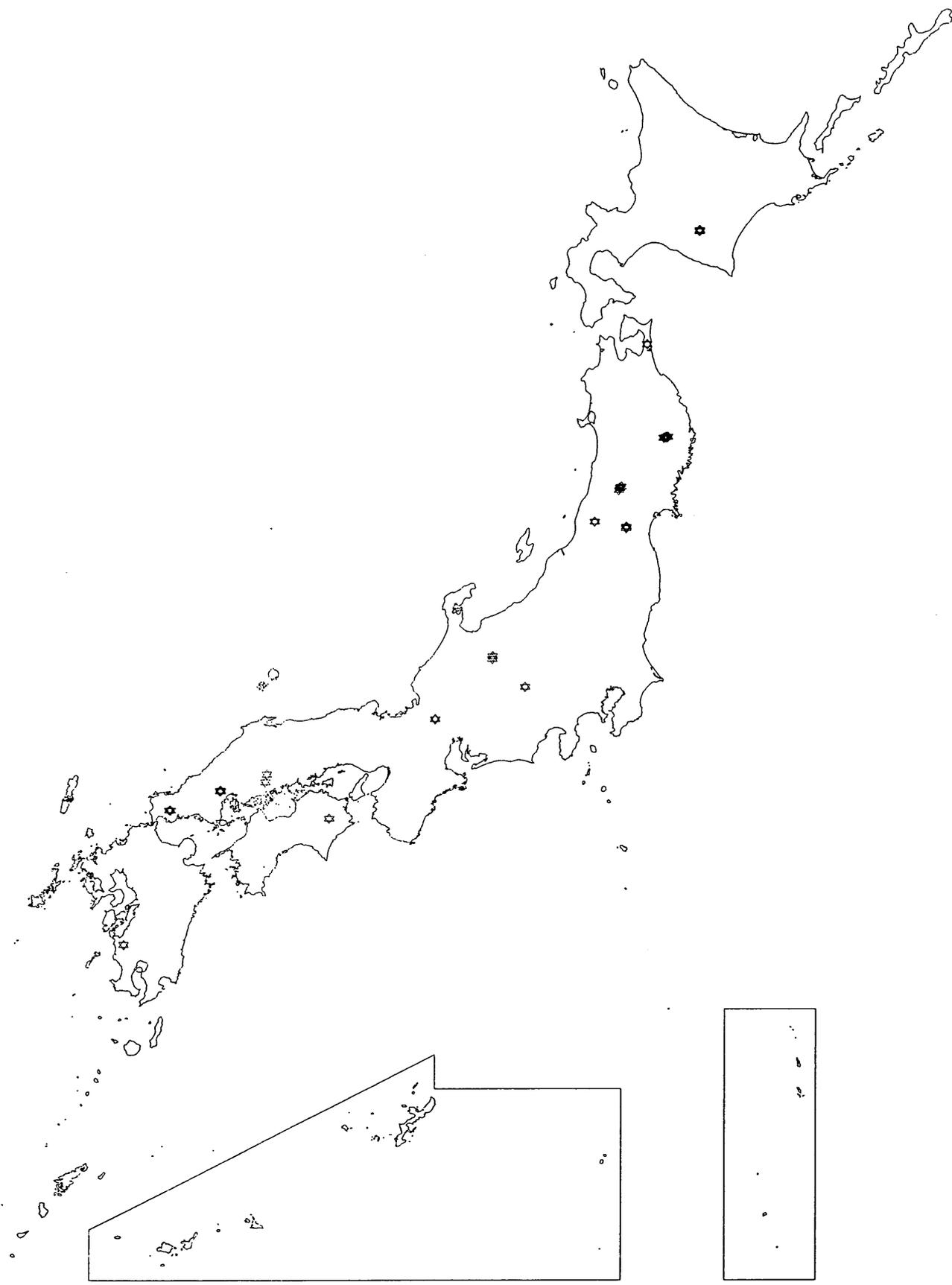
二重山稜



A212

山地景観

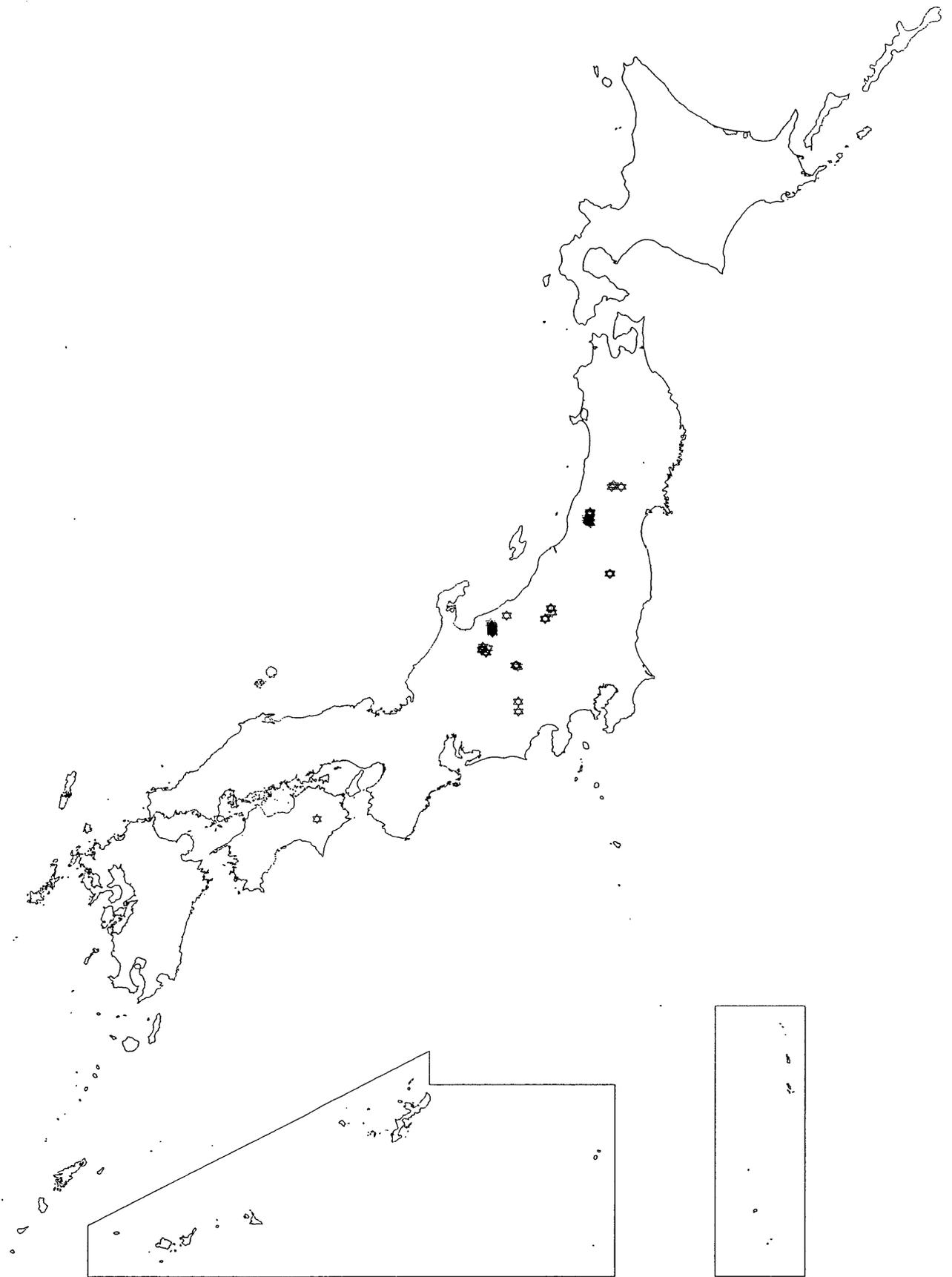
断崖・岩壁



A213

山地景觀

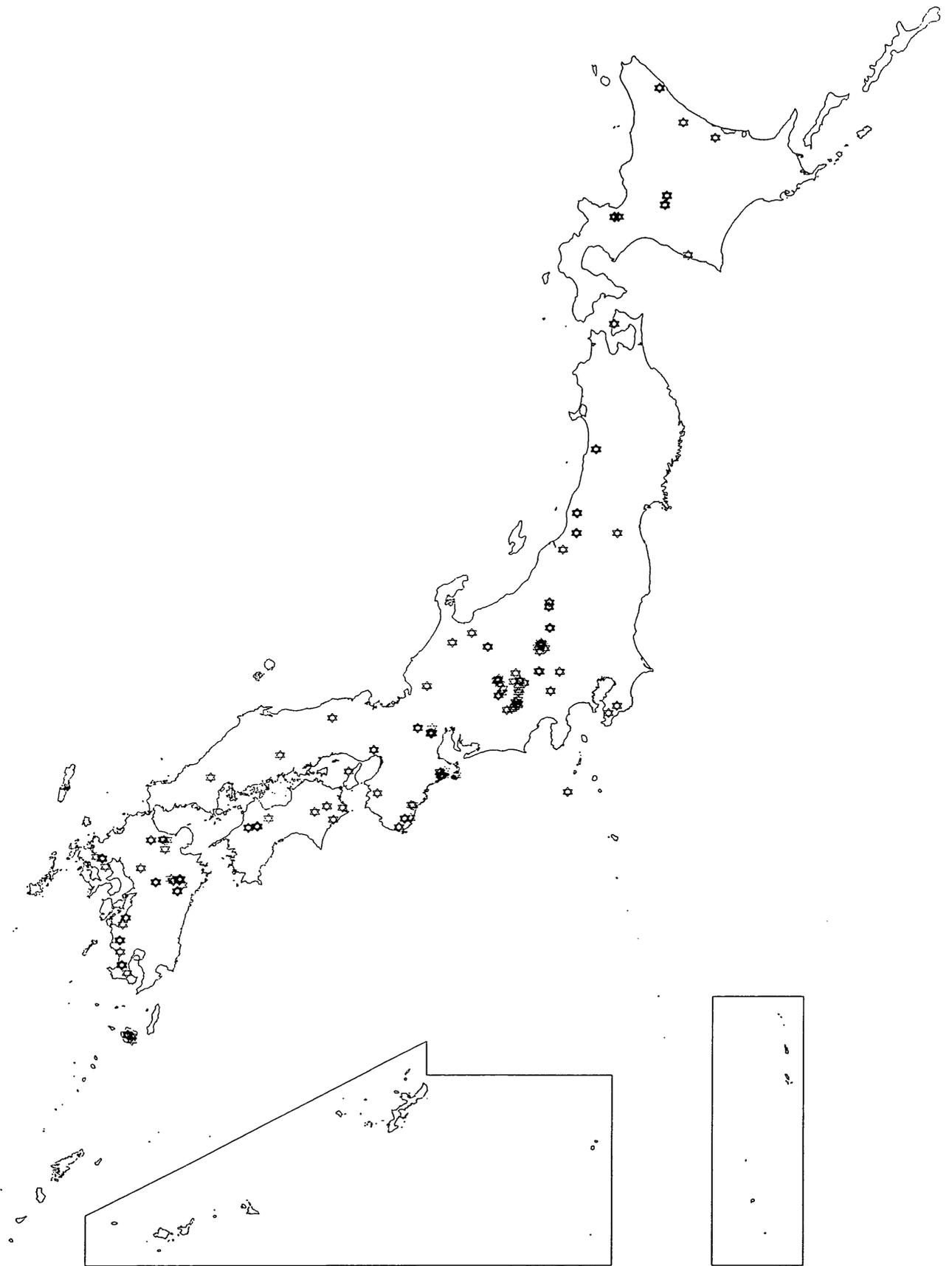
岩塊斜面・岩海



A214

山地景觀

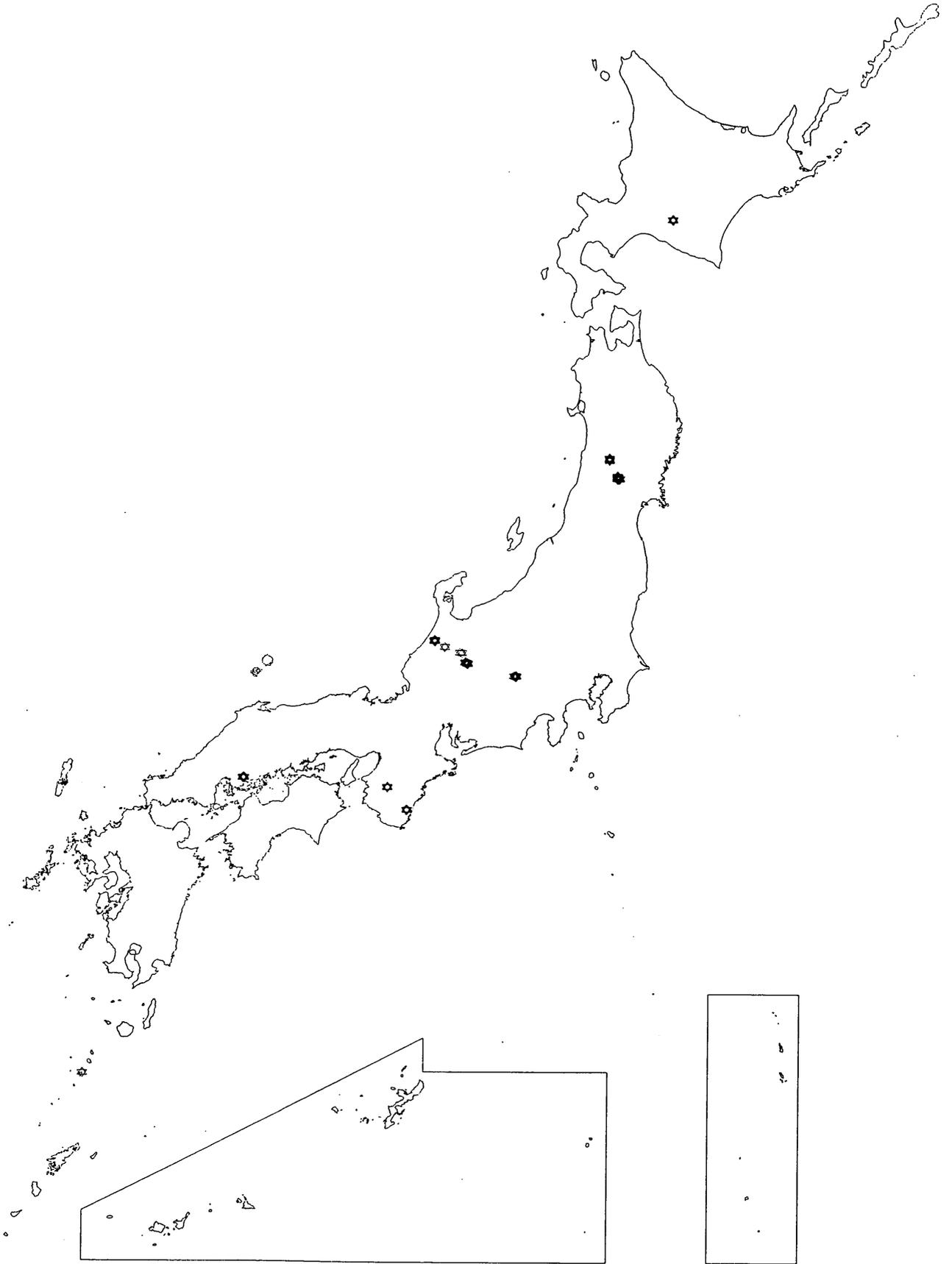
構造土



A215

山地景観

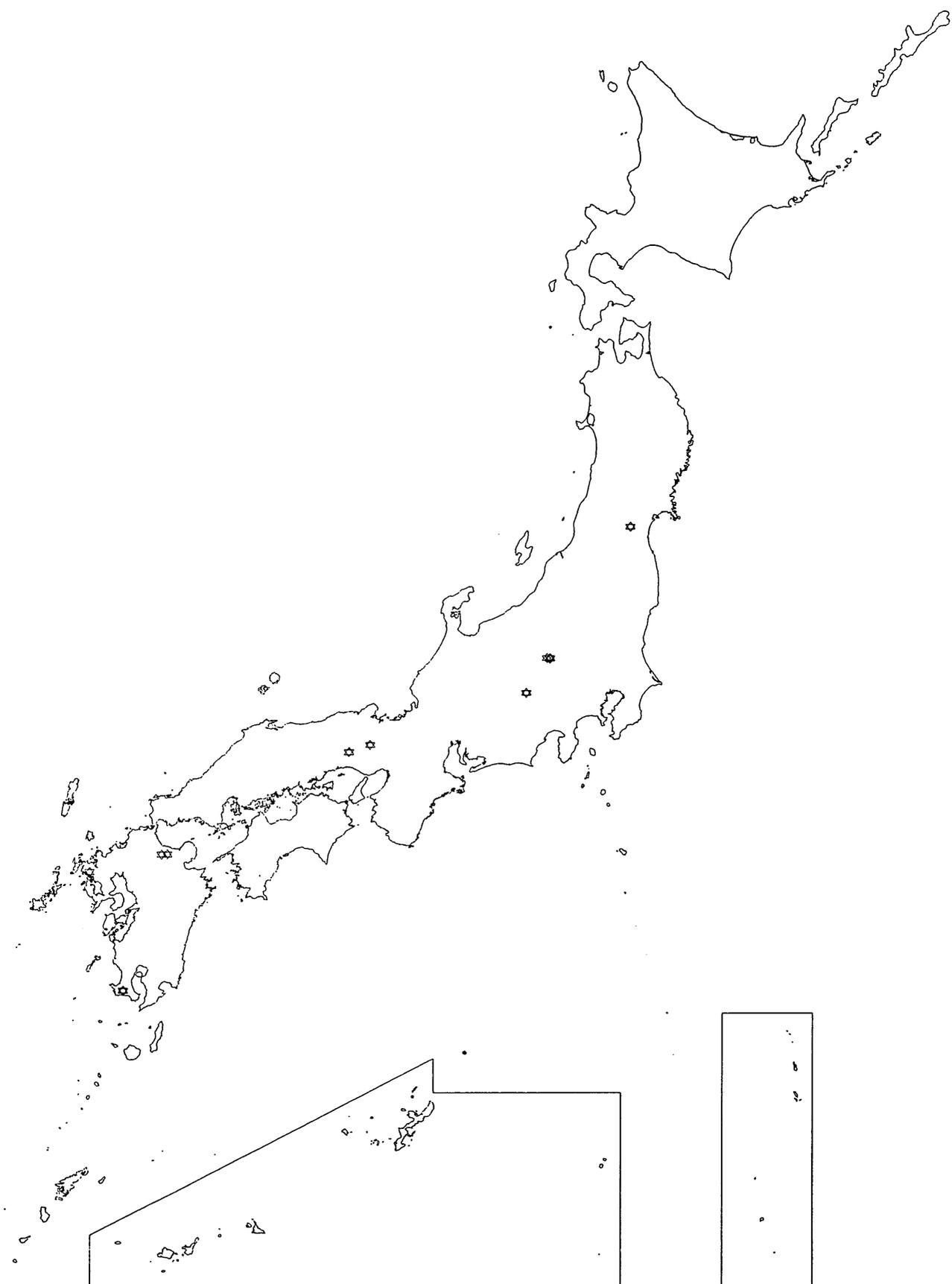
岩峰・岩柱



A216

山地景觀

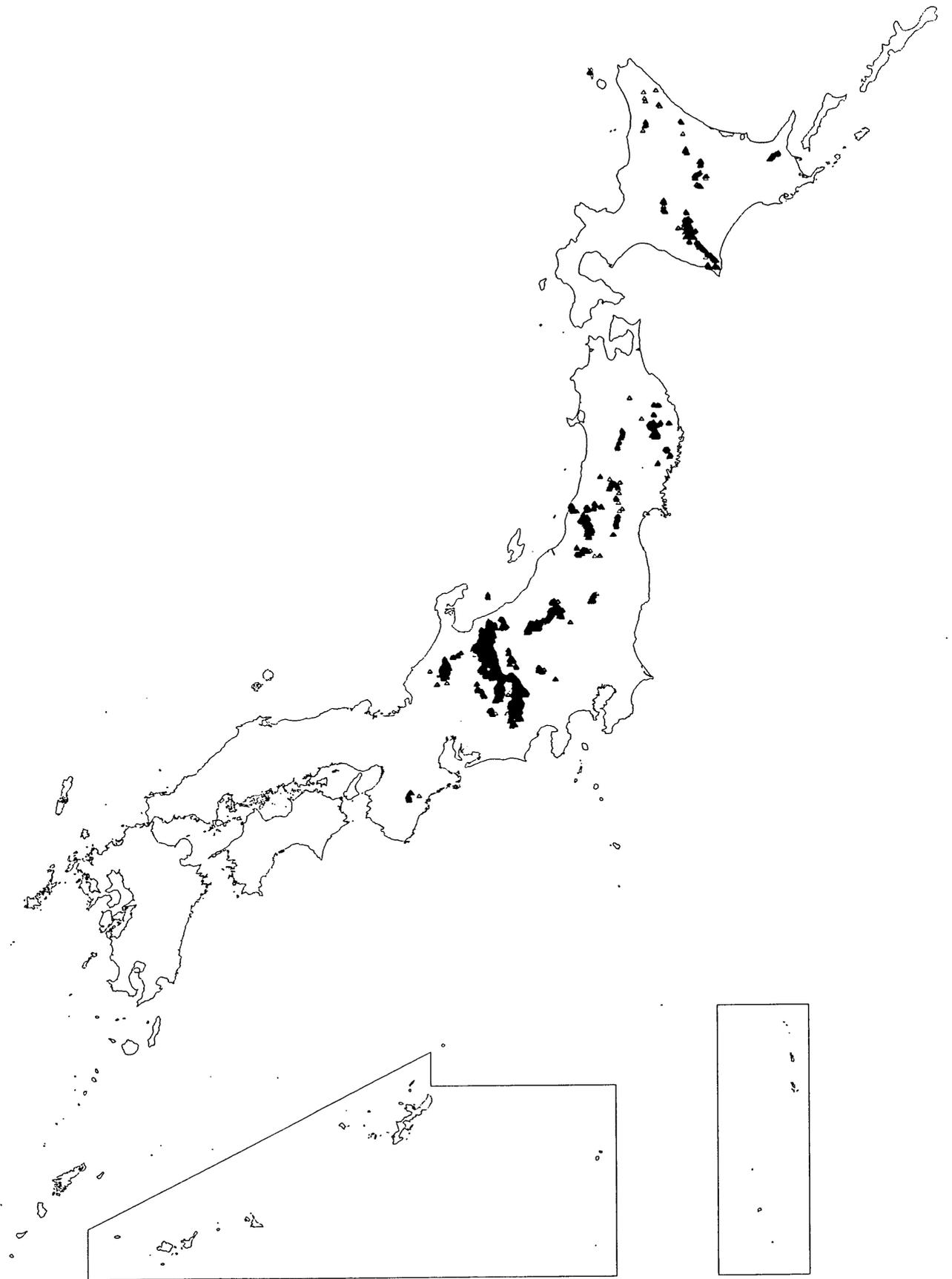
崖錐



A217

山地景觀

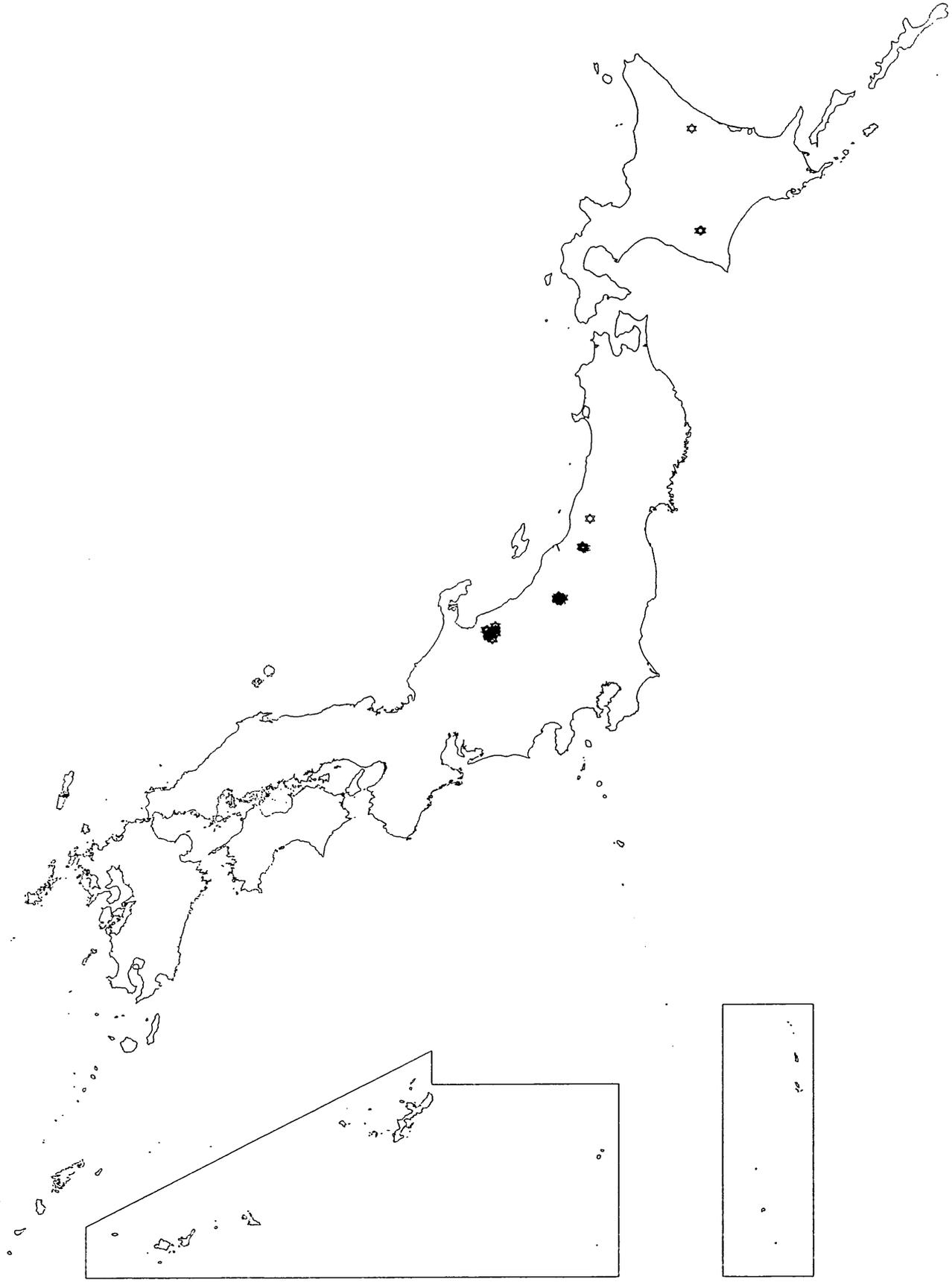
天然橋・岩門・石門



A218

山地景観

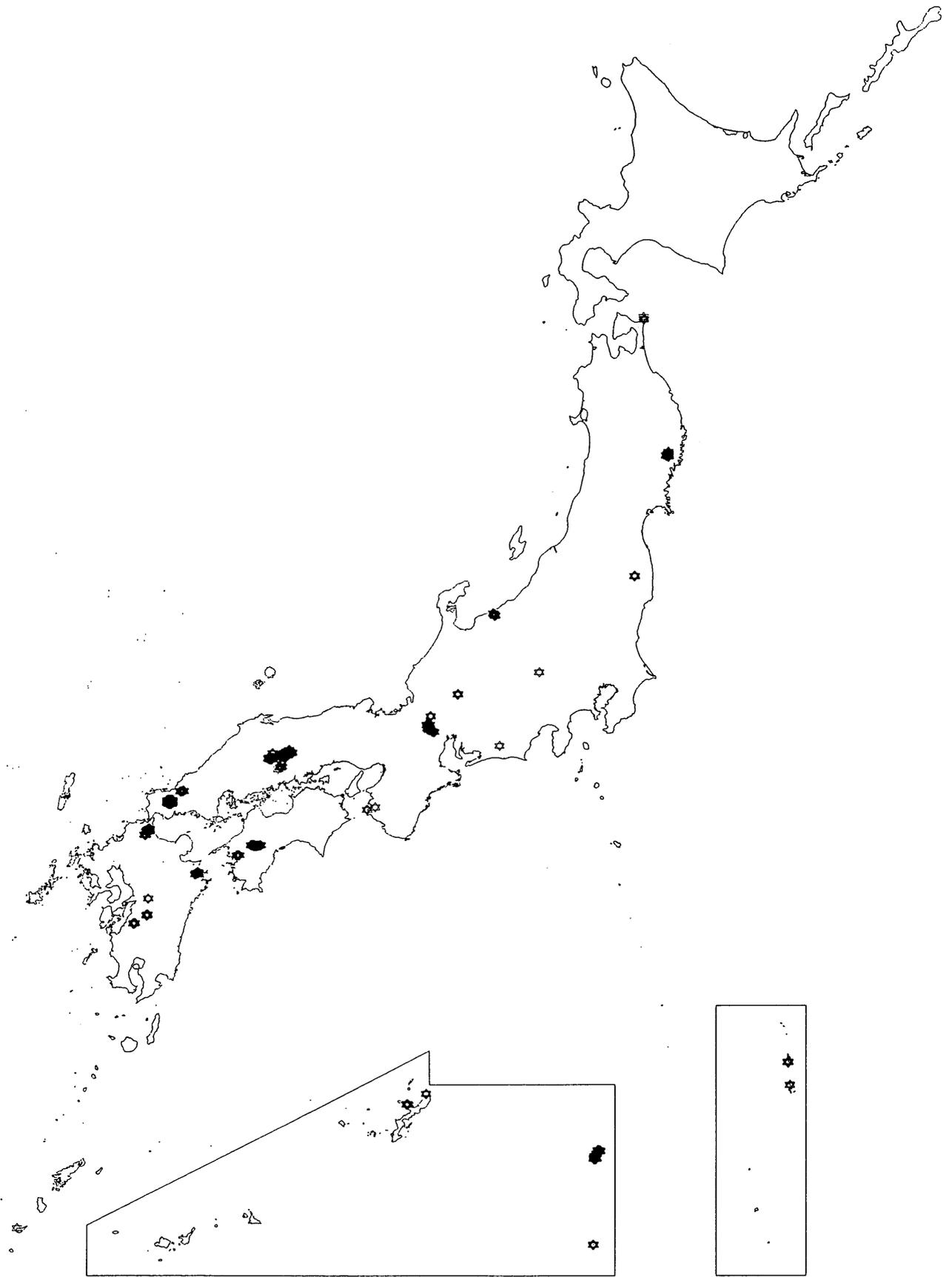
高山・亜高山域



A219

山地景觀

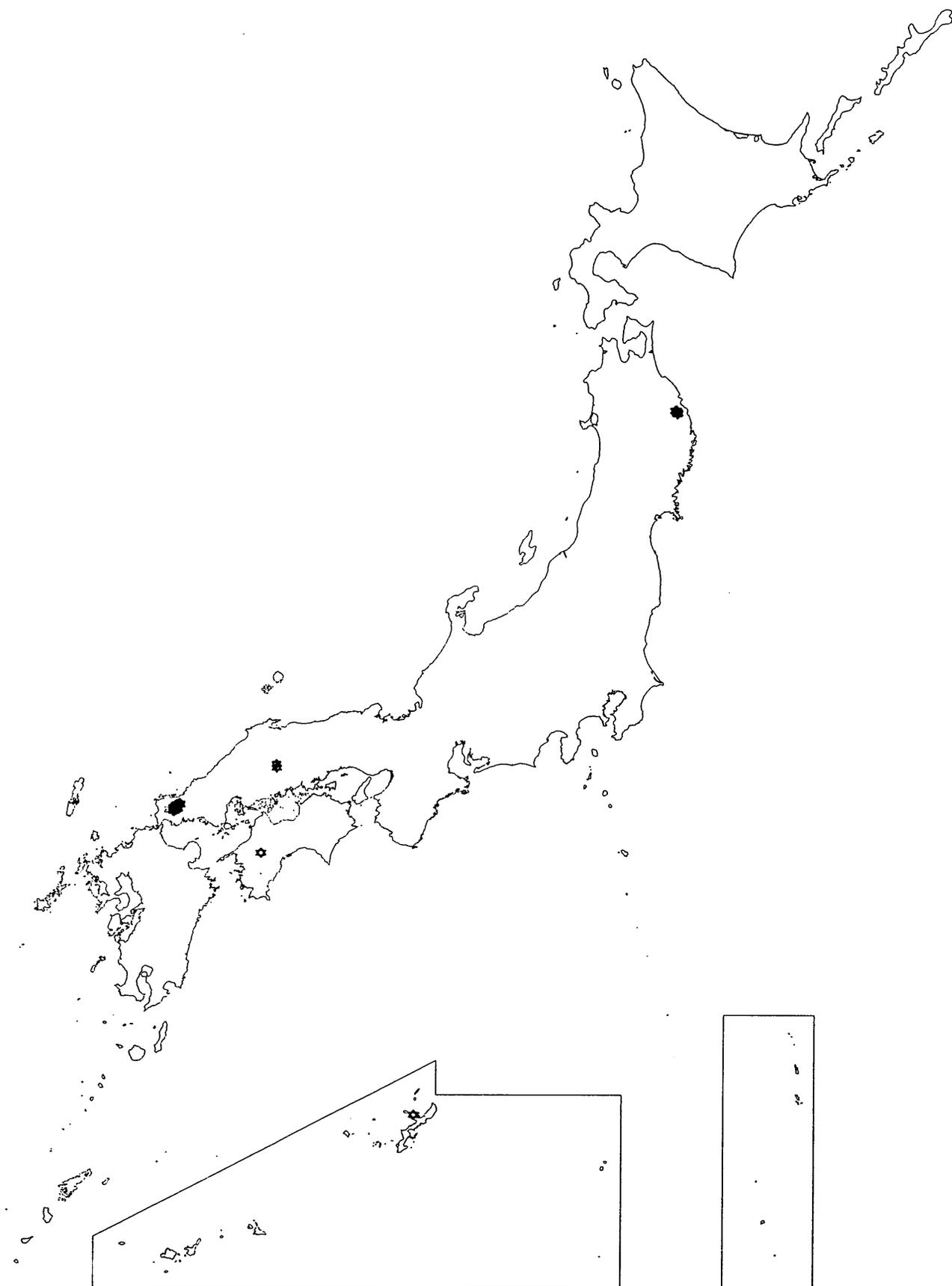
万年雪



A301

石灰岩景観

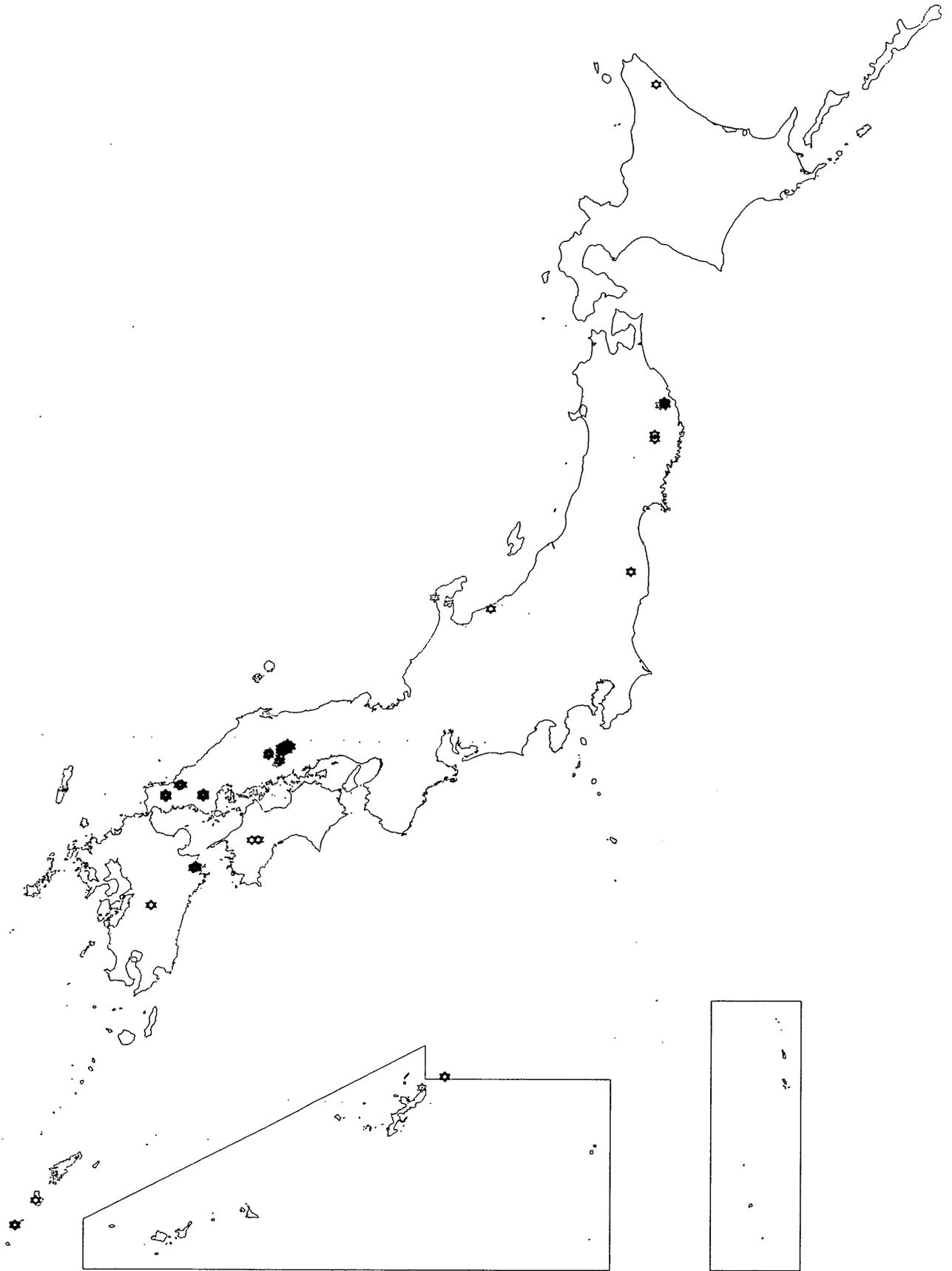
カルスト地形



A302

石灰岩景観

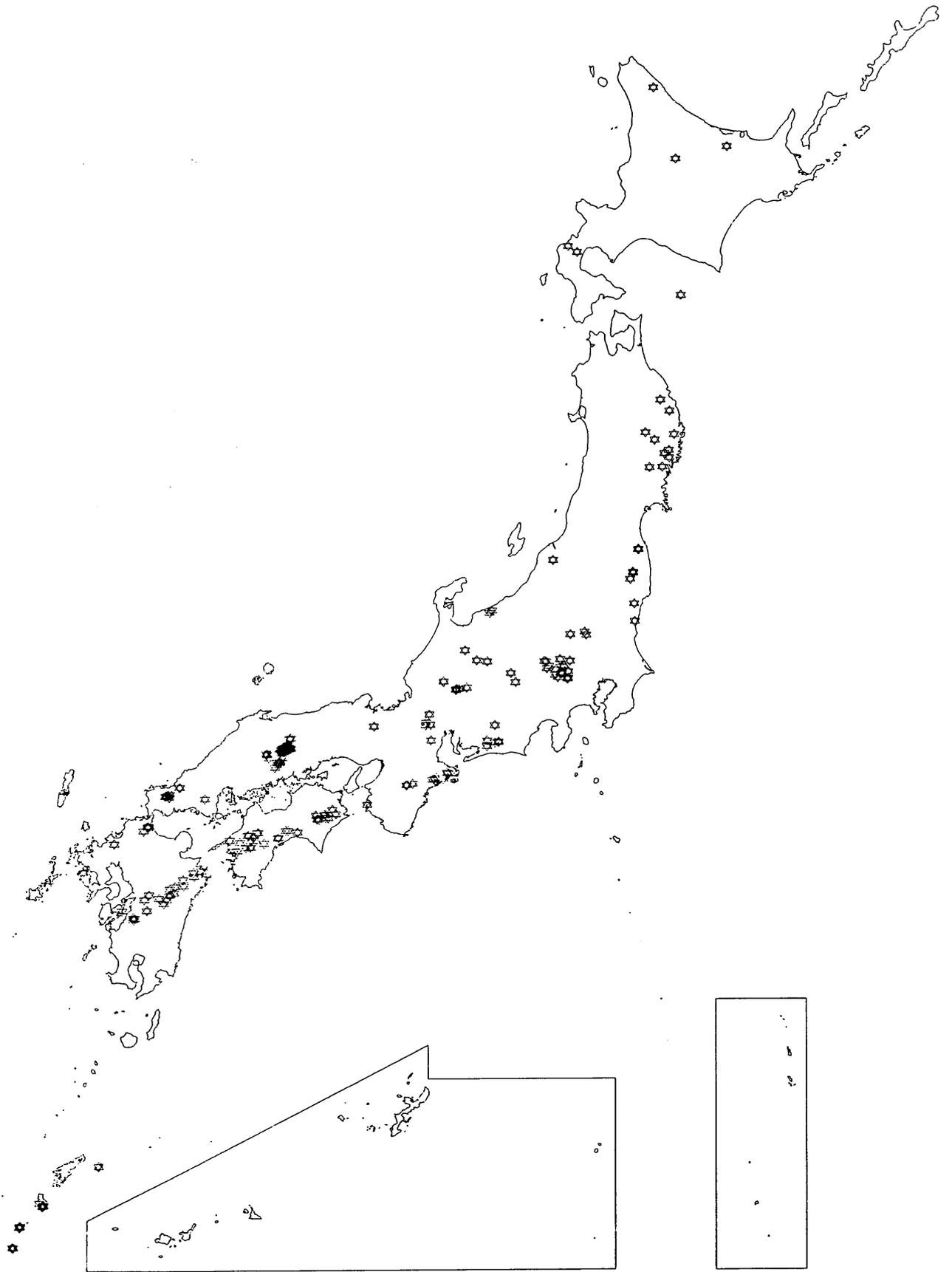
ポリエ



A303

石灰岩景観

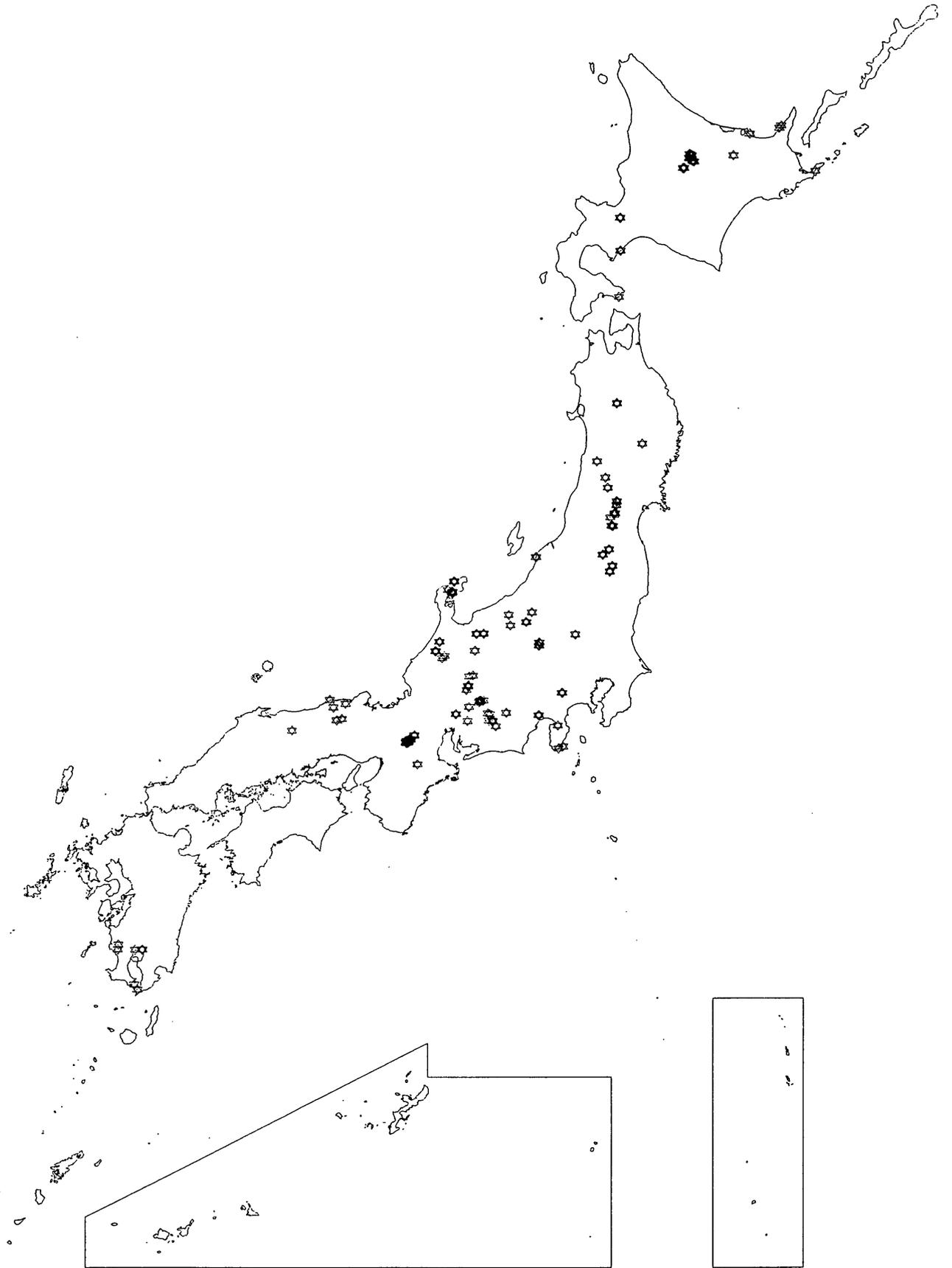
カッレンフェルト他



A304

石灰岩景觀

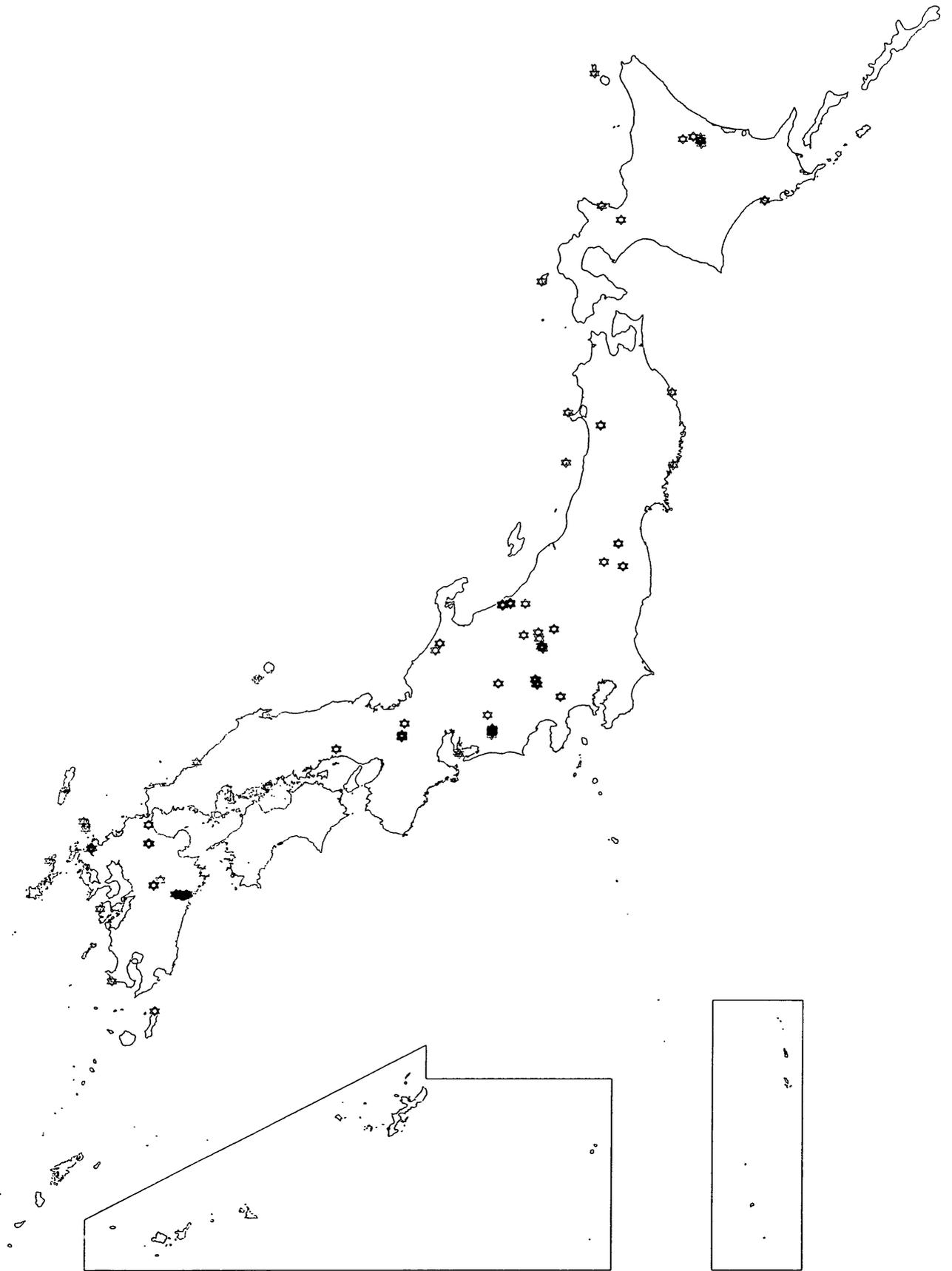
鍾乳洞



A401

特殊地学景觀

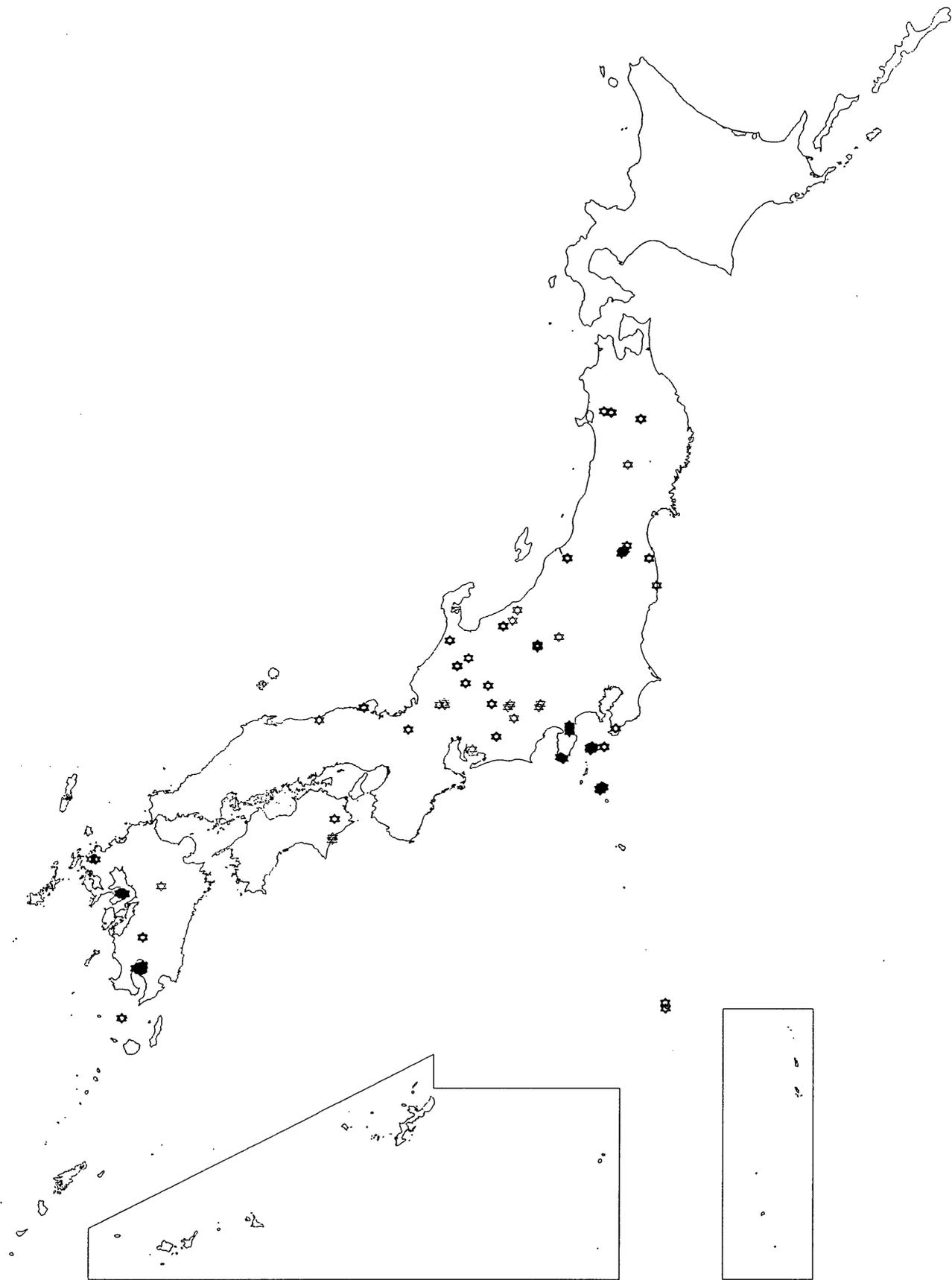
節理



A402

特殊地学景觀

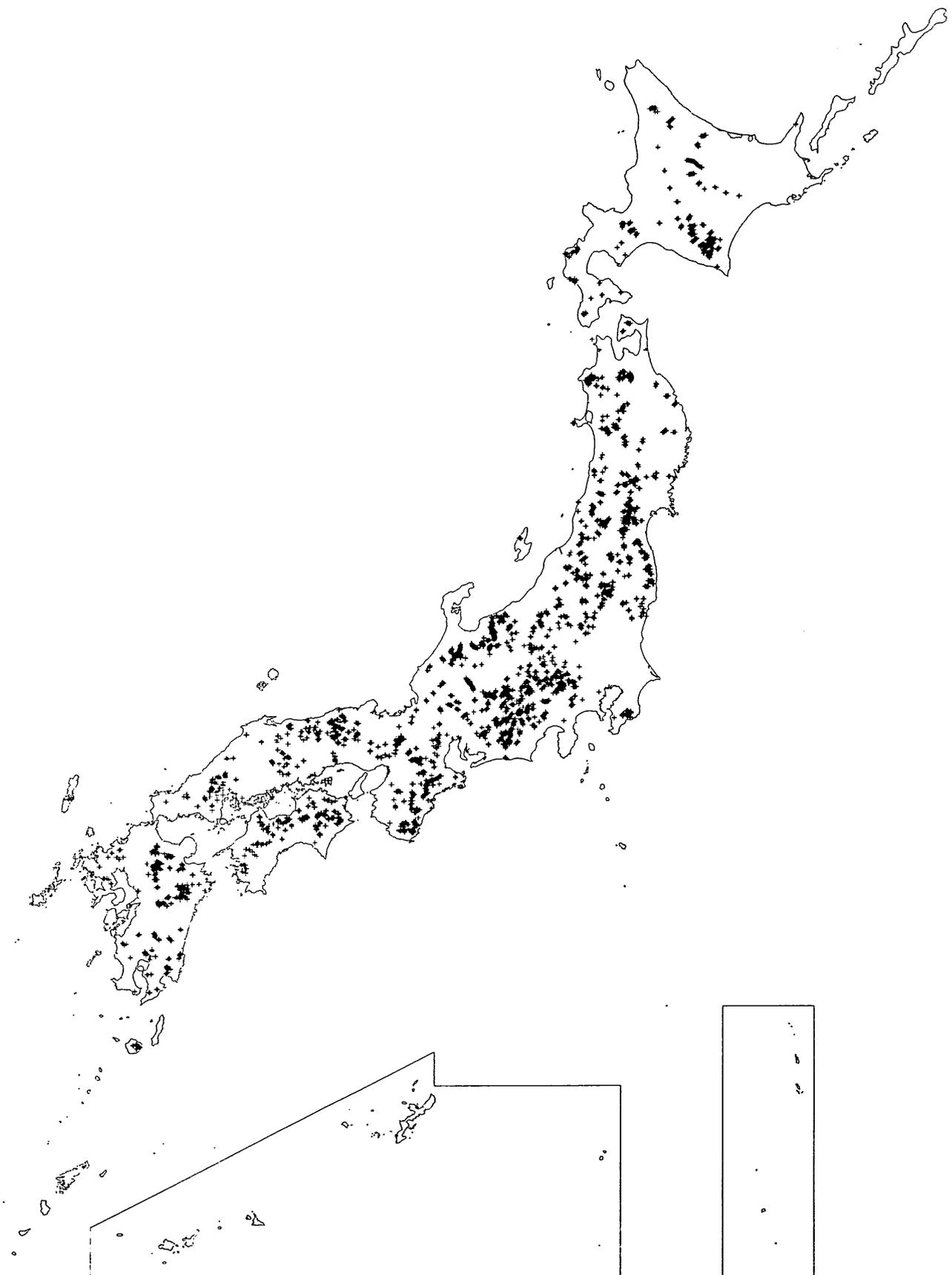
岩脈



A500

その他

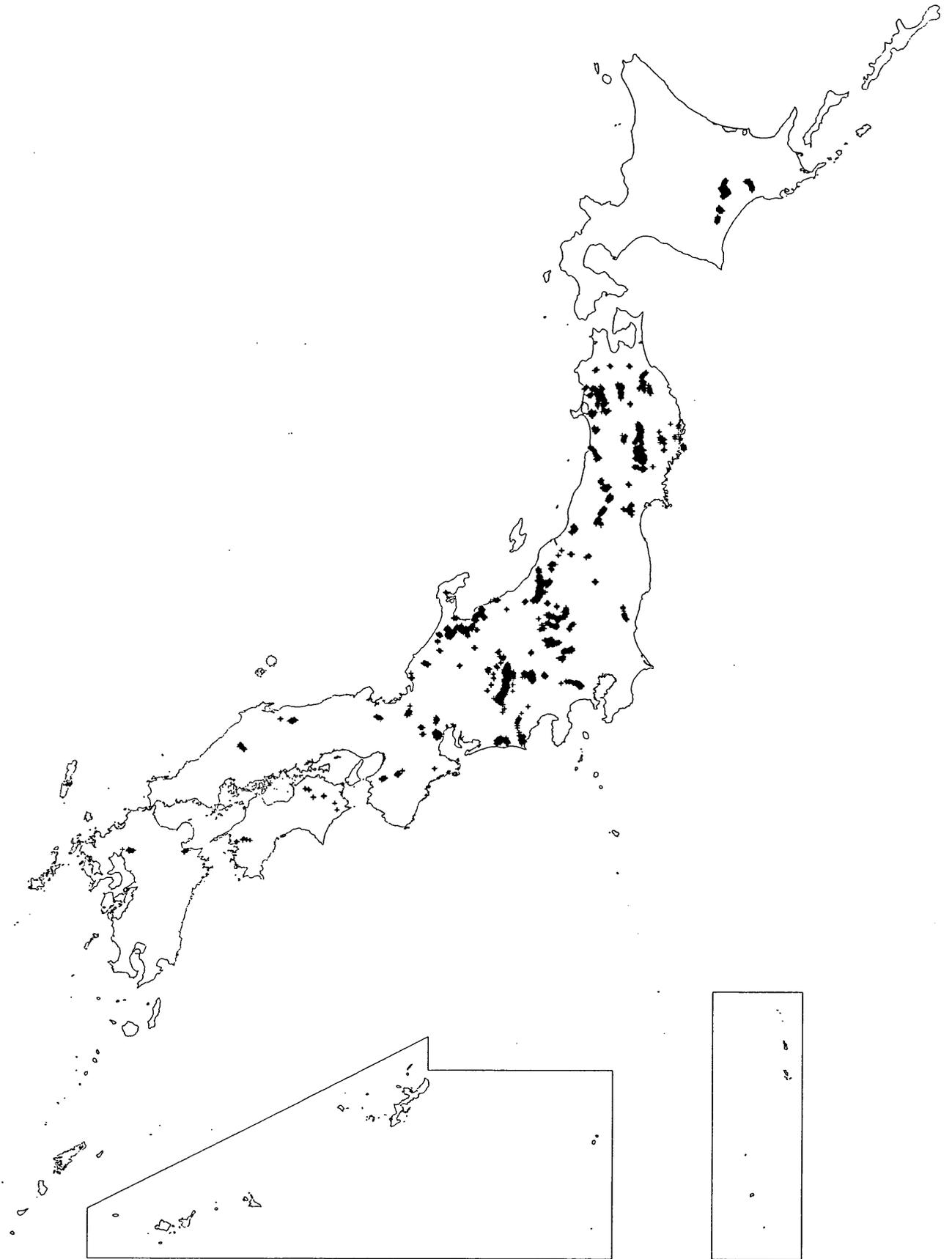
顕著な自然現象地形



B101

河川景観

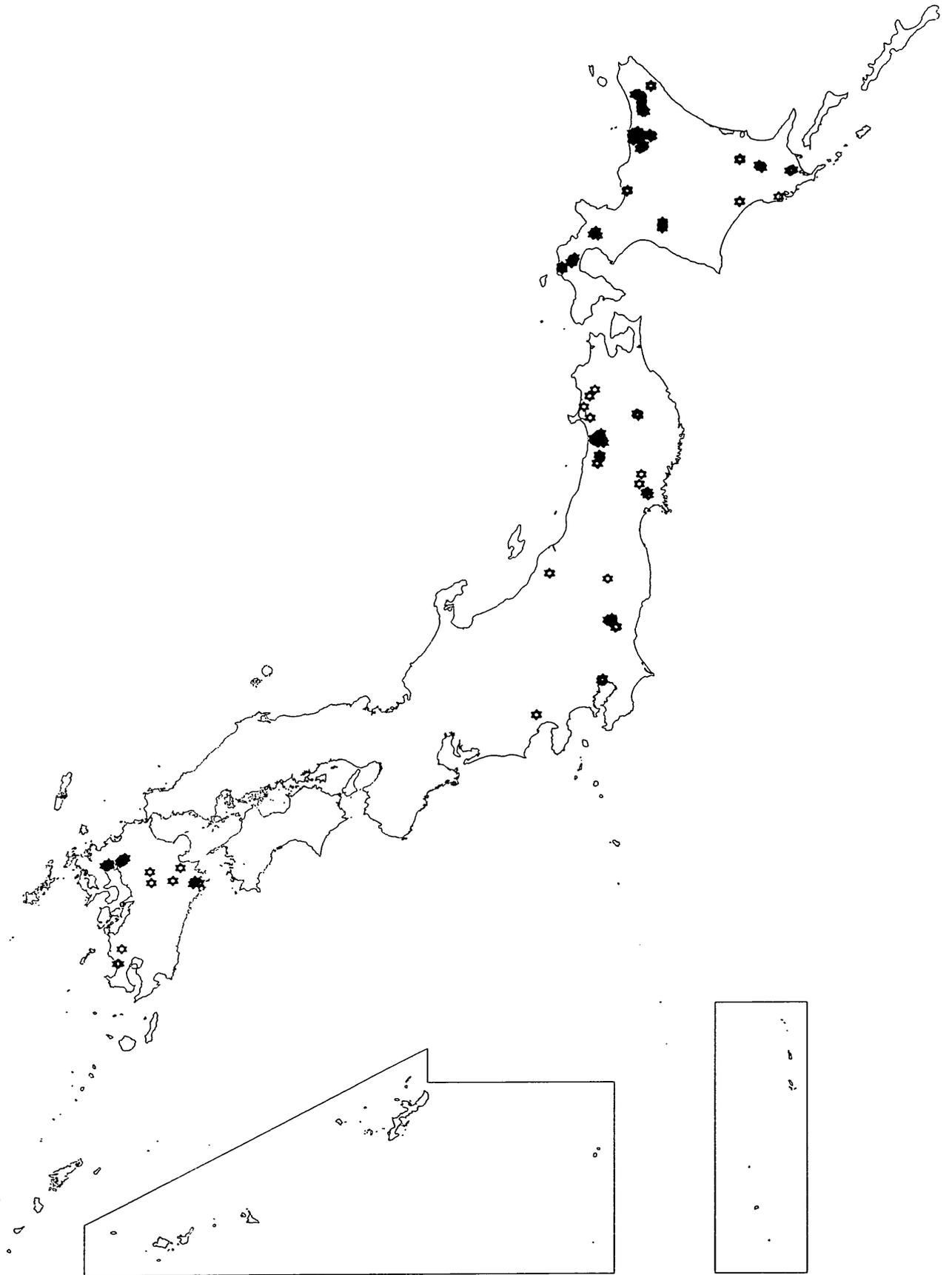
峡谷・溪谷



B102

河川景観

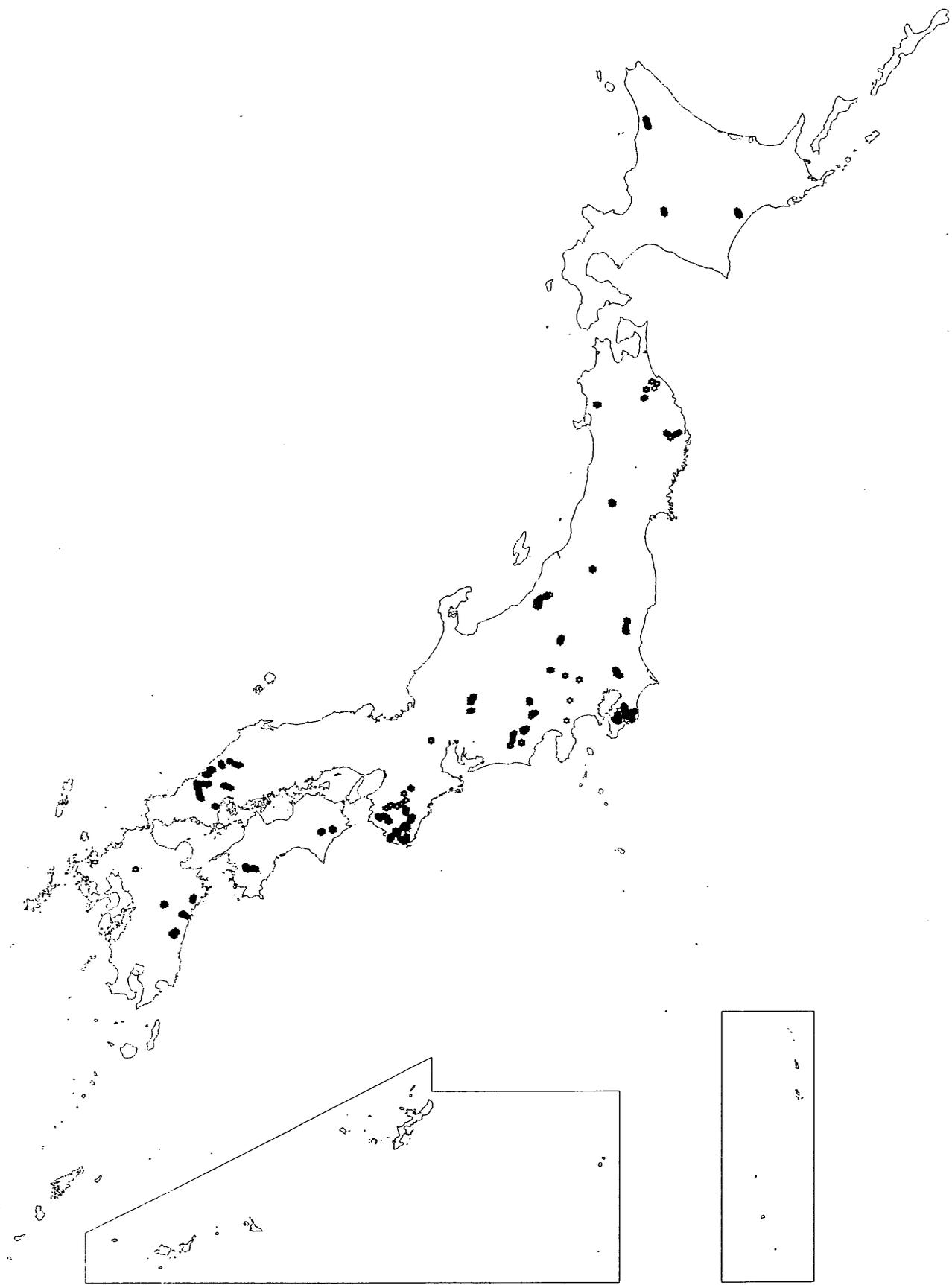
河成段丘



B103

河川景観

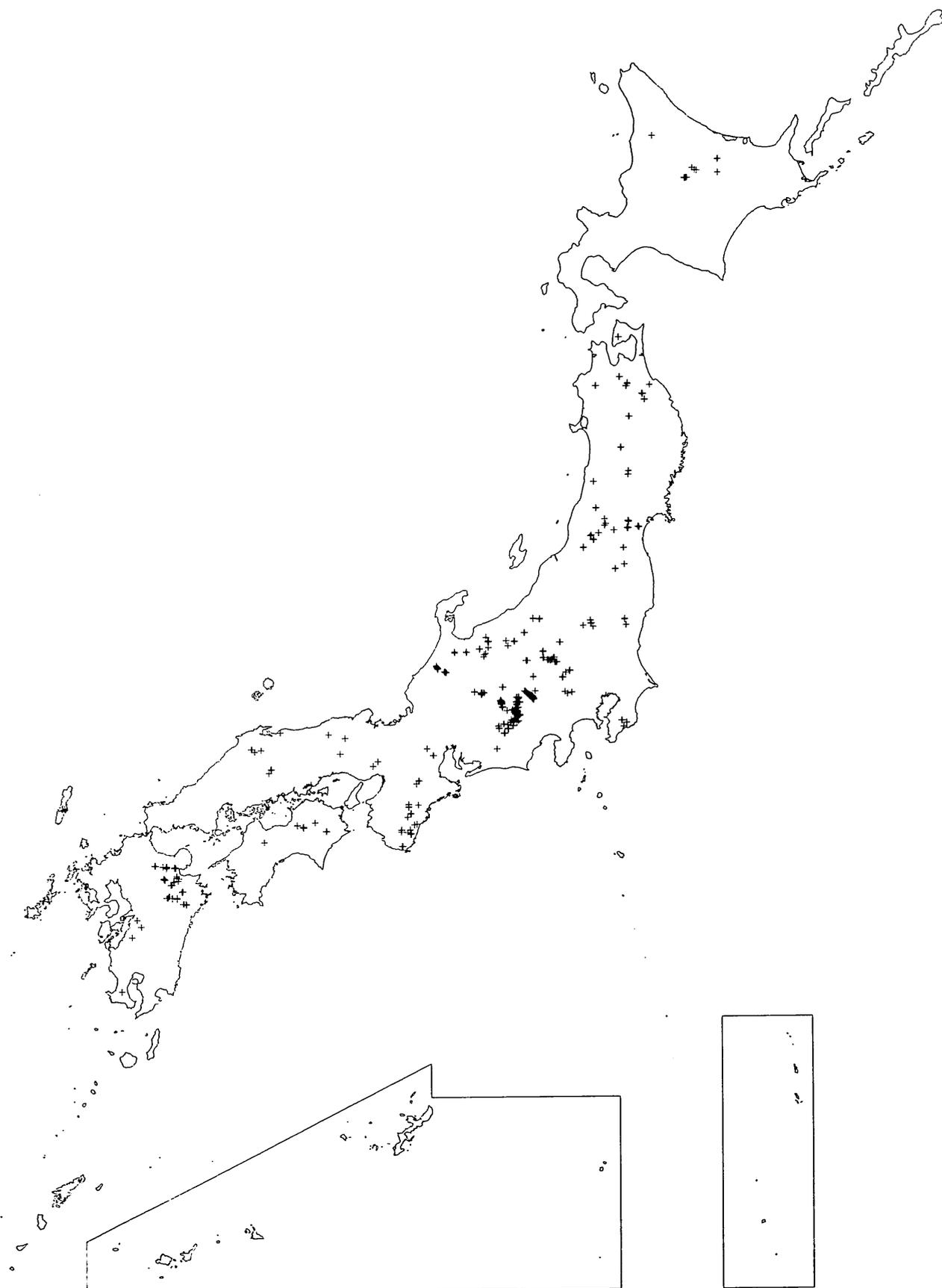
自由蛇行河川



B104

河川景観

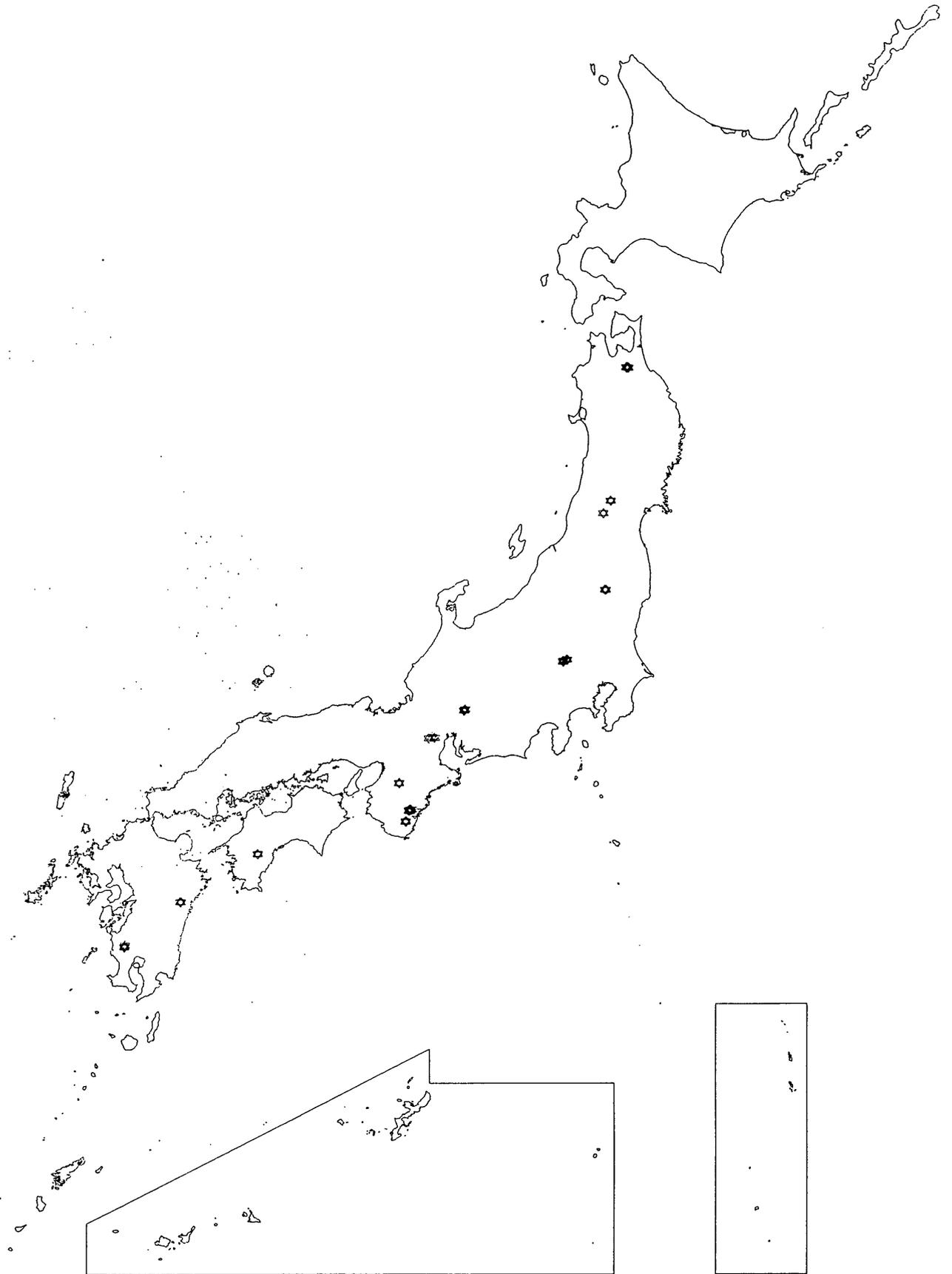
穿入蛇行河川



B105

河川景観

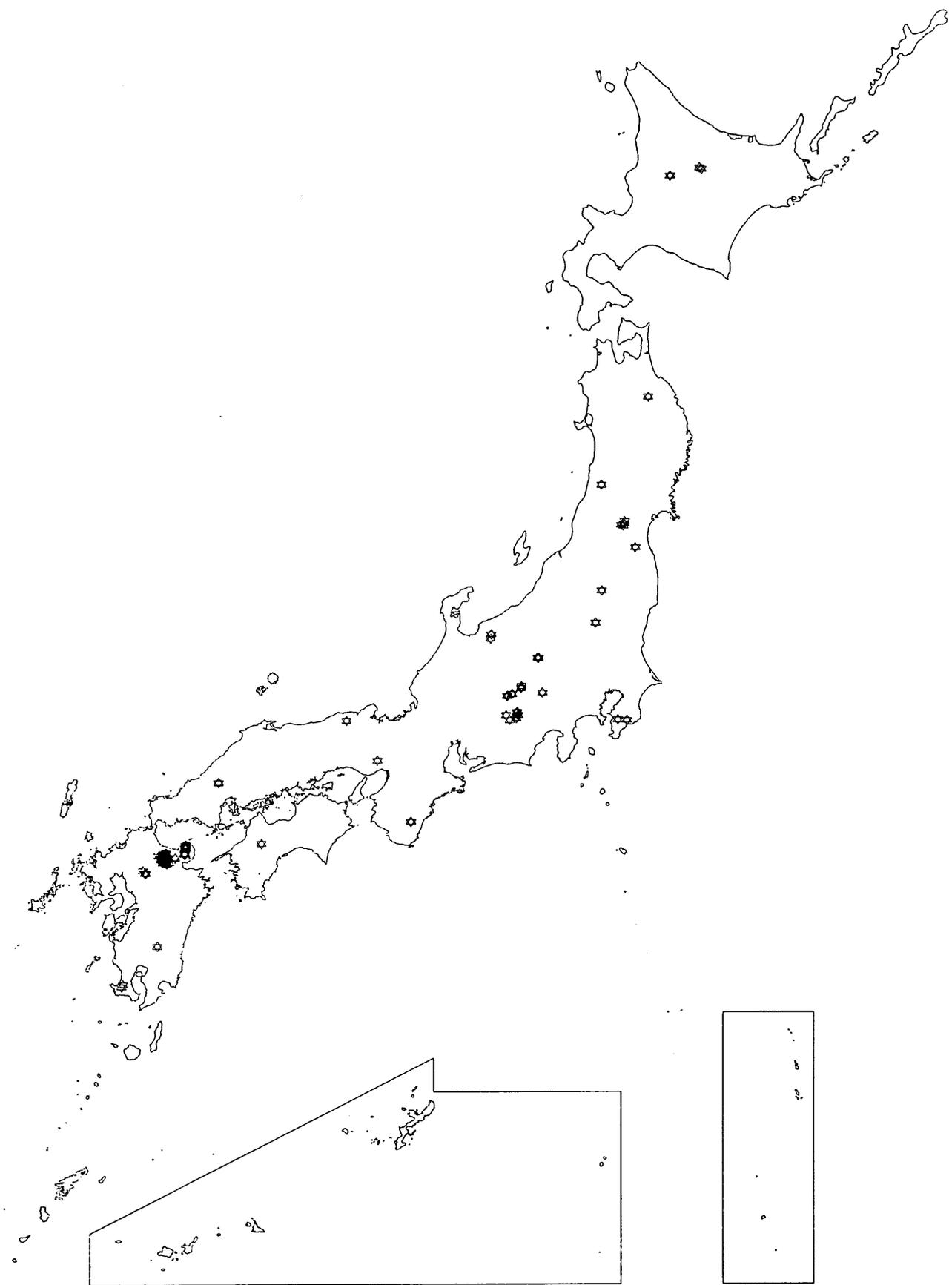
断崖・岩壁



B106

河川景観

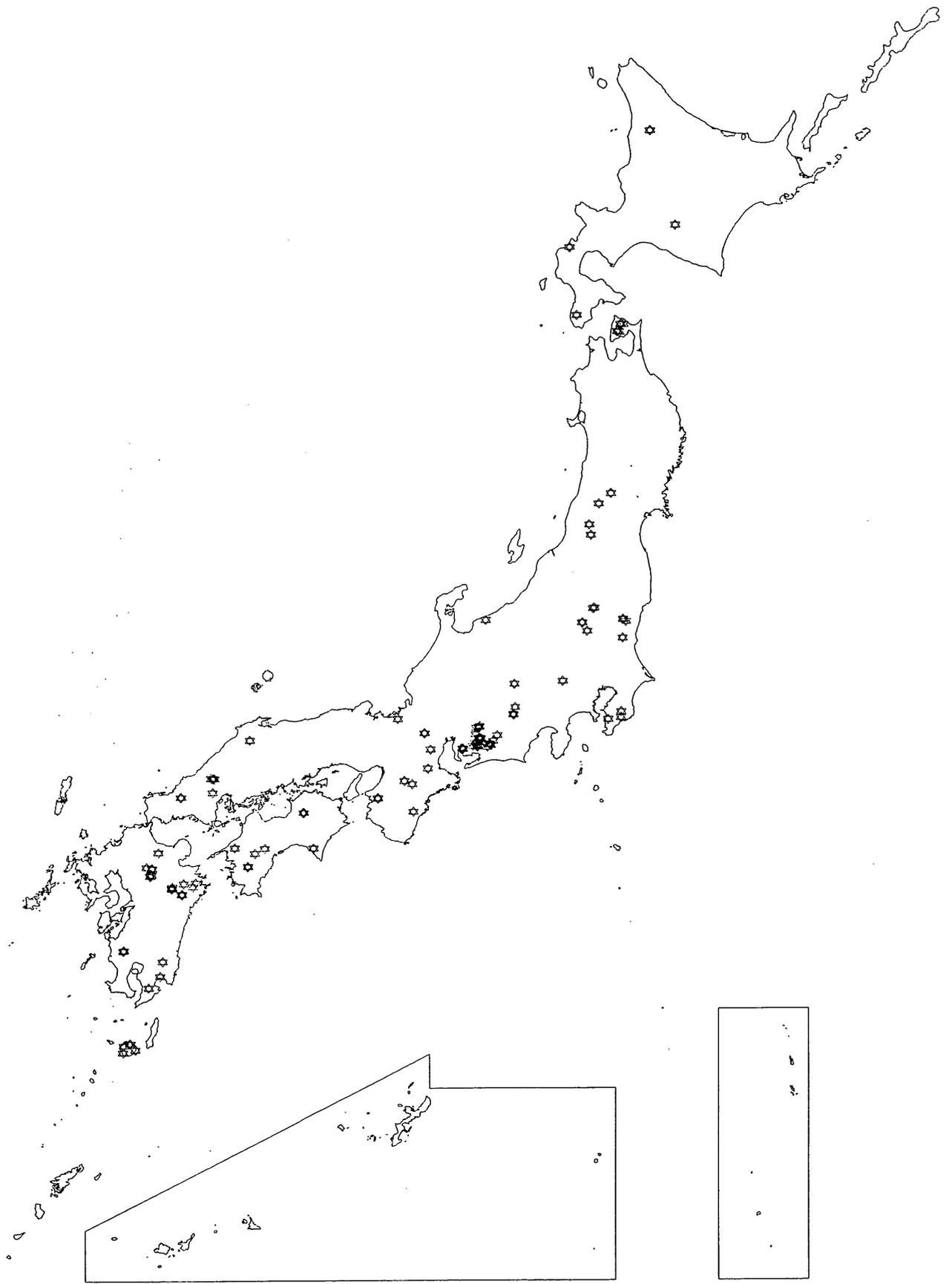
瀨



B107

河川景観

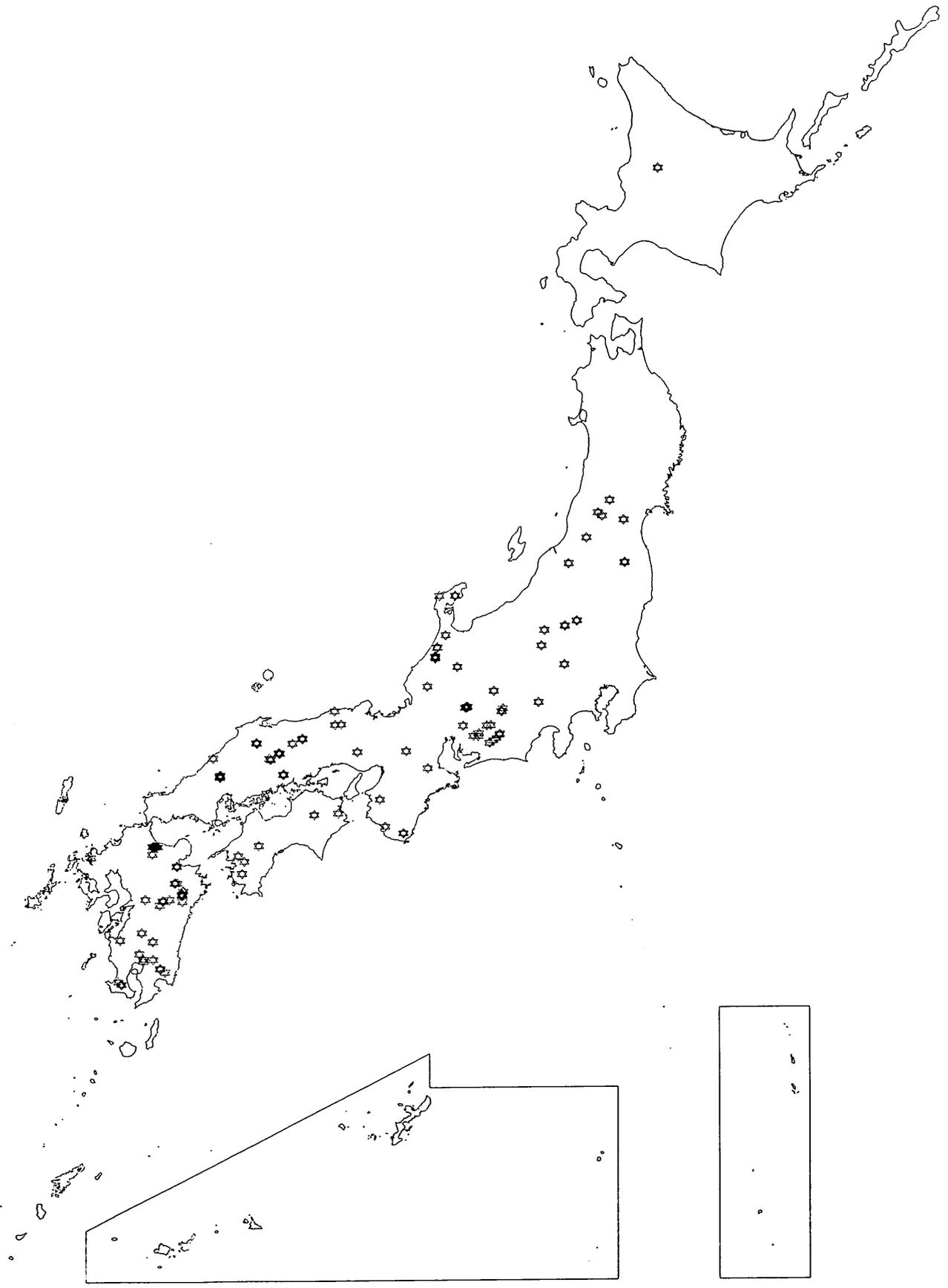
岩峰・岩柱



B108

河川景観

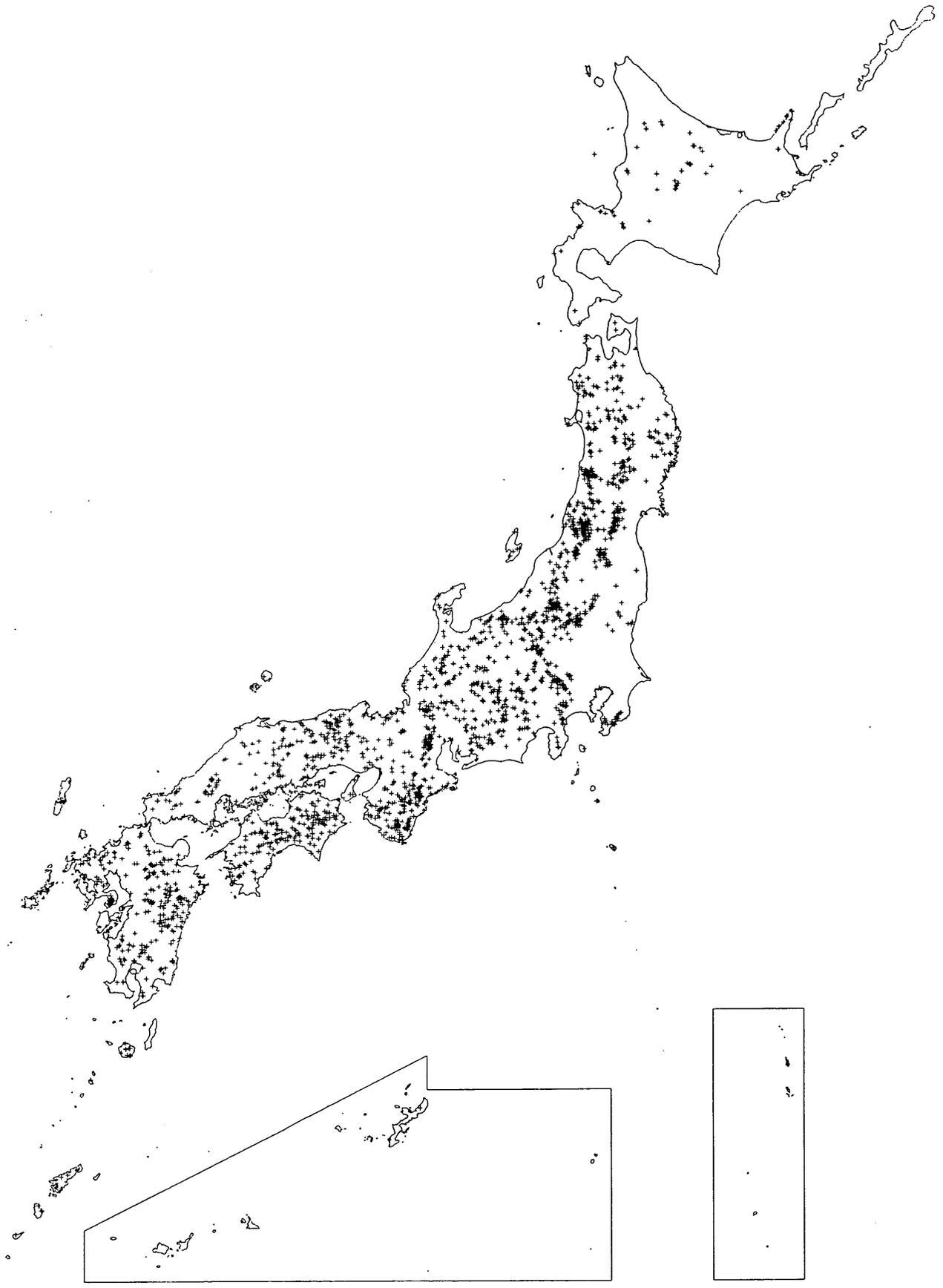
測



B109

河川景観

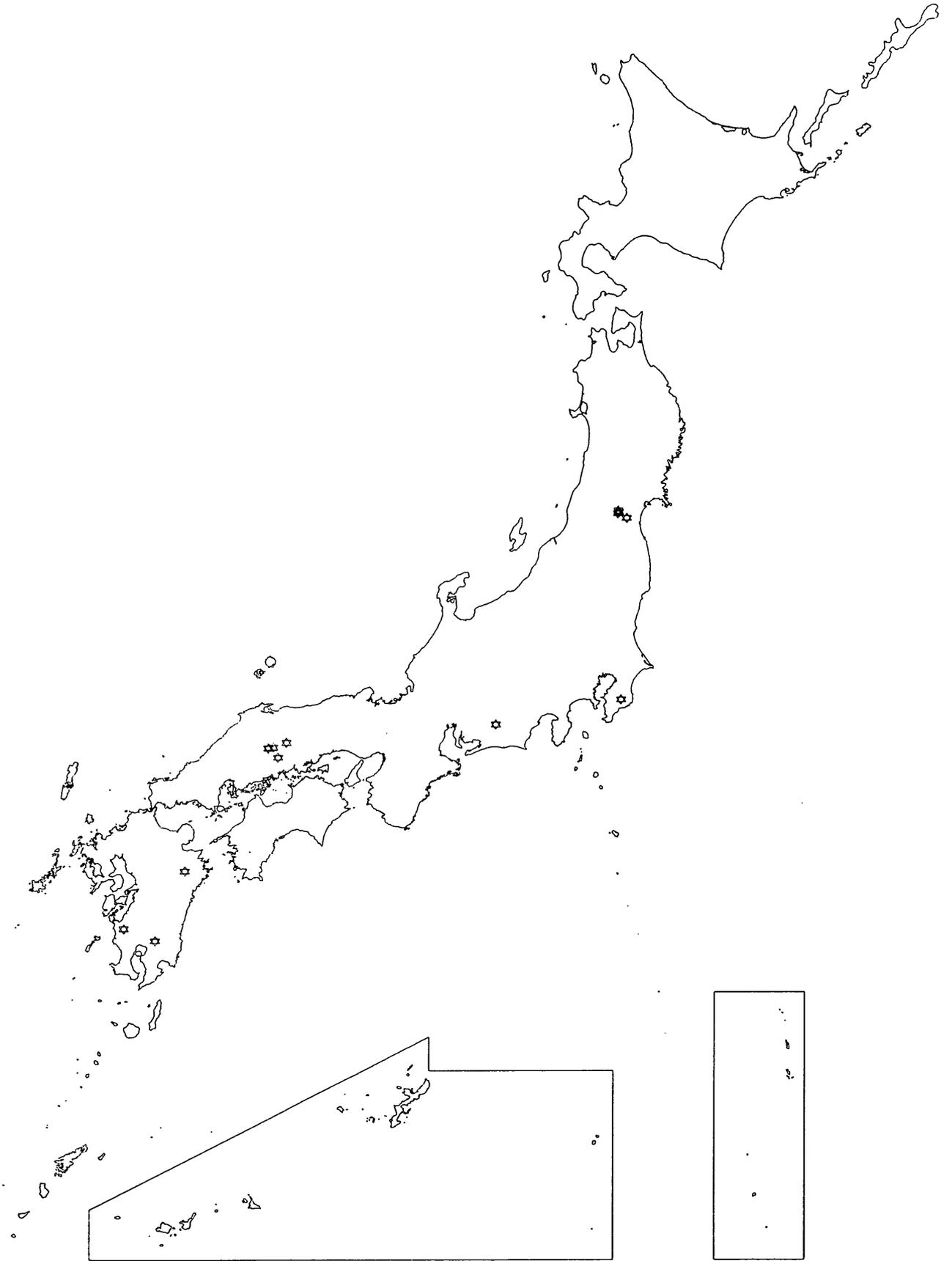
甌穴群



B110

河川景観

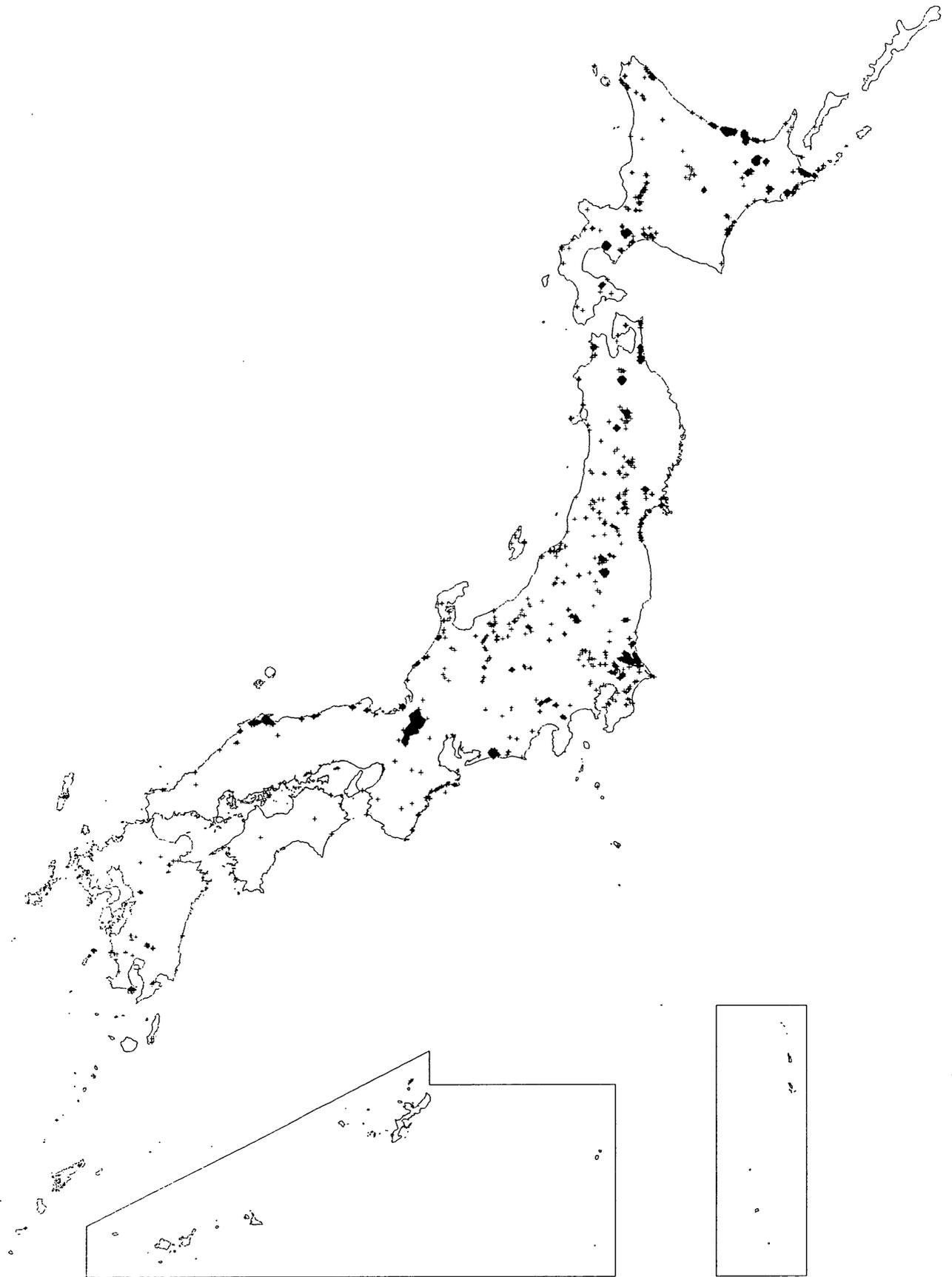
滝



B111

河川景観

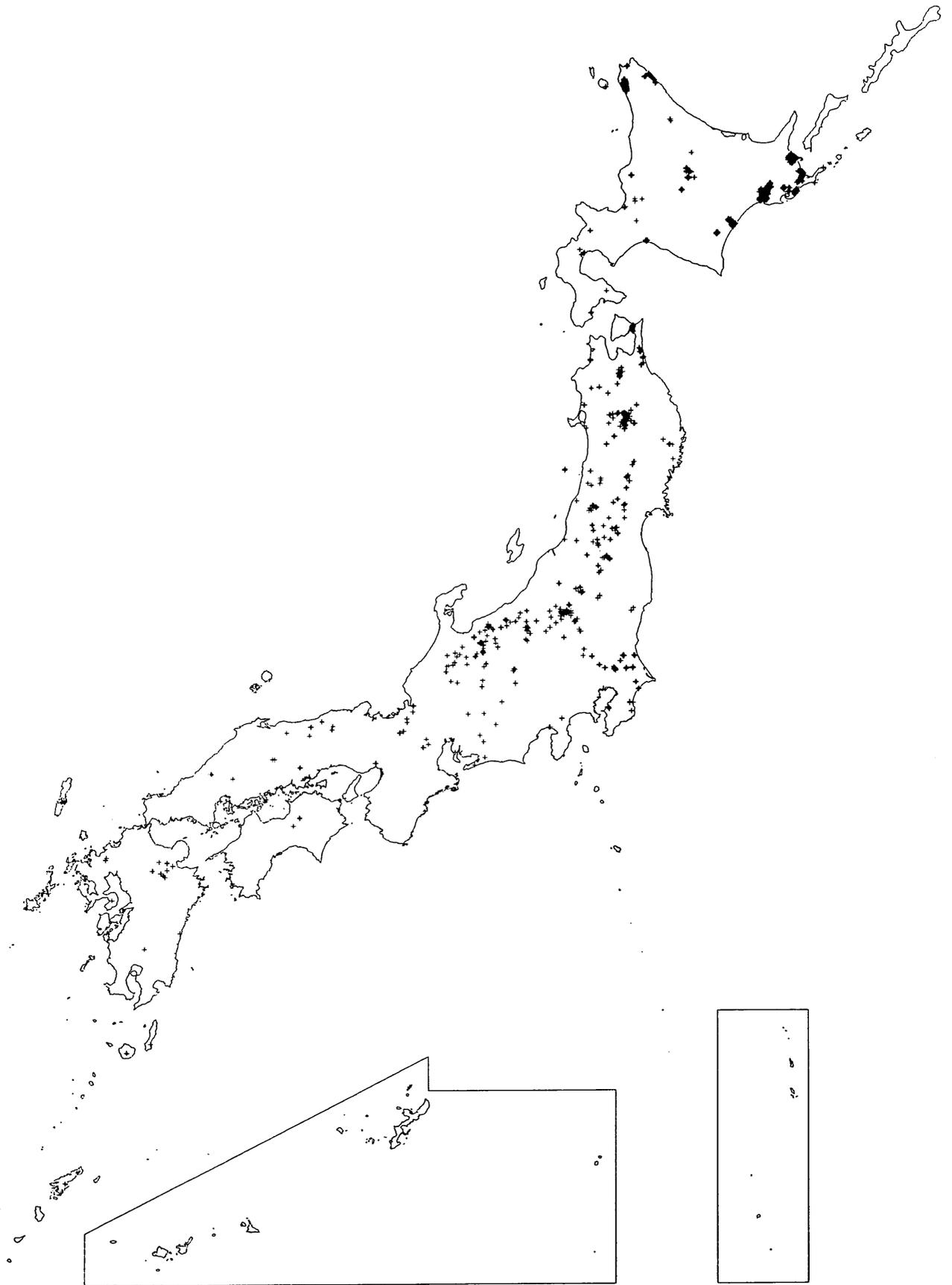
天然橋・岩門・石門



E201

湖沼景観

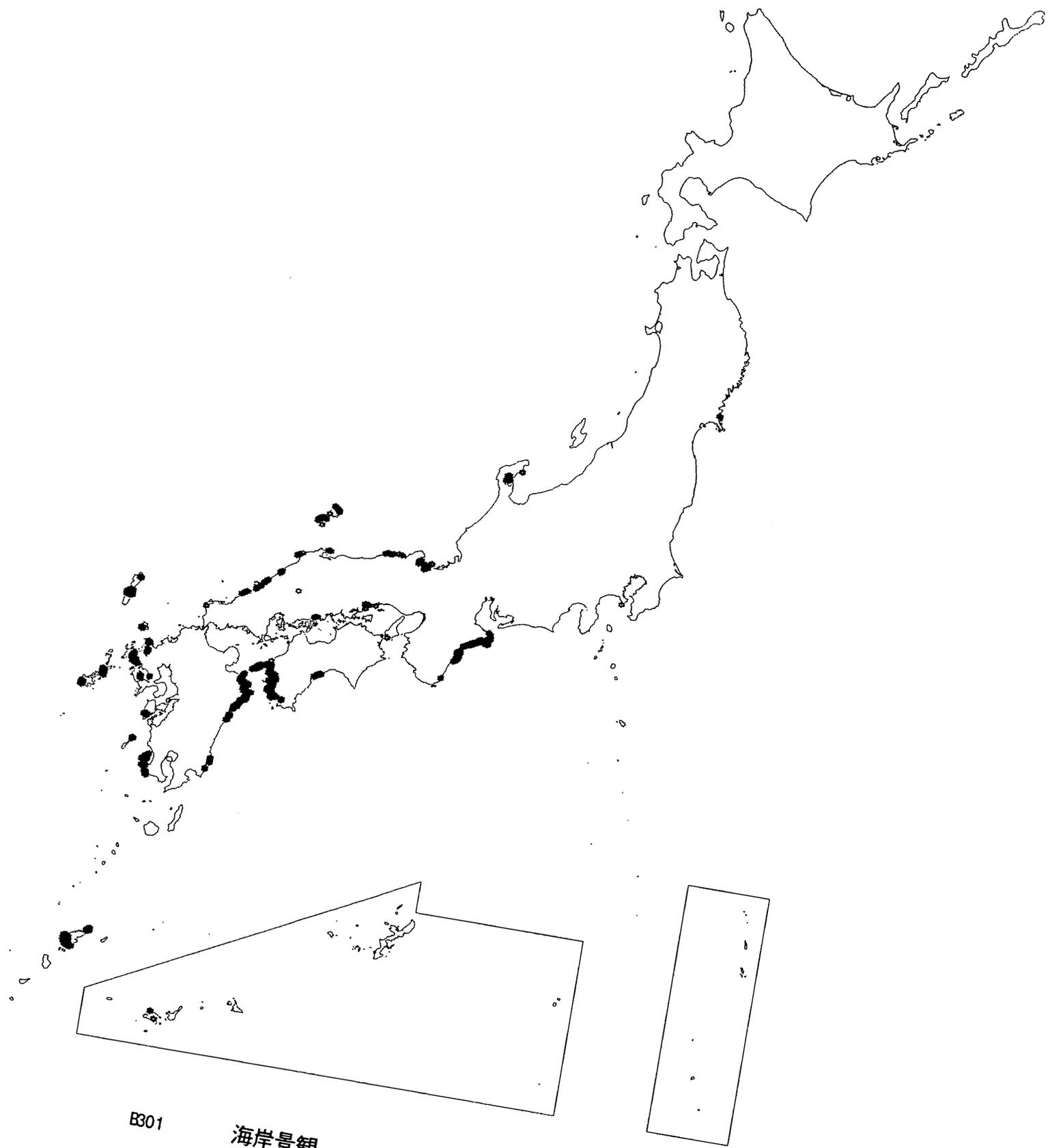
湖沼



B202

湖沼景觀

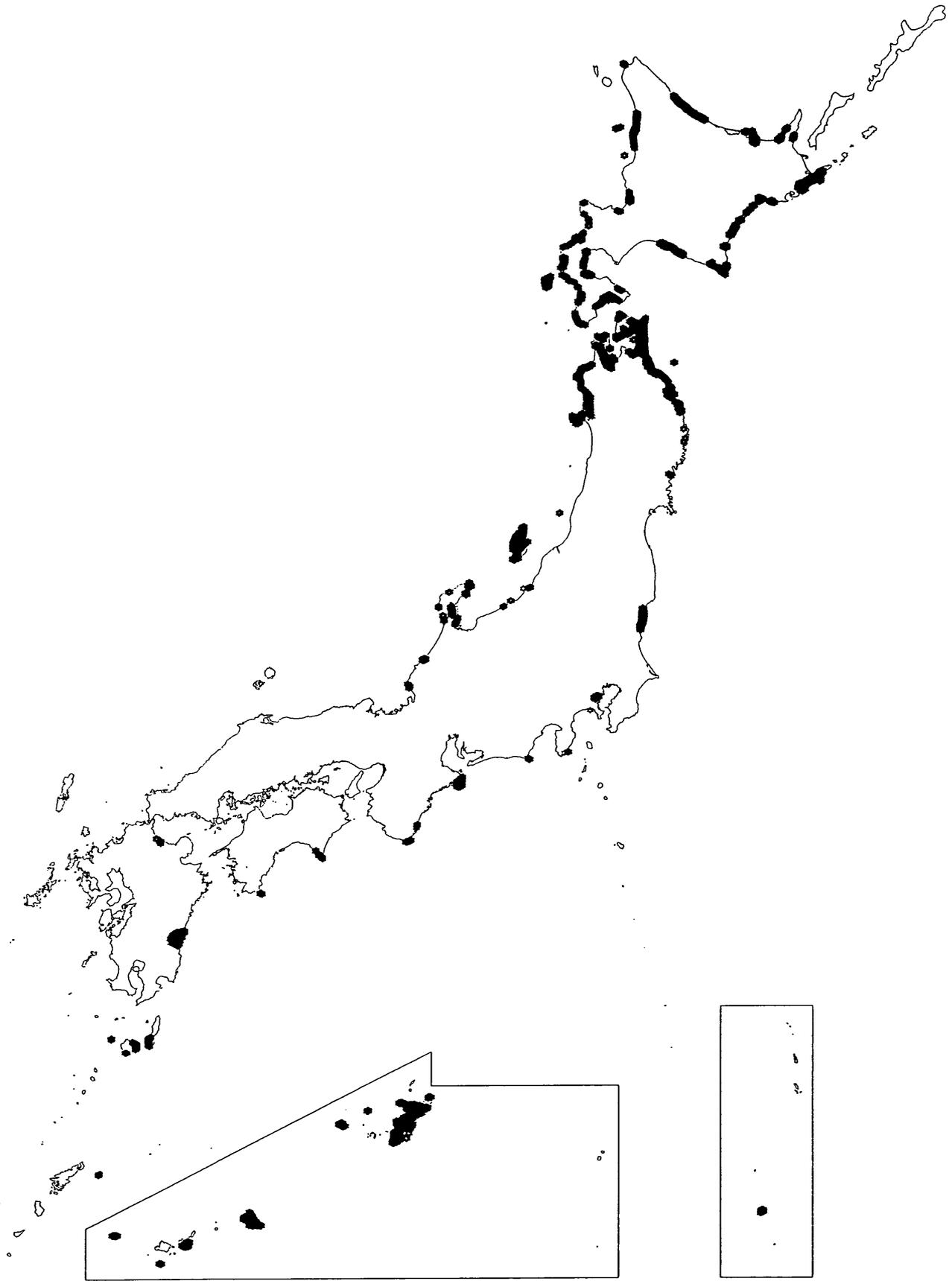
湿原



B301

海岸景観

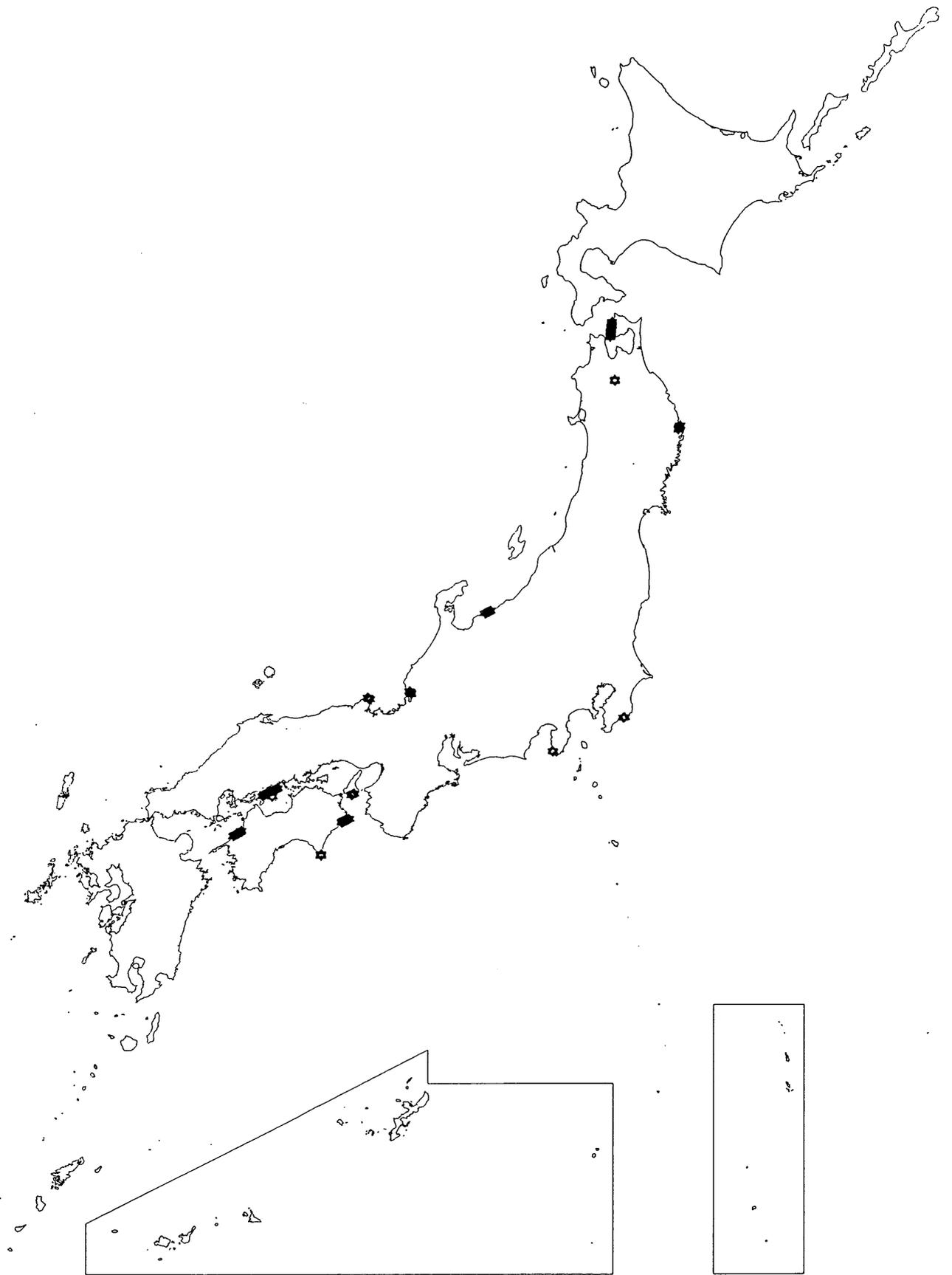
溺れ谷



B302

海岸景観

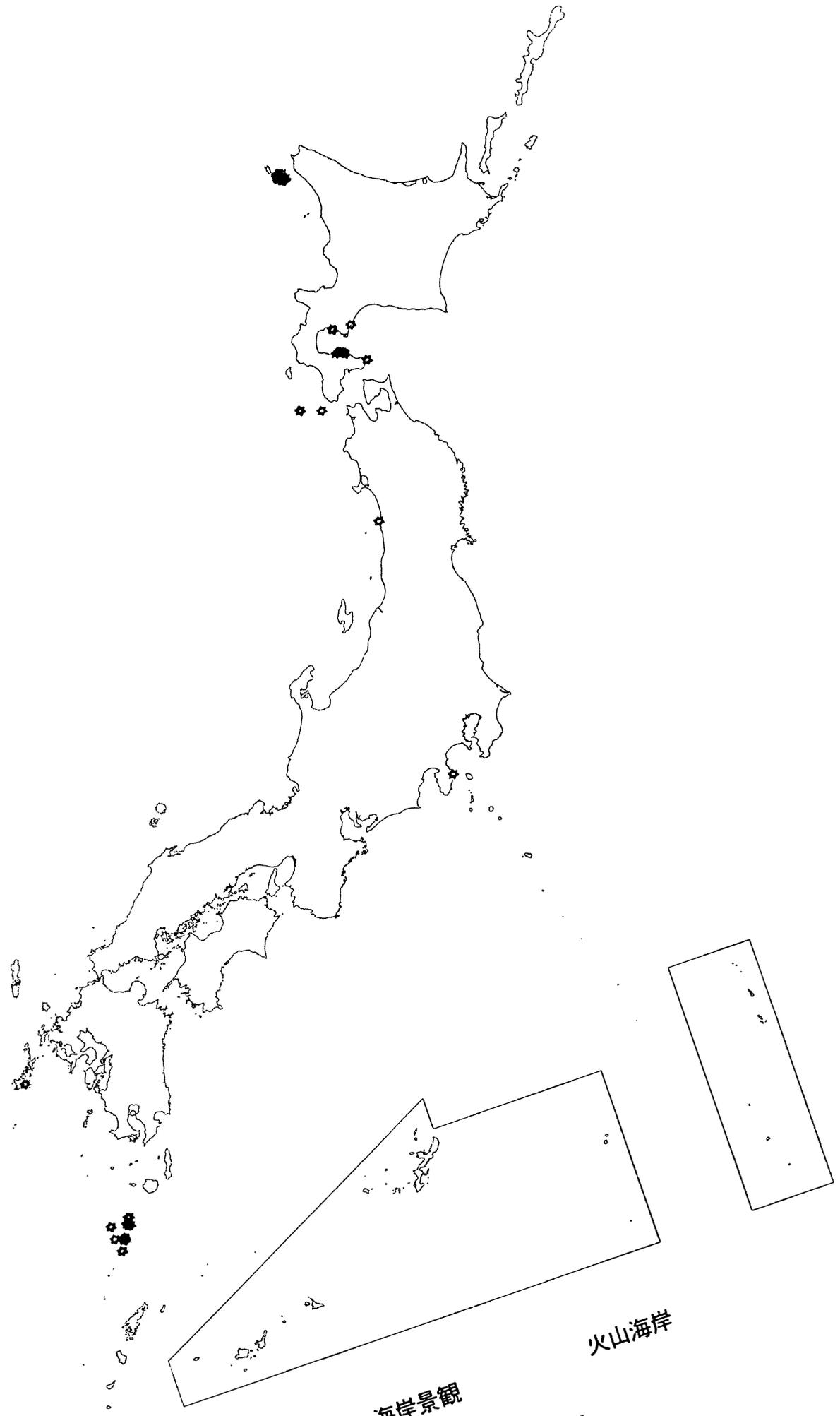
海成段丘



B303

海岸景観

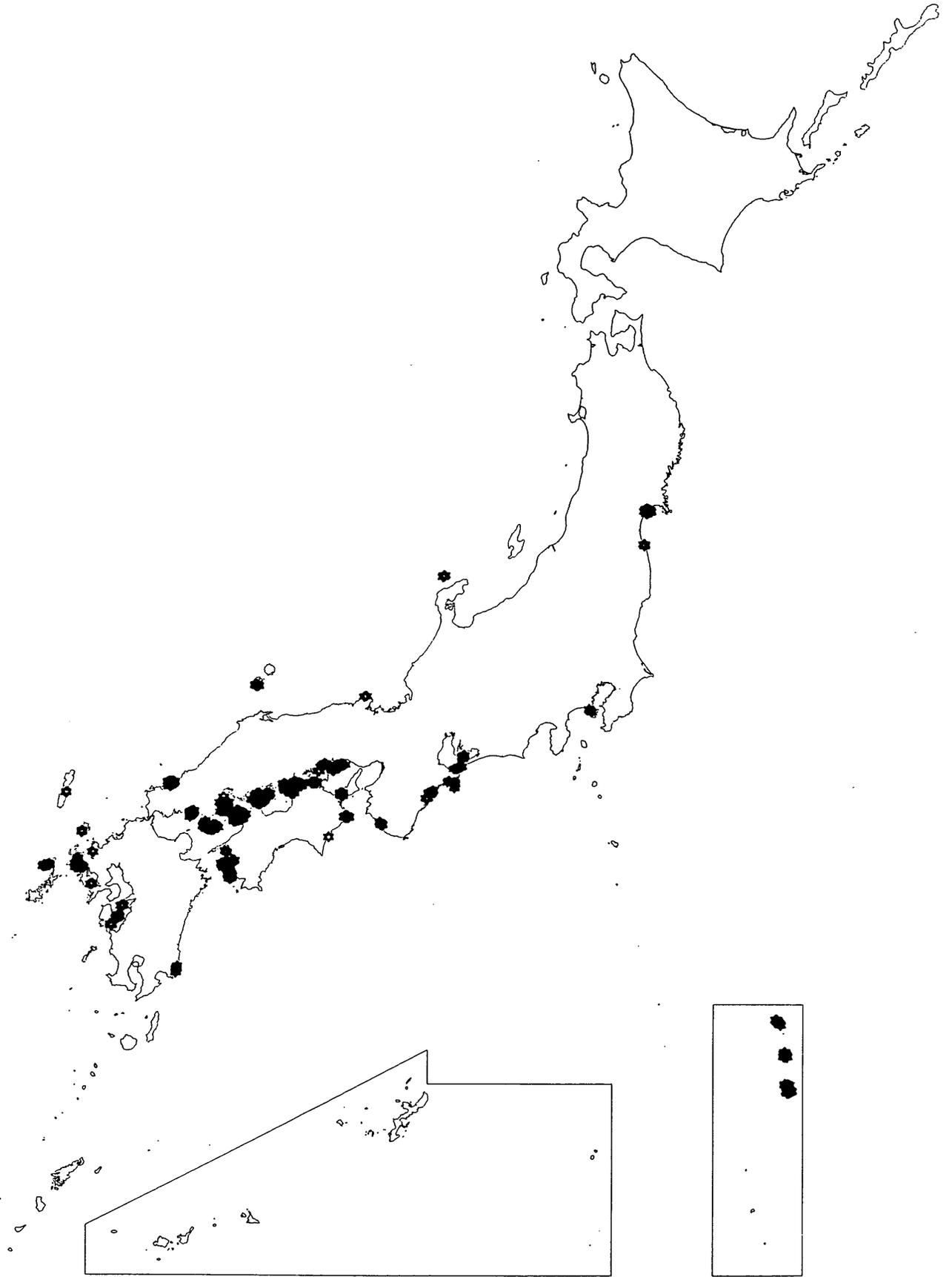
断層海岸



B304

海岸景観

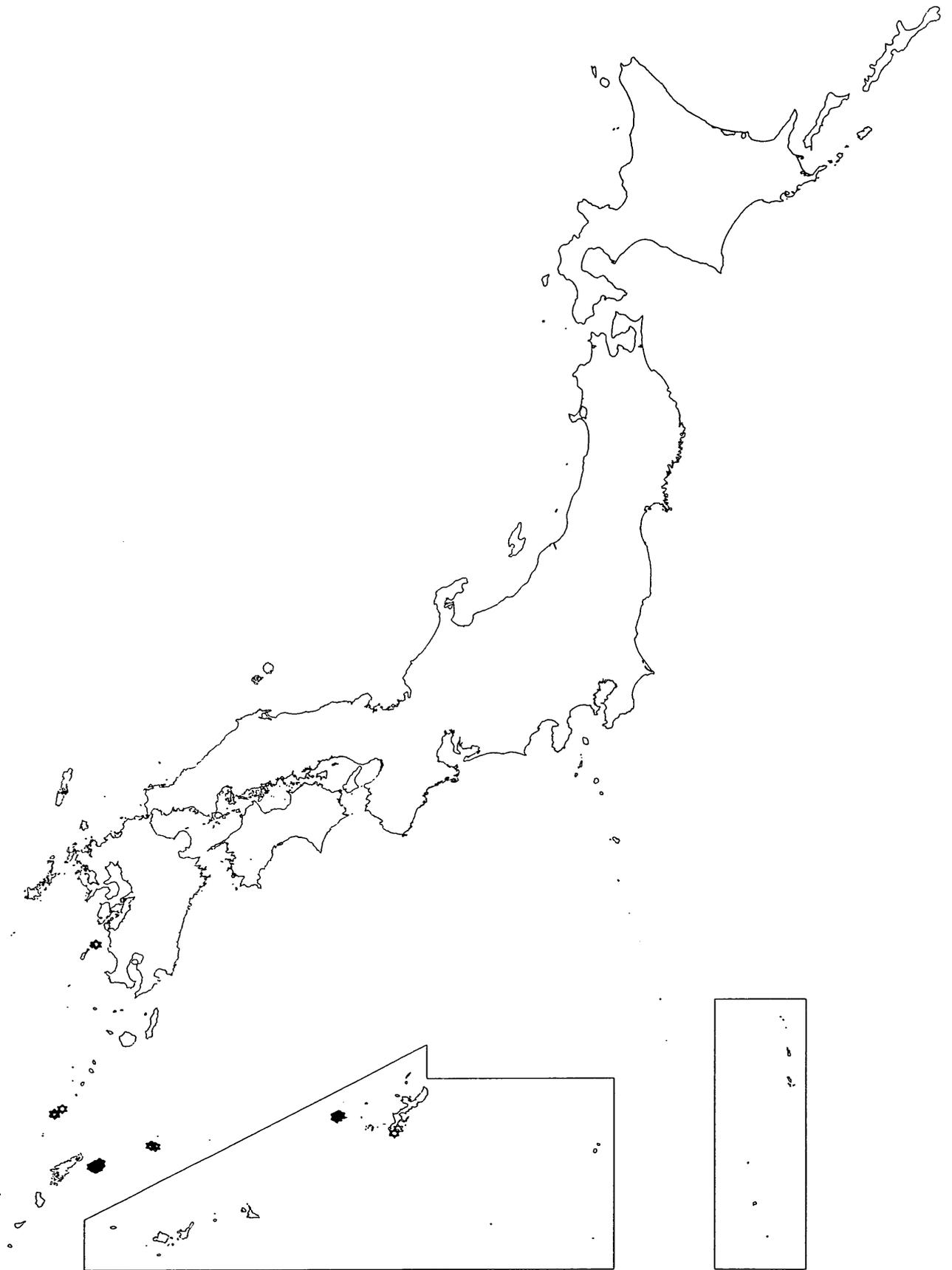
火山海岸



E305

海岸景観

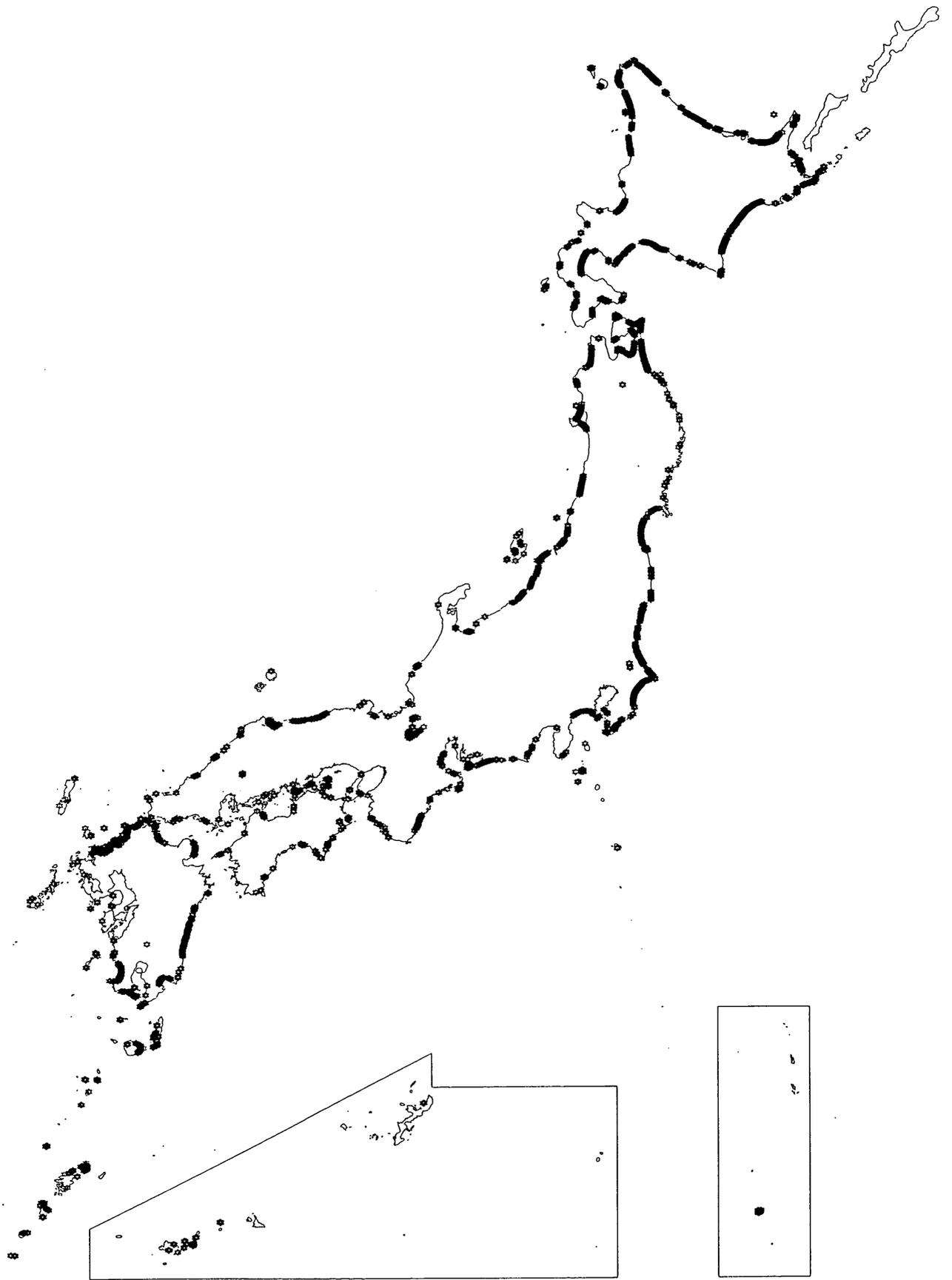
多島海



B306

海岸景観

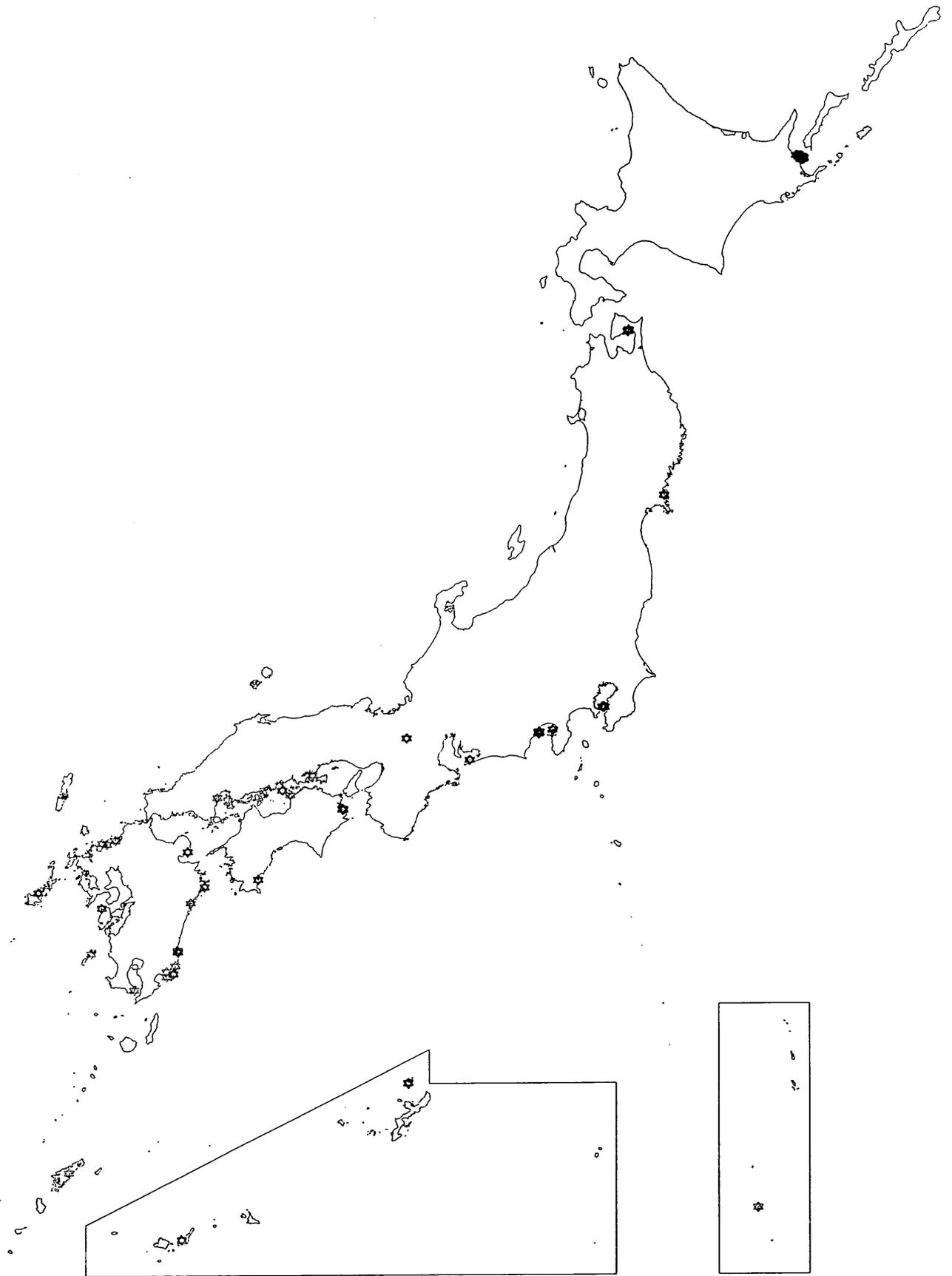
隆起サンゴ礁



B307

海岸景観

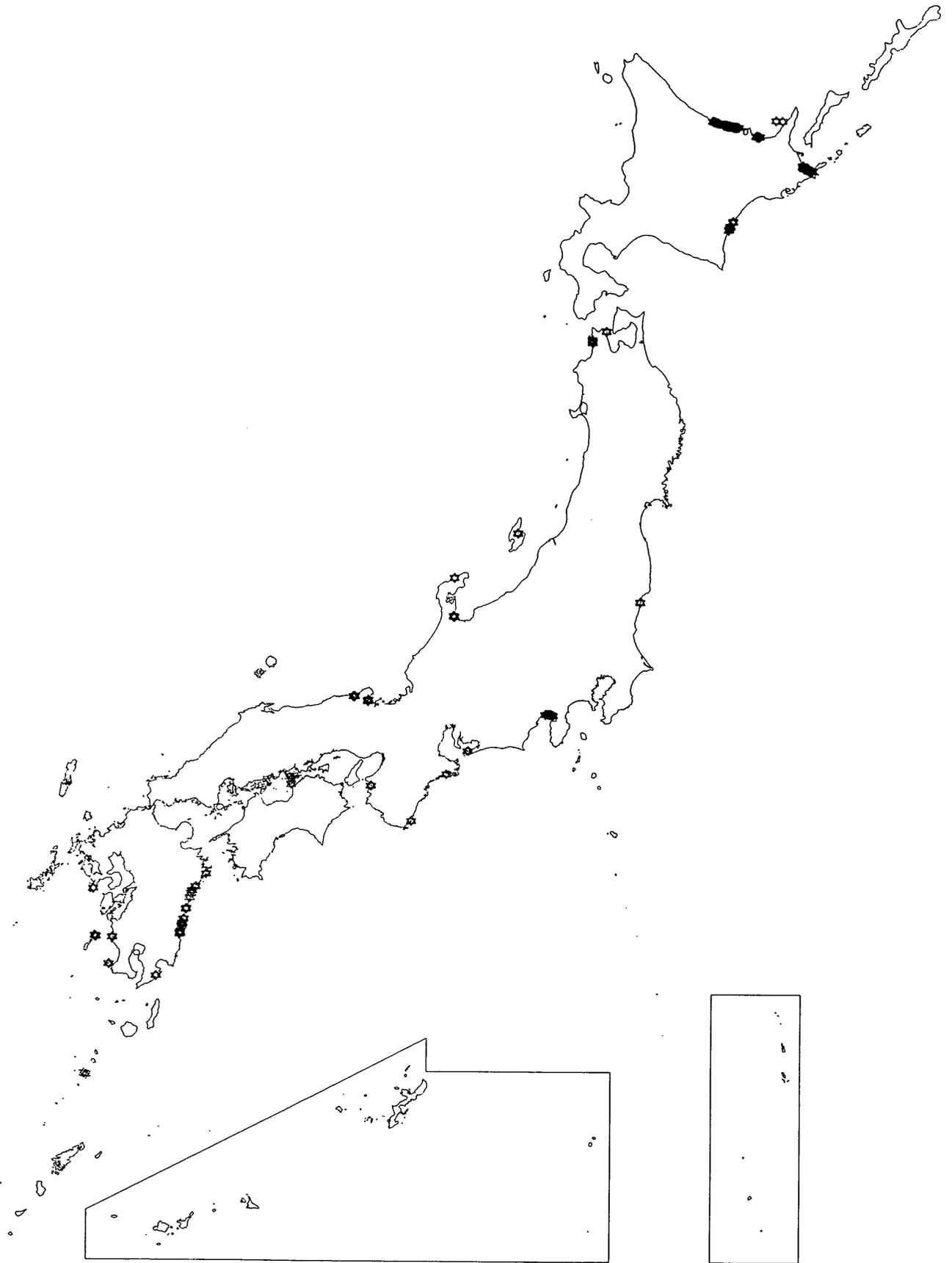
砂浜・磯浜



B308

海岸景観

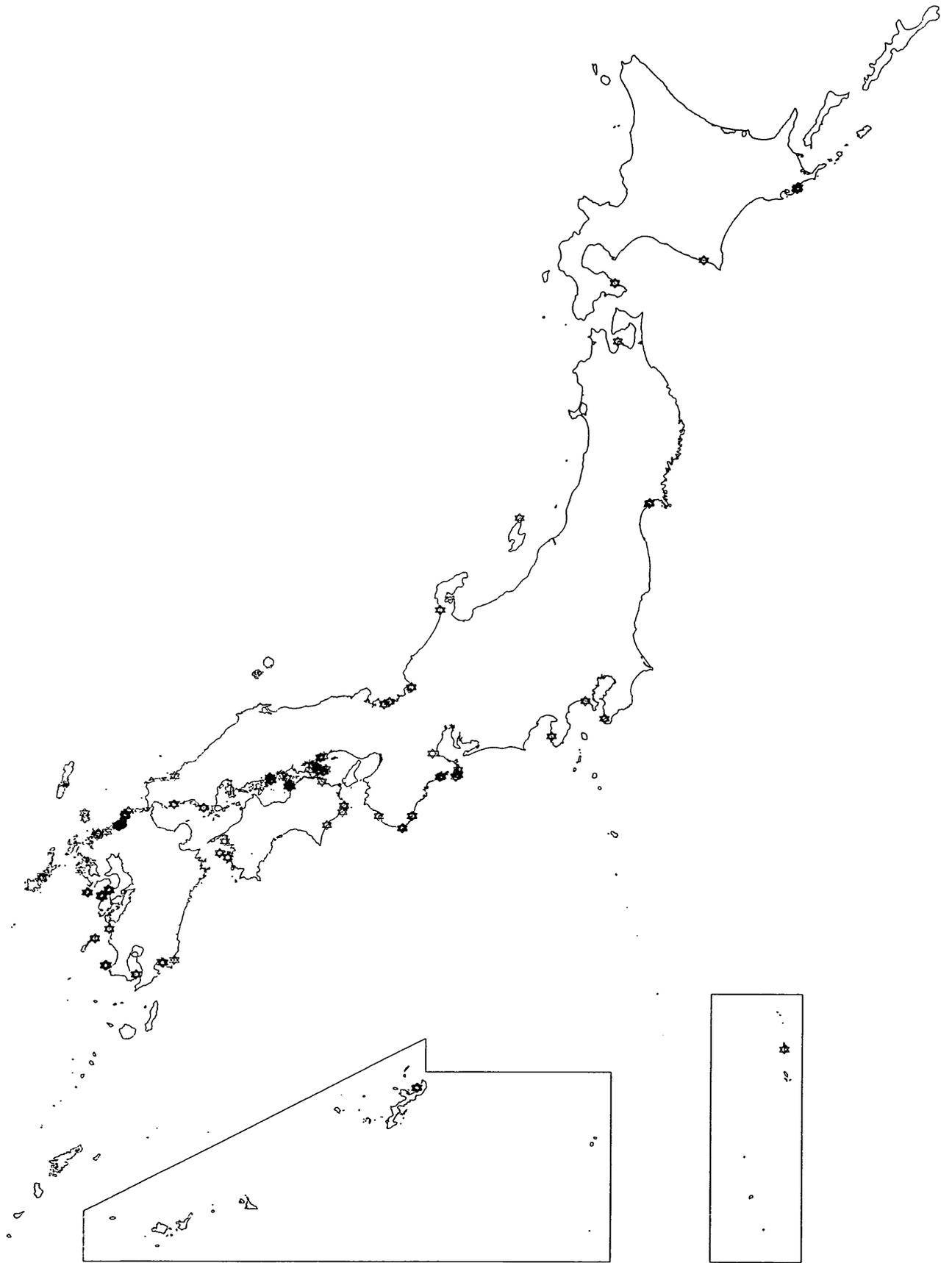
砂嘴



B309

海岸景観

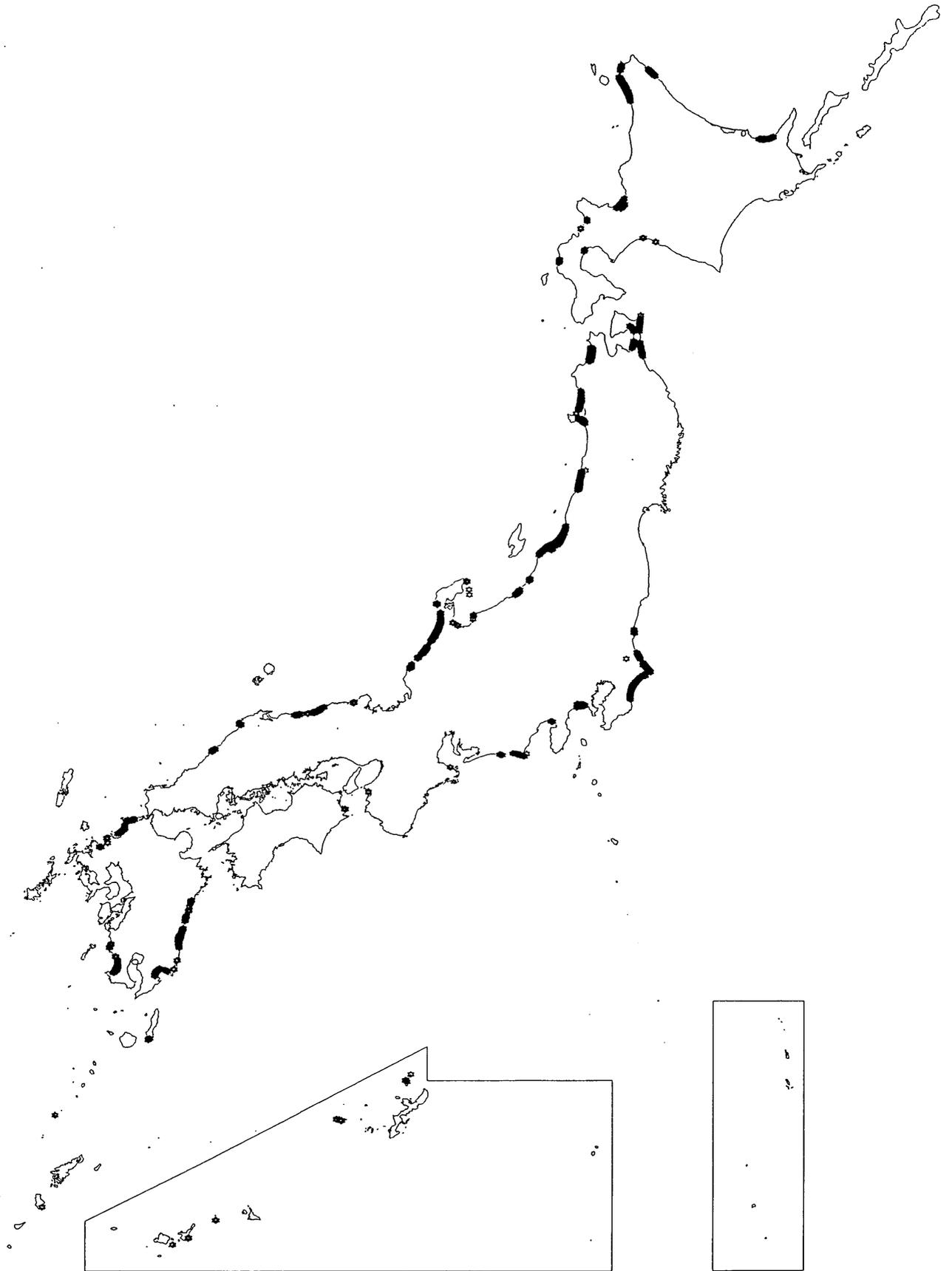
砂州



B310

海岸景観

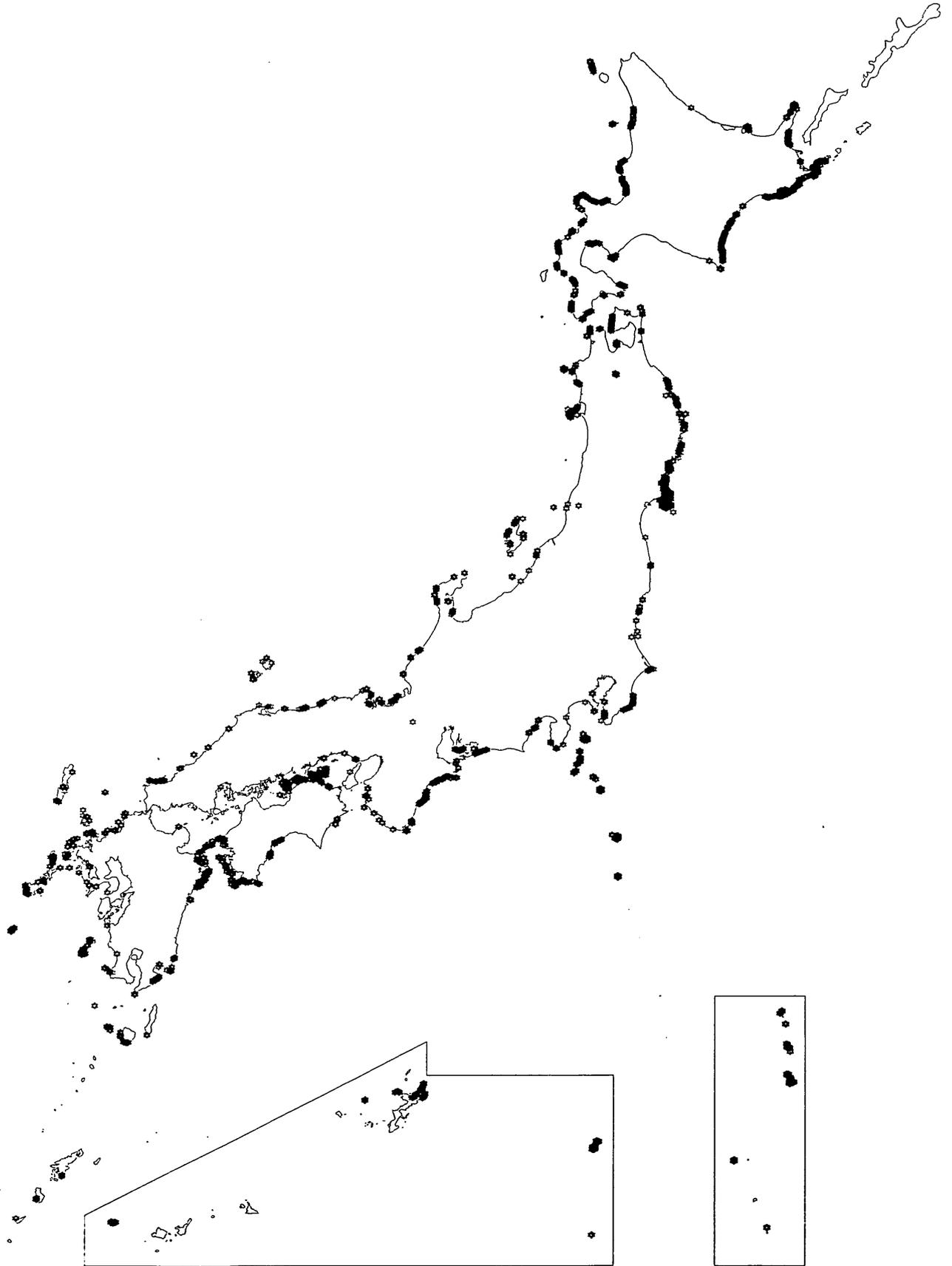
陸けい砂州



B311

海岸景観

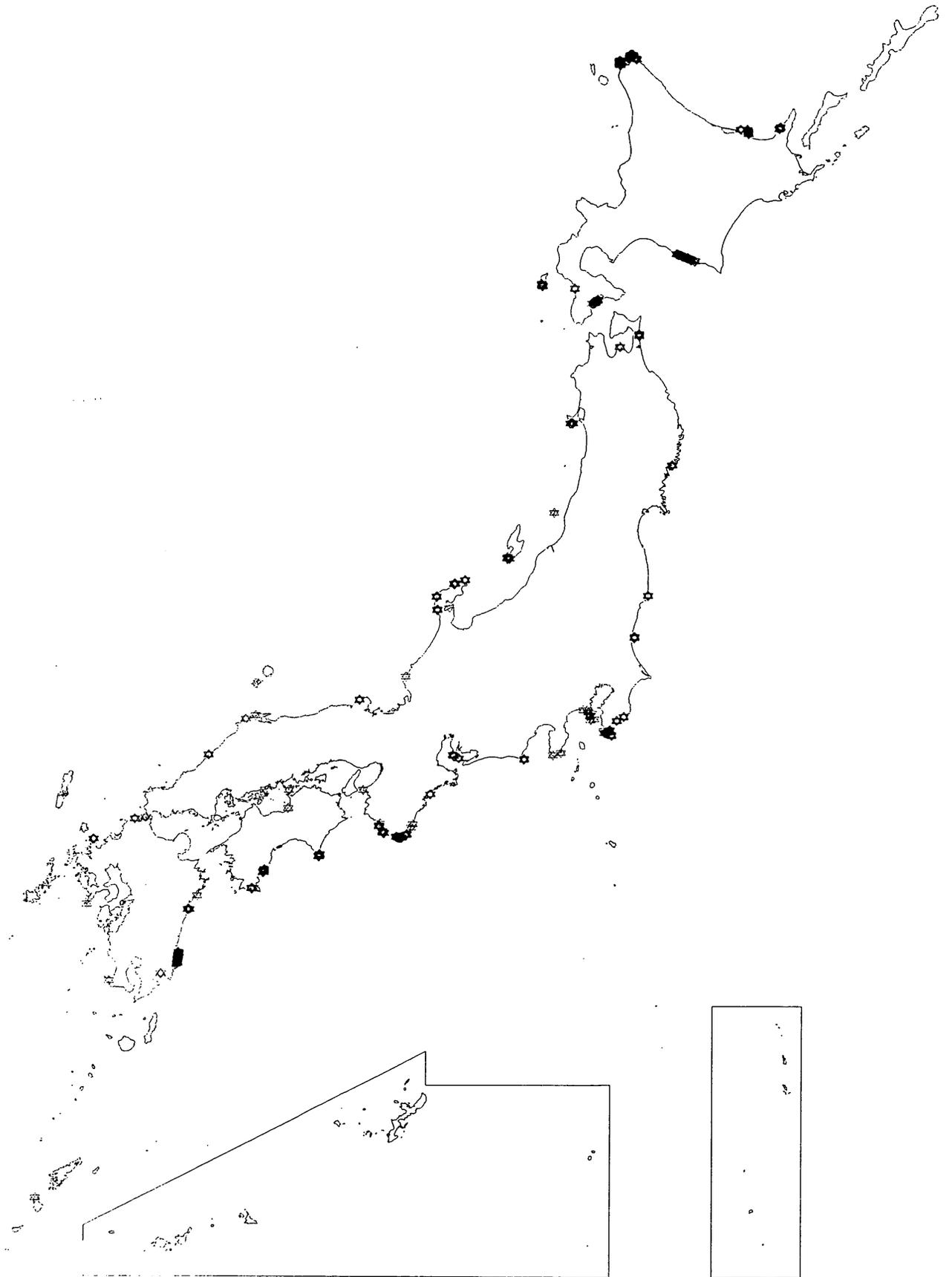
砂丘



B312

海岸景観

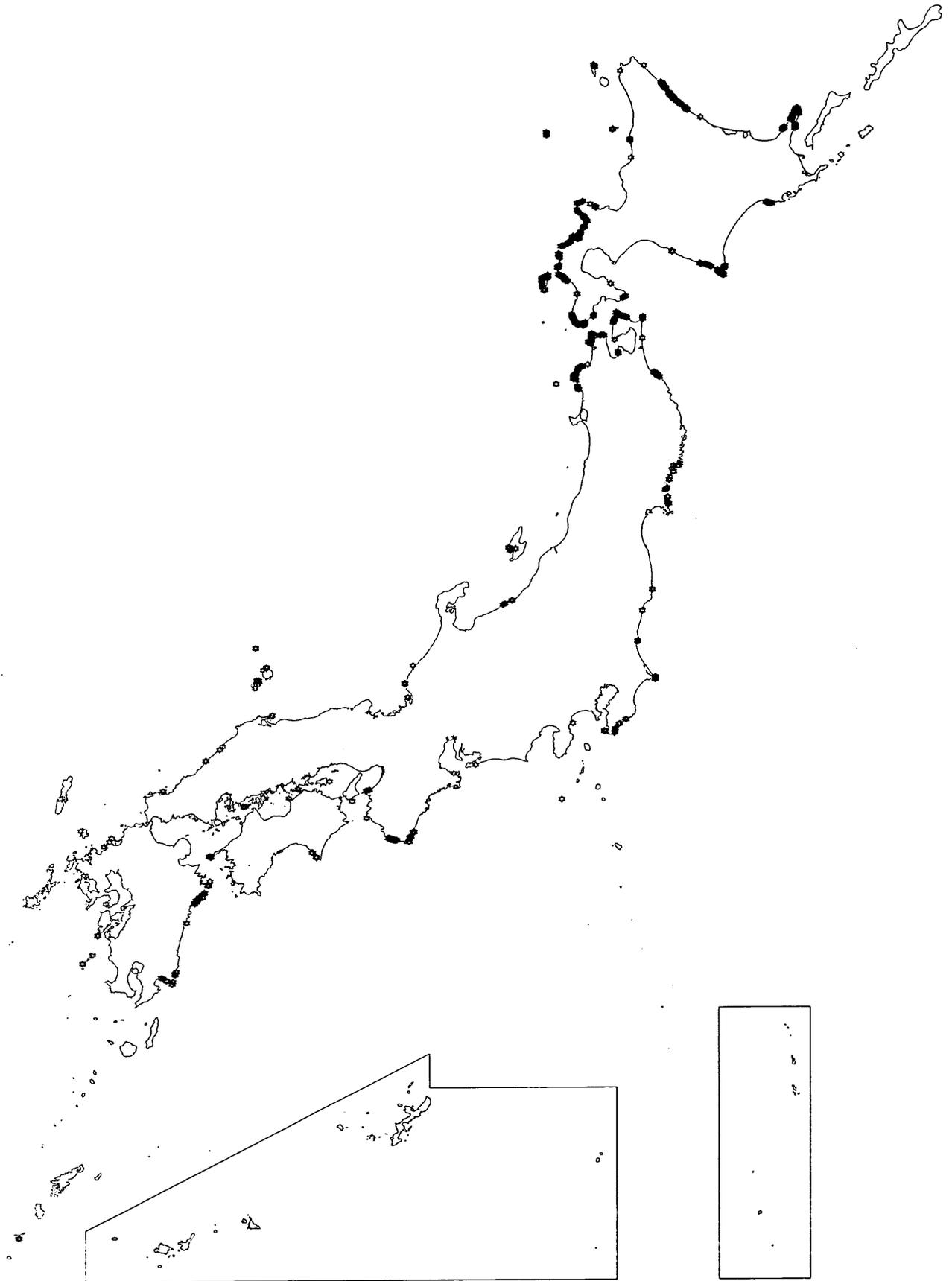
海食崖



B313

海岸景観

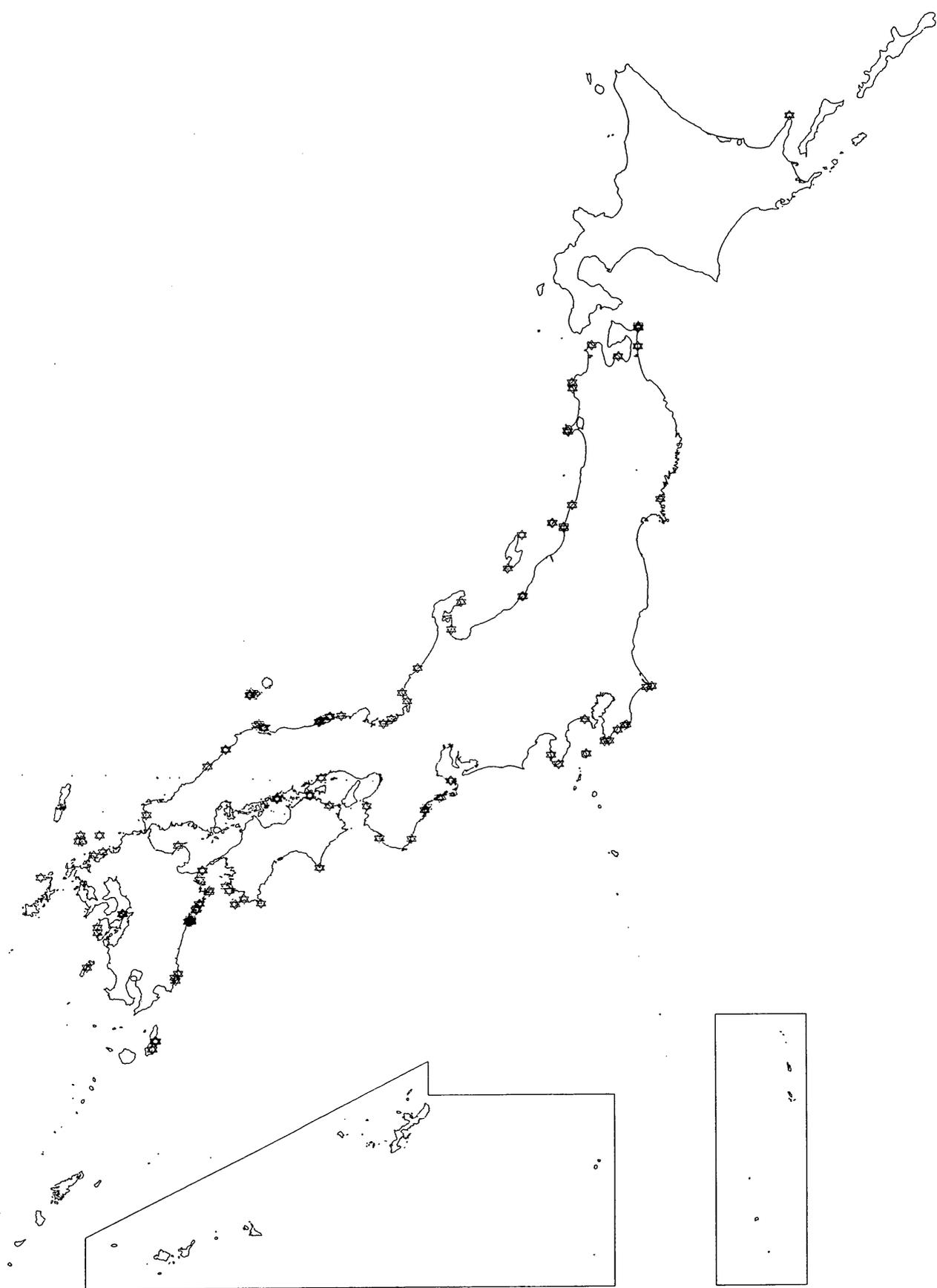
波食台



B314

海岸景観

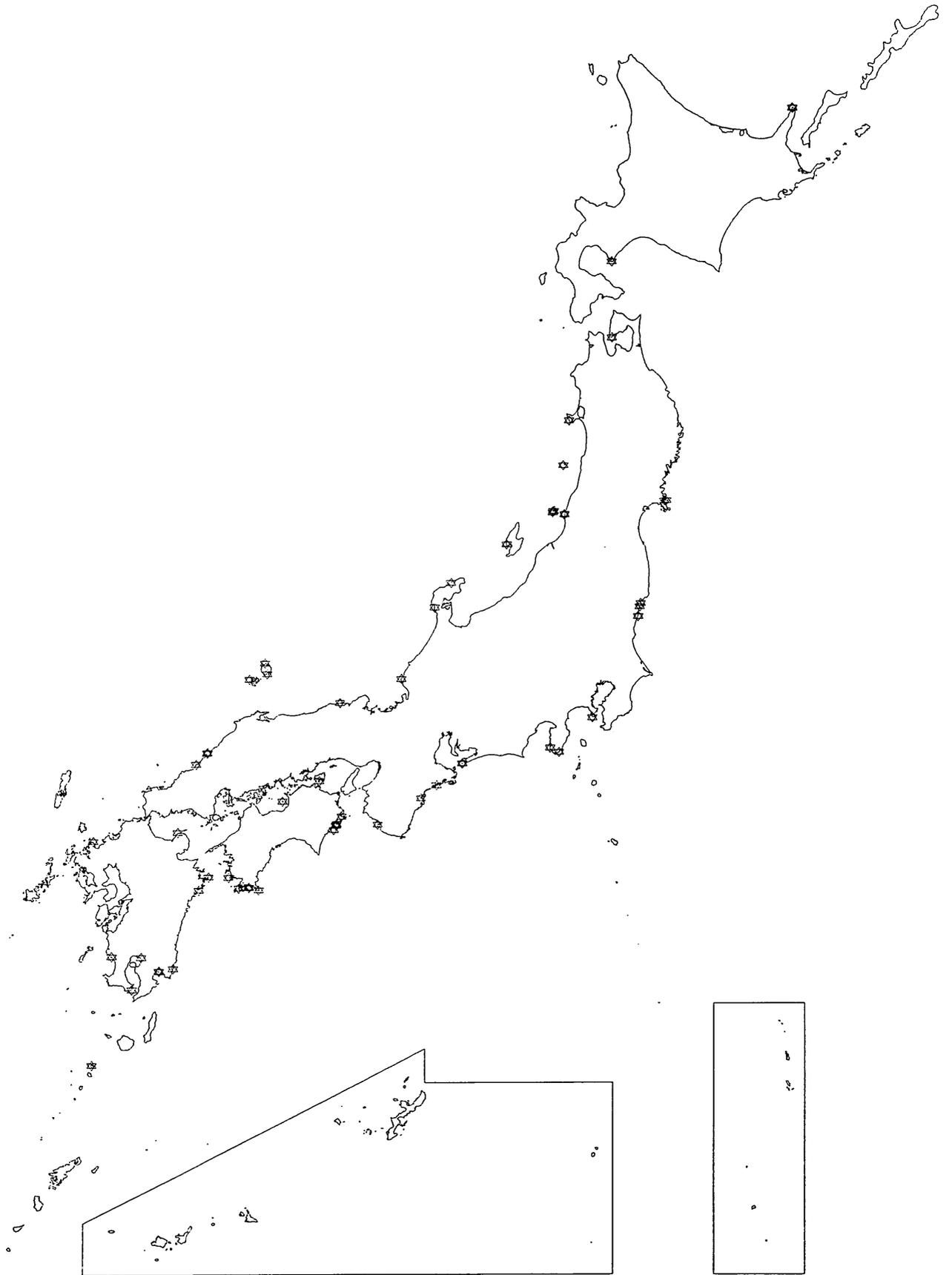
岩礁



B315

海岸景観

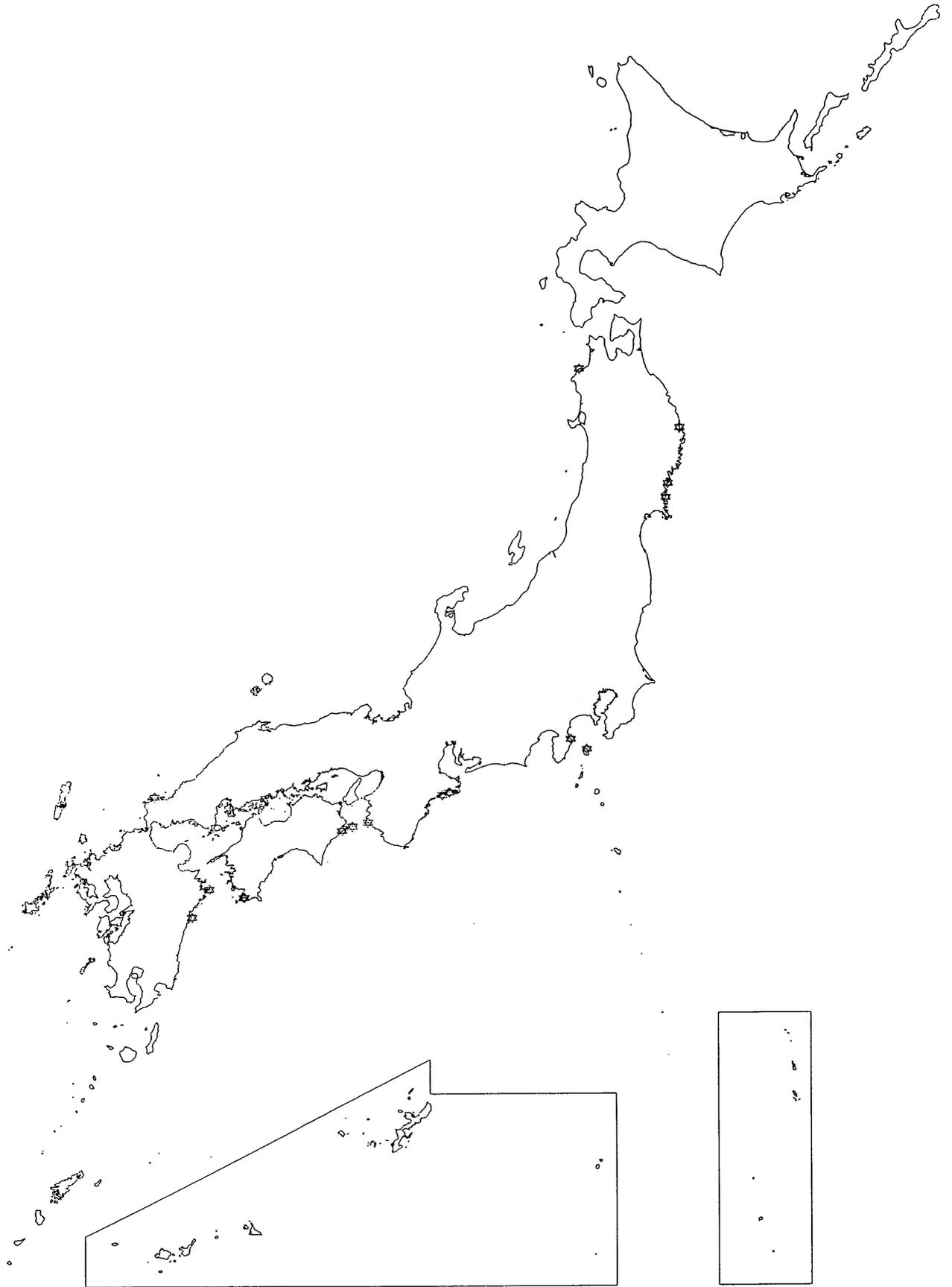
海食洞



B316

海岸景観

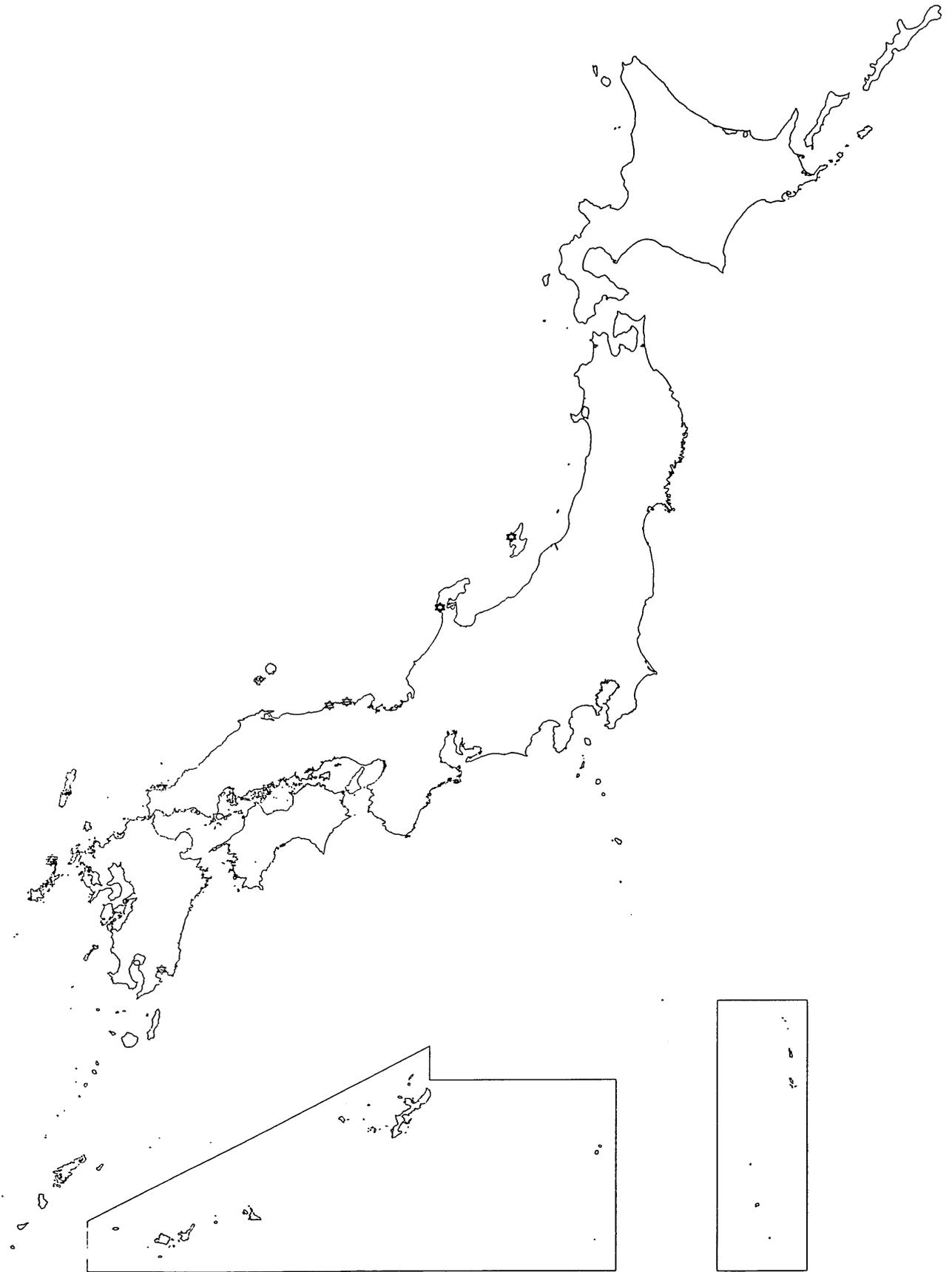
岩門



B317

海岸景観

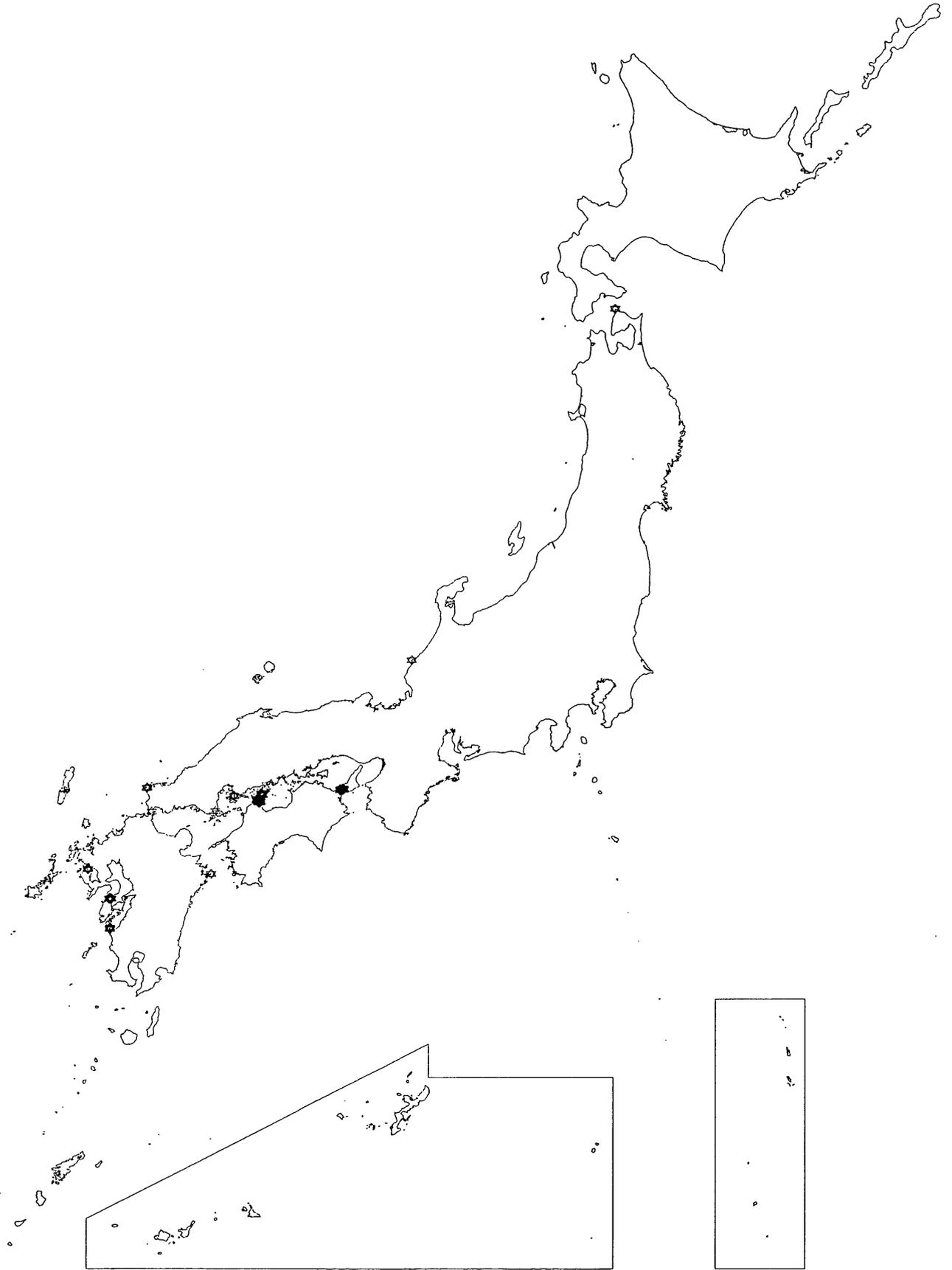
潮吹穴



B318

海岸景観

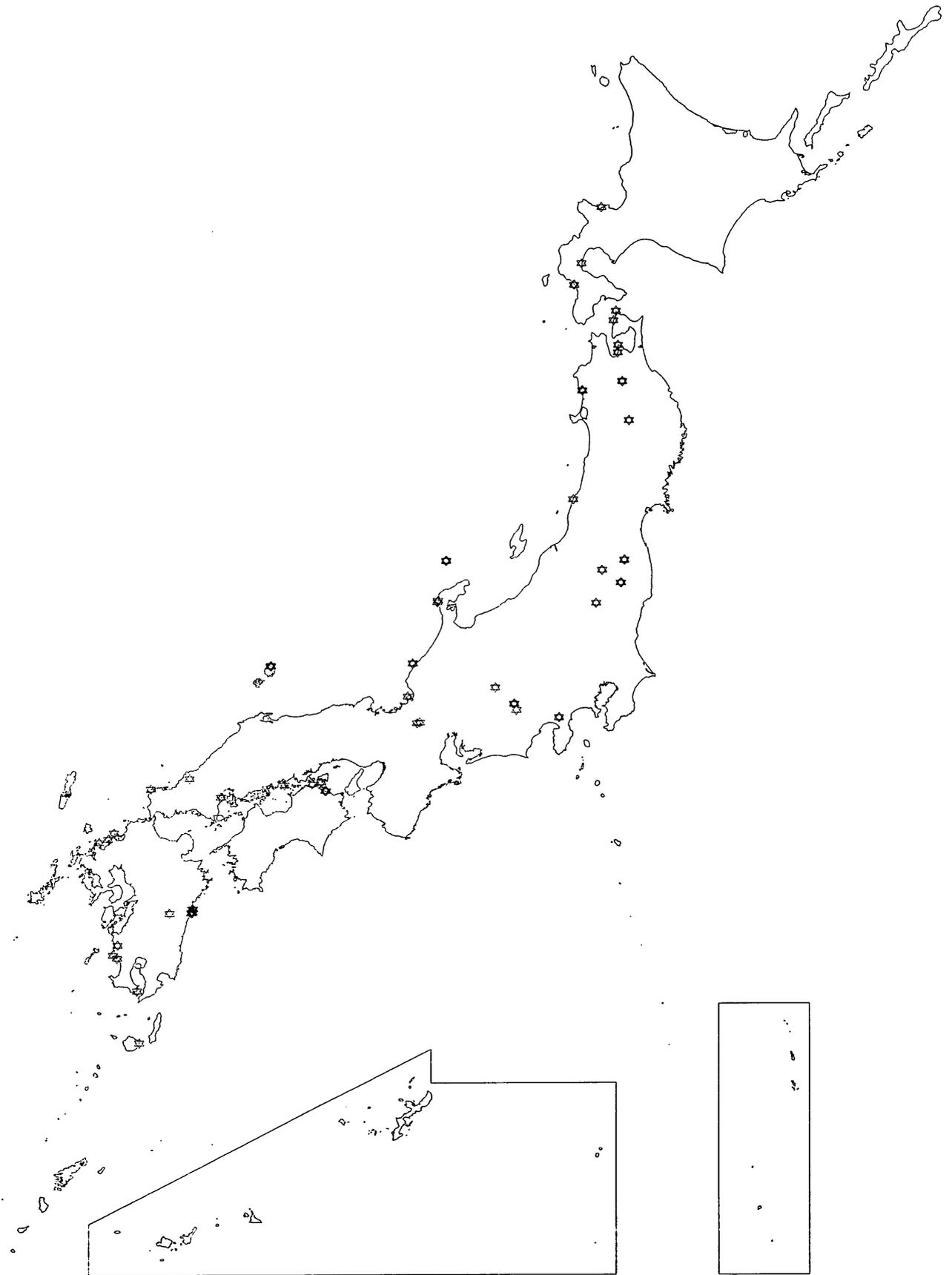
甌穴群



B319

海岸景観

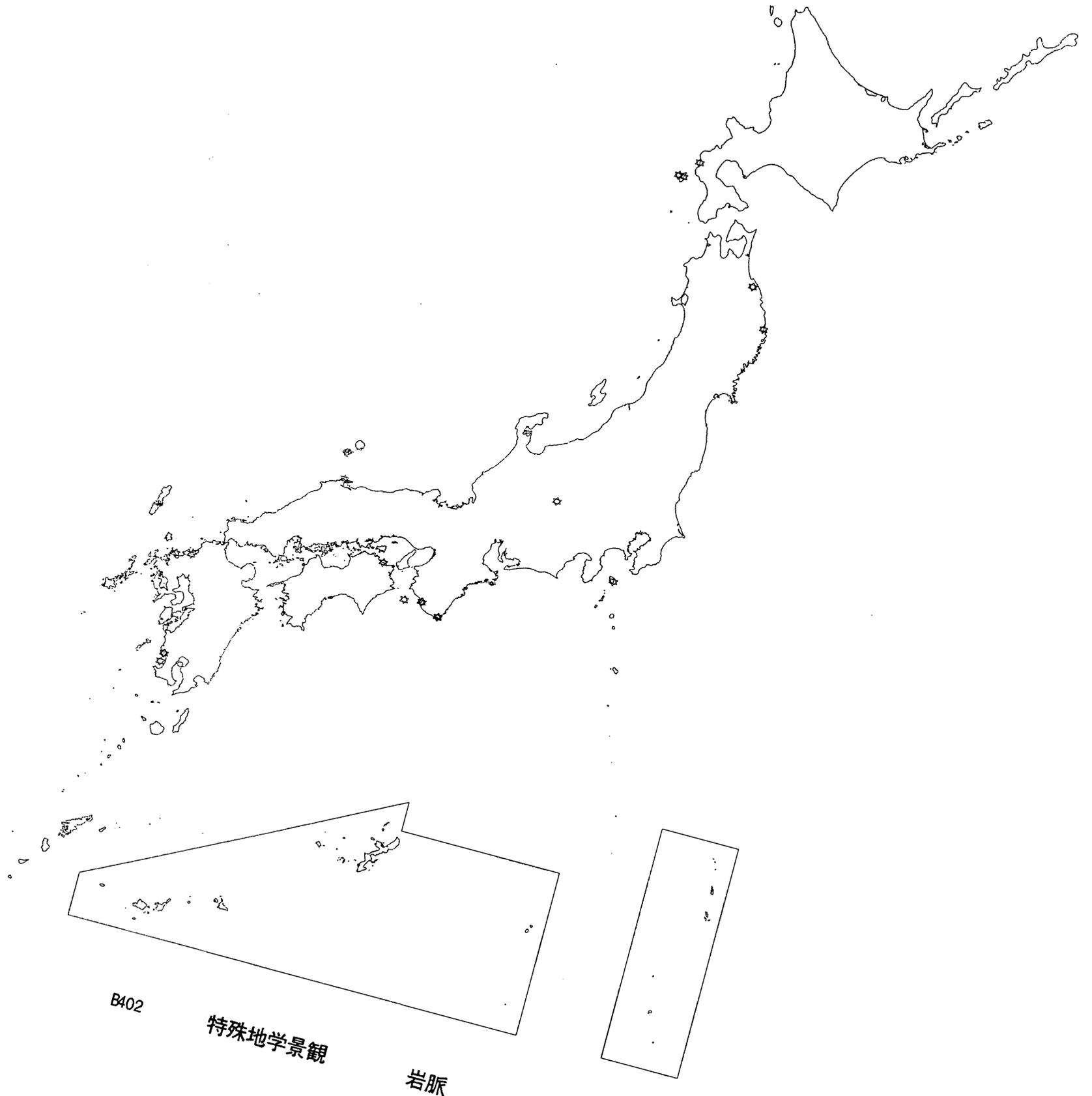
潮流・渦流



B401

特殊地学景观

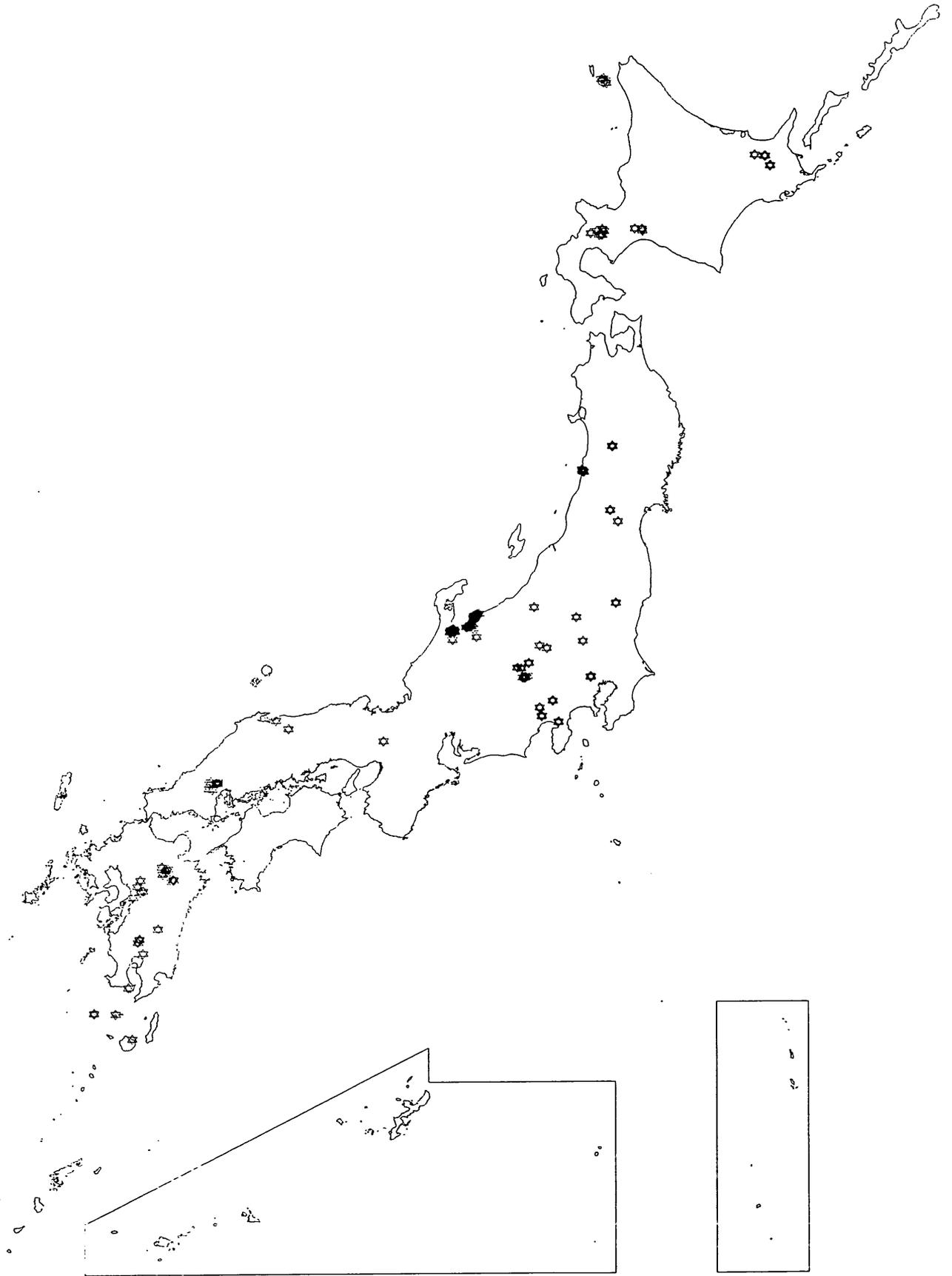
節理



B402

特殊地学景觀

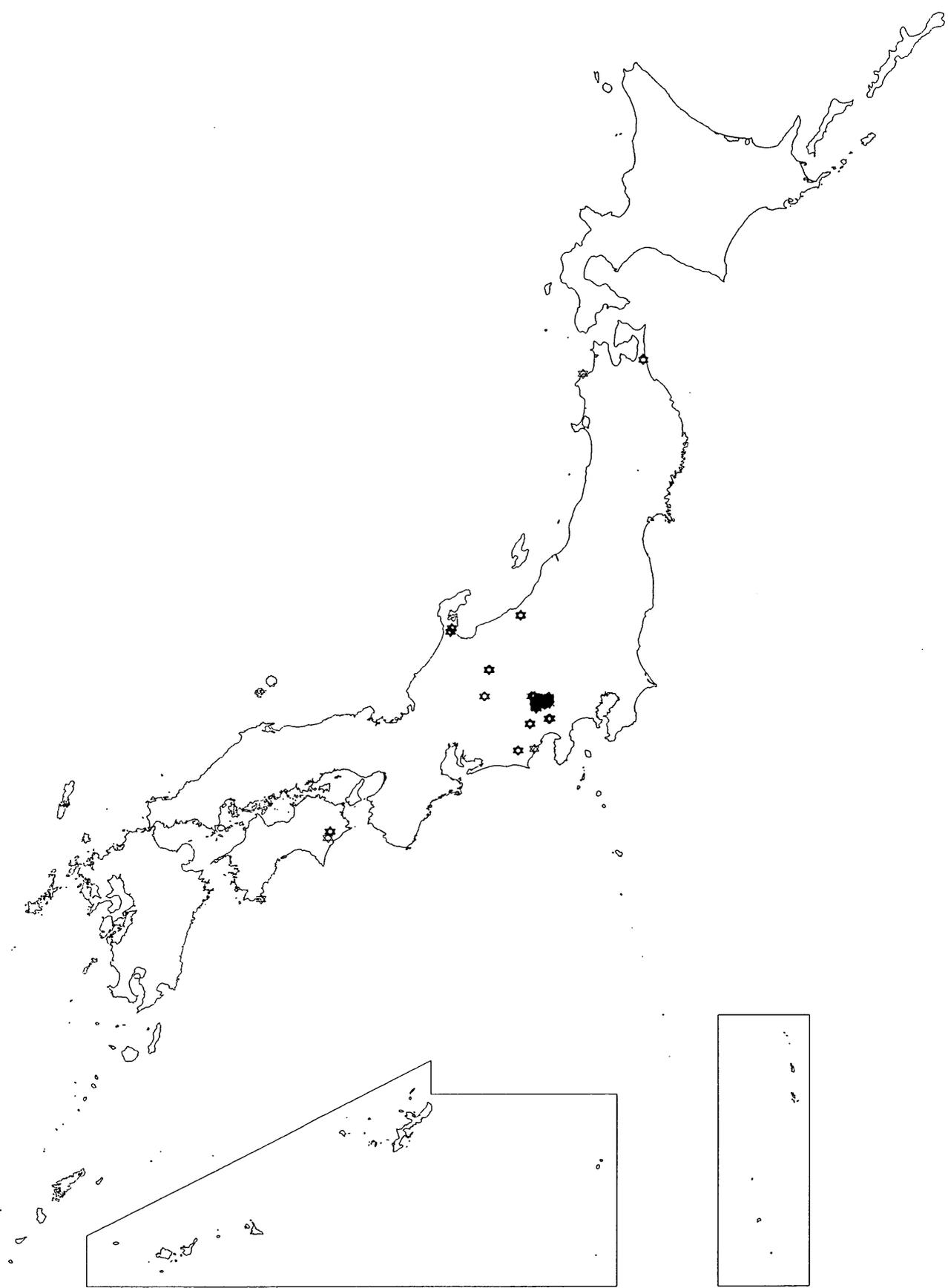
岩脈



B403

特殊地学景観

涌泉群



B500

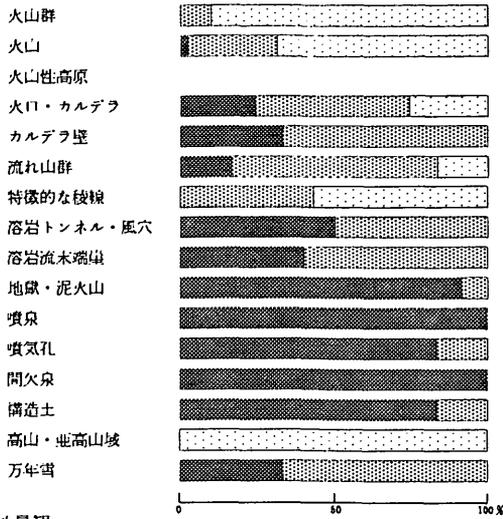
その他

顕著な自然現象地形

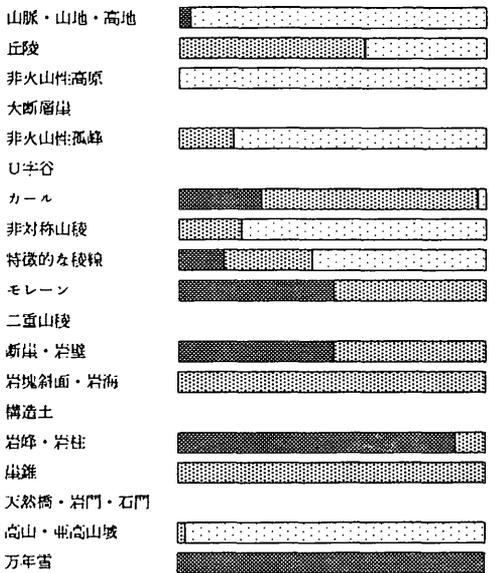
地 方 別 集 計 図

陸景

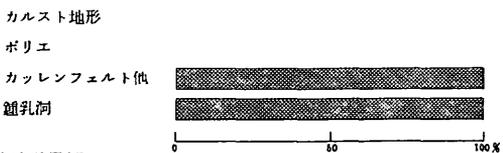
火山景観



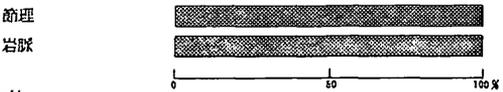
山地景観



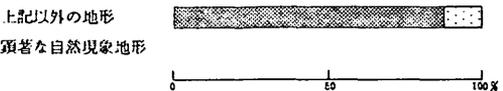
石灰岩景観



特殊地学景観

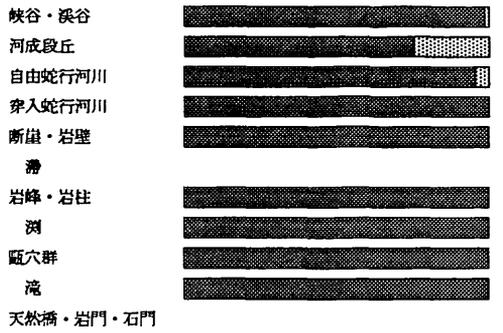


その他

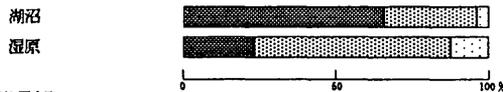


水景

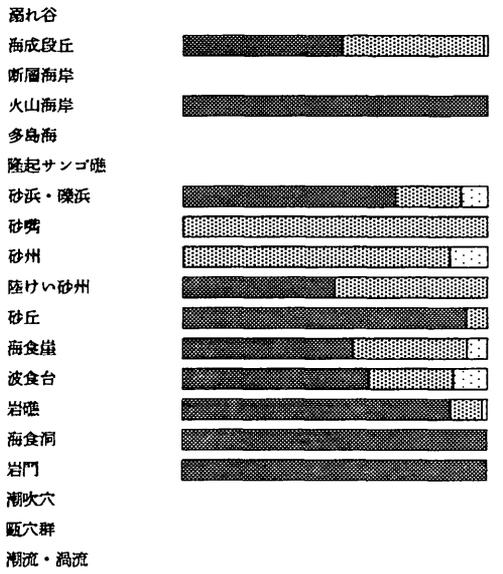
河川景観



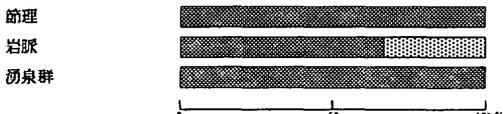
湖沼景観



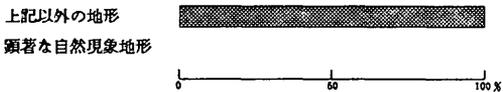
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

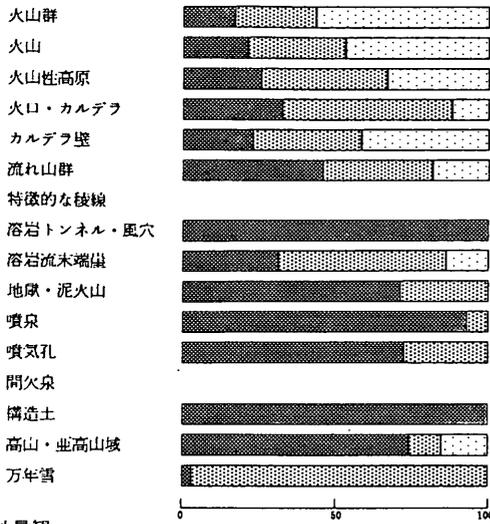
- 近景
- 中景
- 遠景

眺望性に係わる集計（見られ方別）

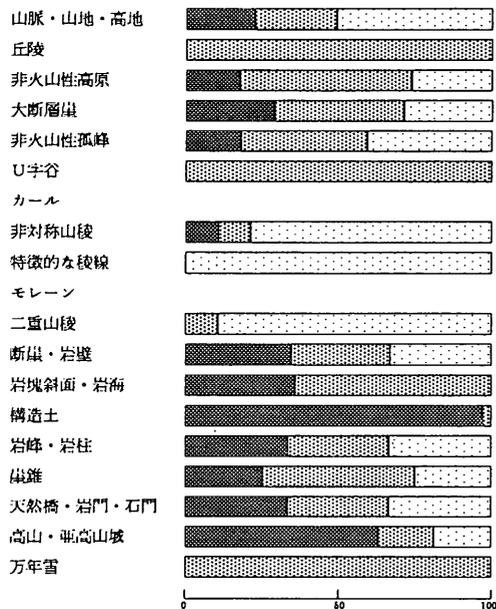
北海道ブロック

陸景

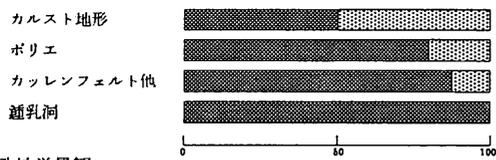
火山景観



山地景観



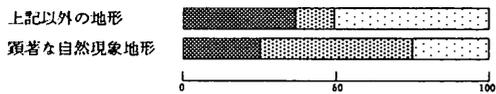
石灰岩景観



特殊地学景観

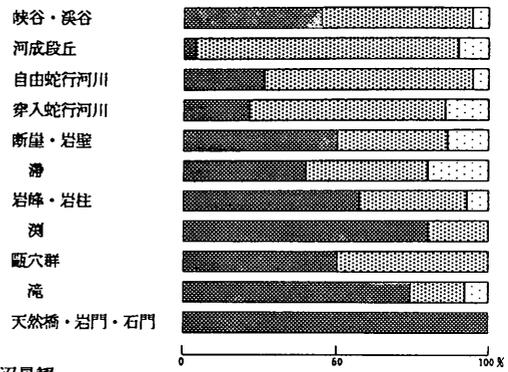


その他

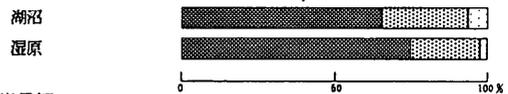


水景

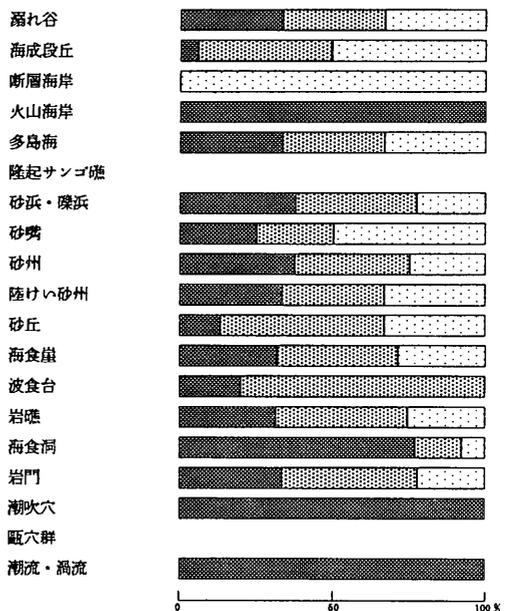
河川景観



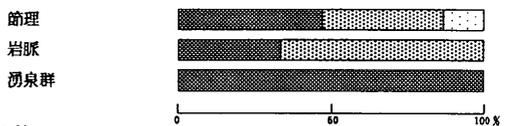
湖沼景観



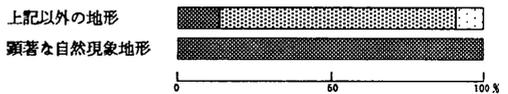
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

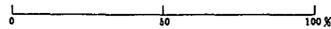
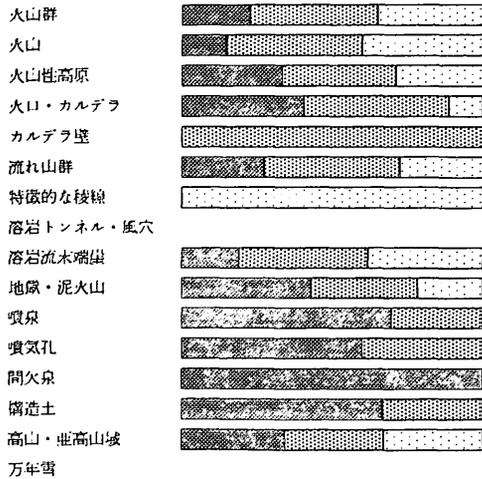


眺望性に係わる集計 (見られ方別)

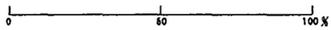
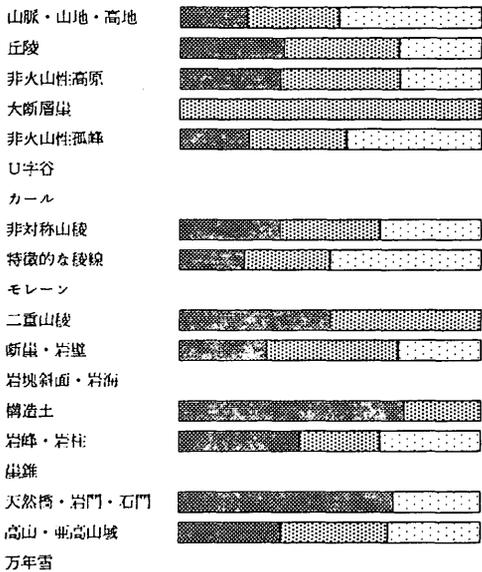
東北ブロック

陸景

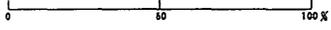
火山景観



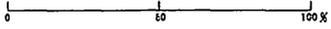
山地景観



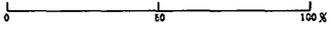
石灰岩景観



特殊地学景観

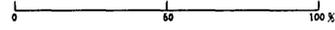
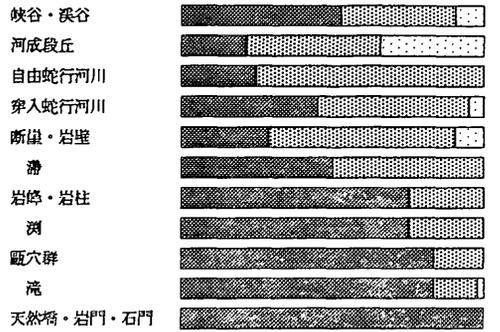


その他

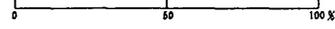
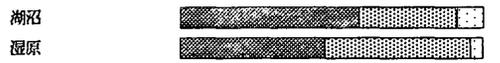


水景

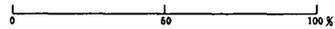
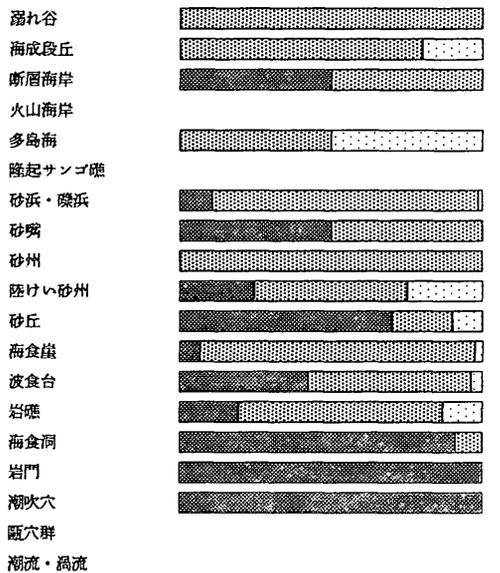
河川景観



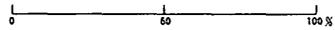
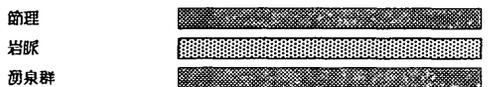
湖沼景観



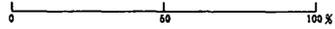
海岸景観



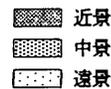
特殊地学景観



その他



凡例

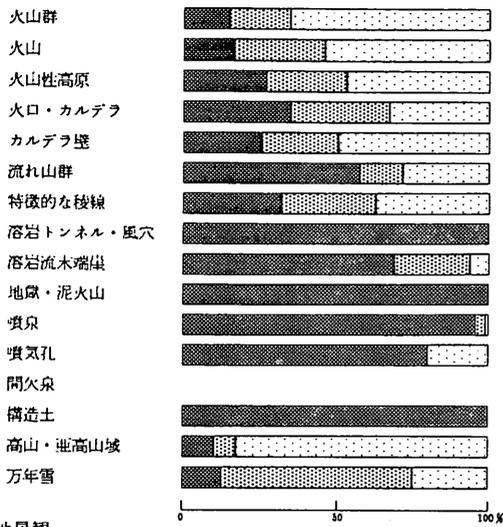


眺望性に係わる集計（見られ方別）

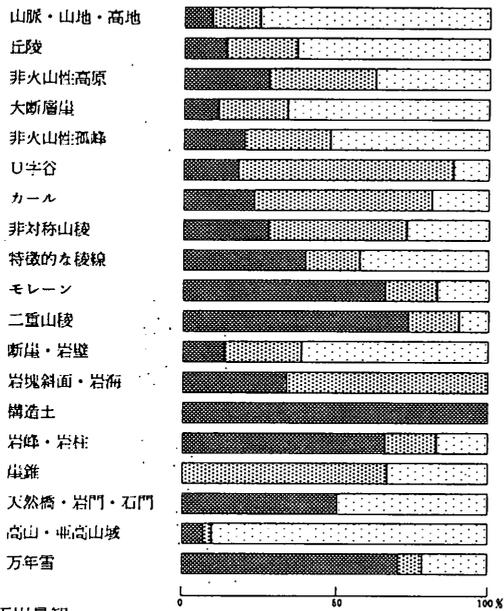
関東ブロック

陸景

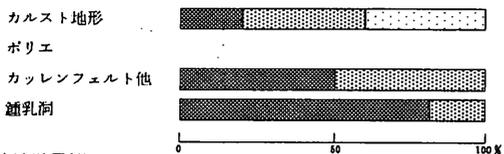
火山景観



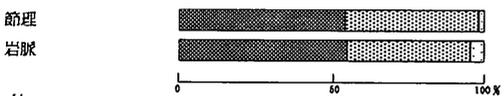
山地景観



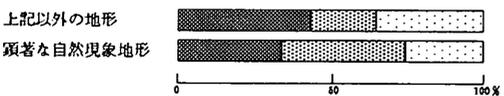
石灰岩景観



特殊地学景観

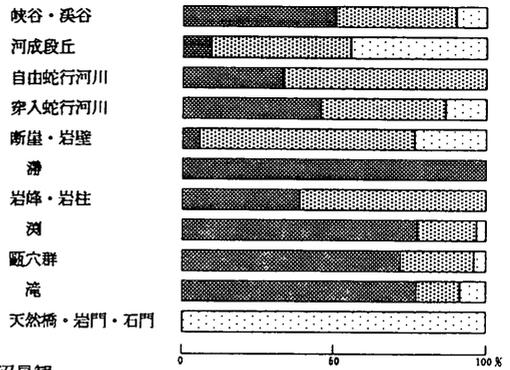


その他

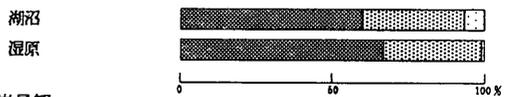


水景

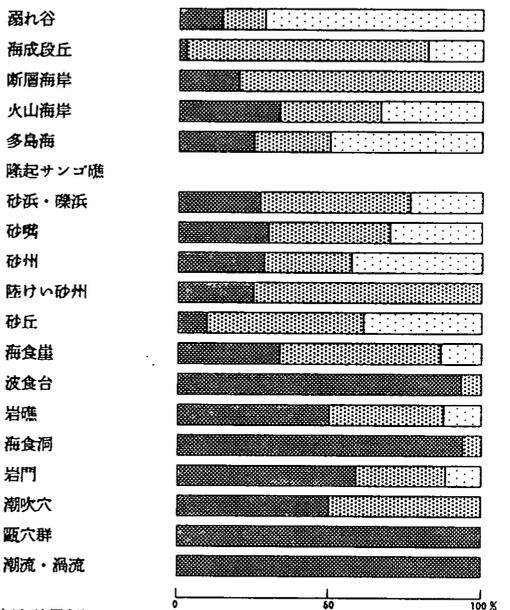
河川景観



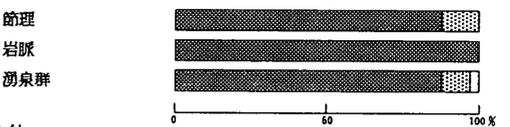
湖沼景観



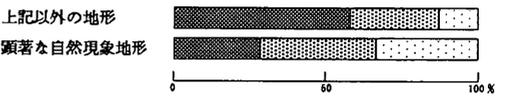
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

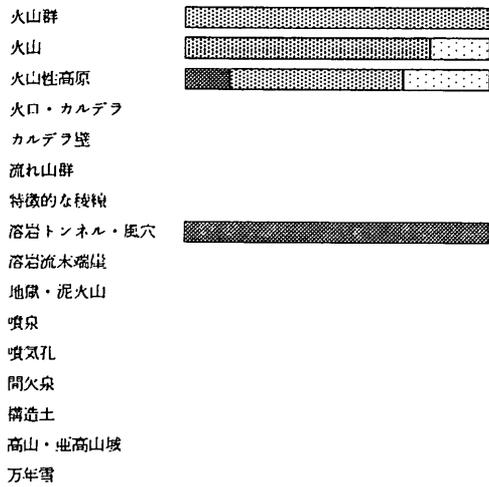
- 近景
- ▨ 中景
- 遠景

眺望性に係わる集計（見られ方別）

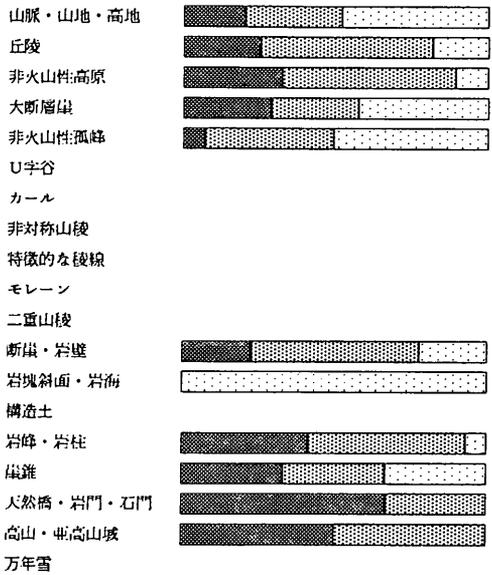
中部ブロック

陸景

火山景観



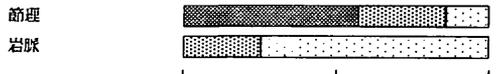
山地景観



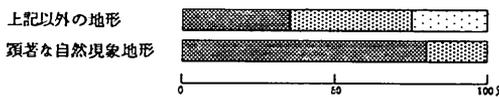
石灰岩景観



特殊地学景観

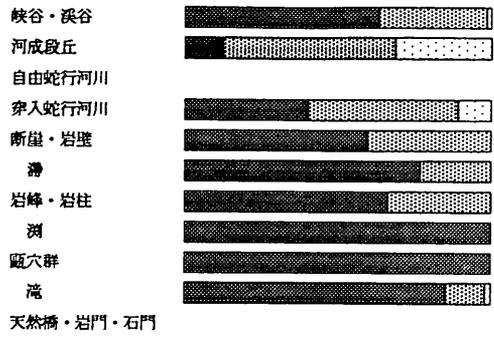


その他

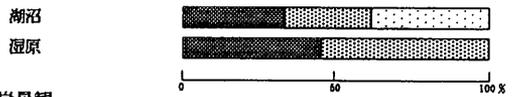


水景

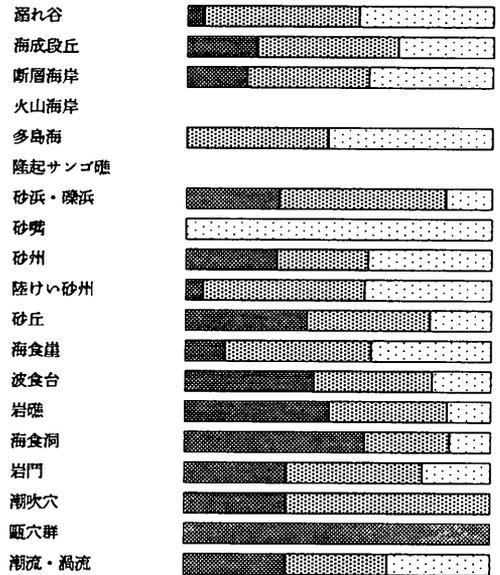
河川景観



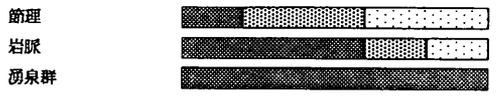
湖沼景観



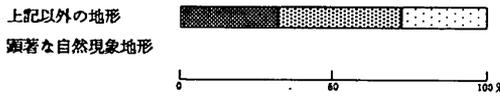
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

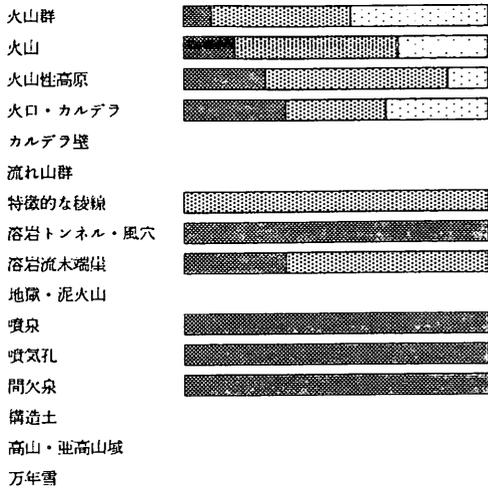
- 近景
- 中景
- 遠景

眺望性に係わる集計（見られ方別）

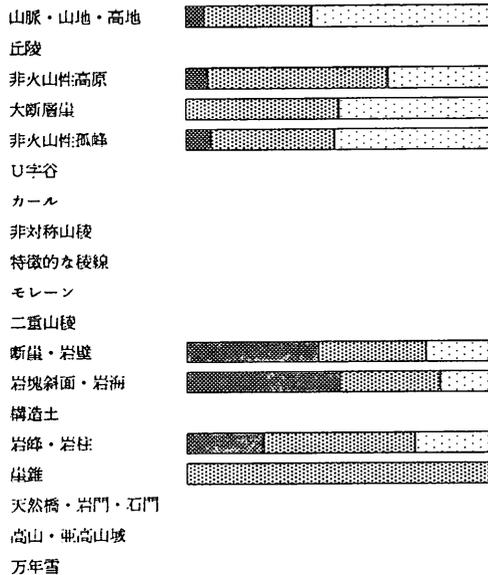
近畿ブロック

陸景

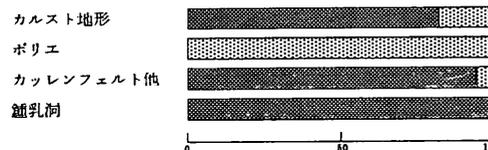
火山景観



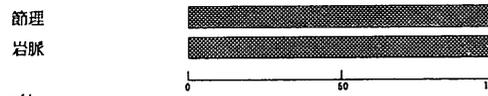
山地景観



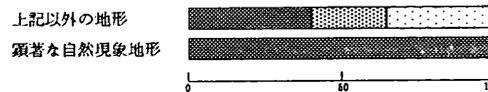
石灰岩景観



特殊地学景観

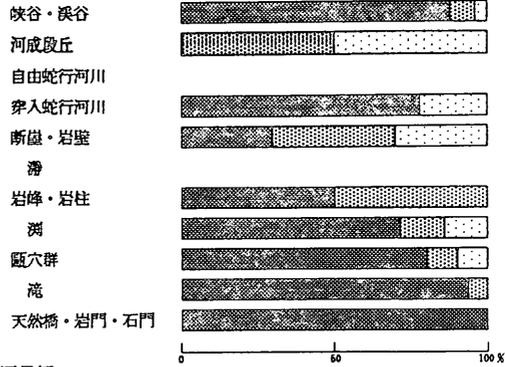


その他

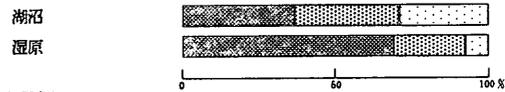


水景

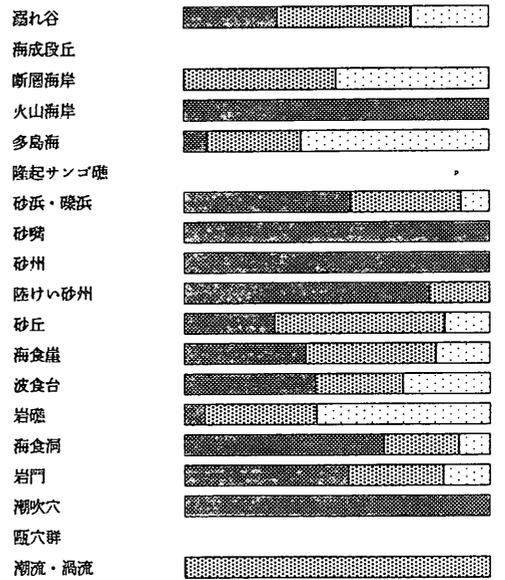
河川景観



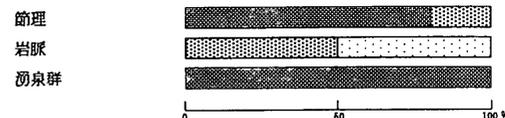
湖沼景観



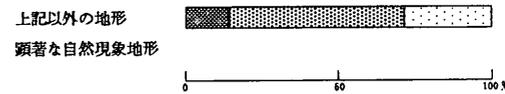
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

- 近景
- ▨ 中景
- 遠景

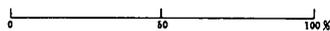
眺望性に係わる集計(見られ方別)

中国ブロック

陸景

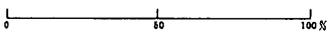
火山景観

- 火山群
- 火山
- 火山性高原
- 火口・カルデラ
- カルデラ壁
- 流れ山群
- 特徴的な稜線
- 溶岩トンネル・風穴
- 溶岩流水端崖
- 地獄・泥火山
- 噴泉
- 噴気孔
- 間欠泉
- 構造土
- 高山・亜高山域
- 万年雪



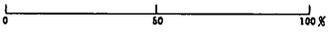
山地景観

- 山脈・山地・高地
- 丘陵
- 非火山性高原
- 大断層崖
- 非火山性孤峰
- U字谷
- カール
- 非対称山稜
- 特徴的な稜線
- モレーン
- 二重山稜
- 断崖・岩壁
- 岩塊斜面・岩海
- 構造土
- 岩峰・岩柱
- 崖壁
- 天然橋・岩門・石門
- 高山・亜高山域
- 万年雪



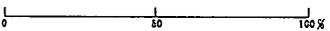
石灰岩景観

- カルスト地形
- ポリエ
- カッレンフェルト他
- 鍾乳洞



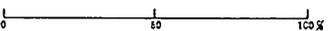
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈



その他

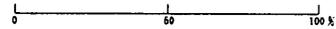
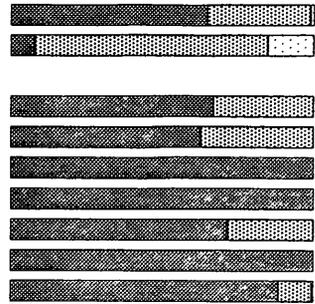
- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



水景

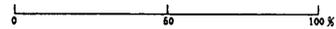
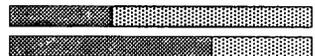
河川景観

- 峡谷・溪谷
- 河成段丘
- 自由蛇行河川
- 穿入蛇行河川
- 断崖・岩壁
- 湧
- 岩峰・岩柱
- 洞
- 懸穴群
- 滝
- 天然橋・岩門・石門



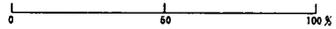
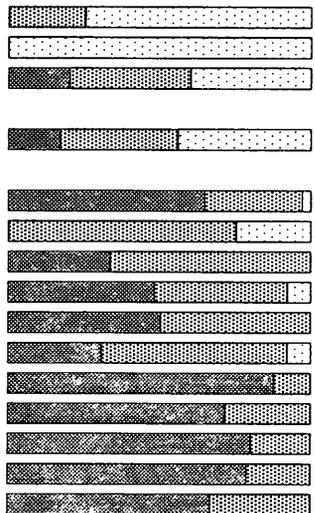
湖沼景観

- 湖沼
- 湿原



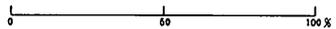
海岸景観

- 瀧れ谷
- 海成段丘
- 断層海岸
- 火山海岸
- 多島海
- 隆起サンゴ礁
- 砂浜・磯浜
- 砂嘴
- 砂州
- 陸けい砂州
- 砂丘
- 海食崖
- 波食台
- 岩礁
- 海食洞
- 岩門
- 潮吹穴
- 懸穴群
- 潮流・渦流



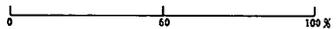
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈
- 湧泉群



その他

- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



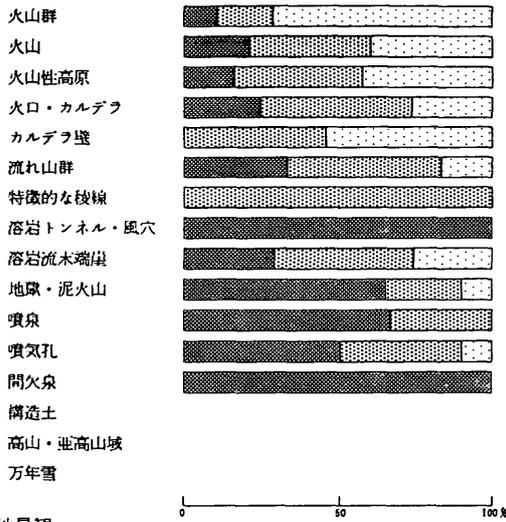
凡例

- 近景
- 中景
- 遠景

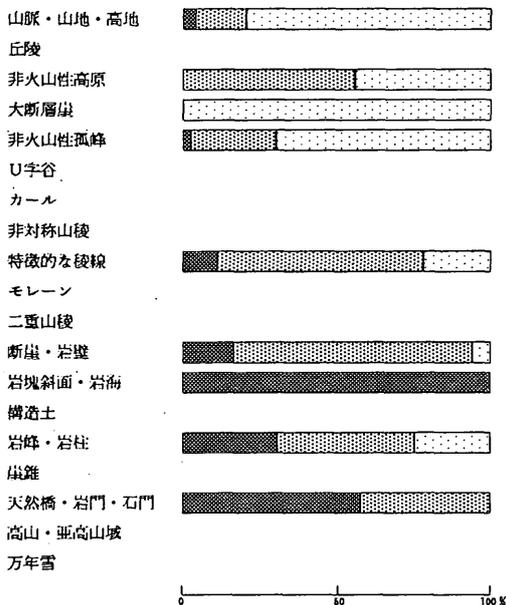
眺望性に係わる集計（見られ方別）

四国ブロック

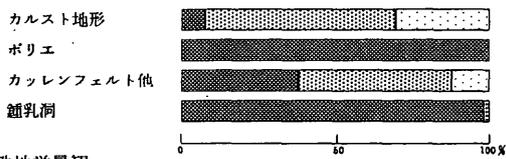
陸景
火山景観



山地景観



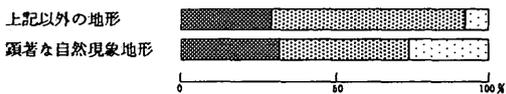
石灰岩景観



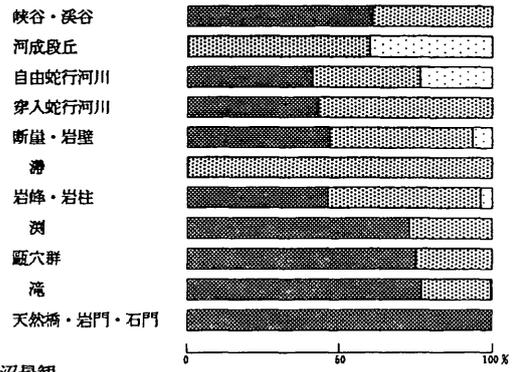
特殊地学景観



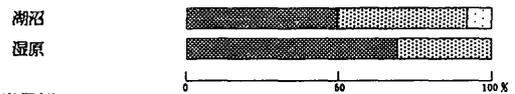
その他



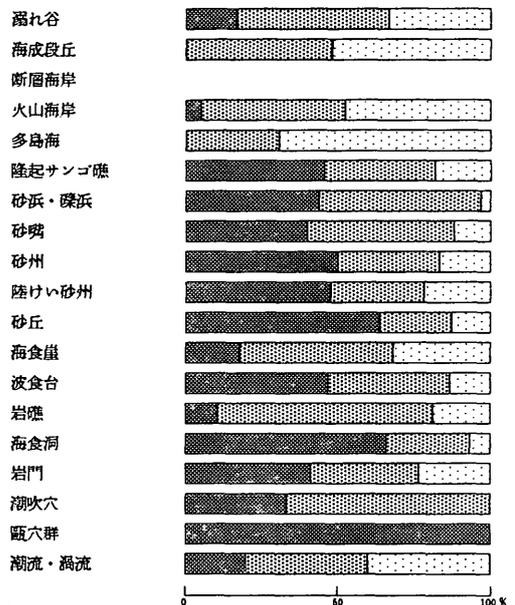
水景
河川景観



湖沼景観



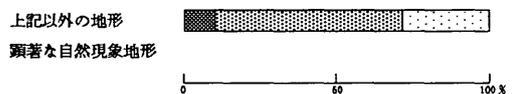
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

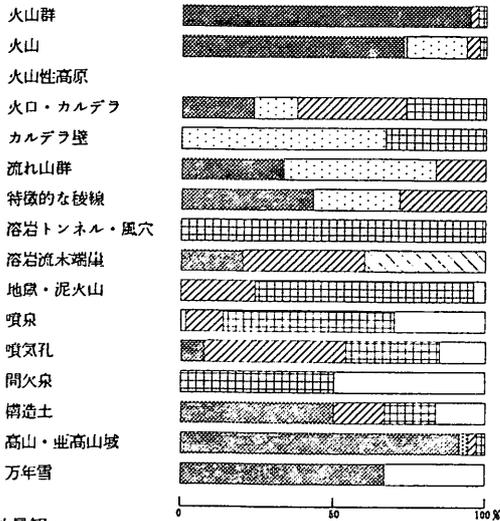
- 近景
- ▨ 中景
- 遠景

眺望性に係わる集計（見られ方別）

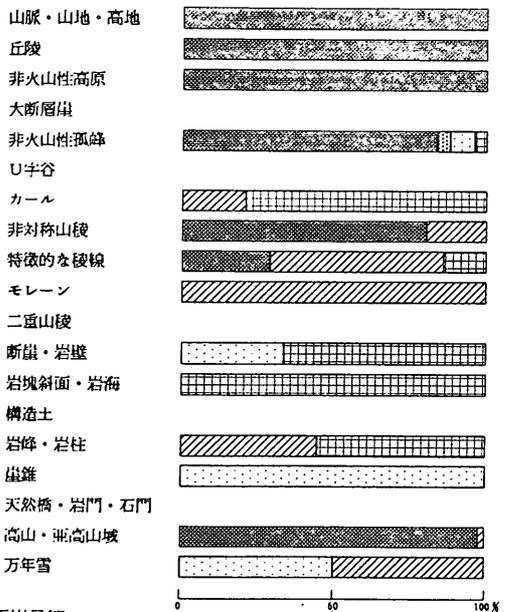
九州ブロック

陸景

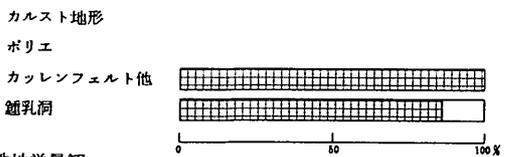
火山景観



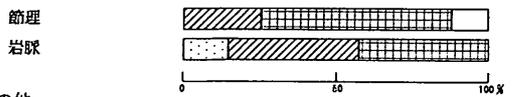
山地景観



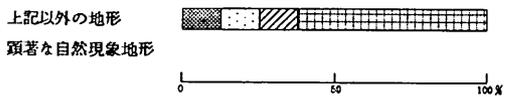
石灰岩景観



特殊地学景観

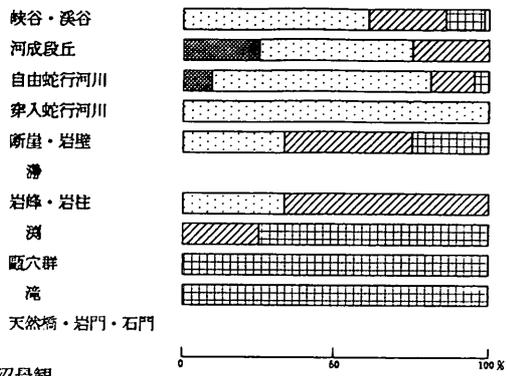


その他

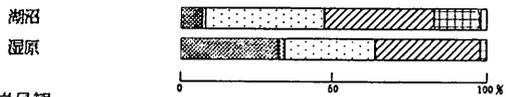


水景

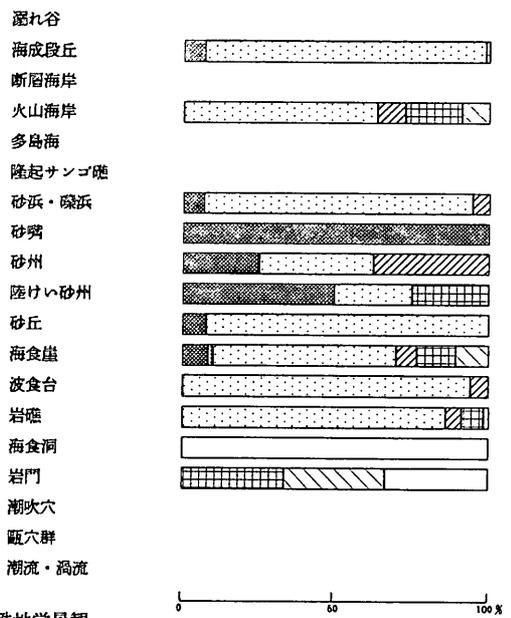
河川景観



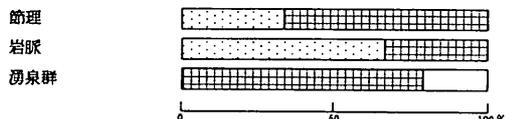
湖沼景観



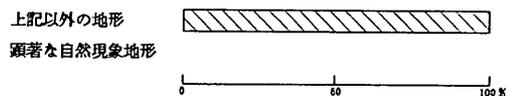
海岸景観



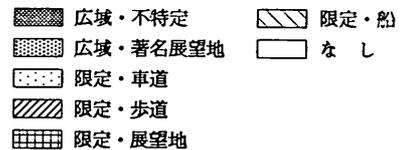
特殊地学景観



その他



凡例

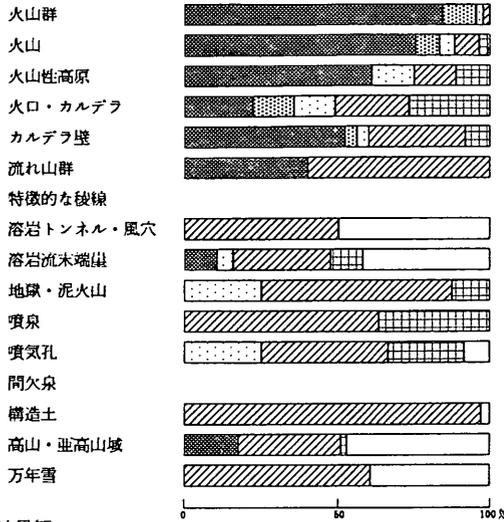


眺望性に係わる集計 (視点の種類別)

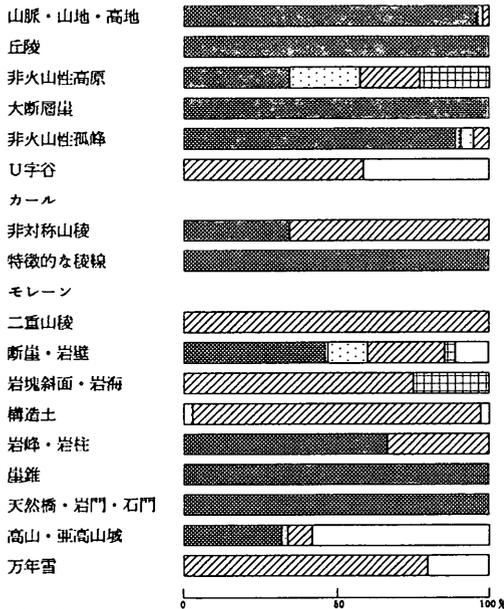
北海道ブロック

陸景

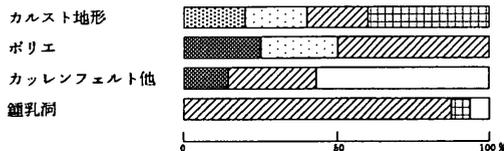
火山景観



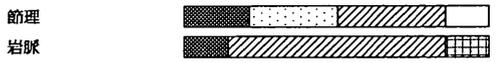
山地景観



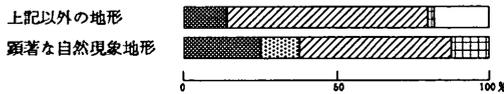
石灰岩景観



特殊地学景観

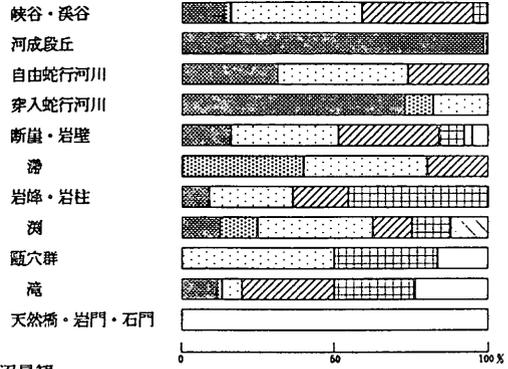


その他

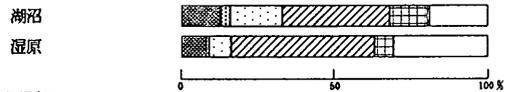


水景

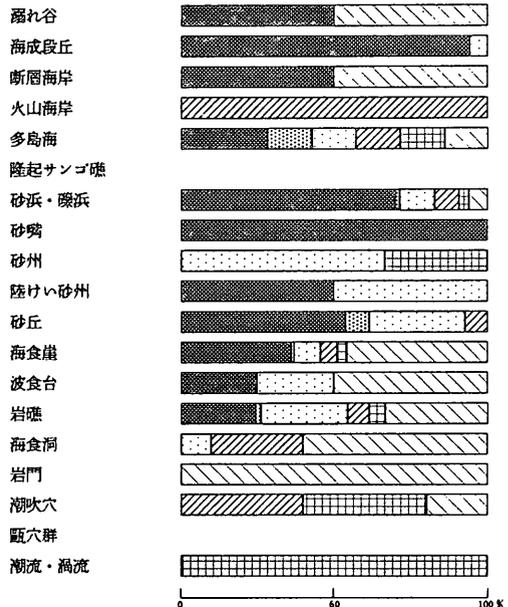
河川景観



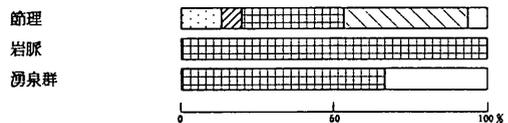
湖沼景観



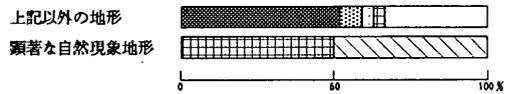
海岸景観



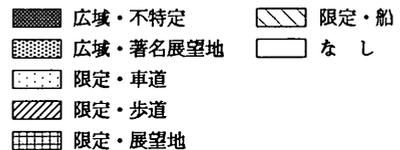
特殊地学景観



その他



凡例

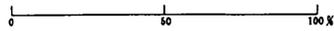
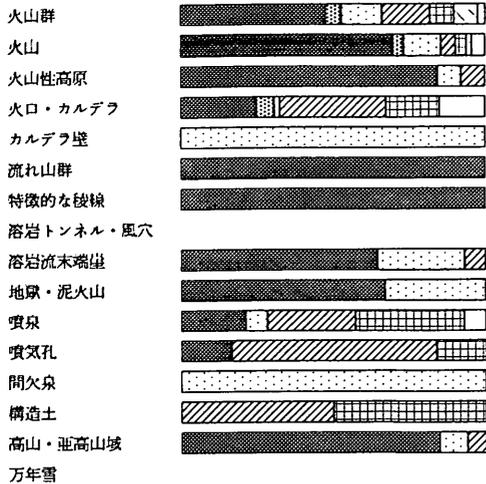


眺望性に係わる集計 (視点の種類別)

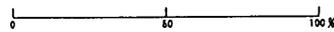
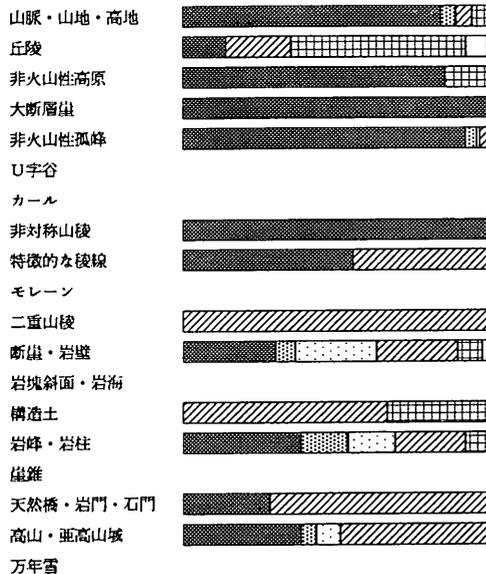
東北ブロック

陸景

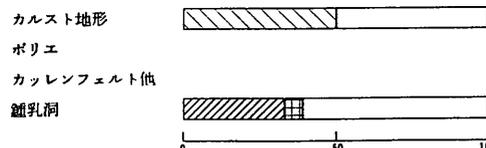
火山景観



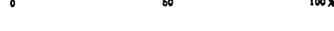
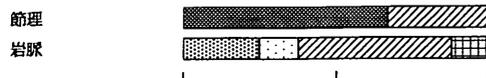
山地景観



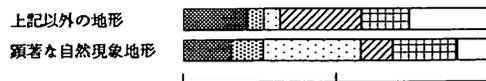
石灰岩景観



特殊地学景観

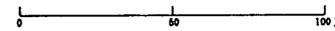
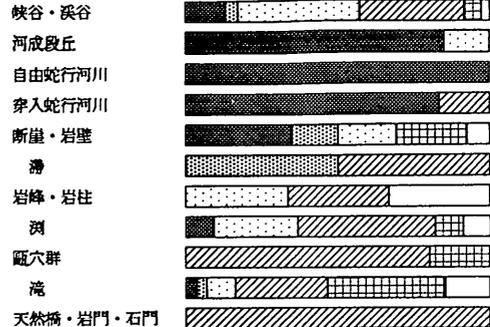


その他

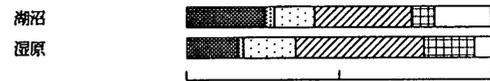


水景

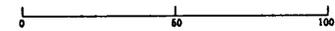
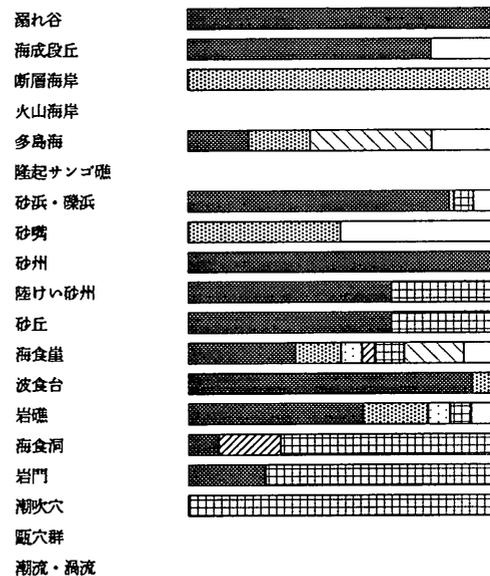
河川景観



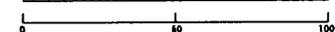
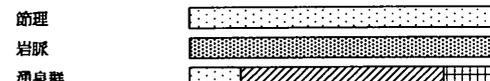
湖沼景観



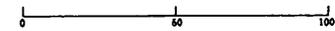
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

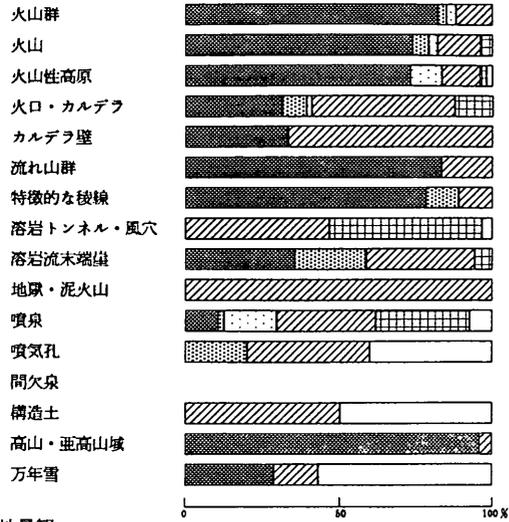
- 広域・不特定
- ▨ 広域・著名展望地
- ▧ 限定・車道
- ▩ 限定・歩道
- 限定・展望地
- ▤ 限定・船
- なし

眺望性に係わる集計（視点の種類別）

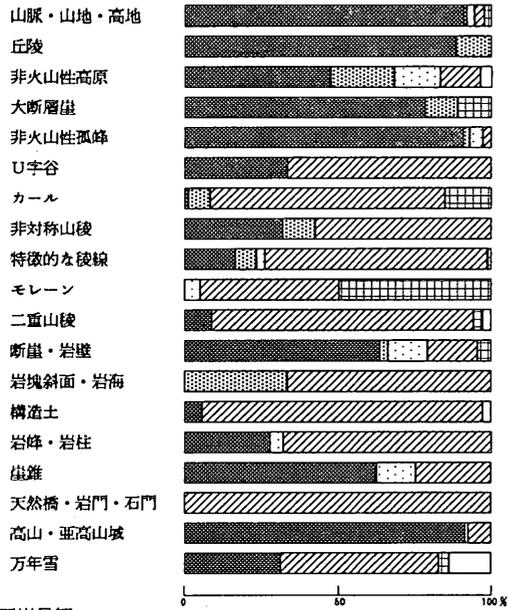
関東ブロック

陸景

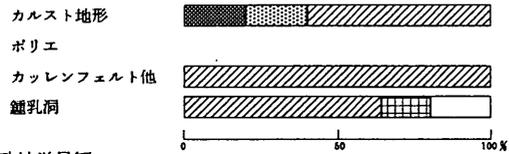
火山景観



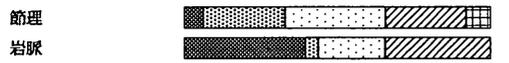
山地景観



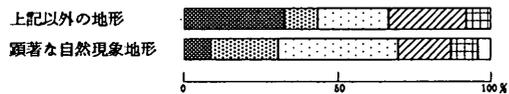
石灰岩景観



特殊地学景観

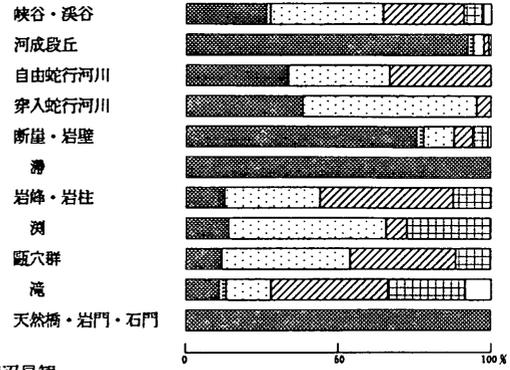


その他

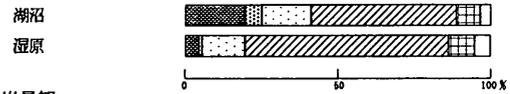


水景

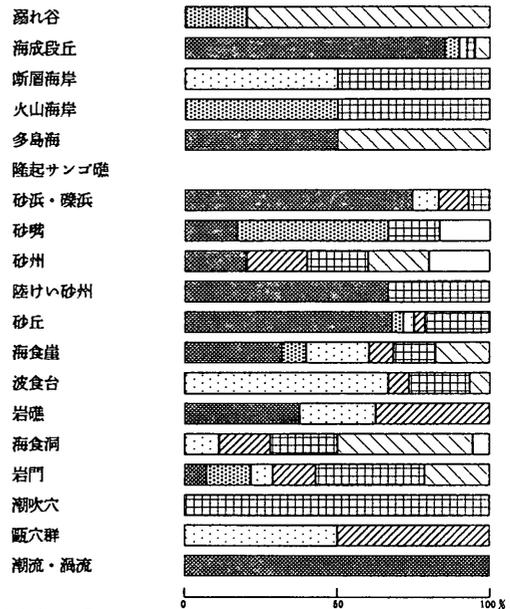
河川景観



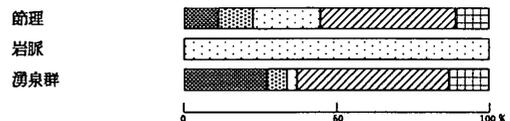
湖沼景観



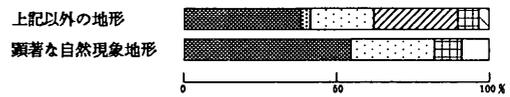
海岸景観



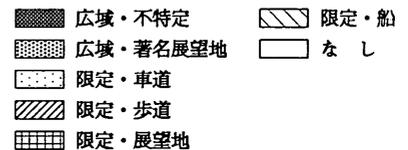
特殊地学景観



その他



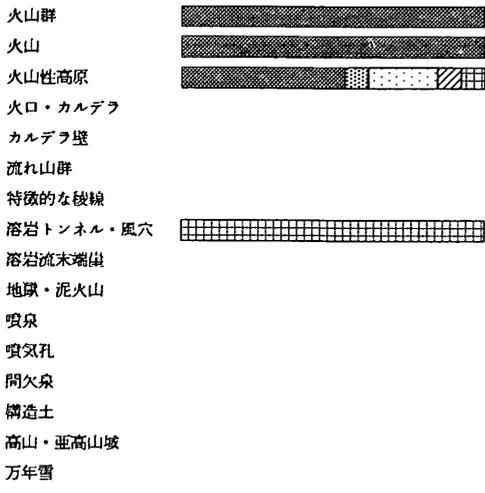
凡例



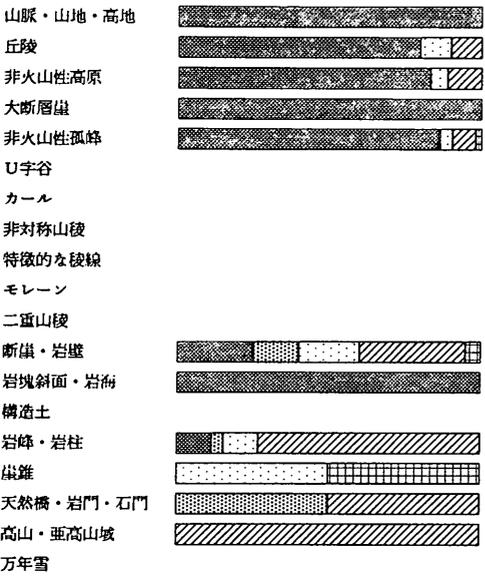
眺望性に係わる集計 (視点の種類別)

中部ブロック

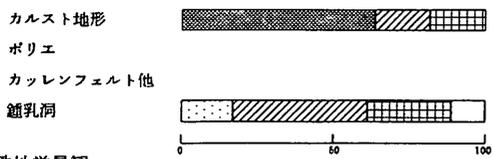
陸景
火山景観



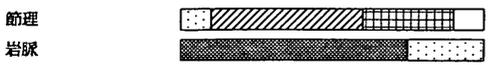
山地景観



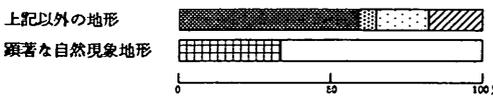
石灰岩景観



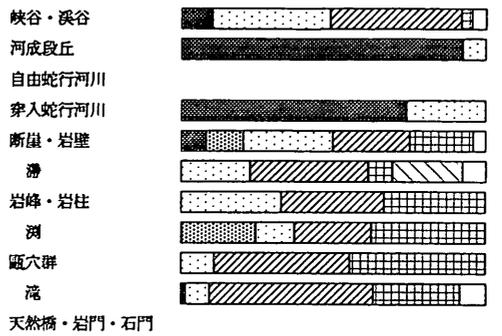
特殊地学景観



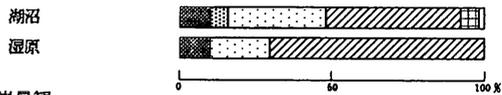
その他



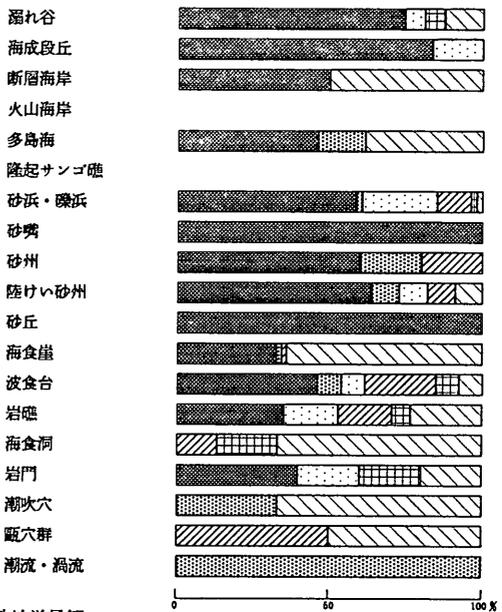
水景
河川景観



湖沼景観



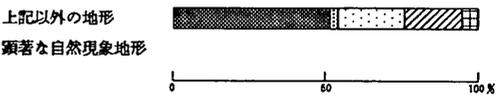
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

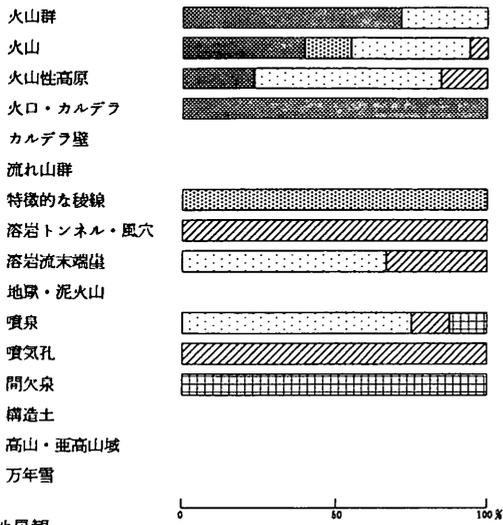
- 広域・不特定
- 広域・著名展望地
- 限定・車道
- 限定・歩道
- 限定・展望地
- 限定・船
- なし

眺望性に係わる集計（視点の種類別）

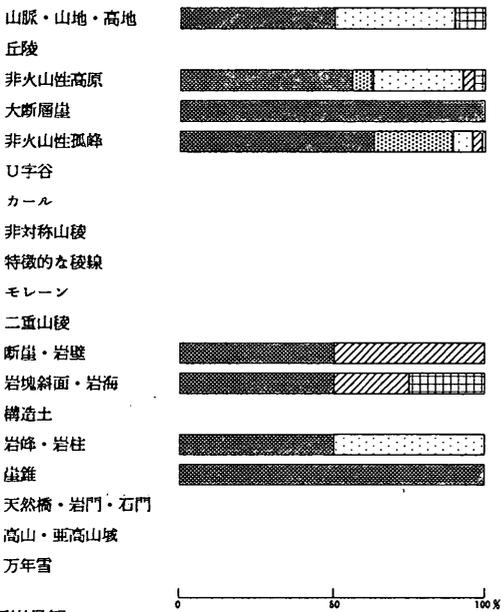
近畿ブロック

陸景

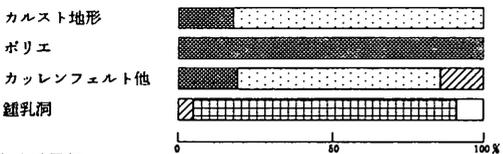
火山景観



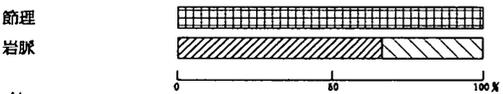
山地景観



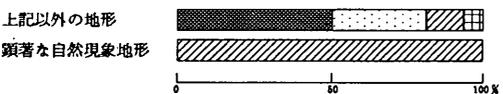
石灰岩景観



特殊地学景観

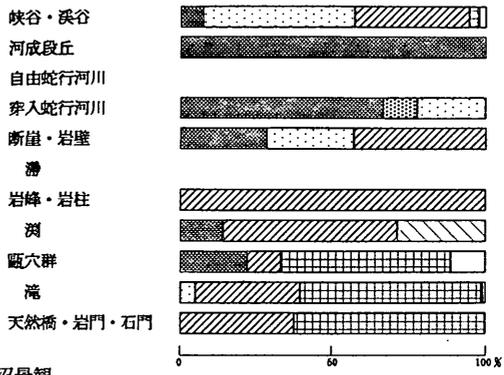


その他

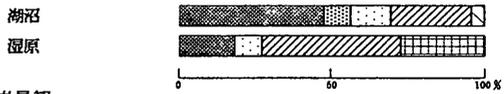


水景

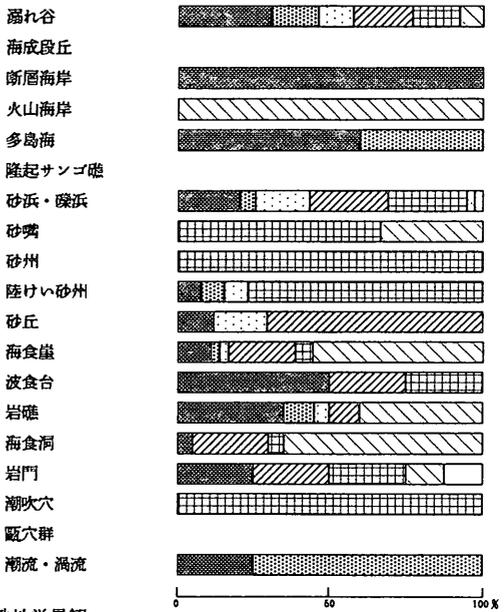
河川景観



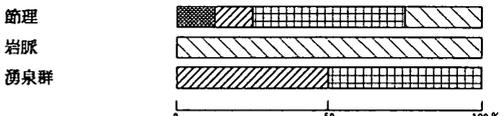
湖沼景観



海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

- 広域・不特定
- ▨ 広域・著名展望地
- ▧ 限定・車道
- ▩ 限定・歩道
- 限定・展望地
- ▤ 限定・船
- なし

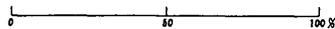
眺望性に係わる集計（視点の種類別）

中国ブロック

陸景

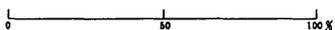
火山景観

- 火山群
- 火山
- 火山性高原
- 火口・カルデラ
- カルデラ壁
- 流れ山群
- 特徴的な稜線
- 溶岩トンネル・風穴
- 溶岩流木礫崖
- 地獄・泥火山
- 噴泉
- 噴気孔
- 間欠泉
- 構造土
- 高山・亜高山域
- 万年雪



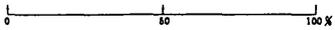
山地景観

- 山脈・山地・高地
- 丘陵
- 非火山性高原
- 大断層崖
- 非火山性孤峰
- U字谷
- カーブ
- 非対称山稜
- 特徴的な稜線
- モレーン
- 二重山稜
- 断崖・岩壁
- 岩塊斜面・岩海
- 構造土
- 岩峰・岩柱
- 崖壁
- 天然橋・岩門・石門
- 高山・亜高山域
- 万年雪



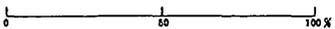
石灰岩景観

- カルスト地形
- ポリエ
- カッレンフェルト他
- 鍾乳洞



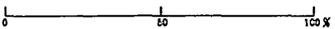
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈



その他

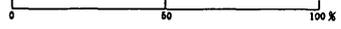
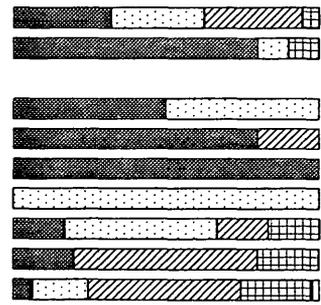
- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



水景

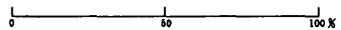
河川景観

- 峡谷・峡谷
- 河成段丘
- 自由蛇行河川
- 穿入蛇行河川
- 断崖・岩壁
- 瀧
- 岩峰・岩柱
- 淵
- 甌穴群
- 滝
- 天然橋・岩門・石門



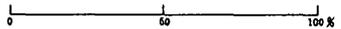
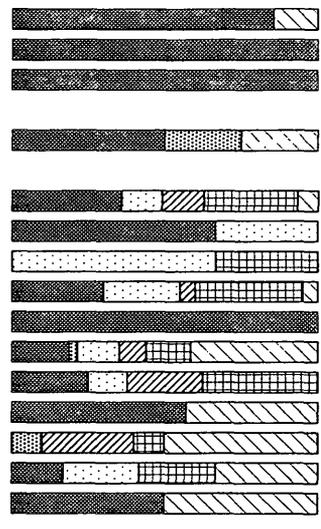
湖沼景観

- 湖沼
- 湿原



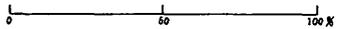
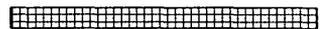
海岸景観

- 瀨れ谷
- 海成段丘
- 断層海岸
- 火山海岸
- 多島海
- 隆起サンゴ礁
- 砂浜・磯浜
- 砂嘴
- 砂州
- 陸けい砂州
- 砂丘
- 海食崖
- 波食台
- 岩礁
- 海食洞
- 岩門
- 潮吹穴
- 甌穴群
- 潮流・渦流



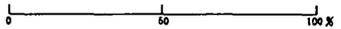
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈
- 湧泉群



その他

- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



凡例

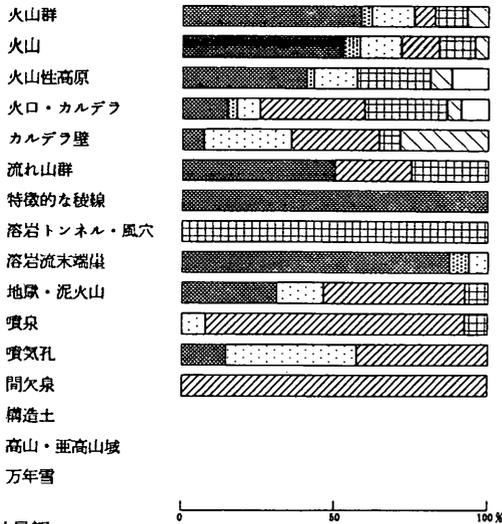
- 広域・不特定
- 広域・著名展望地
- 限定・車道
- 限定・歩道
- 限定・展望地
- 限定・船
- なし

眺望性に係わる集計 (視点の種類別)

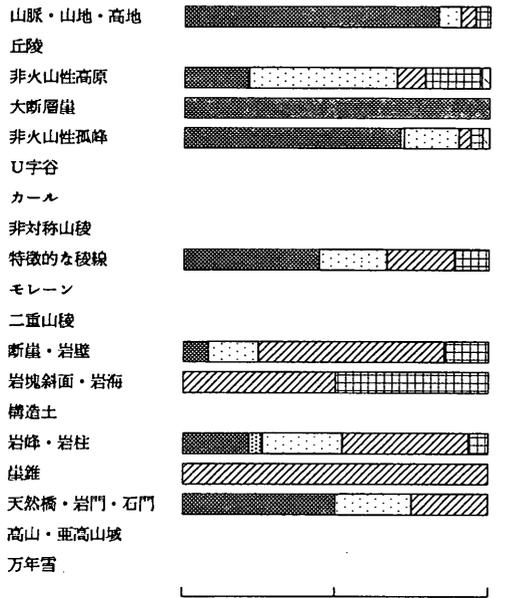
四国ブロック

陸景

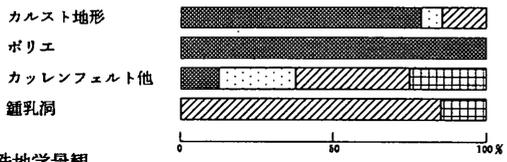
火山景觀



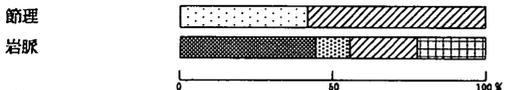
山地景觀



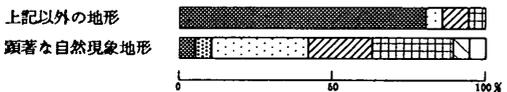
石灰岩景觀



特殊地学景觀

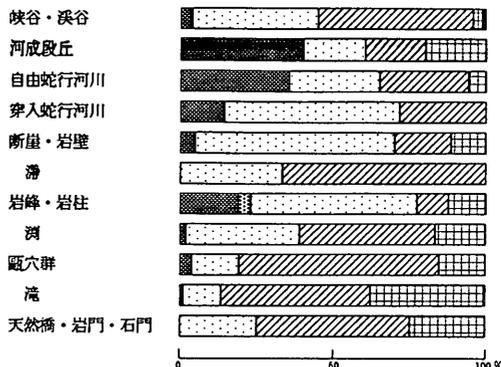


その他

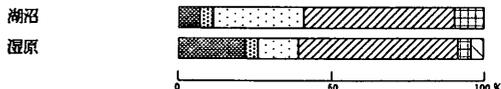


水景

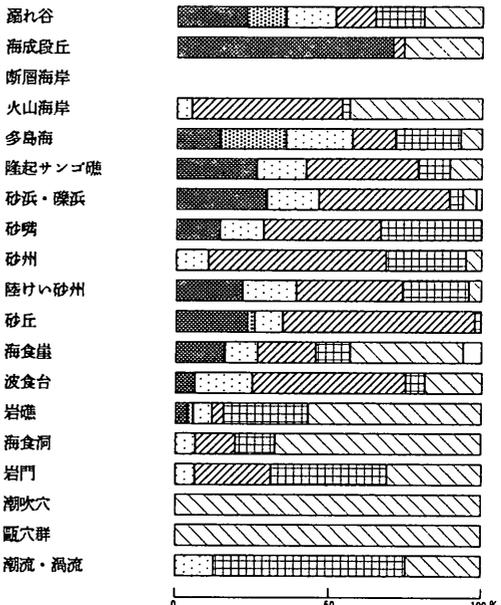
河川景觀



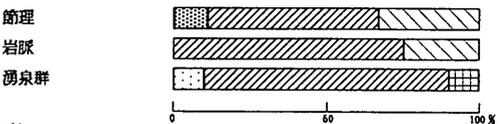
湖沼景觀



海岸景觀



特殊地学景觀



その他



凡例

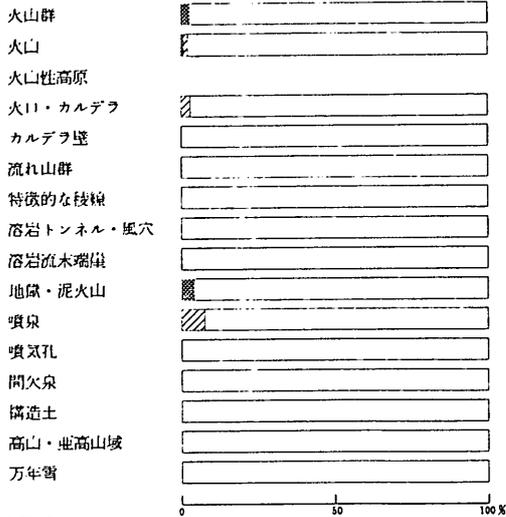
- 広域・不特定
- ▨ 広域・著名展望地
- ▧ 限定・車道
- ▩ 限定・歩道
- 限定・展望地
- ▤ 限定・船
- なし

眺望性に係わる集計 (視点の種類別)

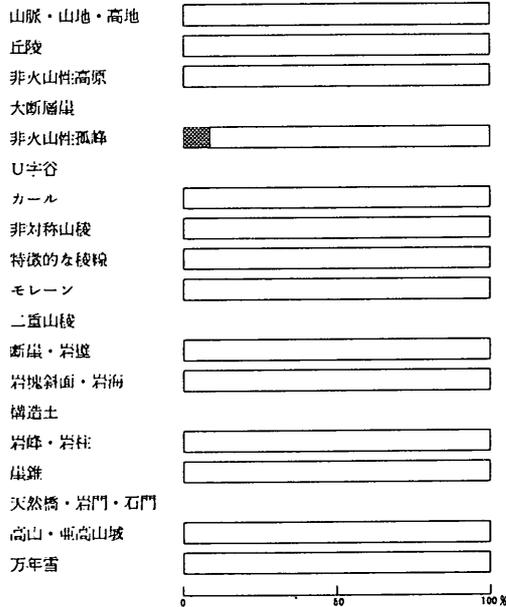
九州ブロック

陸景

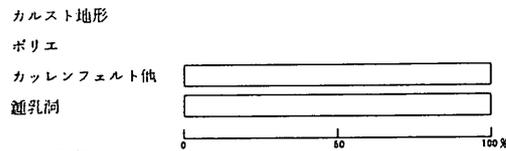
火山景観



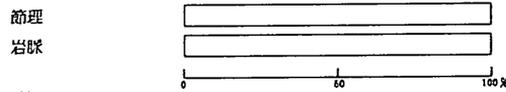
山地景観



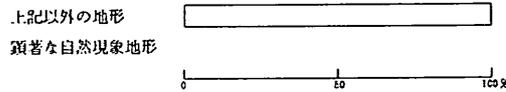
石灰岩景観



特殊地学景観

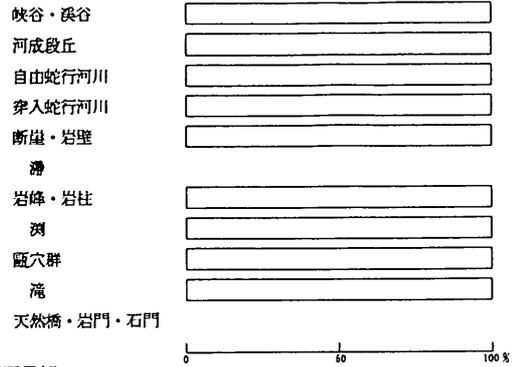


その他

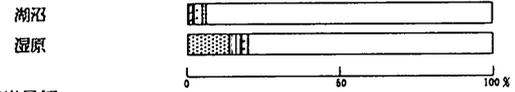


水景

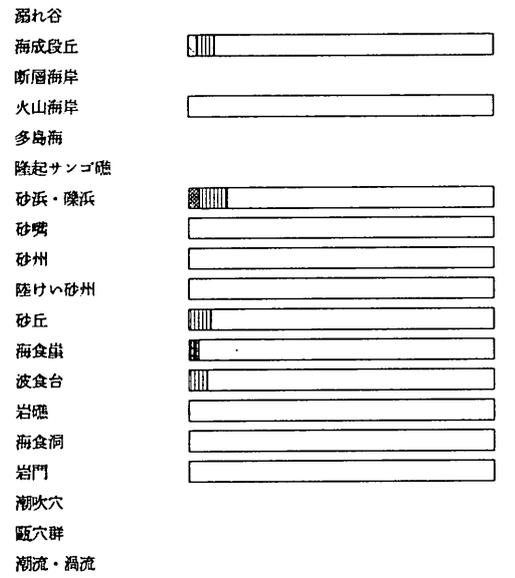
河川景観



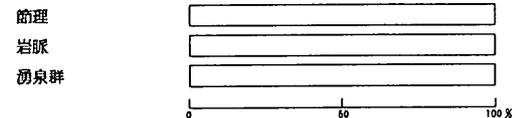
湖沼景観



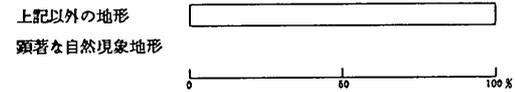
海岸景観



特殊地学景観



その他



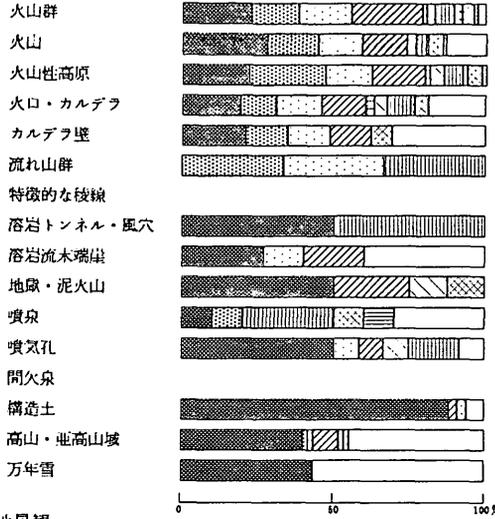
凡例

- | | | | |
|--|--------|--|---------|
| | 人の立ち入り | | その他の開発 |
| | 農林業開発 | | 周辺の開発 |
| | 道路開発 | | 汚染物質の侵入 |
| | 観光開発 | | ゴミの投棄 |
| | 水辺の開発 | | その他 |
| | | | 特になし |

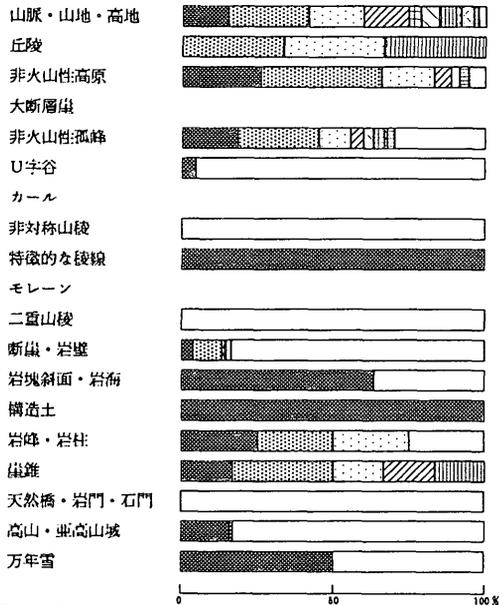
自然景観資源に対するインパクト 北海道ブロック

陸景

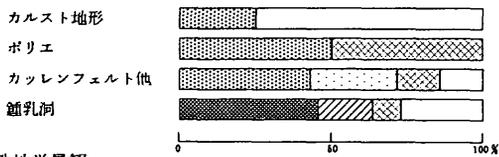
火山景観



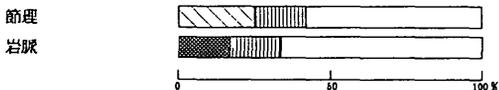
山地景観



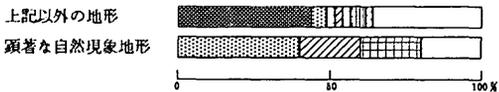
石灰岩景観



特殊地学景観

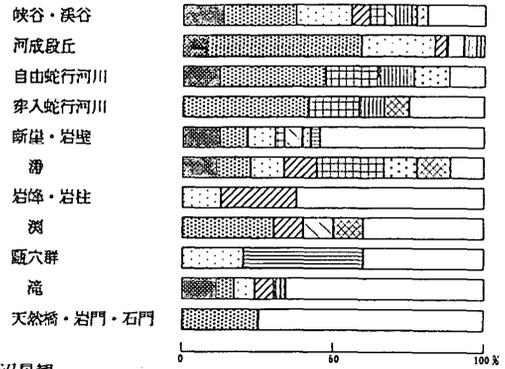


その他

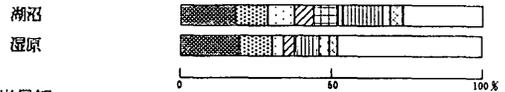


水景

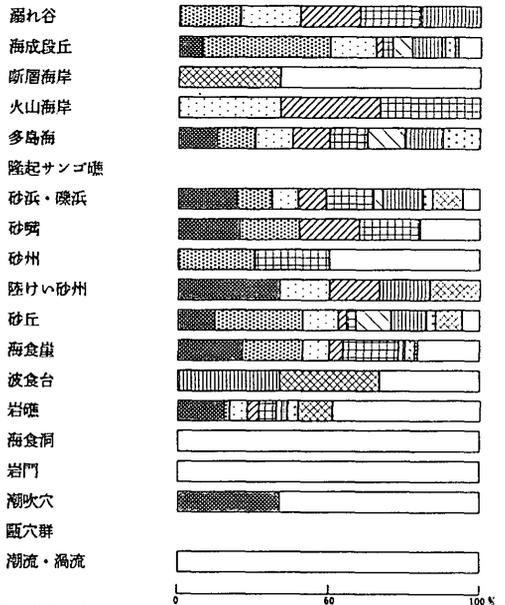
河川景観



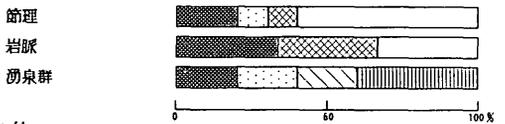
湖沼景観



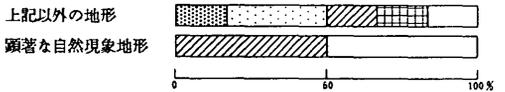
海岸景観



特殊地学景観



その他

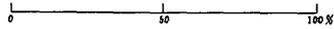
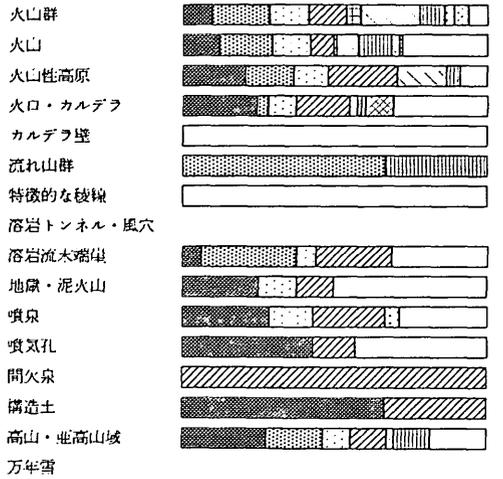


凡例

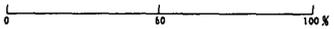
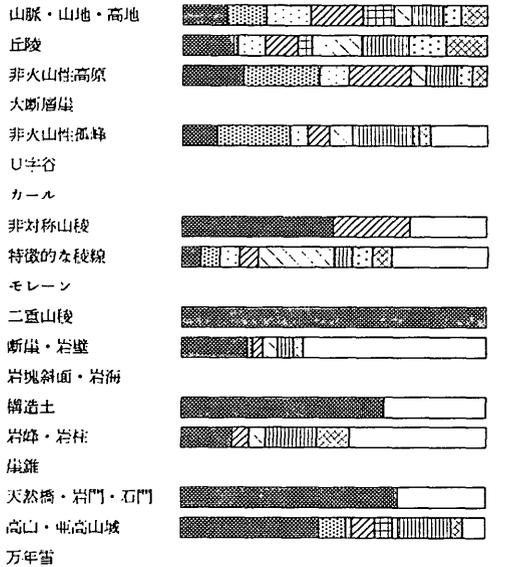
- | | |
|--------|---------|
| 人の立ち入り | その他の開発 |
| 農林業開発 | 周辺の開発 |
| 道路開発 | 汚染物質の侵入 |
| 観光開発 | ゴミの投棄 |
| 水辺の開発 | その他 |
| | 特になし |

陸景

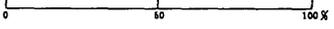
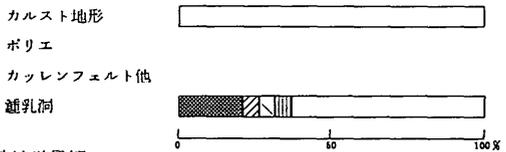
火山景観



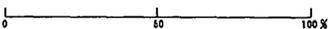
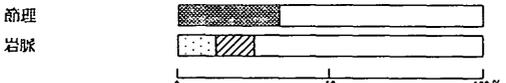
山地景観



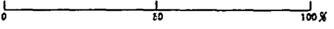
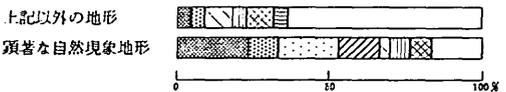
石灰岩景観



特殊地学景観

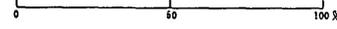
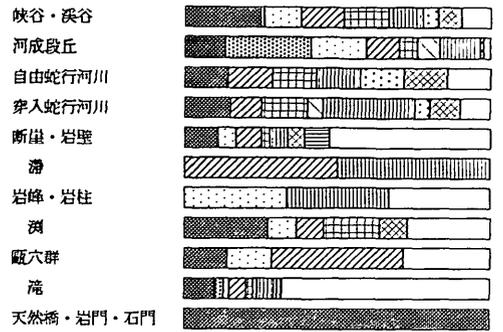


その他

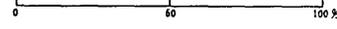
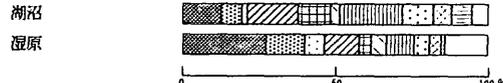


水景

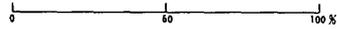
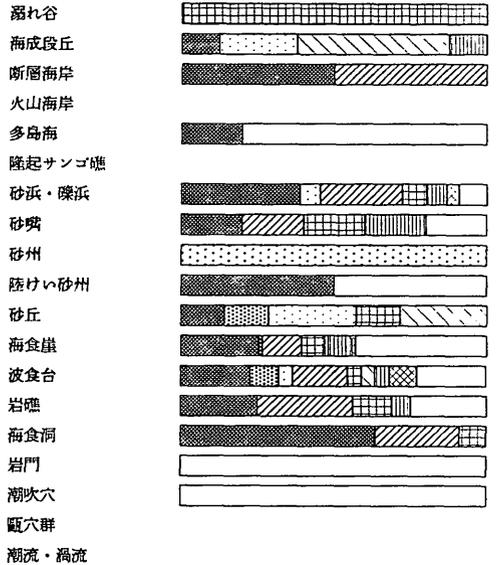
河川景観



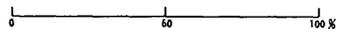
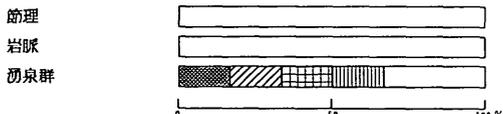
湖沼景観



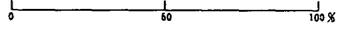
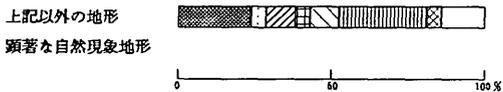
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

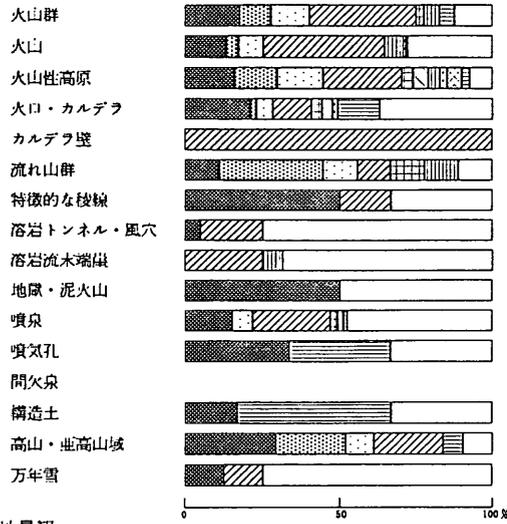


自然景観資源に対するインパクト

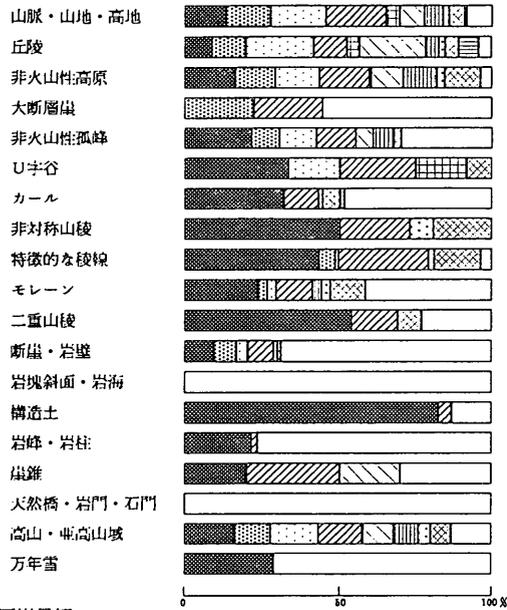
関東ブロック

陸景

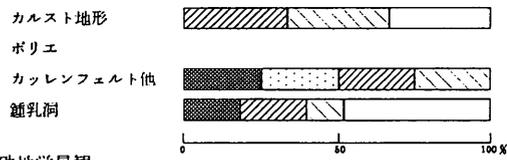
火山景観



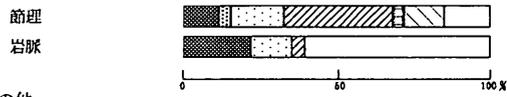
山地景観



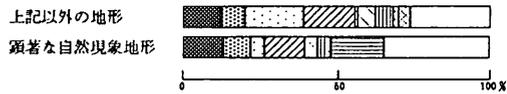
石灰岩景観



特殊地学景観

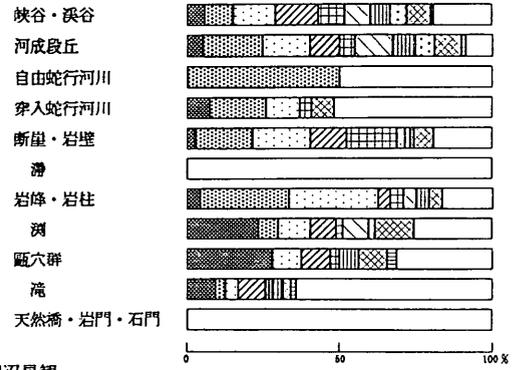


その他

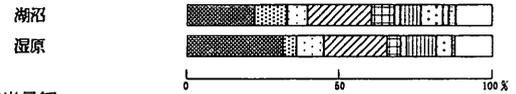


水景

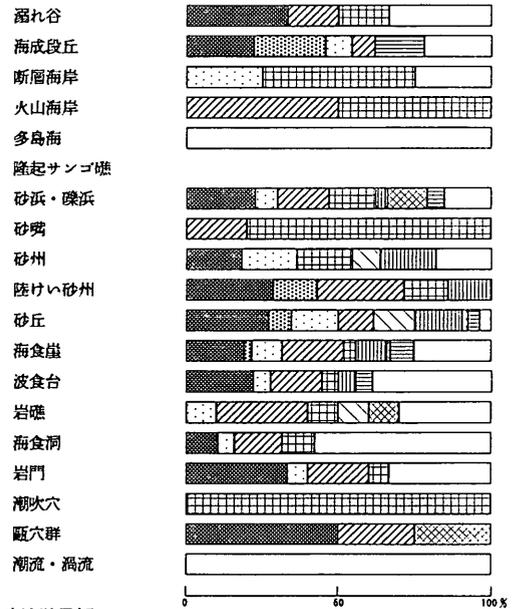
河川景観



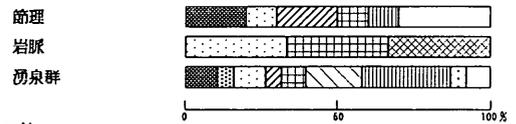
湖沼景観



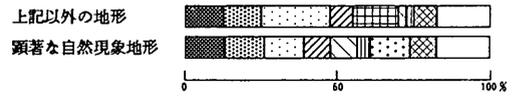
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

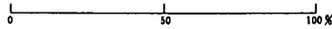
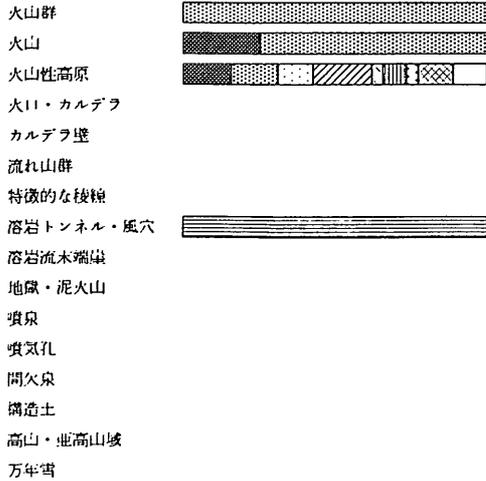
- | | |
|--------|---------|
| 人の立ち入り | その他の開発 |
| 農林業開発 | 周辺の開発 |
| 道路開発 | 汚染物質の侵入 |
| 観光開発 | ゴミの投棄 |
| 水辺の開発 | その他 |
| | 特になし |

自然景観資源に対するインパクト

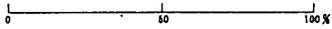
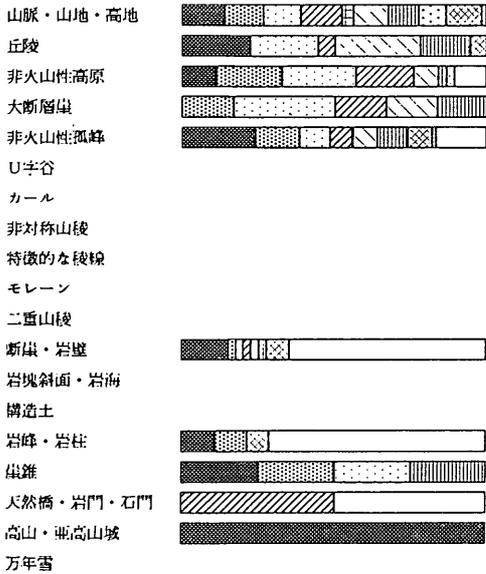
中部ブロック

陸景

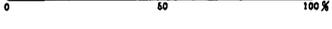
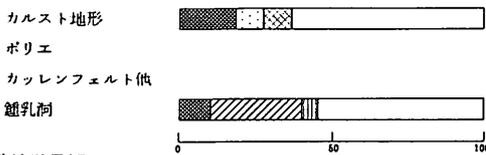
火山景観



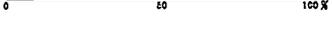
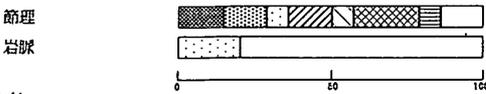
山地景観



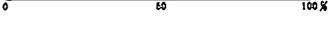
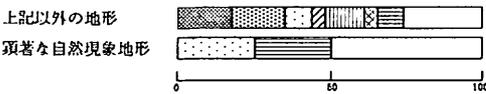
石灰岩景観



特殊地学景観

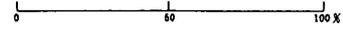
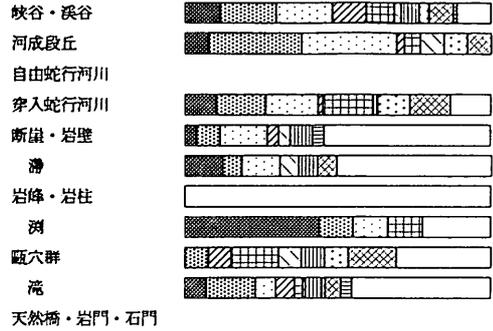


その他

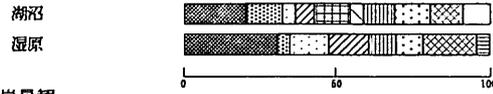


水景

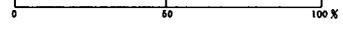
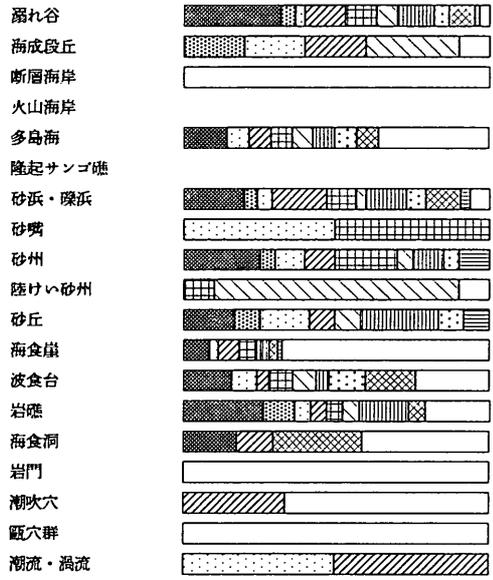
河川景観



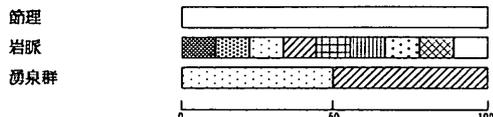
湖沼景観



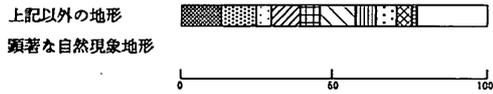
海岸景観



特殊地学景観



その他



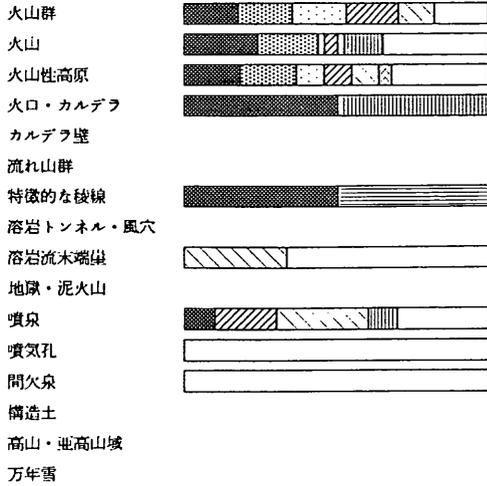
凡例



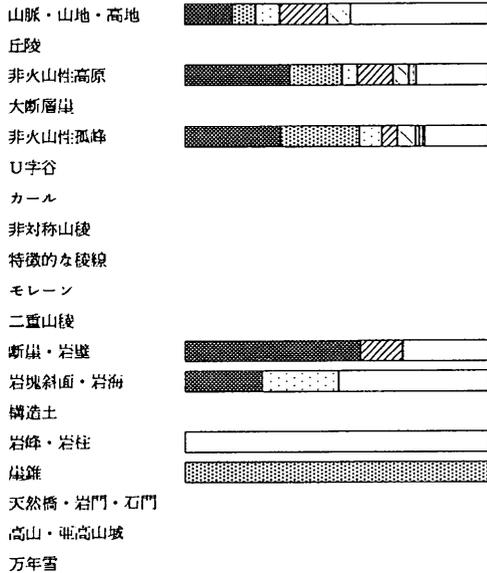
自然景観資源に対するインパクト 近畿ブロック

陸景

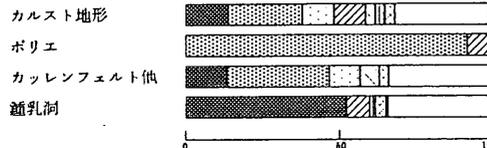
火山景観



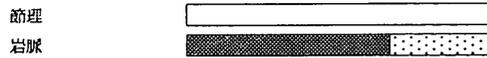
山地景観



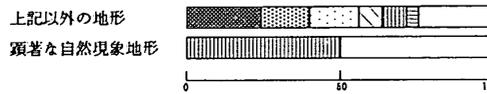
石灰岩景観



特殊地学景観

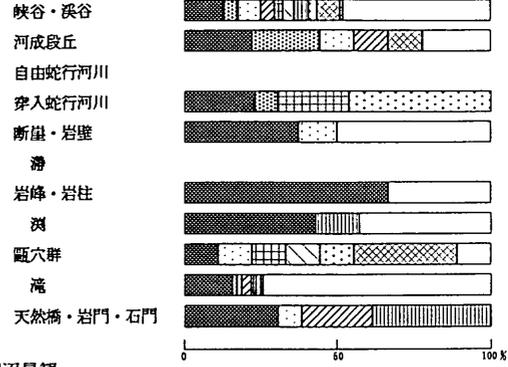


その他

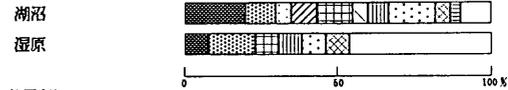


水景

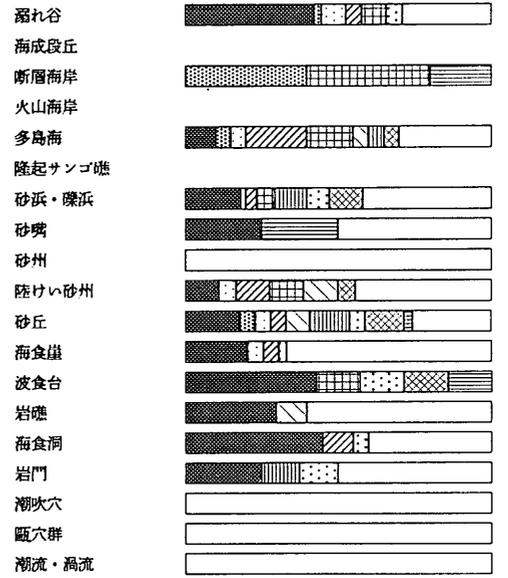
河川景観



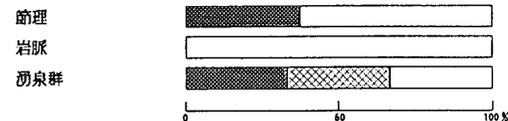
湖沼景観



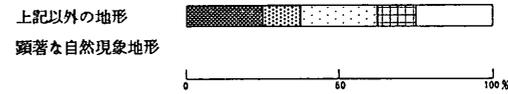
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例



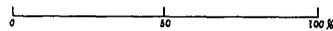
自然景観資源に対するインパクト

中国ブロック

陸景

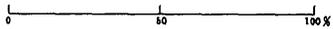
火山景観

- 火山群
- 火山
- 火山性高原
- 火山・カルデラ
- カルデラ壁
- 流れ山群
- 特徴的な稜線
- 溶岩トンネル・風穴
- 溶岩流水端壁
- 地獄・泥火山
- 噴泉
- 噴気孔
- 間欠泉
- 構造土
- 高山・亜高山域
- 万年雪



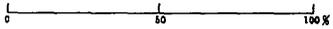
山地景観

- 山脈・山地・高地
- 丘陵
- 非火山性高原
- 大断層崖
- 非火山性孤峰
- U字谷
- カール
- 非対称山稜
- 特徴的な稜線
- モレーン
- 二重山稜
- 断崖・岩壁
- 岩塊斜面・岩海
- 構造土
- 岩峰・岩柱
- 巖礁
- 天然橋・岩門・石門
- 高山・亜高山域
- 万年雪



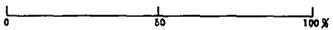
石灰岩景観

- カルスト地形
- ポリエ
- カッレンフェルト他
- 鍾乳洞



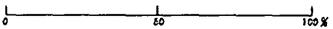
特殊地学景観

- 筋理
- 岩脈



その他

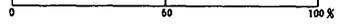
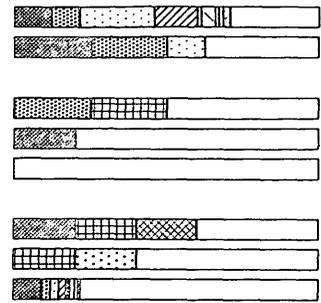
- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



水景

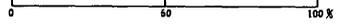
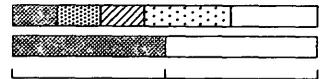
河川景観

- 峡谷・溪谷
- 河成段丘
- 自由蛇行河川
- 穿入蛇行河川
- 断崖・岩壁
- 滝
- 岩壁・岩柱
- 淵
- 懸穴群
- 滝
- 天然橋・岩門・石門



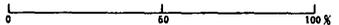
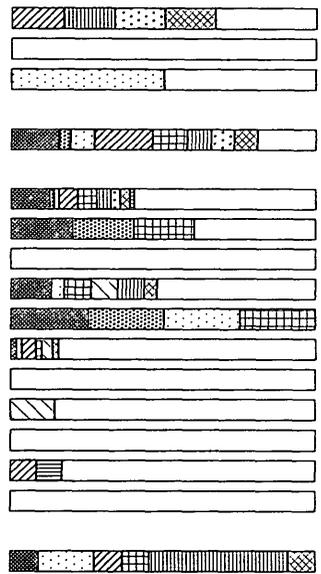
湖沼景観

- 湖沼
- 湿原



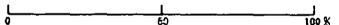
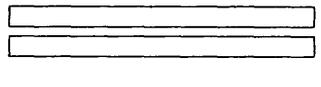
海岸景観

- 齧れ谷
- 海成段丘
- 断層海岸
- 火山海岸
- 多島海
- 隆起サンゴ礁
- 砂浜・磯浜
- 砂嘴
- 砂州
- 陸けい砂州
- 砂丘
- 海食崖
- 波食台
- 岩礁
- 海食洞
- 岩門
- 潮吹穴
- 懸穴群
- 潮流・渦流



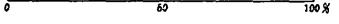
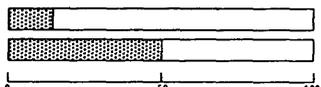
特殊地学景観

- 筋理
- 岩脈
- 湧泉群



その他

- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



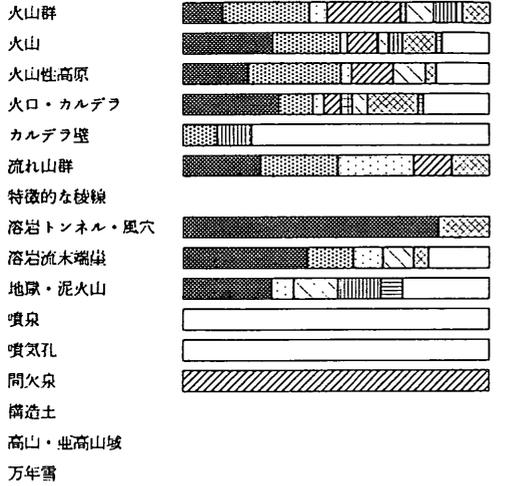
凡例

- | | | | |
|--|--------|--|---------|
| | 人の立ち入り | | その他の開発 |
| | 農林業開発 | | 周辺の開発 |
| | 道路開発 | | 汚染物質の侵入 |
| | 観光開発 | | ゴミの投棄 |
| | 水辺の開発 | | その他 |
| | | | 特になし |

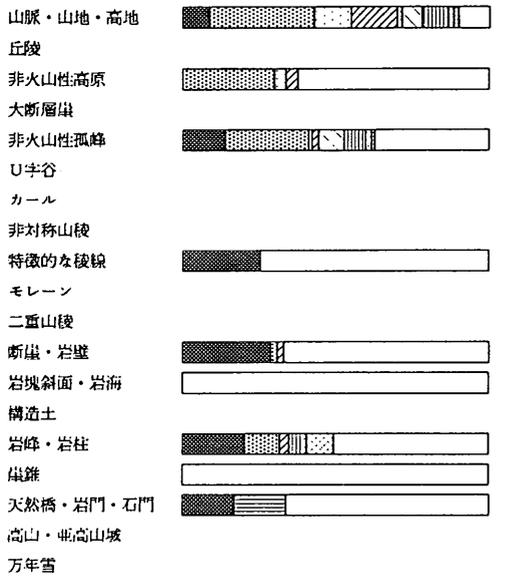
自然景観資源に対するインパクト 四国ブロック

陸景

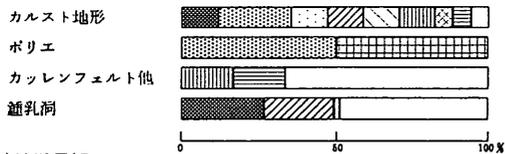
火山景観



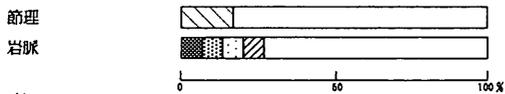
山地景観



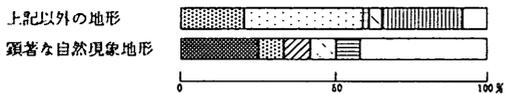
石灰岩景観



特殊地学景観

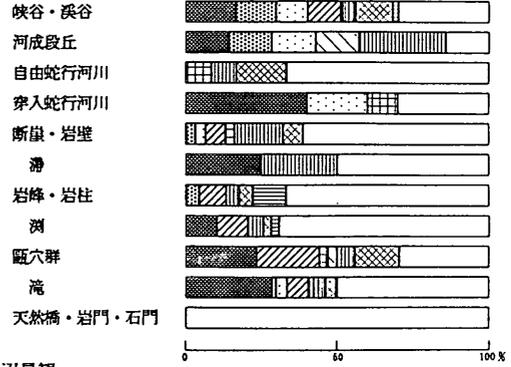


その他

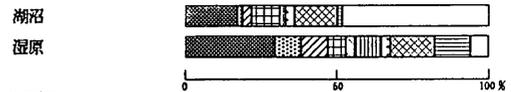


水景

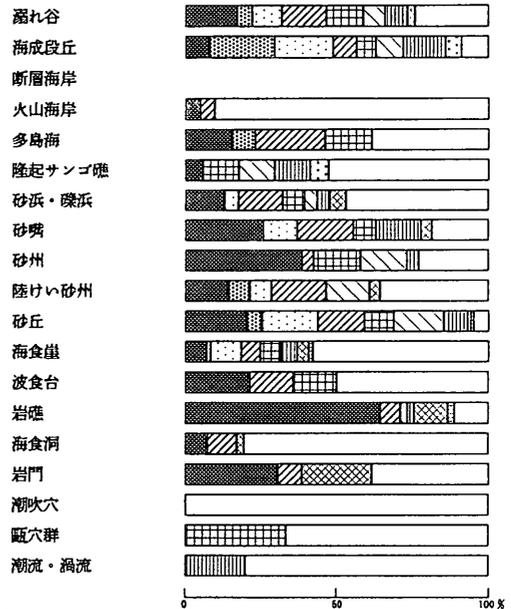
河川景観



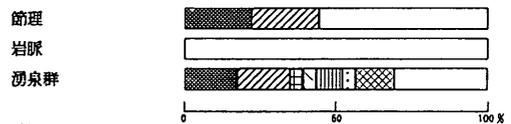
湖沼景観



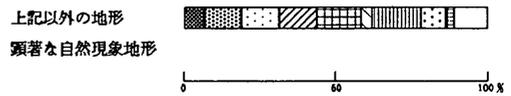
海岸景観



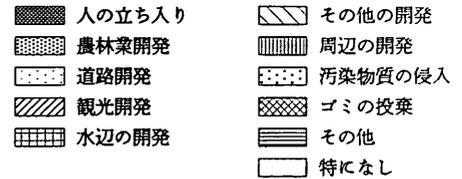
特殊地学景観



その他



凡例

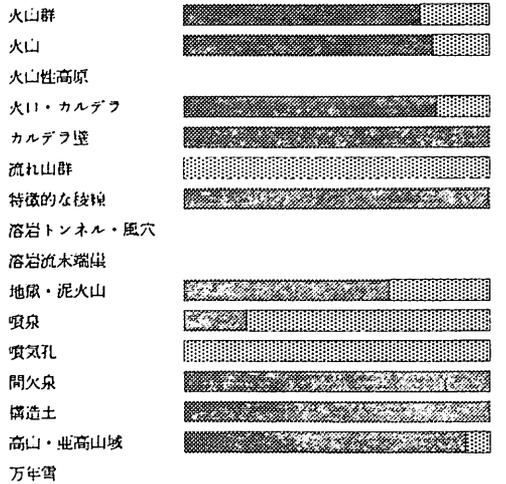


自然景観資源に対するインパクト

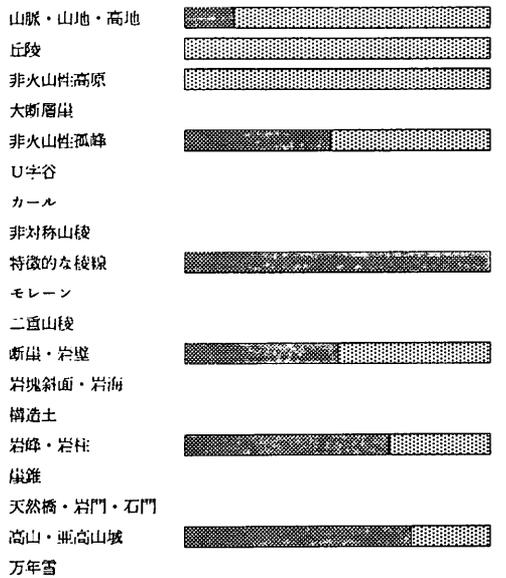
九州ブロック

陸景

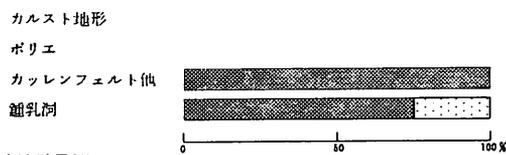
火山景観



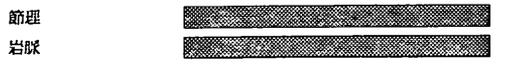
山地景観



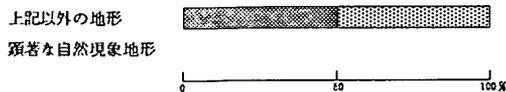
石灰岩景観



特殊地学景観

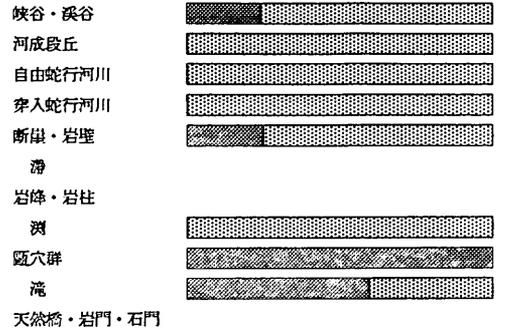


その他

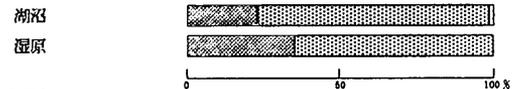


水景

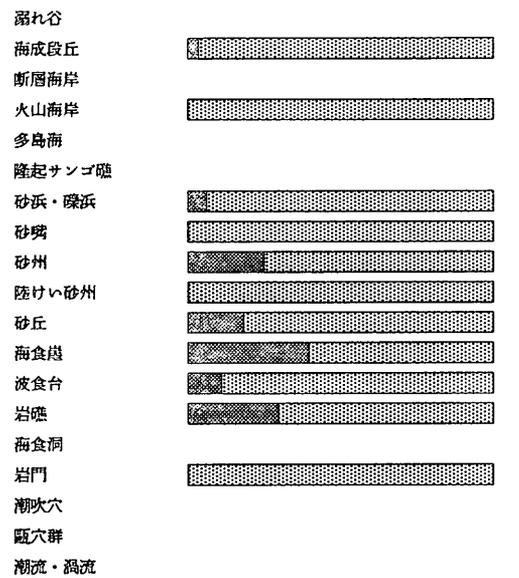
河川景観



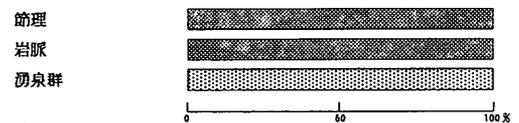
湖沼景観



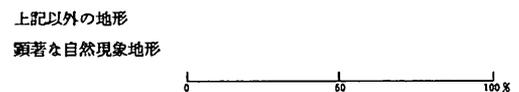
海岸景観



特殊地学景観



その他



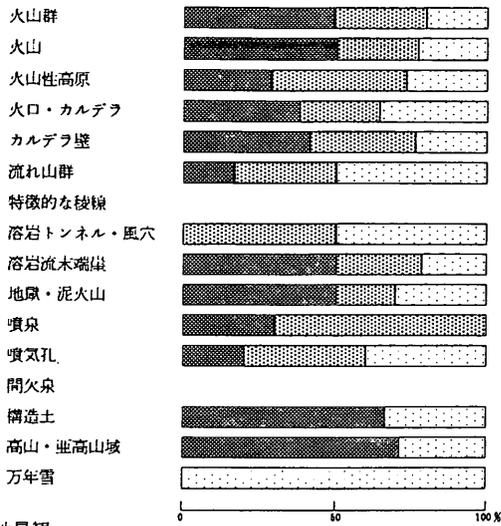
凡例

- 地域のシンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

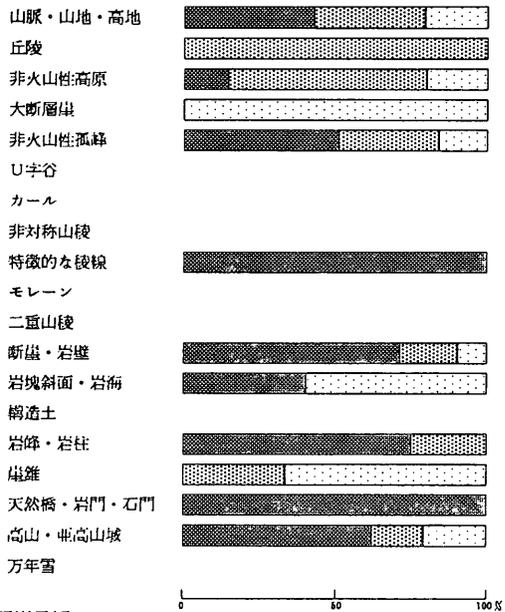
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 北海道ブロック

陸景

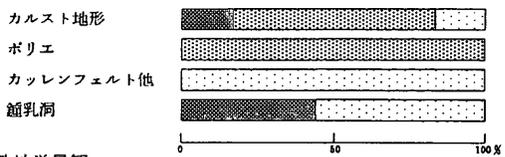
火山景観



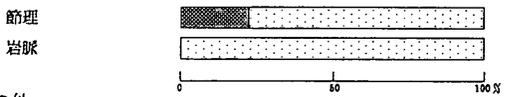
山地景観



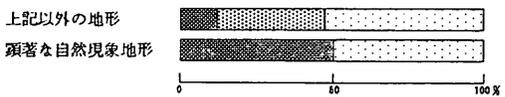
石灰岩景観



特殊地学景観

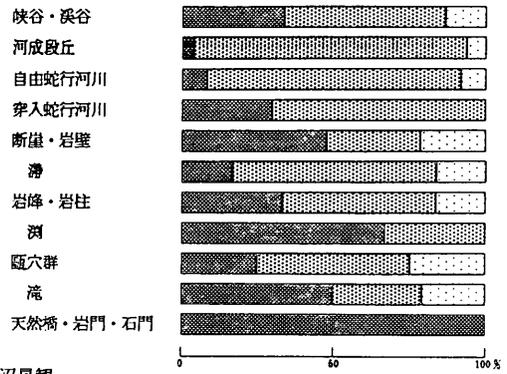


その他

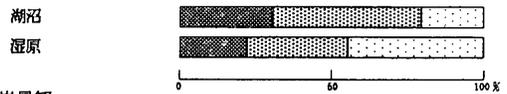


水景

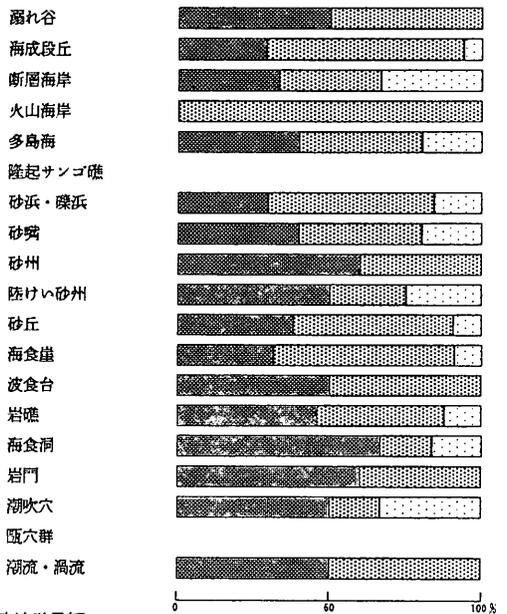
河川景観



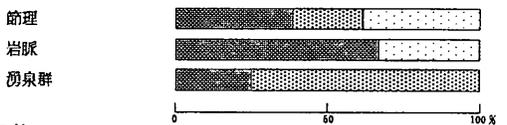
湖沼景観



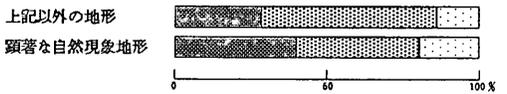
海岸景観



特殊地学景観



その他



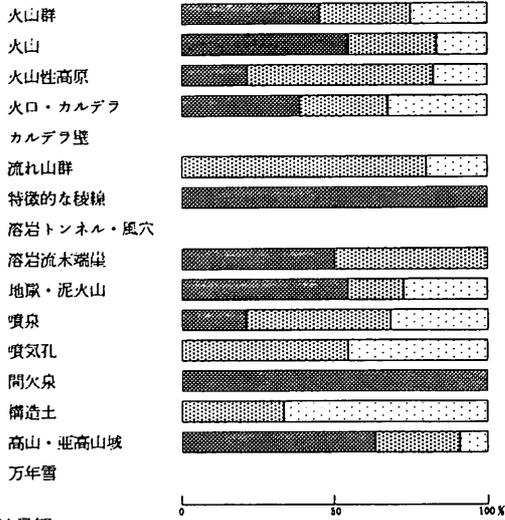
凡例

- 地域シンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

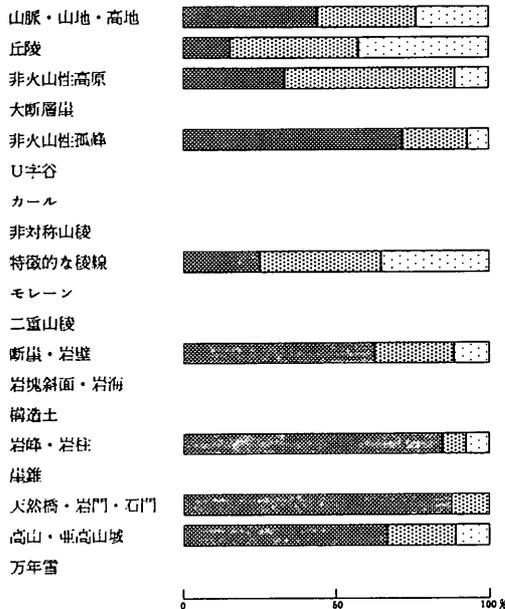
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 東北ブロック

陸景

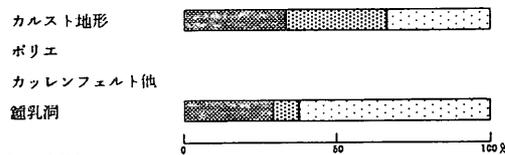
火山景観



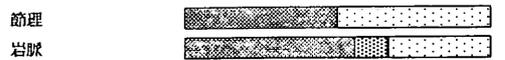
山地景観



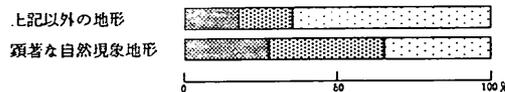
石灰岩景観



特殊地学景観

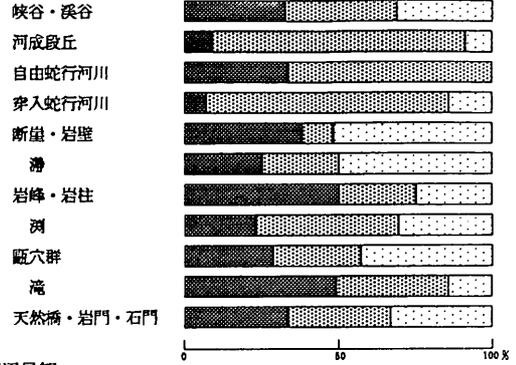


その他

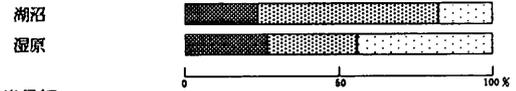


水景

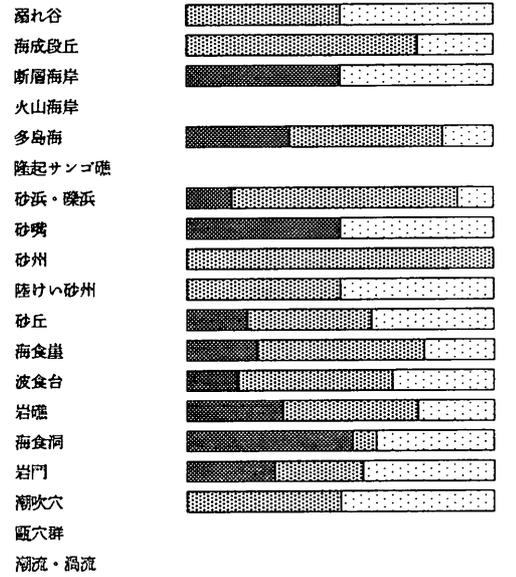
河川景観



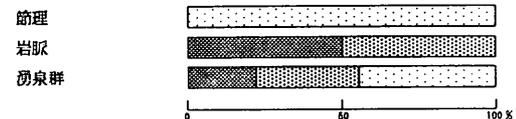
湖沼景観



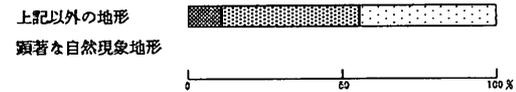
海岸景観



特殊地学景観



その他



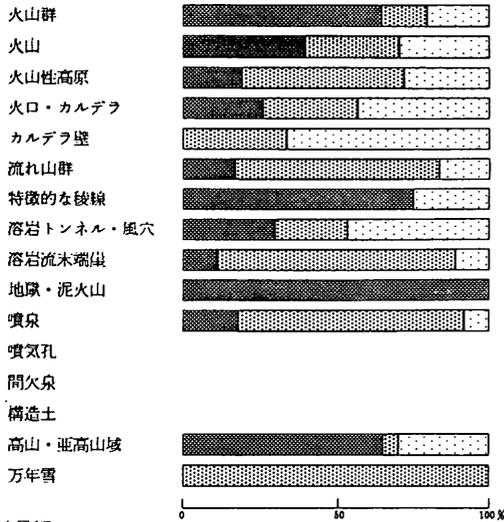
凡例

- 地域のシンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

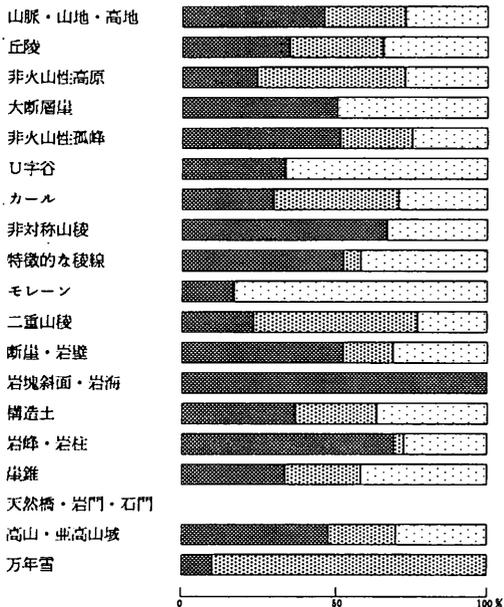
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 関東ブロック

陸景

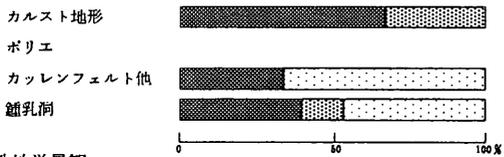
火山景観



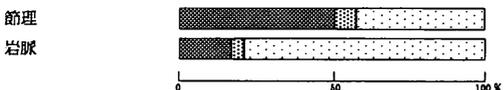
山地景観



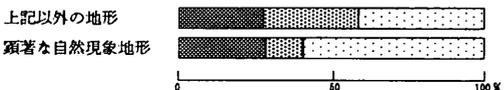
石灰岩景観



特殊地学景観

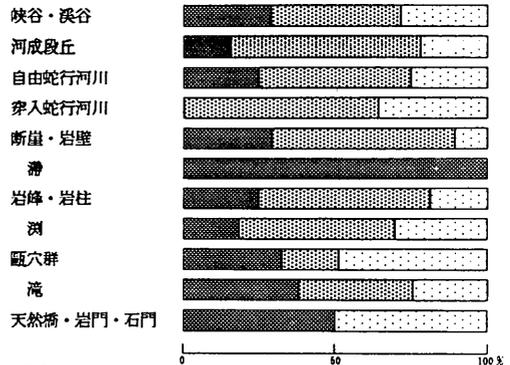


その他

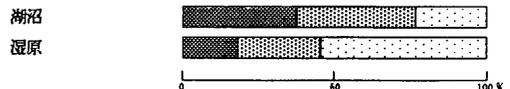


水景

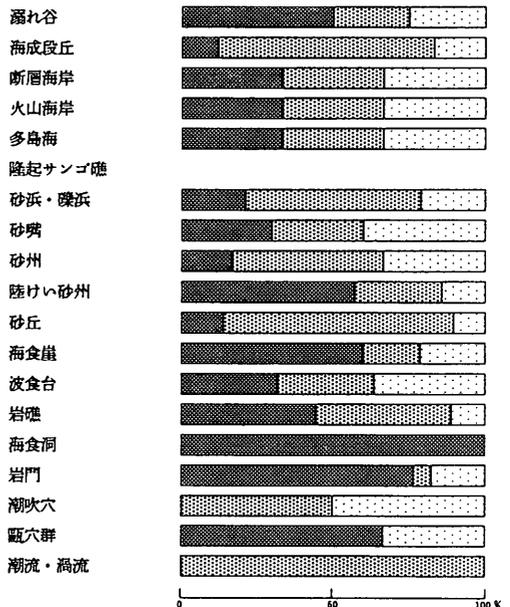
河川景観



湖沼景観



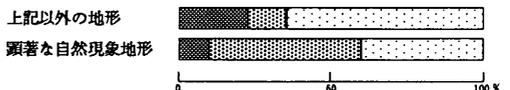
海岸景観



特殊地学景観



その他



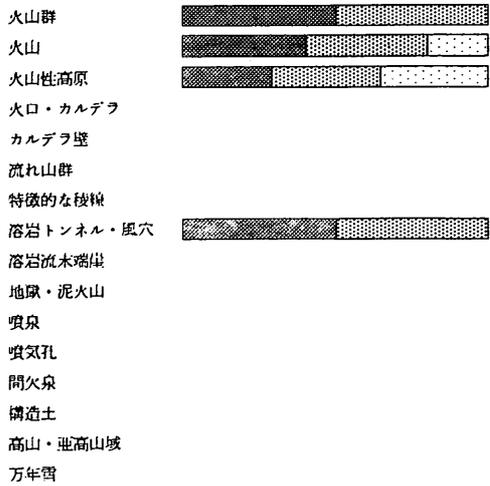
凡例

- 地域のシンボル
- ▨ 生活レベルの利用
- 学習の場

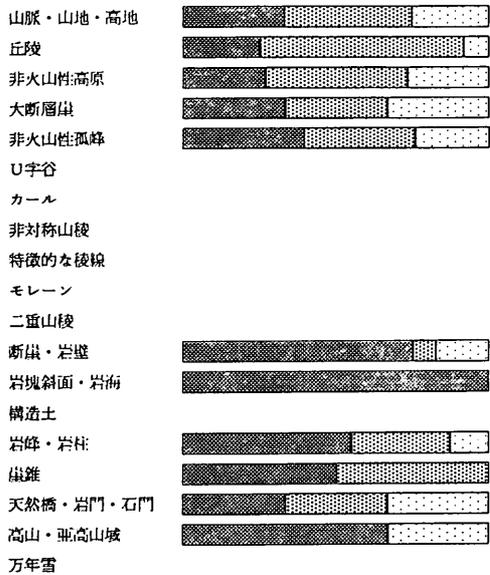
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 中部ブロック

陸景

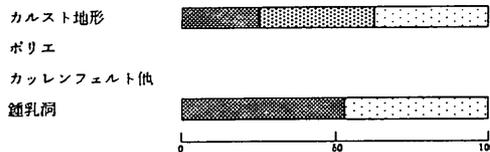
火山景観



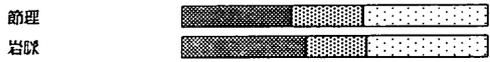
山地景観



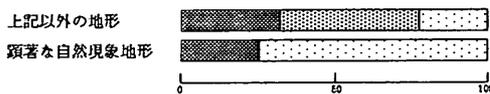
石灰岩景観



特殊地学景観

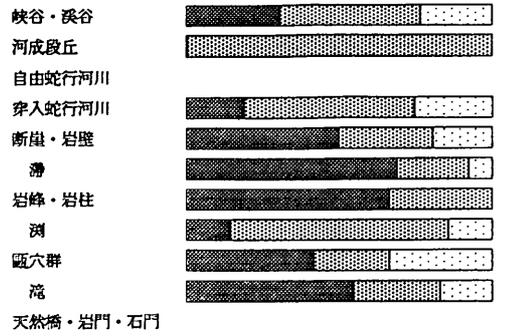


その他

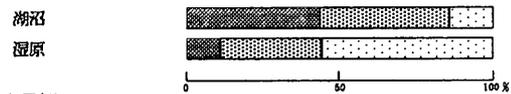


水景

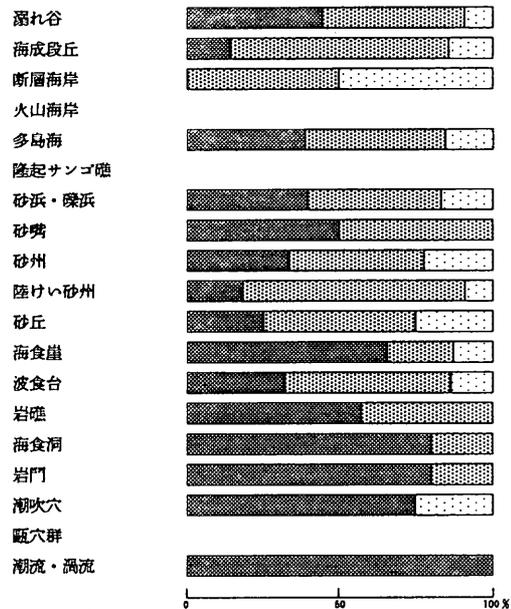
河川景観



湖沼景観



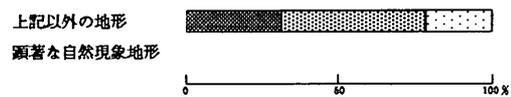
海岸景観



特殊地学景観



その他

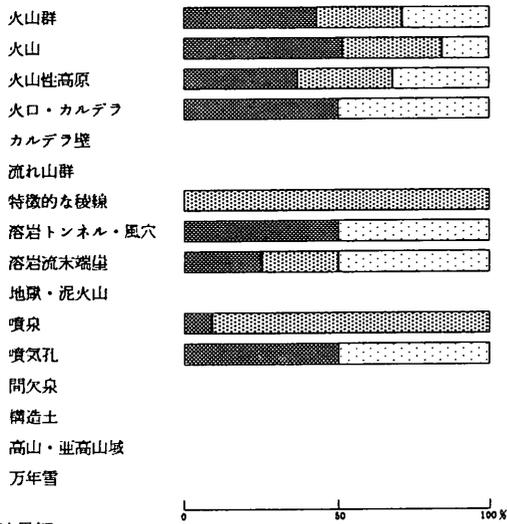


凡例

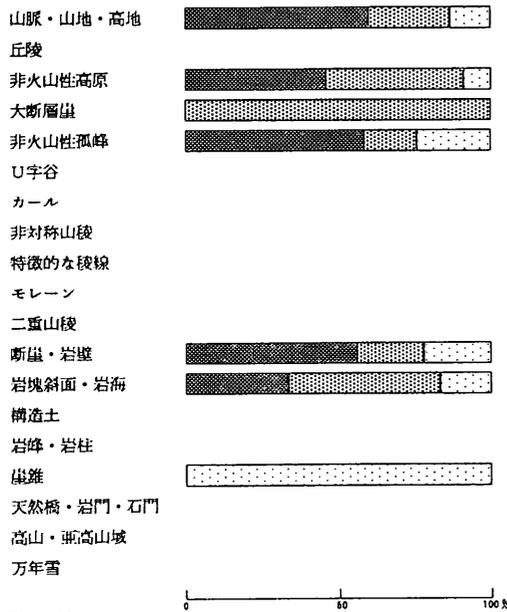
- 地域のシンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

利用の現状に係わる集計（利用形態別） 近畿ブロック

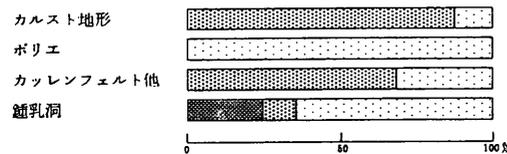
陸景
火山景観



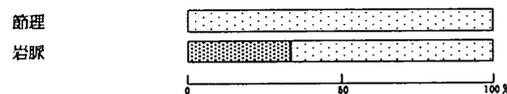
山地景観



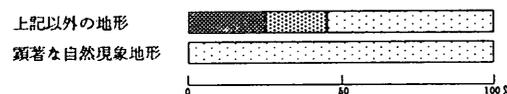
石灰岩景観



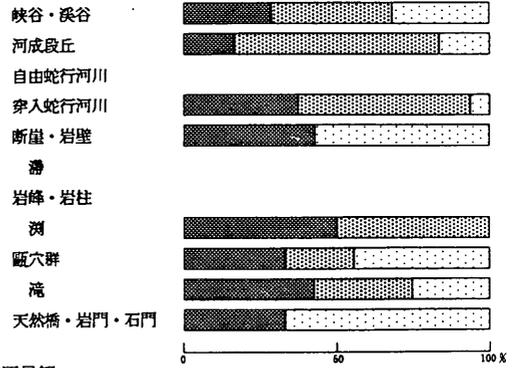
特殊地学景観



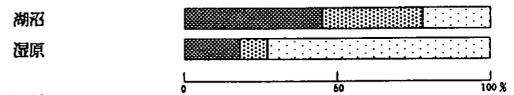
その他



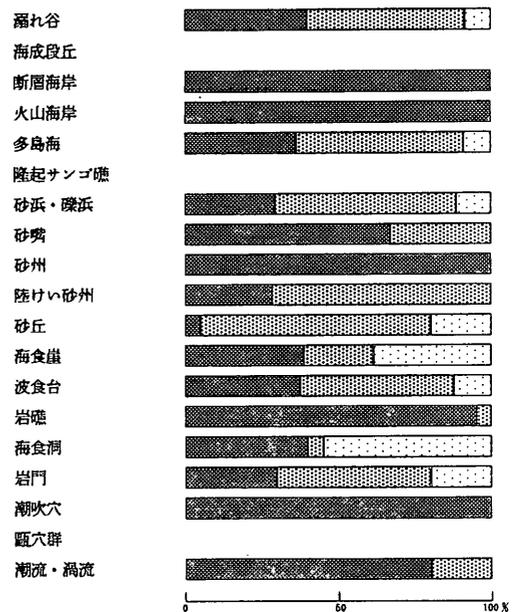
水景
河川景観



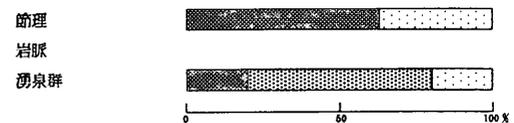
湖沼景観



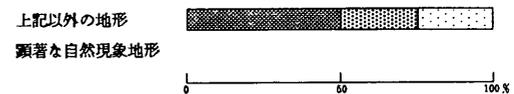
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

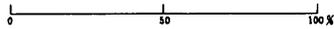
- 地域のシンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

利用の現状に係わる集計（利用形態別） 中国ブロック

陸景

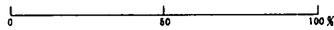
火山景観

- 火山群
- 火山
- 火山性高原
- 火口・カルデラ
- カルデラ壁
- 流れ山群
- 特徴的な稜線
- 溶岩トンネル・風穴
- 溶岩流末端崖
- 地獄・泥火山
- 噴泉
- 噴気孔
- 間欠泉
- 構造土
- 高山・亜高山域
- 万年雪



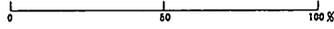
山地景観

- 山脈・山地・高地
- 丘陵
- 非火山性高原
- 大断層崖
- 非火山性孤峰
- U字谷
- カール
- 非対称山稜
- 特徴的な稜線
- モレーン
- 二重山稜
- 断崖・岩壁
- 岩塊斜面・岩海
- 構造土
- 岩峰・岩柱
- 崖壁
- 天然橋・岩門・石門
- 高山・亜高山域
- 万年雪



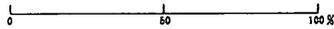
石灰岩景観

- カルスト地形
- ポリエ
- カッレンフェルト他
- 鍾乳洞



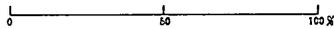
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈



その他

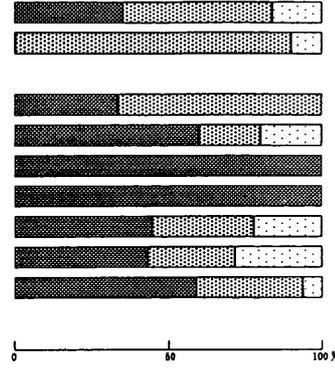
- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



水景

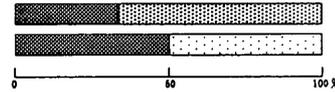
河川景観

- 峡谷・溪谷
- 河成段丘
- 自由蛇行河川
- 穿入蛇行河川
- 断崖・岩壁
- 澗
- 岩峰・岩柱
- 淵
- 巖穴群
- 滝
- 天然橋・岩門・石門



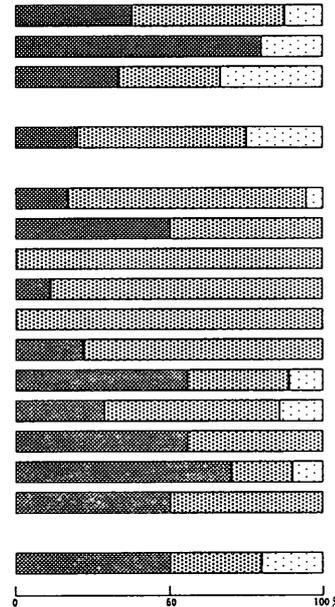
湖沼景観

- 湖沼
- 湿原



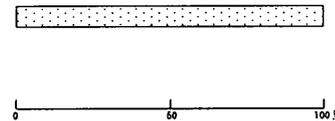
海岸景観

- 溺れ谷
- 海成段丘
- 断層海岸
- 火山海岸
- 多島海
- 隆起サンゴ礁
- 砂浜・礫浜
- 砂嘴
- 砂州
- 陸けい砂州
- 砂丘
- 海食崖
- 波食台
- 岩礁
- 海食洞
- 岩門
- 潮吹穴
- 巖穴群
- 潮流・渦流



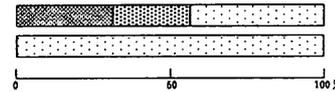
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈
- 湧泉群



その他

- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



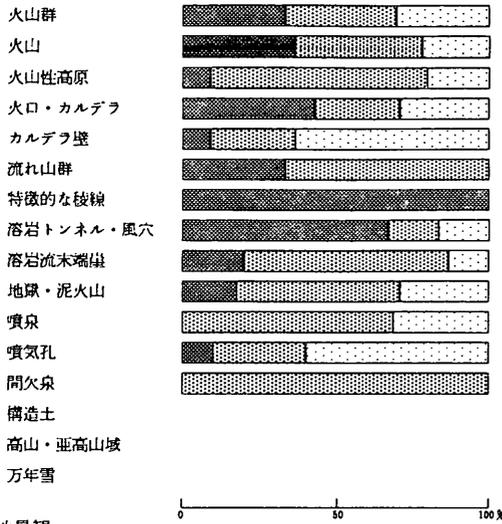
凡例

- 地域のシンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

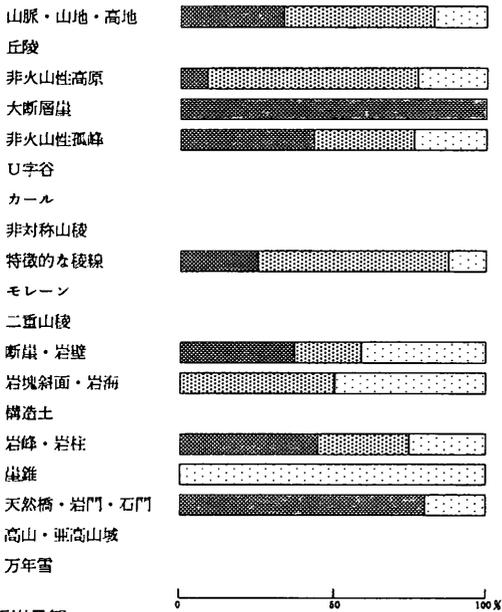
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 四国ブロック

陸景

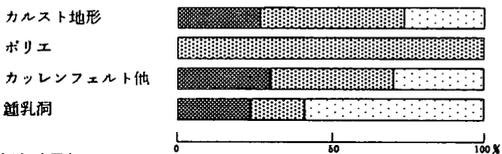
火山景観



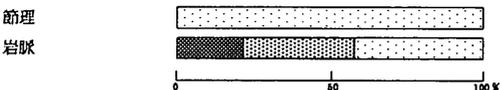
山地景観



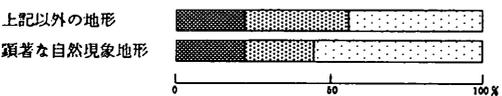
石灰岩景観



特殊地学景観

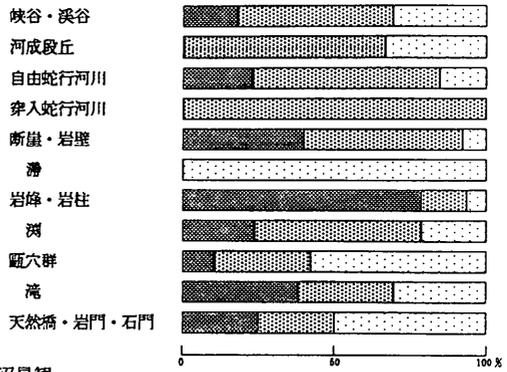


その他

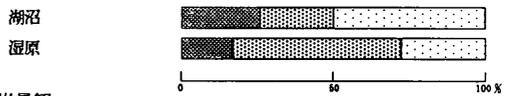


水景

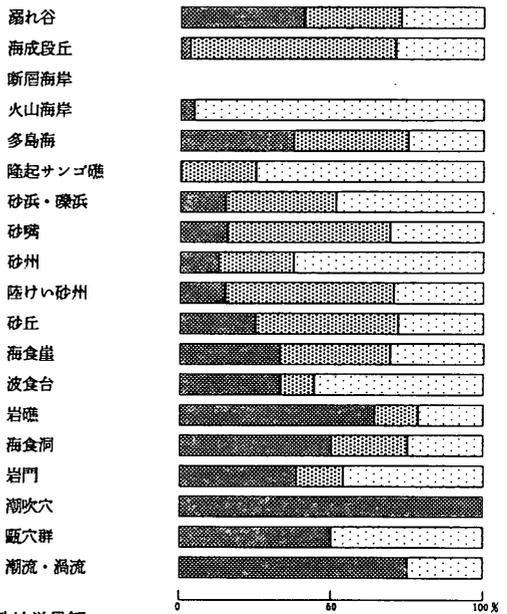
河川景観



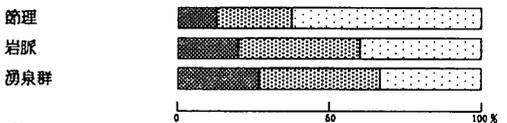
湖沼景観



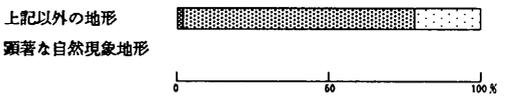
海岸景観



特殊地学景観



その他



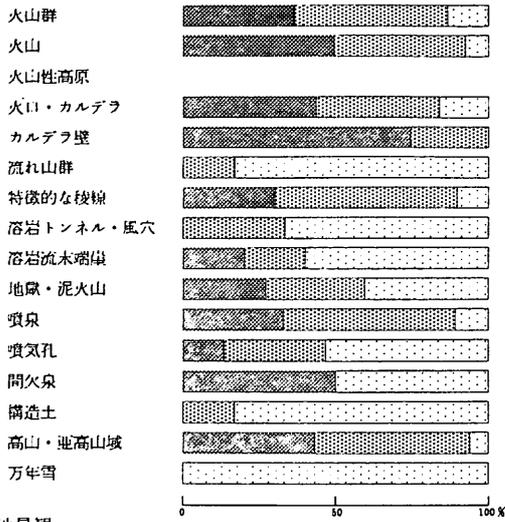
凡例

- 地域のシンボル
- 生活レベルの利用
- 学習の場

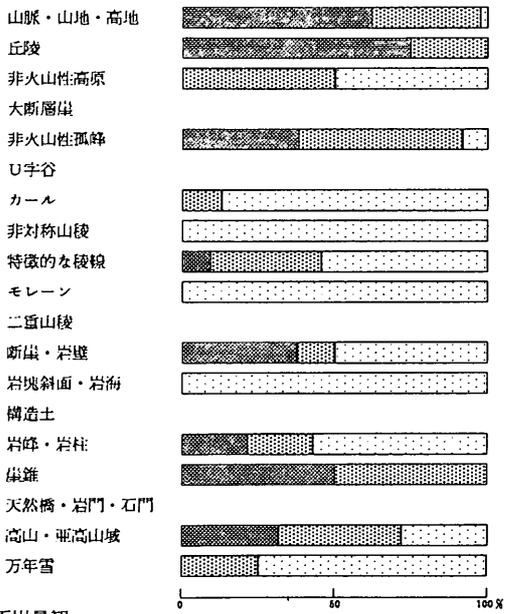
利用の現状に係わる集計（利用形態別）九州ブロック

陸景

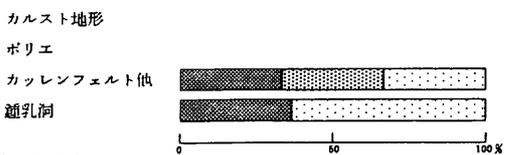
火山景観



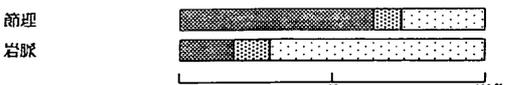
山地景観



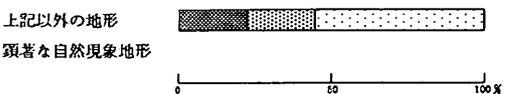
石灰岩景観



特殊地学景観

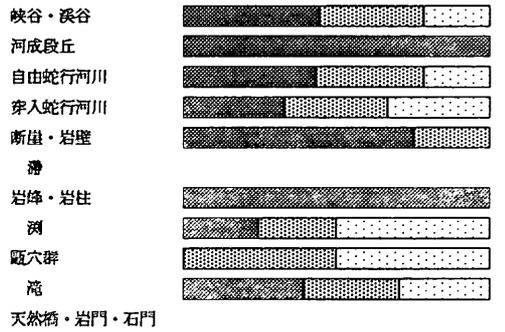


その他

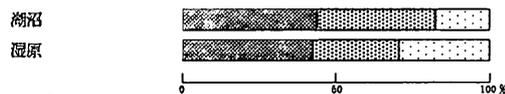


水景

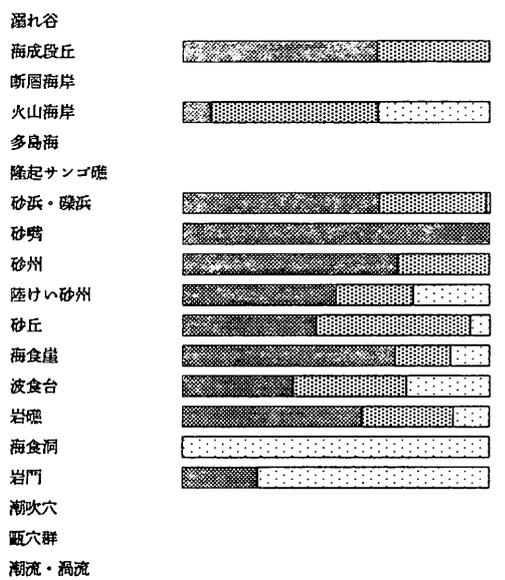
河川景観



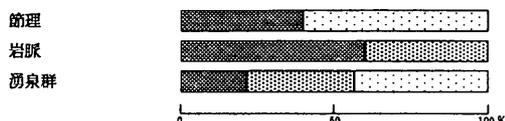
湖沼景観



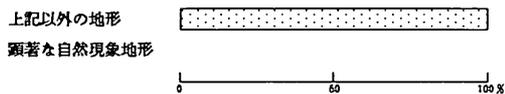
海岸景観



特殊地学景観



その他



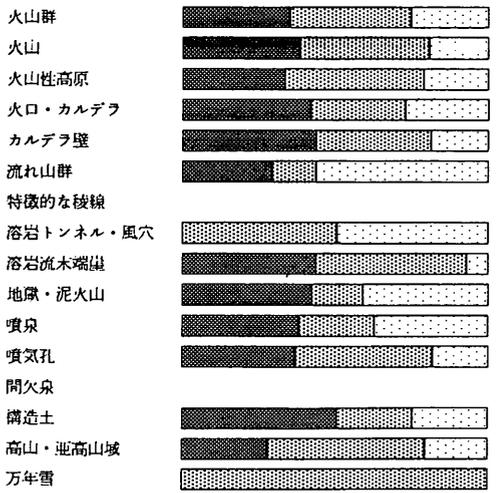
凡例

- 一般観光
- ▨ レクリエーション利用
- ▤ 自然学習、自然探勝

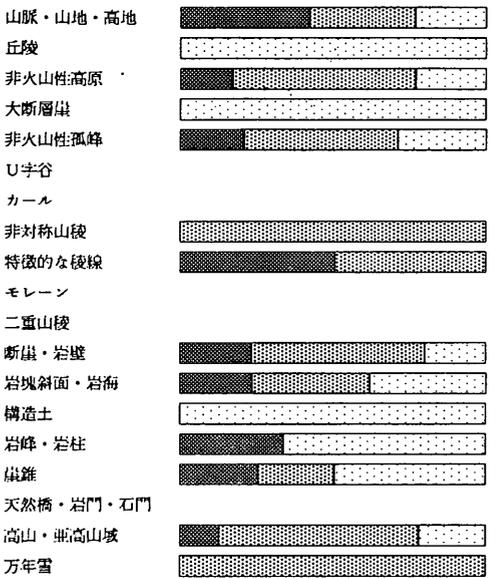
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 北海道ブロック

陸景

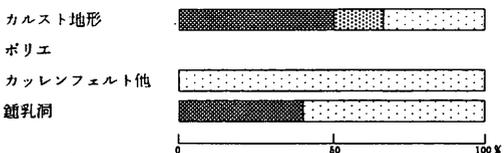
火山景観



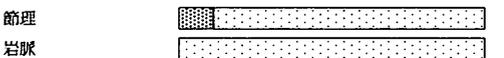
山地景観



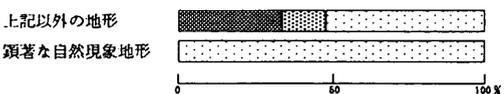
石灰岩景観



特殊地学景観

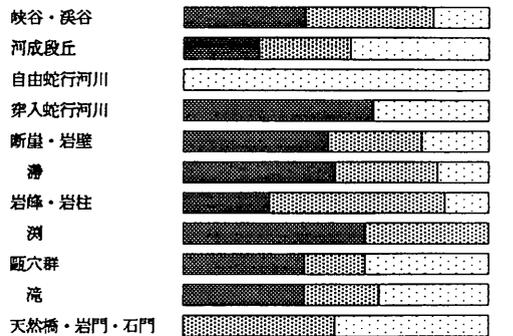


その他

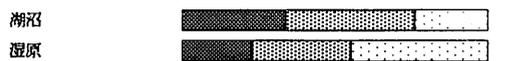


水景

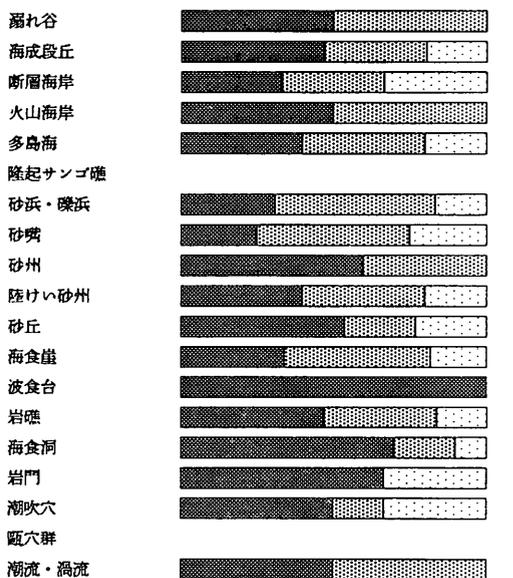
河川景観



湖沼景観



海岸景観



特殊地学景観



その他

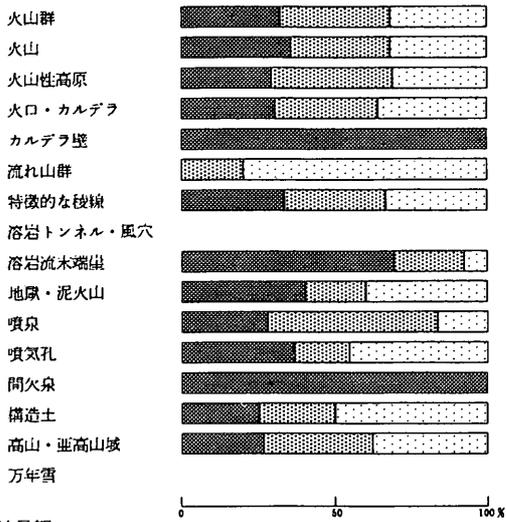


凡例

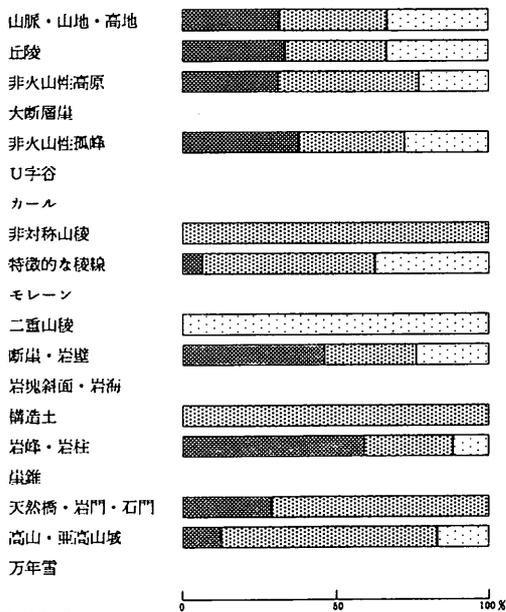
- 一般観光
- ▨ レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

利用の現状に係わる集計（利用形態別） 東北ブロック

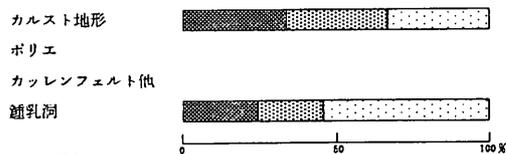
陸景
火山景観



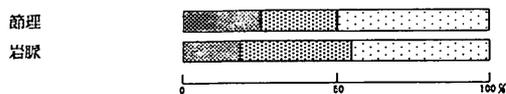
山地景観



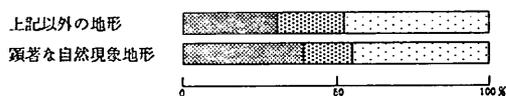
石灰岩景観



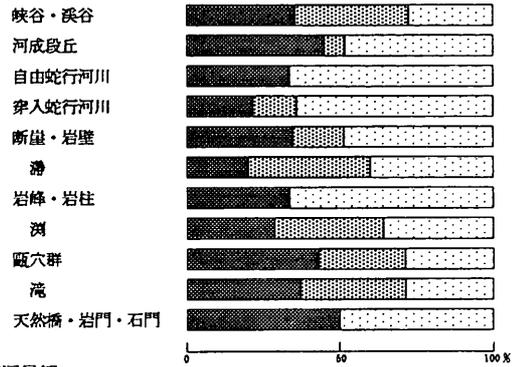
特殊地学景観



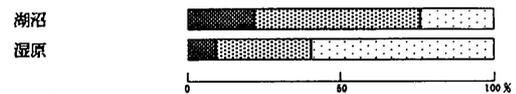
その他



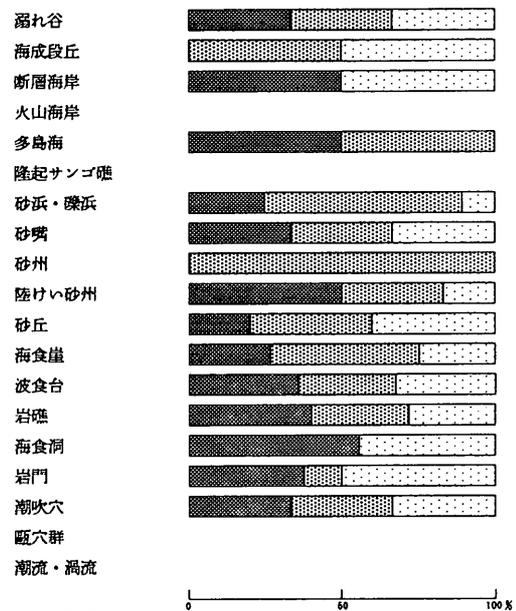
水景
河川景観



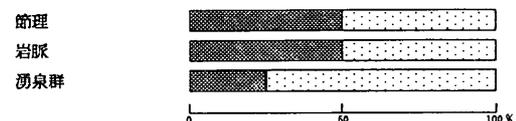
湖沼景観



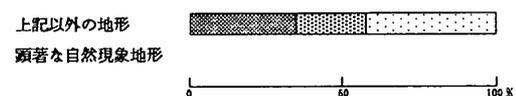
海岸景観



特殊地学景観



その他



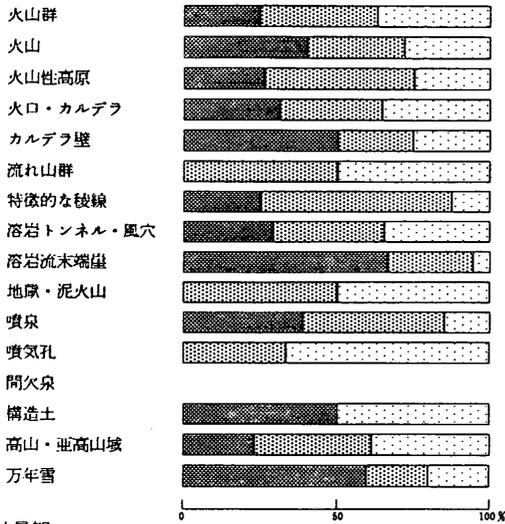
凡例

- 一般観光
- レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

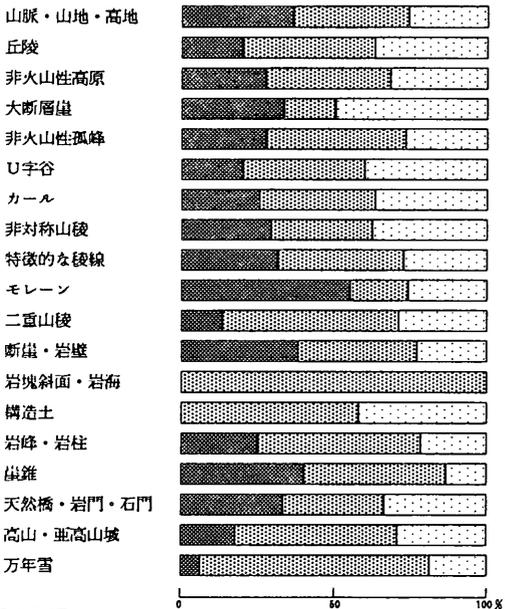
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 関東ブロック

陸景

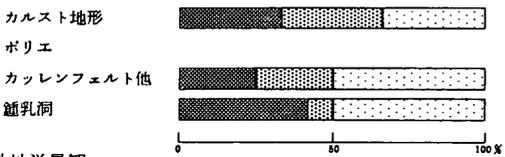
火山景観



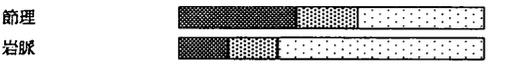
山地景観



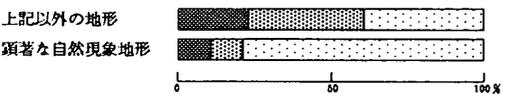
石灰岩景観



特殊地学景観

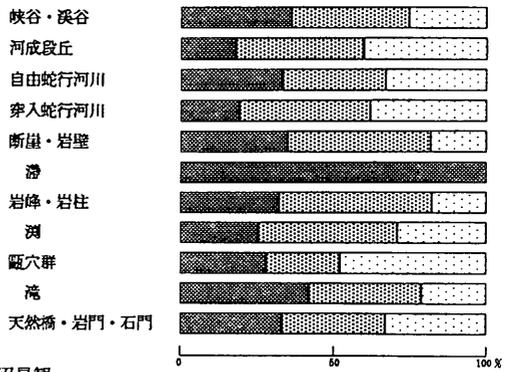


その他

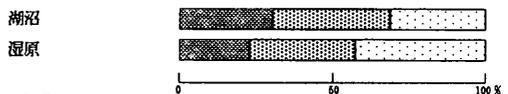


水景

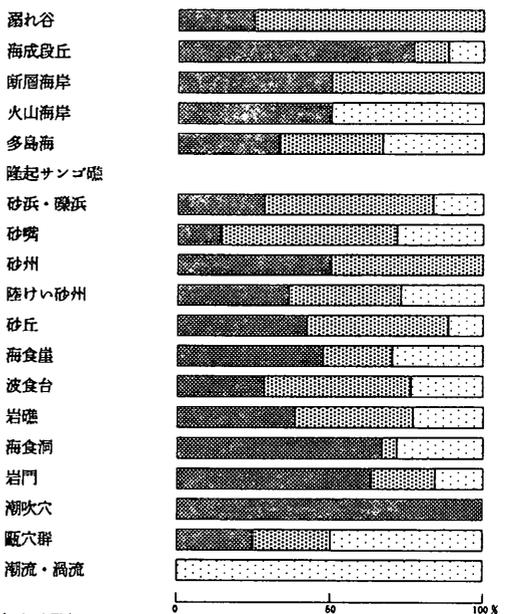
河川景観



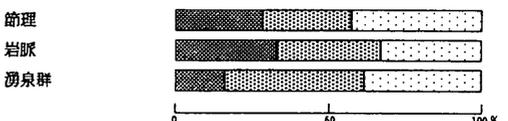
湖沼景観



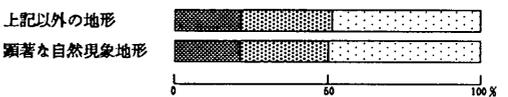
海岸景観



特殊地学景観



その他



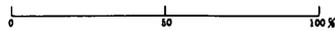
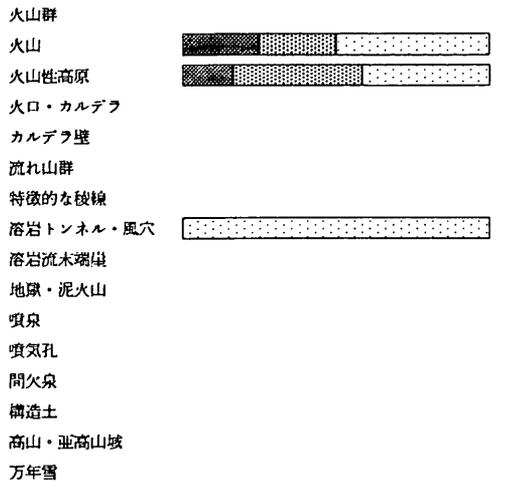
凡例

- 一般観光
- ▨ レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

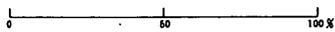
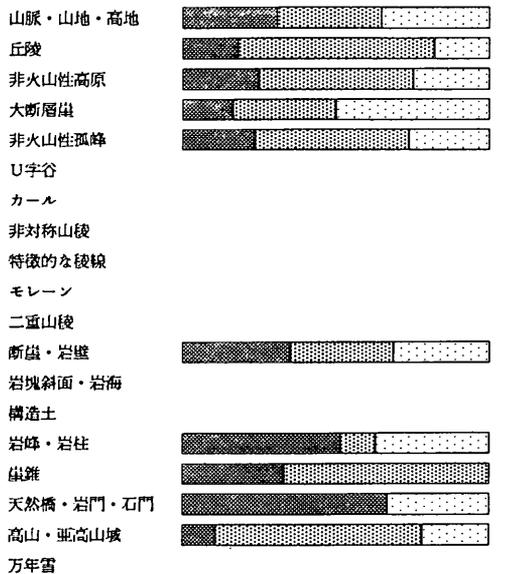
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 中部ブロック

陸景

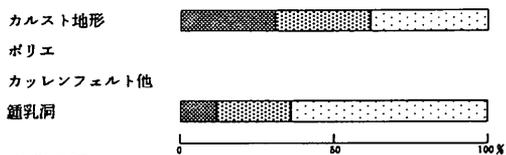
火山景観



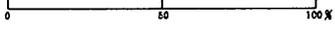
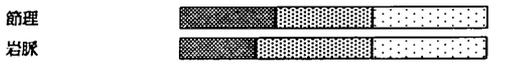
山地景観



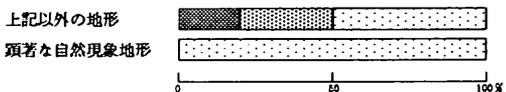
石灰岩景観



特殊地学景観

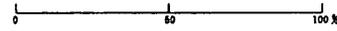
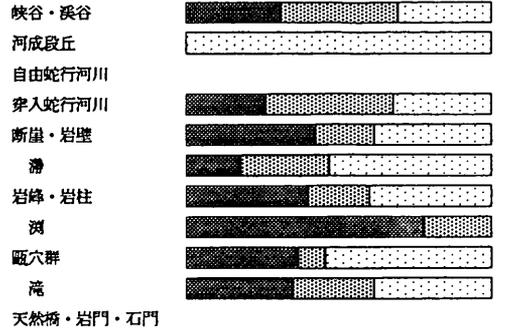


その他

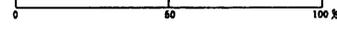
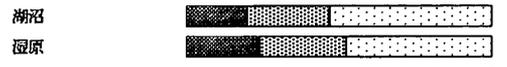


水景

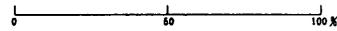
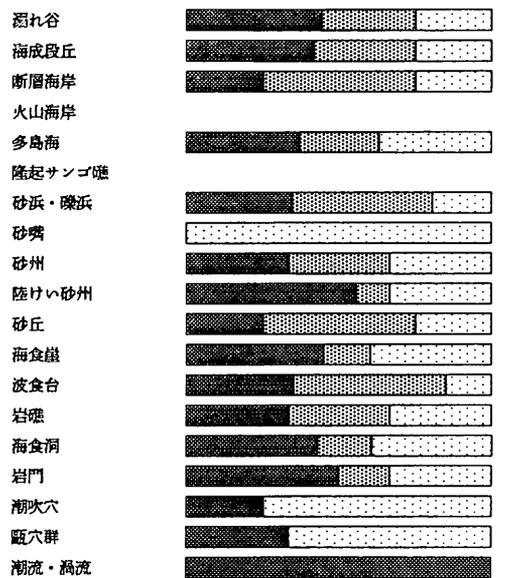
河川景観



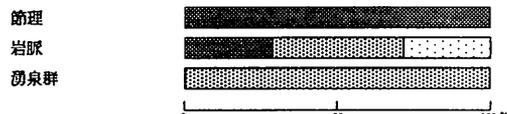
湖沼景観



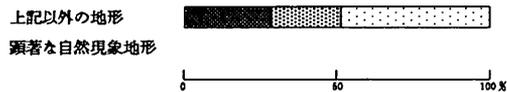
海岸景観



特殊地学景観



その他



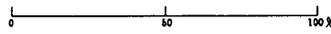
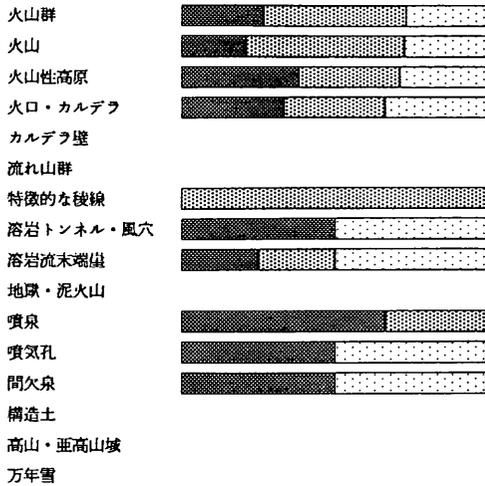
凡例

- 一般観光
- レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

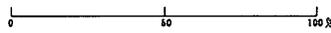
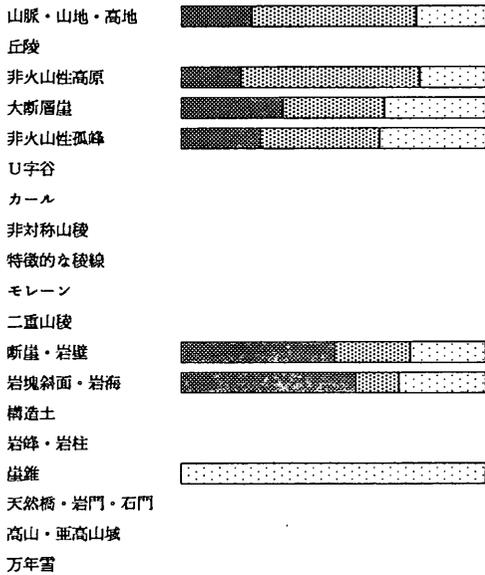
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 近畿ブロック

陸景

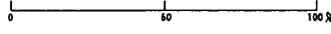
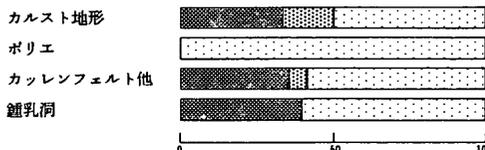
火山景観



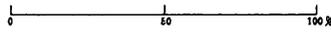
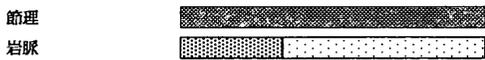
山地景観



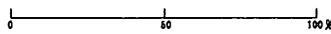
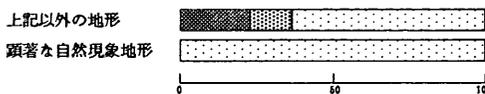
石灰岩景観



特殊地学景観

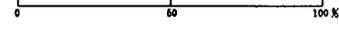
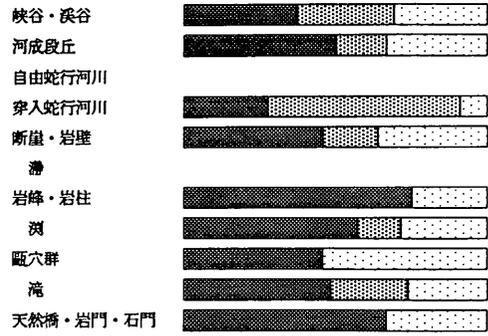


その他

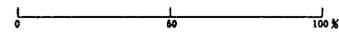
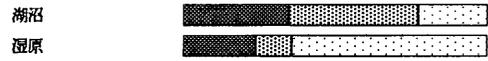


水景

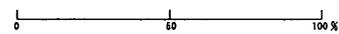
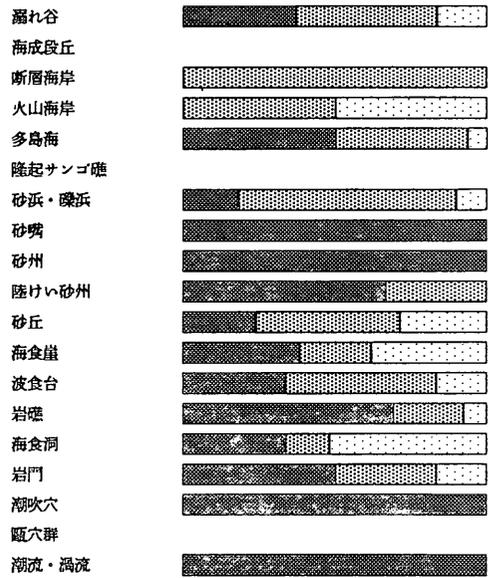
河川景観



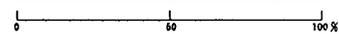
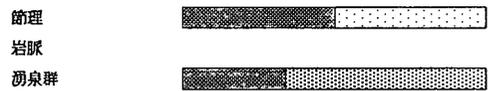
湖沼景観



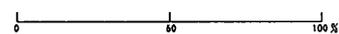
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

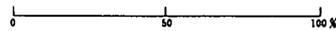
- 一般観光
- レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

利用の現状に係わる集計（利用形態別） 中国ブロック

陸景

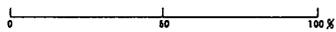
火山景観

- 火山群
- 火山
- 火山性高原
- 火口・カルデラ
- カルデラ壁
- 流れ山群
- 特徴的な稜線
- 溶岩トンネル・風穴
- 溶岩流末端崖
- 地獄・泥火山
- 噴泉
- 噴気孔
- 間欠泉
- 構造土
- 高山・亜高山域
- 万年雪



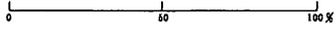
山地景観

- 山脈・山地・高地
- 丘陵
- 非火山性高原
- 大断層崖
- 非火山性孤峰
- U字谷
- カール
- 非対称山稜
- 特徴的な稜線
- モレーン
- 二重山稜
- 断崖・岩壁
- 岩塊斜面・岩海
- 構造土
- 岩峰・岩柱
- 巖礁
- 天然橋・岩門・石門
- 高山・亜高山域
- 万年雪



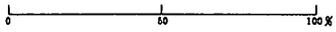
石灰岩景観

- カルスト地形
- ポリエ
- カッレンフェルト他
- 鍾乳洞



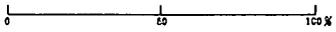
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈



その他

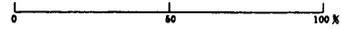
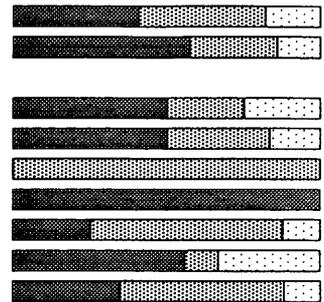
- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



水景

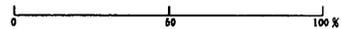
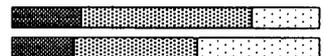
河川景観

- 峡谷・溪谷
- 河成段丘
- 自由蛇行河川
- 穿入蛇行河川
- 断崖・岩壁
- 滯
- 岩峰・岩柱
- 淵
- 覗穴群
- 滝
- 天然橋・岩門・石門



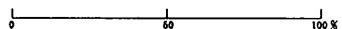
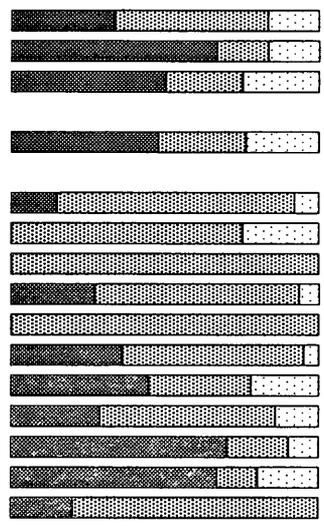
湖沼景観

- 湖沼
- 湿原



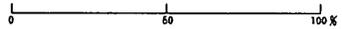
海岸景観

- 瀨谷
- 海成段丘
- 断層海岸
- 火山海岸
- 多島海
- 隆起サンゴ礁
- 砂浜・磯浜
- 砂嘴
- 砂州
- 陸けい砂州
- 砂丘
- 海食崖
- 波食台
- 岩礁
- 海食洞
- 岩門
- 潮吹穴
- 覗穴群
- 潮流・渦流



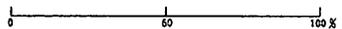
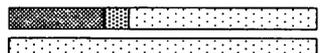
特殊地学景観

- 節理
- 岩脈
- 湧泉群



その他

- 上記以外の地形
- 顕著な自然現象地形



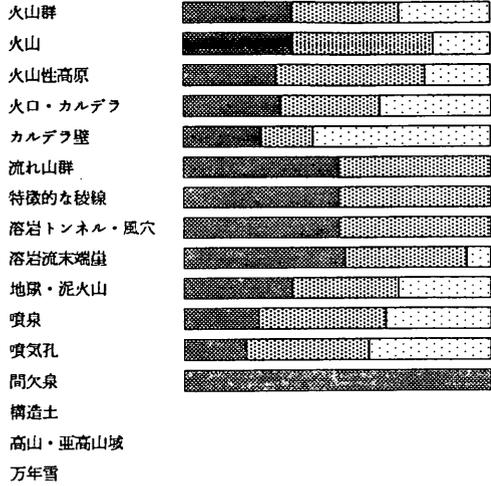
凡例

- 一般観光
- レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

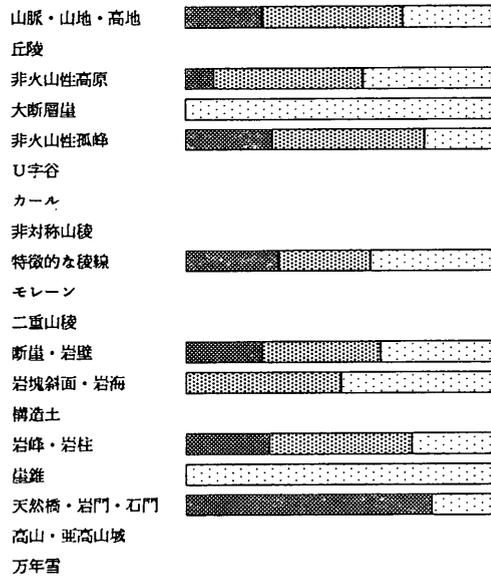
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 四国ブロック

陸景

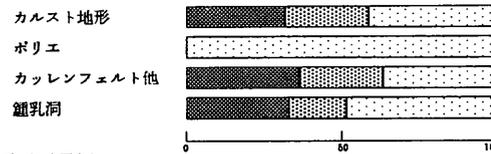
火山景観



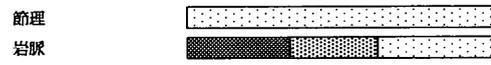
山地景観



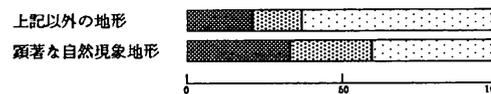
石灰岩景観



特殊地学景観

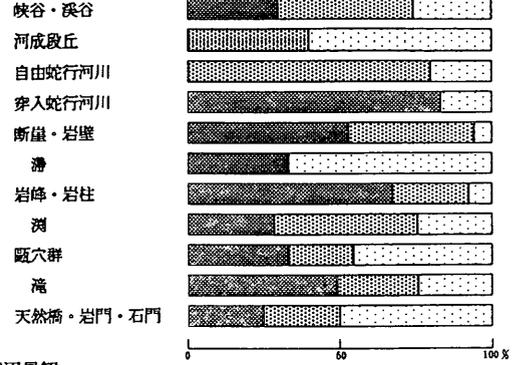


その他

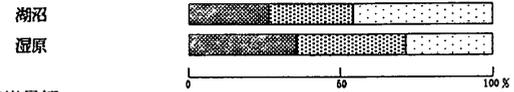


水景

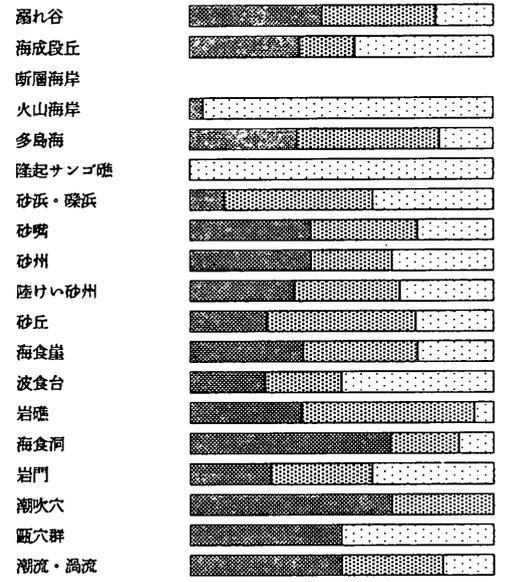
河川景観



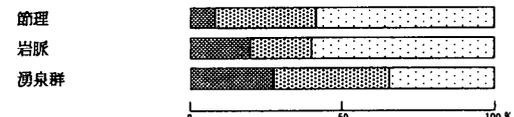
湖沼景観



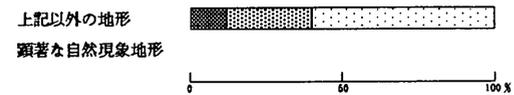
海岸景観



特殊地学景観



その他



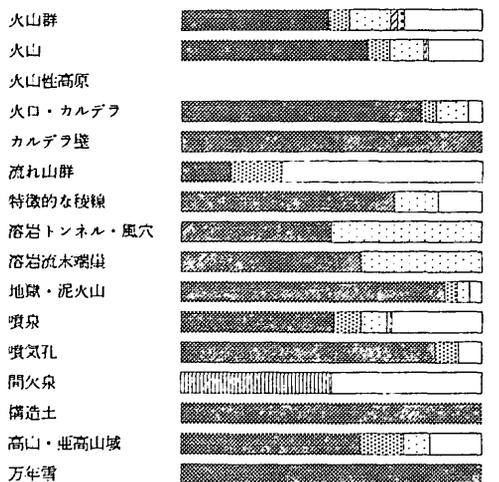
凡例

- 一般観光
- ▨ レクリエーション利用
- 自然学習、自然探勝

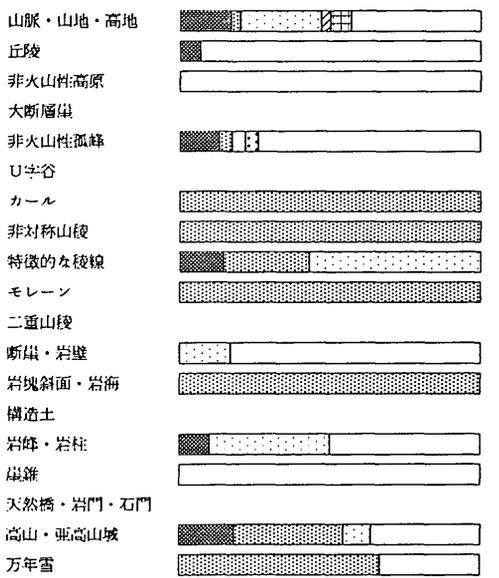
利用の現状に係わる集計（利用形態別） 九州ブロック

陸景

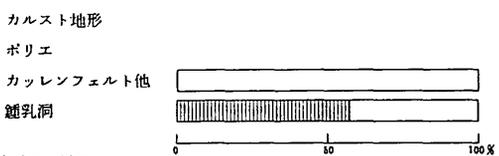
火山景観



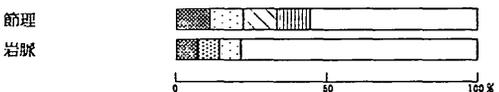
山地景観



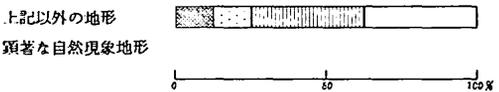
石灰岩景観



特殊地学景観



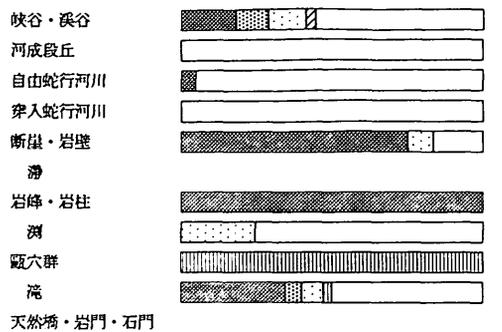
その他



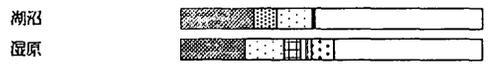
合計

水景

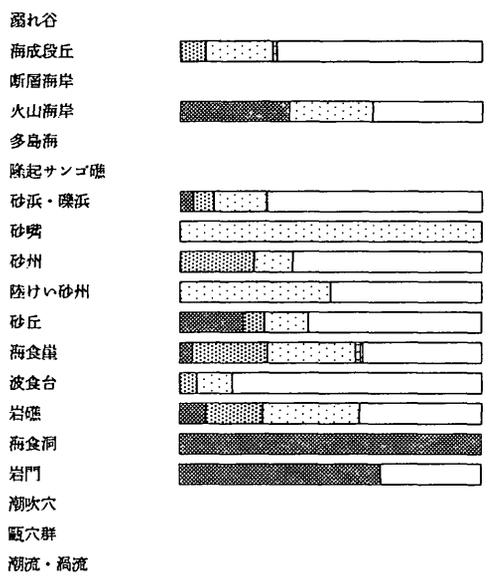
河川景観



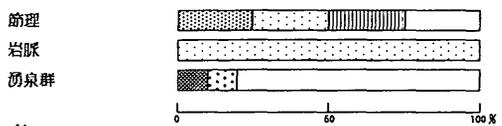
湖沼景観



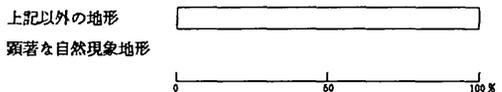
海岸景観



特殊地学景観



その他

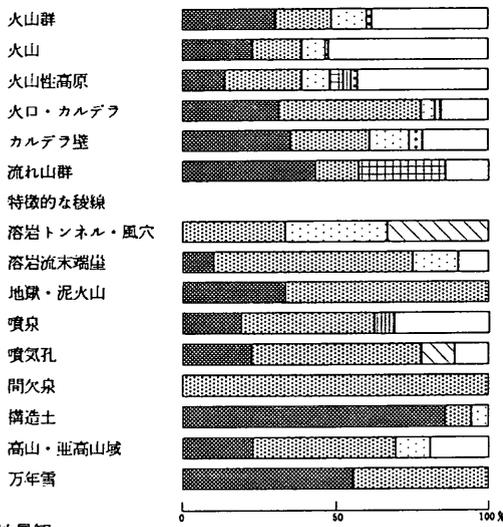


凡例

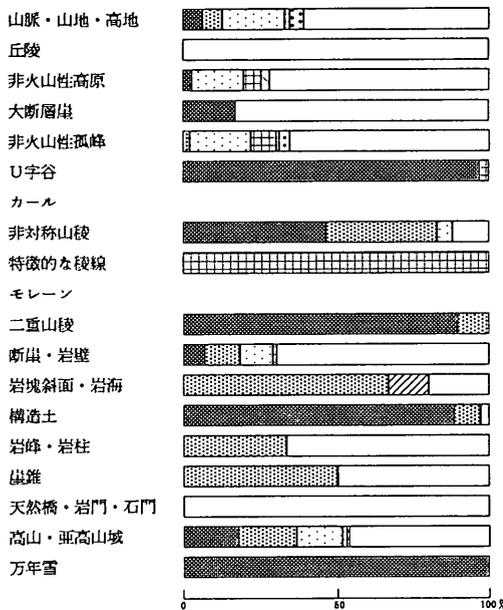
- 国立公園
- 天然記念物 (国)
- 国定公園
- 天然記念物 (県)
- 県立自然公園
- その他
- 自環地域 (国)
- 自環地域 (県)
- 自然公園等の外

陸景

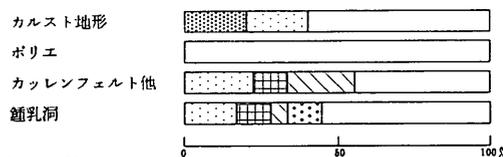
火山景観



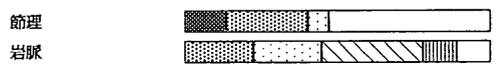
山地景観



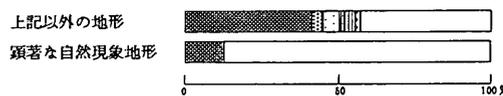
石灰岩景観



特殊地学景観



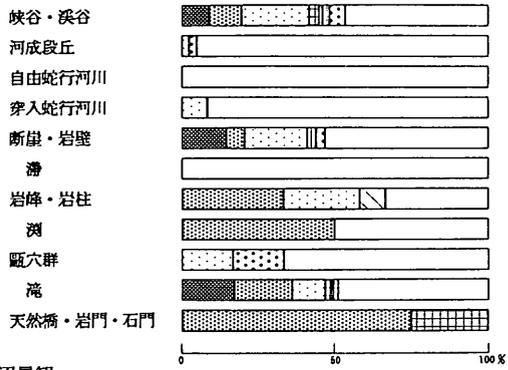
その他



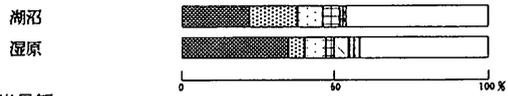
合計

水景

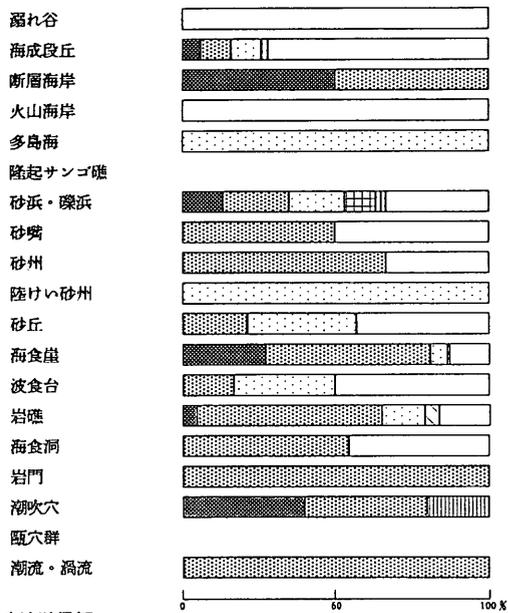
河川景観



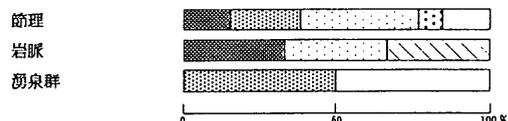
湖沼景観



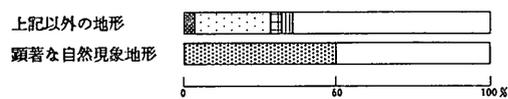
海岸景観



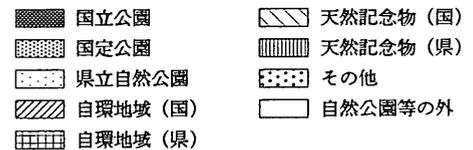
特殊地学景観



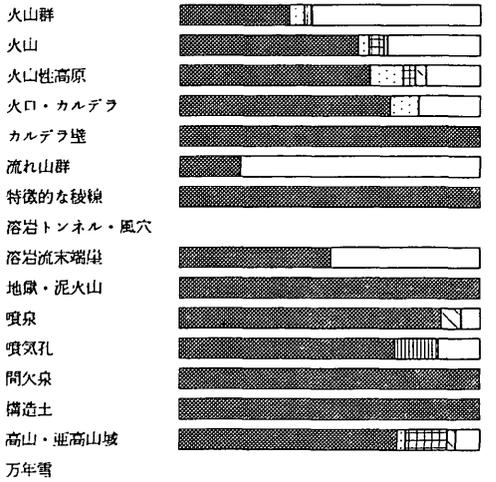
その他



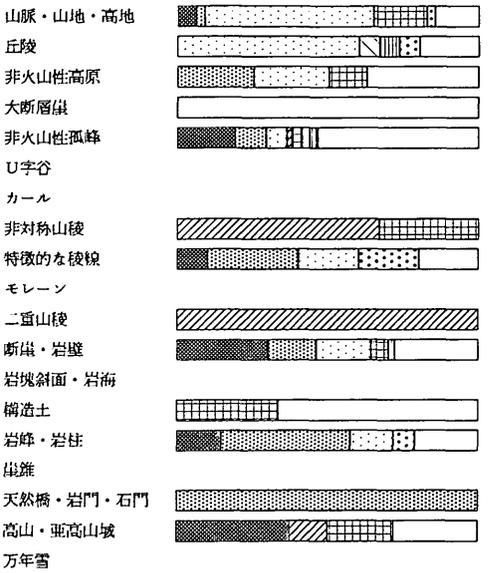
凡例



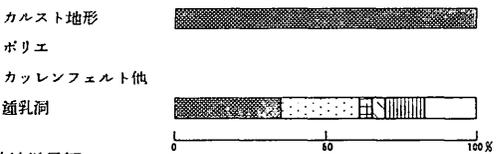
陸景
火山景観



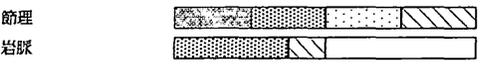
山地景観



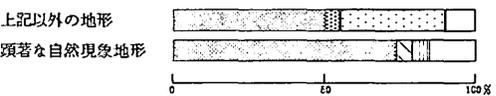
石灰岩景観



特殊地学景観

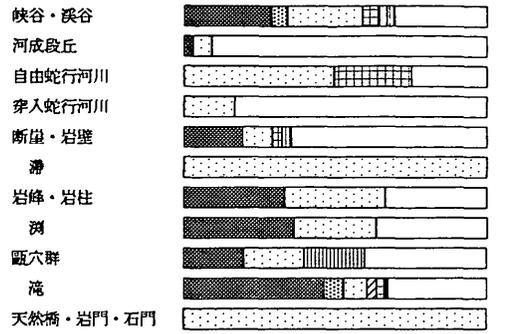


その他

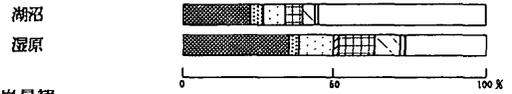


合計

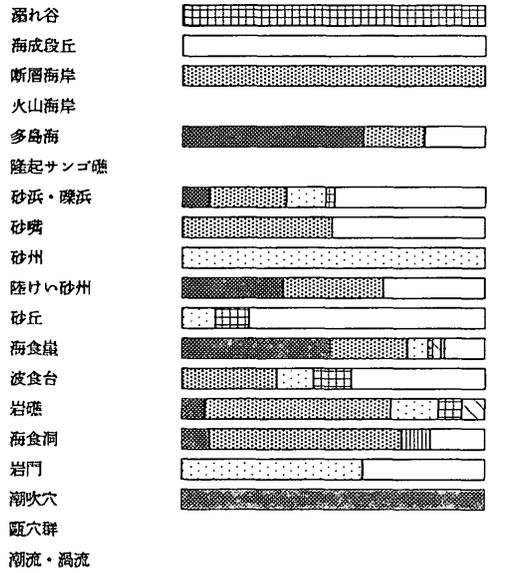
水景
河川景観



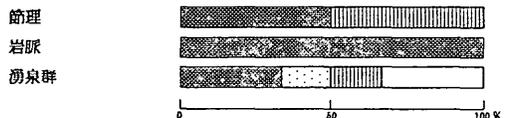
湖沼景観



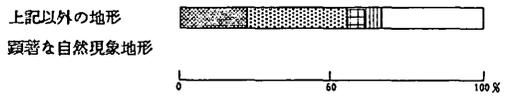
海岸景観



特殊地学景観



その他



凡例

- | | |
|----------|-----------|
| 国立公園 | 天然記念物 (国) |
| 国定公園 | 天然記念物 (県) |
| 県立自然公園 | その他 |
| 自環地域 (国) | 自然公園等の外 |
| 自環地域 (県) | |

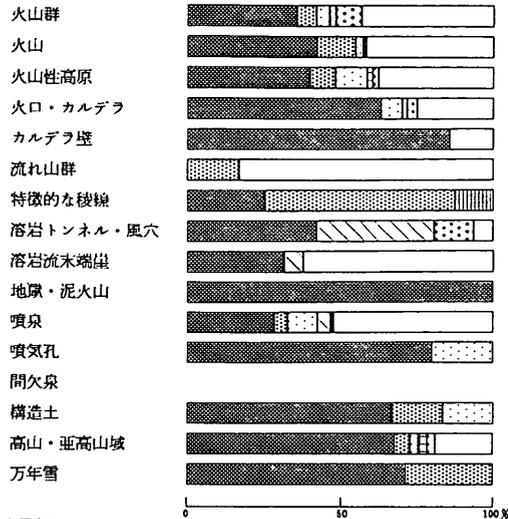
陸景

合計

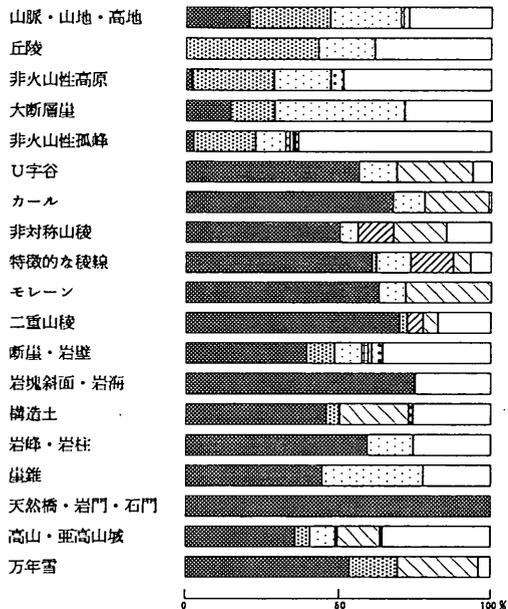
水景

合計

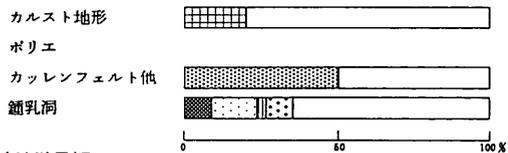
火山景観



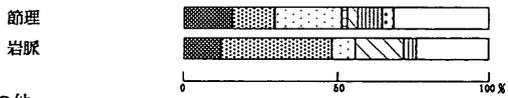
山地景観



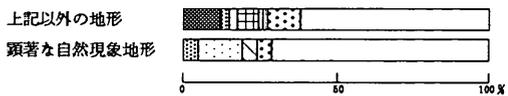
石灰岩景観



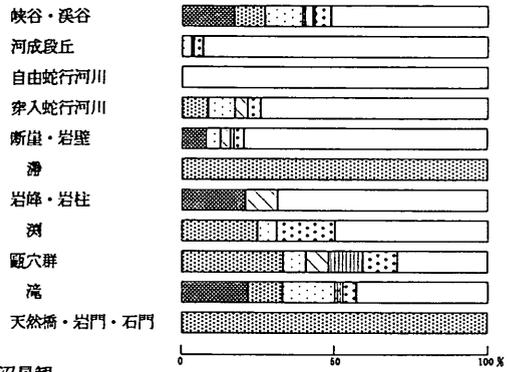
特殊地学景観



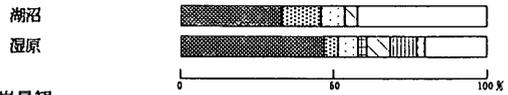
その他



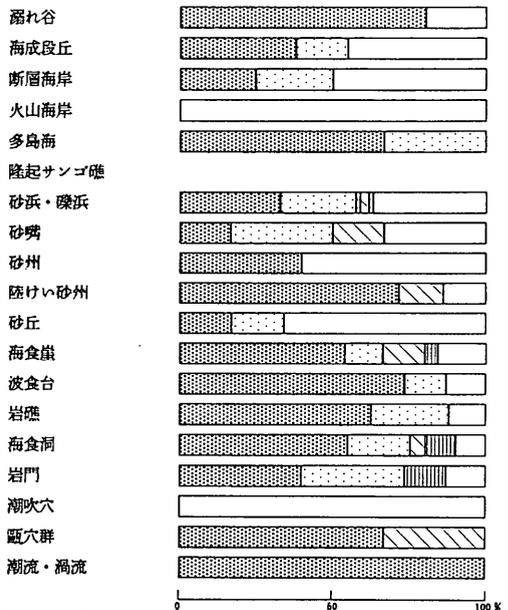
河川景観



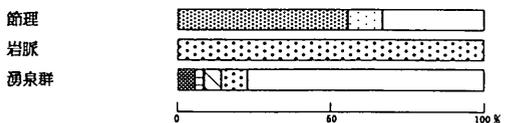
湖沼景観



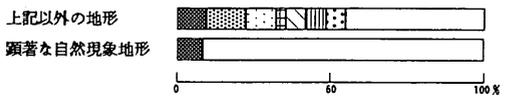
海岸景観



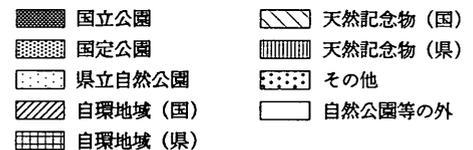
特殊地学景観



その他

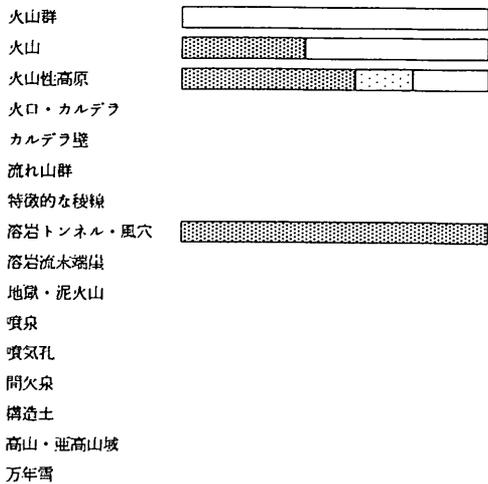


凡例

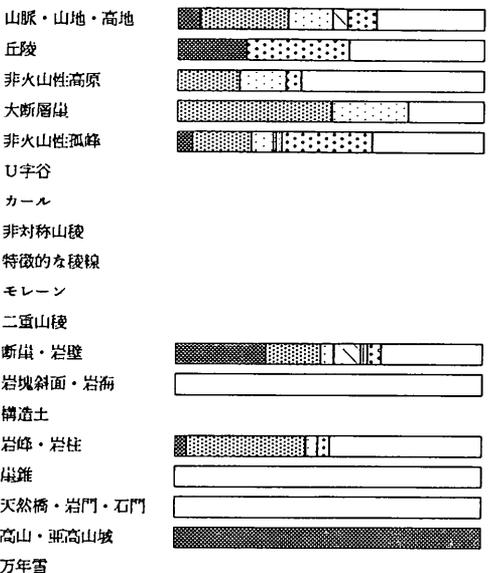


陸景

火山景観



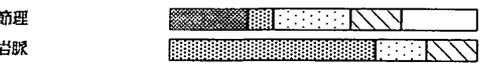
山地景観



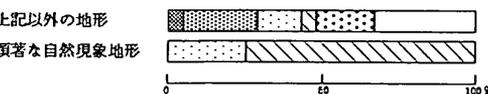
石灰岩景観



特殊地学景観



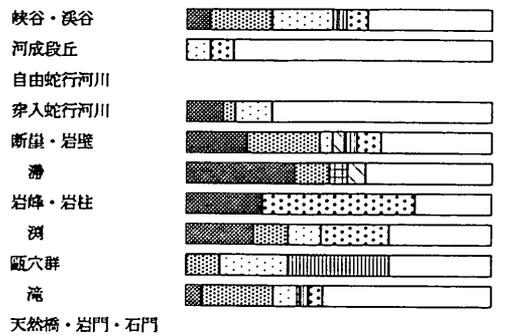
その他



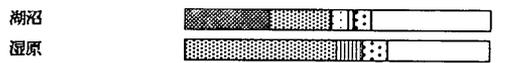
合計

水景

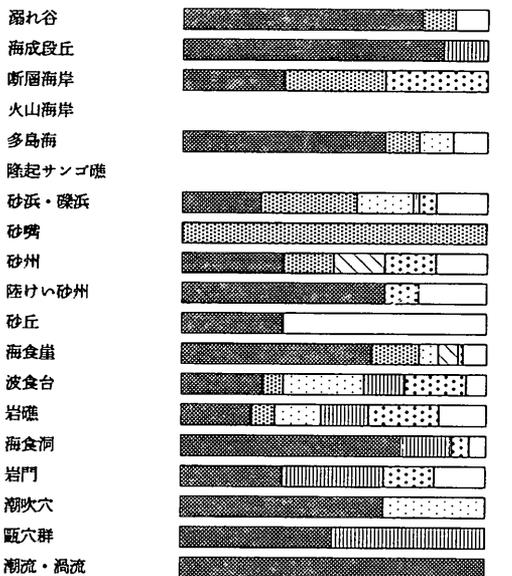
河川景観



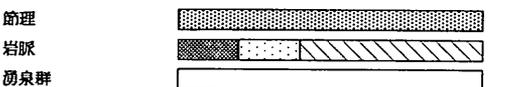
湖沼景観



海岸景観



特殊地学景観



その他

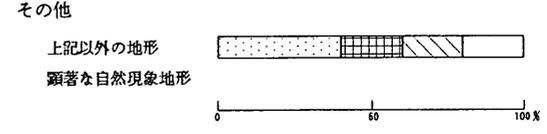
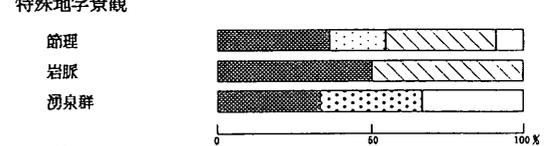
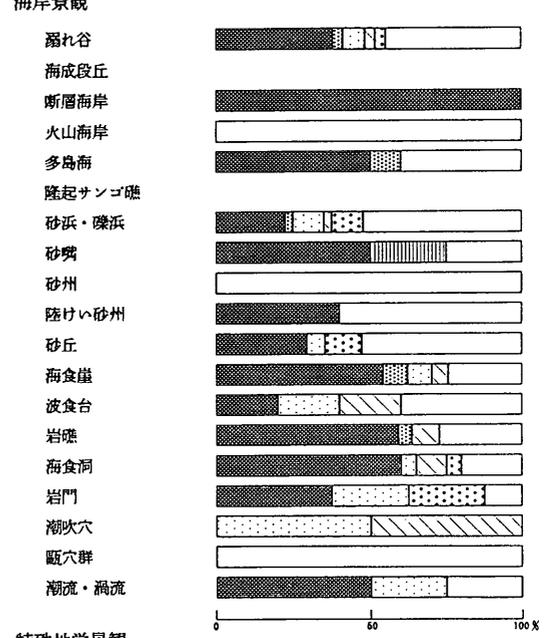
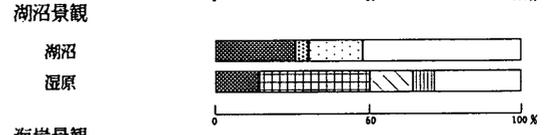
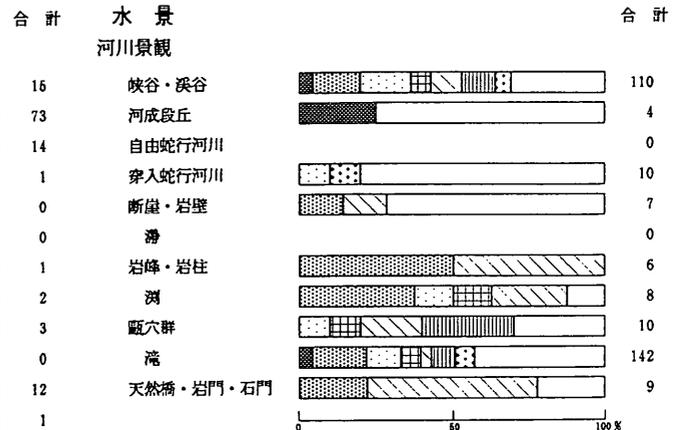
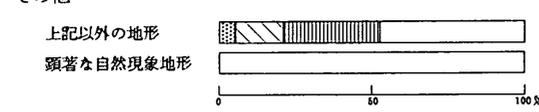
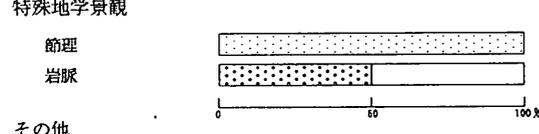
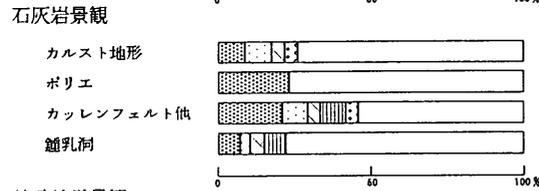
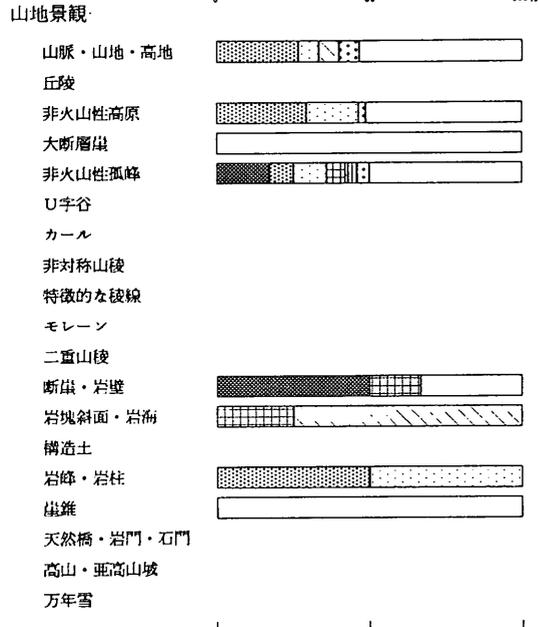
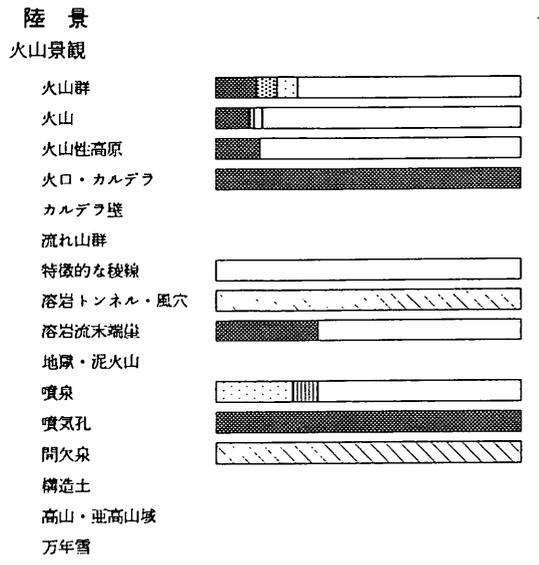


凡例

- | | |
|----------|-----------|
| 国立公園 | 天然記念物 (国) |
| 国定公園 | 天然記念物 (県) |
| 県立自然公園 | その他 |
| 自環地域 (国) | 自然公園等の外 |
| 自環地域 (県) | |

自然景観資源の保護の現状

近畿ブロック



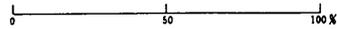
自然景観資源の保護の現状

中国ブロック

陸景

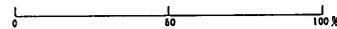
火山景観

| | |
|-----------|---|
| 火山群 | 0 |
| 火山 | 0 |
| 火山性高原 | 0 |
| 火口・カルデラ | 0 |
| カルデラ壁 | 0 |
| 流れ山群 | 0 |
| 特徴的な稜線 | 0 |
| 溶岩トンネル・風穴 | 0 |
| 溶岩流木端崖 | 0 |
| 地獄・泥火山 | 0 |
| 噴泉 | 0 |
| 噴気孔 | 0 |
| 間欠泉 | 0 |
| 構造土 | 0 |
| 高山・亜高山域 | 0 |
| 万年雪 | 0 |



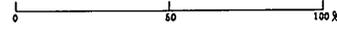
山地景観

| | |
|-----------|-----|
| 山脈・山地・高地 | 23 |
| 丘陵 | 1 |
| 非火山性高原 | 3 |
| 大断層崖 | 1 |
| 非火山性孤峰 | 109 |
| U字谷 | 0 |
| カーブ | 0 |
| 非対称山稜 | 0 |
| 特徴的な稜線 | 0 |
| モレーン | 0 |
| 二重山稜 | 4 |
| 断崖・岩壁 | 13 |
| 岩塊斜面・岩海 | 1 |
| 構造土 | 1 |
| 岩峰・岩柱 | 12 |
| 崖壁 | 0 |
| 天然橋・岩門・石門 | 0 |
| 高山・亜高山域 | 0 |
| 万年雪 | 0 |



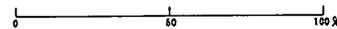
石灰岩景観

| | |
|-----------|----|
| カルスト地形 | 3 |
| ポリエ | 5 |
| カッレンフェルト他 | 6 |
| 鍾乳洞 | 36 |



特殊地学景観

| | |
|----|---|
| 節理 | 0 |
| 岩脈 | 0 |



その他

| | |
|-----------|---|
| 上記以外の地形 | 9 |
| 顕著な自然現象地形 | 3 |

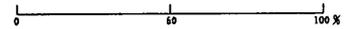


合計

水景

河川景観

| | |
|-----------|-----|
| 峡谷・溪谷 | 70 |
| 河成段丘 | 10 |
| 自由蛇行河川 | 0 |
| 穿入蛇行河川 | 4 |
| 断崖・岩壁 | 5 |
| 澗 | 1 |
| 岩峰・岩柱 | 1 |
| 瀧 | 7 |
| 滝穴群 | 7 |
| 滝 | 187 |
| 天然橋・岩門・石門 | 0 |



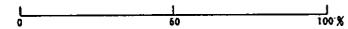
湖沼景観

| | |
|----|---|
| 湖沼 | 7 |
| 湿原 | 2 |



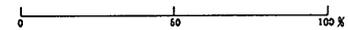
海岸景観

| | |
|--------|-----|
| 溺れ谷 | 8 |
| 海成段丘 | 4 |
| 断層海岸 | 3 |
| 火山海岸 | 0 |
| 多島海 | 13 |
| 隆起サンゴ礁 | 0 |
| 砂浜・磯浜 | 64 |
| 砂嘴 | 3 |
| 砂州 | 3 |
| 陸けい砂州 | 21 |
| 砂丘 | 1 |
| 海食崖 | 112 |
| 波食台 | 8 |
| 岩礁 | 7 |
| 海食洞 | 10 |
| 岩門 | 14 |
| 潮吹穴 | 5 |
| 滝穴群 | 0 |
| 潮流・渦流 | 6 |



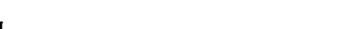
特殊地学景観

| | |
|-----|---|
| 節理 | 5 |
| 岩脈 | 1 |
| 湧泉群 | 0 |



その他

| | |
|-----------|----|
| 上記以外の地形 | 15 |
| 顕著な自然現象地形 | 3 |

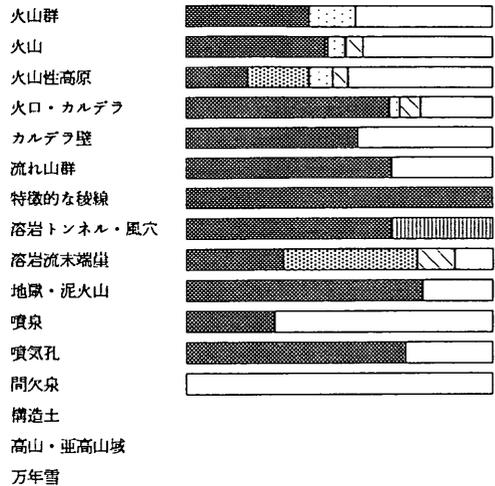


凡例

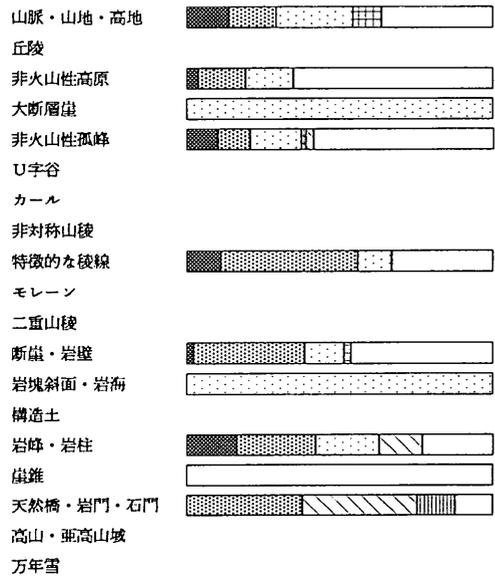
| | |
|---------|----------|
| 国立公園 | 天然記念物(国) |
| 国定公園 | 天然記念物(県) |
| 県立自然公園 | その他 |
| 自環地域(国) | 自然公園等の外 |
| 自環地域(県) | |

陸景

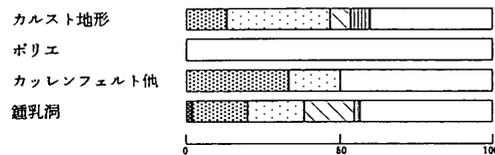
火山景観



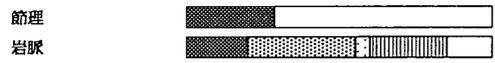
山地景観



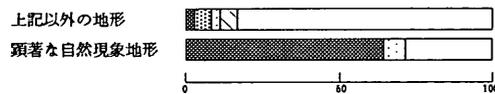
石灰岩景観



特殊地学景観



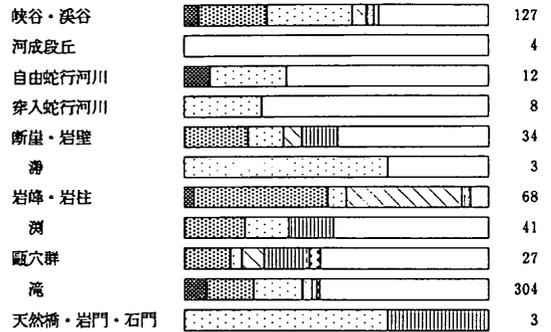
その他



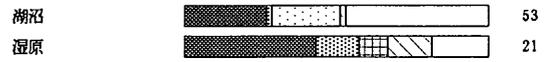
合計

水景

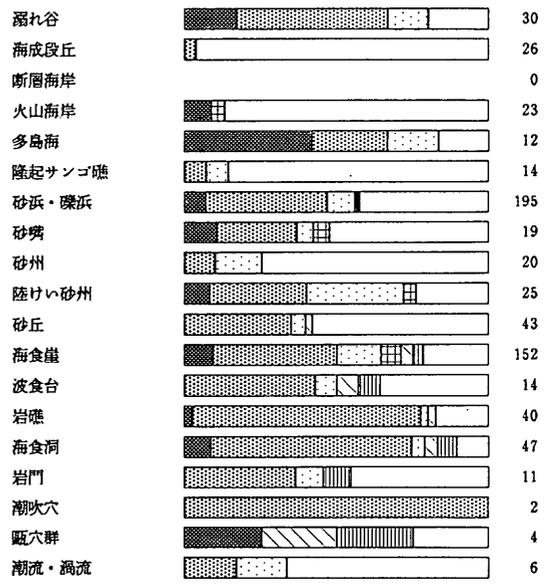
河川景観



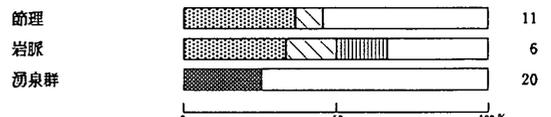
湖沼景観



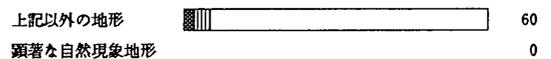
海岸景観



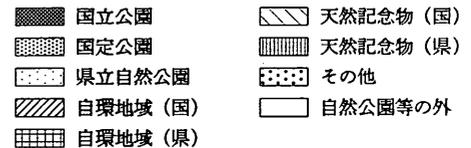
特殊地学景観



その他



凡例



都道府県別自然景観資源数

都道府県別自然景観資源数(1)

| 類型 | 自然景観資源名 | 北海道 | 青森 | 岩手 | 宮城 | 秋田 | 山形 | 福島 | 茨城 | 栃木 | 群馬 | 埼玉 | 千葉 | | |
|----------|---------|------------|------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 43 | 6 | 11 | 7 | 16 | 11 | 8 | - | 6 | 14 | - | - | |
| | | 火山 | 151 | 53 | 54 | 33 | 25 | 39 | 44 | - | 41 | 116 | - | - | |
| | | 火山性高原 | - | 7 | 1 | 2 | 5 | 17 | 11 | - | 2 | 20 | - | - | |
| | | 火山口・カルデラ | 66 | 11 | 7 | 8 | 10 | 2 | 6 | - | 2 | 20 | - | - | |
| | | カルデラ壁 | 3 | 4 | 3 | 1 | 4 | 8 | 2 | - | - | - | - | - | |
| | | 流れ山群 | 6 | 1 | 1 | - | 1 | - | 3 | - | - | 4 | - | - | |
| | | 特徴的な稜線 | 7 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | |
| | | 溶岩・トンネル・風穴 | 2 | - | - | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | |
| | | 溶岩流・崩崖 | 5 | 1 | 9 | 4 | - | 2 | 4 | - | 2 | 10 | - | - | |
| | | 地獄・泥火山 | 25 | 2 | - | 2 | 2 | - | - | - | - | 2 | - | - | |
| | | 噴泉 | 67 | 1 | 3 | - | 3 | 7 | 1 | - | 4 | 5 | - | - | |
| | | 噴気孔 | 13 | - | 1 | - | 5 | 1 | - | - | 5 | - | - | - | |
| | | 噴出欠 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | |
| | | 噴出壺 | 6 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | |
| | | 噴出山 | 35 | - | 6 | 4 | 6 | 30 | 43 | 2 | - | 8 | 24 | - | |
| | | 噴出山 | 3 | - | - | - | - | 37 | 1 | - | - | - | - | - | |
| | | 噴出山 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 28 | 19 | 3 | 8 | 8 | 11 | 2 | 5 | 5 | 4 | - |
| | | | | 丘陵 | 15 | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 8 |
| | | | | 非火山性高原 | 1 | 3 | 14 | 5 | 1 | 4 | 9 | - | 1 | 5 | - |
| 断崖 | - | | | - | 1 | - | - | 3 | 2 | - | - | - | - | | |
| 断崖・孤峰 | 23 | | | 27 | 10 | 66 | 42 | 18 | 64 | 4 | 10 | 88 | - | | |
| U字谷 | - | | | - | - | - | - | 93 | - | - | - | - | - | | |
| カーナル | 34 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 非対称な稜線 | 5 | | | - | - | 5 | 2 | 34 | - | - | - | 3 | - | | |
| 特徴的な稜線 | 7 | | | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 2 | 3 | | |
| モレーン | 6 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 重山稜 | - | | | - | - | - | - | 19 | - | - | - | 1 | - | | |
| 断崖・岩壁 | 6 | | | 3 | 70 | 29 | 1 | 46 | - | 7 | 8 | 19 | 2 | | |
| 断崖・斜面・岩海 | 2 | | | 1 | 2 | 3 | - | 7 | - | - | - | - | - | | |
| 断崖・岩柱 | 10 | | | 1 | - | 1 | 1 | 32 | 1 | - | - | 3 | - | | |
| 断崖・岩柱 | 1 | | | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 10 | - | | |
| 断崖・岩柱 | 1 | | | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | | |
| 断崖・岩柱 | 1 | | | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 7 | - | | |
| 断崖・岩柱 | 44 | | | - | 21 | 18 | - | 79 | 2 | - | 2 | 36 | 2 | | |
| 断崖・岩柱 | 3 | | | - | - | - | - | 10 | - | - | - | - | - | | |
| 水 | 河川景観 | | | 峡谷・渓谷 | 64 | 18 | 14 | 40 | 29 | 25 | 54 | 6 | 19 | 16 | 12 |
| | | 成段丘陵 | 4 | 4 | 46 | 4 | 62 | 5 | 4 | 6 | - | 22 | 3 | | |
| | | 成段蛇行河川 | 21 | - | 2 | 4 | 8 | - | - | - | - | 3 | 2 | | |
| | | 成段蛇行河川 | 3 | 3 | 6 | - | 1 | 1 | 1 | 2 | - | 3 | 2 | | |
| | | 断崖・岩壁 | 12 | 7 | 4 | 7 | 1 | 13 | 2 | 2 | 4 | 15 | 3 | | |
| | | 断崖・岩壁 | - | 1 | - | - | - | 2 | 1 | - | - | - | 2 | | |
| | | 断崖・岩柱 | 3 | 4 | 2 | 1 | - | 6 | 2 | - | 1 | - | - | | |
| | | 断崖・岩柱 | 4 | 4 | - | - | - | 4 | - | 3 | 4 | - | - | | |
| | | 断崖・岩柱 | 1 | - | - | 1 | - | 4 | 1 | - | 1 | 3 | 1 | | |
| | | 断崖・岩柱 | 71 | 30 | 93 | 55 | 87 | 230 | 20 | 7 | 64 | 107 | 13 | | |
| 景 | 湖沼景観 | 湖沼 | 230 | 40 | 84 | 45 | 30 | 34 | 23 | 19 | 11 | 15 | 10 | | |
| | | 湿原 | 53 | 17 | 88 | 10 | 27 | 43 | 29 | 10 | 9 | 29 | - | | |
| | | 湖沼 | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | 71 | 22 | 18 | 3 | 7 | - | - | 1 | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | 11 | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | - | - | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | 89 | 21 | 10 | 14 | 2 | 1 | 11 | 21 | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 湖沼 | 8 | 3 | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | | |
| 景 | 海岸景観 | 断崖 | 4 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | 14 | 7 | - | - | 5 | 1 | - | 7 | - | - | 1 | | |
| | | 断崖 | 122 | 15 | 39 | 70 | 5 | - | 3 | 6 | - | - | 20 | | |
| | | 断崖 | 17 | 2 | 1 | - | 2 | - | 1 | 2 | - | - | 7 | | |
| | | 断崖 | 57 | 26 | 6 | 7 | 3 | - | 1 | 2 | - | - | 8 | | |
| | | 断崖 | 1 | 7 | - | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - | 7 | | |
| | | 断崖 | 3 | 1 | - | 2 | 1 | 1 | - | 4 | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | 1 | 1 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 水 | 特殊地学景観 | 断崖 | 3 | 5 | 1 | - | 2 | 2 | 3 | - | 1 | - | - | | |
| | | 断崖 | 3 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | 19 | - | - | 1 | 1 | 2 | - | 1 | 2 | 2 | 1 | | |
| 水 | その他 | 断崖 | 1 | 1 | 1 | 3 | - | - | 22 | 3 | - | 4 | 5 | | |
| | | 断崖 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 自然景観資源合計 | | 1548 | 387 | 668 | 489 | 420 | 961 | 383 | 119 | 220 | 625 | 84 | 167 | | |

都道府県別自然景観資源数(2)

| 類型 | 自然景観資源名 | 東京 | 神奈川 | 新潟 | 富山 | 石川 | 福井 | 山梨 | 長野 | 岐阜 | 静岡 | 愛知 | 三重 | |
|-----------|-----------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | 16 | 1 | 9 | 2 | 2 | 1 | 4 | 17 | 4 | 7 | - | - |
| | 火山 | 71 | 11 | 28 | 6 | 5 | 2 | 38 | 96 | 30 | 22 | - | - | |
| | 火山性高原 | 1 | 3 | 3 | 8 | 2 | 1 | 1 | 25 | 5 | 3 | - | - | |
| | 火山口・カルデラ | 25 | 6 | 6 | - | - | - | 8 | 30 | 10 | 5 | - | - | |
| | カルデラ壁 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | 5 | - | - | - | - | |
| | 流れ山群 | - | 1 | 3 | 1 | - | - | 1 | 1 | 1 | - | - | - | |
| | 特徴的な稜線 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 5 | 2 | - | - | |
| | 溶石・溶岩・風穴 | - | - | 1 | - | - | - | - | 13 | - | - | 5 | - | |
| | 溶石・溶岩・崖 | - | 2 | 5 | - | - | - | - | 1 | 10 | - | - | - | |
| | 溶石・溶岩・火山 | - | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | |
| | 噴泉 | 4 | 1 | 6 | 39 | 1 | - | 28 | 35 | 2 | - | - | - | |
| | 噴泉孔 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | |
| | 間欠泉 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - | |
| | 構造土 | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 3 | - | - | - | |
| 高山・亜高山域 | - | - | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | 21 | 4 | - | - | - | | |
| 万年雪 | - | - | 2 | - | 1 | - | - | - | 4 | - | - | - | | |
| 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 2 | 2 | 18 | 3 | 1 | 5 | 14 | 16 | 12 | 9 | 13 | 10 |
| | 丘陵 | 2 | - | 1 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 10 | 2 |
| | 非火山性高原 | - | - | 2 | 1 | 2 | - | 2 | 23 | 4 | 4 | - | 11 | 3 |
| | 大断層 | - | 1 | 1 | 1 | - | - | 3 | - | 2 | 2 | - | 1 | 2 |
| | 非火山性孤峰 | - | - | 31 | 6 | 10 | 6 | 2 | 20 | 15 | 28 | 36 | 15 | - |
| | U字谷 | - | - | - | 7 | - | - | - | 5 | - | - | - | - | - |
| | カーネル | - | - | - | 46 | - | - | - | 1 | 26 | 4 | 13 | - | - |
| | 非対称山稜線 | - | - | 5 | 5 | - | - | - | 10 | 2 | 2 | - | - | - |
| | 特徴的な稜線 | - | 4 | 2 | 4 | - | - | - | 5 | 34 | 5 | 9 | - | - |
| | モレノ | - | - | - | 34 | - | - | - | 7 | - | - | - | - | - |
| | 重山稜 | - | - | 6 | 4 | - | - | - | 3 | 14 | 1 | 8 | - | - |
| | 断崖・岩壁 | 11 | - | 12 | 4 | - | 1 | 8 | 51 | 1 | 1 | 7 | 12 | |
| | 断崖・斜面・岩海 | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | 2 | - | - | - | |
| | 岩塊・岩柱 | 1 | - | 5 | 2 | - | 1 | 7 | 26 | - | 6 | - | 18 | |
| 岩壁 | - | - | - | 1 | - | - | - | 3 | 4 | - | - | - | | |
| 自然橋・岩門・石門 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | | |
| 高山・亜高山域 | 1 | - | 14 | 28 | 5 | 9 | 2 | 49 | 16 | 1 | - | - | | |
| 万年雪 | - | - | 10 | 22 | - | - | - | 4 | - | - | - | - | | |
| 石灰岩景観 | カルスト地形 | 2 | - | 2 | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | - | 2 | |
| | ポリエンフェルト他 | - | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 鍾乳洞 | 5 | - | 5 | - | - | 1 | 2 | 3 | 12 | 4 | 4 | 9 | |
| 特殊地学景観 | 節理 | - | - | 2 | 3 | 8 | - | 1 | 7 | 17 | 5 | 5 | 1 | |
| | 岩脈 | - | - | 3 | - | 2 | - | 4 | 2 | - | - | 11 | - | |
| その他 | 上記以外の地形 | 9 | 2 | 2 | - | 3 | 1 | 15 | 33 | 3 | 10 | 7 | - | |
| | 顕著な自然現象地形 | 14 | - | 3 | 1 | - | - | 2 | 5 | 6 | 2 | 2 | - | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・渓谷 | 6 | 3 | 35 | 23 | 3 | 6 | 40 | 80 | 27 | 21 | 20 | 40 |
| | 河成段丘 | - | 2 | 23 | 25 | 5 | 3 | 10 | 41 | 1 | 20 | - | 6 | |
| | 自由蛇行河川 | 1 | - | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | |
| | 侵入蛇行河川 | - | - | 6 | - | - | - | 7 | - | 2 | 6 | - | 1 | |
| | 断崖・岩壁 | 3 | - | 1 | 10 | 2 | - | 5 | 66 | 1 | - | 1 | 7 | |
| | 滝 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 7 | |
| | 岩峰・岩柱 | - | - | - | 2 | - | - | 2 | 13 | - | - | - | - | |
| | 湖 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | - | 4 | - | - | 26 | 3 | |
| | 湖穴群 | - | - | 1 | 1 | 6 | 1 | 1 | 4 | 2 | - | 10 | 1 | |
| | 滝 | 49 | 24 | 204 | 26 | 26 | 22 | 35 | 121 | 100 | 25 | 35 | 98 | |
| | 天然橋・岩門・石門 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | |
| 湖沼景観 | 湖沼 | 7 | 4 | 35 | 20 | 16 | 11 | 6 | 49 | 11 | 11 | - | 22 | |
| | 湿原 | - | 1 | 15 | 31 | - | 1 | - | 29 | 15 | 1 | 5 | - | |
| 海岸景観 | 溺れ谷 | - | 1 | - | - | 4 | - | - | - | - | 1 | - | 18 | |
| | 成段丘 | 1 | 3 | 18 | 3 | 16 | 1 | - | - | - | 2 | - | 1 | |
| | 断崖海岸 | - | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | 2 | - | - | |
| | 多島海岸 | 3 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 6 | |
| | 隆起サンゴ礁 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | |
| | 砂浜・礫浜 | 10 | 18 | 33 | 6 | 1 | 5 | - | - | - | 15 | 12 | 16 | |
| | 砂州 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1 | - | |
| | 砂州 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | |
| | 砂丘 | - | 1 | 9 | 8 | 9 | 1 | - | - | - | 8 | - | 6 | |
| | 海食崖 | 39 | 6 | 26 | 3 | 8 | 6 | - | - | - | 8 | 11 | 35 | |
| | 波食台 | - | 7 | 2 | - | 4 | 1 | - | - | - | 3 | 5 | 1 | |
| | 岩礁 | 1 | 1 | 4 | - | - | 3 | - | - | - | - | 1 | 1 | |
| | 岩洞 | 1 | 2 | 8 | 1 | 2 | 4 | - | - | - | - | 2 | 6 | |
| 岩門 | 1 | 1 | 6 | - | 2 | 1 | - | - | - | 2 | 2 | 2 | | |
| 湖穴群 | 1 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 2 | | |
| 潮流・渦流 | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | - | - | - | - | 3 | 2 | - | 3 | - | 1 | - | - | |
| | 岩脈 | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | |
| その他 | 湧泉群 | - | - | 2 | 19 | - | - | 2 | 4 | - | 7 | - | - | |
| | 上記以外の地形 | 4 | 1 | 7 | - | 2 | - | 3 | 12 | - | 1 | 4 | - | |
| 顕著な自然現象地形 | - | - | 1 | 2 | - | - | 3 | 3 | 3 | - | 3 | - | | |
| 自然景観資源合計 | | 296 | 115 | 655 | 429 | 162 | 104 | 284 | 1035 | 335 | 292 | 243 | 355 | |

都道府県別自然景観資源数(3)

| 類型 | 自然景観資源名 | 滋賀 | 京都 | 大阪 | 兵庫 | 奈良 | 和歌山 | 鳥取 | 島根 | 岡山 | 広島 | 山口 | 徳島 | | | |
|----------|-----------|----------|-------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | - | - | - | 2 | - | - | 2 | 4 | - | - | 9 | - | | |
| | | 火山 | - | 2 | - | 3 | - | - | 28 | 25 | - | - | 20 | - | | |
| | | 火山性高原 | - | 1 | - | 13 | - | - | 5 | 1 | 1 | - | 7 | - | | |
| | | 火山性カルデラ | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | | |
| | | 火山性カルデラ壁 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 流れる山群 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 特徴的な稜線 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | | |
| | | 溶岩流 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 溶岩流末端崖 | - | - | - | 1 | - | - | - | 2 | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | 11 | - | 1 | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 噴気孔 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 6 | 3 | 3 | 2 | 6 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 | 3 | | |
| | | 丘陵 | - | 3 | 3 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 火山性高原 | - | 8 | - | 7 | - | 2 | 4 | 12 | 2 | 14 | 9 | 1 | | |
| | | 断崖 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | 27 | 43 | 34 | 45 | 22 | 12 | 21 | 32 | 13 | 20 | 11 | 9 | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 断崖 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 水 | 石灰岩景観 | カルスト地形 | 7 | - | - | - | - | 2 | - | - | 15 | 3 | 4 | - |
| | | | | ポリエレンフェルト他 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 10 | - |
| 鍾乳洞 | 3 | | | 1 | - | - | - | 4 | 1 | - | 14 | 5 | 4 | - | | |
| 鍾乳洞 | 3 | | | 1 | - | - | - | 4 | 1 | - | 105 | 6 | 11 | 14 | | |
| 鍾乳洞 | 3 | | | - | - | 6 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | | |
| 鍾乳洞 | 4 | | | - | - | 1 | - | - | - | 1 | - | 1 | - | - | | |
| 鍾乳洞 | 7 | | | 2 | 1 | - | 3 | 5 | - | 2 | 3 | 14 | - | 5 | | |
| 鍾乳洞 | 1 | | | 3 | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - | 3 | | |
| 景 | 河川景観 | | | 峡谷・溪谷 | 9 | 12 | 5 | 39 | 17 | 20 | 32 | 8 | 23 | 18 | 15 | 18 |
| | | | | 河成段丘 | 3 | 1 | - | - | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 4 |
| | | | | 河成段丘 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | | 河成段丘 | 1 | - | - | - | 8 | 15 | - | 7 | - | 2 | 1 | 2 |
| | | | | 河成段丘 | 1 | - | - | 4 | 6 | 6 | 2 | 3 | - | 2 | - | 4 |
| | | | | 河成段丘 | 2 | - | - | - | 2 | 5 | - | - | - | - | - | - |
| | | | | 河成段丘 | - | - | - | 2 | 1 | - | - | - | - | 3 | - | - |
| | | | | 河成段丘 | 1 | - | - | - | 3 | 2 | - | 1 | - | 4 | 1 | 1 |
| | | | | 河成段丘 | 1 | - | - | 4 | 3 | 3 | - | 2 | 4 | 3 | - | 2 |
| | | | | 河成段丘 | 39 | 6 | 7 | 90 | 73 | 99 | 25 | 9 | 47 | 31 | 20 | 54 |
| | | 河成段丘 | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 4 | - | - | | |
| | | 河成段丘 | 16 | 4 | 1 | 1 | 4 | 4 | 5 | 17 | - | - | 1 | 2 | | |
| | | 湖沼景観 | 7 | 1 | - | 3 | - | - | 3 | 1 | 5 | 3 | - | 2 | | |
| | | 景 | 海岸景観 | 溺れ谷 | - | 3 | - | 6 | - | 1 | - | 21 | 1 | 1 | 4 | - |
| | | | | 海成段丘 | - | - | - | - | - | 5 | - | - | - | - | - | - |
| | | | | 海成段丘 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | 2 | - | 1 |
| | | | | 海成段丘 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| | | | | 海成段丘 | - | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 1 | 4 | 1 | 4 | 3 |
| 海成段丘 | 13 | | | 5 | - | 5 | - | 12 | 10 | 10 | 2 | 4 | 13 | 5 | | |
| 海成段丘 | 1 | | | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | 1 | | |
| 海成段丘 | 1 | | | 2 | - | - | - | 2 | - | - | 1 | - | - | - | | |
| 海成段丘 | - | | | 1 | - | - | - | 3 | - | 10 | 10 | 2 | 3 | 3 | | |
| 海成段丘 | 1 | | | 9 | - | 4 | - | 12 | 11 | 12 | 7 | 1 | 4 | 2 | | |
| 海成段丘 | - | | | 1 | - | - | - | 11 | - | 3 | - | - | 1 | - | | |
| 海成段丘 | 1 | | | - | 3 | 1 | - | 5 | - | 18 | - | 1 | 1 | - | | |
| 海成段丘 | - | | | - | - | 6 | - | 3 | 6 | 10 | 1 | 1 | 1 | - | | |
| 海成段丘 | - | | | - | - | 1 | - | 2 | - | 8 | - | - | - | 5 | | |
| 海成段丘 | - | | | - | - | 2 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | 3 | | |
| 海成段丘 | - | | | - | - | 1 | - | - | - | - | - | 1 | 3 | 3 | | |
| 特殊地学景観 | 節理 | | | 2 | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | 2 | 3 | - | |
| | 岩脈 | | | - | - | - | - | - | 3 | - | 1 | - | - | - | - | |
| | 湧泉群 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | 1 | - | - | | | |
| その他 | 上記以外の地形 | 6 | 16 | - | 4 | - | 9 | - | 2 | 1 | 2 | - | - | | | |
| | 顕著な自然現象地形 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | | | |
| 自然景観資源合計 | | 172 | 130 | 57 | 261 | 171 | 266 | 184 | 229 | 274 | 169 | 171 | 163 | | | |

都道府県別自然景観資源数(4)

| 類型 | 自然景観資源名 | 香川 | 愛媛 | 高知 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 熊本 | 大分 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 | 全国計 | | | |
|-----------|-----------|------------|--------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|-----|-----|
| 陸 | 火山景観 | 火山群 | - | - | - | 1 | 1 | 11 | 6 | 4 | 1 | 12 | 2 | 240 | | |
| | | 火山 | - | - | - | 1 | 6 | 45 | 31 | 73 | 22 | 35 | 2 | 1158 | | |
| | | 火山性高原 | - | - | - | - | 1 | 8 | 2 | 11 | 1 | 15 | - | 183 | | |
| | | 火山口・カルデラ | - | - | - | - | - | 3 | 4 | 8 | 13 | 27 | - | 278 | | |
| | | カルデラ壁 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 8 | - | 42 | | |
| | | 流れ山群 | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | - | 26 | | |
| | | 特徴的な稜線 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | 18 | |
| | | 溶岩トンネル・風穴 | - | - | - | - | - | 4 | 1 | 1 | - | - | - | - | 32 | |
| | | 溶岩流末端崖 | - | - | - | - | - | - | - | 10 | 4 | - | - | - | 72 | |
| | | 地獄・泥火山 | - | - | - | - | - | 2 | 1 | 4 | 1 | - | 5 | - | 52 | |
| | | 噴霧 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 13 | - | - | 231 | |
| | | 噴霧孔 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 6 | - | - | 40 | |
| | | 間欠泉 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 6 | |
| | | 権造土 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 49 | |
| | | 高山・亜高山域 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 164 | |
| | | 万年雪 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 48 | |
| | | 景 | 山地景観 | 山脈・山地・高地 | 1 | 7 | 5 | 7 | 4 | 14 | 6 | 4 | 3 | 5 | 5 | 306 |
| | | | | 丘陵 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 56 |
| | | | | 非火山性高原 | 2 | - | - | - | 6 | 5 | - | - | - | 15 | - | 179 |
| | | | | 大断崖 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 22 |
| 非火山性孤峰 | 61 | | | 36 | 3 | 1 | 31 | 25 | - | 4 | 1 | 10 | 4 | 993 | | |
| U字谷 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 105 | | |
| カーナル | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 124 | | |
| 非対称山稜 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 73 | | |
| 特徴的な稜線 | - | | | - | - | 3 | 1 | 1 | - | - | - | 2 | 2 | - | 86 | |
| モレーン | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 47 | |
| 重山稜 | - | | | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 60 | |
| 断崖・岩壁 | 6 | | | - | 6 | 4 | 6 | 1 | - | 2 | 19 | 15 | - | 396 | | |
| 断崖斜面・岩海 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 26 | |
| 権造土 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 91 | |
| 岩柱 | - | | | 5 | 1 | 1 | 5 | - | 3 | 11 | 6 | 11 | - | 148 | | |
| 岩群 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 16 | |
| 天然橋・岩門・石門 | - | | | - | - | - | - | 1 | - | 3 | - | - | 1 | - | 17 | |
| 高山・亜高山域 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 335 | |
| 万年雪 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 49 | |
| 景 | 石灰岩景観 | | | カルスト地形 | - | 2 | 1 | 3 | - | - | 3 | 1 | - | 1 | 5 | 61 |
| | | ポリエレンフェルト他 | - | 5 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 24 | | |
| | | 鍾乳洞 | - | 3 | 3 | - | - | - | 1 | 1 | - | 3 | 1 | 45 | | |
| | | 鍾乳洞 | - | 15 | 6 | 9 | - | 1 | 8 | 6 | 7 | 18 | - | 300 | | |
| 景 | 特殊地学景観 | 節理 | - | - | - | - | - | - | - | - | 7 | - | 93 | | | |
| | | 岩脈 | - | - | - | 3 | - | 5 | 3 | 1 | 1 | 2 | - | 75 | | |
| 景 | その他 | 上記以外の地形 | - | 2 | 1 | 1 | - | - | 2 | 1 | - | 2 | 28 | 233 | | |
| | | 顕著な自然現象地形 | - | - | - | - | 2 | 3 | 2 | - | 1 | 5 | - | 69 | | |
| 水 | 河川景観 | 峡谷・渓谷 | 11 | 29 | 11 | 6 | 8 | 2 | 9 | 45 | 17 | 30 | - | 996 | | |
| | | 河成段丘 | 2 | 4 | - | - | - | - | - | 2 | - | 1 | - | 321 | | |
| | | 自由蛇行河川 | - | - | - | 1 | 3 | - | 1 | 5 | - | 2 | - | 53 | | |
| | | 急流 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | 6 | - | - | 95 | | |
| | | 断崖・岩壁 | - | 1 | - | - | - | - | - | 3 | 27 | - | - | 229 | | |
| | | 滝 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 1 | 2 | - | 27 | | |
| | | 海峰・岩柱 | - | 1 | - | 2 | - | - | - | 35 | 1 | 2 | - | 81 | | |
| | | 湖 | - | 1 | 4 | - | - | - | - | 25 | 1 | 9 | - | 111 | | |
| | | 湖群 | - | 3 | 1 | 1 | - | 1 | 2 | 6 | 7 | 7 | - | 86 | | |
| | | 滝 | 9 | 50 | 71 | 17 | 16 | 27 | 30 | 52 | 94 | 57 | 1 | 2488 | | |
| | 天然橋・岩門・石門 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 2 | - | 18 | | | |
| | 水 | 湖沼景観 | 湖沼 | 1 | 4 | - | 1 | 1 | 3 | 7 | 7 | 32 | 1 | 872 | | |
| | | | 湿原 | - | - | - | - | 2 | 1 | - | 8 | 2 | 4 | 2 | 463 | |
| | 景 | 海岸景観 | 流れ谷 | - | 4 | 3 | - | 4 | 7 | 1 | 1 | 7 | 7 | 2 | 98 | |
| | | | 海成段丘 | - | - | 4 | 2 | - | - | - | - | 4 | 7 | 13 | 202 | |
| | | | 断崖海岸 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 14 | |
| | | | 多島海岸 | 4 | 6 | - | - | 1 | 6 | 2 | - | 1 | 2 | - | 36 | |
| | | | 隆起サンゴ礁 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 9 | 5 | 53 | |
| | | | 砂浜・礫浜 | 32 | 8 | 15 | 60 | 15 | 19 | 1 | 6 | 17 | 66 | 11 | 632 | |
| | | | 砂州 | 1 | - | 1 | 3 | - | 1 | 1 | 2 | 7 | 3 | 2 | 35 | |
| 砂州 | | | 3 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | 10 | 8 | - | 46 | | |
| 砂州 | | | 14 | 4 | - | 4 | 3 | 9 | 1 | - | 2 | 5 | 1 | 85 | | |
| 砂州 | | | - | - | - | 5 | 1 | - | - | - | 20 | 8 | 8 | 134 | | |
| 海食崖 | | | 64 | 21 | 25 | 10 | 5 | 40 | - | 29 | 10 | 27 | 18 | 734 | | |
| 海食台 | | | 2 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | - | - | 4 | 5 | - | 91 | | |
| 海食台 | | | 3 | 2 | 2 | 3 | - | 2 | 1 | 6 | 24 | 3 | - | 197 | | |
| 海食台 | | | 3 | 2 | 5 | 2 | 1 | 3 | 3 | 6 | 24 | 3 | - | 125 | | |
| 海食台 | | | 2 | 1 | 5 | 2 | 1 | 3 | - | 3 | 1 | 5 | - | 62 | | |
| 海食台 | - | - | 2 | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | 17 | | | | |
| 海食台 | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - | 1 | - | 8 | | | | |
| 潮流・渦流 | - | 3 | - | - | - | 3 | 1 | 1 | - | - | - | - | 19 | | | |
| 景 | 特殊地学景観 | 節理 | 5 | - | - | 2 | 1 | - | - | - | 2 | 5 | - | 51 | | |
| | | 岩脈 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 2 | - | 16 | | |
| | | 湧泉群 | - | - | - | - | - | - | 7 | 6 | - | 7 | - | 87 | | |
| 景 | その他 | 上記以外の地形 | 9 | - | 5 | 1 | 1 | 4 | - | - | 1 | 11 | 41 | 187 | | |
| | | 顕著な自然現象地形 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 17 | | |
| 自然景観資源合計 | | 237 | 223 | 190 | 159 | 128 | 260 | 142 | 424 | 354 | 575 | 153 | 15468 | | | |

資 料

- 1 . 第 3 回 自 然 環 境 保 全 基 礎 調 查
檢 討 会 及 び 分 科 会
- 2 . 第 3 回 自 然 環 境 保 全 基 礎 調 查 要 綱
自 然 景 觀 資 源 調 查

第3回自然環境保全基礎調査検討会及び分科会

第3回自然環境保全基礎調査を実施するにあたり、昭和57年度より、学識経験者で構成される検討会が組織され、第3回基礎調査の大綱等の検討がなされた。

また、検討会のもとに各種の分科会が設けられ、調査の要綱等の検討がなされたが、自然景観資源調査については、自然景観資源分科会において検討がなされた。

[自然環境保全基礎調査検討会名簿]

| | | | |
|----|-------|-------|-------------------------|
| 座長 | 宝月欣二 | 植物生態学 | 玉川大学教授 |
| | 有賀祐勝 | 植生生態学 | 東京水産大学水産学部教授 |
| | 今泉吉典 | 動物生態学 | 東京農業大学教授 |
| | 奥富清 | 植物生態学 | 東京農工大学農学部教授 |
| | 北森良之介 | 海洋生物学 | 元農水省東海区水産研究所水質部汚濁対策研究室長 |
| | 玖村敦彦 | 作物学 | 東京大学農学部教授 |
| | 黒田長久 | 鳥類学 | (財)山階鳥類研究所副所長 |
| | 佐々学 | 環境生物学 | 富山医科薬科大学学長 |
| | 佐藤大七郎 | 林学 | (財)日本野生生物研究センター理事長 |
| | 高井康雄 | 土壌学 | 東京農業大学教授 |
| | 田崎忠雄 | 植物生態学 | 東邦大学理学部教授 |
| | 中島巖 | 航測学 | 千葉大学客員教授 |
| | 沼田真 | 植物生態学 | 淑徳大学教授 |
| | 半谷高久 | 地球化学 | 東京都立大学名誉教授 |
| | 古田能久 | 陸水生物学 | 農水省東海区水産研究所陸水部主任研究官 |
| | 宮脇昭 | 植物生態学 | 横浜国立大学環境科学研究センター教授 |
| | 門司正三 | 植物生態学 | 東京大学名誉教授 |
| | 山本護太郎 | 海洋学 | 東京大学海洋学部教授 |
| | 吉川虎雄 | 自然地理学 | 東京農業大学教授 |
| | (北沢右三 | 動物生態学 | 物故) |

[自然景観資源分科会名簿]

| | | |
|----|------|-----------------|
| 座長 | 吉川虎雄 | 東京農業大学教授 |
| | 小泉武栄 | 東京学芸大学助教授 |
| | 西岡秀三 | 国立公害研究所環境管理研究室長 |
| | 油井正昭 | 千葉大学助教授 |
| | 米倉伸之 | 東京大学助教授 |

自然景観資源調査要綱

1. 調査の目的

自然景観は、「地形、地質植生及び野生動物といった環境要素が総合され人間の目に映ずるもの」と定義されているように、自然環境保全上重要な要素である。

本調査は、わが国の自然景観の現況（「何が」、「どこに」、「どのような状態」で存在しているか。）を全国的視野で把握するため、視対象である自然景観の基盤（骨格）をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象に着目してそれらの位置及び特性等を調査するものである。

2. 調査実施者

国が都道府県に委託して実施する。

3. 調査対象地域

各都道府県の全域を対象とする。（昭和62年度は、九州地区7件（昭和61年度実施済）を除く40都道府県で実施する。）

4. 調査実施期間

契約締結の日から昭和63年3月31日とする。

5. 調査対象、調査内容及び調査方法

（1）調査対象

本調査の対象とする自然景観資源は、別表1「調査対象自然景観資源一覧表」に示すもののうち、別表2「調査対象範囲及び特性記述の方法」の調査対象の範囲に合致するものとする。

これらの調査対象は、次の観点から選定したものである。

ア 視対象である自然景観の基盤をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象であること。

イ 通常、人間が視覚的に自然景観として認識できるスケールであること。

ウ 視覚に訴える特徴的なものであること。

エ 人工的に造成されたものではないこと。

オ 季節的な自然現象ではないこと。

従って、別表 1 に示す、「上記以外の際立った地形」として、各都道府県の判断により調査対象とするものも、上記の観点から選定される必要がある。

(2) 調査内容

調査項目は次のとおりとする。詳細は、別紙 1 「自然景観資源調査実施要領」による。

ア 位置（関係市町村、標高）

イ 特性（分類、規模、地質等）

ウ 眺望性

エ 利用の現状

オ 保護の現状

(3) 調査方法

文献調査、ヒアリング調査並びに図上計測を主体とし、必要に応じて現地調査を行なう。

6. 調査結果のとりまとめ

受託者は、個々の調査対象自然景観資源に関する調査結果につき、別紙 1 「自然景観資源調査実施要領」に示す図票を作成するとともに、これらを、別紙 2 「報告書作成要領」、別紙 3 「自然景観資源図帳作成要領」に従って、報告書、図帳としてとりまとめ、それぞれ 2 部作成し、そのうち正本 1 部を昭和 63 年 3 月 31 日までに環境庁自然保護局長あて提出する。

< 別紙 1 >

自然景観資源調査実施要領

1. 通 則

第3回自然環境保全基礎調査・自然景観資源調査は、この実施要領に従って都道府県ごとに行なう。

2. 調査対象

別表1「調査対象自然景観資源一覧表」に掲げる自然景観資源名ごとに、別表2「調査対象範囲及び特性記述の方法」に示す調査対象範囲に合致するものを選定する。

この場合、調査対象範囲に「全部」と示されている自然景観資源については、規模の大小にかかわらず、当該都道府県に存在するもののすべてを調査対象とする。

なお、別表1に示す自然景観資源は、同表で、「大地形」から「極微地形」まで分類されているように、規模が多様である。従って、選定された自然景観資源は、範囲（くくり）が重なり合い、あるいは包含関係（例：火山群－火山、火口・カルデラ－カルデラ壁 等）となることもある。

また、同一の自然景観資源が、ことなる類型にそれぞれ掲げられているもの（「A2 山地（非火山性）景観」と「B1 河川景観」における「岩峰・岩柱」等）については、調査対象となる自然景観資源の存在する地形が、いずれの類型に属するかを勘案のうえ、当該自然景観資源の所属すべき類型を決定するものとする。

3. 調査の内容

調査は、文献調査、ヒアリング調査ならびに図上計測を主体とし、必要に応じて現地調査を実施し、別紙1-1「自然景観資源図」（縮尺5万分の1）及び別紙1-2「自然景観資源調査票」を作成する。

(1) 調査に用いる資料

- ① 自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図（縮尺 5 万分の 1）
- ② 国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図、5 万分の 1 地形図（いずれも最新の図版を使用すること）
- ③ 国土地理院発行の『標準地名集（自然地名）』
- ④ 国土庁または経済企画庁総合開発局作成の土地分類図
- ⑤ 自然環境保全基礎調査等で作成された現存植生図、海岸改変状況図及び海岸調査表、湖沼調査報告書
- ⑥ 国土地理院、海岸域現況調査（島別海岸線延長、島面積一覧表）
- ⑦ 国、都道府県、市町村指定文化財リスト
- ⑧ （社）日本観光協会発行の『全国観光情報ファイル』
- ⑨ 都道府県、市町村等の地理、地形、景観、観光資源等に関する資料
- ⑩ 地誌
- ⑪ 地形学、自然地理学文献
- ⑫ 航空写真
- ⑬ その他（案内書等出版物）

(2) 調査内容

本調査は、下記の項目について行い、その内容は次のとおりである。

① 所在市町村、位置

当該自然景観資源が所在する市町村名及び位置を調べる。

② 標高

当該自然景観資源の最高、最低の標高を、地系図等の各種資料により調べ、最も信頼できる数値を採択するものとし、m 単位で表す。

なお、火山群及び山脈・山地・高地・丘陵については、別表 2 「調査対象範囲及び特性記述の方法」に従い、峰の標高（山地景観の場合は基準以上）を「③特性」の一項目として調べる。標高差の小さいものは代表的地点の標高を記入し

て差し支えない。

③特性

各自然景観資源ごとに調査する特性（分類、規模、地質等）については別表2「調査対象範囲および特性記述の方法」による。特性記述項目のうち、計測を必要とするものの計測方法については「（3）計測方法」による。

④眺望性

当該自然景観資源の一般的な見られ方、及び当該自然景観資源を眺望する主な視点について調べるものとする。

ア 見られ方の区分

当該自然景観資源のみられかたについて、下記の区分の中から該当するものの全てを選ぶ。

下記区分は、樹木を標準対象として、距離による物の見られ方の違いを区分した例であるが、本調査では便宜的に自然景観資源の見られ方の距離の指標として使用する。

1. 近景… … 一本一本の樹木の葉、幹、あるいは枝ぶりなどの特徴が視覚的に意味をもつ領域。距離にして約300m以内で見られる。
2. 中景… … 一本一本の樹木の樹冠を見分けることができるが、枝ぶりなどは、もはやとらえることのできない領域。距離にして約300m～4kmで見られる。
3. 遠景… … 一本一本の樹木の樹冠は、もはや見分けることができなく、大きな植生分布の変化や沢や谷が目につき、稜線など地形のアウトラインが視覚対象になる領域。距離にして約4km以上で見られる。

イ 視点の種類

当該自然景観資源が眺望される主な視点について、下記のうちから最も適

合するもの一つを選ぶ。

1. 広域・不特定……………広い範囲から見られ、特に視点の場は特定できない。
2. 広域・著名展望地……………広い範囲から見られるもので、かつ視点として評価の定着した展望地がある。
3. 限定・車道……………歩道、展望地から見られることもあるが、主として車道沿線から連続的な視点を得られる。
4. 限定・歩道……………歩道（登山道など）沿線から連続的な視点を得られる。
5. 限定・展望地……………視点は特定の展望地又は歩道で現地に入る場合に限られる。
6. 限定・船……………船による以外視点はない。
7. なし……………閉鎖的空間に存在したり、到達性が悪く、見られていない。

⑤利用の現状

当該自然景観資源の利用者数および利用形態を下記により調べる。

ア 利用者数

利用者数は、最近3ヵ年平均の年間利用者で、万人単位の概数とする。なお、既存の利用者統計を基に利用者数を把握することが困難なものについては、記入の必要はない。

イ 利用形態の区分

利用形態は下記の中から該当するものを全て選ぶ。

〔地域との係り〕

1. 地域のシンボル……………当該自然景観資源を校歌に歌うなど、地域のランドマークとして、また祭祀の場、信仰の対象としている。

2. 生活レベルの利用……………当該自然景観資源を地域の人々が、憩や遊びの場としている。
3. 学習の場……………当該自然景観資源を、地域の学校が校外学習、遠足の場としている。

〔広域的な利用〕

1. 一般観光……………当該自然景観資源を、単に眺望する利用が主体である。
2. レクリエーション利用……………当該自然景観資源を、登山・ハイキング・ピクニック等レクリエーション活動の一環として当該自然景観資源を眺望する利用がなされている。
3. 自然学習・自然探勝……………当該自然景観資源を観察対象とする利用がなされている。

⑥保護の現状

当該自然景観資源に関する保護制度の種類・名称及びインパクトを下記により調査し、保護の現状に関する所見を述べる。なお、インパクト及び保護の現状に関する所見については、当該自然景観資源の全体あるいは確信部に影響をおよぼしているものがあると考えられる場合のみ記入する。

ア 保護制度の種類・名称

保護制度の種類については、下記の例を参考に記入するものとし、そのうち、中部山岳国立公園、屋久島原生自然環境保全地域指定地域に地区の名称がつくものについては、その名称を併せて記入する。

国立公園、国定公園、都道府県立自然公園、原生自然環境保全地域、自然環境保全地域、都道府県自然環境保全地域、国指定特別天然記念物・特別名勝、国指定天然記念物・名勝、都道府県指定天然記念物、市町村指定天然記念物。

(その他の例)

景観形成地区、景観保全地区、学術保全地区等景観の保護に係る条例による指定その他当該自然景観資源の保護に寄与すると思われる制度による指定状況等を記入する。

イ インパクトの種類

インパクトの種類は、下記の中から該当するものを選択する。

- 0：特になし
- 1：人の立入………(例)踏圧、キャンプ地化、観光のための刈払い、子供の遊び場等
- 2：農林業開発………伐採・植林、水田・畑地化、放牧、草地造成等
- 3：道路開発………道路建設、駐車場、排ガス
- 4：観光開発………観光地化、スキーコース、ロープウェー、釣場
- 5：水辺の開発………港湾・漁港整備、護岸工事、河川改修、堰堤築造、排水工事等
- 6：その他の開発………土地造成、団地造成、パラボラアンテナその他工作物の設置等
- 7：周辺の開発………上記3～6の開発が群落の周辺で行われているもの
- 8：汚染物質の侵入……排水、糞尿、廃油、化学肥料等
- 9：ゴミの投棄………プラスチック容器、塵埃、生ゴミ等
- 10：その他

(3) 計測方法

自然景観資源の特性のうち、規模等計測すべき項目、計測単位及び計測方法の概要は、別表2「調査対象範囲及び特性記述の方法」に示すとおりであるが、計測すべき項目ごとの具体的な計測方法は次のとおりとする。

なお、規模が小さく5万分の1地形図では計測できないもの及び5万分の1地形図上には図示されていないもの(鍾乳洞等地下に存するもの、潮流等自然現象等)については、各種資料・市町村ヒアリングもしくは現地調査により調

べる。

また、次の事例のように下記に示した計測方法によるものと同等以上の精度を有するデータ（実測値等）が既存資料により得られる場合には、それらのデータを使用する。

〔既存資料によりデータの得られる事例〕

- ・湖沼面積（1 h a 以上） …… 自然環境保全基礎調査の湖沼調査報告
- ・島嶼面積（1 h a 以上） …… 「海岸域現況調査」（国土地理院）の島面積一覧表（環境庁から送付）
- ・海岸線延長 …… 自然環境保全基礎調査の海岸改変状況図及び海岸調査表

①面積

ア 1,000 h a 以上のものについては、メッシュ地形図（縮尺5万分の1）

の1 k mメッシュの数で近似値を求める。

イ 1 h a ちょうど1,000 h a 未満のものについては、プランメーター又は点格子板により5万分の1地形図上で計測する。

②標高・比高・深さ

5万分の1地形図の表示又は等高線により読み取る。

③長さ

ア 長径・短径・巾

5万分の1地形図上で三角スケールを用いて計測する。

イ 延長、外周長

5万分の1地形図上でキルビメーターを用いて計測する。

4. 自然景観資源図の作成

次により自然景観資源図（別紙1-1）を作成する。

(1) 基 図

自然景観資源の基図は自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図を使用する。

(2) 図示の内容

① 自然景観資源の範囲または位置、及び、対象番号

(表示は、赤の油性または耐水性サインペン (0.5mm) で行う。)

② 山脈の主稜線及び峰の位置

(表示は、青の油性または耐水性サインペン (0.5mm) で行う。)

※ 山脈の主稜線及び峰の位置は、自然景観資源のうち、山脈・山地・高地及び丘陵のくくりの範囲内で明瞭なものについて図示する。

(3) 自然景観資源の図示の方法

① 面的な広がりのあるものについては、範囲をくくる。

② 線的なものについては、線で位置を図示し、起点、終点に赤丸 (●) をうつ。

③ 小規模で図上 2 mm に満たないものは、赤丸 (●) で位置を示し、基図上に位置表示のある滝、噴気口等については記号を赤の小円 (○) で囲む。

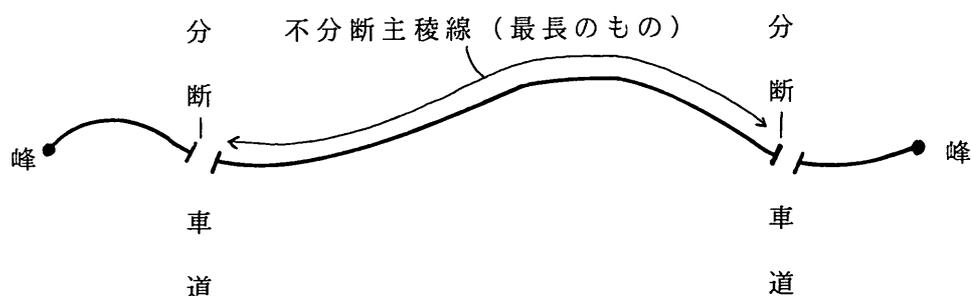
④ 上記いずれについても対象番号を付す。((5) 参照)

(4) 山脈の主稜線及び峰の図示の方法

(別表 2. A 2 - 0 1 ・ 0 2 特性記述の方法 (延長、峰の形態的な特徴) 参照)

① 山脈の主稜線は、線で位置を示し、起点・終点に青丸 (●) をうつ。

なお、車道によって分断されたところは、下図のように図示する。



②峰（山脈、山地、高地、丘陵の高山帯、亜高山帯あるいは1,500 m以上に達する峰、及びランドマークになっている峰）は、山頂の三角点又は標高点を青の小円（○）で囲む。

（5）対象番号

上記（3）－（4）の対象番号は、類型コード、自然景観資源コード、整理番号によって構成する。

〔例〕河川景観の場合

| | | | | |
|-----------|---|---------------|---|------|
| B 1 | — | 1 0 | — | 1 1 |
| ↑ | | ↑ | | ↑ |
| 類型 コード | | 自然景観資源 コード | | 整理番号 |
| （河川景観） | | （滝） | | |

①類型コードは、別表1「調査対象自然景観資源一覧表」の類型欄で景観の類型ごとに付されたコード番号である。

②自然景観資源コードは、別表1「調査対象自然景観資源一覧表」の「自然景観資源名」欄に、景観の類型別に付されたコード番号である。

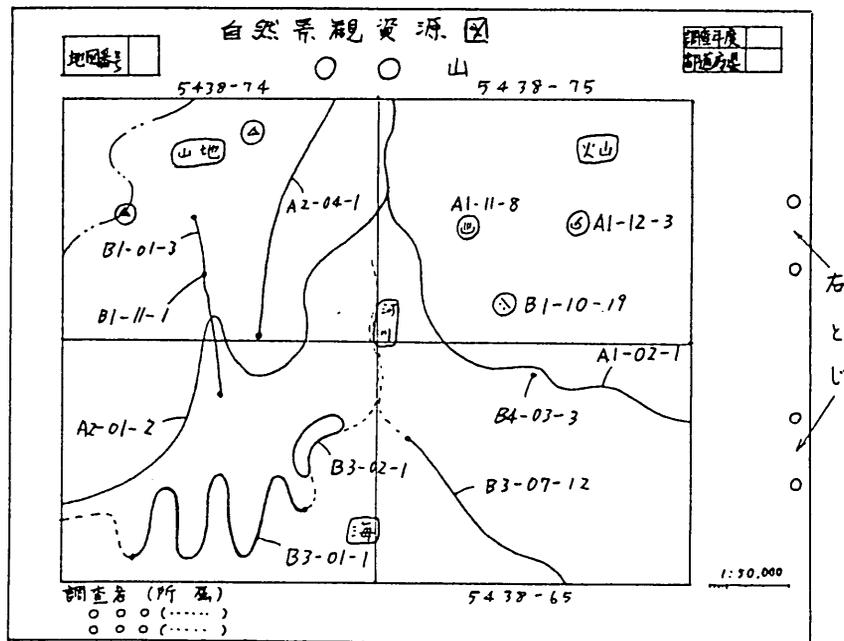
③整理番号は、「自然景観資源名」ごとに、当該自然景観資源が記載される5万分の1地形図の地図番号が若い順に付される通し番号である。

（同一の「類型コード＋自然景観資源コード」を持つ自然景観資源ごとに、「1, 2, 3 ……」の順に付す。）

なお、「顕著な自然現象を記録する地形」（江戸時代以降に形成された地形で成因及び形成された時期の明らかなもの……別表2「調査対象範囲及び特性記述の方法」参照）については、末尾に識別番号として”M”（' Monument'）

自然景観資源図

[自然景観資源図例]



記入例



範囲のくくり



線的なものの位置表示



点的なものの位置表示



〃 (地形図上に記号がある場合)

A2-04-1

対照番号

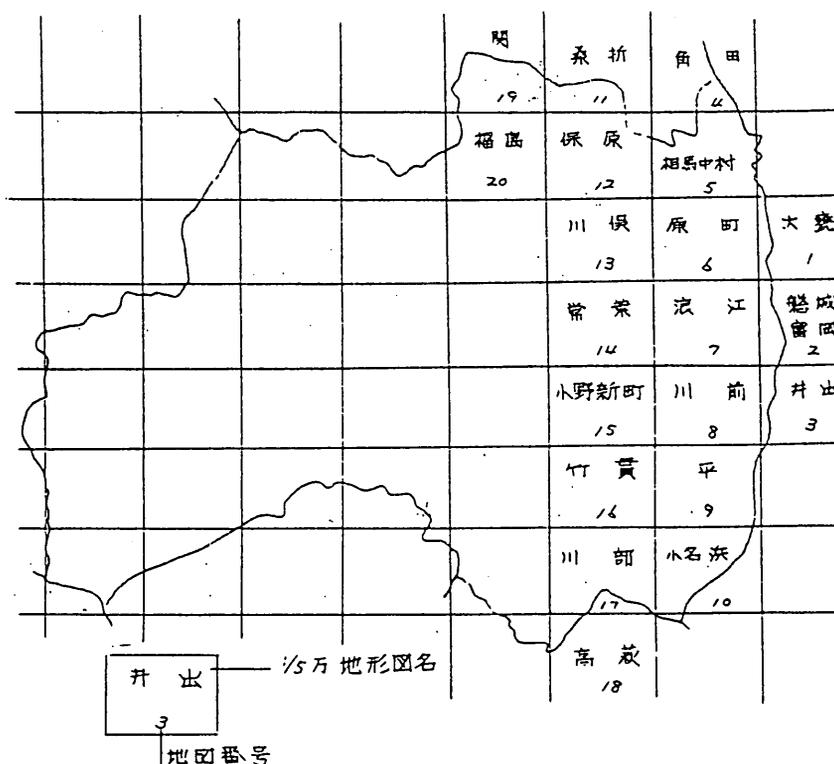


引出し線

(自然景観資源図作成上の注意)

1. 自然景観資源図には、自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図を使用する。
2. 5万分の1地形図には、都道府県単位で東側から、北から南へ「地図番号」を打つ。(下図(以下「地図番号図」という)参照)

地図番号図(例:福島県)



3. 自然景観資源図例のように、地形図の余白の所定の位置に「タイトル」、「地図番号」、「調査年度」(西暦)、「都道府県名」、「調査者氏名・所属」、を黒インクで記入する。
4. 自然景観資源の位置の表示は、別紙1「自然景観資源調査実施要領」によること。

< 別紙 1 - 2 >

自然景観資源調査票

(一 般)

| | |
|----------|--|
| (1) 都道府県 | |
|----------|--|

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------------|--|----|----------------|-------------|--|--|--------------------|--|----|---|--|--|
| (2) 対 照 番 号 | | | | (3) 類 型 | | | | (4) 自然景観資源名 | | | | | |
| - | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 名 称 | | | | | | | | (6) 地図番号及び1/5万地形図名 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 所在市町村名 | | | | (8) 位 置 | | | | (9) 標 高 | | | | | |
| 郡市 | | 町村 | | | | | | 最高 | | 最低 | | | |
| | | | | | | | | m | | m | | | |
| (10) メッシュ コード | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地形図名またはメッシュコード；補足調査票に つづく/つづかない | | | | | | | | | | | |
| (11) 特 性 | (7) | | | | | | | | | | | | |
| | (イ) | | | | | | | | | | | | |
| | (ウ) | | | | | | | | | | | | |
| | (エ) | | | | | | | | | | | | |
| | (オ) | | | | | | | | | | | | |
| | (カ) | | | | | | | | | | | | |
| | (キ) その他 特事項 | | | | | | | | | | | | |
| (ク) 顕著な自然現象を記録する地形 | | (成因) | | (成立年代) | | | | | | 年 | 月 | | |
| (12) 眺望性 | (7) 見られ方 | 1. 近景 2. 中景 3. 遠景 | | | (イ) 視点の種類 | 1. 広域・不特定 2. 広域・著名展望地 3. 限定・車道 4. 限定・歩道 5. 限定・展望地 6. 限定・船 7. なし | | | | | | | |
| (13) 利用の 現状 | (7) 利用者数 | 年間約 | 万人 | (イ) 利用 形態 | 地域との 係わり | 1. 地域のシンボル 2. 生活レベルの利用 3. 学習の場 | | 広域的 利用 | 1. 一般観光 2. レクリエーション利用 3. 自然学習、自然探勝 | | | | |
| (14) 保護の 現状 | (7) 保護制度の種類・名称 | | | | | | | | | | | | |
| | (イ) インパクト | 0. 特になし 1. 人の立入り 2. 農林業開発 3. 道路開発 4. 観光開発 5. 水辺の開発 6. その他の開発 7. 周辺の開発 8. 汚染物質の侵入 9. ゴミの投棄 10. その他 | | | | | | | | | | | |
| | (ウ) 保護の現状に対する所見 | | | | | | | | | | | | |
| (15) 補足 事項 | | | | | | | | | | | | | |
| (16) 情報源 | (7) 現地調査(調査の時期) | 年 | 月 | (イ) 資料(資料の種類) | | | | | | | | | |
| (17) 調査者 氏名 | | | | (18) 調査者 所属 | | | | | | | | | |

自然景観資源調査票
(火山群)

(1) 都道府県

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------|---|---|---------------|------------|-----------|---|-------------|-------|-----------------|--|-----|----|--|--|--|
| (2) 対 照 番 号 | | | | (3) 類 型 | | | | (4) 自然景観資源名 | | | | | | | | |
| A | 1 | - | 0 | 1 | - | 火 山 景 観 | | | | 火 山 群 | | | | | | |
| (5) 名 称 | | | | | | | | (9) 標 高 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 最高 | | 最低 | | m m | | | | |
| (6) 地図番号及び地形図名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 所在市町村名 | 郡市 | | | | 町村 | | | | 郡市 | | | | 町村 | | | |
| | 郡市 | | | | 町村 | | | | 郡市 | | | | 町村 | | | |
| | 郡市 | | | | 町村 | | | | 郡市 | | | | 町村 | | | |
| | 郡市 | | | | 町村 | | | | 郡市 | | | | 町村 | | | |
| (11) 特 性 | (7) 長 径 | km | | | | (イ) 短 径 | km | | | | (ウ) 火 山 峰 数 | | | | | |
| | (カ) 峰 の 名 称 | (キ) メ ッ シ ュ コ ー ド | | | | (ク) 標 高 | | | | (ケ) 分 類 (火 山 型) | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| | | | | | | | | | m | | | | | | | |
| 特性等 ; 補足調査票に つづく/つづかない | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (12) 眺望性 | (7) 見られ方 | 1. 近景 2. 中景 3. 遠景 | | | | (イ) 視点の種類 | 1.広域・不特定 2.広域・著名展望地 3.限定・車道 4.限定・歩道 5.限定・展望地 6.限定・船 7.なし | | | | | | | | | |
| (13) 利用の現状 | (7) 利用者数 | 年間約 | | (イ) 利用形態 | 地域との係わり | | 1. 地域のシンボル 2. 生活レベルの利用 3. 学習の場 | | 広域的利用 | | 1. 一般観光 2. レクリエーション利用 3. 自然学習、自然探勝 | | | | | |
| (14) 保護の現状 | (7) 保護制度の種類・名称 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (イ) インパクト | 0.特になし 1.人の立入り 2.農林業開発 3.道路開発 4.観光開発 5.水辺の開発 6.その他の開発 7.周辺の開発 8.汚染物質の侵入 9.ゴミの投棄 10.その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | (ウ) 保護の現状に対する所見 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (15) 補 足 事 項 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (16) 情報源 | (7) 現地調査(調査の時期) | 年 月 | | (イ) 資料(資料の種類) | | | | | | | | | | | | |
| (17) 調査者氏名 | | | | | (18) 調査者所属 | | | | | | | | | | | |

自然景観資源調査票
(山脈・山地・高地, 丘陵)

(1) 都道府県

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|--|----|-------------------|--------------|-----------|--|-------------|--------------|-------------------|--|--|
| (2) 対 照 番 号 | | | | (3) 類 型 | | | | (4) 自然景観資源名 | | | | |
| A | 2 | - | 0 | - | - | - | 山地(非火山性)景観 | | | | | |
| (5) 名 称 | | | | | | | | (9) 標 高 | | | | |
| | | | | | | | | 最高 | | 最低 | | |
| | | | | | | | | m | | m | | |
| (6) 地図番号及び図名 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (7) 所在市町村名 | 郡市 | | | 町村 | | | 郡市 | | | 町村 | | |
| | 郡市 | | | 町村 | | | 郡市 | | | 町村 | | |
| | 郡市 | | | 町村 | | | 郡市 | | | 町村 | | |
| | 郡市 | | | 町村 | | | 郡市 | | | 町村 | | |
| 特 性 | (7) 主稜線延長(または長径) | | km | | (イ) 巾(または短径) | | km | | (ウ) 不分断主稜線延長 | | km | |
| | (イ) 起伏量10分率 | (大起伏山地) | | (中起伏山地) | | (小起伏山地) | | (オ) 峰 数 | | | | |
| | 割 | | 割 | | 割 | | | | | | | |
| | (カ) 峰 の 名 称 | | | (キ) メ ッ シ ュ コ ー ド | | | (ク) 標 高 | | | (ケ) 峰 の 形 態 的 特 徴 | | |
| | | | | | | | m | | | | | |
| | | | | | | | m | | | | | |
| | | | | | | | m | | | | | |
| 特性等 ; 補足調査票に つづく/つづかない | | | | | | | | | | | | |
| (12) 眺望性 | (7) 見られ方 | 1. 近景 2. 中景 3. 遠景 | | | | (イ) 視点の種類 | 1. 広域・不特定 2. 広域・著名展望地 3. 限定・車道 4. 限定・歩道 5. 限定・展望地 6. 限定・船 7. なし | | | | | |
| (13) 利用の現状 | (7) 利用者数 | 年間約 万人 | | (イ) 利用形態 | 地域との係わり | | 1. 地域のシンボル 2. 生活レベルの利用 3. 学習の場 | | 広域的利用 | | 1. 一般観光 2. レクリエーション利用 3. 自然学習、自然探勝 | |
| (14) 保護の現状 | (7) 保護制度の種類・名称 | | | | | | | | | | | |
| | (イ) インパクト | 0. 特になし 1. 人の立入り 2. 農林業開発 3. 道路開発 4. 観光開発 5. 水辺の開発 6. その他の開発 7. 周辺の開発 8. 汚染物質の侵入 9. ゴミの投棄 10. その他 | | | | | | | | | | |
| | (ウ) 保護の現状に対する所見 | | | | | | | | | | | |
| (15) 補 足 事 項 | | | | | | | | | | | | |
| (16) 情報源 | (7) 現地調査(調査の時期) | 年 月 | | (イ) 資料(資料の種類) | | | | | | | | |
| (17) 調査者氏名 | | | | | (18) 調査者所属 | | | | | | | |

自然景観資源補足調査票

(一 般)

(1) 都道府県

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|----|--|----|---------|----|--|----|--------------------|----|--|----|--|
| (2) 対 照 番 号 | | | | (3) 類 型 | | | | (4) 自然景観資源名 | | | | |
| - | | | | | | | | | | | | |
| (5) 名 称 | | | | | | | | (19) 補 足 調 査 票 番 号 | | | | |
| | | | | | | | | 枚中の 枚目 | | | | |
| (6) 地図 番号 及び 地名 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (7) 所在市 町村名 | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | |
| | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | |
| | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | |
| | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | |
| | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | |
| | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | | 郡市 | | 町村 | |
| (10) メッシュ コード | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (11) 特 性 | | | | | | | | | | | | |
| (15) 補 足 事 項 | | | | | | | | | | | | |

自然景観資源補足調査票
(火山群)

(1) 都道府県

| | | | | | | | | | | | |
|----------------|--------------------------|---|---|-------------------|---|--|---------|--------------------|-----------------|--|--|
| (2) 対 照 番 号 | | | | (3) 類 型 | | | | (4) 自然景観資源名 | | | |
| A | 1 | - | 0 | 1 | - | | | | | | |
| (5) 名 称 | | | | | | | | (19) 補 足 調 査 票 番 号 | | | |
| | | | | | | | | 枚中の 枚目 | | | |
| (11) 特 性 | (カ) 峰 の 名 称 | | | (キ) メ ッ シ ュ コ ー ド | | | (ク) 標 高 | | (ケ) 分 類 (火 山 型) | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | | | | | | | | m | | | |
| | (15) 補 足 事 項 | | | | | | | | | | |

自然景観資源補足調査票
 (山脈・山地・高地, 丘陵)

(1) 都道府県

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------------|---|---|-------------------|---|---|---|--------------------|--|-------------|--|--|
| (2) 対 照 番 号 | | | | (3) 類 型 | | | | (4) 自然景観資源名 | | | | |
| A | 2 | - | 0 | - | - | - | - | | | | | |
| (5) 名 称 | | | | | | | | (19) 補 足 調 査 票 番 号 | | | | |
| | | | | | | | | 枚中の 枚目 | | | | |
| 特 性 | (カ) 峰 の 名 称 | | | (キ) メ ッ シ ュ コ ー ド | | | | (ク) 標 高 | | (ケ) 峰の形態的特徴 | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | | | | | | | | m | | | | |
| | (15) 補 足 事 項 | | | | | | | | | | | |

(記入上の注意)

1. 調査票は、「一般用」、「火山群用」、「山脈・山地・高地、丘陵用」及び補足調査票（3種）があるので、調査対象に適したものを使用する。
2. 1つの調査対象につき、調査票は1枚とする。記載事項の多いものあつては、補足調査票を追加して使用する。
3. 「(2) 対象番号」は、自然景観資源図と同じ番号を記入する。
(左から、「類型コード」(2桁)、「自然景観資源コード」(2桁)、「整理番号」(3桁; 右詰めで記入)、「識別記号」(1桁; 該当する場合のみ記入)の順である。11～12ページ参照)
4. 「(3) 類型」、「(4) 自然景観資源名」は、別表1「調査対象自然景観資源一覧表」に記載されたコード番号及び用語で表示する。
5. 山脈・山地・高地及び丘陵にあつては標準地名集に掲載されているものについて調査するので、「(5) 名称欄」にはその名称を記入し、他に地元で呼ばれている名称がある場合は、それを()書きで併記する。
なお、名称が地形図上に載っていないもので、地元での呼称がある場合には、それを併記する。
6. 「(6) 地図番号及び地形図名」は、該当する地形図の地図番号(3桁)及び名称をすべて記入する。欄が不足した場合は「つづく/つづかない」の「つづく」に丸印をつけ、補足調査票に記入する。
7. 「(7) 所在市町村名」は、該当する市町村名を全て記入する。
8. 「(8) 位置」は、小地形以下の自然景観資源についてのみ記入する。例えば、「〇〇山の山頂」、「〇〇川の〇〇集落付近」のように、関係の深い山、川、集落名を記入する。
9. 「(9) 標高」は、最高と、最低を記入するが、標高差の小さなものは、代表的地点の標高を記入して差し支えない。
10. 「(10) メッシュコード」は、調査対象の関係する3次メッシュコード(8桁)を記入する。欄が不足した場合は、「つづく/つづかない」の「つづく」に丸印をつけ、補足調査票に記入する。

なお、ある2次メッシュ（2万5千分の1地形図1枚分に相当する範囲）内の全ての3次メッシュに関係している場合には、2次メッシュコード（6桁）を記入することで足りる。

〔例〕

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | - | - |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

また、3次メッシュコードを連番で記入する必要がある場合には、次の例の右のように省略して記入するものとする。

〔例〕

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 1 | 1 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 1 | 2 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 1 | 3 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 1 | 4 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 1 | 5 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 2 | 1 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 3 | 1 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 3 | 3 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 3 | 3 | 1 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 3 | 3 | 2 |

→

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 2 | 1 | 1 |
| | | | | | | | { |
| - | - | - | - | - | - | - | 5 |
| - | - | - | - | - | - | 2 | 1 |
| | | | | | | | { |
| - | - | - | - | - | - | - | 4 |
| - | - | - | - | - | - | 3 | 1 |
| - | - | - | - | - | - | - | 3 |
| 5 | 5 | 3 | 9 | 4 | 3 | 3 | 1 |
| - | - | - | - | - | - | - | 2 |

11. 「(11)特性」は、「自然景観資源名」ごとに、別表2「調査対象範囲及び特性記述の方法」に従い記入する。

なお、「(一般)」の調査票を使用するものについては、別表2に示された「特性記述項目」の名称を、上から順に(ア)(イ)(ウ)……の欄に記入し、それぞれの右の欄に、別表2に従い、所定の内容(分類、規模等)を記入する。(ただし、「特記」については「(ス)その他特記事項」欄、「顕著な自然現象を記録する地形」の成因及び成立年代については「(セ)顕著な自然

現象を記録する地形」欄にそれぞれ記入する。)

12. 「(12)眺望性(ア)見られ方」、 「(13)利用の現状(イ)利用形態」、 「(14)保護の現状(イ)インパクト」については、該当するものを全てを○で囲む。

なお、「(12)眺望性(イ)視点の種類」は、該当するものを1つを○で囲む。

13. 「(14)保護の現状(ア)保護制度の種類・名称」は、別紙1「自然景観資源調査実施要領」の当該項目の説明を参考に記入する。

14. 「(15)補足事項」は、上記各欄について補足説明すべき事項があれば記入する。

15. 「(16)情報源(イ)資料(資料の種類)」は、「(11)特性」を記入するために用いた資料の種類を下記より選び、番号で記入する。

1. 地勢図、地形図、土地分類図
2. 現存植生図、海岸改変状況図及び海岸調査表
3. 全国海岸域現況調査(島別面積一覧表)
4. 文化財リスト等文化財関係資料
5. 全国観光資源情報ファイル、案内書等
6. 市町村ヒアリング(市町村調査データ)
7. 地形学、自然地理学文献、地誌等
8. 上記以外のもの

16. 「(17)調査者氏名」、 「(18)調査者所属」は、当該調査票作成者について記入する。

< 別表 1 >

調査対象自然景観資源一覧表

| 類 型 | | 自 然 景 観 資 源 名 | | | | |
|-----|---------------|-------------------|-------------------------------|--|---|---|
| | | 大 地 形 | 中 地 形 | 小 地 形 | 微 地 形 | 極 微 地 形 |
| 陸 | A1 火山景観 | 01 火山群 | 02 火山 03 火山性高原 | 04 火口・カルデラ 05 カルデラ壁 06 流れ山群 | 07 特徴的な稜線 | 08 溶岩トンネル・風穴 09 溶岩流末端崖 10 地獄・泥火山 11 噴泉 12 噴気孔 13 間歇泉 14 構造土 |
| | | 15 高山・亜高山域 | | | 16 万年雪 | |
| 景 | A2 山地(非火山性)景観 | 01 山脈・山地・高地 | 02 丘陵 03 非火山性高原 04 大断層崖 | 05 非火山性孤峰 06 U字谷(氷食谷) 07 カール 08 非対称山稜 | 09 特徴的な稜線 10 モレーン 11 二重山稜 (線状凹地) 12 断崖・岩壁 | 13 岩塊斜面・岩海 14 構造土 15 岩峰・岩柱 16 崖 17 天然橋・岩門・石門 |
| | | 18 高山・亜高山域 | | | 19 万年雪 | |
| | A3 石灰岩景観 | | 01 カルスト地形 | 02 ポリエ | 03 カッレンフェルト・ドリーネ群 | 04 鐘乳洞 |
| | A4 特殊地学景観 | | | | | 01 節理 02 岩脈 |
| | A5 その他 | 01 上記以外の際立った地形 | | | | |
| | | 00 顕著な自然現象を記録する地形 | | | | |

| 類 型 | | 自 然 景 観 資 源 名 | | | | |
|-----|---------|-------------------|---|--|---------------------------|--|
| | | 大 地 形 | 中 地 形 | 小 地 形 | 微 地 形 | 極 微 地 形 |
| 水 | B1 河川景観 | | 01 峡谷・溪谷 02 河成段丘 03 自由蛇行河川 04 穿入蛇行河川 | | 05 断崖・岩壁 06 湖 | 07 岩峰・岩柱 08 淵 09 罅穴群 10 滝 11 天然橋・岩門・石門 |
| | B2 湖沼景観 | | | 01 湖 02 湿原 | | |
| | B3 海岸景観 | | 01 溺れ谷 02 海成段丘 (サンゴ礁段丘) 03 断崖海岸 04 火山海岸 05 多島海 | 06 隆起サンゴ礁 07 砂浜・磯浜 08 砂嘴 09 砂州 10 陸けい砂丘 11 砂丘 | 12 海食崖 13 波食台 14 岩礁 | 15 海食洞門 16 岩吹穴 17 潮吹穴群 18 罅穴 |
| | | 19 潮流・渦流 | | | | |
| | | B4 特殊地学景観 | | | | |
| 景 | B5 その他 | 01 上記以外の際立った地形 | | | | |
| | | 00 顕著な自然現象を記録する地形 | | | | |

<別表2> 調査対象範囲及び特性記述の方法

| 類型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調査対象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-------------|---|-----------------------------------|--|---------------------------|--|-------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|-------------|-------|----------|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分類・計測方法等 | | | | | | | | | | |
| 陸 景 A1 火山景観 | 01 火山群 | 第四紀に活動したもので、火山としての原形が残っているもの。 火山の集合 (総称を付されたもの) | 全 部 (例) 阿蘇山、九重山、 雲仙岳、霧島山 | ※範 囲 (くくり方) | 自然景観資源 図上に図示 (以下同じ) | <p>「02 火山」のくくりの集合を含み、〇〇山と総称される範囲について、地誌及び土地分類図等による地形区分を基本とし、地形変換線、地質、開発地域(農地、集落等)と自然地域(森林等)の境界を勘案のうえ、景観的に〇〇山と総称される範囲(くくり)を総合的に決定し、図示する。 注:この場合、カルデラ内に集落、水田等が存在しても除外せず、外輪山裾野の線をもつてくくりとする。</p> <p>上記くくりの長径・短径を図上で計測</p> <p>当該火山群に含まれる火山の数 当該火山群に含まれる個々の火山の名称、標高、分類等を北から順に記入。 (「02 火山」で調査した内容を記入する。)</p> <p>地誌及び土地分類図等による地形区分を基本とし、地形変換線、地質、開発地域(農地、集落等)と自然地域(森林等)の境界等を勘案のうえ、景観的に〇〇山と称される範囲(くくり)を総合的に決定し、図示する。 この範囲の区分は各々の火山毎に行うもので、くくりが重複することはない。</p> <table border="0"> <tr> <td>A 碎屑丘</td> <td>F 溶岩台地</td> </tr> <tr> <td>B 溶岩円頂丘</td> <td>G 楯状火山</td> </tr> <tr> <td>C 火山岩尖</td> <td>H 成層火山</td> </tr> <tr> <td>D 潜在火山</td> <td>(H-2 火砕溶台地)</td> </tr> <tr> <td>E マール</td> <td>I 陥没カルデラ</td> </tr> </table> | A 碎屑丘 | F 溶岩台地 | B 溶岩円頂丘 | G 楯状火山 | C 火山岩尖 | H 成層火山 | D 潜在火山 | (H-2 火砕溶台地) | E マール | I 陥没カルデラ |
| | A 碎屑丘 | F 溶岩台地 | | | | | | | | | | | | | | |
| B 溶岩円頂丘 | G 楯状火山 | | | | | | | | | | | | | | | |
| C 火山岩尖 | H 成層火山 | | | | | | | | | | | | | | | |
| D 潜在火山 | (H-2 火砕溶台地) | | | | | | | | | | | | | | | |
| E マール | I 陥没カルデラ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 02 火山 | 火山の最小単位をなす峰 | 全 部 (例) 根子岳、高岳、中岳、 往生岳、米塚 | ※範 囲 (くくり方) | 長径・短径 km (小数第1位) 火山峰数 峰の名称 標高 分類 m | 分類 (火山型) (位置) | | | | | | | | | | | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A,B,Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|---------|-------------------|--|---|--|-------------------------------------|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| A1 火山景観 | 02 火 山 (つづき) | | | 長径・短径 比 高 | km (小数第1位) m | 「01 火山群」と同じ 上記くりににおける最低点と山頂の最大の比高 |
| | 03 火山性高原 | 周囲より高まりのある 台地状の地形で火山の 原形の一部が残って いるもの。 | 1 km ² 以上のもの (緩斜面(小起伏山地) まで含める。) | ※範 囲 (くくり方) 面 積 長径・短径 | km ² km (小数第1位) | 「02 火山」に準じる。 図上でおよその面積を計測する。 「01 火山群」と同じ。 |
| | 04 火口・カルデラ | 直径1 km未満の噴火 口を火口とし、1 km以 上のもをカルデラと する。 なお、ここでいうカル デラは、凹地をさす ものであって、火山体 総体をさすものではない。 | 全 部 (例) 阿蘇中岳火口 十和田カルデラ 阿蘇カルデラ | 分 類 長径・短径 外 周 長 深 さ 特 記 | km (小数第1位) km (小数第1位) m | A 火 口 B カルデラ B-1 陥没カルデラ B-2 爆発カルデラ B-3 侵食カルデラ 「01 火山群」と同じ。 火口壁またはカルデラ壁の上端線を図上に示し 計測 火口・カルデラの縁から火口底、水面または火 口原までの比高 噴火、噴煙について記述 |
| | 05 カルデラ壁 | | 典型的な急崖 | 延 長 比 特 | m m | カルデラ壁の延長 表面形状(平滑、凹凸(節理の有無を含む)の別) |
| | 06 流れ山群 | | 地表に露出している もの、または植生に影響 が顕著にでているもの。 | 面 積 比 高 | h a m | 流れ山群の範囲を図上でくくり、図上で面積を 計測 最大の泥流丘の比高 |
| | 07 特徴的な稜線 | | 基岩が露出し、鋭く 細い稜線で際だったもの (例)大山ナイフリッジ | 延 長 比 地 高 質 | km (小数第1位) m | |
| | 08 溶岩トンネル ・ 風穴 | 溶岩流の中に生じた 空洞(風穴とは、溶岩ト ンネルの内部に対流の 生じているものをいう) | 立入可能なもの (例) 本栖風穴 富士風穴 | 奥行延長 最大内径 特 記 | m m | 調査されている奥行きの総延長 空洞の最大部のタテ、ヨコの径 風の有無 |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により調査票に記載する。 | | |
|-----------------------|-----------|----------------------------|--|--|---|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| A 1 火山景観 | 09 溶岩流末端崖 | 溶岩流の末端に生じた崖 | 比高30m以上 | 延 長 比 高 | m m | 崖の比高及び延長 |
| | 10 地獄、泥火山 | | 全 部 | 面 積 噴 気 数 泥 火 山 数 | h a | 地獄現象、泥火山現象を呈している区域の面積 |
| | 11 噴 泉 | 自然状態で噴出または湧出している温泉 | 全 部 (例) 岩間の噴泉塔群 白骨温泉の噴泉丘 渋の地獄谷噴泉 | 分 類 | | A 温 泉 (天然の露天風呂、湯沼 等) B 噴 泉 C 噴 泉 塔 D 石灰華ドーム (噴泉丘、噴湯丘を含む) E 湯 釜 |
| | | | | 面 積 噴 泉 数 塔、ドーム、 釜の径 | m ² c m | 噴泉などの見られる区域の面積 最大の塔、ドーム及び釜の径 |
| | | | | 塔、ドーム、 釜の高さ | c m | " 高さ |
| | 12 噴 気 孔 | 地獄と称される河原状の無植生地を伴わない単独の噴気孔 | 全 部 | 面 積 | m ² | 噴気孔の見られる区域の面積 |
| | 13 間 歇 泉 | | 全 部 | 吹 上 高 特 記 | m | 吹上の時間間隔 |
| | 14 構 造 土 | | 全 部 | 面 積 特 記 | m ² | 亀甲状、しま状、その他の別 |
| 15 高 山 域 , 亜 高 山 域 | | 全 部 | 面 積 | h a | 植生調査のデータから高山域 (寒帯、高山帯植生地) 及び亜高山域 (亜寒帯、亜高山帯植生地) をそれぞれ図上にくくって計測 | |
| 16 万 年 雪 | | 全 部 (例) 白山 千蛇ヶ池 | 面 積 延 長 | h a k m | 図上の万年雪の表示を計測 水平距離を計測 | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により調査票に記載する。 | | |
|---------------|------------------------|--|--------------------|--|---|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| A2 山地（非火山性）景観 | 01 山脈、山地、高地 02 丘 丘陵 | （火山としての原形が十分残っている「火山」及び「火山群」を除いた起伏のある地形で、古い火山岩からなる山地を含む。） 『標準地名集』（建設省国土地理院発行）に掲載されている山脈、山地、高地及び丘陵 | 起伏量200m以上のもの | ※ 範 囲 標 高 巾 延 長 長径・短径 起 伏 量 10 分 率 峰の形態的な特徴 | km (小数第1位) km (小数第1位) km (小数第1位) | 地誌、及び土地分類図等による地形区分を基本とし、地形変換線、地質、開発区域（農地、集落等）と自然地域（森林等）の境界等を勘案のうえ、○○山脈（山地、高地、丘陵）と称される範囲（くくり）を、総合的に決定し、図示する。 高山帯、亜高山帯あるいは1,500m以上に達する峰及びランドマークになっている峰について調査し、北から順に記入 上記くくりの最大巾を図上で計測 主稜線の明確なものについてのみ計測 ①主稜線延長（峰～峰）を図上で計測 ②不連続主稜線延長（車道、林道で分断されていない主稜線の延長。トンネルは「不連続」として扱う。）を図上で計測 主稜線が不明瞭な地形等で、延長及び巾を把握しがたい場合は、「01 火山群」と同様の手法により長径・短径を図上で計測 「土地分類図」（国土庁または経済企画庁作成）中の地形分類図（1/20万）上で計測 大起伏山地 □割 中起伏山地 □割 小起伏山地 □割 高山帯、亜高山帯あるいは1,500m以上に達する峰及びランドマークになっている峰について調査 （例） ・ 固い地質で侵食から取り残された峰（槍ヶ岳、穂高岳） ・ 双耳峰 ・ ピラミッド峰 ・ 尖塔群の峰 |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | | |
|----------------|---------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 | |
| A 2 山地(非火山性)景観 | 03 非火山性高原 | 周囲より高まりのある台地状の地形(火山の原形が残されていないものを含む) | 1 km ² 以上のもの(緩斜面、小起伏まで含める) | 面 積 長径・短径 | km ² km (小数第1位) | 「A 1 火山景観」の火山性高原に同じ。 ” | |
| | 04 大断層崖 | | 連続的なもので、比高500m以上のもの(例)木崎湖の北部 | 延 長 比 高 | km (小数第1位) m | 大断層崖の上端線を図上に示し、計測する。 最大比高 | |
| | 05 非火山性孤峰 | | 山脈、山地、高地、丘陵に含まれない山 | 比高100m以上のものでランドマーク的なもの(例)飯野山(讃岐富士) | ※範 囲 (くくり方) 比 高 長径・短径 | m km (小数第1位) | 「A 1-02 火山」と同じ ” ” |
| | 06 U字谷(氷食谷) | | | U字谷の可能性を指摘されているもの | 面 積 延 長 | ha km (小数第1位) | |
| | 07 カール | | | 全 部 (例)中部山岳、日高山地の高所 | 面 積 比 高 | ha m | |
| | 08 非対称山稜 | | 氷雪により形成された非対称山稜に限る。 | 全 部 | 延 長 | km (小数第1位) | |
| | 09 特徴的な稜線 | | | 基岩が露出し、鋭く細い稜線で際立ったもの(例)ジャングルム | 延 長 比 高 地 質 | km (小数第1位) m | 「A 1 火山景観 07 特徴的な稜線」と同じ。 ” ” |
| | 10 モレーン | | | 全 部 | 延 長 比 高 | m m | |
| | 11 二重山稜(線状凹地) | | | 全 部 | 延 長 | km (小数第1位) | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | | |
|---------------|-----------------|---|---------------------------------------|--|----------|-----------------|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 | |
| A2 山地(非火山性)景観 | 12 断崖・岩壁 | 峡谷、溪谷とは離れた、山腹等にあるもの | 比高30m以上のもの | 比延地 特 | 高長質 記 | m m | 崖の高さ 崖の延長 表面形状(平滑、凹凸(節理の有無を含む)の別) |
| | 13 岩塊斜面、岩海 | 森林限界上の山頂や斜面上の平坦部で、凍結、融解現象の繰返しによってその場所で生産された大型の角礫が、あるいと堆積している場所(景観)。 | 全 部 (例) 久井・矢野の岩海(広島) 万倉の大岩郷(山口) | 面地 | 積質 | h a | |
| | 14 構造土 | | 全 部 | 面特 | 積記 | m ² | 「A1 火山景観」の場合と同じ。 〃 |
| | 15 岩峰・岩柱 | 峡谷、溪谷とは離れた、山岳部にあるもの | 全 部 | 比延地 | 高長質 | m m | 岩峰、岩柱として露出している部分の比高 岩峰、岩柱として見られる部分の延長 |
| | 16 崖 錐 | | 斜面長300m以上 | 面比 | 積高 | h a m | |
| | 17 天然橋・岩門・石門 | 水食または風食により岩に貫通する形で穴のあいたもの | 全 部 (例) 妙義石門 | 分比穴 | 類高径 | m m | A 橋状 B 門状 穴の底部から穴の上の岩までの比高 |
| | 18 高山域、域 亜高山 | | 全 部 | 面 | 積 | | 「A1 火山景観」の場合と同じ。 |
| | 19 万年雪 | | 全 部 (例) 白馬大雪渓 | 面延 | 積長 | | 〃 〃 |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により調査票に記載する。 | | |
|----------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|--|-----------------------|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| A3 石灰岩景観 | 01 カルスト地形 | | 全 部 (例) 秋吉台 平尾台 | ※範 囲 (くくり方) | | <p>ポリエ、ウバーレ、ドリーネ、カッレンフェルト、コックビット、フーム、鍾乳洞等石灰岩特有の地形を包括する範囲を、地質及び地形に着目して決定し、図示する。 上記の範囲の面積 ウバーレ、陥没ドリーネ、コックビット、フーム、湧泉の有無</p> <p>カッレン（墓石状の石灰岩）及びドリーネの分布する区域を図示し、面積を図上で計測</p> <p>「A1 火山景観 08 溶岩トンネル・風穴」と同じ。 // 鍾乳石、石筍、石柱、石灰華、その他の有無。</p> |
| | 02 ポ リ エ | | 全 部 (例) 嘉万ポリエ | 面 積 長径・短径 | h a k m (小数第1位) | |
| | 03 カッレンフェルト ・ドリーネ群 | カッレン及びドリー ネの分布する区域 | 全 部 (例) 秋吉台 平尾台 | 面 積 最 大 ドリーネ径 | h a m | |
| | 04 鍾 乳 洞 | | 立入り可能なもの (例) 秋芳洞 竜河洞 | 奥行延長 最大内径 特 記 | m m | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A,B,Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|----------------|---------|------------------|---|--|-----------------------|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| A4 特殊地学 景 観 | 01 節 理 | | 断崖・岩壁で調査され ない節理で、視覚的 印象の強いもの (例)根室車石 | 分 類 | | A 柱 状 B 玉ねぎ状 C 枕 状 D 板 状 E 方 状 F 基盤目状 節理の現れた地表のおよその表面積 玉ねぎ状節理、枕状節理の場合のみ、円形の大きさを求める。 |
| | 02 岩 脈 | | 地表に突出または露 出したもの | 分 類 | | A 列 状 B 放射状 C その他 突出した岩脈の連続する延長 突出した岩脈の高さ |
| | | | | 表 面 積 直 径 | m ² c m | |
| | | | | 延 長 比 高 地 質 | km (小数第1位) m | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|--------|--|---|---|--|--------------------------------------|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| A5 その他 | <p>01 上記以外の際立った地形</p> <p>00 顕著な自然現象を記録する地形（ただし、上記のいずれかの自然景観資源に該当する場合のコード番号は、「A5-00」ではなく、当該自然景観資源のコード番号を付す。いずれの場合も、対照番号の末尾に「M」を付す。）</p> | <p>陸景であって上記の類型及び自然景観資源要素に該当しないもの</p> <p>地震、火山活動、地滑り、山崩れ等しばしば災害を伴うような突発的な自然現象によって江戸時代以降に形成された地形で、成因及び形成された時期が明らかかなもの</p> <p>(例) 溶岩流 (大正溶岩、 焼走溶岩流等)</p> <p>濃尾地震による 根尾谷の水鳥断層</p> | <p>自然景観資源として特に際立った地形に限る。</p> <p>全 部 (地形要素の種類及び規模の大小にかかわらず調査する。)</p> | <p>成 因</p> <p>成 立 年 代</p> <p>(溶岩流の場合の例) 面 積 延 長 巾</p> | <p>h a k m (小数第1位) m</p> | <p>類似する自然景観資源要素の例を参考に、対象となる地形の特性を示す項目につき調査する。</p> <p>地震、火山活動、地滑り、山崩れ等当該地形の生成の原因となった自然現象の具体的な名称を記載する。 (例) 「○○山噴火」「△△地震」 当該地形の成立した年月または、上記の自然現象の発生した年月を資料等に基づき記載する。</p> <p>このほか、当該地形の特性を示す項目につき、調査する。</p> <p>溶岩流の上端、下端の流心線の延長 最大巾</p> |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A、B、Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|----------------|---|---|---|--|-------------------------|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| 水 景 B1 河川景観 | 01 峡谷・溪谷 02 河成段丘 03 自由蛇行河川 04 穿入蛇行河川 05 断崖・岩壁 | 主に水の侵食により 形成された地形 (自然状態のもの) (自然状態のもの) 峡谷、溪谷等河川に 付随して見られるもの | 1 km以上のもの 段丘の比高の合計が 50 m以上のもの 川巾15 m以上、3サイ クルで屈曲率2以上 のもの (1/5万地形図上では、 川巾15 m以上を二条 の線で表示) (例) 釧路川 川巾15 m以上、3サイ クルで屈曲率2以上 のもの (例) 四万十川 比高30 m以上のもの (例) 葛根田の大岩屋 古座川の一枚岩 | 延 長 巾(上・下) 深 さ 特 記 | km (小数第1位) m m | 形 S字峡、十字峡 |
| | | | | 延 長 段 数 比 高 | km (小数第1位) m | 上位段丘と川との比高 |
| | | | | 延 長 巾 曲 数 | km (小数第1位) m | 蛇行の見られる部分の河川延長 蛇行の下端の川巾を |
| | | | | 延 長 巾 曲 数 比 高 | km (小数第1位) m m | 自由蛇行河川と同じ。 " " 最大比高(河床~攻撃斜面側の山頂) |
| | | | | 延 長 比 高 地 質 表 面 形 状 | m m | 「A2 山地(非火山性)景観」の場合と同じ。 " " " |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|----------|------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|--|------------------------------|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| B 1 河川景観 | 06 湖 | 水深があり、静かな 流れとなった川 | 全 部 (例)長湖 | 延 長 巾(上・下) 深 さ 水 深 特 記 | km (小数第1位) m m m | 「01 峡谷・溪谷」と同じ。 " (上巾、深さは、峡谷の湖の 場合に計測する。) |
| | 07 岩峰・岩柱 | 峡谷、溪谷等河川に 付随して見られるもの | 全 部 | 延 長 比 地 高 質 | km (小数第1位) m | 「A 2 山地(非火山性)景観」の場合と同じ。 " " |
| | 08 淵 | 川の一部に生じた深い 淀み | 名称の付されたもの (例)日光の 含満ヶ淵 | 面 積 水 深 | m ² m | |
| | 09 甌 穴 群 | | 延長30m以上のもの (例)関之尾甌穴群 (宮崎) | 面 積 径 | m ² m | 分布域の延長×巾 典型的で最大の甌穴の長径・短径 |
| | 10 滝 | | 落差5m以上のもの (地形図上では5m 以上のものを表示) | 分 類 (水系) (落下型) | ! | A 本 流 滝 B 懸 谷 滝 C 地下水滝(潜流懸谷) A 一文字状 B 多 段 C 分 散 D 滑 |
| | 11 天然橋・岩門 ・石門 | 水食または風食により 岩に貫通する形で穴 のあいたもの | 全 部 | 落差または 比高 滝 口 巾 滝 周 長 特 記 | m m m | 水の落下する高さまたは流下する比高 なお、多段の場合の落差は合計値とする。 滝口の巾で、平均的なもの 地下水滝の場合のみ計測 滝つぼの有無 |
| | | | | 分 類 比 高 穴 径 | m m | 「A 2 山地(非火山性)景観」の場合と同じ。 " " |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|---------|---------|------------------------------------|--------------------|--|--------------------------|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| B2 湖沼景観 | 01 湖 沼 | 天然湖沼 (1/5万地形図では、 短径50m以上を表示) | 短径50m以上 | 分 類 | m ² m m | <p>[1ha以上のものについては、湖沼調査の データを用いる。]</p> <p>A 断層湖 F 河跡湖 B カルデラ湖 G 地滑りによるもの C 火山湖 H 溶岩流・泥流 D 堰止湖(火山・地震) E 海跡湖 I その他</p> <p>水面の面積</p> <p>水位変動の有無 結氷の有無</p> <p>栄養型 A 富栄養湖 B 中栄養湖 C 貧栄養湖 D 酸栄養湖 E 鉄栄養湖 F 腐植栄養湖</p> <p>塩 分 A 淡 水 B 汽 水 C 塩 水</p> |
| | 02 湿 原 | | 短径50m以上 | 分 類 | | |
| | | | | 面 積 水 深 湖 岸 線 延 長 特 記 | | |
| | | | | 面 積 外 周 長 | h a m | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により調査票に記載する。 | | | |
|---------|-----------|------------------|--|--|--|--|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 | |
| B3 海岸景観 | 01 溺れ谷 | サンゴ礁段丘を含む | 樹枝状、鋸歯状を呈するもの | 海岸線延長 | km (小数第1位) | 海岸調査のデータを使用する。 | |
| | 02 海成段丘 | | 段丘の比高 50m以上 | 延長 段数 比高 | km (小数第1位) m | | 「B1 河川景観 02 河成段丘」と同じ。 " " " |
| | 03 断崖海岸 | | 全 部 (例)室戸岬東側の海岸 | 延長 比高 | km (小数第1位) m | | |
| | 04 火山海岸 | | 全 部 | 延長 地質 | km (小数第1位) | | |
| | 05 多島海 | 島が数多く散在している海 | 全 部 (10km四方の海域に5島以上の島が存在することを多島海の目安とする。) (例)松島 九十九島 | 海域面積 島の面積 | km ² ha | 面積100km ² 以下の島々を、100km ² 以上の島を横断しない長さ10km以下の線分で包囲した区域をもって海域面積とする。 面積は、図上の1kmメッシュの数で近似 資料(海岸域現況調査;国土地理院等)により上記海域に含まれる島々の面積を調査 | |
| | 06 隆起サンゴ礁 | 完新世の隆起サンゴ礁 | 全 部 | 島の海岸線 延長 分散 海岸線延長 比高 巾 | km (小数第1位) km (小数第1位) m m | | 資料(上記)により上記海域に含まれる島々の海岸線延長を調査 島の数/海域の面積 海岸調査のデータを使用 最大巾(海岸より地形変換点まで) |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A、B、Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|---------|-------------------|--|--|--|--------------------|---|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| B3 海岸景観 | 07 砂 浜、 磯 浜 | | 延長1 km以上 | 分 類 | km (小数第1位) m | A 砂 浜 B 磯 浜 C サング砂浜 海岸調査のデータを使用 |
| | 08 砂 嘴 | | 全 部 (例) 野付半島 | 延 長 巾 記 分 類 | | 鳴き砂 等 |
| | 09 砂 州 | | 全 部 (例) サロマ湖 | 面 積 延 長 | | A かぎ状砂嘴 B 分岐砂嘴 図上で計測する。ただし人工的な埋立地は除く。 " (海側の延長) |
| | 10 陸 けい 砂 州 | | 全 部 | 面 積 延 長 | | 「08 砂嘴」と同じ。 " |
| | 11 砂 丘 | | 全 部 | 面 積 延 長 特 記 | | 「08 砂嘴」と同じ。 " 島の面積 |
| | 12 海 食 崖 | | 1 km以上またはランド マーク的なもの (例) 屏風ヶ浦 青海島 | 列 数 延 長 比 高 | | 土地利用、地形により丘状の区域を決定し、図 示する。人工的改変により切断されたものも同一 形成期のものは一列として、海側より第1、第2、 第3・・・列と整理上の名称を与え、それぞれに ついて、延長、比高を調査。 有無 |
| | 13 波 食 台 (ベンチ) | | 干潮時に海面上に出る もの、及び通常海面上 にあるもので時々波を 被るもの | 延 長 比 高 地 質 | | 海岸調査のデータを使用 最も高い崖の比高 |
| | | 1 ha以上のもの (例) 石見畳ヶ浦 (島根) 鬼の洗濯板 (宮崎・青島) | 面 積 延 長 特 記 | 水面上の面積 表面の形状 波状、平滑、その他 | | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A, B, Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|---------|--------------|------------------|-----------------------------------|--|---------------------------|-------------------------------------|
| | | | | 特性記述項目 | 計測単位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| B3 海岸景観 | 14 岩 礁 | | 1ha以上の群 またはランドマーク となっているもの。 | 面積 最高岩礁高 最大岩礁積 質地 | ha m m ² | 岩礁の分布域の面積 最も高い岩礁の高さ |
| | 15 海 食 洞 | | 名称の付されたもの | 洞 径 奥 行 地 質 | m m | |
| | 16 岩 門 | | 全 部 (例) 妙見浦 (熊本) | 分 類 比 高 穴 径 | m m | 「B1 河川景観 II 天然橋・岩門」と同じ。 // // |
| | 17 潮 吹 穴 | | 全 部 (例) 龍宮の潮吹 (山口) | 吹 上 高 | m | |
| | 18 甌 穴 群 | | 延長30m以上のもの | 面 積 長 径 ・ 短 径 | m ² m | 「B1 河川景観」の場合と同じ。 // |
| | 19 潮 流 , 渦 流 | | 潮流は、流れが景観 として認識されるもの 渦流は全部 | 速 度 瀬 戸 巾 渦 の 数 | ノット km (小数第1位) | 海図による 図上計測 |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本調査における 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A,B,Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|----------------|----------|------------------|---|--|--------------------|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| B4 特殊地学 景 観 | 01 節 理 | | 断崖・岩壁で調査されず、海岸、湖岸等水辺にある節理で、視覚的印象の強いもの (例) 俵島(山口) | 分 類 | | A 柱 状 B 玉ねぎ状 C 枕 状 D 板 状 E 方 状 F 碁盤目状 節理の現れた地表のおよその表面積 玉ねぎ状節理、枕状節理の場合のみ、円形の大きさを求める。 |
| | 02 岩 脈 | | 水面上に突出または露出した岩脈 (例) 橋杭岩 (和歌山) | 分 類 | | A 列 状 B 放射状 C その他 突出した岩脈の高さ 突出した岩脈が連続する延長 |
| | 03 湧 泉 群 | | 湧泉が群として存在するもの (例) 忍野八海 | 地 質 湧 泉 数 | m km (小数第1位) | |

| 類 型 | 自然景観資源名 | 本 調 査 に お け る 考 え 方 | 調 査 対 象 範 囲 | 特 性 記 述 の 方 法 「分類」は、A,B,Cの記号で、その他の項目は数値または簡潔な記述により 調査票に記載する。 | | |
|----------|---|--|---|--|---------|--|
| | | | | 特性記述項目 | 計 測 単 位 | 分 類 ・ 計 測 方 法 等 |
| B5 そ の 他 | 01 上記以外の際立った地形 00 顕著な自然現象を記録する地形 (ただし、上記のいずれかの自然景観資源に該当する場合のコード番号は、「B5-00」ではなく、当該自然景観資源のコード番号を付す。 いずれの場合も、対照番号の末尾に「M」を付す。) | 陸景であって上記の類型及び自然景観資源要素に該当しないもの 地震、火山活動、地滑り、山崩れ等しばしば災害を伴うような突発的な自然現象によって江戸時代以降に形成された地形で、成因及び形成された時期が明らかかなもの (例) 江ノ島のベンチ 震生湖(神奈川) | 自然景観資源として特に際立った地形に限る。 全 部 (地形要素の種類及び規模の大小にかかわらず調査する。) | 成 因 成 立 年 代 | | 類似する自然景観資源要素の例を参考に、対象となる地形の特性を示す項目につき調査する。 地震、火山活動、地滑り、山崩れ等当該地形の生成の原因となった自然現象の具体的な名称を記載する。 (例) 「○○山噴火」「△△地震」 当該地形の成立した年月または、上記の自然現象の発生した年月を資料等に基づき記載する。 このほか、当該地形の特性を示す項目につき、調査する。 「A5 その他」と同じ。 |

< 別紙 2 >

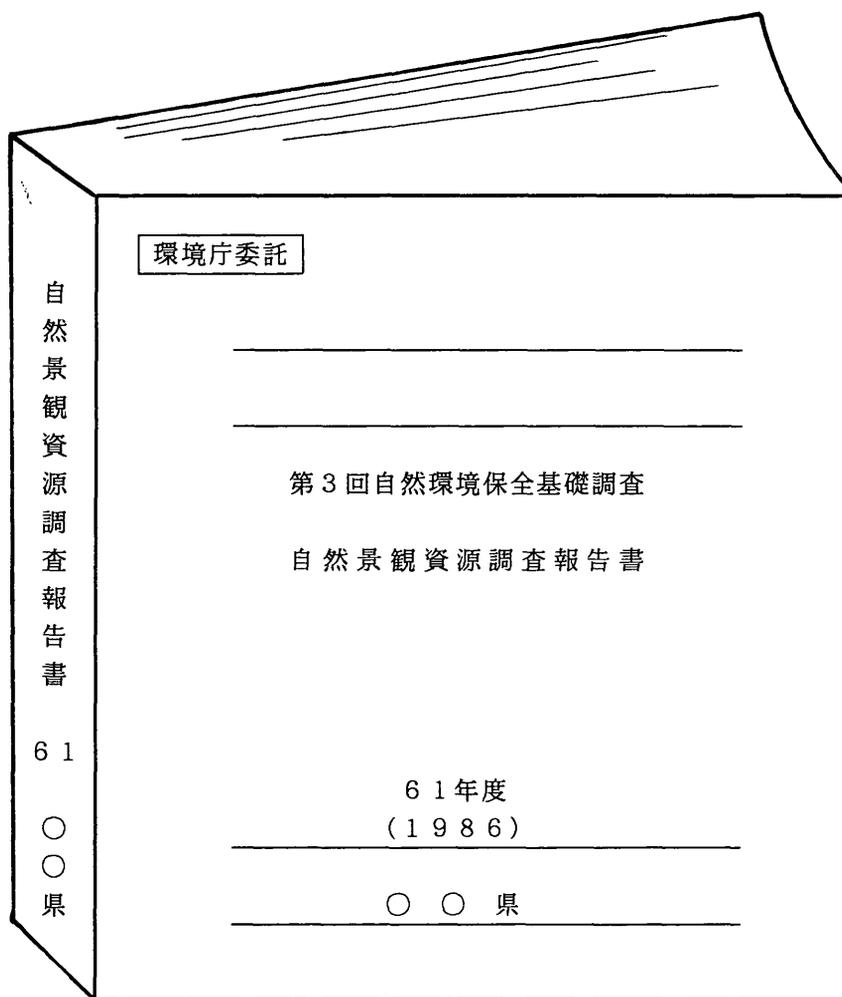
報告書作成要領

1. 規 格

B 5 判、左とじ、横書きとする。

2. 表紙及び背文字

表紙（及び裏表紙）は、淡赤色、B 5、ファイル（「コクヨ、フー 1 1、B 5 S」、
「ライオン、No. 5 2 6、B 5 S」等）を使用し、タイトル等の様式は下図による。（黒サインペンの手書きでよい。）



(注) 1冊に編纂できない場合は、分冊としてよいが、適宜一連番号を付すこと。

3. 配 列

報告書における各項目の配列は以下のとおりとする。

- (1) 目次
- (2) 調査結果の概要
- (3) 自然景観資源調査票
- (4) 資料リスト
- (5) 調査担当者名簿

4. 調査結果の概要

調査結果を次の例にならい、表1、表2にとりまとめる。

(表1) ○○県自然景観資源総括表

| 自然景観資源名 | 個所数 | 自然景観資源名 | 個所数 |
|--------------------|-------|--------------------------|-------|
| A 1 - 0 1 火山群 | 3 | | |
| A 1 - 0 2 火山 | 1 2 | | |
| <hr/> | | | |
| A 2 - 0 1 山脈・山地・高地 | 2 | | |
| | | B 5 - 0 0 顕著な自然現象を記録する地形 | 1 |
| | 計 | 種 | カ所 |

(注) 記載は、自然景観資源のコード順による。

(表2) ○○県自然景観資源一覧表

| 自然景観資源名 | 対象番号 | 名称 | 関係市町村 |
|----------|------------|----------|---------|
| 火山群 | A1-01- 1 | ○○岳 | ○○町、△△村 |
| | A1-01- 2 | □□山 | **市 |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| 火山 | A1-02- 1 | ○○山 | △△村 |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| 流れ山群 | A1-06- 1-M | ☆☆☆の流れ山群 | ☆☆村 |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| 山地・山脈・高地 | A2-01- 1 | : | : |
| 丘陵 | A2-02- 1 | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | : | : | : |
| | B5-00- 1-M | : | : |
| 計 | カ所 | | |

5. 自然景観資源調査票

自然景観資源のコード順、対象番号順に編纂する。

6. 資料リスト

調査に使用した資料を記録する。

| 番号 | 筆者名 | 発行年（西暦） | 資料名 |
|----|-----|---------|-----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

7. 調査担当者名簿

調査に実際に従事したもの全員について記入する。

| 番号 | 氏名 | 所属 | 分担分野 |
|----|----|----|------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

< 別紙 3 >

自然景観資源図帳作成要領

1. 表紙及び裏表紙

表紙は、自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図の大きさとし、白色板紙とする。

様式は下図によるものとし、タイトルは黒サインペンの手書きでよい。

裏表紙は、厚手のボール紙を使用する。

| | |
|---------------|---|
| 環境庁委託 | ・ |
| 第3回自然環境保全基礎調査 | ・ |
| 自然景観資源図帳 | |
| 61年度 | |
| (1986) | ・ |
| 〇 〇 県 | ・ |

右とじ

2. 配 列

配列は、以下の順とする。

- (1) 表紙
- (2) 地図番号図 (別紙1-1「自然景観資源図」参照)
- (3) 自然景観資源図 (地図番号の順とする)
- (4) 裏表紙

追 補

6 2 . 6 .

1. 調査対象について

自然景観資源調査の調査対象は、調査要綱の別表1「調査対象自然景観資源一覧表」に示し、さらに、この一覧表に明示されていないものであっても、A5その他、B5その他の「01上記以外の際立った地形」に該当するか否かを調査要綱5. 調査対象、調査内容及び調査方法の(1)調査対象についての規定(P. 1～2)に従い、各都道府県において判定し、調査対象に含めることは差し支えないこととしているところであるが、今般、A1火山景観に断崖・岸壁・崖錐が入っていないという指摘をうけたところであり、貴都道府県においてもA1火山景観に整理されるべき一定規模以上(参照A2-12、A2-16にかかる調査対象範囲)の断崖・岸壁・崖錐がある場合には、A5-01上記以外の際立った地形として調査対象に含められるよう取り計らわれない。

なお、上記以外の断崖・岸壁・崖錐のように本来所属すべき類型(A1、A2、、A3………B1、B2………)を明示する必要があると考えられる場合には、調査票の補足事項記入欄に、例えば、「A1か残景観として整理されたい」というように整理上の注意事項を具体的に記入されたい。

2. 「山脈・山地・高地、丘陵」のメッシュコードについて

山脈・山地・高地及び丘陵については、景観的な「山地」の範囲を図上に記入願っているところであり、その範囲のメッシュコードを調査票に記入する必要はないので念のため申し添える。

3. 「山地のくくり等の作業」について

山地のくくり等の作業に当たっては、昭和61年度自然環境保全基礎調査都道府県担当者会議の際、説明資料として配布した「山地のくくり等の作業例」を参考とされたい。

環境庁委託調査

第3回 自然環境保全基礎調査

自然景観資源調査報告書（全国版）

平成元年3月

調査受託者 国際航業株式会社

東京都千代田区六番町2番地

電話 03-262-6221

